

性別による
「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」
に関する実態調査

令和5年（2023年）3月



東京都生活文化スポーツ局

目次

| | |
|---------------------------|-----------|
| 第Ⅰ章 調査の概要 | 3 |
| 1 調査目的 | 3 |
| 2 調査内容 | 3 |
| 3 調査設計 | 4 |
| 4 回収結果 | 5 |
| 5 報告書の見方 | 6 |
| | |
| 第Ⅱ章 調査回答者の属性 | 10 |
| 1 児童 | 10 |
| 2 保護者 | 13 |
| 3 教員 | 16 |
| | |
| 第Ⅲ章 調査結果の概要 | 19 |
| 1 児童 | 19 |
| 2 保護者 | 26 |
| 3 教員 | 46 |

目次

| | |
|--|------------|
| 第IV章 調査結果の分析 | 83 |
| 1 性別によるクロス集計結果 | 83 |
| ① 児童 | 83 |
| ② 保護者 | 90 |
| ③ 教員 | 110 |
| 2 分析の仮説 | 147 |
| ① 分析にあたっての仮説 | 147 |
| 3 児童調査結果の分析 | 151 |
| ① 性別に関する意識と児童の言動に関する意識の関係 | 151 |
| ② 意識の学年差 | 153 |
| ③ 性別に関する意識の形成要因 | 160 |
| 4 保護者調査結果の分析 | 164 |
| ① 性別に関する意識と児童の進路選択等に関する意識の関係 | 164 |
| ② 性別に関する意識と児童に関する言動等への影響 | 173 |
| ③ 無意識の思い込みの認知等と性別に関する意識の関係 | 179 |
| ④ その他保護者の意識に関する分析 | 196 |
| 5 教員調査結果の分析 | |
| ① 自身に関する意識の年代・役職差 | 200 |
| ② 仕事に関する意識の年代・役職差及び性別に関する意識と言動等への影響 .. | 206 |
| ③ 児童の教科の得意・不得意に関する意識の年代・役職差 | 225 |
| ④ 性別に関する意識等と児童に関する言動等への影響 | 233 |
| ⑤ 無意識の思い込みの認知等と性別に関する意識の関係 | 254 |
| 6 共通質問に関する回答差 | 288 |
| 7 まとめ | 291 |
| 第V章 巻末資料 | 300 |
| 1 調査票 | 300 |
| 2 集計表 | 308 |
| 3 検定結果一覧 | 368 |

第 I 章 調査の概要

1 調査目的

過去の経験や見聞きしてきたことにより形成されている「無意識の思い込み」（アンコンシャス・バイアス）は、本人が意識しないところで日々の判断や言動に影響を与えている。様々な場面で徐々に女性の活躍が進んでいるものの、十分に進まない要因として、性別による「無意識の思い込み」の存在が影響している可能性がある。

性別による「無意識の思い込み」は、周囲の言動の影響を受け形成されるとの仮説に基づき、その実態を把握するため、教育機関と連携し、児童（小学校 5・6 年生）、保護者、教員を対象とした実態調査を行った。

調査結果については、性別による「無意識の思い込み」に対する効果的な啓発方法や子どもの進路・職業の選択肢拡大に向けた施策検討の基礎資料として活用することを目的とする。

2 調査内容

■児童

- A 自身に関すること

■保護者

- A 家庭に関すること
- B 教員に関すること
- C 児童に関すること
- D 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の認知度など

■教員

- A 自身のキャリア・生活について
- B 校務など教員の職務に関すること
- C 児童に関すること
- D 保護者に関すること
- E 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の認知度など

3 調査設計

- (1) 調査対象：都内公立小学校の児童（5年生・6年生）、保護者、教員
- (2) 標本数：児童 10,020人^{※1}
：保護者 10,020人^{※2}
：教員 1,827人^{※3} ※標本数＝調査対象者数
- ※1 令和3年度 公立学校統計調査報告書【東京都公立学校一覧】より調査対象数を設定
※2 調査対象児童数と同数と設定
※3 令和3年度 公立学校統計調査報告書【東京都公立学校一覧】より調査対象数を設定
- (3) 標本抽出：学校名簿から対象の学校を無作為抽出し、抽出した学校に在籍している児童・教員の全員および児童の保護者（児童1名に対して保護者1名）を対象とした。
- (4) 調査方法：インターネット方式
- (5) 調査期間：令和4年9月16日（金）～10月7日（金）
※ 調査は3週間（2週間＋延長1週間）かけて実施
- (6) 調査実施機関（委託先）：株式会社CCNグループ

4 回収結果

- (1) 標本数：児童 10,020人
 : 保護者 10,020人
 : 教員 1,827人
- (2) 回収数：児童 6,622人
 : 保護者 2,174人
 : 教員 899人
- (3) 回収率：児童 66.1%
 : 保護者 21.7%
 : 教員 49.2%

5 報告書の見方

① 集計

(1) 集計方法

集計は、「i 単純集計」と「ii クロス集計」の2種類を行った。

i 単純集計

設問ごとの、それぞれの選択肢に何人が回答したのかについての単純な集計

ii クロス集計

回答者の属性と各設問を縦横に掛け合わせた（クロスした）集計

(2) クロス集計項目

クロス集計を行う項目については、性別を基本とした関連項目および、分析のため設問間の関係として必要と判断した項目を採用した。

なお、下記の無意識の思い込みの認知度等に関する設問に重み付けを行い得点化し、合計点に応じて1～4のカテゴリ分けを実施した。

<保護者>

| | | |
|------|---|--|
| (16) | 子どもがかわるなかで無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を意識している | 1. そう思う（4点） 2. どちらかというそう思う（3点） 3. どちらかというそう思わない（2点） 4. そう思わない（1点） |
| (17) | 家族間で無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について話をしたことがある | 1. あてはまる（4点） 2. どちらかというあてはまる（3点） 3. どちらかというあてはまらない（2点） 4. あてはまらない（1点） |
| (18) | 子どもの間で無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を取り上げたことがある | 1. 取り上げたことがある（3.5点） 2. 取り上げたことはない（1.5点） |
| (19) | 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について、どの程度知っていますか | 1. よく知っている（4点） 2. ある程度知っている（3点） 3. あまり知らない（2点） 4. 全く知らない（1点） |

<教員>

| | | |
|------|--|--|
| (33) | 学校での指導等において無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を意識している | 1. そう思う（4点） 2. どちらかというそう思う（3点） 3. どちらかというそう思わない（2点） 4. そう思わない（1点） |
| (34) | 教員間で無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について話をしたことがある | 1. あてはまる（4点） 2. どちらかというあてはまる（3点） 3. どちらかというあてはまらない（2点） 4. あてはまらない（1点） |
| (35) | 子供への指導で無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を取り上げたことがある | 1. 取り上げたことがある（3.5点） 2. 取り上げたことはない（1.5点） |
| (36) | 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について知っていますか | 1. よく知っている（4点） 2. ある程度知っている（3点） 3. あまり知らない（2点） 4. 全く知らない（1点） |



分析時のカテゴリ分け

最高点：15.5

最低点：4.5

カテゴリ1 15.5 ～ 12.75

カテゴリ2 12.75 ～ 10.0

カテゴリ3 10.0 ～ 7.25

カテゴリ4 7.25 ～ 4.5

(3) クロス集計表

《巻末資料》クロス集計表には、前頁①(2)の項目を基本分類軸として掲載した。

《巻末資料》クロス集計表については、「回答しない」を含めて掲載した。グラフおよび本編中のクロス集計結果は、表頭(列側)・表側(行側)とも「回答しない」「性別・その他」等を省いたものを掲載した。そのため、表の全体とカテゴリの合計が一致しない場合がある。例えば、男女計の度数は全体の度数に一致していない。

(4) 検定

クロス集計結果の設問間の関係について、カイ二乗検定及びスピアマン順位相関係数を算出して分析を行った。

カイ二乗検定については、有意水準5%(0.05)、1%(0.01)、0.1%(0.001)を設定して、有意水準5%未満のときを有意差ありとした。

検定は、「そう思う」と「どちらかというと思う」を《そう思う》、「どちらかというと思わない」と《そう思わない》として集計して実施した。また、「あてはまる」と「どちらかというにあてはまる」を《あてはまる》、「どちらかというにあてはまらない」と《あてはまらない》として同様に集計したうえで検定を実施した。

例)児童：性別×(1)「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある

| | 該当数 | そう思う | そう思わない |
|----|------|------|--------|
| 全体 | 6622 | 41.1 | 58.9 |
| 男性 | 3214 | 41.6 | 58.4 |
| 女性 | 3180 | 41.0 | 59.0 |

スピアマン順位相関係数算出結果については、下記を使用した。

- i | r | = 1.00～0.70：かなり強い相関がある
- ii | r | = 0.70～0.40：かなり相関がある
- iii | r | = 0.40～0.20：やや相関がある
- iv | r | = 0.20～0.00：ほとんど相関がない

なお、係数値を小数第3位で四捨五入して、小数第2位を算出したものを使用したため、算出結果が0では無い場合でも表記上0.00となるケースがある。

また、スピアマン順位相関係数の無相関検定はほとんどのものが有意となるため有意水準の表記は省略した。

② 回答率 (%)

(1) 回答率 (%) の表記

回答率 (%) は、小数第 2 位を四捨五入して、小数第 1 位を算出したものを使用した。よって、回答数が 0 人では無い場合でも表記上 0.0 となるケースがある。

(2) 単一回答の設問

上記の (1) により、単一回答 (選択肢を 1 つだけ選ぶ : S A) 設問において、すべての選択肢の回答率を合計しても 100% に満たない、または上回る場合がある。

(3) 複数の回答の合計値

2 つ以上の選択肢を合わせた項目の回答率 (%) を表記する場合、その回答率 (%) は、それぞれの選択肢の実数値を合計して、回答率 (%) を再計算したものを使用している。このため、複数の回答の合計値と図表の数字が一致しない場合がある。

(4) 回答率 (%) の比較

回答率 (%) の比較を行うにあたっては、ポイントと表記している。

回答率の合計が 100% にならない、または、複数の回答の合計値が一致しない例

| | 四捨五入前の回答率 (小数第 2 位) | 四捨五入後の回答率 (小数第 1 位) |
|-------|---------------------|---------------------|
| 選択肢 A | 90.00% =90.0% | 50.15% |
| 選択肢 B | | 39.85% |
| 選択肢 C | | 10.00% |
| 合計 | 100.00% | 100.1% |

③ 割合の表現

数値を考察するにあたり、割合の表現は以下の表の通りとしている。

| 区分 | 詳細 | 表現 | |
|--------------|-----------------------|----------|-------|
| 0.0%~9.9% | 0.0%の場合 | 記述せず | |
| | 0.1%以上で、5.0%には満たない場合 | わずか | |
| | 5.0%以上で、10.0%には満たない場合 | 1割未満 | |
| 10.0%~100.0% | 1の位と小数第1位が、 右記の場合 | 0.0~0.4% | ○割 |
| | | 0.5~0.9% | ほぼ○割 |
| | | 1.0~3.9% | ○割超え |
| | | 4.0~6.4% | ○割台半ば |
| | | 6.5~8.9% | ○割近く |
| | | 9.0~9.4% | ほぼ○割 |
| | | 9.5~9.9% | ○割 |
| まとめる場合 | 同じ%台をまとめる場合（※1） | ○割台 | |
| | 2つの前後の%にまたがる場合（※2） | ○割前後 | |
| | 2つの後の%台にまたがる場合（※3） | ○割以上 | |

※1～3の具体例および表現例は以下の通り。

（※1）71.2%と76.8%であれば、7割台

（※2）69.3%と71.2%であれば、7割前後

（※3）71.2%と83.4%であれば、7割以上

④ 文章の一部省略および語句の簡略化

(1) 「第三章 調査結果の概要」における、設問の回答ルール案内文の取り扱い

i 単一回答（選択肢を1つだけ選ぶ：SA）設問については、調査票に記載した回答ルールに関する案内文を省略している。

（省略した案内文の例：次の中から1つだけ選んでください。）

ii 複数回答（選択肢を複数選ぶ）設問については、調査票に記載した回答ルールに関する案内文を省略した上で、複数回答の設問である旨を明示している。

（省略した案内文の例：次の中から2つまで選んでください。）

（複数回答の設問である旨の明示の例：（複数回答）※2つまで）

(2) 設問文や選択肢の取り扱い

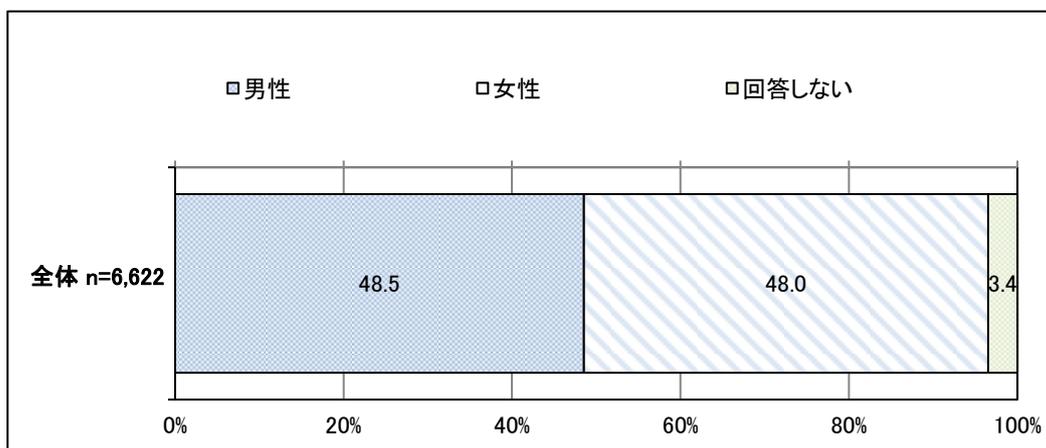
設問文や選択肢を表などにおいて記述する際、適宜、文章の一部省略や語句の簡略化を行っている。

第Ⅱ章 調査回答者の属性

1 児童

① 性別

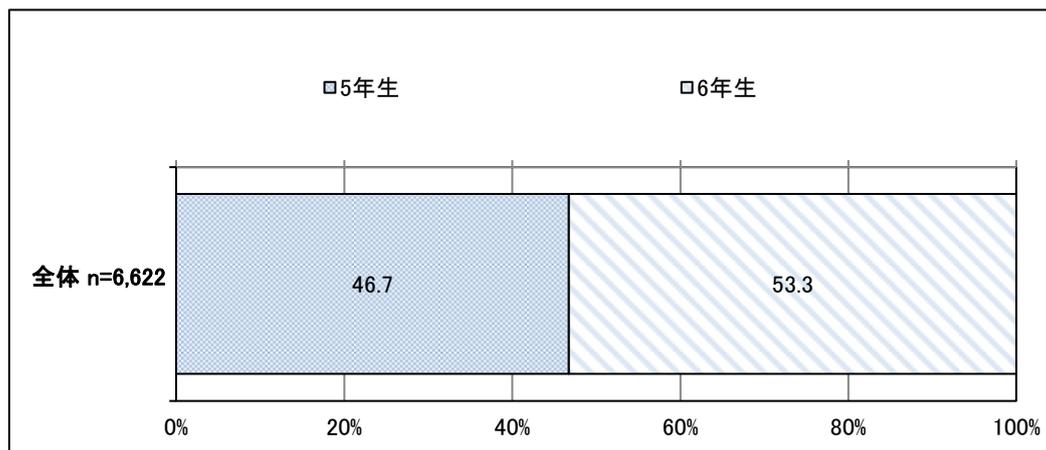
| | | 回答数 | % |
|---|-------|------|-------|
| | | 6622 | 100.0 |
| 1 | 男性 | 3214 | 48.5 |
| 2 | 女性 | 3180 | 48.0 |
| 3 | 回答しない | 228 | 3.4 |



(図表Ⅱ-1-1)

② 学年

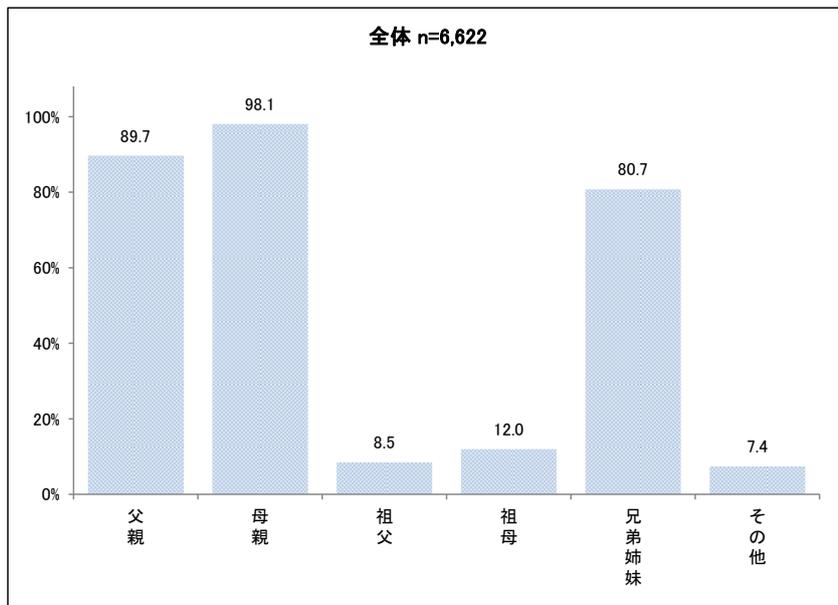
| | | 回答数 | % |
|---|-----|------|-------|
| | | 6622 | 100.0 |
| 1 | 5年生 | 3094 | 46.7 |
| 2 | 6年生 | 3528 | 53.3 |



(図表Ⅱ-1-2)

③ 家族構成（複数回答可）

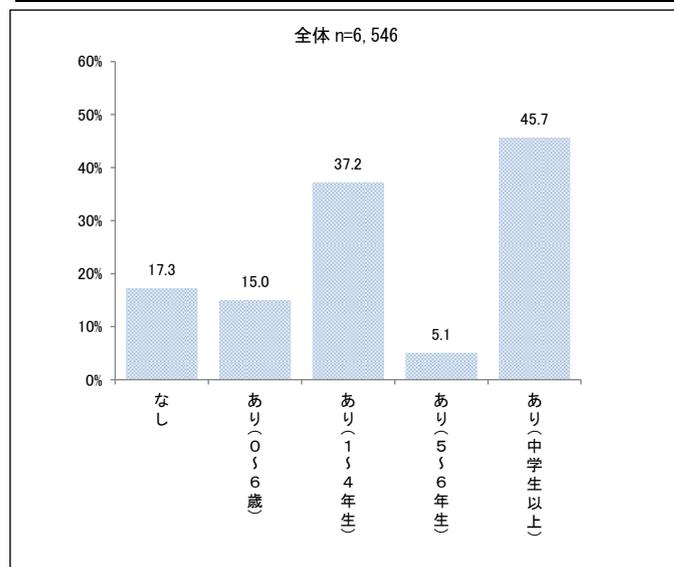
| | | 回答数 | % |
|---|------|------|-------|
| | | 6622 | 100.0 |
| 1 | 父親 | 5938 | 89.7 |
| 2 | 母親 | 6493 | 98.1 |
| 3 | 祖父 | 560 | 8.5 |
| 4 | 祖母 | 793 | 12.0 |
| 5 | 兄弟姉妹 | 5347 | 80.7 |
| 6 | その他 | 488 | 7.4 |



(図表Ⅱ-1-3)

④ 兄弟姉妹の有無（複数回答可） ※無回答 76 人を除く

| | | 回答数 | % |
|---|-----------|--------|-------|
| | | ※ 6546 | 100.0 |
| 1 | なし | 1131 | 17.3 |
| 2 | あり(0~6歳) | 984 | 15.0 |
| 3 | あり(1~4年生) | 2436 | 37.2 |
| 4 | あり(5~6年生) | 334 | 5.1 |
| 5 | あり(中学生以上) | 2990 | 45.7 |

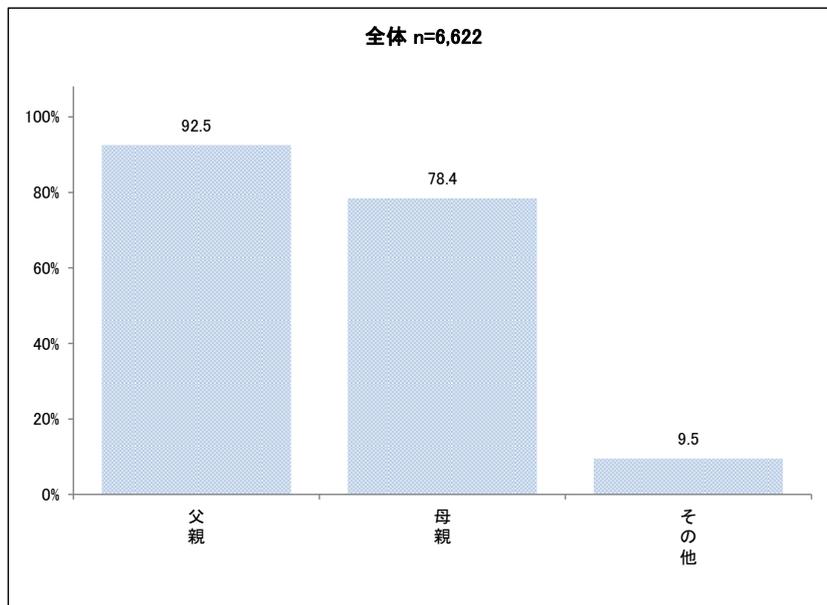


(図表Ⅱ-1-4)

第Ⅱ章 調査回答者の属性

⑤ 保護者の働き方（複数回答可）

| | | 回答数 | % |
|---|-----|------|-------|
| | | 6622 | 100.0 |
| 1 | 父親 | 6128 | 92.5 |
| 2 | 母親 | 5192 | 78.4 |
| 3 | その他 | 628 | 9.5 |

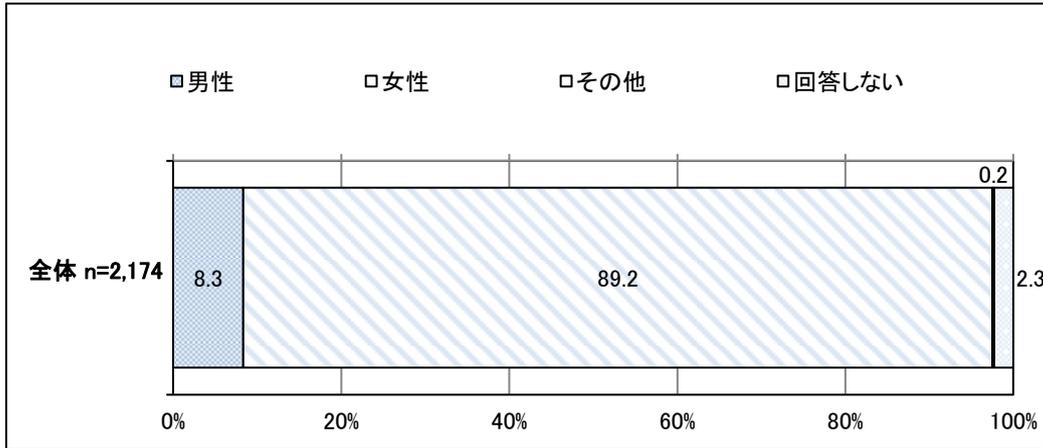


(図表Ⅱ－1－5)

2 保護者

① 性別

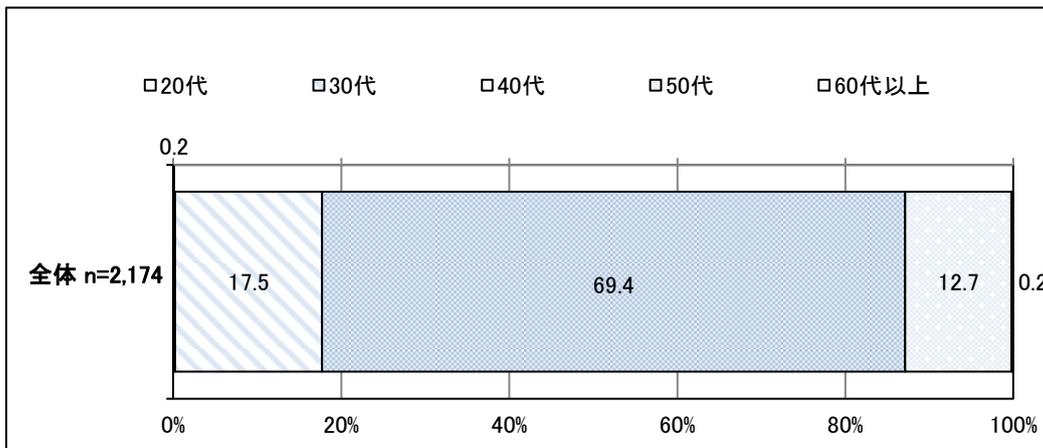
| | | 回答数 | % |
|---|-------|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | 男性 | 181 | 8.3 |
| 2 | 女性 | 1939 | 89.2 |
| 3 | その他 | 5 | 0.2 |
| 4 | 回答しない | 49 | 2.3 |



(図表Ⅱ-2-1)

② 年齢 (年代)

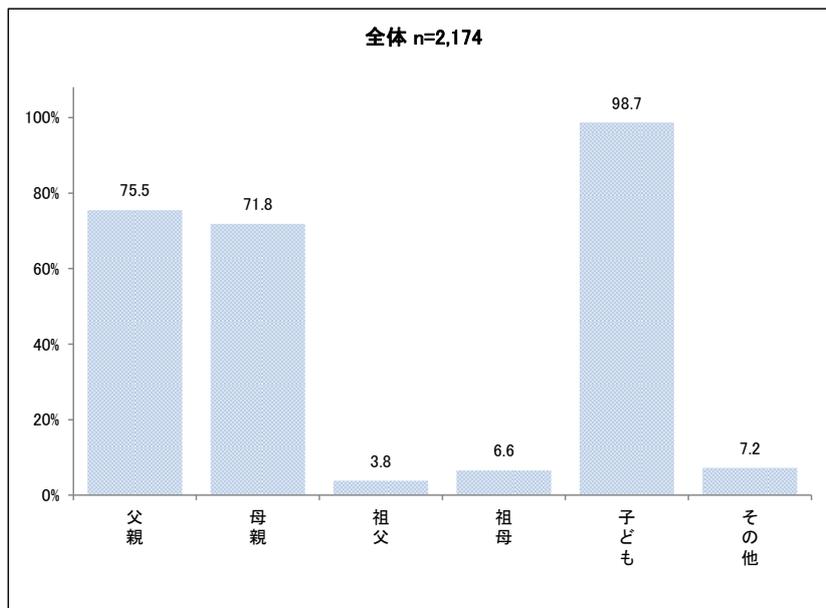
| | | 回答数 | % |
|---|-------|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | 20代 | 5 | 0.2 |
| 2 | 30代 | 380 | 17.5 |
| 3 | 40代 | 1509 | 69.4 |
| 4 | 50代 | 276 | 12.7 |
| 5 | 60代以上 | 4 | 0.2 |



(図表Ⅱ-2-2)

③ 家族構成（複数回答可）

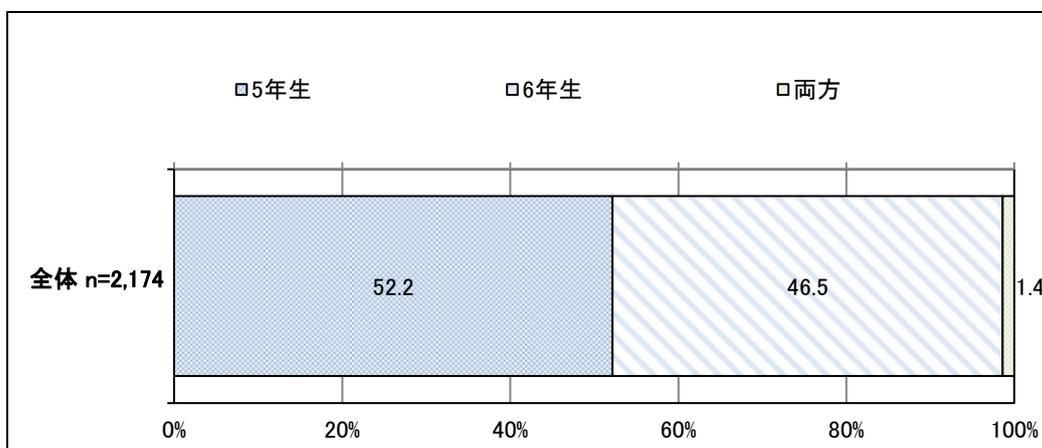
| | | 回答数 | % |
|---|-----|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | 父親 | 1641 | 75.5 |
| 2 | 母親 | 1562 | 71.8 |
| 3 | 祖父 | 83 | 3.8 |
| 4 | 祖母 | 143 | 6.6 |
| 5 | 子ども | 2145 | 98.7 |
| 6 | その他 | 157 | 7.2 |



(図表Ⅱ－2－3)

④ 子どもの学年

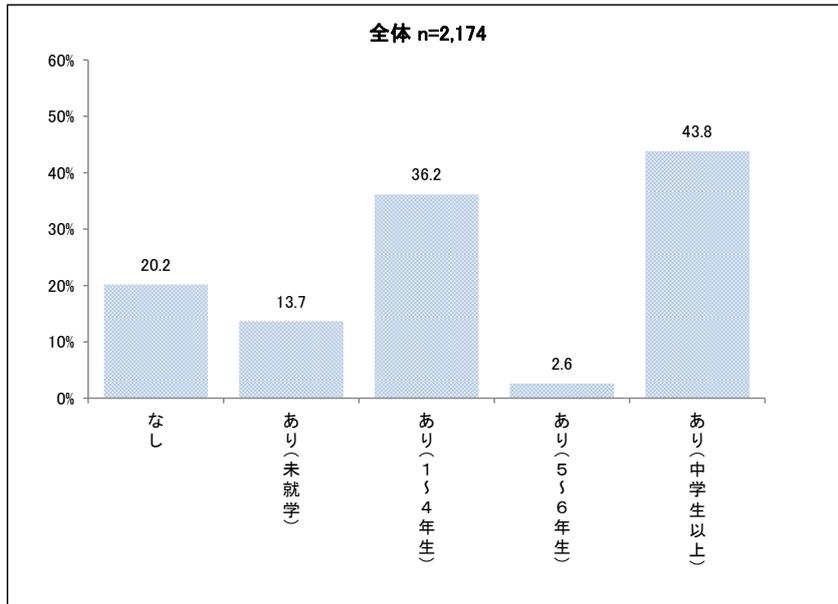
| | | 回答数 | % |
|---|-----|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | 5年生 | 1134 | 52.2 |
| 2 | 6年生 | 1010 | 46.5 |
| 3 | 両方 | 30 | 1.4 |



(図表Ⅱ－2－4)

⑤ 兄弟姉妹の有無（複数回答可）

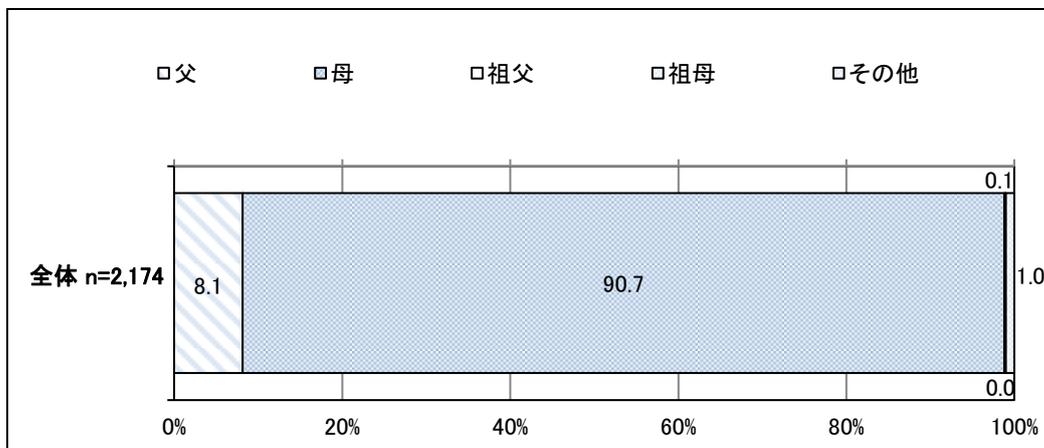
| | | 回答数 | % |
|---|-----------|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | なし | 439 | 20.2 |
| 2 | あり(未就学) | 297 | 13.7 |
| 3 | あり(1~4年生) | 786 | 36.2 |
| 4 | あり(5~6年生) | 57 | 2.6 |
| 5 | あり(中学生以上) | 953 | 43.8 |



(図表II-2-5)

⑥ 子どもとの続柄

| | | 回答数 | % |
|---|-----|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | 父 | 177 | 8.1 |
| 2 | 母 | 1971 | 90.7 |
| 3 | 祖父 | 3 | 0.1 |
| 4 | 祖母 | 1 | 0.0 |
| 5 | その他 | 22 | 1.0 |

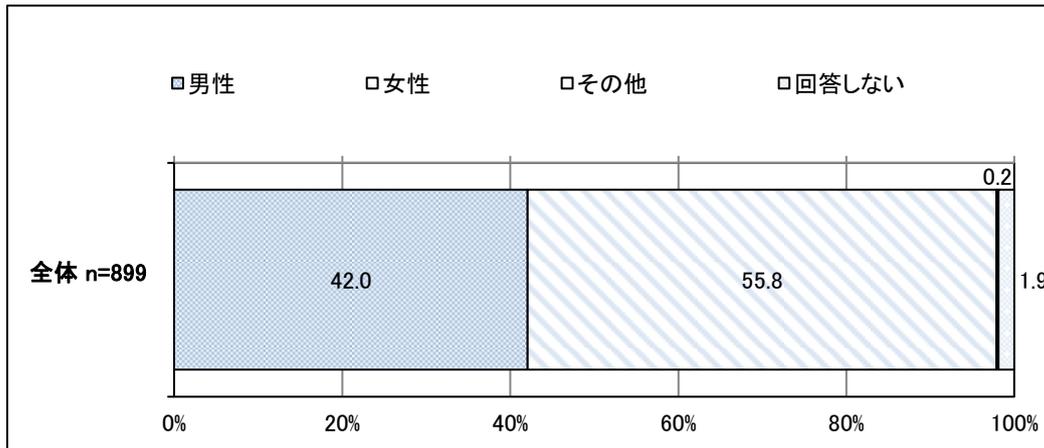


(図表II-2-6)

3 教員

① 性別

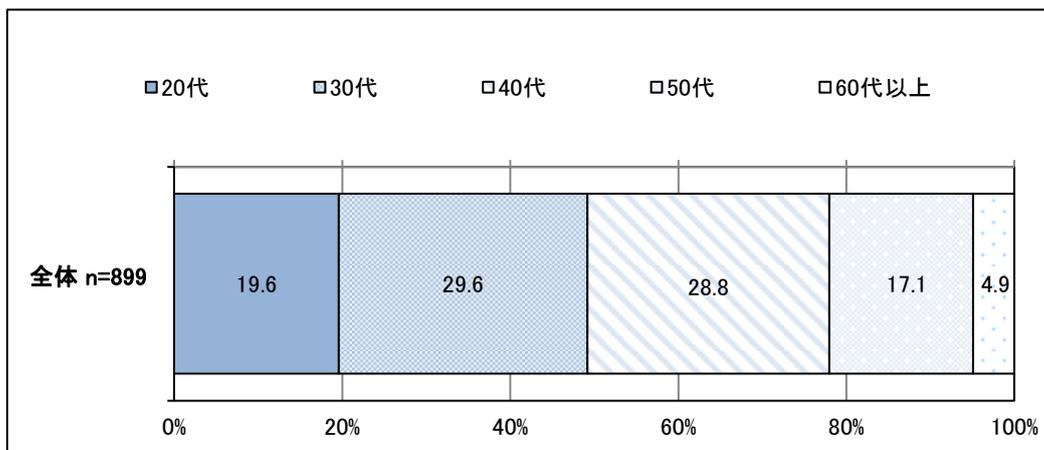
| | | 回答数 | % |
|---|-------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | 男性 | 378 | 42.0 |
| 2 | 女性 | 502 | 55.8 |
| 3 | その他 | 2 | 0.2 |
| 4 | 回答しない | 17 | 1.9 |



(図表Ⅱ-3-1)

② 年齢 (年代)

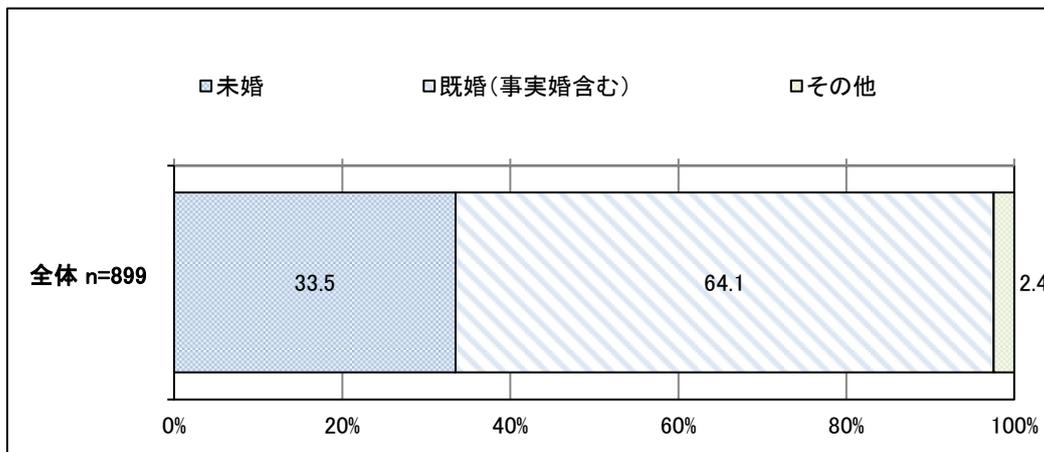
| | | 回答数 | % |
|---|-------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | 20代 | 176 | 19.6 |
| 2 | 30代 | 266 | 29.6 |
| 3 | 40代 | 259 | 28.8 |
| 4 | 50代 | 154 | 17.1 |
| 5 | 60代以上 | 44 | 4.9 |



(図表Ⅱ-3-2)

③ 未既婚

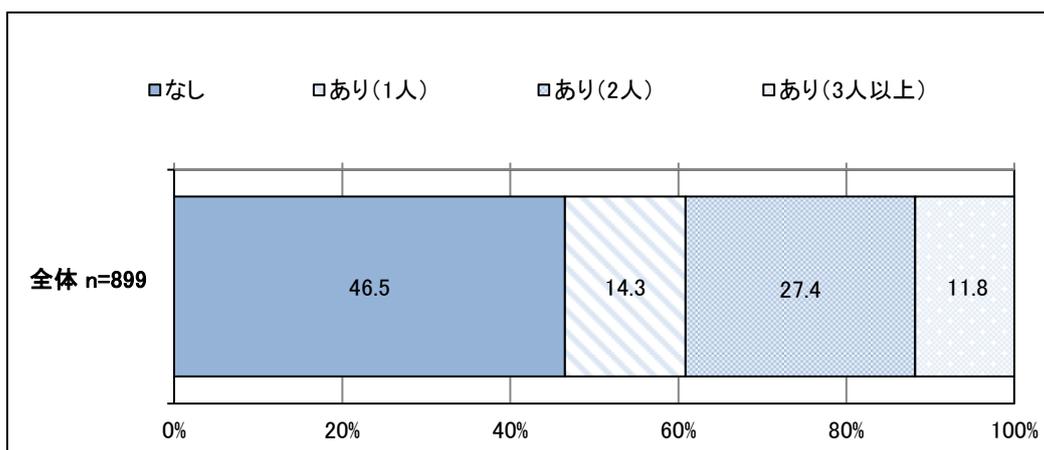
| | | 回答数 | % |
|---|-----------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | 未婚 | 301 | 33.5 |
| 2 | 既婚(事実婚含む) | 576 | 64.1 |
| 3 | その他 | 22 | 2.4 |



(図表Ⅱ-3-3)

④ 子どもの有無

| | | 回答数 | % |
|---|----------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | なし | 418 | 46.5 |
| 2 | あり(1人) | 129 | 14.3 |
| 3 | あり(2人) | 246 | 27.4 |
| 4 | あり(3人以上) | 106 | 11.8 |

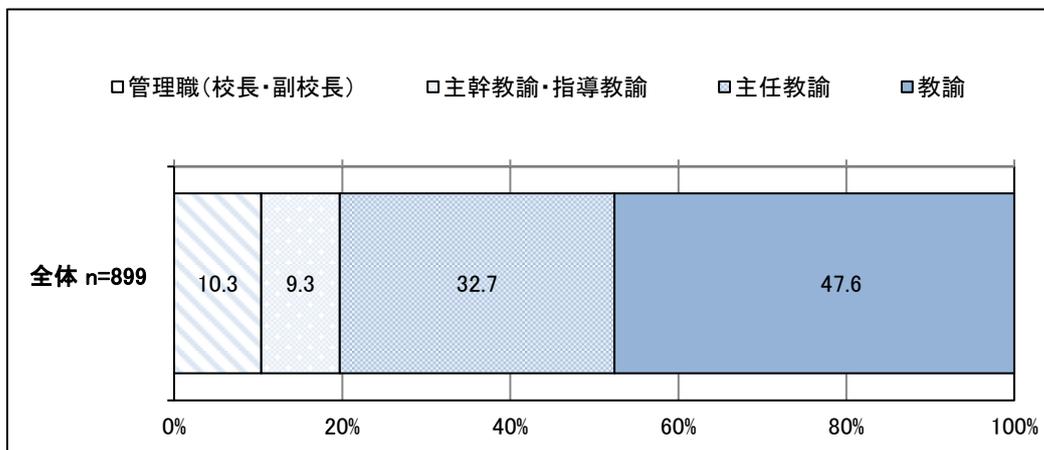


(図表Ⅱ-3-4)

第Ⅱ章 調査回答者の属性

⑤ 役職

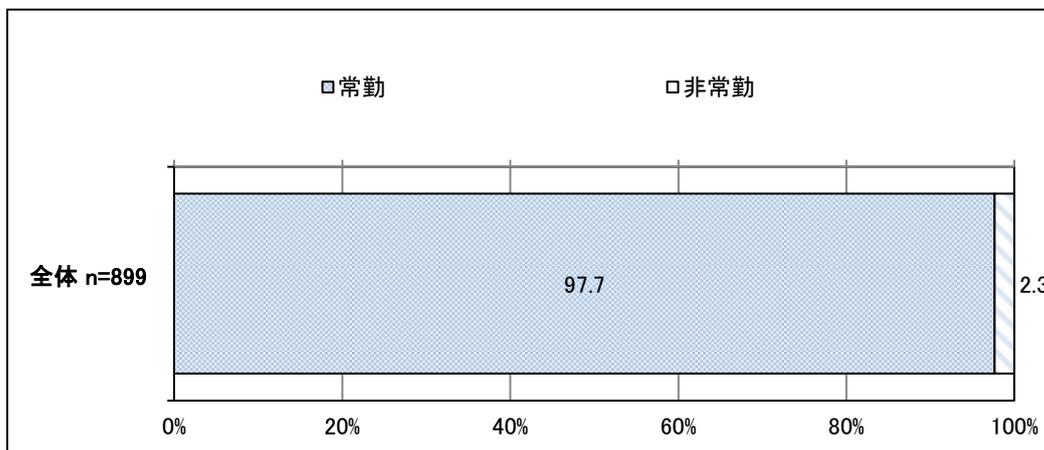
| | | 回答数 | % |
|---|-------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | 管理職(校長・副校長) | 93 | 10.3 |
| 2 | 主幹教諭・指導教諭 | 84 | 9.3 |
| 3 | 主任教諭 | 294 | 32.7 |
| 4 | 教諭 | 428 | 47.6 |



(図表Ⅱ-3-5)

⑥ 雇用形態

| | | 回答数 | % |
|---|-----|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | 常勤 | 878 | 97.7 |
| 2 | 非常勤 | 21 | 2.3 |



(図表Ⅱ-3-6)

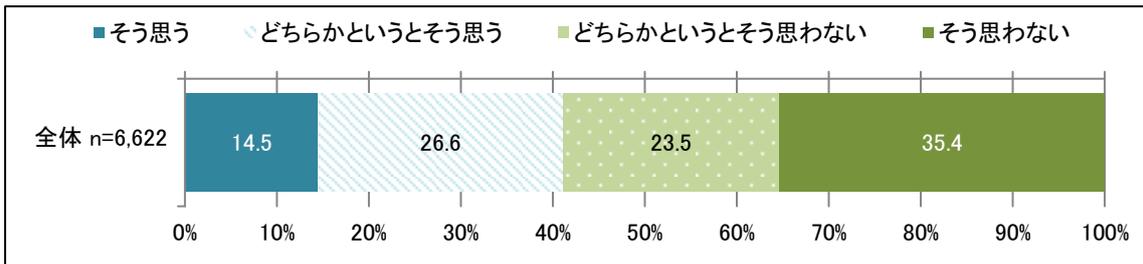
第Ⅲ章 調査結果の概要

1 児童

A 自身に関すること

(1) 「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある (SA)

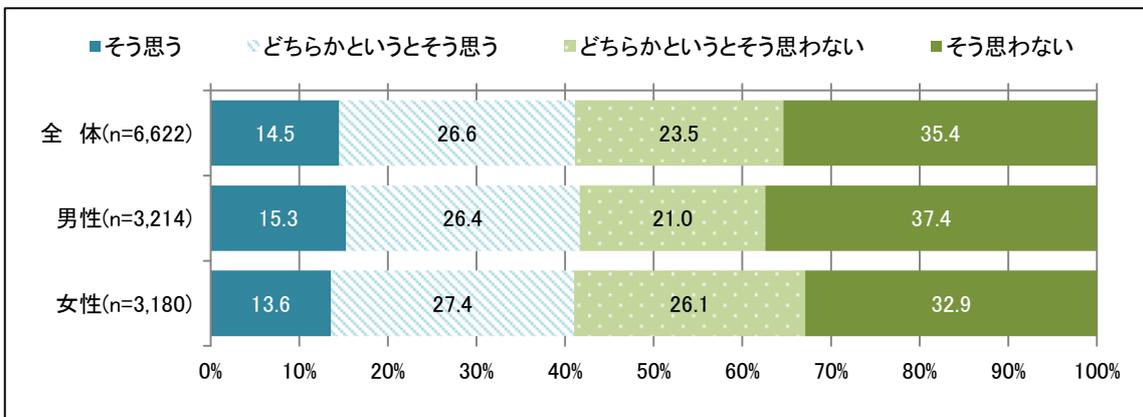
| | | 回答数 | % |
|----|--------------|------|-------|
| 全体 | | 6622 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 962 | 14.5 |
| 2 | どちらかというと思う | 1760 | 26.6 |
| 3 | どちらかというと思わない | 1557 | 23.5 |
| 4 | そう思わない | 2343 | 35.4 |



(図表 III-1-1)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は4割超え

| | | 計 | そう 思う | ど ち ら か の 思 う と 思 う | ど ち ら か の 思 わ な い | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|---------------|-------------|--|---|----------------------------|
| 全 体 | | 6622 100.0 | 962 14.5 | 1760 26.6 | 1557 23.5 | 2343 35.4 |
| 性 別 | 男性 | 3214 100.0 | 491 15.3 | 847 26.4 | 674 21.0 | 1202 37.4 |
| | 女性 | 3180 100.0 | 432 13.6 | 872 27.4 | 830 26.1 | 1046 32.9 |
| | 回答しない | 228 100.0 | 39 17.1 | 41 18.0 | 53 23.2 | 95 41.7 |

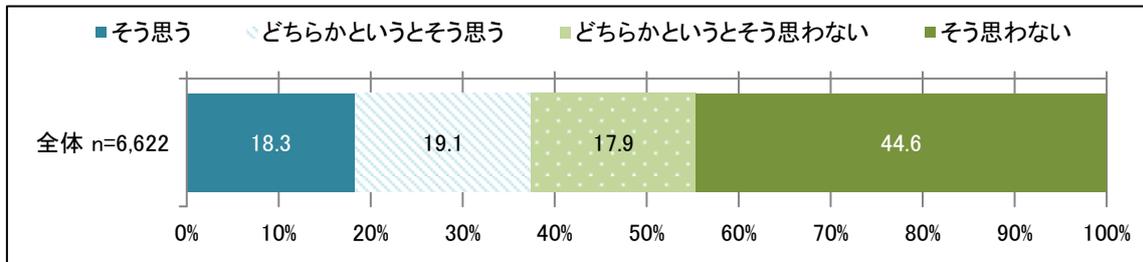


(図表 III-1-2)

○ 『「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある』については、「そう思う」(14.5%) 「どちらかとそう思う」(26.6%) の2つを合わせた《そう思う》(41.1%) で4割を超えている。

(2) 性別で教科の得意、不得意があると思う (SA)

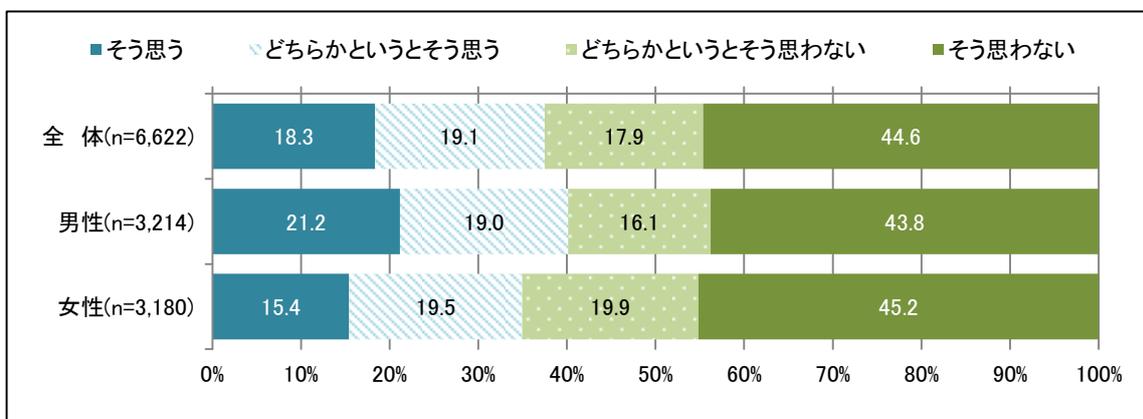
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|------|-------|
| | | 6622 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 1215 | 18.3 |
| 2 | どちらかというと思う | 1267 | 19.1 |
| 3 | どちらかというと思わない | 1184 | 17.9 |
| 4 | そう思わない | 2956 | 44.6 |



(図表 III-1-3)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は4割近く

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と | そ ど ち ら か と い う と | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|---------------|--------------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 6622 100.0 | 1215 18.3 | 1267 19.1 | 1184 17.9 | 2956 44.6 |
| 性 別 | 男性 | 3214 100.0 | 680 21.2 | 610 19.0 | 517 16.1 | 1407 43.8 |
| | 女性 | 3180 100.0 | 491 15.4 | 621 19.5 | 632 19.9 | 1436 45.2 |
| | 回答しない | 228 100.0 | 44 19.3 | 36 15.8 | 35 15.4 | 113 49.6 |

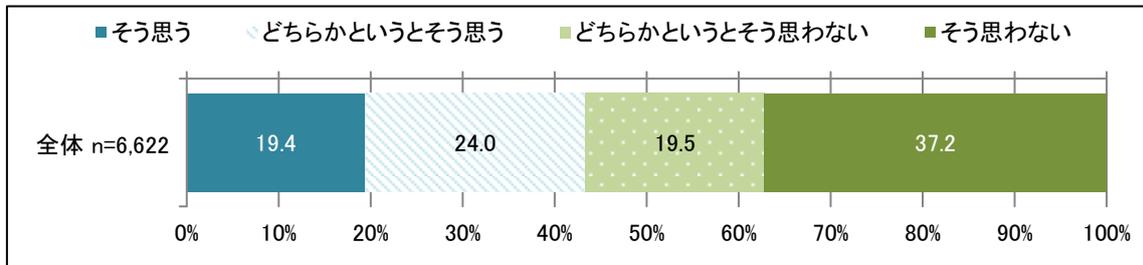


(図表 III-1-4)

○ 「性別で教科の得意、不得意があると思う」については、「そう思う」(18.3%)と「どちらかというと思う」(19.1%)の2つを合わせた《そう思う》(37.4%)で4割近くとなっている。

(3) (将来の仕事について) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

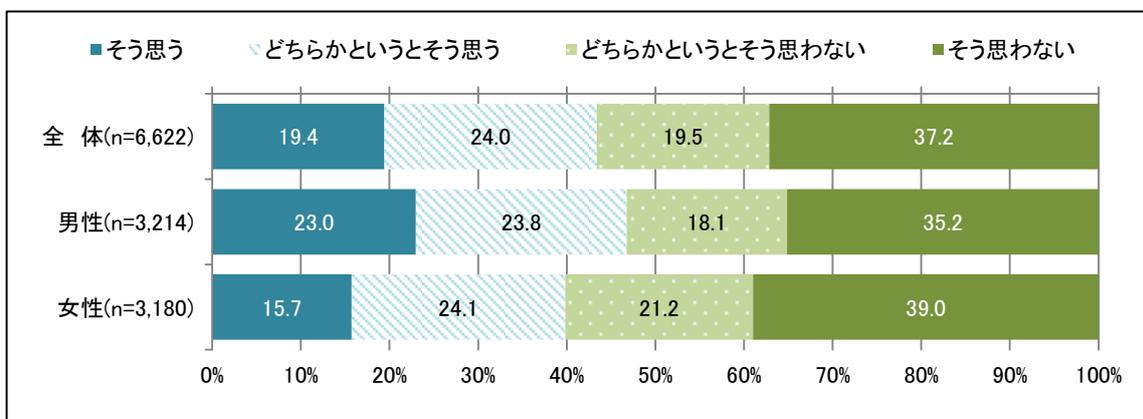
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|------|-------|
| | | 6622 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 1286 | 19.4 |
| 2 | どちらかというと思う | 1587 | 24.0 |
| 3 | どちらかというと思わない | 1288 | 19.5 |
| 4 | そう思わない | 2461 | 37.2 |



(図表Ⅲ-1-5)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は4割超え

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と | そ ど ち ら か と い う と | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|---------------|--------------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 6622 100.0 | 1286 19.4 | 1587 24.0 | 1288 19.5 | 2461 37.2 |
| 性 別 | 男性 | 3214 100.0 | 739 23.0 | 764 23.8 | 581 18.1 | 1130 35.2 |
| | 女性 | 3180 100.0 | 500 15.7 | 767 24.1 | 673 21.2 | 1240 39.0 |
| | 回答しない | 228 100.0 | 47 20.6 | 56 24.6 | 34 14.9 | 91 39.9 |

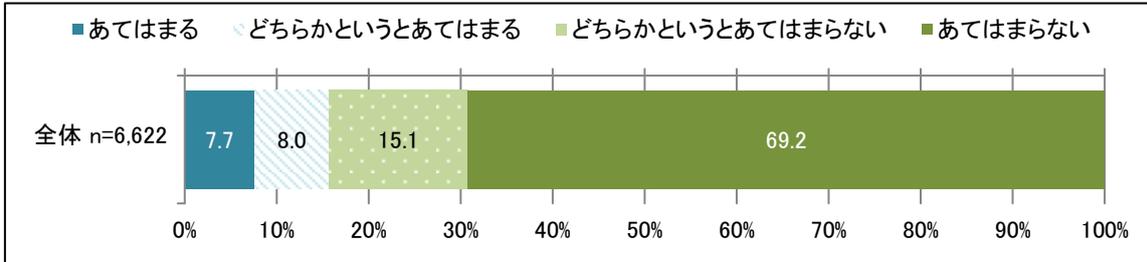


(図表Ⅲ-1-6)

○ 「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」については、「そう思う」(19.4%)と「どちらかというと思う」(24.0%)の2つを合わせた《そう思う》(43.4%)で4割を超えている。

(4) 「男の子なんだから」「女の子なんだから」と先生に言われたことがある (SA)

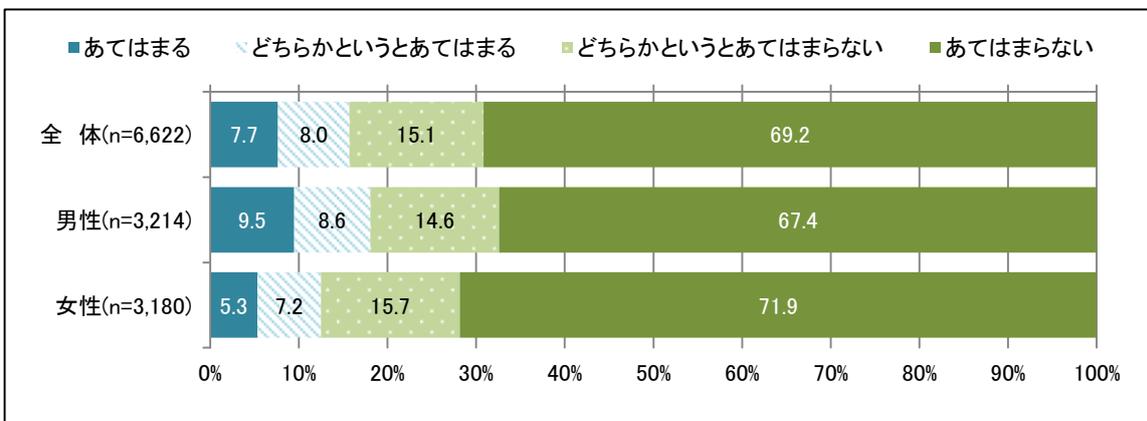
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|------|-------|
| | | 6622 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 507 | 7.7 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 533 | 8.0 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 1001 | 15.1 |
| 4 | あてはまらない | 4581 | 69.2 |



(図表 III-1-7)

◇ 「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は1割台半ば

| | | 計 | あてはまる | あてはまる どちらかという | あてはまる どちらかという | あてはまらない |
|----|-------|---------------|------------|------------------|------------------|--------------|
| 全体 | | 6622 100.0 | 507 7.7 | 533 8.0 | 1001 15.1 | 4581 69.2 |
| 性別 | 男性 | 3214 100.0 | 305 9.5 | 275 8.6 | 468 14.6 | 2166 67.4 |
| | 女性 | 3180 100.0 | 169 5.3 | 228 7.2 | 498 15.7 | 2285 71.9 |
| | 回答しない | 228 100.0 | 33 14.5 | 30 13.2 | 35 15.4 | 130 57.0 |

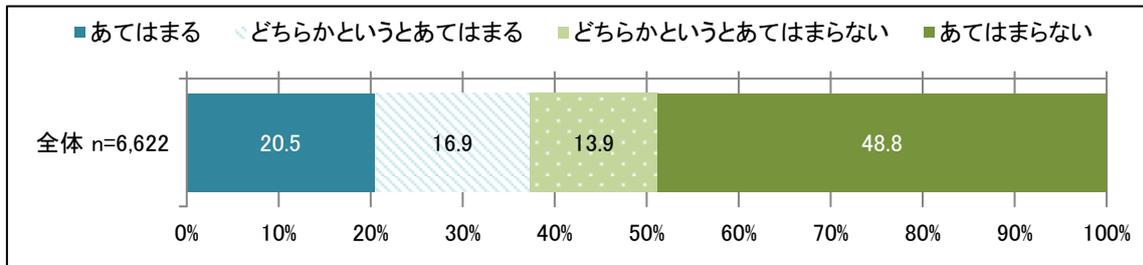


(図表 III-1-8)

○ 『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と先生に言われたことがある』については、「あてはまる」(7.7%)と「どちらかというにあてはまる」(8.0%)の2つを合わせた「あてはまる」(15.7%)で1割台半ばとなっている。

(5) 「男の子なんだから」「女の子なんだから」と親（保護者）に言われたことがある（SA）

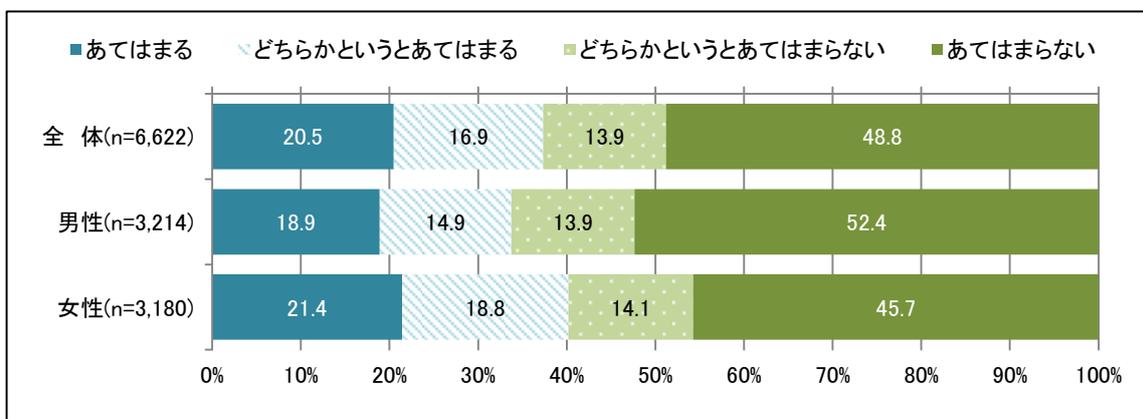
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|------|-------|
| | | 6622 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 1356 | 20.5 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 1117 | 16.9 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 918 | 13.9 |
| 4 | あてはまらない | 3231 | 48.8 |



(図表Ⅲ-1-9)

◇ 「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は4割近く

| | | 計 | あてはまる | あてはまるかという | あてはまらないう | あてはまらない |
|----|-------|---------------|--------------|--------------|-------------|--------------|
| 全体 | | 6622 100.0 | 1356 20.5 | 1117 16.9 | 918 13.9 | 3231 48.8 |
| 性別 | 男性 | 3214 100.0 | 607 18.9 | 478 14.9 | 446 13.9 | 1683 52.4 |
| | 女性 | 3180 100.0 | 681 21.4 | 597 18.8 | 448 14.1 | 1454 45.7 |
| | 回答しない | 228 100.0 | 68 29.8 | 42 18.4 | 24 10.5 | 94 41.2 |

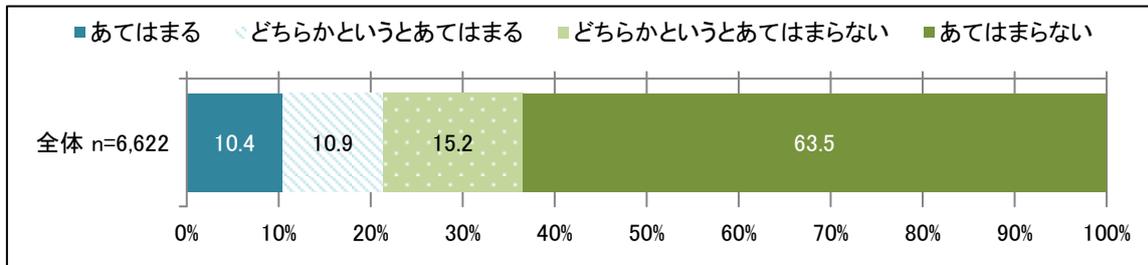


(図表Ⅲ-1-10)

○ 『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と親（保護者）に言われたことがある』については、「あてはまる」(20.5%)と「どちらかというにあてはまる」(16.9%)の2つを合わせた「あてはまる」(37.4%)で4割近くとなっている。

(6) 「男の子なんだから」「女の子なんだから」と祖父母や親戚など周りの大人に言われたことがある (SA)

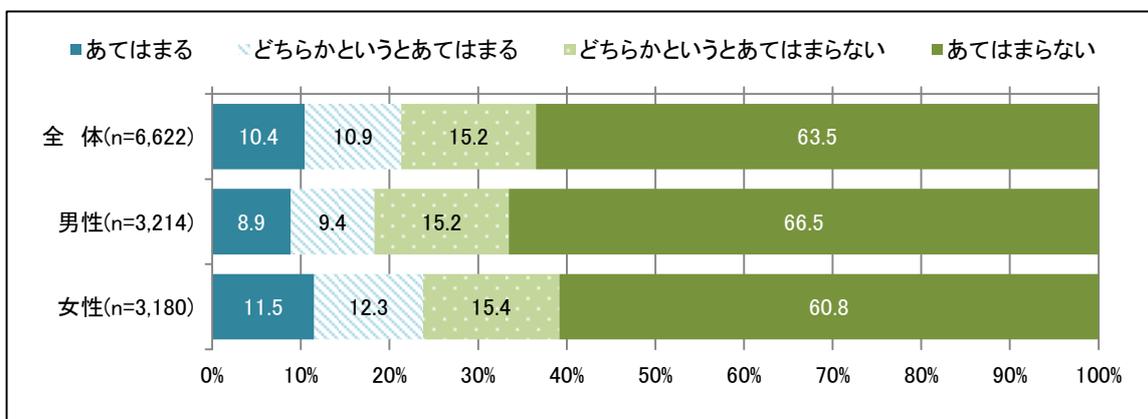
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|------|-------|
| | | 6622 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 691 | 10.4 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 722 | 10.9 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 1006 | 15.2 |
| 4 | あてはまらない | 4203 | 63.5 |



(図表 III-1-1 1)

◇ 「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は2割超え

| | | 計 | あてはまる | あてはまる どちらかという | あてはまる どちらかという | あてはまらない |
|----|-------|---------------|-------------|------------------|------------------|--------------|
| 全体 | | 6622 100.0 | 691 10.4 | 722 10.9 | 1006 15.2 | 4203 63.5 |
| 性別 | 男性 | 3214 100.0 | 285 8.9 | 303 9.4 | 488 15.2 | 2138 66.5 |
| | 女性 | 3180 100.0 | 366 11.5 | 390 12.3 | 489 15.4 | 1935 60.8 |
| | 回答しない | 228 100.0 | 40 17.5 | 29 12.7 | 29 12.7 | 130 57.0 |

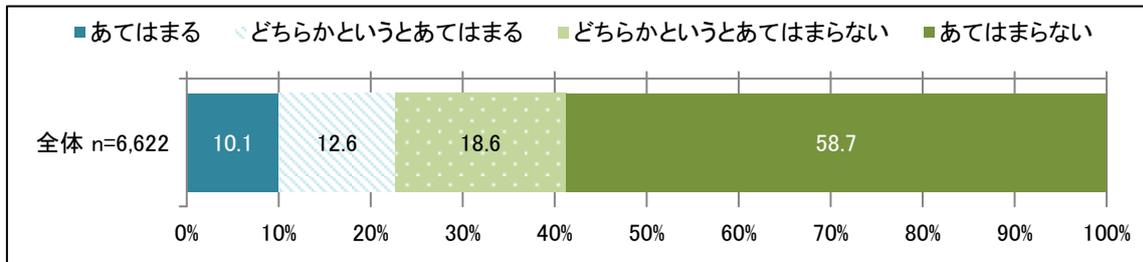


(図表 III-1-1 2)

○ 『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と祖父母や親戚など周りの大人に言われたことがある』については、「あてはまる」(10.4%)と「どちらかというにあてはまる」(10.9%)の2つを合わせた「あてはまる」(21.3%)で2割を超えている。

(7) 性別を理由に、思ったことが言えなかったことがある (SA)

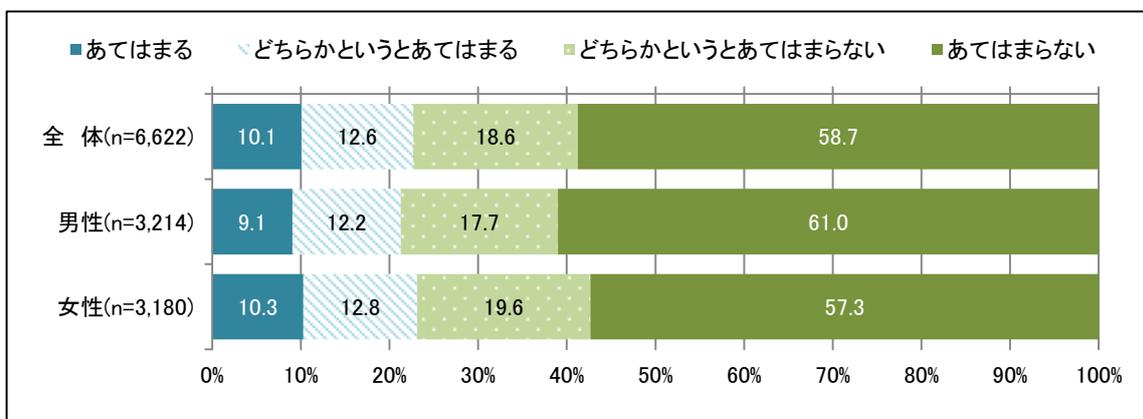
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|------|-------|
| | | 6622 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 668 | 10.1 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 833 | 12.6 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 1231 | 18.6 |
| 4 | あてはまらない | 3890 | 58.7 |



(図表 III-1-13)

◇ 「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は2割超え

| | | 計 | あてはまる | あてはまる どちらかという | あてはまる どちらかという | あてはまらない |
|----|-------|---------------|-------------|------------------|------------------|--------------|
| 全体 | | 6622 100.0 | 668 10.1 | 833 12.6 | 1231 18.6 | 3890 58.7 |
| 性別 | 男性 | 3214 100.0 | 291 9.1 | 392 12.2 | 570 17.7 | 1961 61.0 |
| | 女性 | 3180 100.0 | 327 10.3 | 408 12.8 | 622 19.6 | 1823 57.3 |
| | 回答しない | 228 100.0 | 50 21.9 | 33 14.5 | 39 17.1 | 106 46.5 |



(図表 III-1-14)

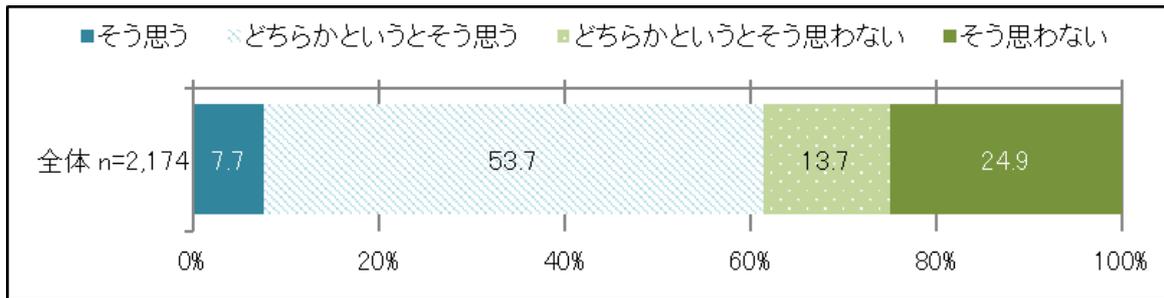
○ 「性別を理由に、思ったことが言えなかったことがある」については、「あてはまる」(10.1%)と「どちらかというにあてはまる」(12.6%)の2つを合わせた《あてはまる》(22.7%)で2割を超えている。

2 保護者

A 家庭に関すること

(1) 育児は女性の方が向いていると思う (S A)

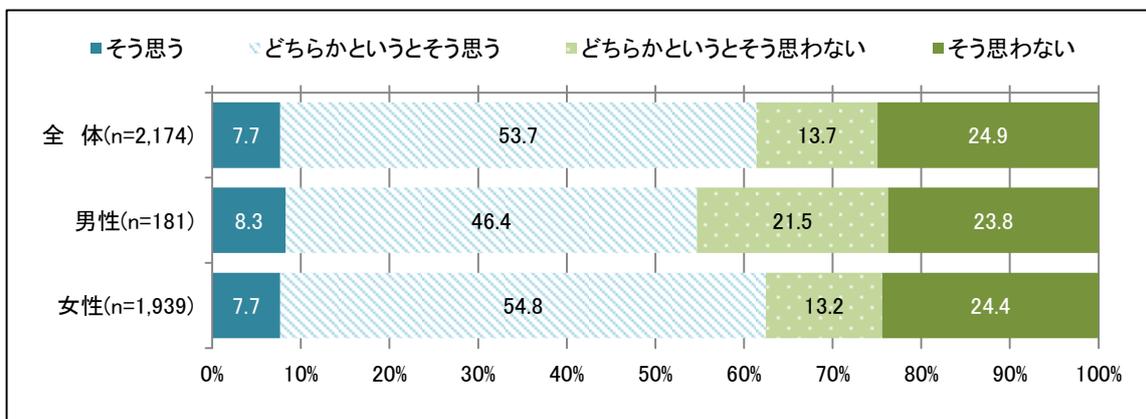
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 167 | 7.7 |
| 2 | どちらかというと思う | 1168 | 53.7 |
| 3 | どちらかというと思わない | 297 | 13.7 |
| 4 | そう思わない | 542 | 24.9 |



(図表Ⅲ-2-1)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は6割超え

| | | 計 | そう 思う | ど ち ら か の う と 思 う | ど ち ら か の う と 思 わ な い | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|-------|----------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 2174 | 167 | 1168 | 297 | 542 |
| | | 100.0 | 7.7 | 53.7 | 13.7 | 24.9 |
| 性 別 | 男性 | 181 | 15 | 84 | 39 | 43 |
| | | 100.0 | 8.3 | 46.4 | 21.5 | 23.8 |
| | 女性 | 1939 | 149 | 1062 | 255 | 473 |
| | | 100.0 | 7.7 | 54.8 | 13.2 | 24.4 |
| | その他 | 5 | 1 | 1 | 2 | 1 |
| | | 100.0 | 20.0 | 20.0 | 40.0 | 20.0 |
| | 回答しない | 49 | 2 | 21 | 1 | 25 |
| | | 100.0 | 4.1 | 42.9 | 2.0 | 51.0 |

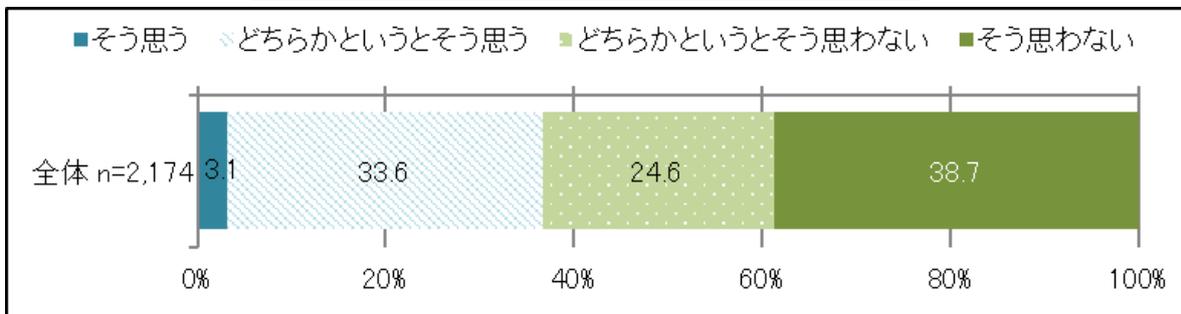


(図表Ⅲ-2-2)

○ 「育児は女性の方が向いていると思う」については、「そう思う」(7.7%)と「どちらかというと思う」(53.7%)の2つを合わせた《そう思う》(61.4%)で6割を超えている。

(2) 家事は女性の方が向いていると思う (SA)

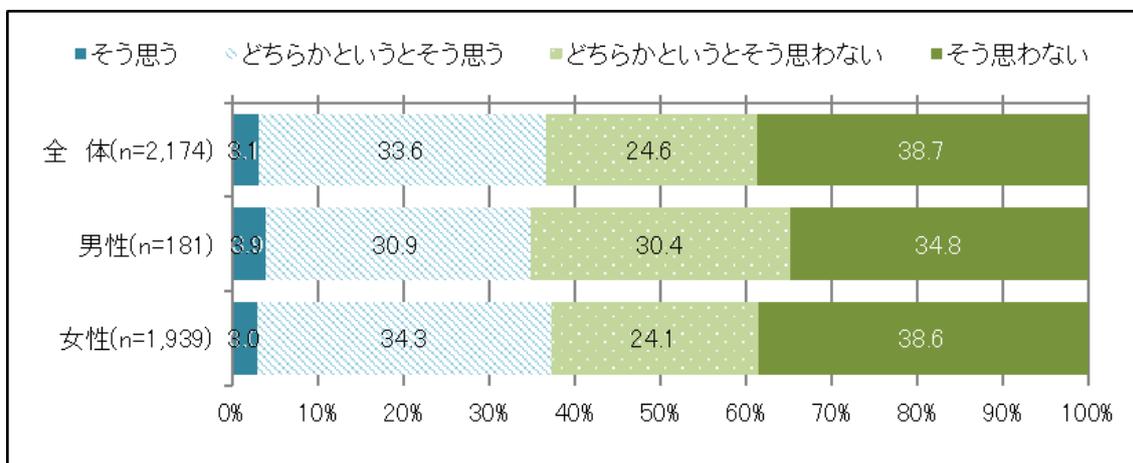
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 68 | 3.1 |
| 2 | どちらかというと思う | 730 | 33.6 |
| 3 | どちらかというと思わない | 534 | 24.6 |
| 4 | そう思わない | 842 | 38.7 |



(図表Ⅲ-2-3)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は4割近く

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と | そ ど ち ら か と い う と 思 わ な い | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|---------------|-----------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 2174 100.0 | 68 3.1 | 730 33.6 | 534 24.6 | 842 38.7 |
| 性 別 | 男性 | 181 100.0 | 7 3.9 | 56 30.9 | 55 30.4 | 63 34.8 |
| | 女性 | 1939 100.0 | 59 3.0 | 665 34.3 | 467 24.1 | 748 38.6 |
| | その他 | 5 100.0 | 1 20.0 | 0 0.0 | 2 40.0 | 2 40.0 |
| | 回答しない | 49 100.0 | 1 2.0 | 9 18.4 | 10 20.4 | 29 59.2 |

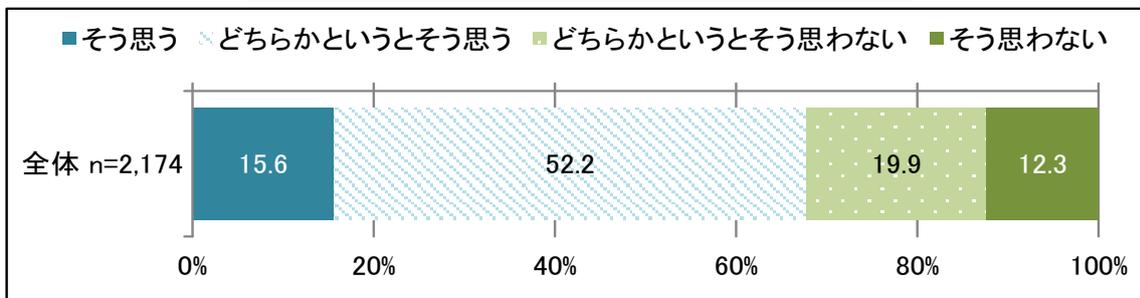


(図表Ⅲ-2-4)

○ 「家事は女性の方が向いていると思う」については、「そう思う」(3.1%)と「どちらかというと思う」(33.6%)の2つを合わせた《そう思う》(36.7%)で4割近くとなっている。

(3) 「男性だから」「女性だから」と思うことがある (SA)

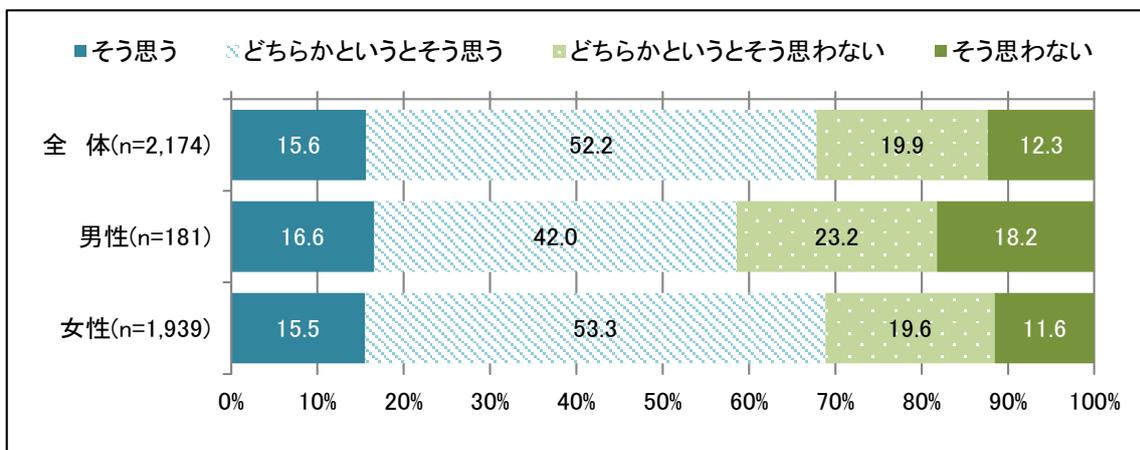
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 340 | 15.6 |
| 2 | どちらかというと思う | 1134 | 52.2 |
| 3 | どちらかというと思わない | 432 | 19.9 |
| 4 | そう思わない | 268 | 12.3 |



(図表Ⅲ-2-5)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は7割近く

| | | 計 | そう思う | どちらかというと思う | どちらかというと思わない | そう思わない |
|----|-------|---------------|-------------|--------------|--------------|-------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 340 15.6 | 1134 52.2 | 432 19.9 | 268 12.3 |
| 性別 | 男性 | 181 100.0 | 30 16.6 | 76 42.0 | 42 23.2 | 33 18.2 |
| | 女性 | 1939 100.0 | 301 15.5 | 1034 53.3 | 380 19.6 | 224 11.6 |
| | その他 | 5 100.0 | 3 60.0 | 1 20.0 | 1 20.0 | 0 0.0 |
| | 回答しない | 49 100.0 | 6 12.2 | 23 46.9 | 9 18.4 | 11 22.4 |

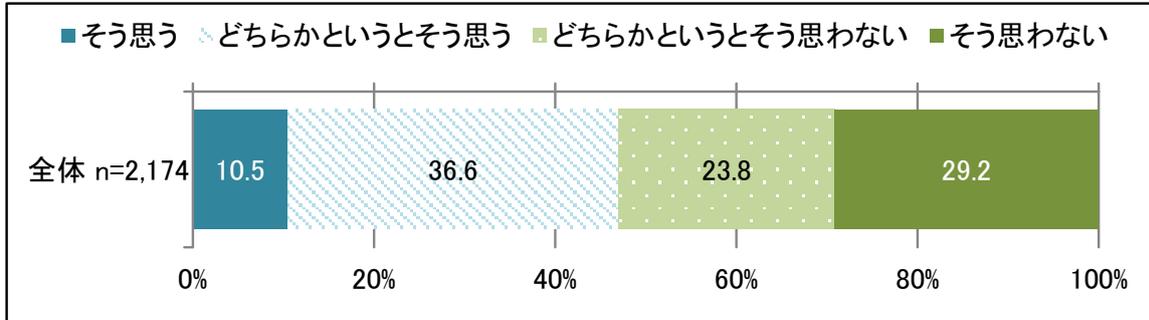


(図表Ⅲ-2-6)

○ 『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』については、「そう思う」(15.6%)と「どちらかというと思う」(52.2%)の2つを合わせた《そう思う》(67.8%)で7割近くとなっている。また、男性《そう思う》(58.6%)と女性《そう思う》(68.8%)で回答割合の差が大きかった。

(4) 服の色など「男の子らしい」又は「女の子らしい」色があると思う (SA)

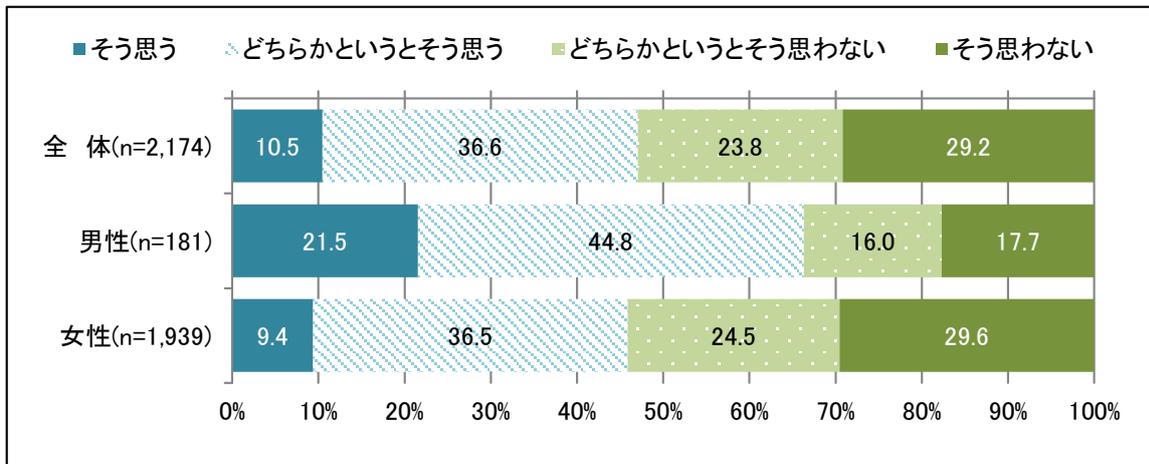
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 228 | 10.5 |
| 2 | どちらかというと思う | 795 | 36.6 |
| 3 | どちらかというと思わない | 517 | 23.8 |
| 4 | そう思わない | 634 | 29.2 |



(図表Ⅲ-2-7)

◇「そう思う」「どちらかというと思う」は5割近く

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と | そ ど ち ら か と い う と 思 わ な い | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|---------------|-------------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 2174 100.0 | 228 10.5 | 795 36.6 | 517 23.8 | 634 29.2 |
| 性 別 | 男性 | 181 100.0 | 39 21.5 | 81 44.8 | 29 16.0 | 32 17.7 |
| | 女性 | 1939 100.0 | 182 9.4 | 708 36.5 | 476 24.5 | 573 29.6 |
| | その他 | 5 100.0 | 2 40.0 | 0 0.0 | 1 20.0 | 2 40.0 |
| | 回答しない | 49 100.0 | 5 10.2 | 6 12.2 | 11 22.4 | 27 55.1 |

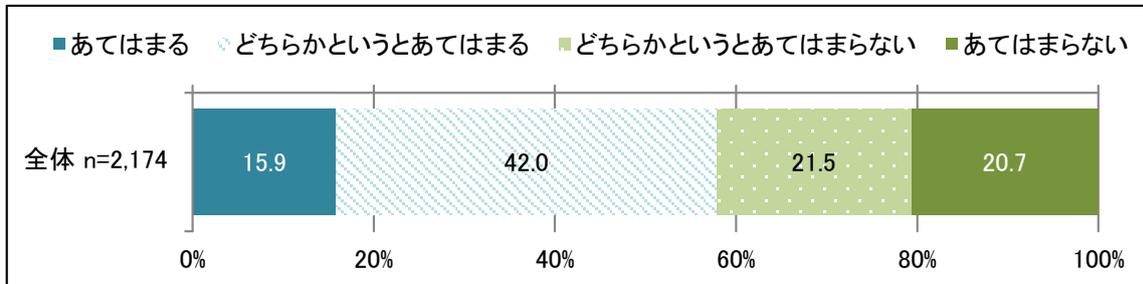


(図表Ⅲ-2-8)

○『服の色など「男の子らしい」又は「女の子らしい」色があると思う』については、「そう思う」(10.5%)と「どちらかというと思う」(36.6%)の2つを合わせた「そう思う」(47.1%)で5割近くとなっている。また、男性「そう思う」(66.3%)と女性「そう思う」(45.9%)で回答割合の差が大きかった。

(5) 子どもの日用品やおもちゃを性別を意識して選んでいる (S A)

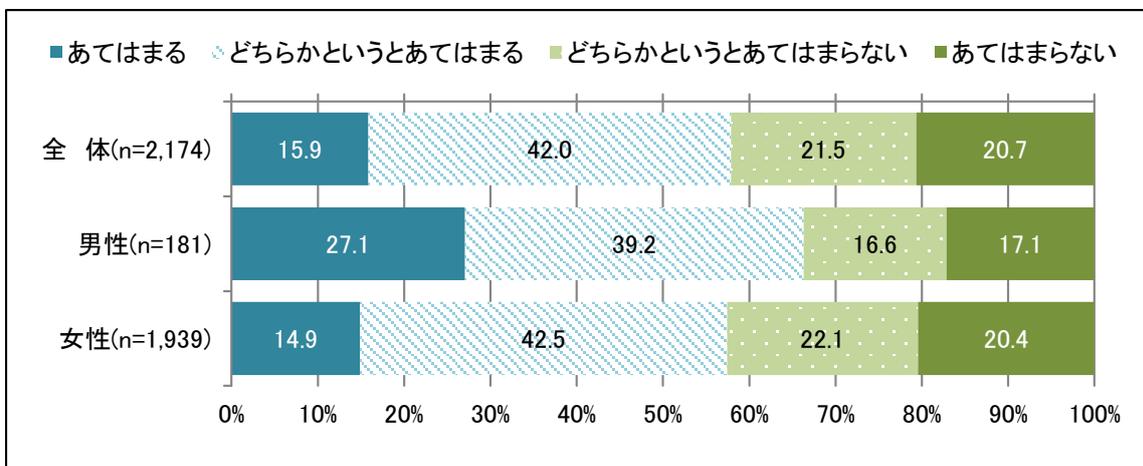
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 345 | 15.9 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 913 | 42.0 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 467 | 21.5 |
| 4 | あてはまらない | 449 | 20.7 |



(図表Ⅲ-2-9)

◇ 「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は6割近く

| | | 計 | あてはまる | あてはまるかという | あてはまらないかという | あてはまらない |
|-----|-------|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 2174 100.0 | 345 15.9 | 913 42.0 | 467 21.5 | 449 20.7 |
| 性別 | 男性 | 181 100.0 | 49 27.1 | 71 39.2 | 30 16.6 | 31 17.1 |
| | 女性 | 1939 100.0 | 289 14.9 | 825 42.5 | 429 22.1 | 396 20.4 |
| | その他 | 5 100.0 | 2 40.0 | 1 20.0 | 1 20.0 | 1 20.0 |
| | 回答しない | 49 100.0 | 5 10.2 | 16 32.7 | 7 14.3 | 21 42.9 |

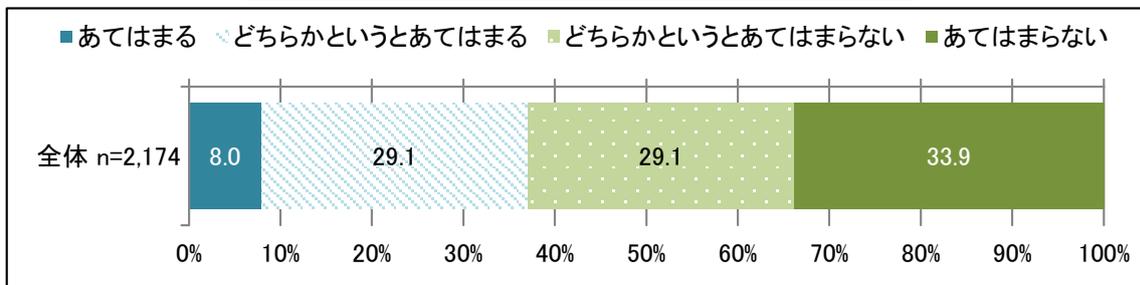


(図表Ⅲ-2-10)

○ 「子どもの日用品やおもちゃを性別を意識して選んでいる」については、「あてはまる」(15.9%)と「どちらかというにあてはまる」(42.0%)の2つを合わせた「あてはまる」(57.9%)が6割近くとなっている。

(6) 「男の子なんだから」「女の子なんだから」と子どもに言うことがある (SA)

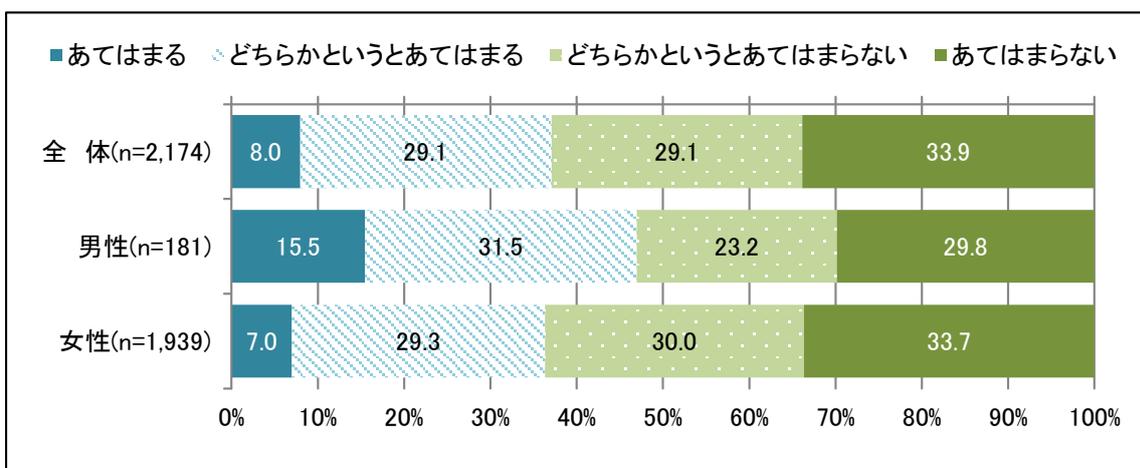
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 173 | 8.0 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 633 | 29.1 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 632 | 29.1 |
| 4 | あてはまらない | 736 | 33.9 |



(図表 III-2-1-1)

◇ 「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は4割近く

| | | 計 | あてはまる | あてはまる どちらかという | あてはまる どちらかという | あてはまらない |
|----|-------|---------------|------------|------------------|------------------|-------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 173 8.0 | 633 29.1 | 632 29.1 | 736 33.9 |
| 性別 | 男性 | 181 100.0 | 28 15.5 | 57 31.5 | 42 23.2 | 54 29.8 |
| | 女性 | 1939 100.0 | 136 7.0 | 568 29.3 | 582 30.0 | 653 33.7 |
| | その他 | 5 100.0 | 3 60.0 | 1 20.0 | 1 20.0 | 0 0.0 |
| | 回答しない | 49 100.0 | 6 12.2 | 7 14.3 | 7 14.3 | 29 59.2 |



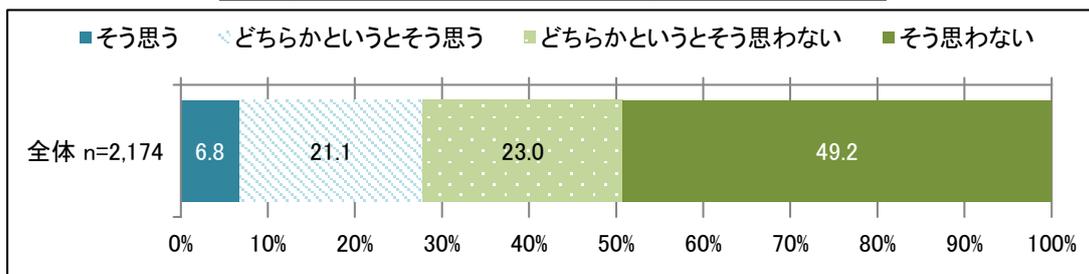
(図表 III-2-1-2)

○ 『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と子どもに言うことがある』については、「あてはまる」(8.0%)と「どちらかというにあてはまる」(29.1%)の2つを合わせた「あてはまる」(37.1%)で4割近くとなっている。また、男性「あてはまる」(47.0%)と女性「あてはまる」(36.3%)で回答割合の差が大きかった。

B 教員に関すること

(7) 子どもの担任の先生の性別が気になってしまう (S A)

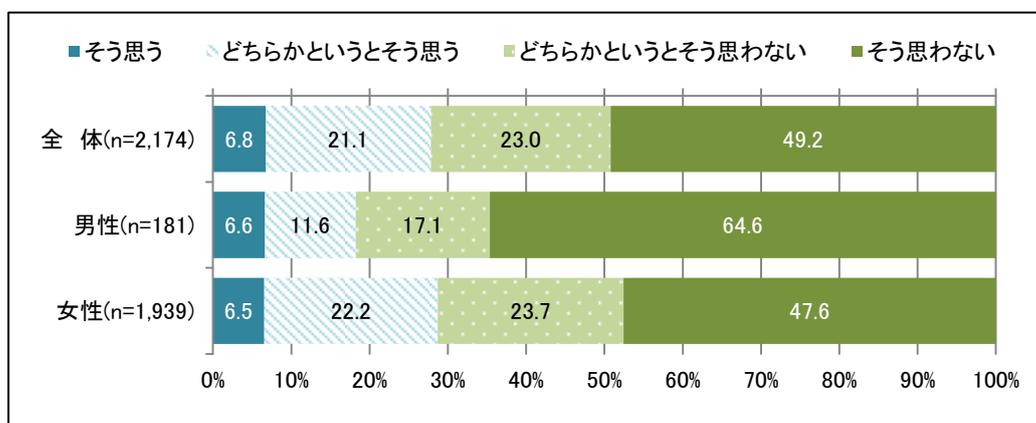
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 147 | 6.8 |
| 2 | どちらかというと思う | 458 | 21.1 |
| 3 | どちらかというと思わない | 499 | 23.0 |
| 4 | そう思わない | 1070 | 49.2 |



(図表 III-2-13)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は3割近く

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と | そ ど ち ら か と い う と | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|-------|----------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 2174 | 147 | 458 | 499 | 1070 |
| | | 100.0 | 6.8 | 21.1 | 23.0 | 49.2 |
| 性 別 | 男性 | 181 | 12 | 21 | 31 | 117 |
| | | 100.0 | 6.6 | 11.6 | 17.1 | 64.6 |
| | 女性 | 1939 | 127 | 430 | 460 | 922 |
| | | 100.0 | 6.5 | 22.2 | 23.7 | 47.6 |
| | その他 | 5 | 1 | 1 | 1 | 2 |
| | | 100.0 | 20.0 | 20.0 | 20.0 | 40.0 |
| | 回答しない | 49 | 7 | 6 | 7 | 29 |
| | | 100.0 | 14.3 | 12.2 | 14.3 | 59.2 |

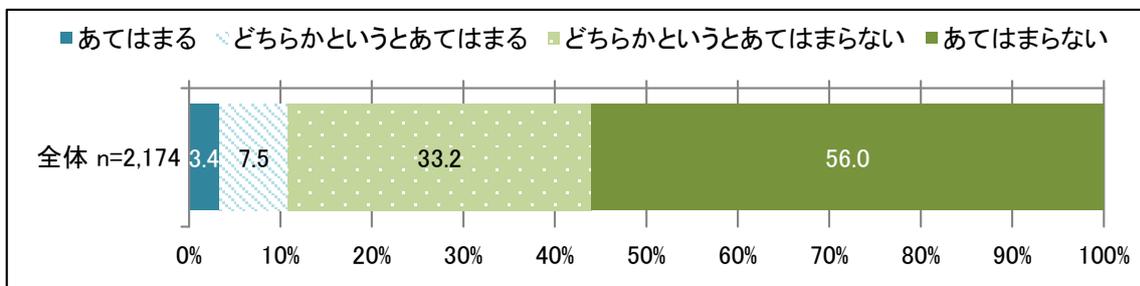


(図表 III-2-14)

○ 「子どもの担任の先生の性別が気になってしまう」については、「そう思う」(6.8%)と「どちらかというと思う」(21.1%)の2つを合わせた《そう思う》(27.9%)で3割近くとなっている。また、男性《そう思う》(18.2%)と女性《そう思う》(28.7%)で回答割合の差が大きかった。

(8) 学校での児童の役割分担が性別で割り振られていることがあった (S A)

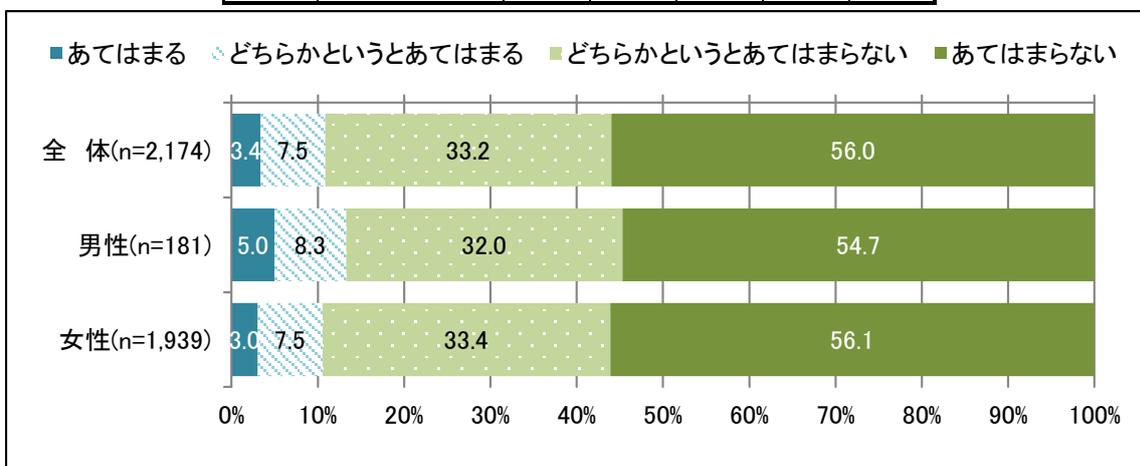
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 73 | 3.4 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 163 | 7.5 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 721 | 33.2 |
| 4 | あてはまらない | 1217 | 56.0 |



(図表 III-2-15)

◇ 「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」はほぼ1割

| | | 計 | あてはまる | あてはまるかという | あてはまらないという | あてはまらない |
|-----|-------|---------------|-----------|------------|-------------|--------------|
| 全 体 | | 2174 100.0 | 73 3.4 | 163 7.5 | 721 33.2 | 1217 56.0 |
| 性別 | 男性 | 181 100.0 | 9 5.0 | 15 8.3 | 58 32.0 | 99 54.7 |
| | 女性 | 1939 100.0 | 59 3.0 | 145 7.5 | 647 33.4 | 1088 56.1 |
| | その他 | 5 100.0 | 3 60.0 | 0 0.0 | 1 20.0 | 1 20.0 |
| | 回答しない | 49 100.0 | 2 4.1 | 3 6.1 | 15 30.6 | 29 59.2 |

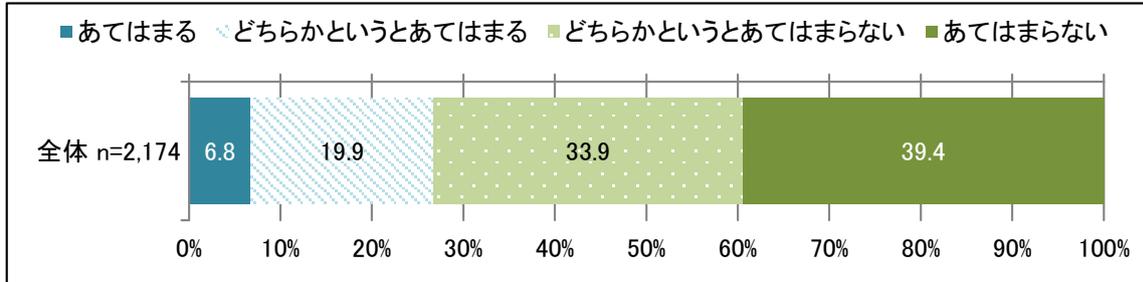


(図表 III-2-16)

○ 「学校での児童の役割分担が性別で割り振られていることがあった」については、「あてはまる」(3.4%)と「どちらかというにあてはまる」(7.5%)の2つを合わせた《あてはまる》(10.9%)でほぼ1割となっている。

(9) 教員の性別により、児童への接し方に違いがある (S A)

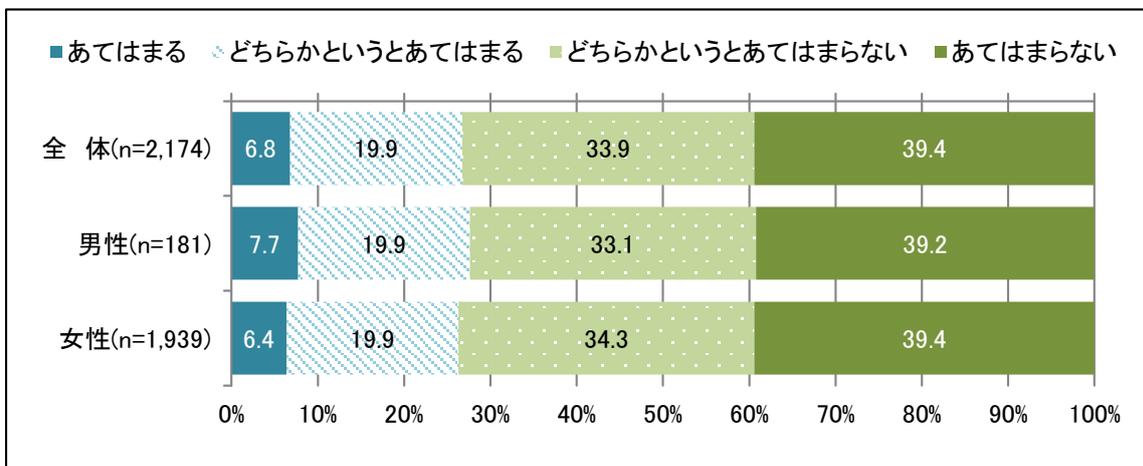
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 148 | 6.8 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 433 | 19.9 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 736 | 33.9 |
| 4 | あてはまらない | 857 | 39.4 |



(図表Ⅲ-2-17)

◇ 「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は3割近く

| | | 計 | あてはまる | どちらかというにあてはまる | どちらかというにあてはまらない | あてはまらない |
|----|-------|---------------|------------|---------------|-----------------|-------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 148 6.8 | 433 19.9 | 736 33.9 | 857 39.4 |
| 性別 | 男性 | 181 100.0 | 14 7.7 | 36 19.9 | 60 33.1 | 71 39.2 |
| | 女性 | 1939 100.0 | 124 6.4 | 386 19.9 | 665 34.3 | 764 39.4 |
| | その他 | 5 100.0 | 3 60.0 | 1 20.0 | 1 20.0 | 0 0.0 |
| | 回答しない | 49 100.0 | 7 14.3 | 10 20.4 | 10 20.4 | 22 44.9 |

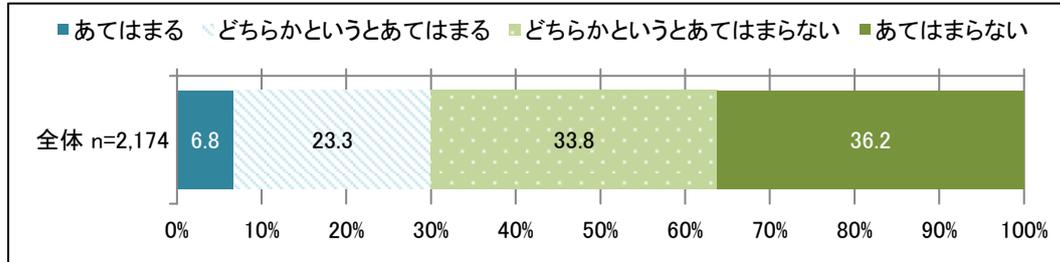


(図表Ⅲ-2-18)

○ 「教員の性別により、児童への接し方に違いがある」については、「あてはまる」(6.8%)と「どちらかというにあてはまる」(19.9%)の2つを合わせた《あてはまる》(26.7%)で3割近くとなっている。

(10) 児童の性別により、教員の接し方に違いがある (S A)

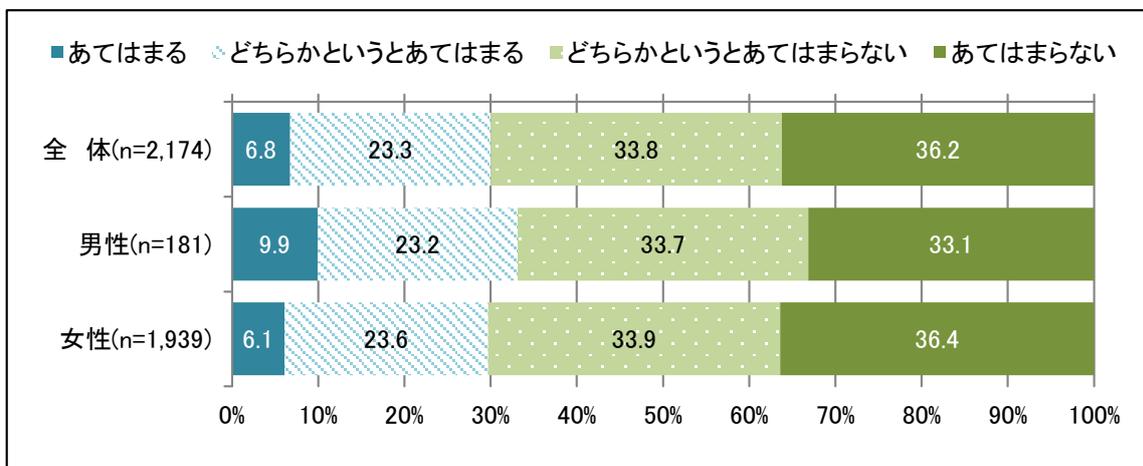
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 147 | 6.8 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 506 | 23.3 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 734 | 33.8 |
| 4 | あてはまらない | 787 | 36.2 |



(図表Ⅲ-2-19)

◇ 「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は3割

| | | 計 | あてはまる | あてはまる どちらかという と | あてはまる どちらかという と | あてはまらない |
|-----|-------|---------------|------------|-----------------------|-----------------------|-------------|
| 全 体 | | 2174 100.0 | 147 6.8 | 506 23.3 | 734 33.8 | 787 36.2 |
| 性別 | 男性 | 181 100.0 | 18 9.9 | 42 23.2 | 61 33.7 | 60 33.1 |
| | 女性 | 1939 100.0 | 118 6.1 | 458 23.6 | 657 33.9 | 706 36.4 |
| | その他 | 5 100.0 | 3 60.0 | 0 0.0 | 2 40.0 | 0 0.0 |
| | 回答しない | 49 100.0 | 8 16.3 | 6 12.2 | 14 28.6 | 21 42.9 |



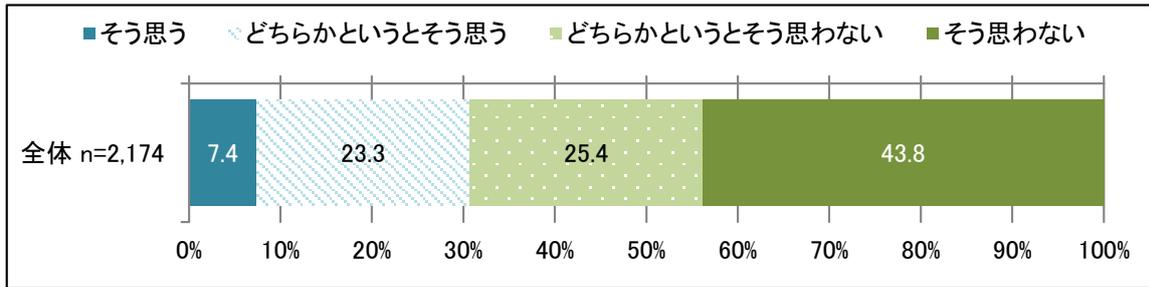
(図表Ⅲ-2-20)

○ 「児童の性別により、教員の接し方に違いがある」については、「あてはまる」(6.8%)と「どちらかというにあてはまる」(23.3%)の2つを合わせた「あてはまる」(30.1%)で3割となっている。

C 児童に関すること

(11) 性別で教科の得意、不得意があると思う (SA)

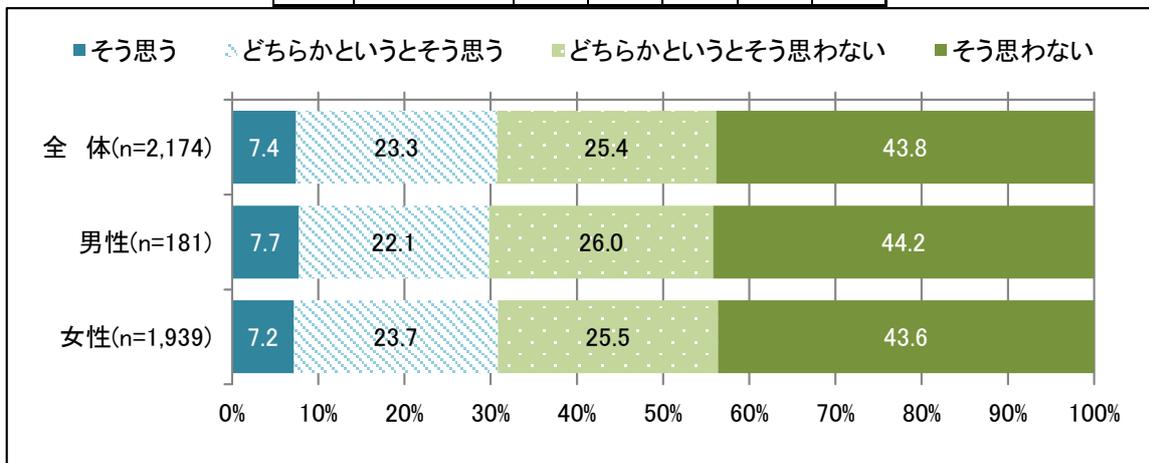
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 161 | 7.4 |
| 2 | どちらかというと思う | 507 | 23.3 |
| 3 | どちらかというと思わない | 553 | 25.4 |
| 4 | そう思わない | 953 | 43.8 |



(図表 III-2-21)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」はほぼ3割

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と | そ ど ち ら か と い う と 思 わ な い | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|-------|----------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 2174 | 161 | 507 | 553 | 953 |
| | | 100.0 | 7.4 | 23.3 | 25.4 | 43.8 |
| 性 別 | 男性 | 181 | 14 | 40 | 47 | 80 |
| | | 100.0 | 7.7 | 22.1 | 26.0 | 44.2 |
| | 女性 | 1939 | 139 | 459 | 495 | 846 |
| | | 100.0 | 7.2 | 23.7 | 25.5 | 43.6 |
| | その他 | 5 | 1 | 0 | 2 | 2 |
| | | 100.0 | 20.0 | 0.0 | 40.0 | 40.0 |
| | 回答しない | 49 | 7 | 8 | 9 | 25 |
| | | 100.0 | 14.3 | 16.3 | 18.4 | 51.0 |

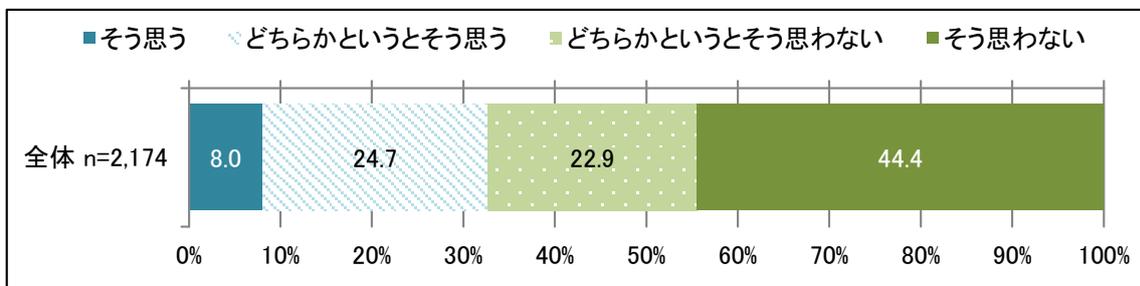


(図表 III-2-22)

○ 「性別で教科の得意、不得意があると思う」については、「そう思う」(7.4%)と「どちらかというと思う」(23.3%)の2つを合わせた《そう思う》(30.7%)ではほぼ3割となっている。

(1 2) 性別で子どもの進路を考えることがある (S A)

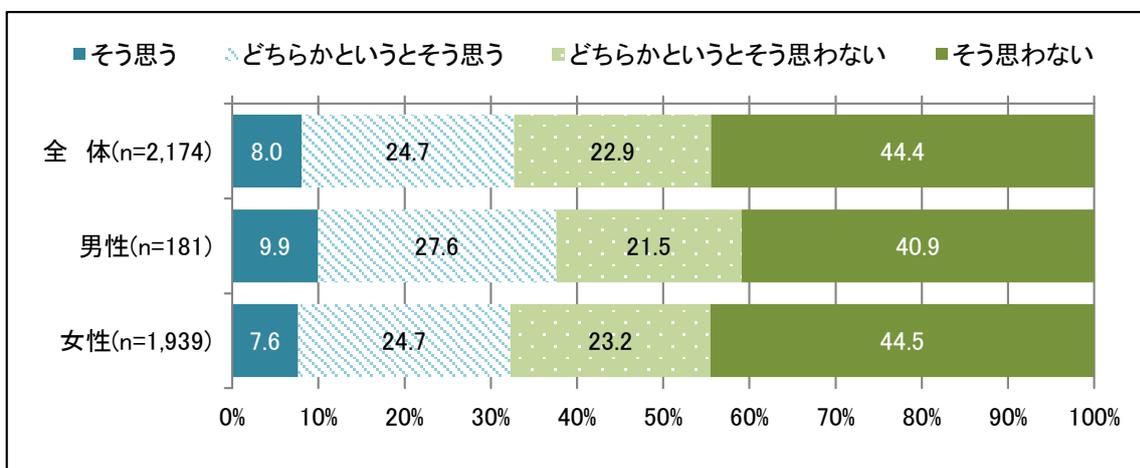
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 175 | 8.0 |
| 2 | どちらかというと思う | 536 | 24.7 |
| 3 | どちらかというと思わない | 497 | 22.9 |
| 4 | そう思わない | 966 | 44.4 |



(図表Ⅲ-2-23)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は3割超え

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と | そ ど ち ら か と い う と | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|---------------|------------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 2174 100.0 | 175 8.0 | 536 24.7 | 497 22.9 | 966 44.4 |
| 性 別 | 男性 | 181 100.0 | 18 9.9 | 50 27.6 | 39 21.5 | 74 40.9 |
| | 女性 | 1939 100.0 | 148 7.6 | 478 24.7 | 450 23.2 | 863 44.5 |
| | その他 | 5 100.0 | 3 60.0 | 0 0.0 | 1 20.0 | 1 20.0 |
| | 回答しない | 49 100.0 | 6 12.2 | 8 16.3 | 7 14.3 | 28 57.1 |

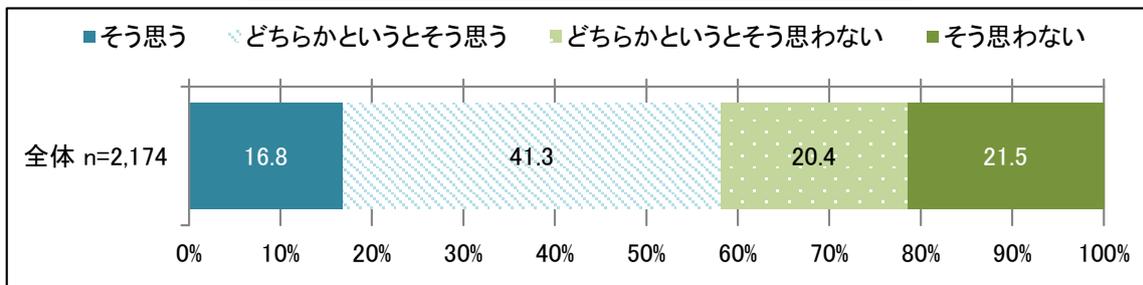


(図表Ⅲ-2-24)

○ 「性別で子どもの進路を考えることがある」については、「そう思う」(8.0%)と「どちらかというと思う」(24.7%)の2つを合わせた《そう思う》(32.7%)で3割を超えている。

(1 3) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (S A)

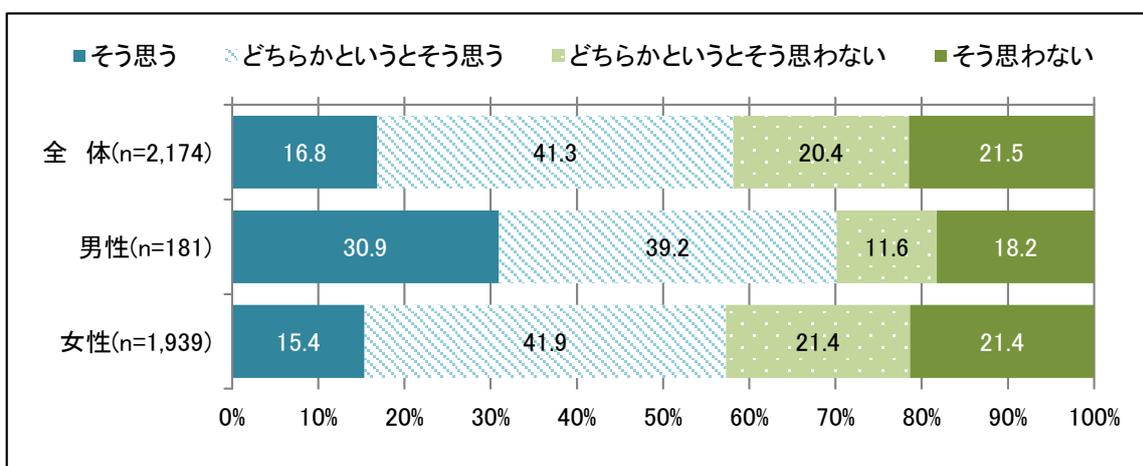
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 366 | 16.8 |
| 2 | どちらかというと思う | 898 | 41.3 |
| 3 | どちらかというと思わない | 443 | 20.4 |
| 4 | そう思わない | 467 | 21.5 |



(図表Ⅲ - 2 - 2 5)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は6割近く

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と 思 う | そ ど ち ら か と い う と 思 わ な い と い う と | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|---------------|-------------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 2174 100.0 | 366 16.8 | 898 41.3 | 443 20.4 | 467 21.5 |
| 性 別 | 男性 | 181 100.0 | 56 30.9 | 71 39.2 | 21 11.6 | 33 18.2 |
| | 女性 | 1939 100.0 | 298 15.4 | 813 41.9 | 414 21.4 | 414 21.4 |
| | その他 | 5 100.0 | 2 40.0 | 1 20.0 | 1 20.0 | 1 20.0 |
| | 回答しない | 49 100.0 | 10 20.4 | 13 26.5 | 7 14.3 | 19 38.8 |

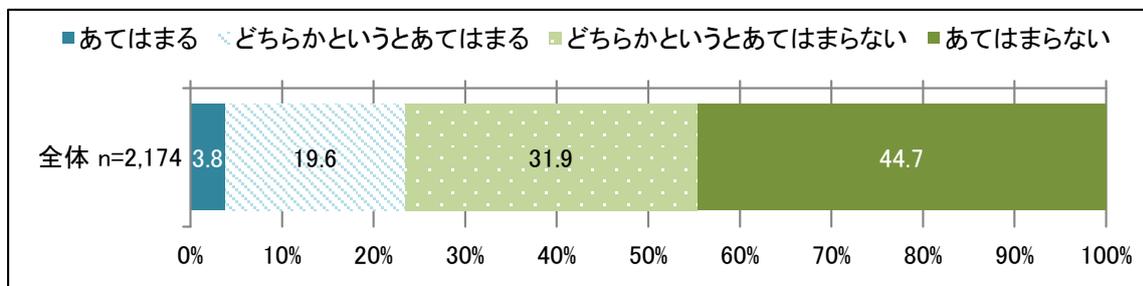


(図表Ⅲ - 2 - 2 6)

○ 「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」については、「そう思う」(16.8%)と「どちらかというと思う」(41.3%)の2つを合わせた《そう思う》(58.1%)で6割近くとなっている。また、男性《そう思う》(70.1%)と女性《そう思う》(57.3%)で回答割合の差が大きかった。

(14) 子供と接する時に、性別を意識して言動を変えている (SA)

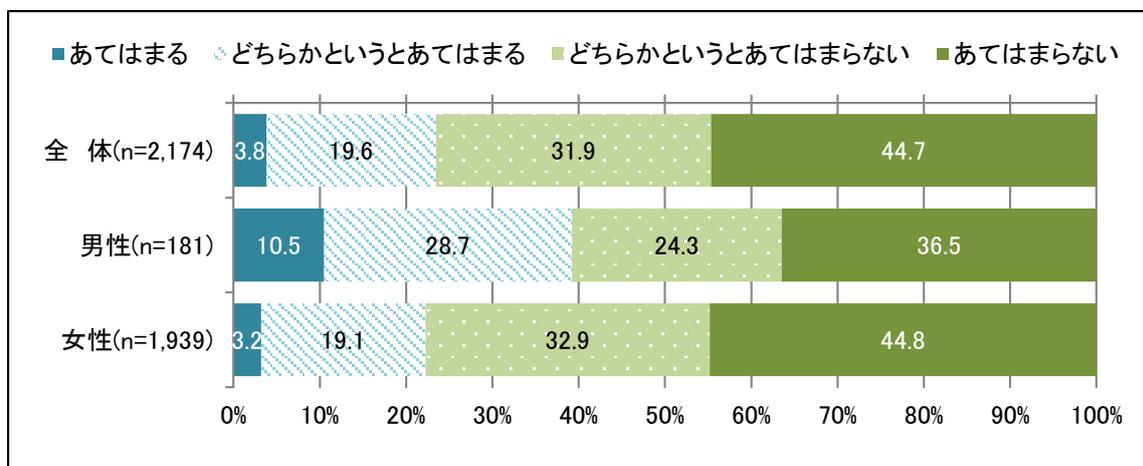
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 83 | 3.8 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 427 | 19.6 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 693 | 31.9 |
| 4 | あてはまらない | 971 | 44.7 |



(図表 III-2-27)

◇ 「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は2割超え

| | | 計 | あてはまる | あどちらかというにあてはまる | あどちらかというにあてはまらない | あてはまらない |
|-----|-------|---------------|------------|----------------|------------------|-------------|
| 全 体 | | 2174 100.0 | 83 3.8 | 427 19.6 | 693 31.9 | 971 44.7 |
| 性別 | 男性 | 181 100.0 | 19 10.5 | 52 28.7 | 44 24.3 | 66 36.5 |
| | 女性 | 1939 100.0 | 62 3.2 | 370 19.1 | 638 32.9 | 869 44.8 |
| | その他 | 5 100.0 | 1 20.0 | 1 20.0 | 1 20.0 | 2 40.0 |
| | 回答しない | 49 100.0 | 1 2.0 | 4 8.2 | 10 20.4 | 34 69.4 |

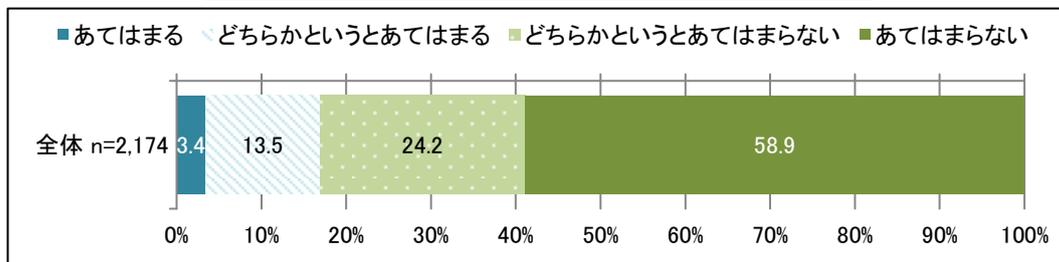


(図表 III-2-28)

○ 「子供と接する時に、性別を意識して言動を変えている」については、「あてはまる」(3.8%)と「どちらかというにあてはまる」(19.6%)の2つを合わせた《あてはまる》(23.4%)で2割を超えている。また、男性《あてはまる》(39.2%)と女性《あてはまる》(22.3%)で回答割合の差が大きかった。

(15) 性別で子どもの習い事を選んでいる (SA)

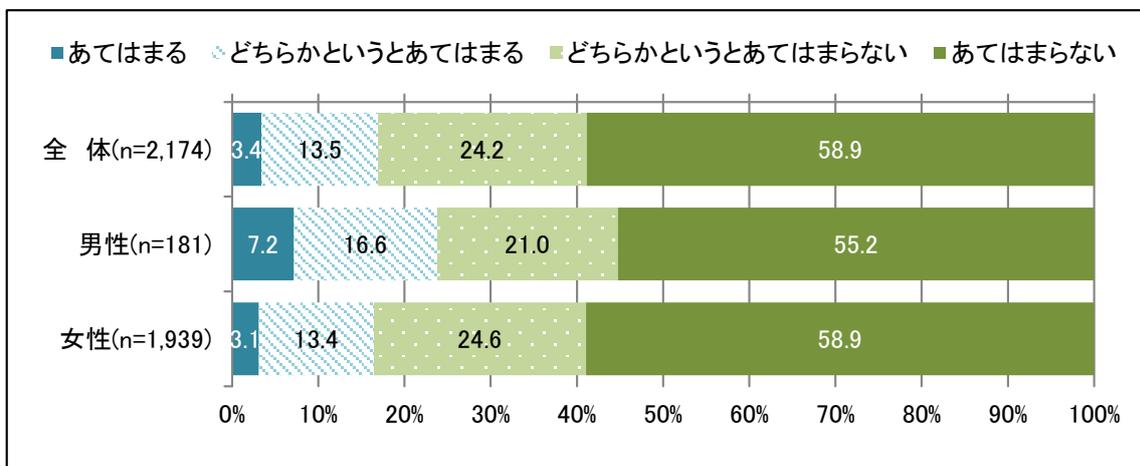
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 74 | 3.4 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 294 | 13.5 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 526 | 24.2 |
| 4 | あてはまらない | 1280 | 58.9 |



(図表Ⅲ-2-29)

◇ 「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は2割近く

| | | 計 | あてはまる | あてはまるかという | あてはまらないという | あてはまらない |
|-----|-------|---------------|-----------|-------------|-------------|--------------|
| 全 体 | | 2174 100.0 | 74 3.4 | 294 13.5 | 526 24.2 | 1280 58.9 |
| 性別 | 男性 | 181 100.0 | 13 7.2 | 30 16.6 | 38 21.0 | 100 55.2 |
| | 女性 | 1939 100.0 | 60 3.1 | 259 13.4 | 477 24.6 | 1143 58.9 |
| | その他 | 5 100.0 | 1 20.0 | 0 0.0 | 1 20.0 | 3 60.0 |
| | 回答しない | 49 100.0 | 0 0.0 | 5 10.2 | 10 20.4 | 34 69.4 |



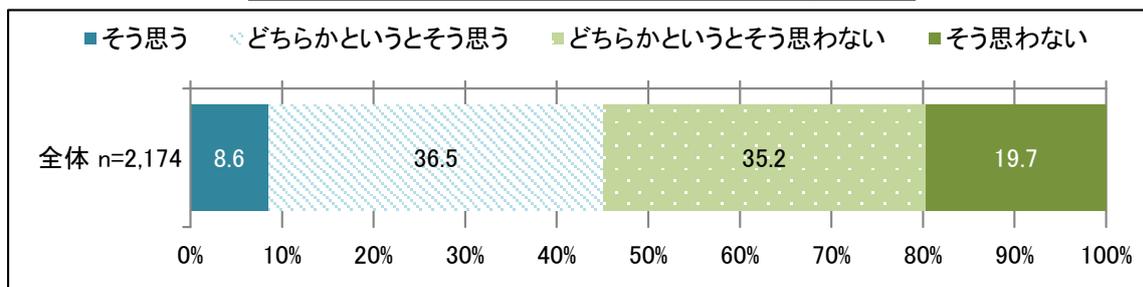
(図表Ⅲ-2-30)

○ 「性別で子どもの習い事を選んでいる」については、「あてはまる」(3.4%)と「どちらかというにあてはまる」(13.5%)の2つを合わせた《あてはまる》(16.9%)で2割近くとなっている。

D 無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) の認知度など

(16) 子どもとかかわるなかで無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) を意識している (SA)

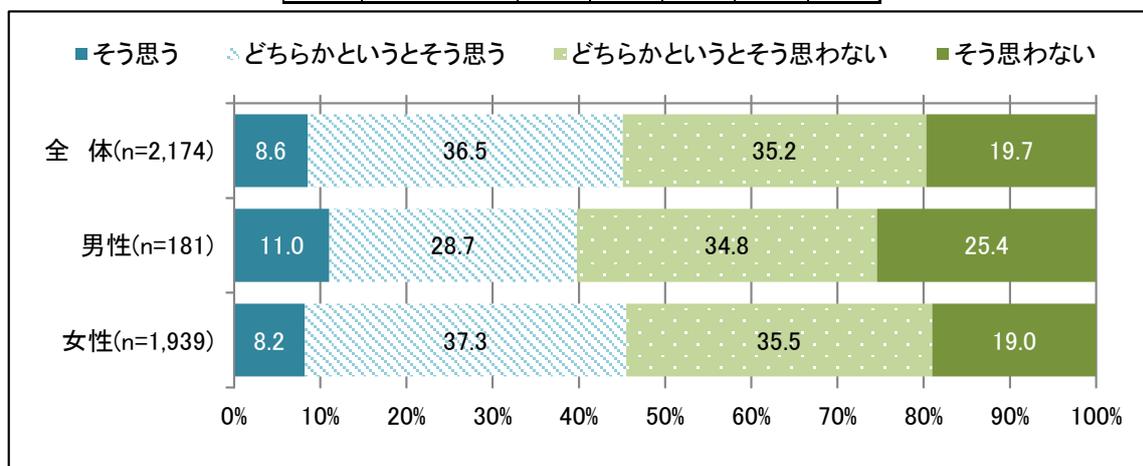
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 186 | 8.6 |
| 2 | どちらかというと思う | 794 | 36.5 |
| 3 | どちらかというと思わない | 766 | 35.2 |
| 4 | そう思わない | 428 | 19.7 |



(図表 III-2-3 1)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は4割台半ば

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と 思 う | そ ど ち ら か と い う と 思 わ な い | そ う 思 わ な い |
|-----|-------|---------------|------------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 2174 100.0 | 186 8.6 | 794 36.5 | 766 35.2 | 428 19.7 |
| 性 別 | 男性 | 181 100.0 | 20 11.0 | 52 28.7 | 63 34.8 | 46 25.4 |
| | 女性 | 1939 100.0 | 159 8.2 | 723 37.3 | 688 35.5 | 369 19.0 |
| | その他 | 5 100.0 | 0 0.0 | 2 40.0 | 1 20.0 | 2 40.0 |
| | 回答しない | 49 100.0 | 7 14.3 | 17 34.7 | 14 28.6 | 11 22.4 |

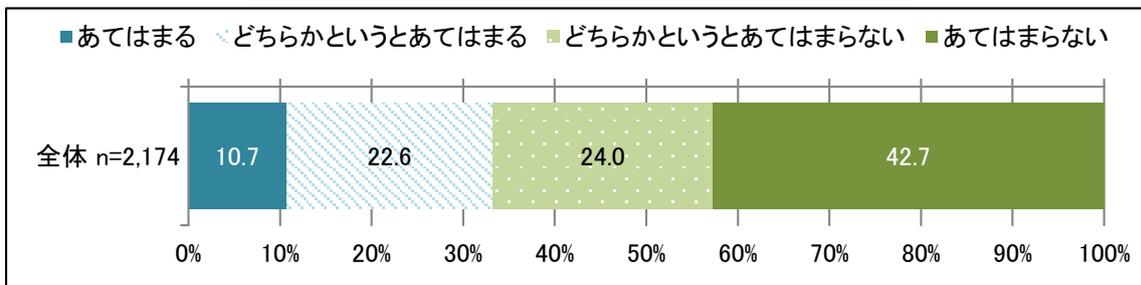


(図表 III-2-3 2)

○ 「子どもとかかわるなかで無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) を意識している」については、「そう思う」(8.6%)と「どちらかというと思う」(36.5%)の2つを合わせた「そう思う」(45.1%)で4割台半ばとなっている。

(17) 家族間で無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) について話をしたことがある (SA)

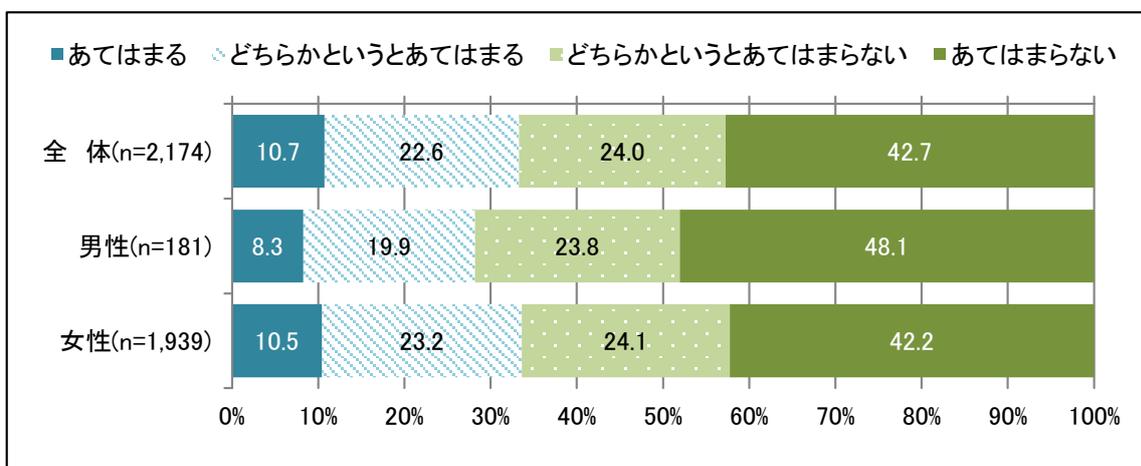
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 233 | 10.7 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 491 | 22.6 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 521 | 24.0 |
| 4 | あてはまらない | 929 | 42.7 |



(図表Ⅲ-2-33)

◇ 「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は3割超え

| | | 計 | あてはまる | あてはまる どちらかという と | あてはまる どちらかという と | あてはまらない |
|-----|-------|---------------|-------------|-----------------------|-----------------------|-------------|
| 全 体 | | 2174 100.0 | 233 10.7 | 491 22.6 | 521 24.0 | 929 42.7 |
| 性別 | 男性 | 181 100.0 | 15 8.3 | 36 19.9 | 43 23.8 | 87 48.1 |
| | 女性 | 1939 100.0 | 203 10.5 | 449 23.2 | 468 24.1 | 819 42.2 |
| | その他 | 5 100.0 | 0 0.0 | 2 40.0 | 0 0.0 | 3 60.0 |
| | 回答しない | 49 100.0 | 15 30.6 | 4 8.2 | 10 20.4 | 20 40.8 |

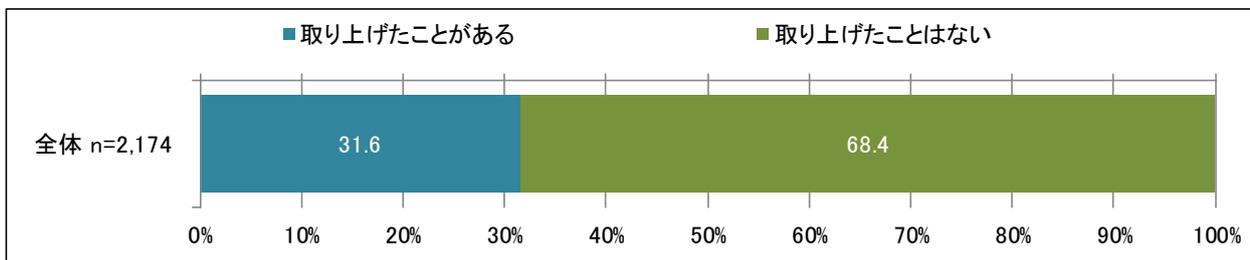


(図表Ⅲ-2-34)

○ 「家族間で無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) について話をしたことがある」については、「あてはまる」(10.7%)と「どちらかというにあてはまる」(22.6%)の2つを合わせた《あてはまる》(33.3%)で3割を超えている。

（18）子どもとの間で無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を取り上げたことがある（SA）

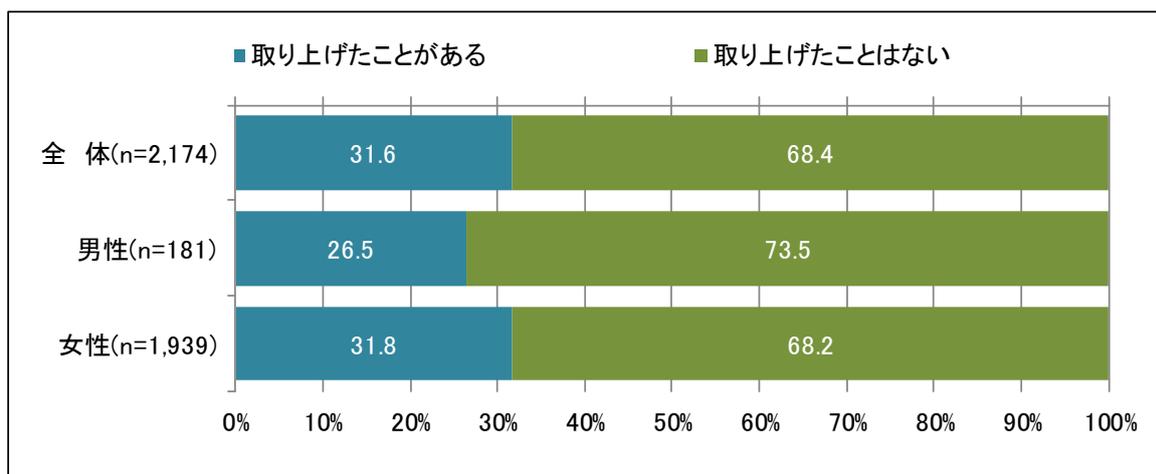
| | | 回答数 | % |
|---|------------|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | 取り上げたことがある | 688 | 31.6 |
| 2 | 取り上げたことはない | 1486 | 68.4 |



（図表Ⅲ-2-35）

◇ 「取り上げたことがある」は3割超え

| | | 計 | あ る 上 げ た こ と が | な い 上 げ た こ と は |
|--------|-------|-------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 全 体 | | 2174 | 688 | 1486 |
| | | 100.0 | 31.6 | 68.4 |
| 性 別 | 男性 | 181 | 48 | 133 |
| | | 100.0 | 26.5 | 73.5 |
| | 女性 | 1939 | 616 | 1323 |
| | | 100.0 | 31.8 | 68.2 |
| | その他 | 5 | 2 | 3 |
| | | 100.0 | 40.0 | 60.0 |
| | 回答しない | 49 | 22 | 27 |
| | | 100.0 | 44.9 | 55.1 |

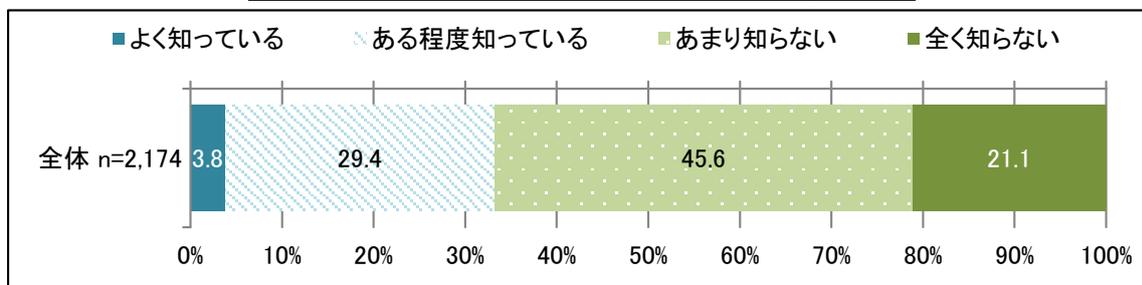


（図表Ⅲ-2-36）

○ 「子どもとの間で無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を取り上げたことがある」については、「取り上げたことがある」（31.6%）で3割を超えている。

（19）無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について、どの程度知っていますか（SA）

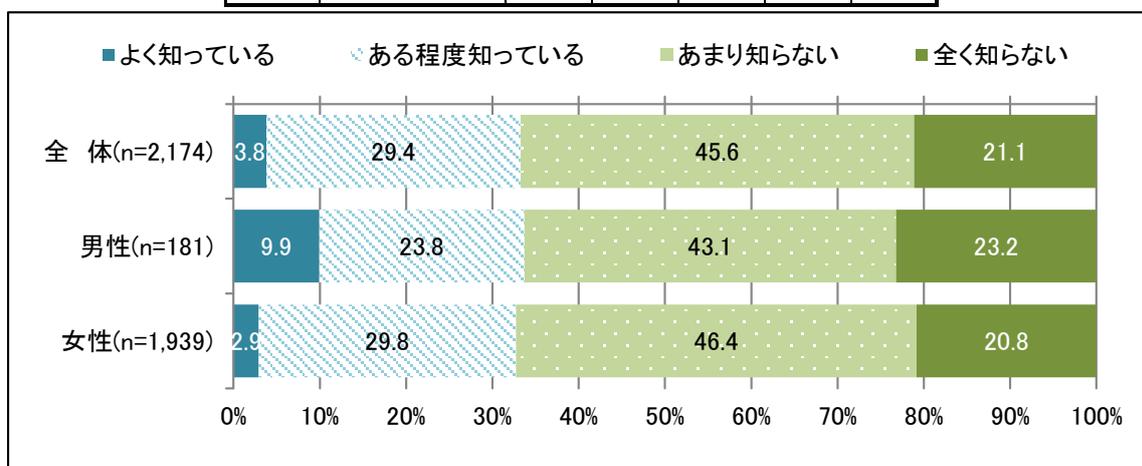
| | | 回答数 | % |
|---|-----------|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | よく知っている | 83 | 3.8 |
| 2 | ある程度知っている | 640 | 29.4 |
| 3 | あまり知らない | 992 | 45.6 |
| 4 | 全く知らない | 459 | 21.1 |



（図表Ⅲ-2-37）

◇ 「よく知っている」「ある程度知っている」は3割超え

| | | 計 | よく知っている | ある程度知っている | あまり知らない | 全く知らない |
|-----|-------|---------------|-----------|-------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 2174 100.0 | 83 3.8 | 640 29.4 | 992 45.6 | 459 21.1 |
| 性別 | 男性 | 181 100.0 | 18 9.9 | 43 23.8 | 78 43.1 | 42 23.2 |
| | 女性 | 1939 100.0 | 57 2.9 | 578 29.8 | 900 46.4 | 404 20.8 |
| | その他 | 5 100.0 | 2 40.0 | 2 40.0 | 1 20.0 | 0 0.0 |
| | 回答しない | 49 100.0 | 6 12.2 | 17 34.7 | 13 26.5 | 13 26.5 |

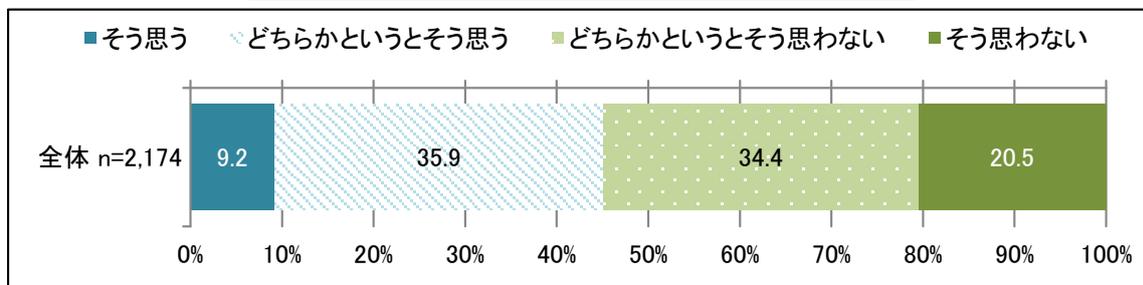


（図表Ⅲ-2-38）

○ 「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について、どの程度知っていますか」については、「よく知っている」（3.8%）と「ある程度知っている」（29.4%）の2つを合わせた《知っている》（33.2%）で3割を超えている。

(20) (自己啓発として) 無意識の思い込みについて、保護者講演会などがあれば受講したいか (SA)

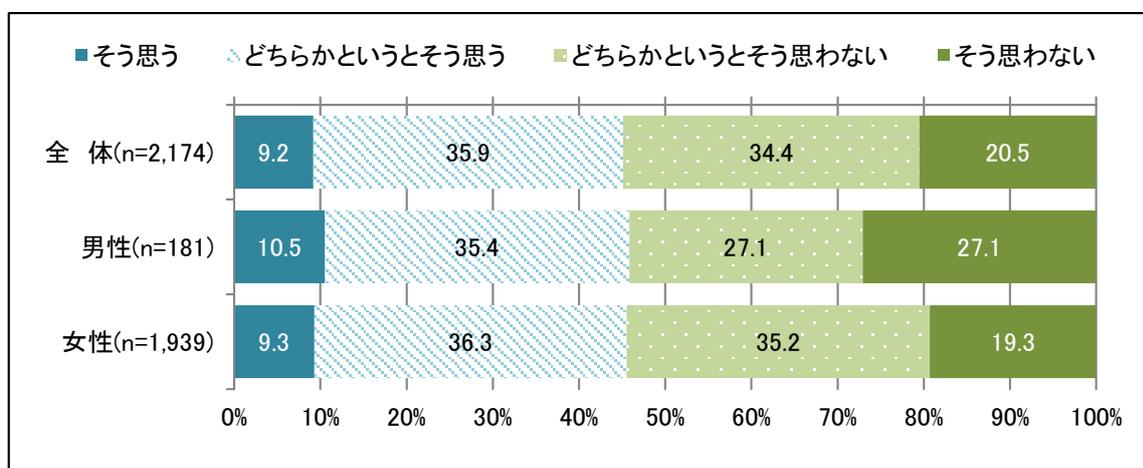
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|------|-------|
| | | 2174 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 200 | 9.2 |
| 2 | どちらかというと思う | 781 | 35.9 |
| 3 | どちらかというと思わない | 747 | 34.4 |
| 4 | そう思わない | 446 | 20.5 |



(図表Ⅲ-2-39)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は4割台半ば

| | | 計 | そう思う | そどちらかというと思う | そどちらかわかというと思う | そう思わない |
|----|-------|---------------|------------|-------------|---------------|-------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 200 9.2 | 781 35.9 | 747 34.4 | 446 20.5 |
| 性別 | 男性 | 181 100.0 | 19 10.5 | 64 35.4 | 49 27.1 | 49 27.1 |
| | 女性 | 1939 100.0 | 180 9.3 | 703 36.3 | 682 35.2 | 374 19.3 |
| | その他 | 5 100.0 | 1 20.0 | 0 0.0 | 1 20.0 | 3 60.0 |
| | 回答しない | 49 100.0 | 0 0.0 | 14 28.6 | 15 30.6 | 20 40.8 |



(図表Ⅲ-2-40)

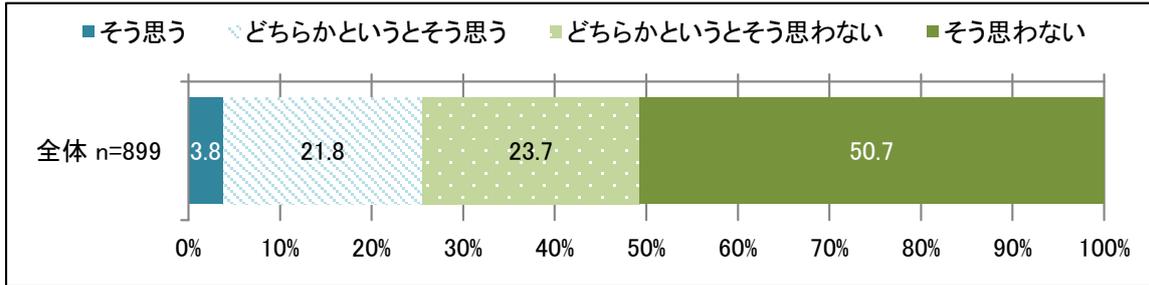
○ 「(自己啓発として) 無意識の思い込みについて、保護者講演会などがあれば受講したいか」については、「そう思う」(9.2%)と「どちらかというと思う」(35.9%)の2つを合わせた「そう思う」(45.1%)で4割台半ばとなっている。

3 教員

A 自身のキャリア・生活に関すること

(1) 男性の方が管理職に向いていると思う (S A)

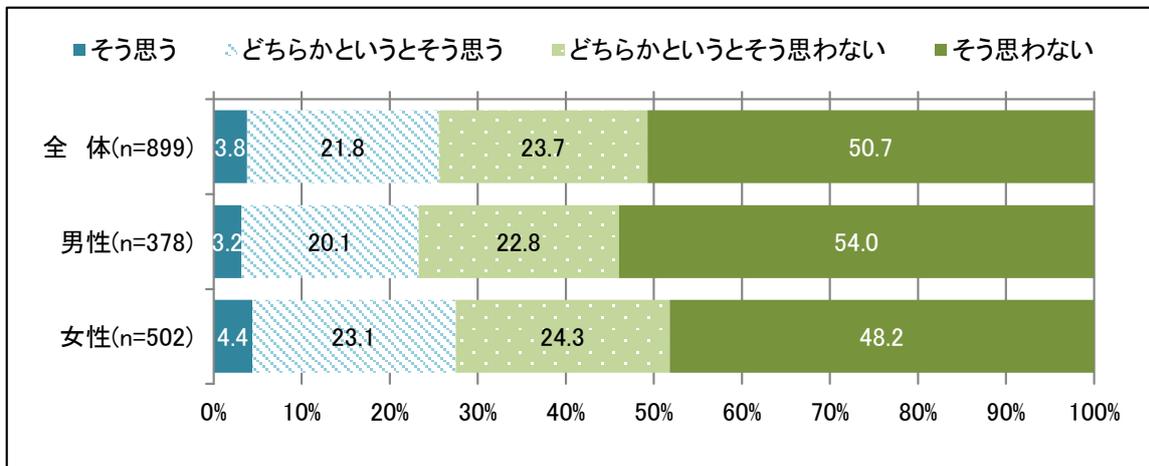
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 34 | 3.8 |
| 2 | どちらかというと思う | 196 | 21.8 |
| 3 | どちらかというと思わない | 213 | 23.7 |
| 4 | そう思わない | 456 | 50.7 |



(図表Ⅲ-3-1)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は2割台半ば

| | | 計 | そう思う | どちらかというと思う | どちらかというと思わない | そう思わない |
|----|-------|-------|------|------------|--------------|--------|
| 全体 | | 899 | 34 | 196 | 213 | 456 |
| | | 100.0 | 3.8 | 21.8 | 23.7 | 50.7 |
| 性別 | 男性 | 378 | 12 | 76 | 86 | 204 |
| | | 100.0 | 3.2 | 20.1 | 22.8 | 54.0 |
| | 女性 | 502 | 22 | 116 | 122 | 242 |
| | | 100.0 | 4.4 | 23.1 | 24.3 | 48.2 |
| | その他 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | | 100.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 50.0 |
| | 回答しない | 17 | 0 | 3 | 5 | 9 |
| | | 100.0 | 0.0 | 17.6 | 29.4 | 52.9 |

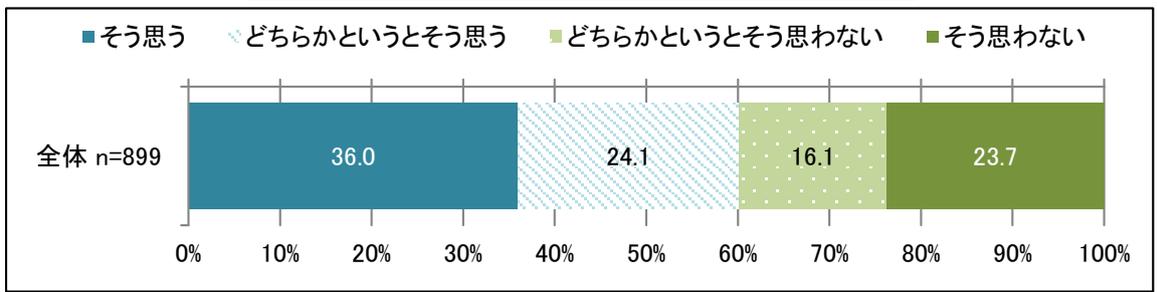


(図表Ⅲ-3-2)

○ 「男性の方が管理職に向いていると思う」については、「そう思う」(3.8%)と「どちらかというと思う」(21.8%)の2つを合わせた《そう思う》(25.6%)で2割台半ばとなっている。

(2) 将来管理職になるのは無理だと思う (SA)

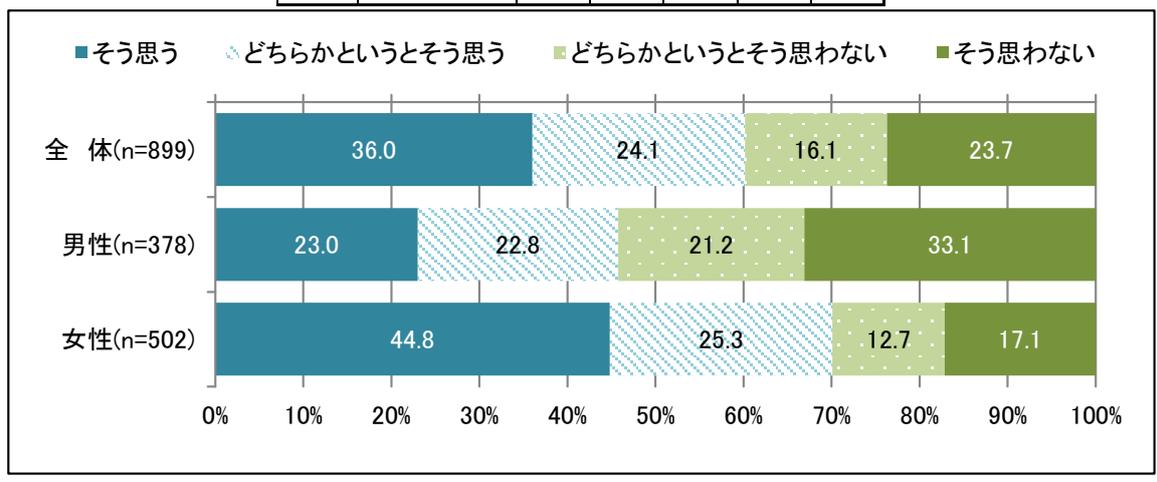
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 324 | 36.0 |
| 2 | どちらかというと思う | 217 | 24.1 |
| 3 | どちらかというと思わない | 145 | 16.1 |
| 4 | そう思わない | 213 | 23.7 |



(図表Ⅲ-3-3)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は6割

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と | そ ど ち ら か と い う と 思 わ な い | そ う 思 わ な い |
|-----|-------|--------------|-------------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 324 36.0 | 217 24.1 | 145 16.1 | 213 23.7 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 87 23.0 | 86 22.8 | 80 21.2 | 125 33.1 |
| | 女性 | 502 100.0 | 225 44.8 | 127 25.3 | 64 12.7 | 86 17.1 |
| | その他 | 2 100.0 | 1 50.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 11 64.7 | 3 17.6 | 1 5.9 | 2 11.8 |

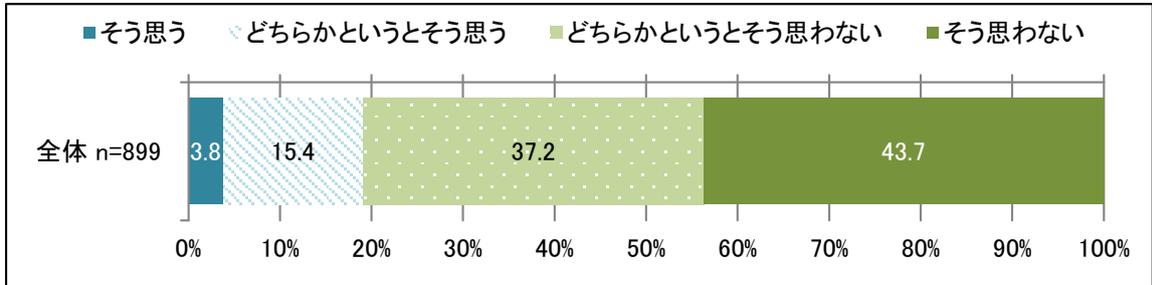


(図表Ⅲ-3-4)

○ 「将来管理職になるのは無理だと思う」については、「そう思う」(36.0%)と「どちらかというと思う」(24.1%)の2つを合わせた《そう思う》(60.1%)で6割となっている。また、男性《そう思う》(45.8%)と女性《そう思う》(70.1%)で回答割合の差が大きかった。

(3) プライベートより仕事を優先したほうがいいと思う (SA)

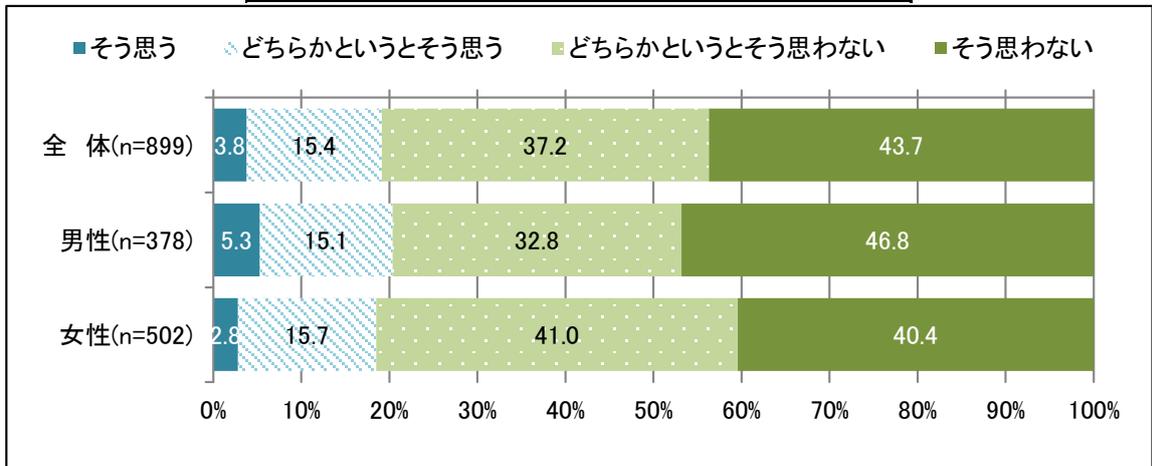
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 34 | 3.8 |
| 2 | どちらかというと思う | 138 | 15.4 |
| 3 | どちらかというと思わない | 334 | 37.2 |
| 4 | そう思わない | 393 | 43.7 |



(図表Ⅲ-3-5)

◇「そう思う」「どちらかというと思う」はほぼ2割

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と | そ ど ち ら か と い う と | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|--------------|-----------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 34 3.8 | 138 15.4 | 334 37.2 | 393 43.7 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 20 5.3 | 57 15.1 | 124 32.8 | 177 46.8 |
| | 女性 | 502 100.0 | 14 2.8 | 79 15.7 | 206 41.0 | 203 40.4 |
| | その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 0 0.0 | 2 11.8 | 4 23.5 | 11 64.7 |

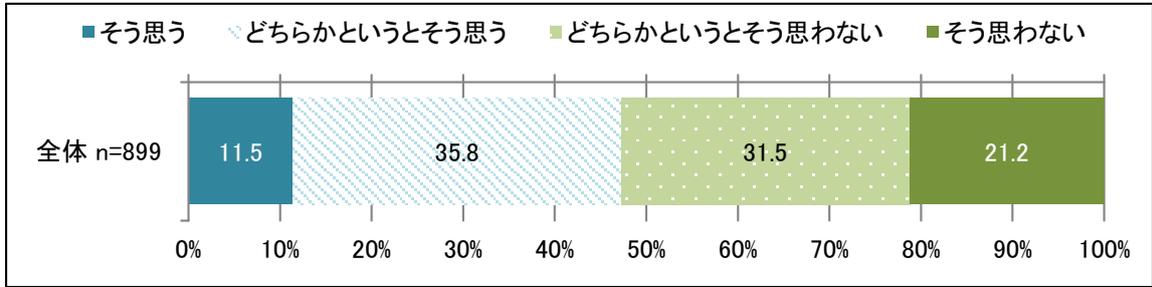


(図表Ⅲ-3-6)

○「プライベートより仕事を優先したほうがいいと思う」については、「そう思う」(3.8%)と「どちらかというと思う」(15.4%)の2つを合わせた《そう思う》(19.2%)でほぼ2割となっている。

(4) 「男性だから」「女性だから」と思うことがある (SA)

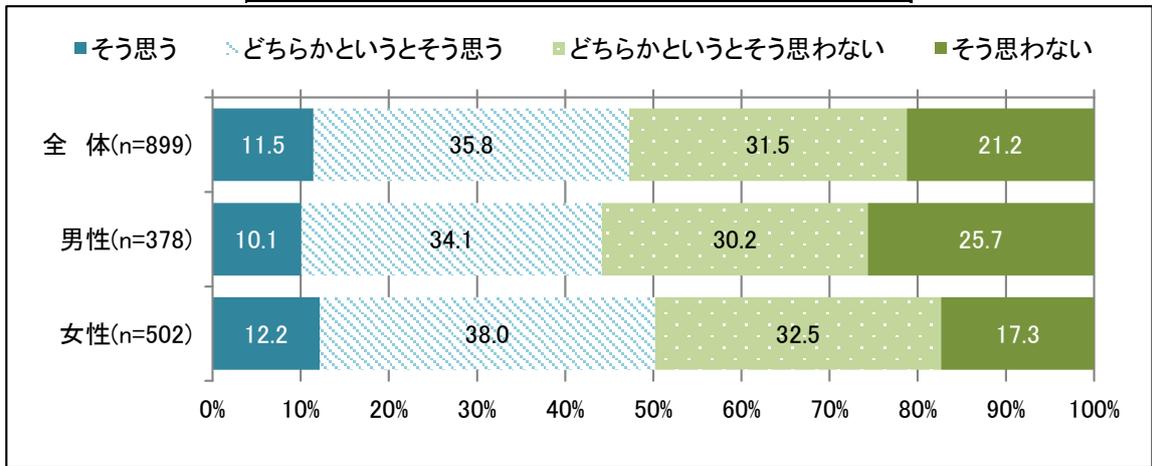
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 103 | 11.5 |
| 2 | どちらかというと思う | 322 | 35.8 |
| 3 | どちらかというと思わない | 283 | 31.5 |
| 4 | そう思わない | 191 | 21.2 |



(図表Ⅲ-3-7)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は5割近く

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と | そ ど ち ら か と い う と | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|--------------|-------------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 103 11.5 | 322 35.8 | 283 31.5 | 191 21.2 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 38 10.1 | 129 34.1 | 114 30.2 | 97 25.7 |
| | 女性 | 502 100.0 | 61 12.2 | 191 38.0 | 163 32.5 | 87 17.3 |
| | その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 1 50.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 4 23.5 | 2 11.8 | 5 29.4 | 6 35.3 |



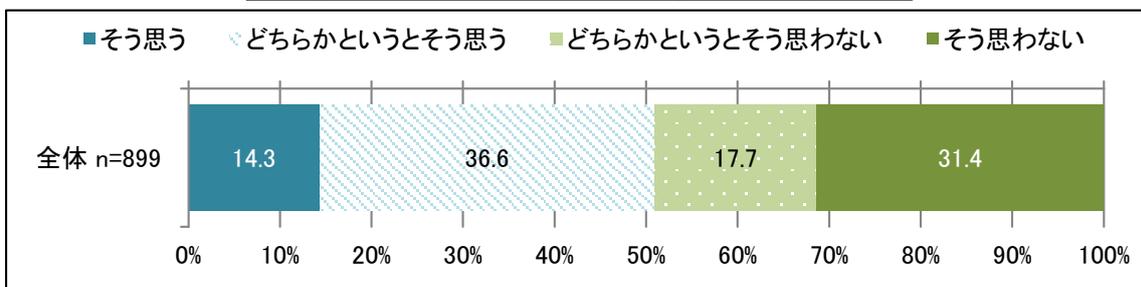
(図表Ⅲ-3-8)

○ 『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』については、「そう思う」(11.5%)と「どちらかというと思う」(35.8%)の2つを合わせた《そう思う》(47.3%)で5割近くとなっている。

B 校務など教員の職務に関すること

(5) 育児休業は女性が取ったほうが良いと思う (SA)

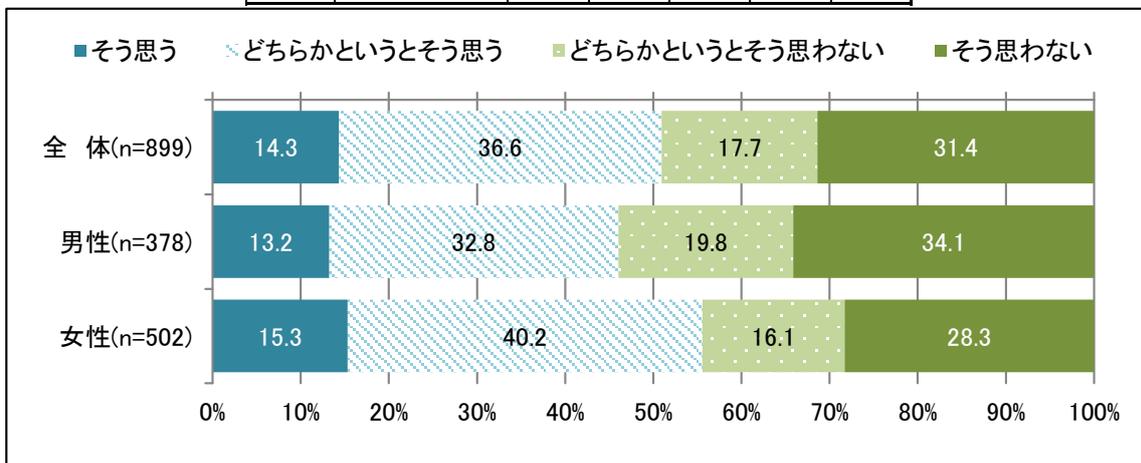
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 129 | 14.3 |
| 2 | どちらかというと思う | 329 | 36.6 |
| 3 | どちらかというと思わない | 159 | 17.7 |
| 4 | そう思わない | 282 | 31.4 |



(図表Ⅲ-3-9)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」はほぼ5割

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と | そ ど ち ら か と い う と | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|--------------|-------------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 129 14.3 | 329 36.6 | 159 17.7 | 282 31.4 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 50 13.2 | 124 32.8 | 75 19.8 | 129 34.1 |
| | 女性 | 502 100.0 | 77 15.3 | 202 40.2 | 81 16.1 | 142 28.3 |
| | その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 2 11.8 | 3 17.6 | 3 17.6 | 9 52.9 |

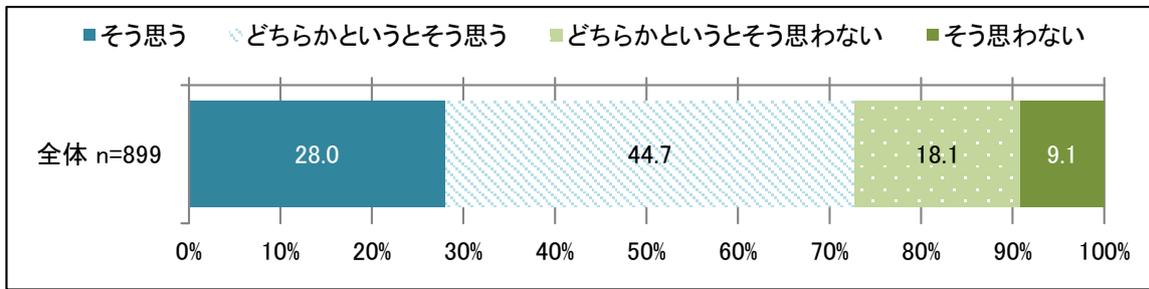


(図表Ⅲ-3-10)

○ 「育児休業は女性が取ったほうが良いと思う」については、「そう思う」(14.3%)と「どちらかというと思う」(36.6%)の2つを合わせた《そう思う》(50.9%)でほぼ5割となっている。

(6) 子育て中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (S A)

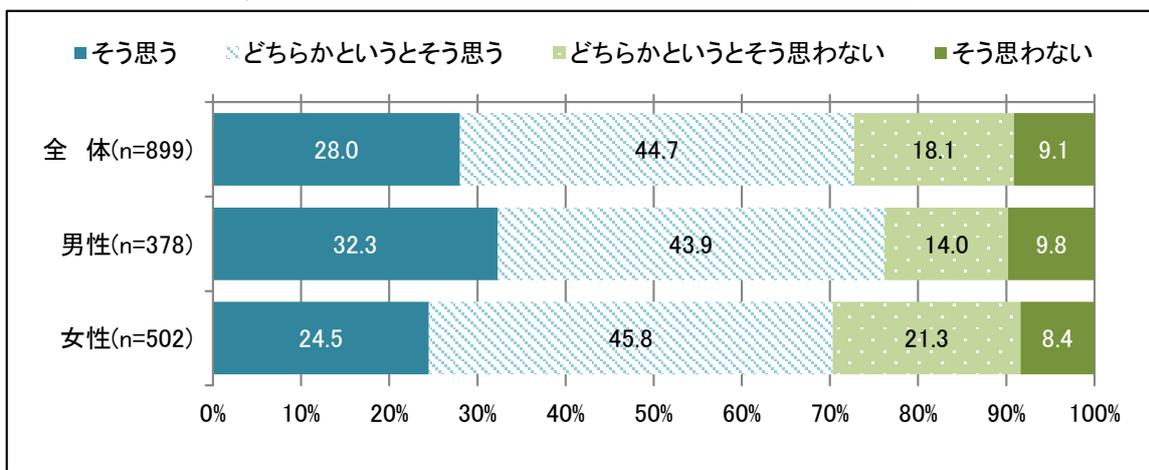
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 252 | 28.0 |
| 2 | どちらかというと思う | 402 | 44.7 |
| 3 | どちらかというと思わない | 163 | 18.1 |
| 4 | そう思わない | 82 | 9.1 |



(図表Ⅲ-3-11)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は7割超え

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と | そ ど ち ら か と い う と | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|--------------|-------------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 252 28.0 | 402 44.7 | 163 18.1 | 82 9.1 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 122 32.3 | 166 43.9 | 53 14.0 | 37 9.8 |
| | 女性 | 502 100.0 | 123 24.5 | 230 45.8 | 107 21.3 | 42 8.4 |
| | その他 | 2 100.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 6 35.3 | 6 35.3 | 3 17.6 | 2 11.8 |

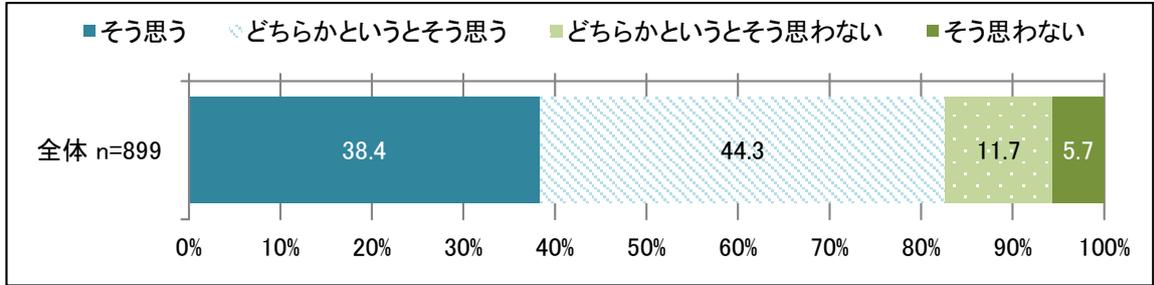


(図表Ⅲ-3-12)

○ 「子育て中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」については、「そう思う」(28.0%)と「どちらかというと思う」(44.7%)の2つを合わせた「そう思う」(72.7%)で7割を超えている。

(7) 子育て中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (S A)

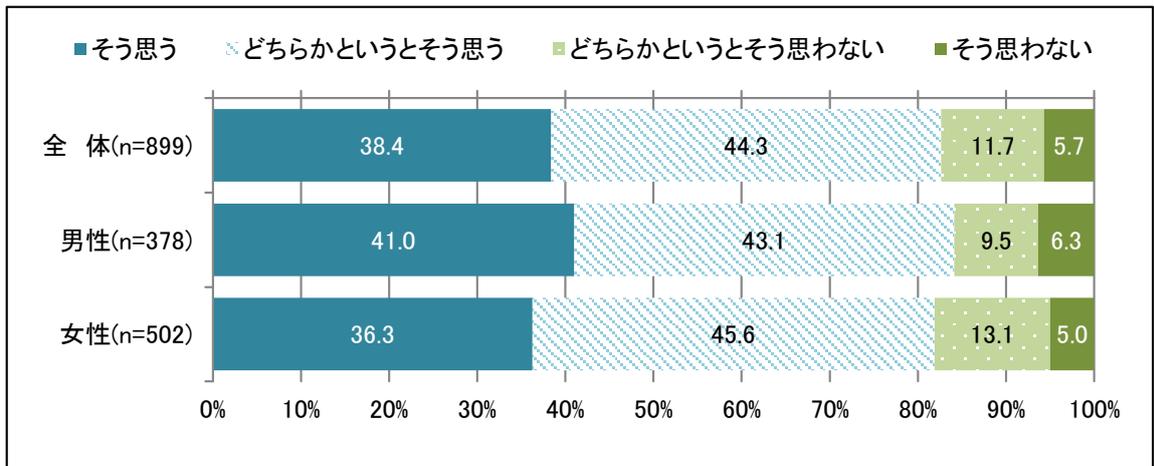
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 345 | 38.4 |
| 2 | どちらかというと思う | 398 | 44.3 |
| 3 | どちらかというと思わない | 105 | 11.7 |
| 4 | そう思わない | 51 | 5.7 |



(図表Ⅲ-3-13)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は8割超え

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と 思 う | そ ど ち ら か と い う と 思 わ な い | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|--------------|-------------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 345 38.4 | 398 44.3 | 105 11.7 | 51 5.7 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 155 41.0 | 163 43.1 | 36 9.5 | 24 6.3 |
| | 女性 | 502 100.0 | 182 36.3 | 229 45.6 | 66 13.1 | 25 5.0 |
| | その他 | 2 100.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 7 41.2 | 6 35.3 | 3 17.6 | 1 5.9 |

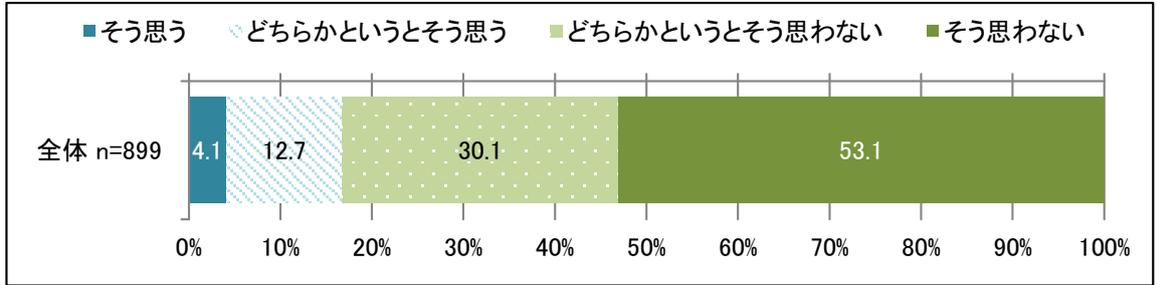


(図表Ⅲ-3-14)

○ 「子育て中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」については、「そう思う」(38.4%)と「どちらかというと思う」(44.3%)の2つを合わせた「そう思う」(82.7%)で8割を超えている。

(8) 介護休業は女性が取ったほうが良いと思う (SA)

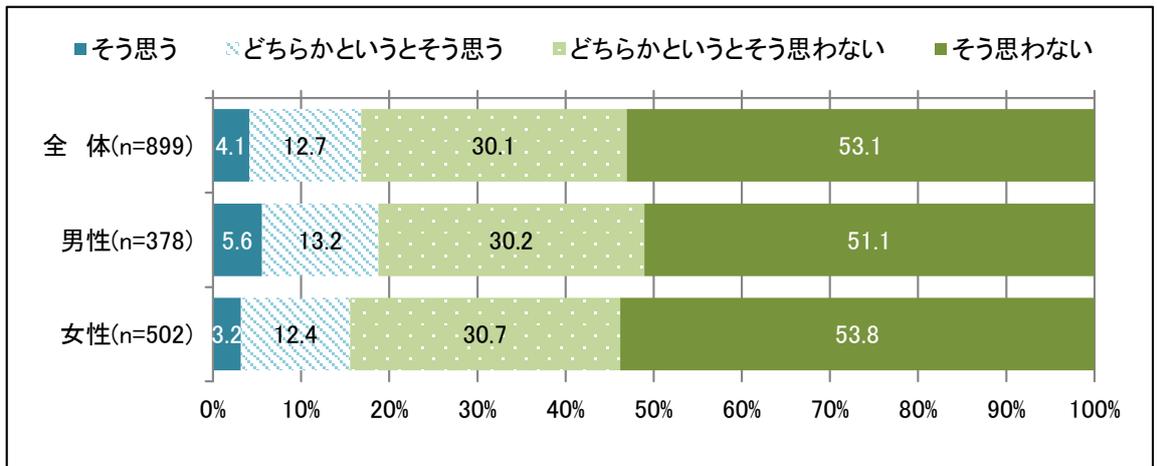
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 37 | 4.1 |
| 2 | どちらかというと思う | 114 | 12.7 |
| 3 | どちらかというと思わない | 271 | 30.1 |
| 4 | そう思わない | 477 | 53.1 |



(図表Ⅲ-3-15)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は2割近く

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と 思 う | そ ど ち ら か と い う と 思 わ な い | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|--------------|-----------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 37 4.1 | 114 12.7 | 271 30.1 | 477 53.1 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 21 5.6 | 50 13.2 | 114 30.2 | 193 51.1 |
| | 女性 | 502 100.0 | 16 3.2 | 62 12.4 | 154 30.7 | 270 53.8 |
| | その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 0 0.0 | 2 11.8 | 3 17.6 | 12 70.6 |

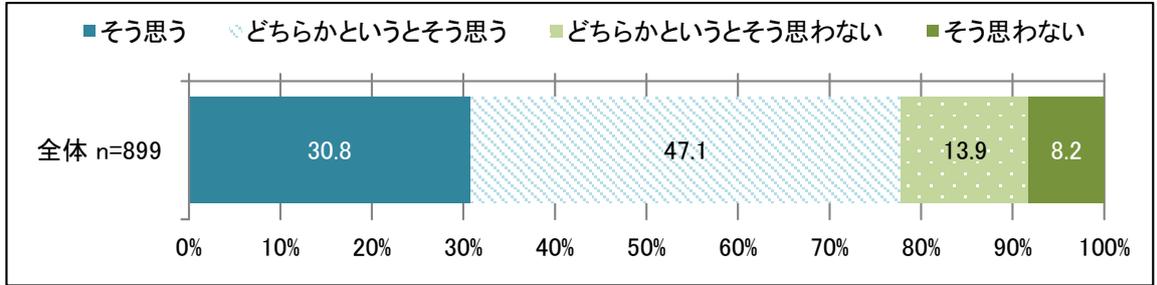


(図表Ⅲ-3-16)

○ 「介護休業は女性が取ったほうが良いと思う」については、「そう思う」(4.1%)と「どちらかというと思う」(12.7%)の2つを合わせた《そう思う》(16.8%)で2割近くとなっている。

(9) 介護中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (SA)

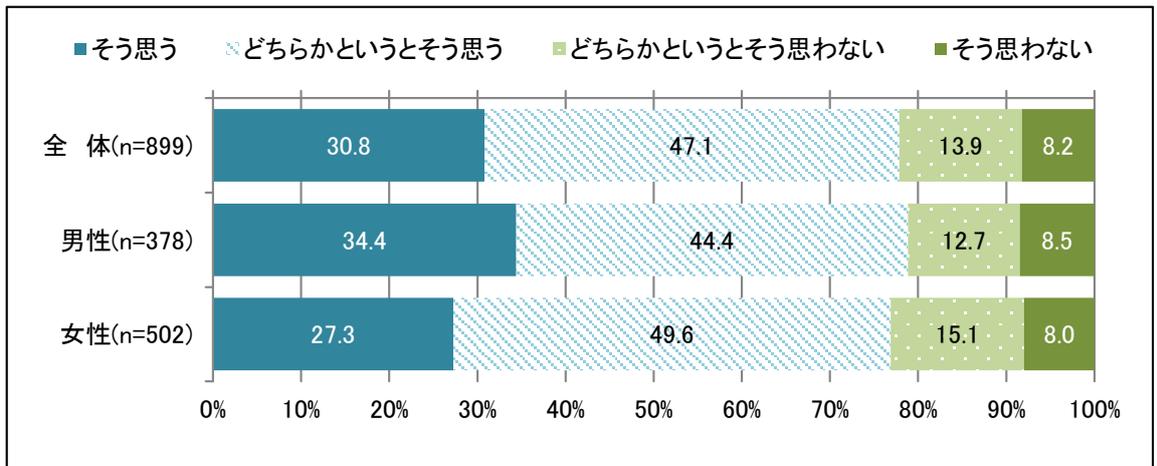
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 277 | 30.8 |
| 2 | どちらかというと思う | 423 | 47.1 |
| 3 | どちらかというと思わない | 125 | 13.9 |
| 4 | そう思わない | 74 | 8.2 |



(図表 III-3-17)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は8割近く

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と 思 う | そ ど ち ら か と い う と 思 わ な い | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|--------------|-------------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 277 30.8 | 423 47.1 | 125 13.9 | 74 8.2 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 130 34.4 | 168 44.4 | 48 12.7 | 32 8.5 |
| | 女性 | 502 100.0 | 137 27.3 | 249 49.6 | 76 15.1 | 40 8.0 |
| | その他 | 2 100.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 9 52.9 | 6 35.3 | 1 5.9 | 1 5.9 |

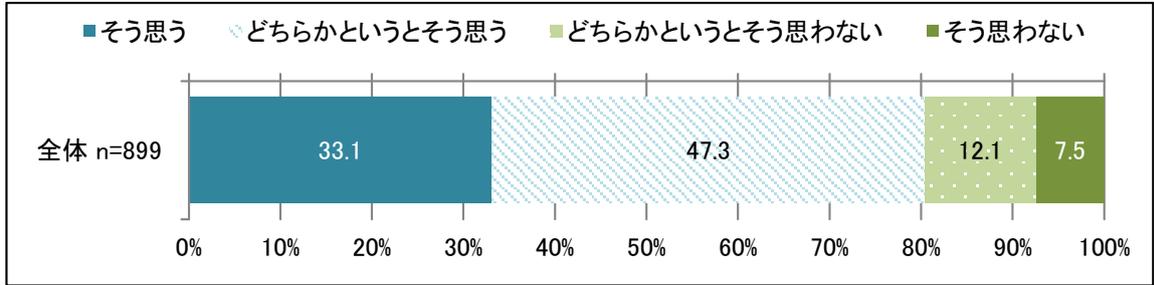


(図表 III-3-18)

○ 「介護中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」については、「そう思う」(30.8%)と「どちらかというと思う」(47.1%)の2つを合わせた《「そう思う」》(77.9%)で8割近くとなっている。

(10) 介護中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (SA)

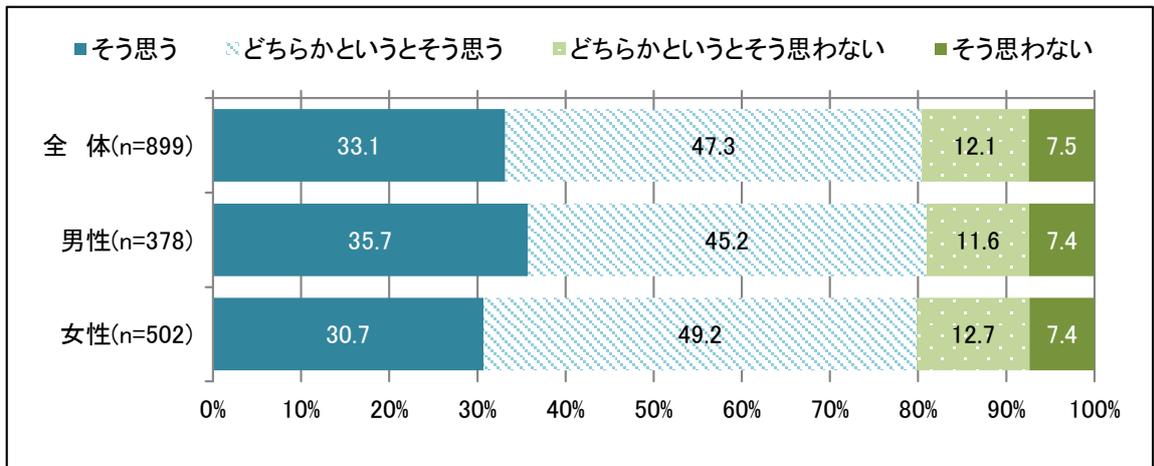
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 298 | 33.1 |
| 2 | どちらかというと思う | 425 | 47.3 |
| 3 | どちらかというと思わない | 109 | 12.1 |
| 4 | そう思わない | 67 | 7.5 |



(図表Ⅲ-3-19)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は8割

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と 思 う | そ ど ち ら か と い う と 思 わ な い | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|--------------|-------------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 298 33.1 | 425 47.3 | 109 12.1 | 67 7.5 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 135 35.7 | 171 45.2 | 44 11.6 | 28 7.4 |
| | 女性 | 502 100.0 | 154 30.7 | 247 49.2 | 64 12.7 | 37 7.4 |
| | その他 | 2 100.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 8 47.1 | 7 41.2 | 1 5.9 | 1 5.9 |

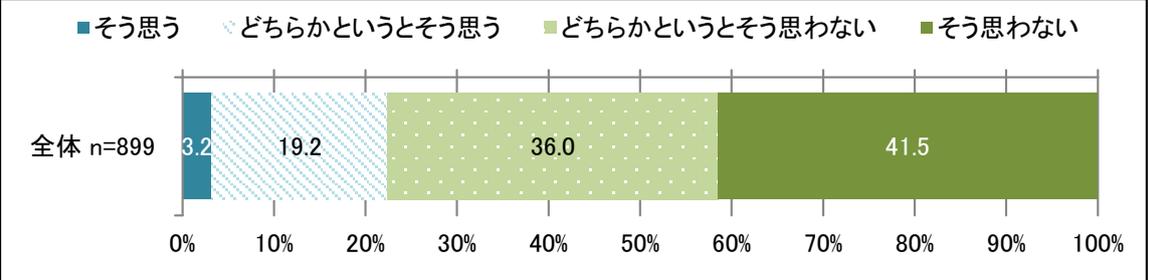


(図表Ⅲ-3-20)

○ 「介護中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」については、「そう思う」(33.1%)と「どちらかというと思う」(47.3%)の2つを合わせた《「そう思う」》(80.4%)で8割となっている。

(11) 性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う (SA)

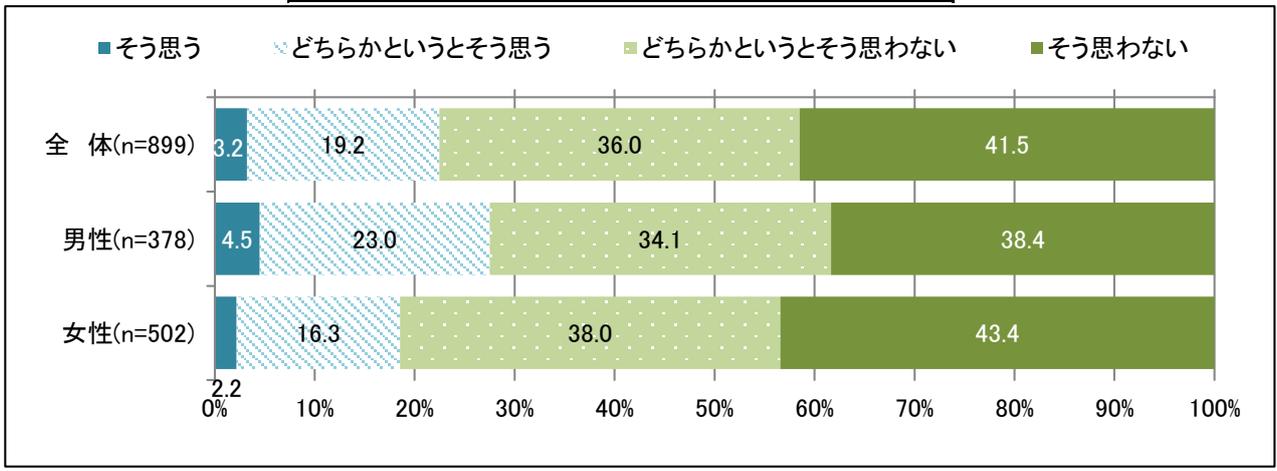
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 29 | 3.2 |
| 2 | どちらかというと思う | 173 | 19.2 |
| 3 | どちらかというと思わない | 324 | 36.0 |
| 4 | そう思わない | 373 | 41.5 |



(図表Ⅲ-3-21)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は2割超え

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と | そ ど ち ら か と い う と | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|--------------|-----------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 29 3.2 | 173 19.2 | 324 36.0 | 373 41.5 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 17 4.5 | 87 23.0 | 129 34.1 | 145 38.4 |
| | 女性 | 502 100.0 | 11 2.2 | 82 16.3 | 191 38.0 | 218 43.4 |
| | その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 1 5.9 | 4 23.5 | 4 23.5 | 8 47.1 |

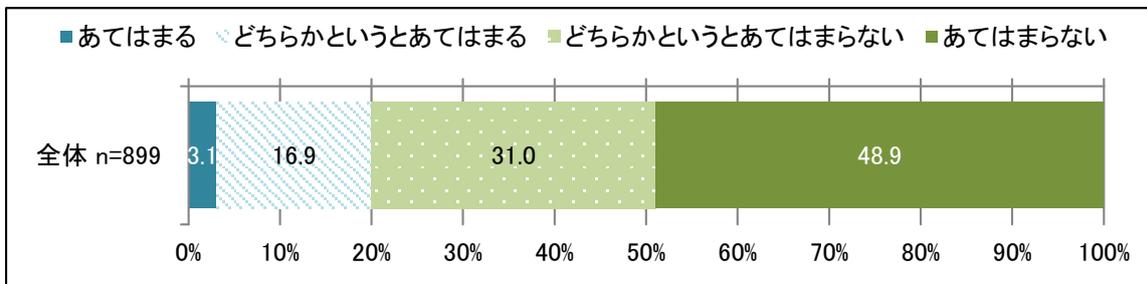


(図表Ⅲ-3-22)

○ 「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」については、「そう思う」(3.2%)と「どちらかというと思う」(19.2%)の2つを合わせた《そう思う》(22.4%)で2割を超えている。

(12) 事務作業は女性教員に割り当てられることが多い (SA)

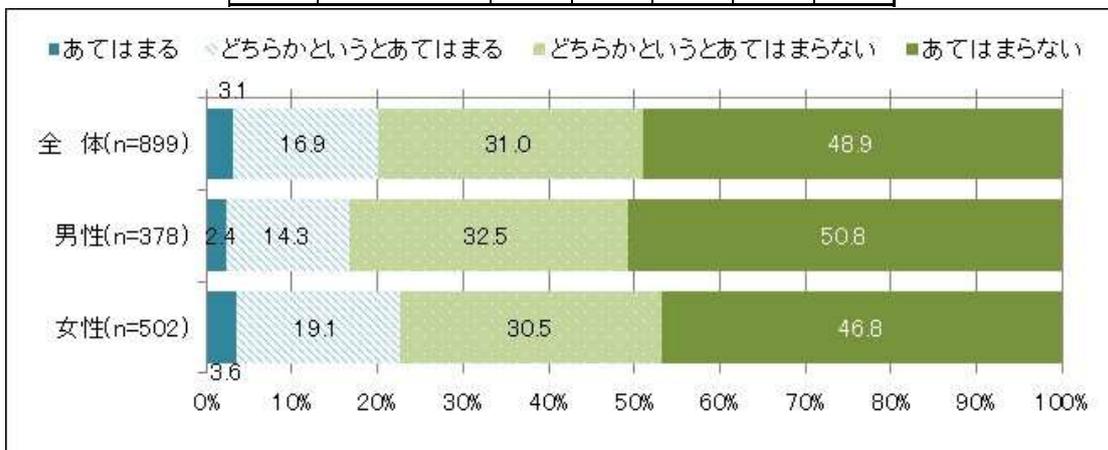
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 28 | 3.1 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 152 | 16.9 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 279 | 31.0 |
| 4 | あてはまらない | 440 | 48.9 |



(図表Ⅲ-3-23)

◇ 「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は2割

| | | 計 | あてはまる | あてはまる どちらかという | あてはまらない どちらかという | あてはまらない |
|----|-------|--------------|-----------|------------------|--------------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 28 3.1 | 152 16.9 | 279 31.0 | 440 48.9 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 9 2.4 | 54 14.3 | 123 32.5 | 192 50.8 |
| | 女性 | 502 100.0 | 18 3.6 | 96 19.1 | 153 30.5 | 235 46.8 |
| | その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 1 5.9 | 2 11.8 | 3 17.6 | 11 64.7 |

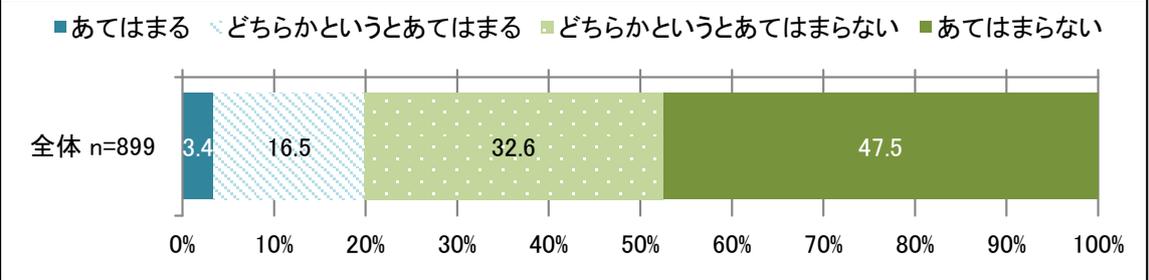


(図表Ⅲ-3-24)

○ 「事務作業は女性教員に割り当てられることが多い」については、「あてはまる」(3.1%)と「どちらかというにあてはまる」(16.9%)の2つを合わせた《あてはまる》(20.0%)で2割となっている。

(13) 重要な仕事は男性教員に任されていることが多い (SA)

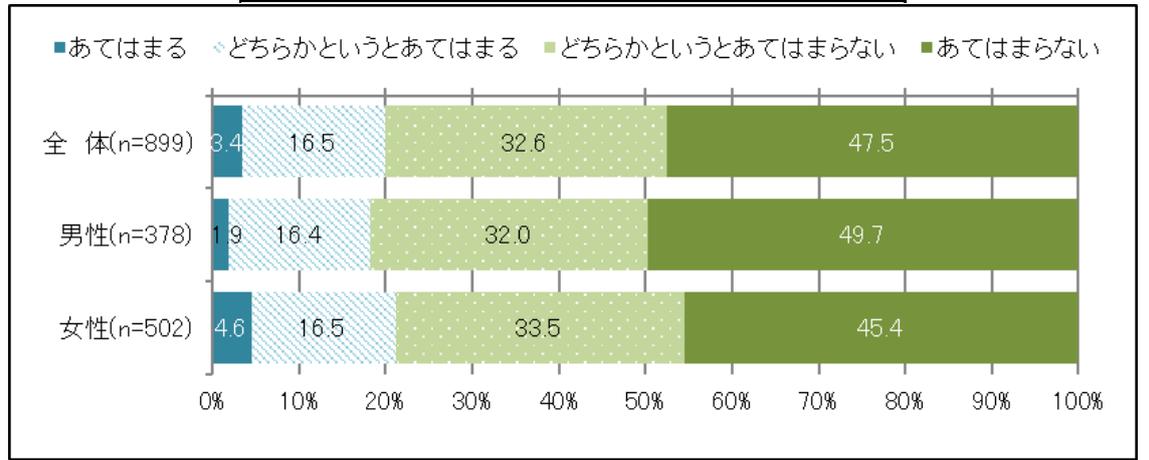
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 31 | 3.4 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 148 | 16.5 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 293 | 32.6 |
| 4 | あてはまらない | 427 | 47.5 |



(図表 III-3-25)

◇ 「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は2割

| | | 計 | あてはまる | あてはまる どちらかという | あてはまらない どちらかという | あてはまらない |
|----|-------|--------------|-----------|------------------|--------------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 31 3.4 | 148 16.5 | 293 32.6 | 427 47.5 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 7 1.9 | 62 16.4 | 121 32.0 | 188 49.7 |
| | 女性 | 502 100.0 | 23 4.6 | 83 16.5 | 168 33.5 | 228 45.4 |
| | その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 1 50.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 1 5.9 | 3 17.6 | 3 17.6 | 10 58.8 |

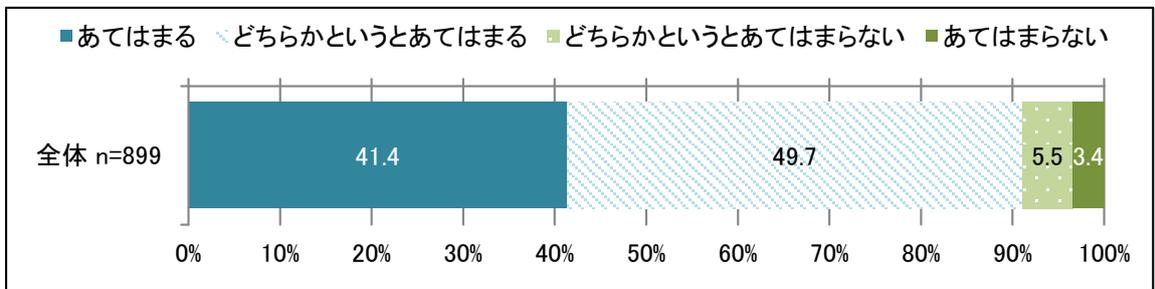


(図表 III-3-26)

○ 「重要な仕事は男性教員に任されていることが多い」については、「あてはまる」(3.4%)と「どちらかというにあてはまる」(16.5%)の2つを合わせた《あてはまる》(19.9%)で2割となっている。

(14) 力仕事は男性教員が担当していることが多い (SA)

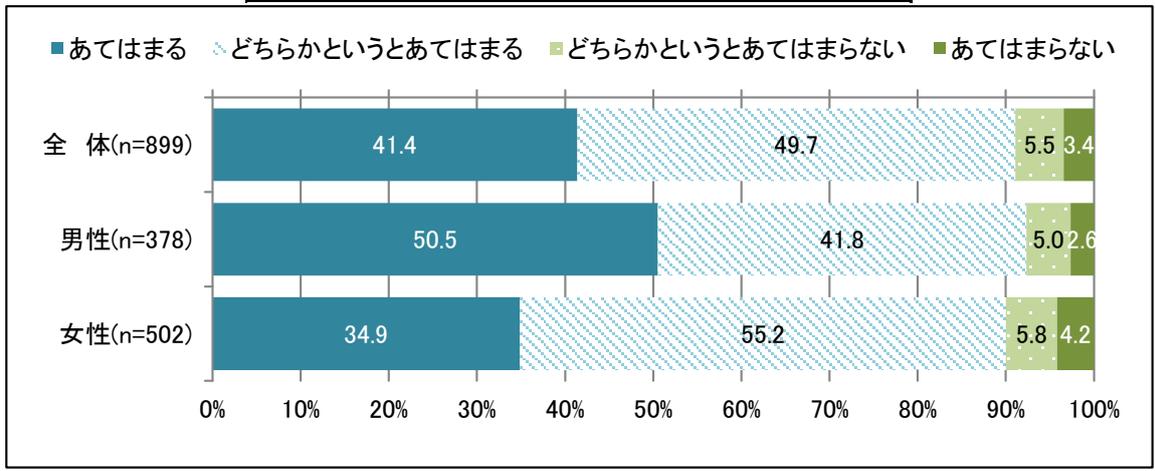
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 372 | 41.4 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 447 | 49.7 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 49 | 5.5 |
| 4 | あてはまらない | 31 | 3.4 |



(図表Ⅲ-3-27)

◇ 「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は9割超え

| | | 計 | あてはまる | あてはまる どちらかという | あてはまる どちらかという | あてはまらない |
|-----|-------|--------------|-------------|------------------|------------------|-----------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 372 41.4 | 447 49.7 | 49 5.5 | 31 3.4 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 191 50.5 | 158 41.8 | 19 5.0 | 10 2.6 |
| | 女性 | 502 100.0 | 175 34.9 | 277 55.2 | 29 5.8 | 21 4.2 |
| | その他 | 2 100.0 | 1 50.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 5 29.4 | 11 64.7 | 1 5.9 | 0 0.0 |



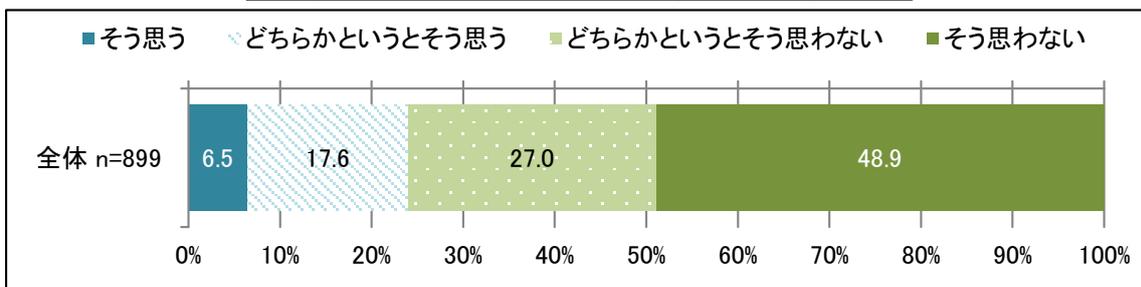
(図表Ⅲ-3-28)

○ 「力仕事は男性教員が担当していることが多い」については、「あてはまる」(41.4%)と「どちらかというにあてはまる」(49.7%)の2つを合わせた「あてはまる」(91.1%)で9割を超えている。

C 児童に関すること

(15) 性別で教科の得意、不得意があると思う (SA)

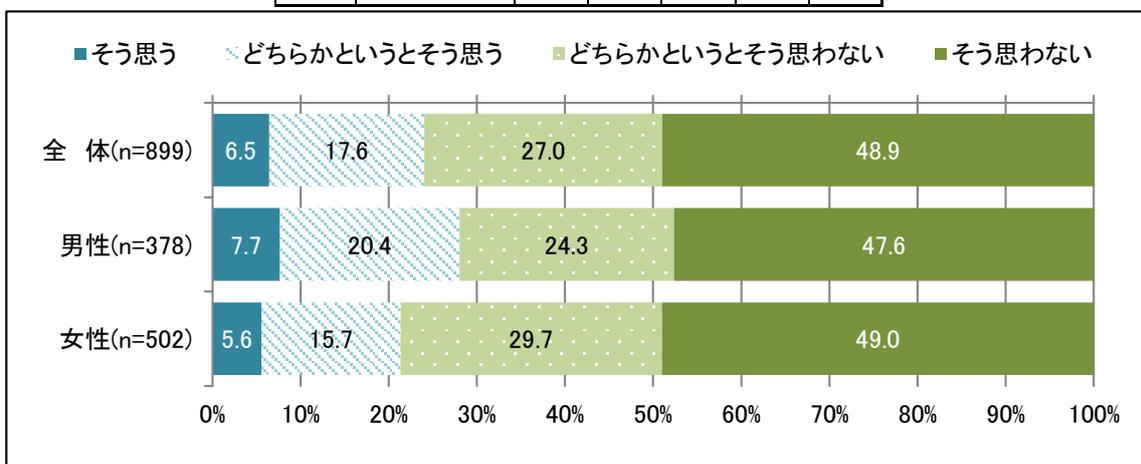
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 58 | 6.5 |
| 2 | どちらかというと思う | 158 | 17.6 |
| 3 | どちらかというと思わない | 243 | 27.0 |
| 4 | そう思わない | 440 | 48.9 |



(図表 III-3-29)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は2割台半ば

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と | そ ど ち ら か と い う と 思 わ な い | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|--------------|-----------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 58 6.5 | 158 17.6 | 243 27.0 | 440 48.9 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 29 7.7 | 77 20.4 | 92 24.3 | 180 47.6 |
| | 女性 | 502 100.0 | 28 5.6 | 79 15.7 | 149 29.7 | 246 49.0 |
| | その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 1 5.9 | 2 11.8 | 2 11.8 | 12 70.6 |

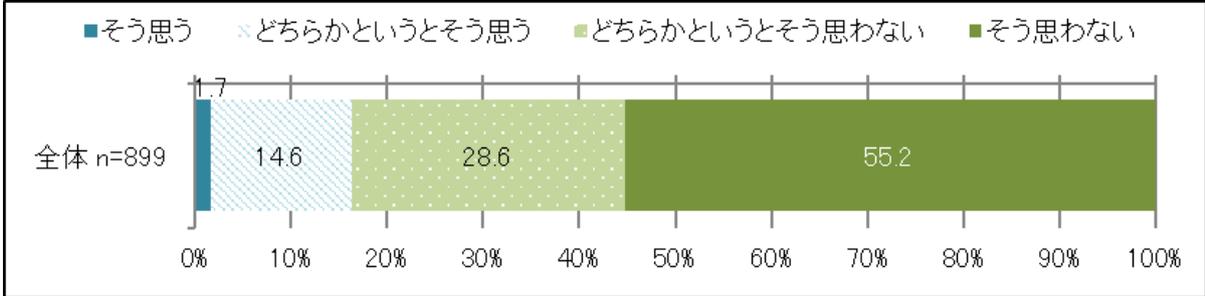


(図表 III-3-30)

○ 「性別で教科の得意、不得意があると思う」については、「そう思う」(6.5%)と「どちらかというと思う」(17.6%)の2つを合わせた《そう思う》(24.1%)で2割台半ばとなっている。

(16) 理系科目は男の子の方が得意だと思う (SA)

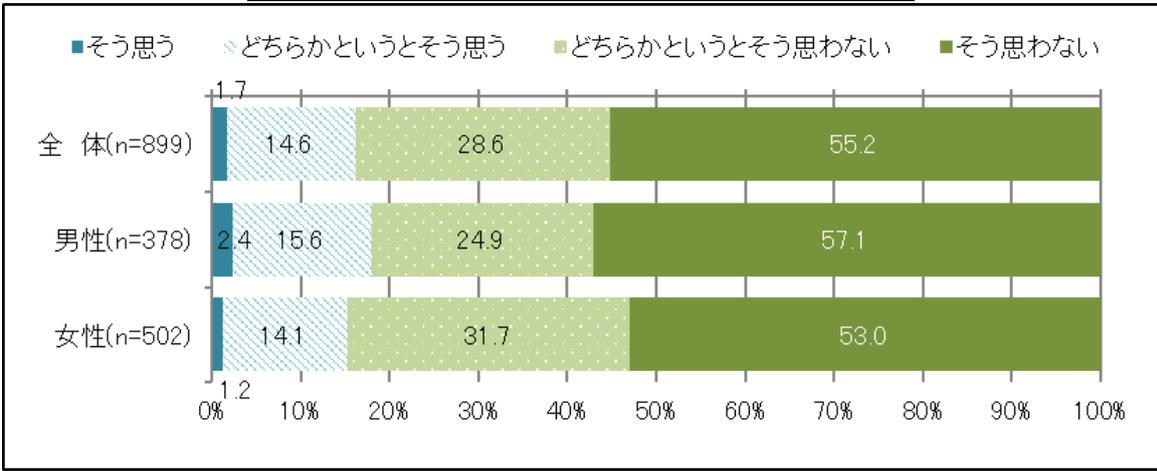
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 15 | 1.7 |
| 2 | どちらかというと思う | 131 | 14.6 |
| 3 | どちらかというと思わない | 257 | 28.6 |
| 4 | そう思わない | 496 | 55.2 |



(図表Ⅲ-3-31)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は1割台半ば

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と | そ ど ち ら か と い う と | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|--------------|-----------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 15 1.7 | 131 14.6 | 257 28.6 | 496 55.2 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 9 2.4 | 59 15.6 | 94 24.9 | 216 57.1 |
| | 女性 | 502 100.0 | 6 1.2 | 71 14.1 | 159 31.7 | 266 53.0 |
| | その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 0 0.0 | 1 5.9 | 4 23.5 | 12 70.6 |

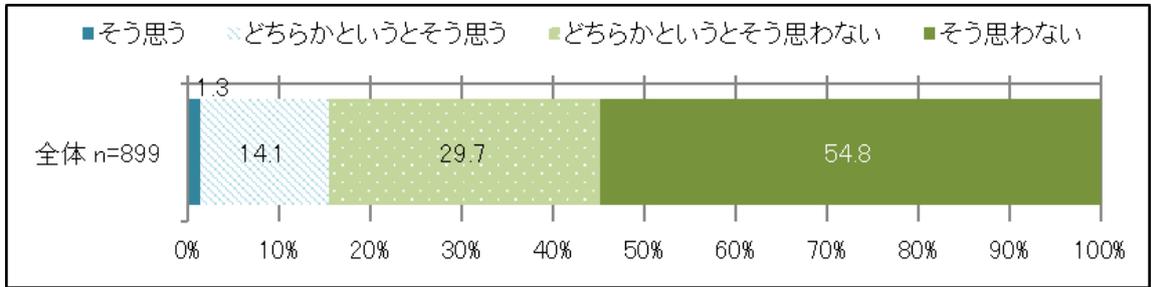


(図表Ⅲ-3-32)

○ 「理系科目は男の子の方が得意だと思う」については、「そう思う」(1.7%)と「どちらかというと思う」(14.6%)の2つを合わせた《そう思う》(16.3%)で1割台半ばとなっている。

(17) 文系科目は女の子の方が得意だと思う (SA)

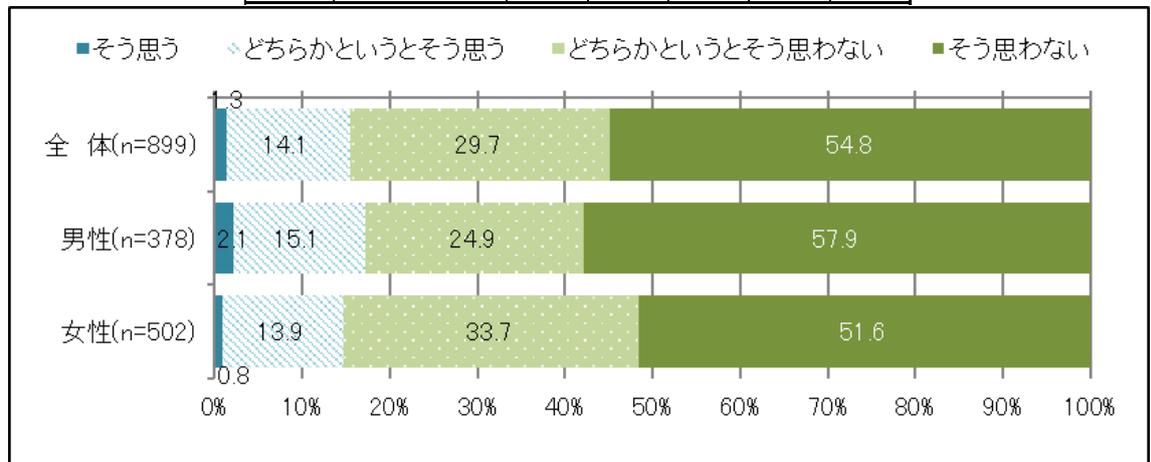
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 12 | 1.3 |
| 2 | どちらかというと思う | 127 | 14.1 |
| 3 | どちらかというと思わない | 267 | 29.7 |
| 4 | そう思わない | 493 | 54.8 |



(図表Ⅲ-3-33)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は1割台半ば

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と | そ ど ち ら か と い う と | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|--------------|-----------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 12 1.3 | 127 14.1 | 267 29.7 | 493 54.8 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 8 2.1 | 57 15.1 | 94 24.9 | 219 57.9 |
| | 女性 | 502 100.0 | 4 0.8 | 70 13.9 | 169 33.7 | 259 51.6 |
| | その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 4 23.5 | 13 76.5 |

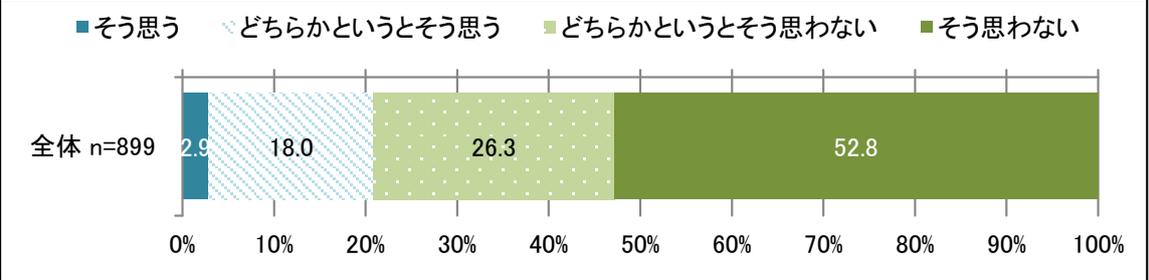


(図表Ⅲ-3-34)

○ 「文系科目は女の子の方が得意だと思う」については、「そう思う」(1.3%)と「どちらかというと思う」(14.1%)の2つを合わせた《そう思う》(15.4%)で1割台半ばとなっている。

(18) 家庭科は女の子の方が向いていると思う (SA)

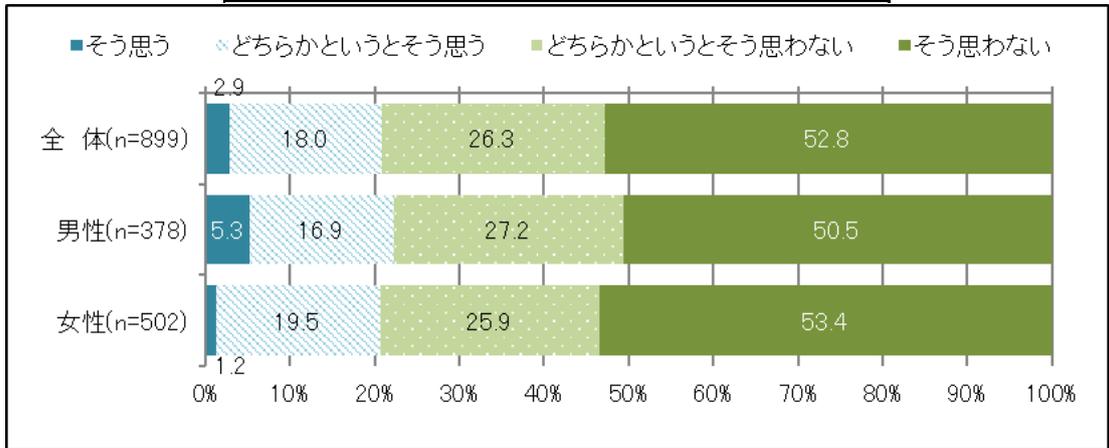
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 26 | 2.9 |
| 2 | どちらかというと思う | 162 | 18.0 |
| 3 | どちらかというと思わない | 236 | 26.3 |
| 4 | そう思わない | 475 | 52.8 |



(図表Ⅲ-3-35)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」はほぼ2割

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と | そ ど ち ら か と い う と | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|--------------|-----------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 26 2.9 | 162 18.0 | 236 26.3 | 475 52.8 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 20 5.3 | 64 16.9 | 103 27.2 | 191 50.5 |
| | 女性 | 502 100.0 | 6 1.2 | 98 19.5 | 130 25.9 | 268 53.4 |
| | その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 3 17.6 | 14 82.4 |

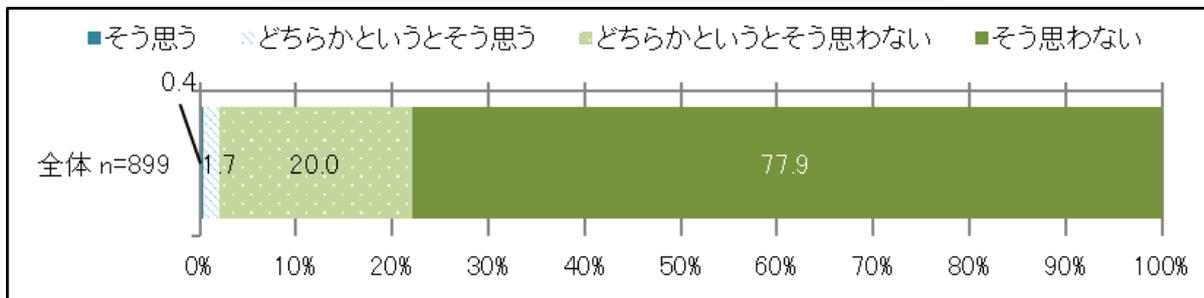


(図表Ⅲ-3-36)

○ 「家庭科は女の子の方が向いていると思う」については、「そう思う」(2.9%)と「どちらかというと思う」(18.0%)の2つを合わせた《そう思う》(20.9%)でほぼ2割となっている。

(19) 学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う (SA)

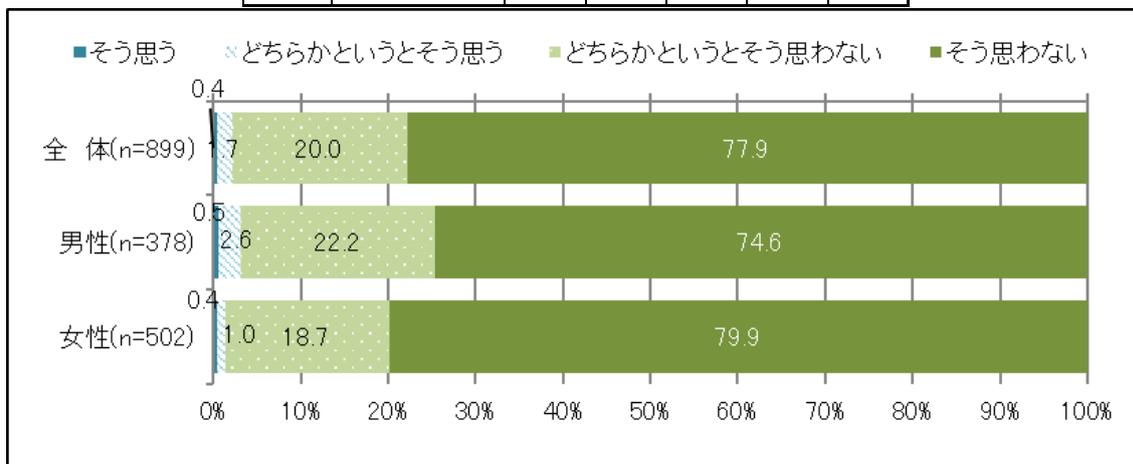
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 4 | 0.4 |
| 2 | どちらかというと思う | 15 | 1.7 |
| 3 | どちらかというと思わない | 180 | 20.0 |
| 4 | そう思わない | 700 | 77.9 |



(図表Ⅲ-3-37)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」はわずか

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と | そ ど ち ら か と い う と | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|--------------|----------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 4 0.4 | 15 1.7 | 180 20.0 | 700 77.9 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 2 0.5 | 10 2.6 | 84 22.2 | 282 74.6 |
| | 女性 | 502 100.0 | 2 0.4 | 5 1.0 | 94 18.7 | 401 79.9 |
| | その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 11.8 | 15 88.2 |

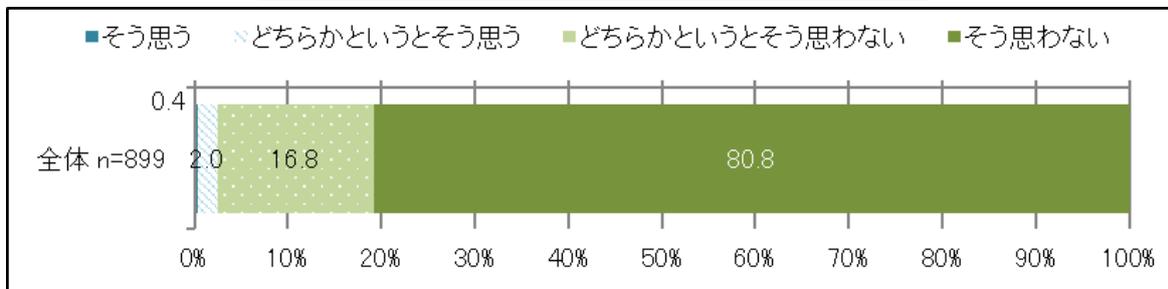


(図表Ⅲ-3-38)

○ 「学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」については、「そう思う」(0.4%)と「どちらかというと思う」(1.7%)の2つを合わせた《そう思う》(2.1%)でわずかとなっている。

(20) 授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う (SA)

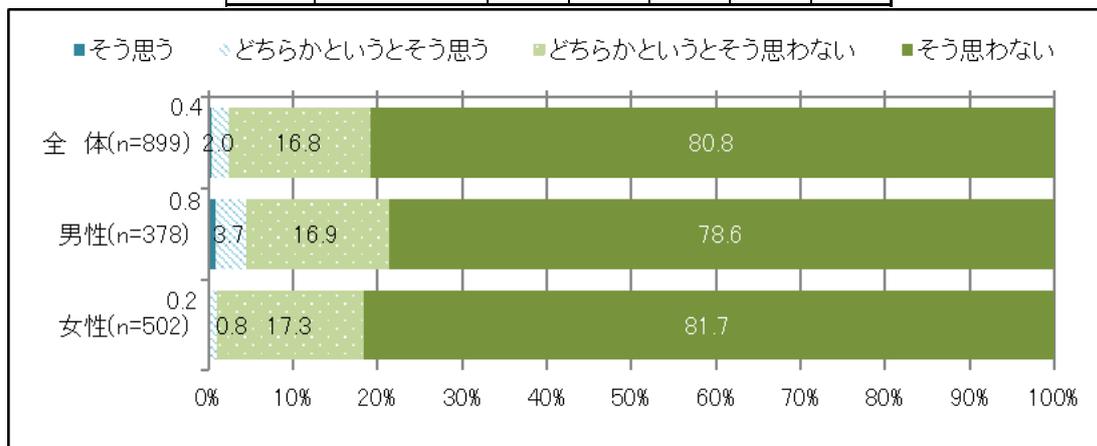
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 4 | 0.4 |
| 2 | どちらかというと思う | 18 | 2.0 |
| 3 | どちらかというと思わない | 151 | 16.8 |
| 4 | そう思わない | 726 | 80.8 |



(図表Ⅲ-3-39)

◇「そう思う」「どちらかというと思う」はわずか

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と 思 う | そ ど ち ら か と い う と 思 わ な い | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|--------------|----------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 4 0.4 | 18 2.0 | 151 16.8 | 726 80.8 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 3 0.8 | 14 3.7 | 64 16.9 | 297 78.6 |
| | 女性 | 502 100.0 | 1 0.2 | 4 0.8 | 87 17.3 | 410 81.7 |
| | その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 17 100.0 |

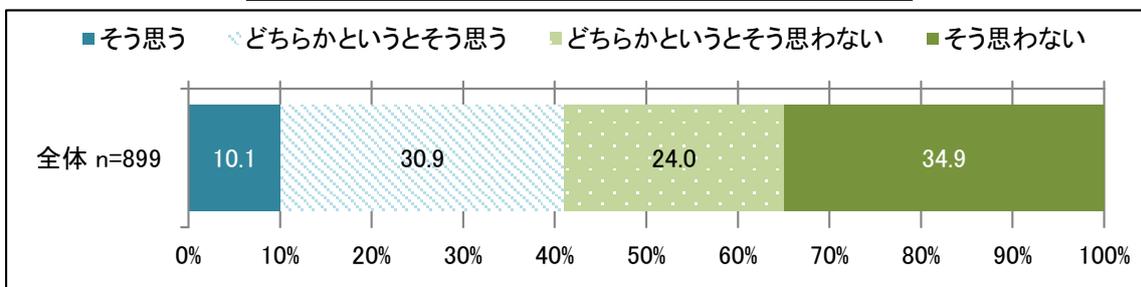


(図表Ⅲ-3-40)

○「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う」については、「そう思う」(0.4%)と「どちらかというと思う」(2.0%)の2つを合わせた《そう思う》(2.4%)でわずかとなっている。

(21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

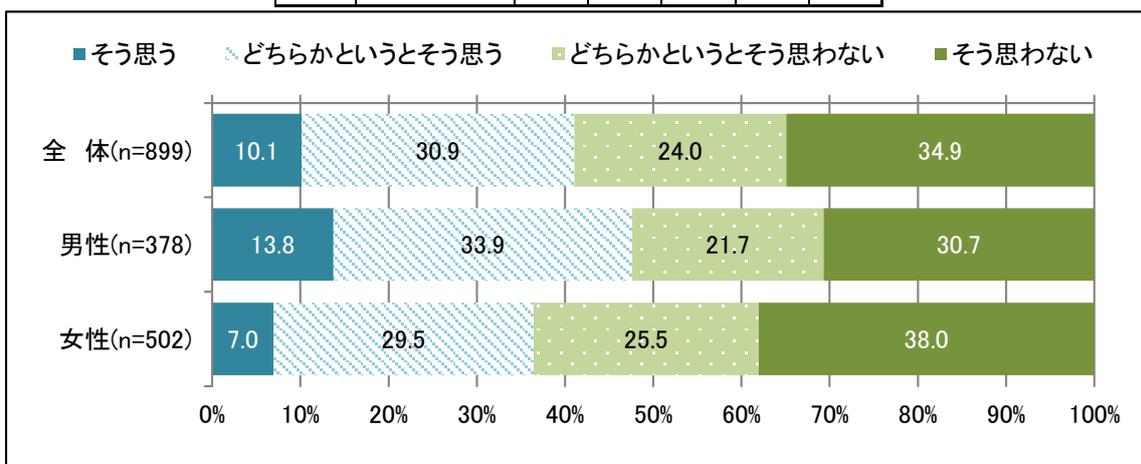
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 91 | 10.1 |
| 2 | どちらかというと思う | 278 | 30.9 |
| 3 | どちらかというと思わない | 216 | 24.0 |
| 4 | そう思わない | 314 | 34.9 |



(図表 III-3-4 1)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は4割超え

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と | そ ど ち ら か と い う と | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|--------------|------------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 91 10.1 | 278 30.9 | 216 24.0 | 314 34.9 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 52 13.8 | 128 33.9 | 82 21.7 | 116 30.7 |
| | 女性 | 502 100.0 | 35 7.0 | 148 29.5 | 128 25.5 | 191 38.0 |
| | その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 1 50.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 4 23.5 | 1 5.9 | 6 35.3 | 6 35.3 |

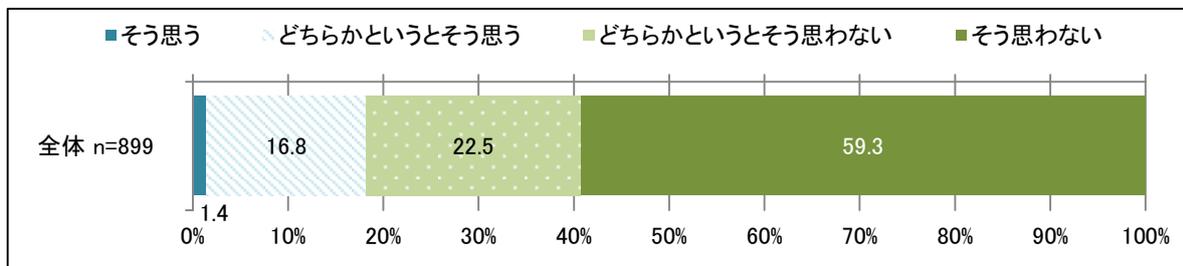


(図表 III-3-4 2)

○「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」については、「そう思う」(10.1%)と「どちらかというと思う」(30.9%)の2つを合わせた《そう思う》(41.0%)で4割を超えている。また、男性《そう思う》(47.7%)と女性《そう思う》(36.5%)で回答割合の差が大きかった。

(2 2) グループ活動では女の子がサポート役に回ることが多いと思う (S A)

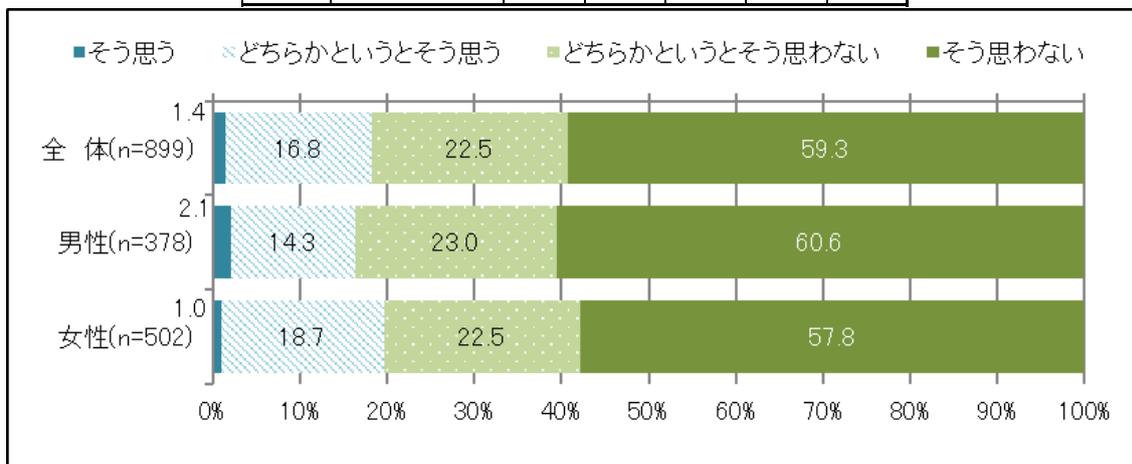
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 13 | 1.4 |
| 2 | どちらかというと思う | 151 | 16.8 |
| 3 | どちらかというと思わない | 202 | 22.5 |
| 4 | そう思わない | 533 | 59.3 |



(図表Ⅲ-3-43)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は2割近く

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と | そ ど ち ら か と い う と 思 わ な い | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|--------------|-----------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 13 1.4 | 151 16.8 | 202 22.5 | 533 59.3 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 8 2.1 | 54 14.3 | 87 23.0 | 229 60.6 |
| | 女性 | 502 100.0 | 5 1.0 | 94 18.7 | 113 22.5 | 290 57.8 |
| | その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 0 0.0 | 3 17.6 | 2 11.8 | 12 70.6 |

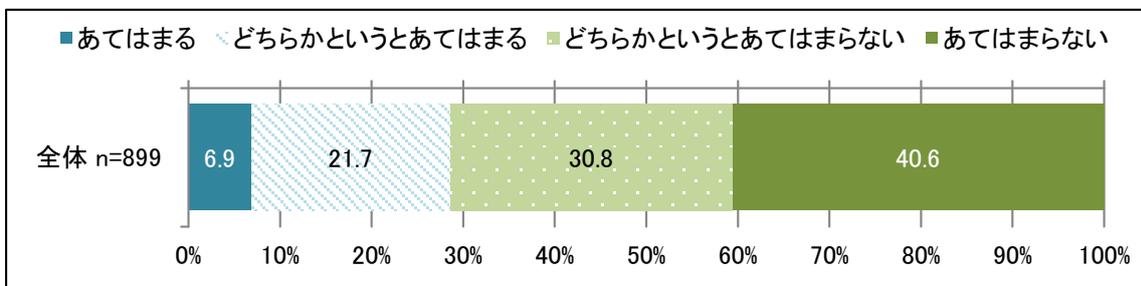


(図表Ⅲ-3-44)

○ 「グループ活動では女の子がサポート役に回ることが多いと思う」については、「そう思う」(1.4%)と「どちらかというと思う」(16.8%)の2つを合わせた《そう思う》(18.2%)で2割近くとなっている。

(23) 性別で将来の目標を考える児童の言動を目にしたことがある (SA)

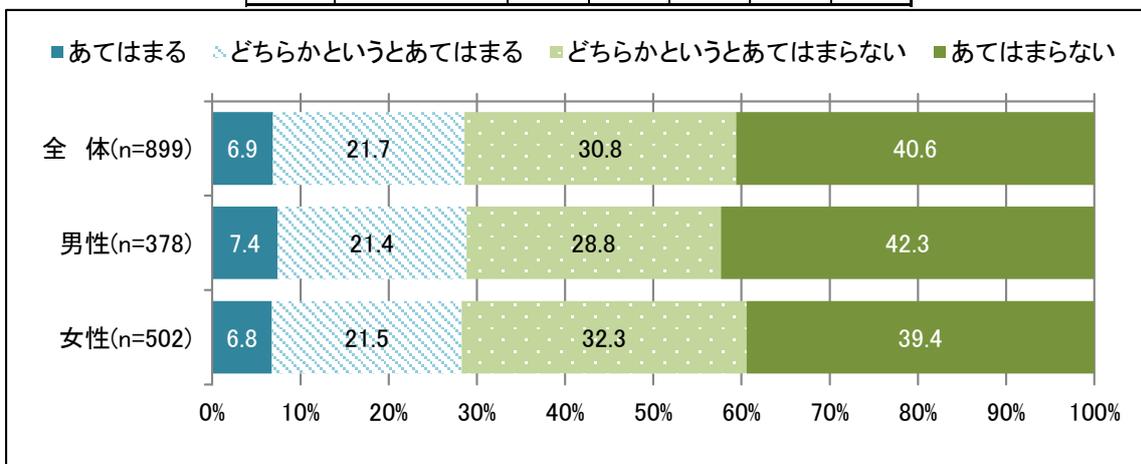
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 62 | 6.9 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 195 | 21.7 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 277 | 30.8 |
| 4 | あてはまらない | 365 | 40.6 |



(図表 III-3-45)

◇ 「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は3割近く

| | | 計 | あてはまる | あてはまる どちらかという と | あてはまる どちらかという と | あてはまらない |
|-----|-------|--------------|-----------|-----------------------|-----------------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 62 6.9 | 195 21.7 | 277 30.8 | 365 40.6 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 28 7.4 | 81 21.4 | 109 28.8 | 160 42.3 |
| | 女性 | 502 100.0 | 34 6.8 | 108 21.5 | 162 32.3 | 198 39.4 |
| | その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 1 50.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 0 0.0 | 6 35.3 | 5 29.4 | 6 35.3 |

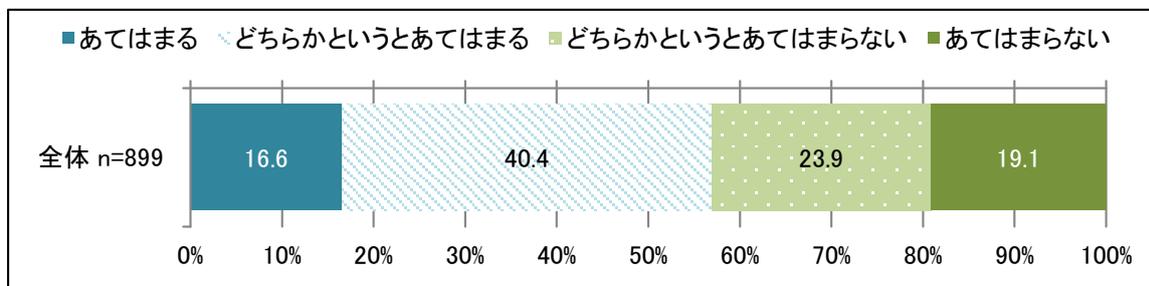


(図表 III-3-46)

○ 「性別で将来の目標を考える児童の言動を目にしたことがある」については、「あてはまる」(6.9%)と「どちらかというにあてはまる」(21.7%)の2つを合わせた「あてはまる」(28.6%)で3割近くとなっている。

(24) 児童をみていて、「男らしさ」「女らしさ」を意識した言動を目にしたことがある (SA)

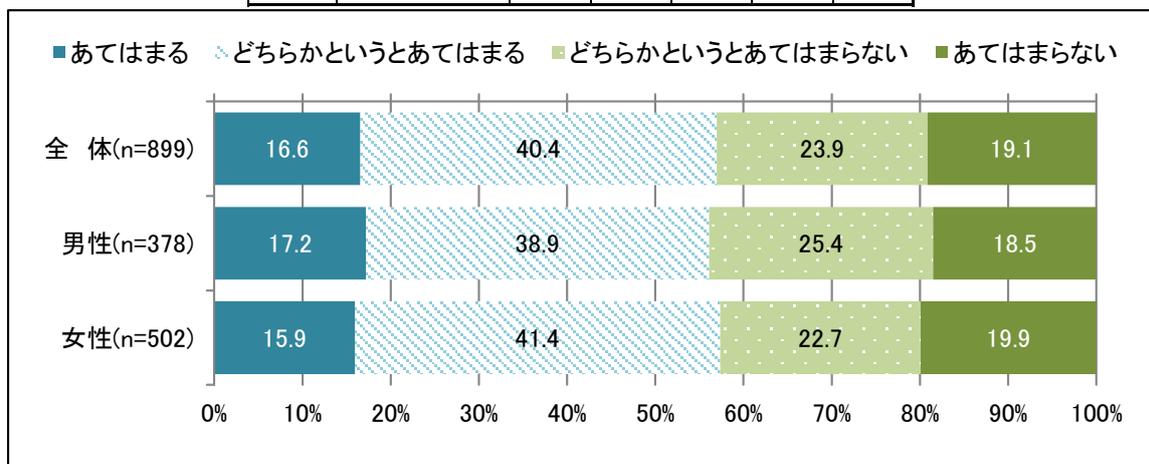
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 149 | 16.6 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 363 | 40.4 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 215 | 23.9 |
| 4 | あてはまらない | 172 | 19.1 |



(図表Ⅲ-3-47)

◇「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は6割近く

| | | 計 | あてはまる | あてはまる どちらかという | あてはまらない どちらかという | あてはまらない |
|-----|-------|--------------|-------------|------------------|--------------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 149 16.6 | 363 40.4 | 215 23.9 | 172 19.1 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 65 17.2 | 147 38.9 | 96 25.4 | 70 18.5 |
| | 女性 | 502 100.0 | 80 15.9 | 208 41.4 | 114 22.7 | 100 19.9 |
| | その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 4 23.5 | 6 35.3 | 5 29.4 | 2 11.8 |

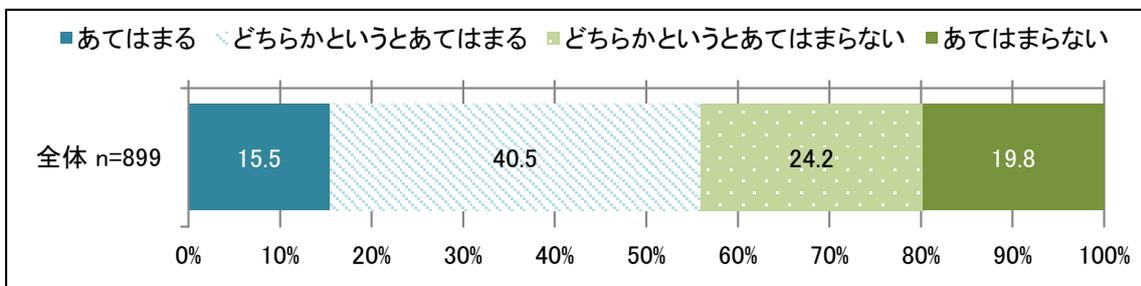


(図表Ⅲ-3-48)

○『児童をみていて、「男らしさ」「女らしさ」を意識した言動を目にしたことがある』については、「あてはまる」(16.6%)と「どちらかというにあてはまる」(40.4%)の2つを合わせた「あてはまる」(57.0%)で6割近くとなっている。

(25) 児童の習い事を聞いていると、性別で違いがあると思う (SA)

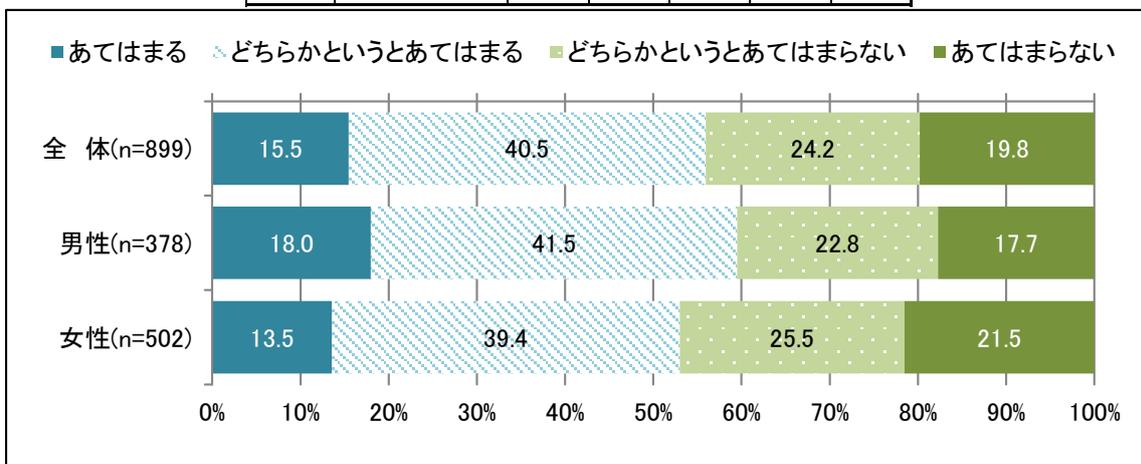
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 139 | 15.5 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 364 | 40.5 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 218 | 24.2 |
| 4 | あてはまらない | 178 | 19.8 |



(図表Ⅲ-3-49)

◇「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は5割台半ば

| | | 計 | あてはまる | あてはまる どちらかという と | あてはまる どちらかという と | あてはまらない |
|-----|-------|--------------|-------------|-----------------------|-----------------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 139 15.5 | 364 40.5 | 218 24.2 | 178 19.8 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 68 18.0 | 157 41.5 | 86 22.8 | 67 17.7 |
| | 女性 | 502 100.0 | 68 13.5 | 198 39.4 | 128 25.5 | 108 21.5 |
| | その他 | 2 100.0 | 1 50.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 2 11.8 | 8 47.1 | 4 23.5 | 3 17.6 |

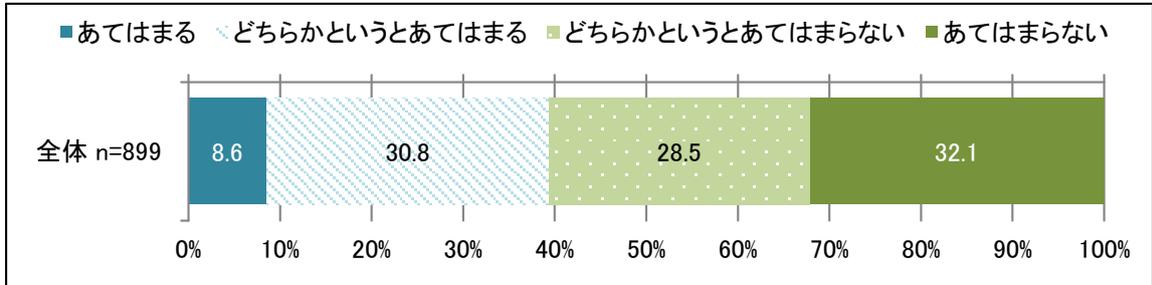


(図表Ⅲ-3-50)

○「児童の習い事を聞いていると、性別で違いがあると思う」については、「あてはまる」(15.5%)と「どちらかというにあてはまる」(40.5%)の2つを合わせた《あてはまる》(56.0%)で5割台半ばとなっている。

(26) 楽器や絵画などの習い事をするのは女の子の方が多い (S A)

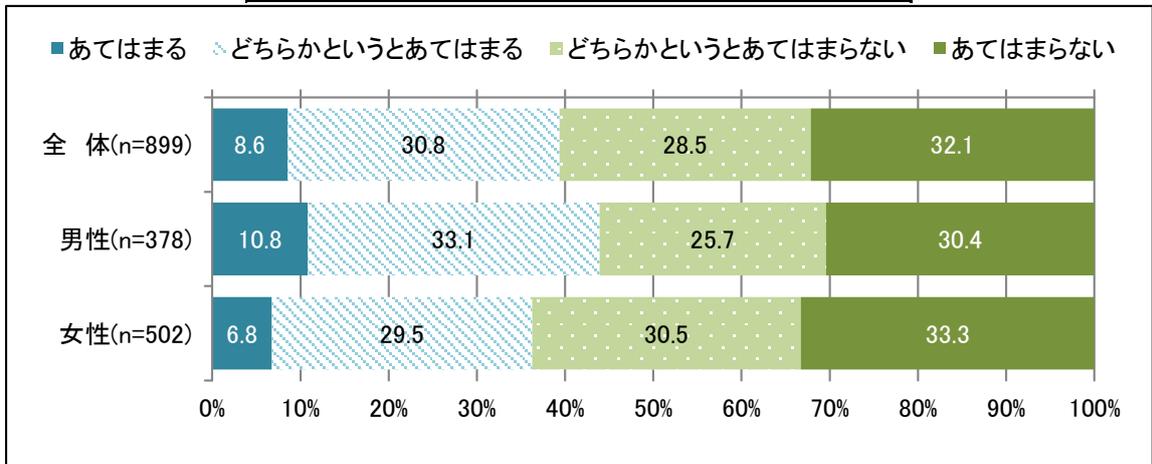
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 77 | 8.6 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 277 | 30.8 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 256 | 28.5 |
| 4 | あてはまらない | 289 | 32.1 |



(図表Ⅲ-3-51)

◇ 「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」はほぼ4割

| | | 計 | あてはまる | あどち あては まら か と い う と | あどち あては まら か と い う と | あては まら な い |
|--------|-------|--------------|------------|---|---|---------------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 77 8.6 | 277 30.8 | 256 28.5 | 289 32.1 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 41 10.8 | 125 33.1 | 97 25.7 | 115 30.4 |
| | 女性 | 502 100.0 | 34 6.8 | 148 29.5 | 153 30.5 | 167 33.3 |
| | その他 | 2 100.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 1 5.9 | 4 23.5 | 6 35.3 | 6 35.3 |

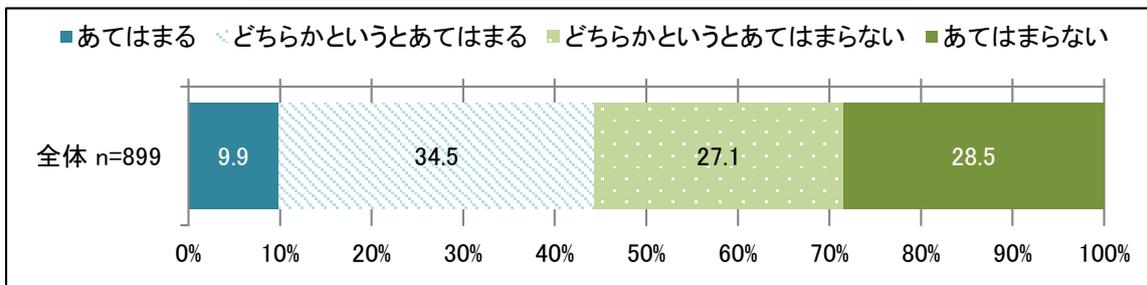


(図表Ⅲ-3-52)

○ 「楽器や絵画などの習い事をするのは女の子の方が多い」については、「あてはまる」(8.6%)と「どちらかというにあてはまる」(30.8%)の2つを合わせた「あてはまる」(39.4%)でほぼ4割となっている。

(27) スポーツなどの習い事をするのは男の子の方が多い (SA)

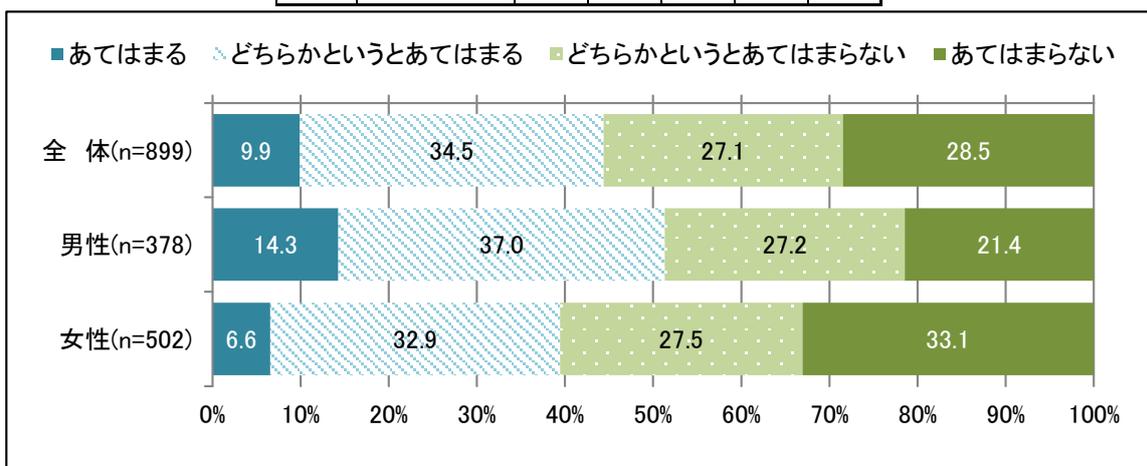
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 89 | 9.9 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 310 | 34.5 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 244 | 27.1 |
| 4 | あてはまらない | 256 | 28.5 |



(図表Ⅲ-3-53)

◇「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は4割台半ば

| | | 計 | あてはまる | あてはまる どちらかという と | あてはまる どちらかという と ない | あてはまらない |
|-----|-------|--------------|------------|-----------------------|-----------------------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 89 9.9 | 310 34.5 | 244 27.1 | 256 28.5 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 54 14.3 | 140 37.0 | 103 27.2 | 81 21.4 |
| | 女性 | 502 100.0 | 33 6.6 | 165 32.9 | 138 27.5 | 166 33.1 |
| | その他 | 2 100.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 1 5.9 | 5 29.4 | 3 17.6 | 8 47.1 |

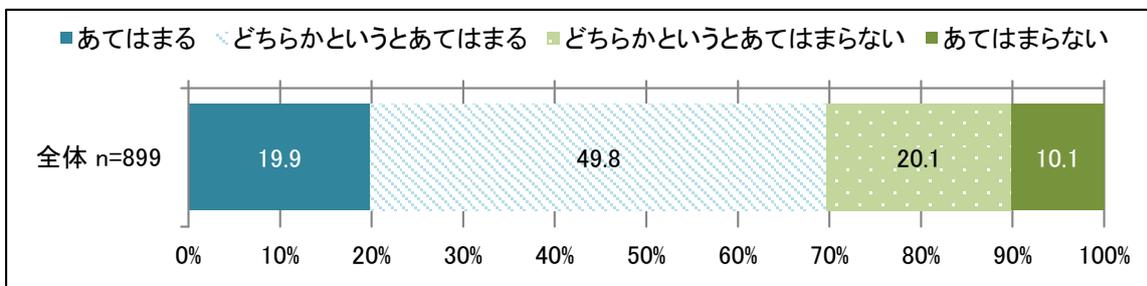


(図表Ⅲ-3-54)

○「スポーツなどの習い事をするのは男の子の方が多い」については、「あてはまる」(9.9%)と「どちらかというにあてはまる」(34.5%)の2つを合わせた「あてはまる」(44.4%)で4割台半ばとなっている。また、男性「あてはまる」(51.3%)と女性「あてはまる」(39.5%)で回答割合の差が大きかった。

(28) 性別により遊び方が違う傾向にある (SA)

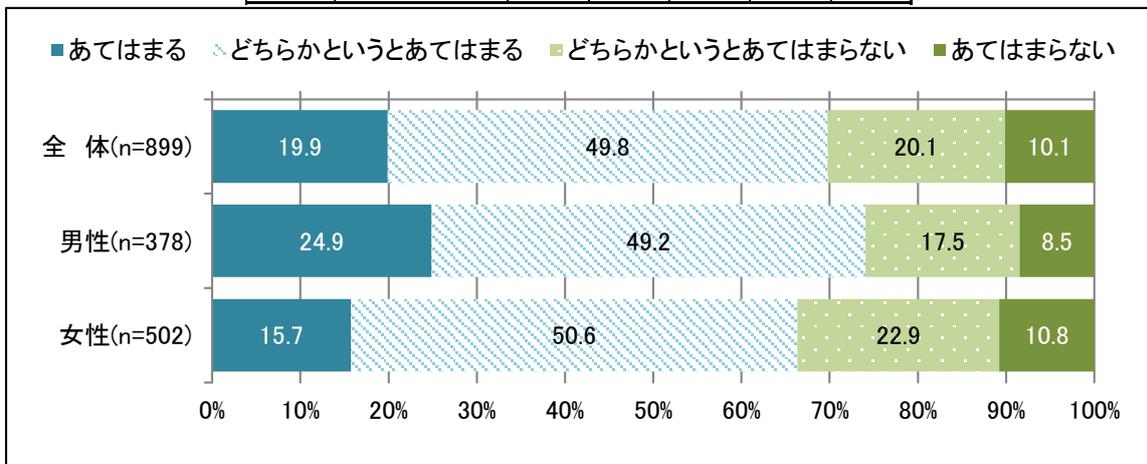
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 179 | 19.9 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 448 | 49.8 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 181 | 20.1 |
| 4 | あてはまらない | 91 | 10.1 |



(図表Ⅲ-3-55)

◇ 「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は7割

| | | 計 | あてはまる | あてはまる どちらかという | あてはまる どちらかという | あてはまらない |
|-----|-------|--------------|-------------|------------------|------------------|------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 179 19.9 | 448 49.8 | 181 20.1 | 91 10.1 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 94 24.9 | 186 49.2 | 66 17.5 | 32 8.5 |
| | 女性 | 502 100.0 | 79 15.7 | 254 50.6 | 115 22.9 | 54 10.8 |
| | その他 | 2 100.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 5 29.4 | 8 47.1 | 0 0.0 | 4 23.5 |

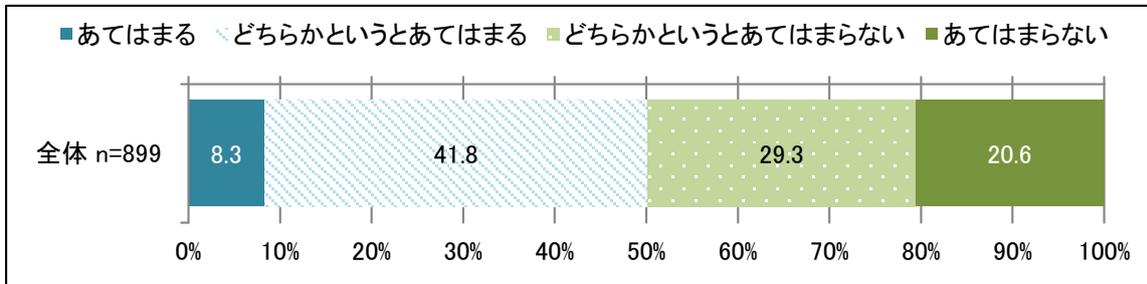


(図表Ⅲ-3-56)

○ 「性別により遊び方が違う傾向にある」については、「あてはまる」(19.9%)と「どちらかというにあてはまる」(49.8%)の2つを合わせた《あてはまる》(69.7%)で7割となっている。

(29) 児童をみていると、「男の子らしい色」「女の子らしい色」を意識している傾向にある (SA)

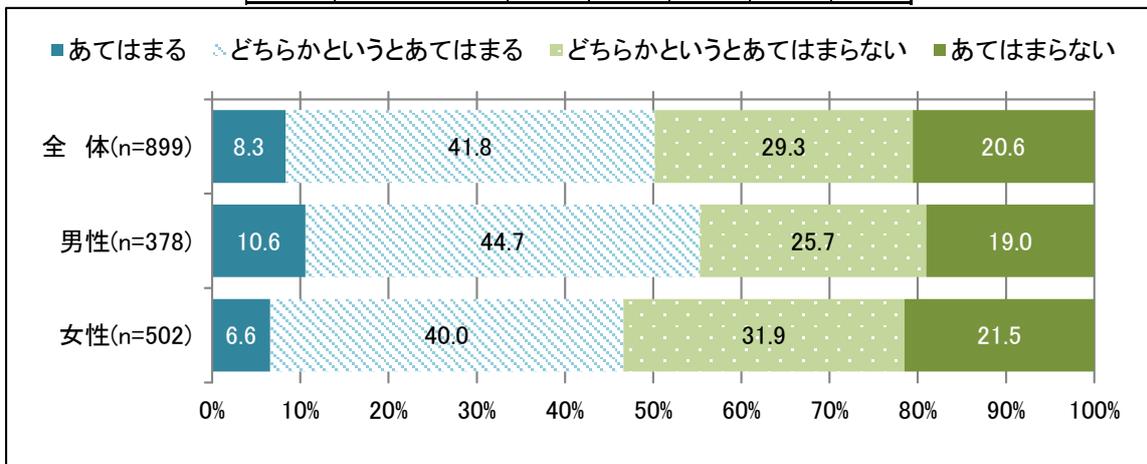
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 75 | 8.3 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 376 | 41.8 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 263 | 29.3 |
| 4 | あてはまらない | 185 | 20.6 |



(図表Ⅲ-3-57)

◇「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は5割

| | | 計 | あてはまる | あてはまる どちらかという | あてはまらない どちらかという | あてはまらない |
|-----|-------|--------------|------------|------------------|--------------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 75 8.3 | 376 41.8 | 263 29.3 | 185 20.6 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 40 10.6 | 169 44.7 | 97 25.7 | 72 19.0 |
| | 女性 | 502 100.0 | 33 6.6 | 201 40.0 | 160 31.9 | 108 21.5 |
| | その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 2 11.8 | 4 23.5 | 6 35.3 | 5 29.4 |



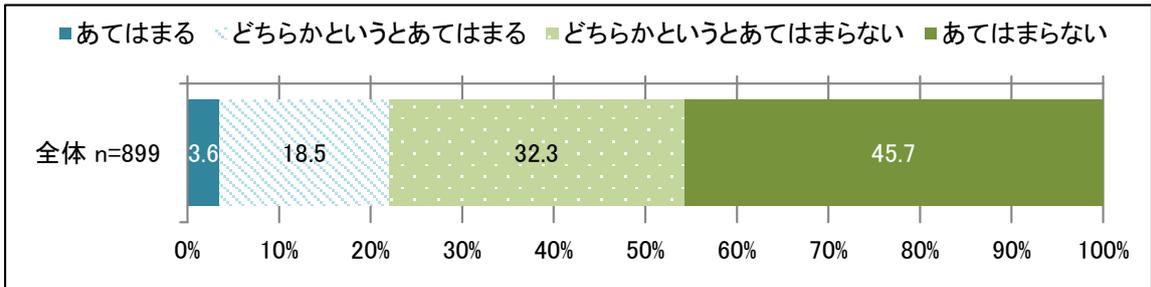
(図表Ⅲ-3-58)

○『児童をみていると、「男の子らしい色」「女の子らしい色」を意識している傾向にある』については、「あてはまる」(8.3%)と「どちらかというにあてはまる」(41.8%)の2つを合わせた「あてはまる」(50.1%)で5割となっている。

D 保護者に関すること

(30) 「性別」によって児童の進路を考えている発言が保護者よりあった (SA)

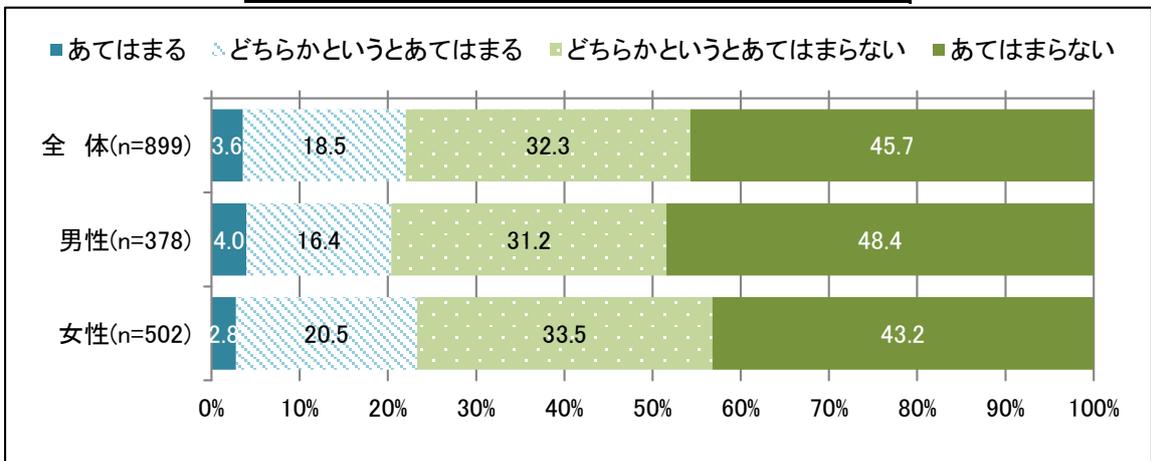
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 32 | 3.6 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 166 | 18.5 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 290 | 32.3 |
| 4 | あてはまらない | 411 | 45.7 |



(図表 III-3-59)

◇ 「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は2割超え

| | | 計 | あてはまる | あどちらはかというにあてはまる | あどちらはかというにあてはまらない | あてはまらない |
|----|-------|--------------|-----------|-----------------|-------------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 32 3.6 | 166 18.5 | 290 32.3 | 411 45.7 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 15 4.0 | 62 16.4 | 118 31.2 | 183 48.4 |
| | 女性 | 502 100.0 | 14 2.8 | 103 20.5 | 168 33.5 | 217 43.2 |
| | その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 3 17.6 | 1 5.9 | 4 23.5 | 9 52.9 |

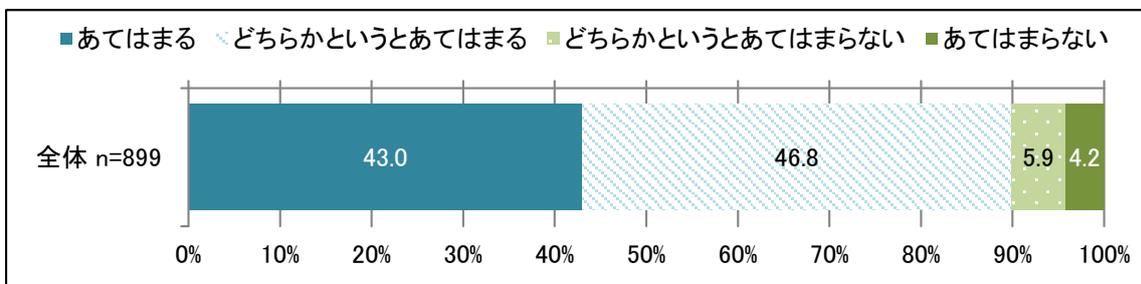


(図表 III-3-60)

○ 『「性別」によって児童の進路を考えている発言が保護者よりあった』については、「あてはまる」(3.6%)と「どちらかというにあてはまる」(18.5%)の2つを合わせた「あてはまる」(22.1%)で2割を超えている。

(3 1) 学校行事は母親の参加が多い (S A)

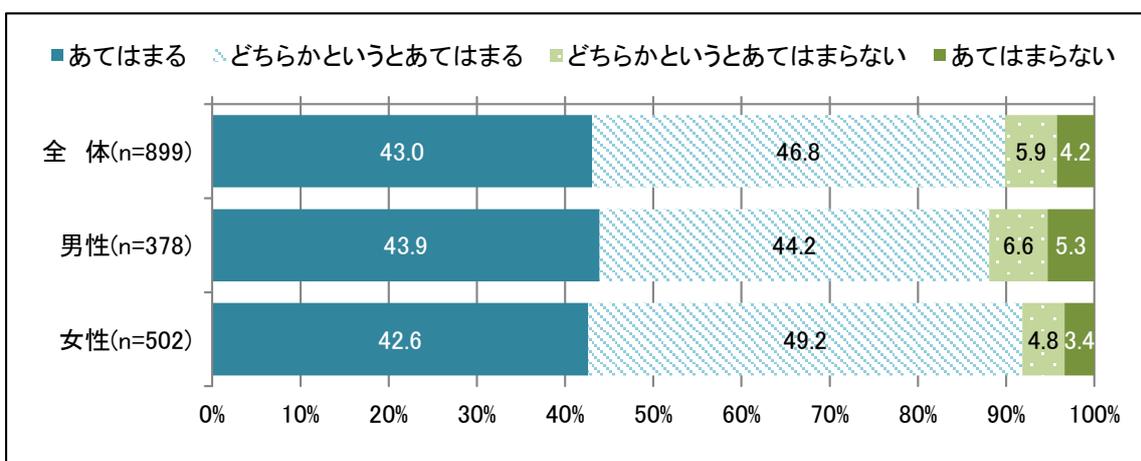
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 387 | 43.0 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 421 | 46.8 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 53 | 5.9 |
| 4 | あてはまらない | 38 | 4.2 |



(図表Ⅲ-3-61)

◇「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は9割

| | | 計 | あてはまる | あてはまる どちらかという と | あてはまる どちらかという と | あてはまらない |
|-----|-------|--------------|-------------|-----------------------|-----------------------|-----------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 387 43.0 | 421 46.8 | 53 5.9 | 38 4.2 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 166 43.9 | 167 44.2 | 25 6.6 | 20 5.3 |
| | 女性 | 502 100.0 | 214 42.6 | 247 49.2 | 24 4.8 | 17 3.4 |
| | その他 | 2 100.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 6 35.3 | 7 41.2 | 3 17.6 | 1 5.9 |

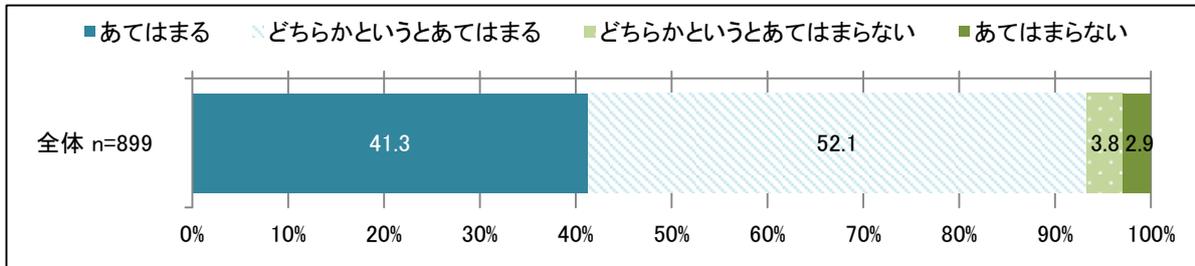


(図表Ⅲ-3-62)

○「学校行事は母親の参加が多い」については、「あてはまる」(43.0%)と「どちらかというにあてはまる」(46.8%)の2つを合わせた「あてはまる」(89.8%)で9割となっている。

(32) 学校関係の児童の身の回りの準備は母親がやっていることが多い (SA)

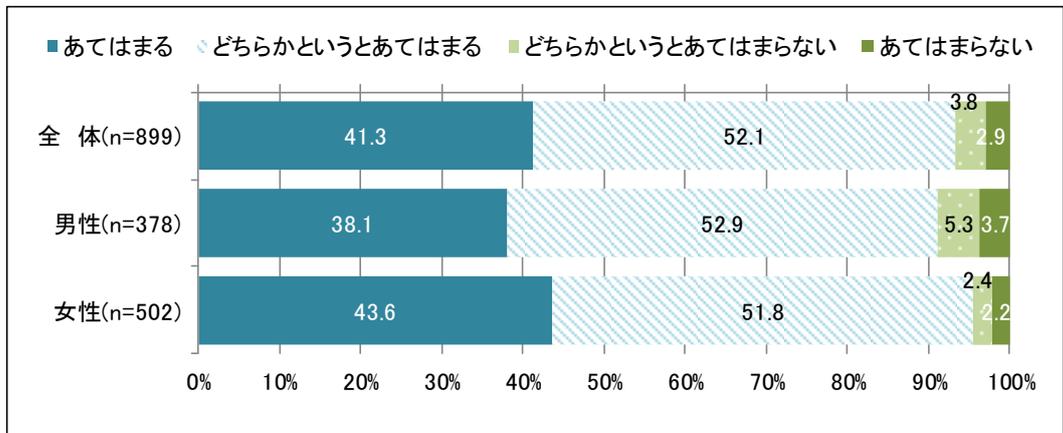
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 371 | 41.3 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 468 | 52.1 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 34 | 3.8 |
| 4 | あてはまらない | 26 | 2.9 |



(図表Ⅲ-3-63)

◇ 「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は9割超え

| | | 計 | あてはまる | あてはまる どちらかという と | あてはまる どちらかという と | あてはまらない |
|-----|-------|--------------|-------------|-----------------------|-----------------------|-----------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 371 41.3 | 468 52.1 | 34 3.8 | 26 2.9 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 144 38.1 | 200 52.9 | 20 5.3 | 14 3.7 |
| | 女性 | 502 100.0 | 219 43.6 | 260 51.8 | 12 2.4 | 11 2.2 |
| | その他 | 2 100.0 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 6 35.3 | 8 47.1 | 2 11.8 | 1 5.9 |



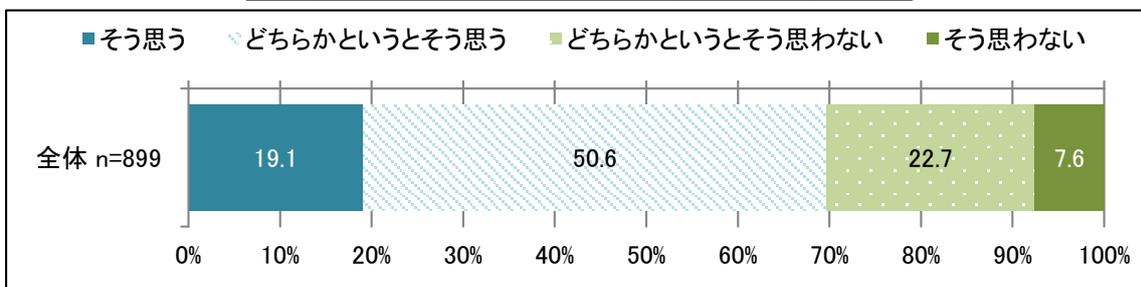
(図表Ⅲ-3-64)

○ 「学校関係の児童の身の回りの準備は母親がやっていることが多い」については、「あてはまる」(41.3%)と「どちらかというにあてはまる」(52.1%)の2つを合わせた「あてはまる」(93.4%)で9割を超えている。

E 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の認知度など

(33) 学校での指導等において無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を意識している（SA）

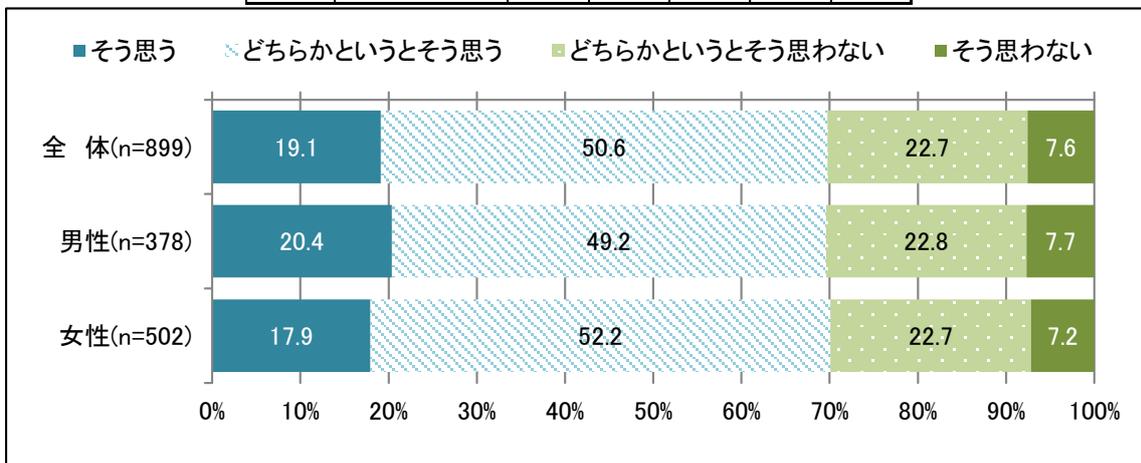
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 172 | 19.1 |
| 2 | どちらかというと思う | 455 | 50.6 |
| 3 | どちらかというと思わない | 204 | 22.7 |
| 4 | そう思わない | 68 | 7.6 |



(図表 III-3-65)

◇ 「そう思う」「どちらかというと思う」は7割

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と | そ ど ち ら か と い う と | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|--------------|-------------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 172 19.1 | 455 50.6 | 204 22.7 | 68 7.6 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 77 20.4 | 186 49.2 | 86 22.8 | 29 7.7 |
| | 女性 | 502 100.0 | 90 17.9 | 262 52.2 | 114 22.7 | 36 7.2 |
| | その他 | 2 100.0 | 1 50.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 4 23.5 | 6 35.3 | 4 23.5 | 3 17.6 |

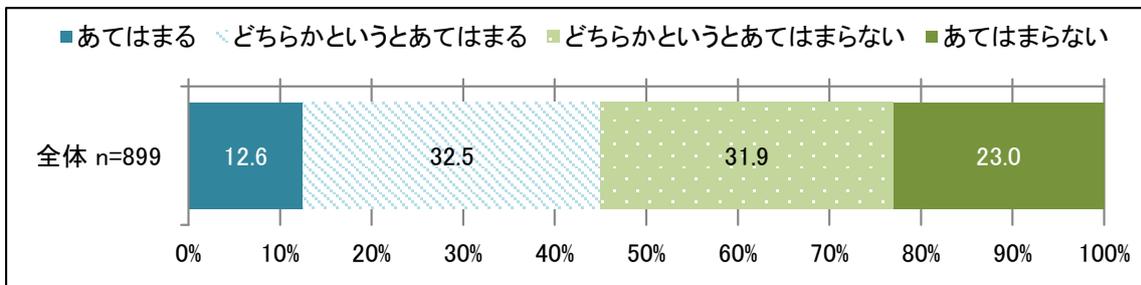


(図表 III-3-66)

○ 「学校での指導等において無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を意識している」については、「そう思う」（19.1%）と「どちらかというと思う」（50.6%）の2つを合わせた「そう思う」（69.7%）で7割となっている。

(34) 教員間で無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) について話をしたことがある (SA)

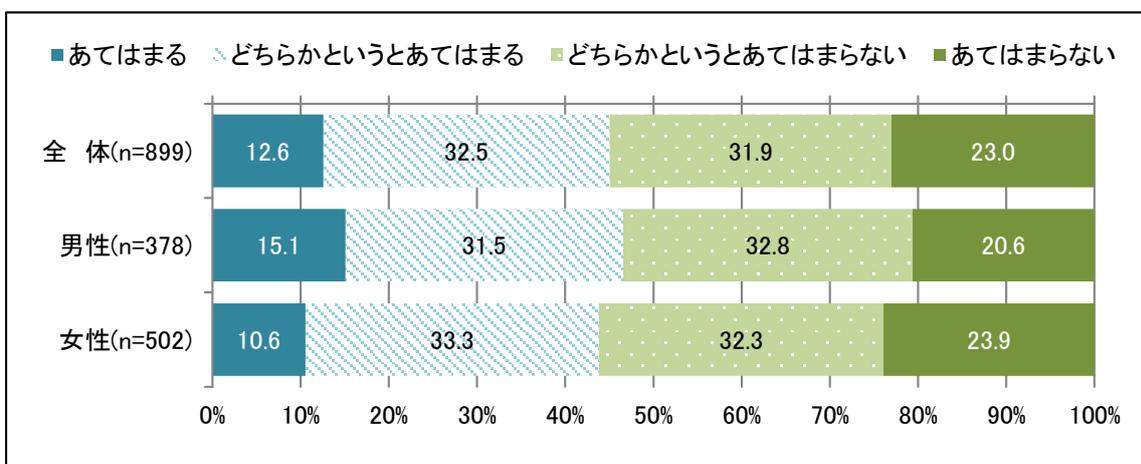
| | | 回答数 | % |
|---|-----------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | あてはまる | 113 | 12.6 |
| 2 | どちらかというにあてはまる | 292 | 32.5 |
| 3 | どちらかというにあてはまらない | 287 | 31.9 |
| 4 | あてはまらない | 207 | 23.0 |



(図表Ⅲ-3-67)

◇ 「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」は4割台半ば

| | | 計 | あてはまる | あてはまる どちらかという と | あてはまる どちらかという と | あてはまらない |
|-----|-------|--------------|-------------|-----------------------|-----------------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 113 12.6 | 292 32.5 | 287 31.9 | 207 23.0 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 57 15.1 | 119 31.5 | 124 32.8 | 78 20.6 |
| | 女性 | 502 100.0 | 53 10.6 | 167 33.3 | 162 32.3 | 120 23.9 |
| | その他 | 2 100.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 2 11.8 | 6 35.3 | 1 5.9 | 8 47.1 |

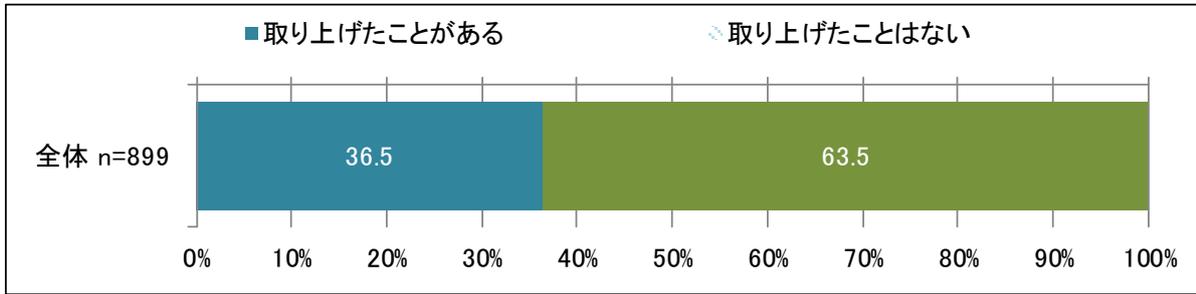


(図表Ⅲ-3-68)

○ 「教員間で無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) について話をしたことがある」については、「あてはまる」(12.6%)と「どちらかというにあてはまる」(32.5%)の2つを合わせた《あてはまる》(45.1%)で4割台半ばとなっている。

(35) 子供への指導で無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を取り上げたことがある（SA）

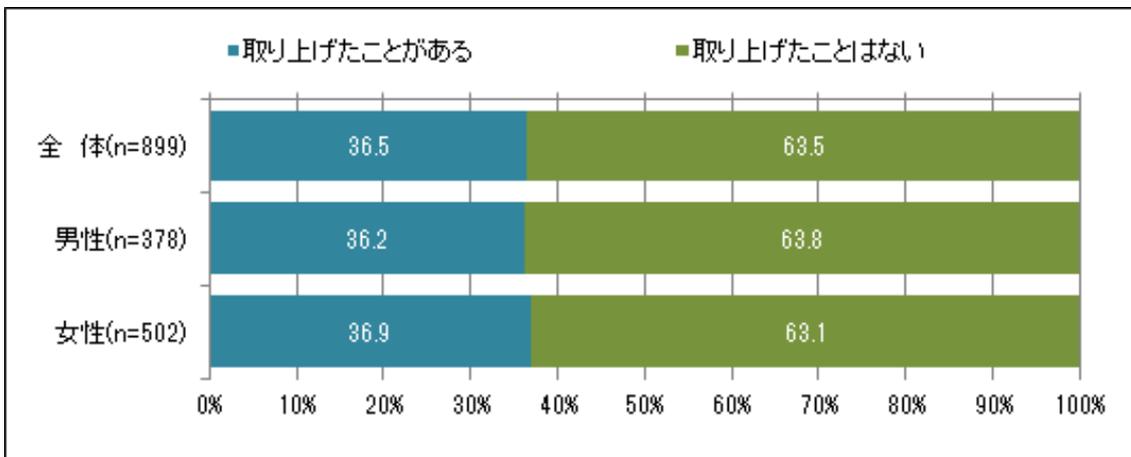
| | | 回答数 | % |
|---|------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | 取り上げたことがある | 328 | 36.5 |
| 2 | 取り上げたことはない | 571 | 63.5 |



(図表Ⅲ-3-69)

◇「取り上げたことがある」は4割近く

| | | 計 | あ 取 り 上 げ た こ と が | な 取 り 上 げ た こ と は |
|--------|-------|--------------|---|---|
| 全 体 | | 899 100.0 | 328 36.5 | 571 63.5 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 137 36.2 | 241 63.8 |
| | 女性 | 502 100.0 | 185 36.9 | 317 63.1 |
| | その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 2 100.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 6 35.3 | 11 64.7 |

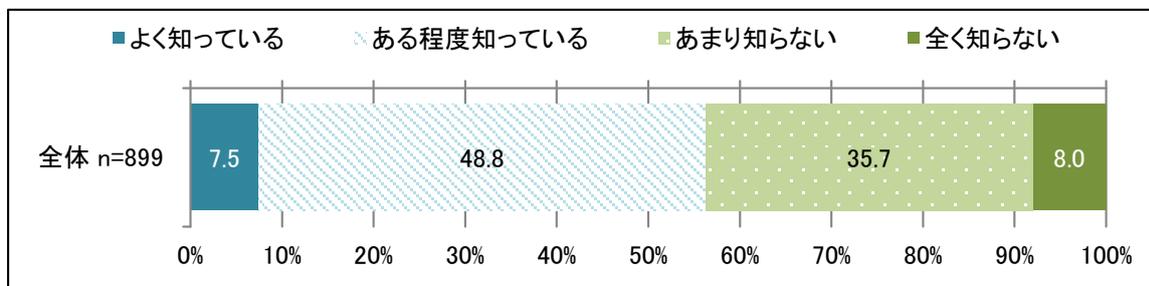


(図表Ⅲ-3-70)

○「子供への指導で無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を取り上げたことがある」については、「取り上げたことがある」（36.5%）で4割近くとなっている。

(36) 無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) について知っていますか (SA)

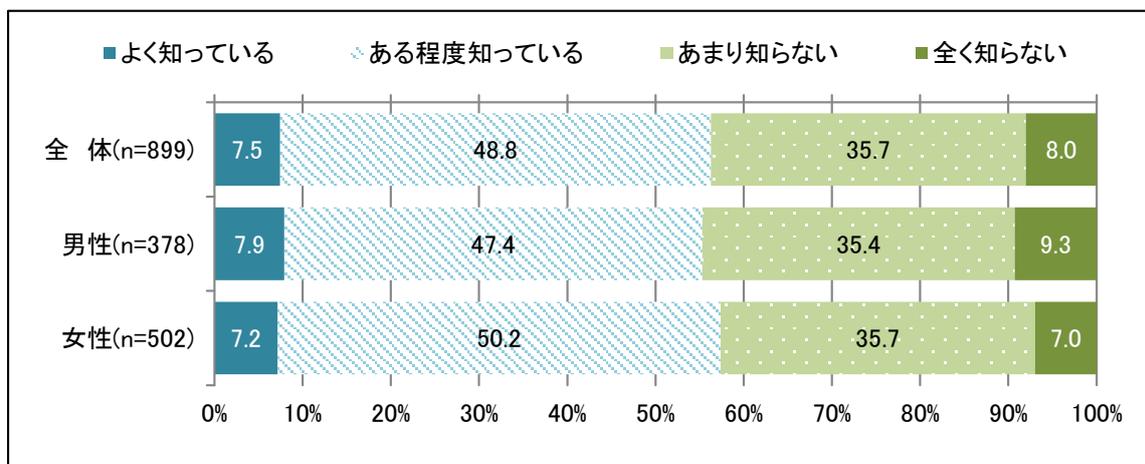
| | | 回答数 | % |
|---|-----------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | よく知っている | 67 | 7.5 |
| 2 | ある程度知っている | 439 | 48.8 |
| 3 | あまり知らない | 321 | 35.7 |
| 4 | 全く知らない | 72 | 8.0 |



(図表Ⅲ-3-71)

◇「よく知っている」「ある程度知っている」は5割台半ば

| | | 計 | よく知っている | ある程度知っている | あまり知らない | 全く知らない |
|----|-------|--------------|-----------|-------------|-------------|-----------|
| 全体 | | 899 100.0 | 67 7.5 | 439 48.8 | 321 35.7 | 72 8.0 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 30 7.9 | 179 47.4 | 134 35.4 | 35 9.3 |
| | 女性 | 502 100.0 | 36 7.2 | 252 50.2 | 179 35.7 | 35 7.0 |
| | その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 1 50.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 1 5.9 | 7 41.2 | 8 47.1 | 1 5.9 |

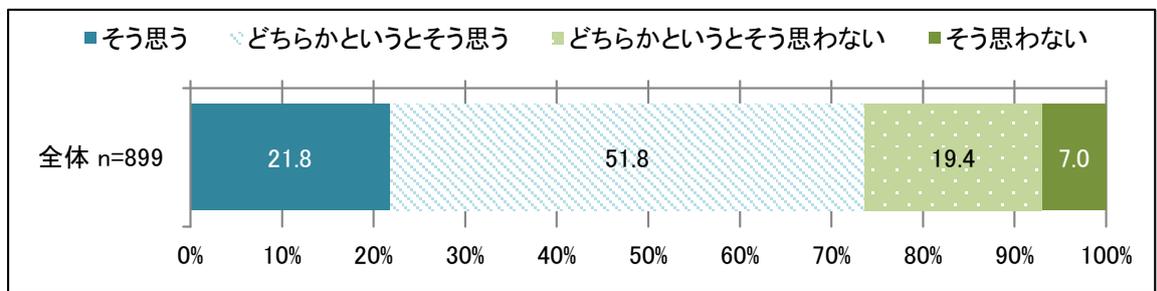


(図表Ⅲ-3-72)

○「無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) について知っていますか」については、「よく知っている」(7.5%)と「ある程度知っている」(48.8%)の2つを合わせた《知っている》(56.3%)で5割台半ばとなっている。

(37) (自己啓発として) 無意識の思い込みについて、研修などがあれば受講したいか (SA)

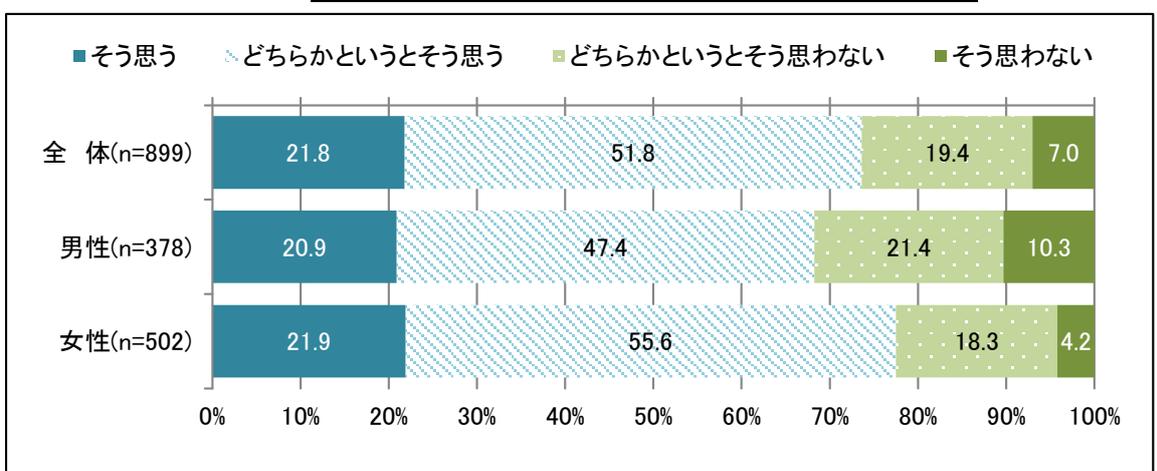
| | | 回答数 | % |
|---|--------------|-----|-------|
| | | 899 | 100.0 |
| 1 | そう思う | 196 | 21.8 |
| 2 | どちらかというと思う | 466 | 51.8 |
| 3 | どちらかというと思わない | 174 | 19.4 |
| 4 | そう思わない | 63 | 7.0 |



(図表Ⅲ-3-73)

◇「そう思う」「どちらかというと思う」は7割超え

| | | 計 | そう 思う | そ ど ち ら か と い う と | そ ど ち ら か と い う と | そ う 思 わ な い |
|--------|-------|--------------|-------------|---|---|----------------------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 196 21.8 | 466 51.8 | 174 19.4 | 63 7.0 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 79 20.9 | 179 47.4 | 81 21.4 | 39 10.3 |
| | 女性 | 502 100.0 | 110 21.9 | 279 55.6 | 92 18.3 | 21 4.2 |
| | その他 | 2 100.0 | 1 50.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 0 0.0 |
| | 回答しない | 17 100.0 | 6 35.3 | 7 41.2 | 1 5.9 | 3 17.6 |



(図表Ⅲ-3-74)

○「(自己啓発として) 無意識の思い込みについて、研修などがあれば受講したいか」については、「そう思う」(21.8%)と「どちらかというと思う」(51.8%)の2つを合わせた「そう思う」(73.6%)で7割を超えている。

第IV章 調査結果の分析

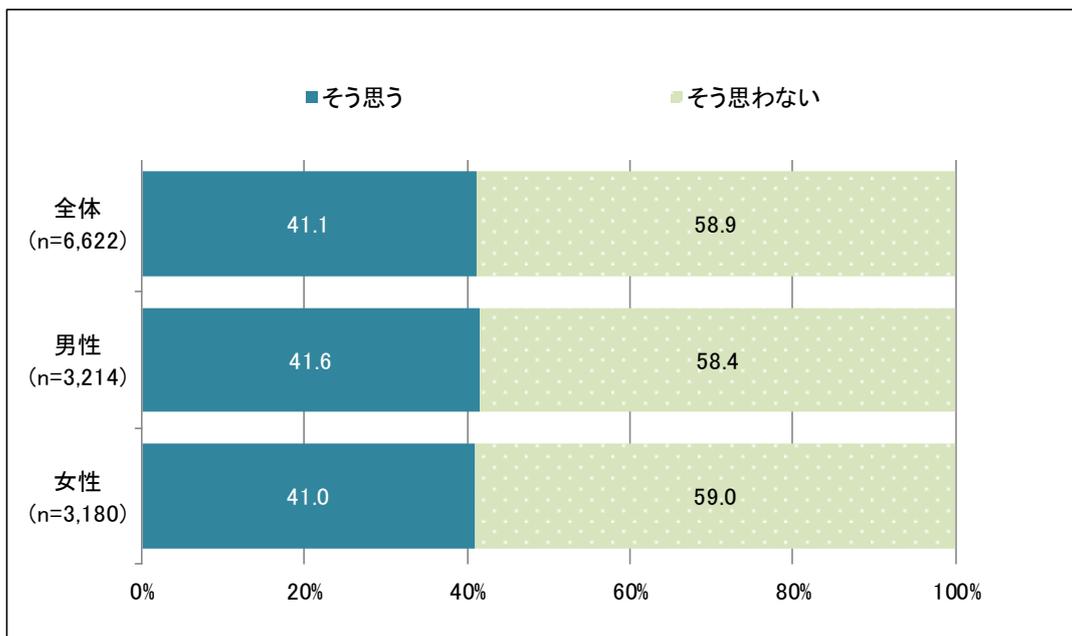
1 性別によるクロス集計結果

① 児童

A 自身に関すること

(1) 「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある (S A)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|---------------|--------------|--------------|
| 全 体 | | 6622 100.0 | 2722 41.1 | 3900 58.9 |
| 性別 | 男性 | 3214 100.0 | 1338 41.6 | 1876 58.4 |
| | 女性 | 3180 100.0 | 1304 41.0 | 1876 59.0 |



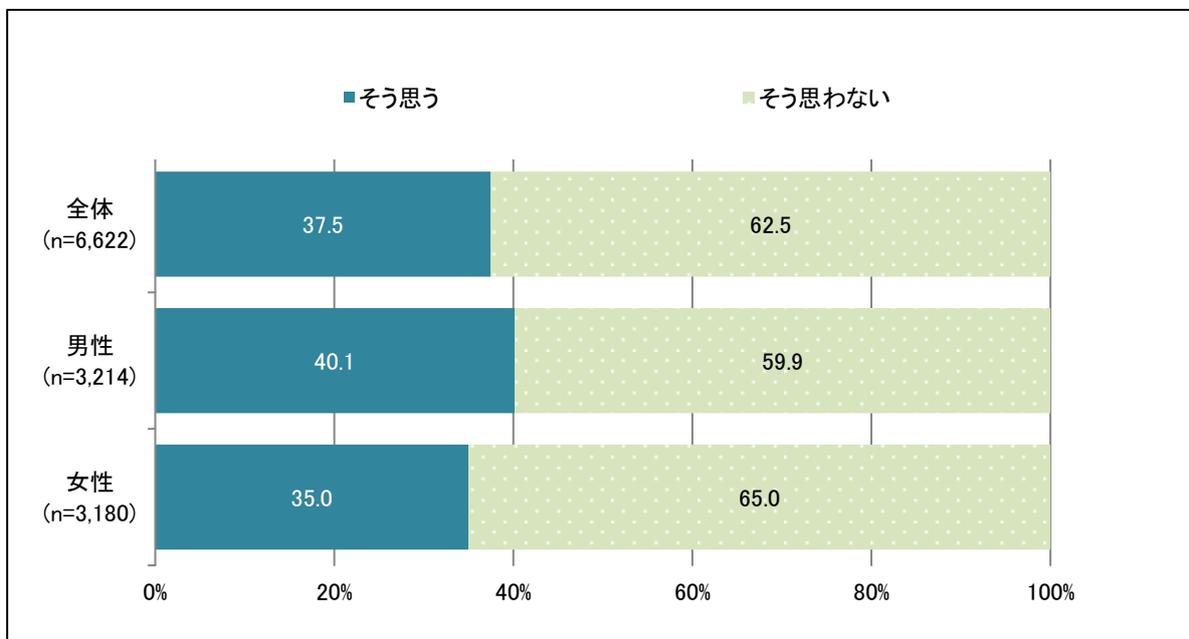
(図表IV-1-1)

○『「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある』については、全体では「そう思う」(41.1%)で4割を超えている。

性別で見ると、男性では「そう思う」(41.6%)、女性では「そう思う」(41.0%)となっている。

(2) 性別で教科の得意、不得意があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|---------------|--------------|--------------|
| 全 体 | | 6622 100.0 | 2482 37.5 | 4140 62.5 |
| 性別 | 男性 | 3214 100.0 | 1290 40.1 | 1924 59.9 |
| | 女性 | 3180 100.0 | 1112 35.0 | 2068 65.0 |



(図表IV-1-2)

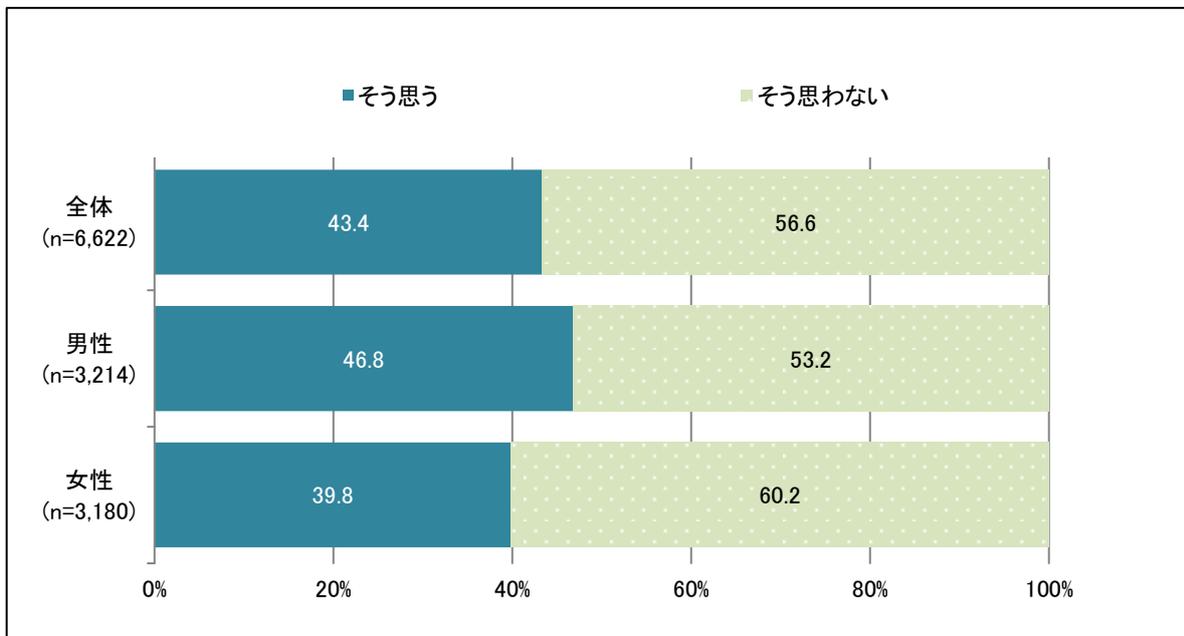
○「性別で教科の得意、不得意があると思う」については、全体では《そう思う》(37.5%)で4割近くとなっている。

性別で見ると、男性では《そう思う》(40.1%)、女性では《そう思う》(35.0%)となっている。

「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$) が見られた。

(3) (将来の仕事について) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|---------------|--------------|--------------|
| 全 体 | | 6622 100.0 | 2873 43.4 | 3749 56.6 |
| 性別 | 男性 | 3214 100.0 | 1503 46.8 | 1711 53.2 |
| | 女性 | 3180 100.0 | 1267 39.8 | 1913 60.2 |



(図表IV-1-3)

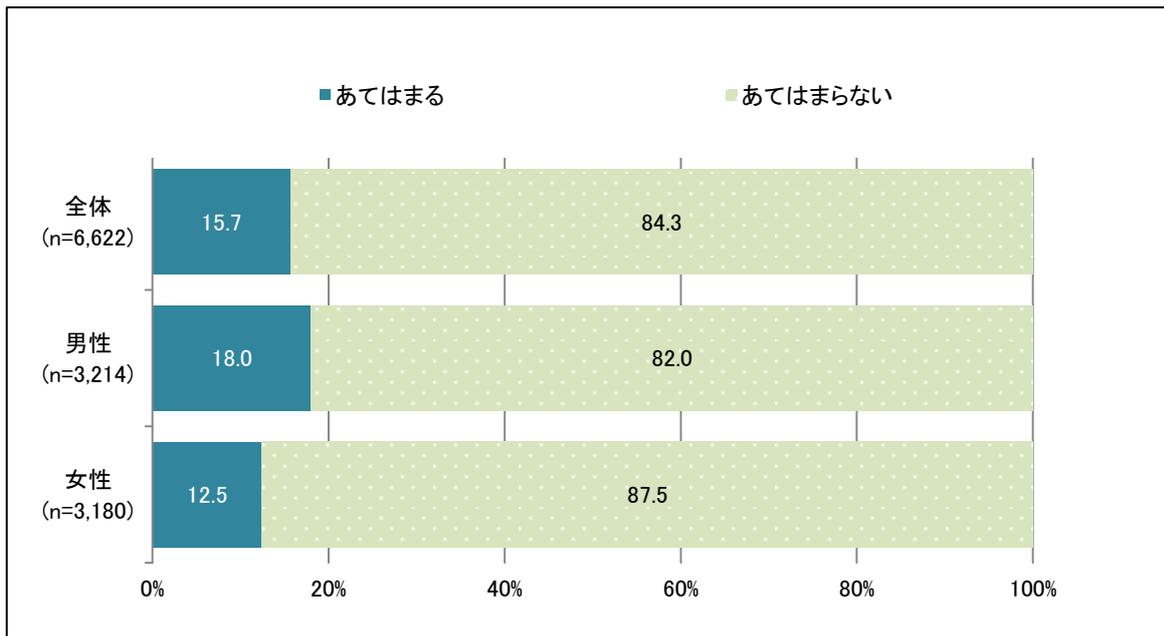
○「(将来の仕事について) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」については、全体では《そう思う》(43.4%)で4割を超えている。

性別で見ると、男性では《そう思う》(46.8%)、女性では《そう思う》(39.8%)となっている。

「(将来の仕事について)性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$) が見られた。

(4) 「男の子なんだから」「女の子なんだから」と先生に言われたことがある (S A)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|---------------|--------------|--------------|
| 全 体 | | 6622 100.0 | 1040 15.7 | 5582 84.3 |
| 性別 | 男性 | 3214 100.0 | 580 18.0 | 2634 82.0 |
| | 女性 | 3180 100.0 | 397 12.5 | 2783 87.5 |



(図表IV-1-4)

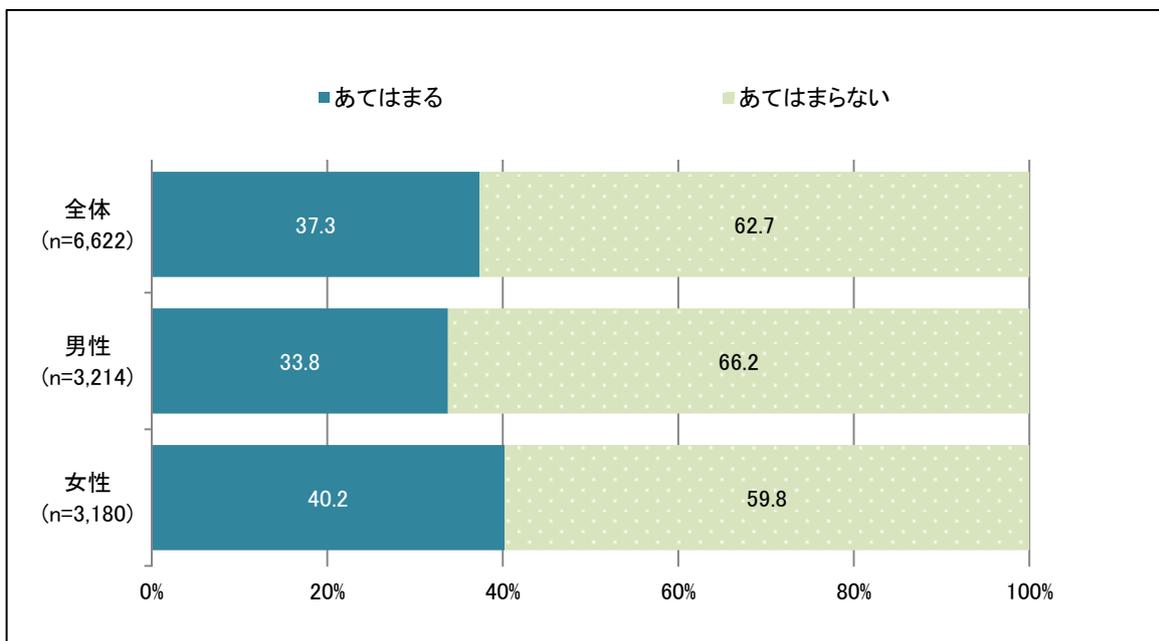
○『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と先生に言われたことがある』については、全体では「あてはまる」(15.7%)で1割台半ばとなっている。

性別でみると、男性では「あてはまる」(18.0%)、女性では「あてはまる」(12.5%)となっている。

『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と先生に言われたことがある』について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 (p < 0.001) が見られた。

(5) 「男の子なんだから」「女の子なんだから」と親（保護者）に言われたことがある（SA）

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|---------------|--------------|--------------|
| 全 体 | | 6622 100.0 | 2473 37.3 | 4149 62.7 |
| 性別 | 男性 | 3214 100.0 | 1085 33.8 | 2129 66.2 |
| | 女性 | 3180 100.0 | 1278 40.2 | 1902 59.8 |



(図表IV-1-5)

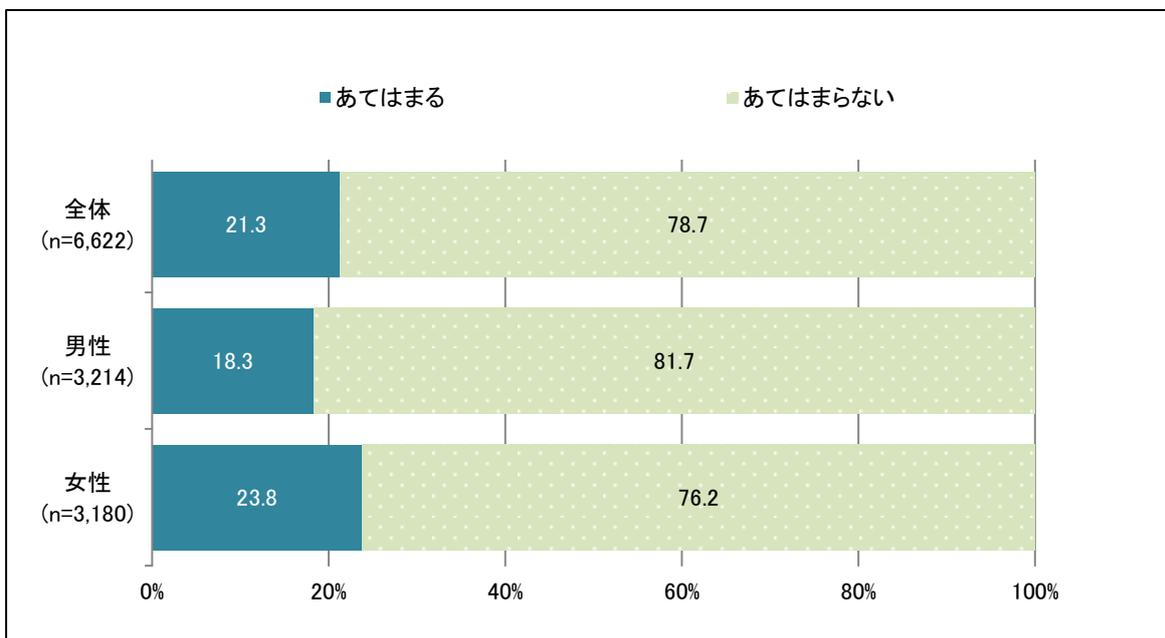
○『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と親（保護者）に言われたことがある』については、全体では「あてはまる」（37.3%）で4割近くとなっている。

性別で見ると、男性では「あてはまる」（33.8%）、女性では「あてはまる」（40.2%）となっている。

『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と親（保護者）に言われたことがある』について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差（ $p < 0.001$ ）が見られた。

(6) 「男の子なんだから」「女の子なんだから」と祖父母や親戚など周りの大人に言われたことがある (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|---------------|--------------|--------------|
| 全 体 | | 6622 100.0 | 1413 21.3 | 5209 78.7 |
| 性別 | 男性 | 3214 100.0 | 588 18.3 | 2626 81.7 |
| | 女性 | 3180 100.0 | 756 23.8 | 2424 76.2 |



(図表IV-1-6)

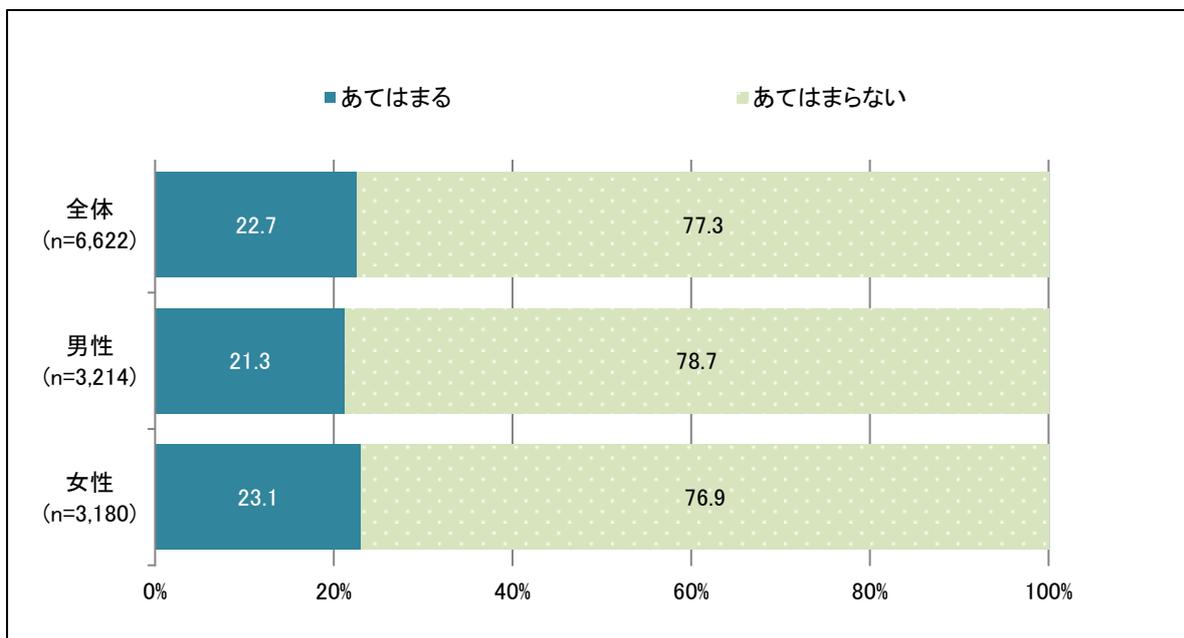
○『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と祖父母や親戚など周りの大人に言われたことがある』については、全体では「あてはまる」(21.3%)で2割を超えている。

性別で見ると、男性では「あてはまる」(18.3%)、女性では「あてはまる」(23.8%)となっている。

『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と祖父母や親戚など周りの大人に言われたことがある』について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差(p<0.001)が見られた。

(7) 性別を理由に、思ったことが言えなかったことがある (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|---------------|--------------|--------------|
| 全 体 | | 6622 100.0 | 1501 22.7 | 5121 77.3 |
| 性 別 | 男性 | 3214 100.0 | 683 21.3 | 2531 78.7 |
| | 女性 | 3180 100.0 | 735 23.1 | 2445 76.9 |



(図表IV-1-7)

○「性別を理由に、思ったことが言えなかったことがある」については、全体では「あてはまる」(22.7%)で2割を超えている。

性別で見ると、「あてはまる」について、男性(21.3%)、女性(23.1%)ともに2割を超えている。

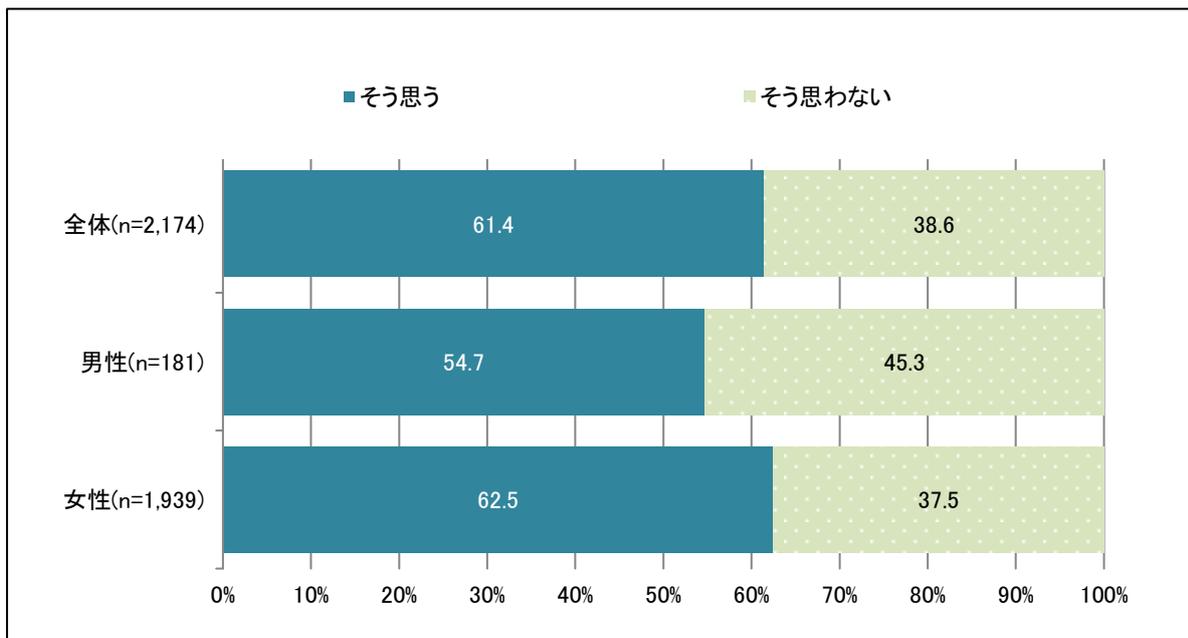
「性別を理由に、思ったことが言えなかったことがある」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

② 保護者

A 家庭に関すること

(1) 育児は女性の方が向いていると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|-------|------|--------|
| 全 体 | | 2174 | 1335 | 839 |
| | | 100.0 | 61.4 | 38.6 |
| 性 別 | 男性 | 181 | 99 | 82 |
| | 女性 | 1939 | 1211 | 728 |
| | | 100.0 | 62.5 | 37.5 |



(図表IV-1-8)

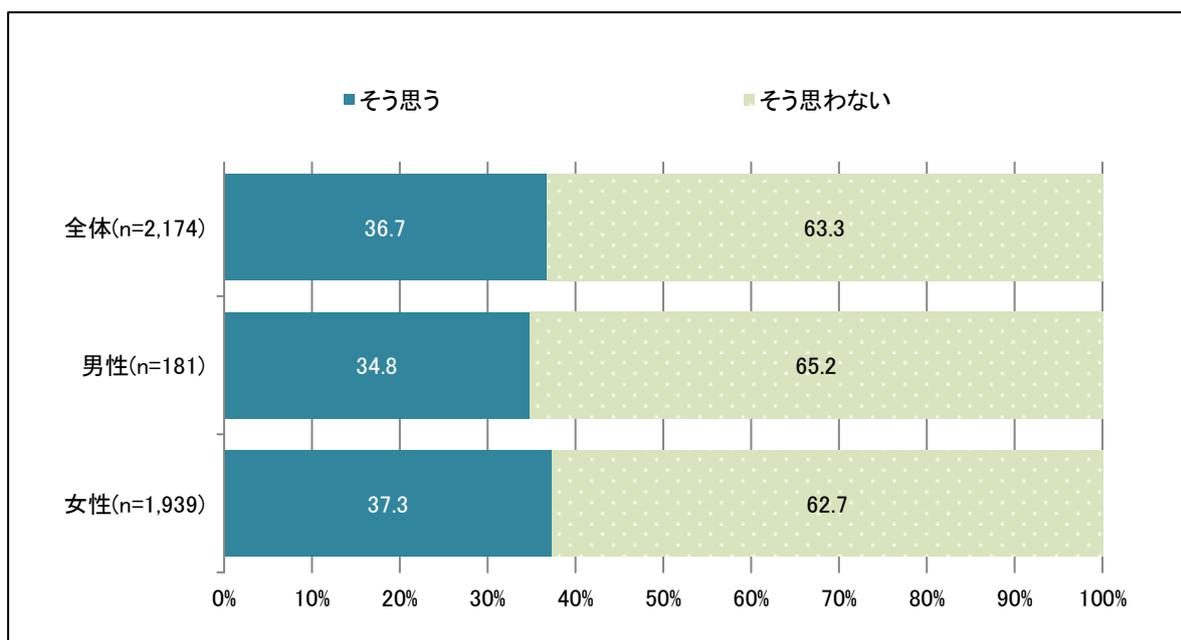
○「育児は女性の方が向いていると思う」については、全体では《そう思う》(61.4%)が6割を超えている。

性別で見ると、男性では《そう思う》(54.7%)、女性では《そう思う》(62.5%)となっている。

「育児は女性の方が向いていると思う」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.01$)が見られた。

(2) 家事は女性の方が向いていると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|-------|------|--------|
| 全 体 | | 2174 | 798 | 1376 |
| | | 100.0 | 36.7 | 63.3 |
| 性別 | 男性 | 181 | 63 | 118 |
| | 女性 | 1939 | 724 | 1215 |
| | | 100.0 | 37.3 | 62.7 |



(図表IV-1-9)

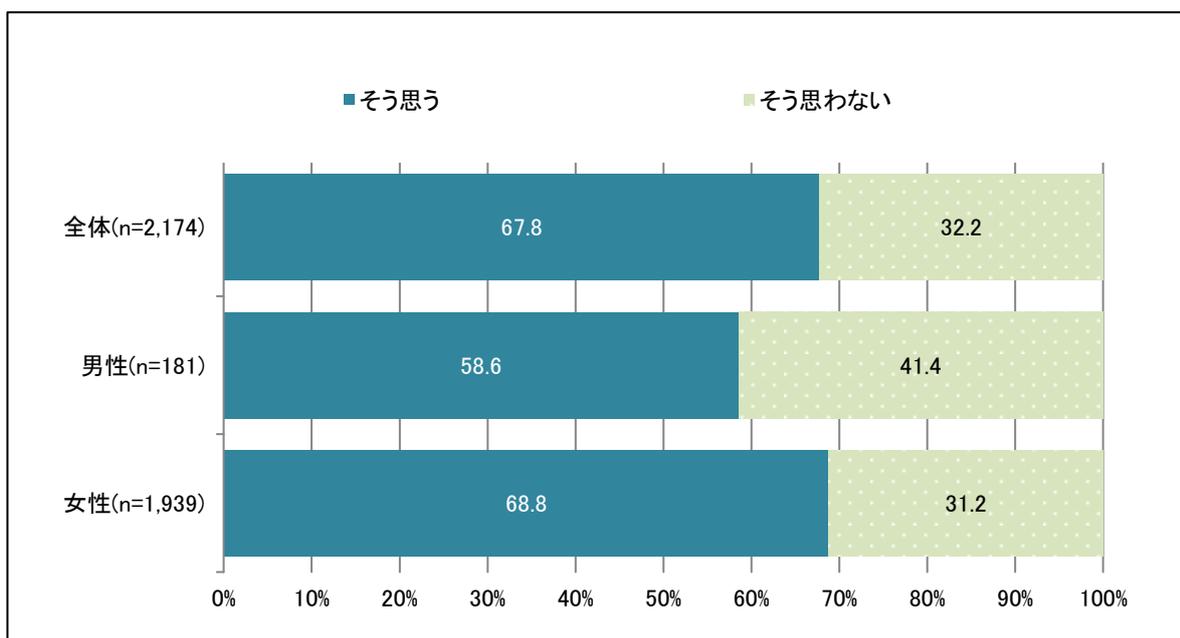
○「家事は女性の方が向いていると思う」については、全体では《そう思う》(36.7%)で4割近くとなっている。

性別で見ると、男性では《そう思う》(34.8%)、女性では《そう思う》(37.3%)となっている。

「家事は女性の方が向いていると思う」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.05$) が見られた。

(3) 「男性だから」「女性だから」と思うことがある (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|-------|------|--------|
| 全 体 | | 2174 | 1474 | 700 |
| | | 100.0 | 67.8 | 32.2 |
| 性別 | 男性 | 181 | 106 | 75 |
| | 女性 | 1939 | 1335 | 604 |
| | | 100.0 | 68.8 | 31.2 |



(図表IV-1-10)

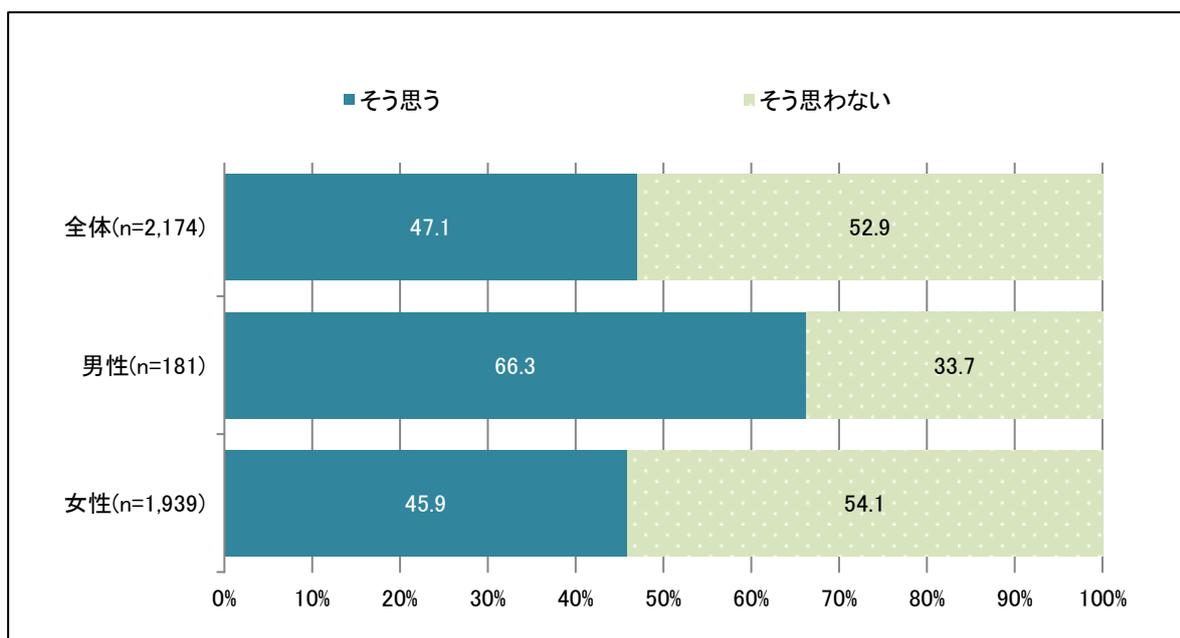
○『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』については、全体では「そう思う」(67.8%)で7割近くとなっている。

性別で見ると、男性では「そう思う」(58.6%)、女性では「そう思う」(68.8%)となり、回答割合に大きな差が見られた。

『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.05$) が見られた。

(4) 服の色など「男の子らしい」又は「女の子らしい」色があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|-------|------|--------|
| 全 体 | | 2174 | 1023 | 1151 |
| | | 100.0 | 47.1 | 52.9 |
| 性別 | 男性 | 181 | 120 | 61 |
| | 女性 | 1939 | 890 | 1049 |
| | | 100.0 | 45.9 | 54.1 |



(図表IV-1-1-1)

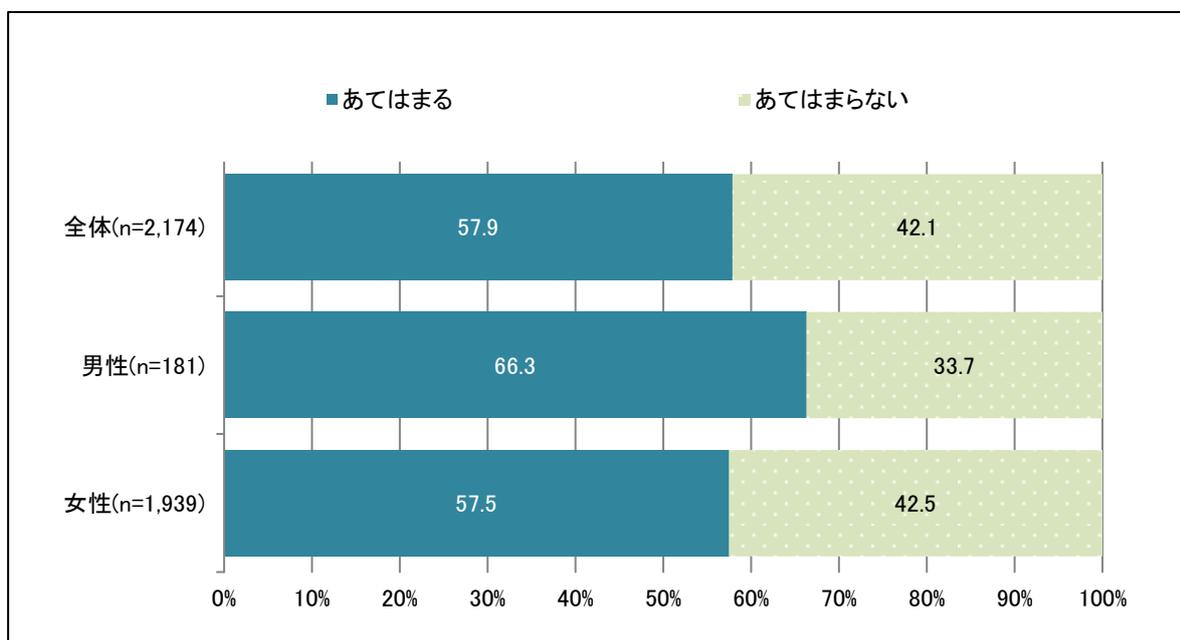
○『服の色など「男の子らしい」又は「女の子らしい」色があると思う』については、全体では「そう思う」(47.1%)で5割近くとなっている。

性別で見ると、男性では「そう思う」(66.3%)、女性では「そう思う」(45.9%)となっており、回答割合に大きな差が見られた。

『服の色など「男の子らしい」又は「女の子らしい」色があると思う』について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$)が見られた。

(5) 子どもの日用品やおもちゃを性別を意識して選んでいる (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|---------------|--------------|-------------|
| 全 体 | | 2174 100.0 | 1258 57.9 | 916 42.1 |
| 性 別 | 男性 | 181 100.0 | 120 66.3 | 61 33.7 |
| | 女性 | 1939 100.0 | 1114 57.5 | 825 42.5 |



(図表IV-1-12)

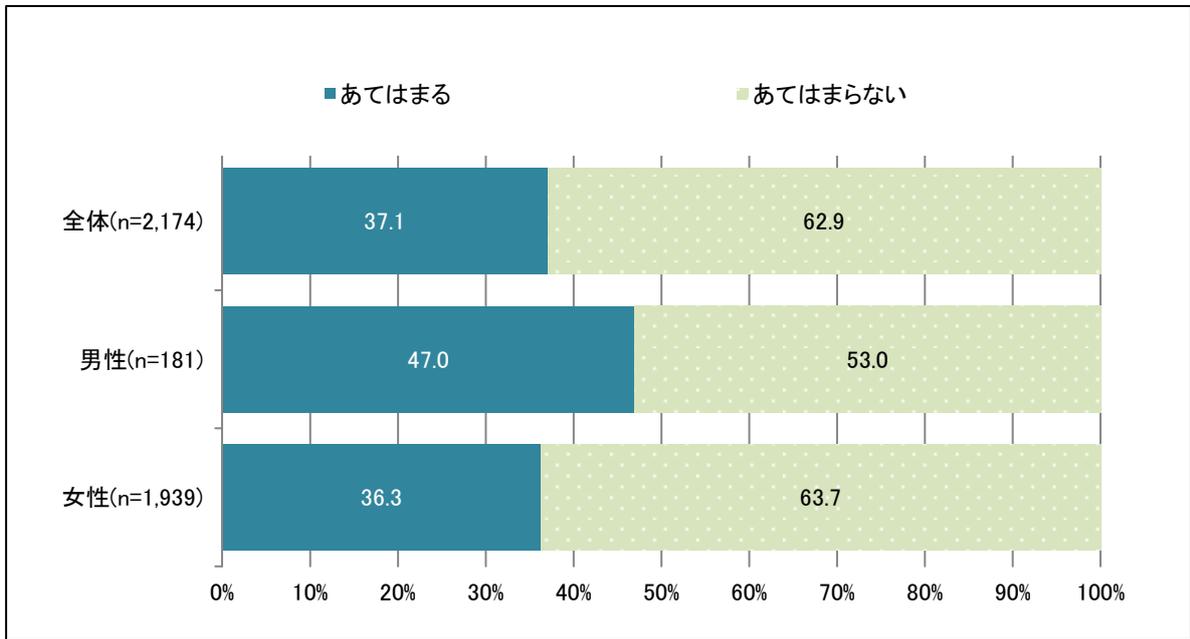
○「子どもの日用品やおもちゃを性別を意識して選んでいる」については、全体では「あてはまる」(57.9%)で6割近くとなっている。

性別で見ると、男性では「あてはまる」(66.3%)、女性では「あてはまる」(57.5%)となっている。

「子どもの日用品やおもちゃを性別を意識して選んでいる」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 (p < 0.01) が見られた。

(6) 「男の子なんだから」「女の子なんだから」と子どもに言うことがある (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|---------------|-------------|--------------|
| 全 体 | | 2174 100.0 | 806 37.1 | 1368 62.9 |
| 性 別 | 男性 | 181 100.0 | 85 47.0 | 96 53.0 |
| | 女性 | 1939 100.0 | 704 36.3 | 1235 63.7 |



(図表IV-1-13)

○『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と子どもに言うことがある』については、全体では「あてはまる」(37.1%)で4割近くとなっている。

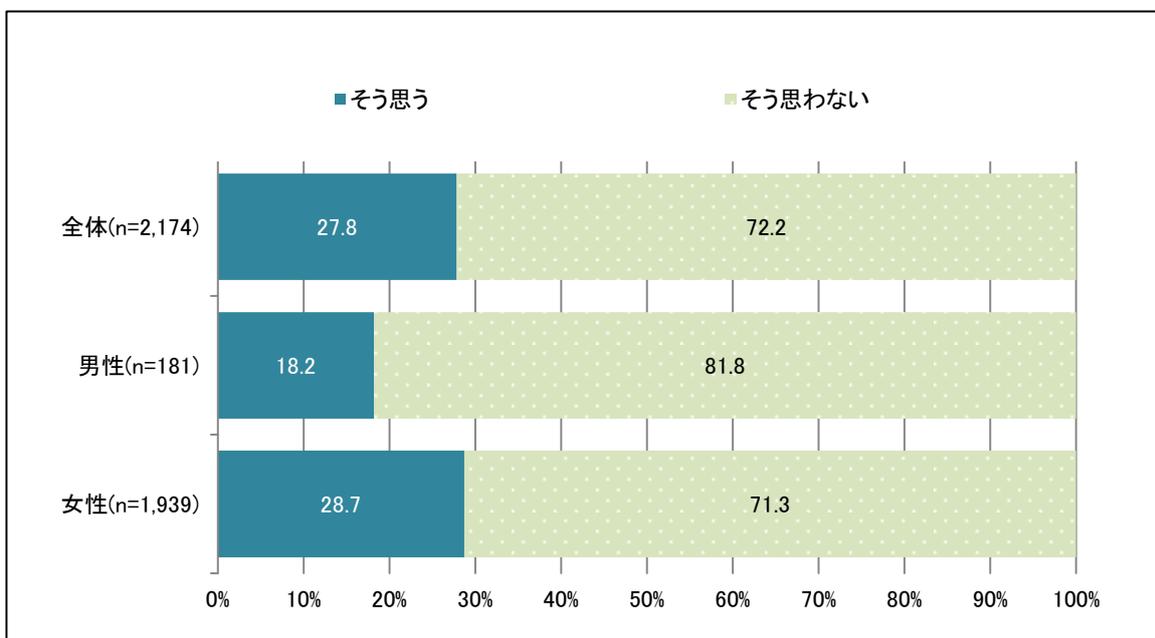
性別で見ると、男性では「あてはまる」(47.0%)、女性では「あてはまる」(36.3%)となっており、回答割合に大きな差が見られた。

『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と子どもに言うことがある』について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 (p < 0.05) が見られた。

B 教員に関すること

(7) 子どもの担任の先生の性別が気になってしまう (S A)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|---------------|-------------|--------------|
| 全 体 | | 2174 100.0 | 605 27.8 | 1569 72.2 |
| 性 別 | 男性 | 181 100.0 | 33 18.2 | 148 81.8 |
| | 女性 | 1939 100.0 | 557 28.7 | 1382 71.3 |



(図表IV-1-14)

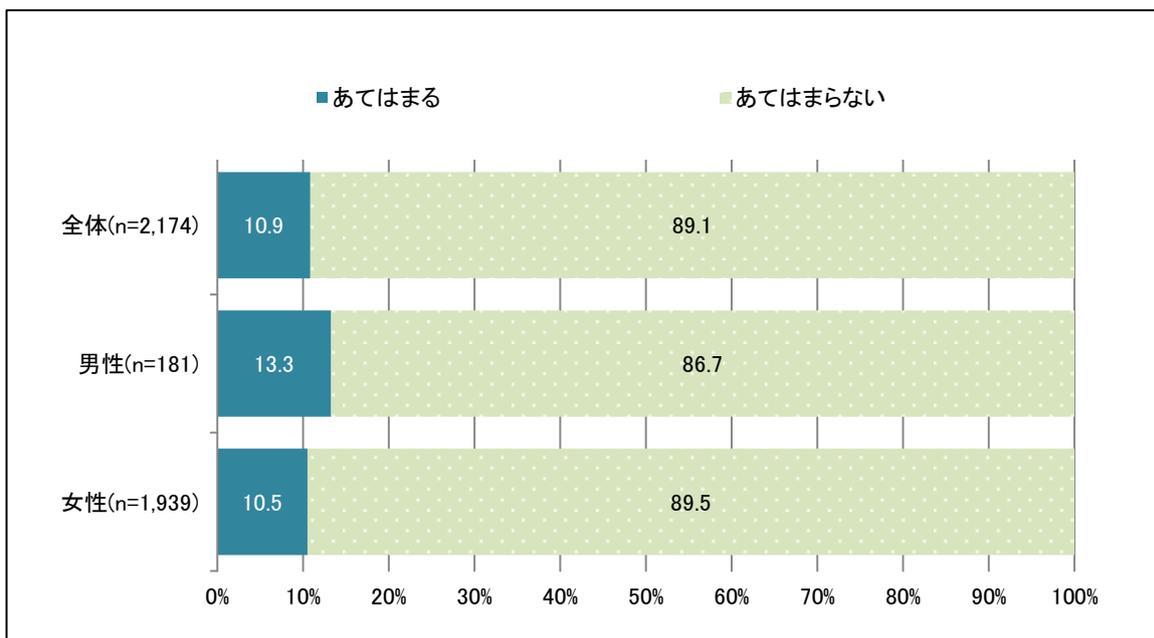
○「子どもの担任の先生の性別が気になってしまう」については、全体では「そう思う」(27.8%)で3割近くとなっている。

性別で見ると、男性では「そう思う」(18.2%)、女性では「そう思う」(28.7%)となっており、回答割合に大きな差が見られた。

「子どもの担任の先生の性別が気になってしまう」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.05$) が見られた。

(8) 学校での児童の役割分担が性別で割り振られていることがあった (S A)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|---------------|-------------|--------------|
| 全 体 | | 2174 100.0 | 236 10.9 | 1938 89.1 |
| 性 別 | 男性 | 181 100.0 | 24 13.3 | 157 86.7 |
| | 女性 | 1939 100.0 | 204 10.5 | 1735 89.5 |



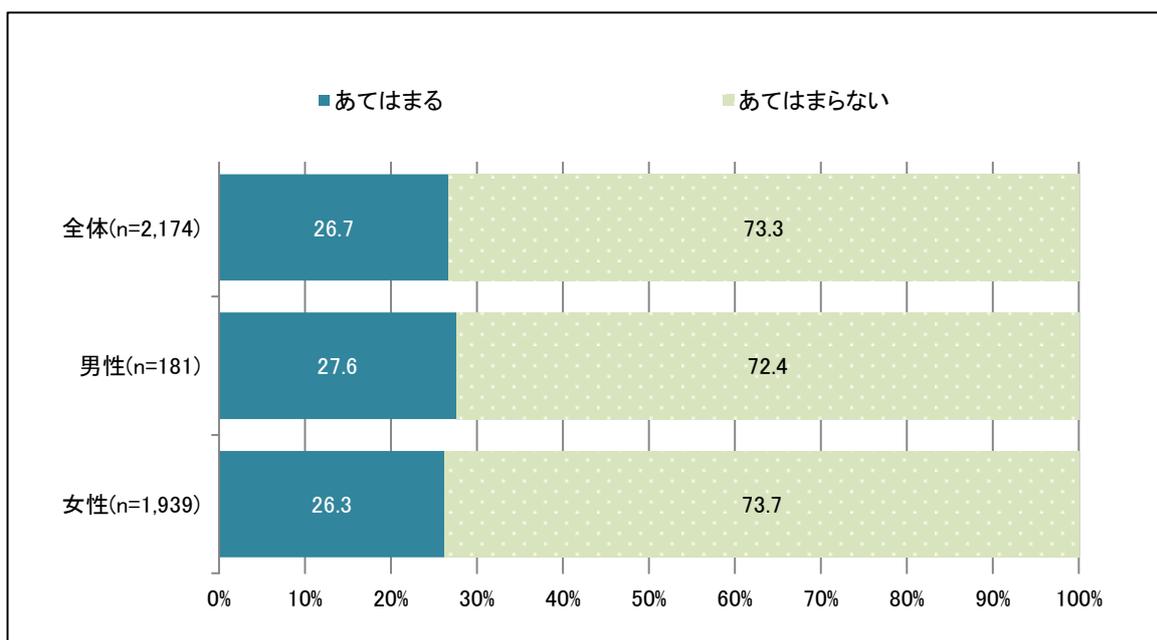
(図表IV-1-15)

○「学校での児童の役割分担が性別で割り振られていることがあった」については、全体では「あてはまる」(10.9%)でほぼ1割となっている。

性別で見ると、男性では「あてはまる」(13.3%)、女性では「あてはまる」(10.5%)となっている。

(9) 教員の性別により、児童への接し方に違いがある (S A)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|-------|-------|---------|
| 全 体 | | 2174 | 581 | 1593 |
| | | 100.0 | 26.7 | 73.3 |
| 性別 | 男性 | 181 | 50 | 131 |
| | 女性 | 1939 | 510 | 1429 |
| | | 100.0 | 26.3 | 73.7 |



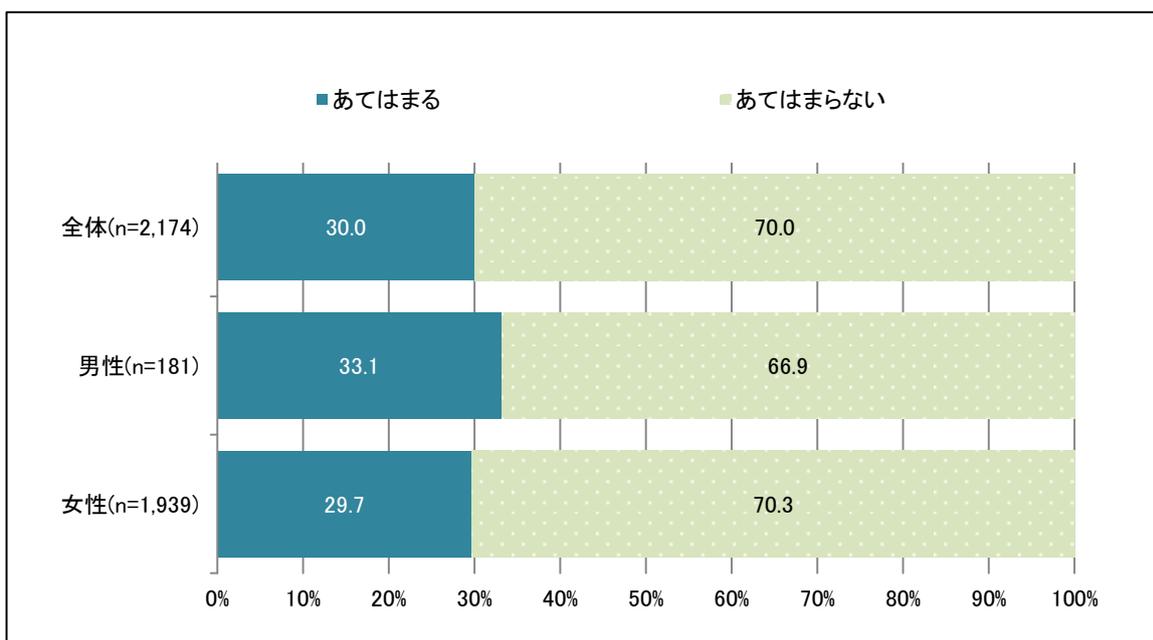
(図表IV-1-16)

○「教員の性別により、児童への接し方に違いがある」については、全体では「あてはまる」(26.7%)で3割近くとなっている。

性別で見ると、男性では「あてはまる」(27.6%)、女性では「あてはまる」(26.3%)となっている。

(10) 児童の性別により、教員の接し方に違いがある (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|---------------|-------------|--------------|
| 全 体 | | 2174 100.0 | 653 30.0 | 1521 70.0 |
| 性 別 | 男性 | 181 100.0 | 60 33.1 | 121 66.9 |
| | 女性 | 1939 100.0 | 576 29.7 | 1363 70.3 |



(図表IV-1-17)

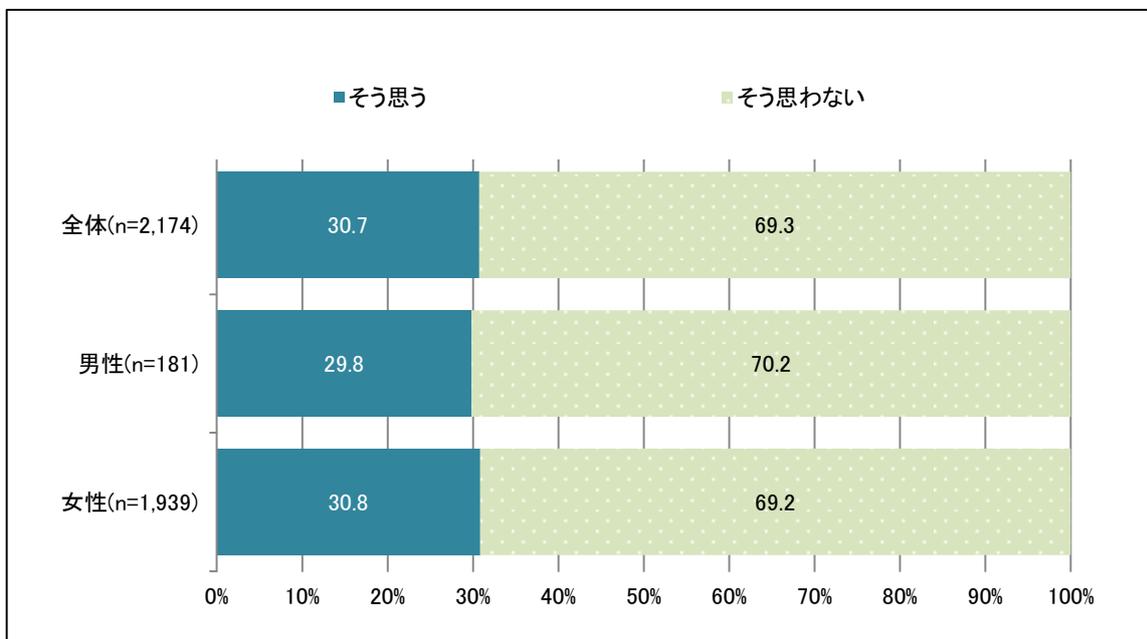
○「児童の性別により、教員の接し方に違いがある」については、全体では「あてはまる」(30.0%)で3割となっている。

性別で見ると、男性では「あてはまる」(33.1%)、女性では「あてはまる」(29.7%)となっている。

C 児童に関すること

(1 1) 性別で教科の得意、不得意があると思う (S A)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|-------|------|--------|
| 全 体 | | 2174 | 668 | 1506 |
| | | 100.0 | 30.7 | 69.3 |
| 性別 | 男性 | 181 | 54 | 127 |
| | 女性 | 1939 | 598 | 1341 |
| | | 100.0 | 30.8 | 69.2 |



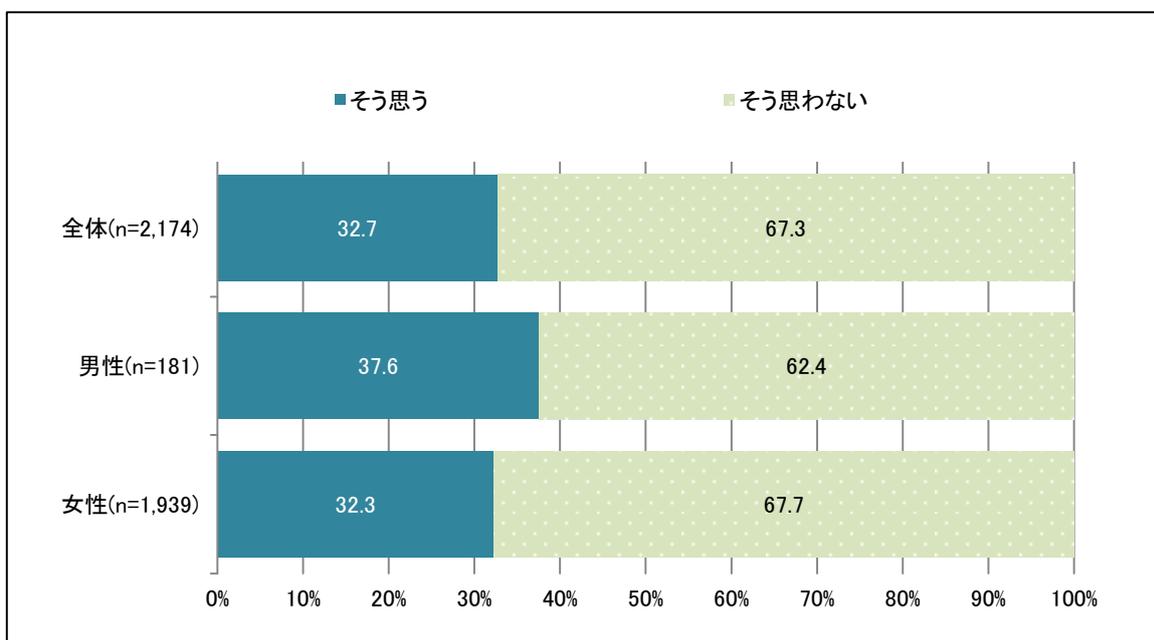
(図表IV-1-18)

○「性別で教科の得意、不得意があると思う」については、全体では「そう思う」(30.7%)でほぼ3割となっている。

性別で見ると、男性では「そう思う」(29.8%)、女性では「そう思う」(30.8%)となっている。

(12) 性別で子どもの進路を考えることがある (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|-------|------|--------|
| 全 体 | | 2174 | 711 | 1463 |
| | | 100.0 | 32.7 | 67.3 |
| 性別 | 男性 | 181 | 68 | 113 |
| | 女性 | 1939 | 626 | 1313 |
| | | 100.0 | 32.3 | 67.7 |



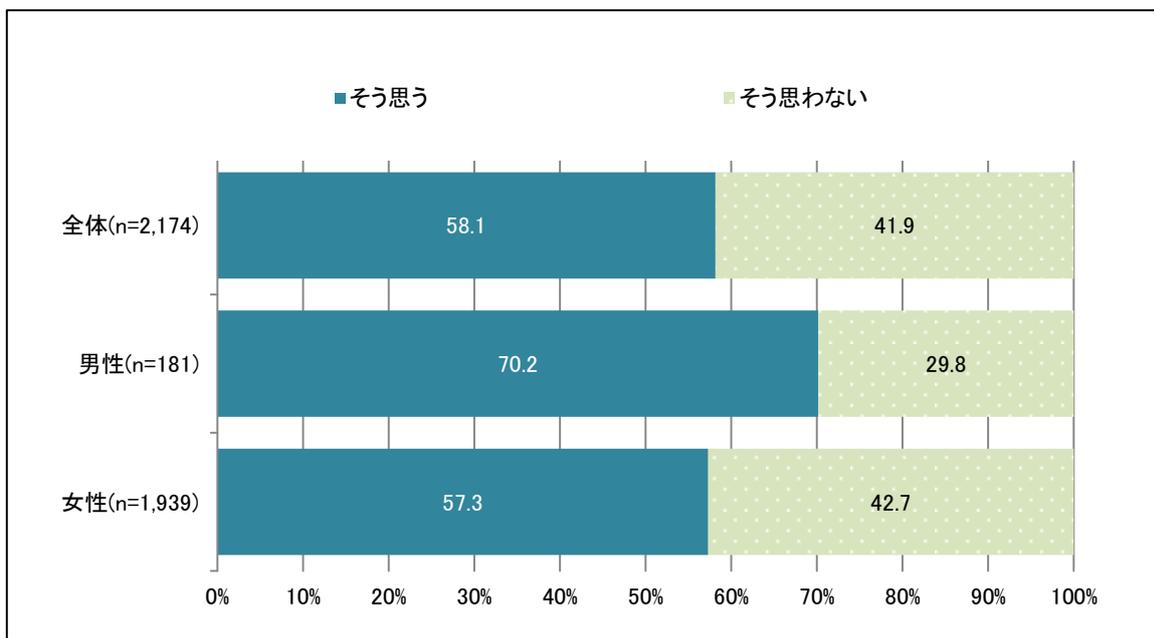
(図表IV-1-19)

○「性別で子どもの進路を考えることがある」については、全体では「そう思う」(32.7%)で3割を超えている。

性別で見ると、男性では「そう思う」(37.6%)、女性では「そう思う」(32.3%)となっている。

(13) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|-------|------|--------|
| 全 体 | | 2174 | 1264 | 910 |
| | | 100.0 | 58.1 | 41.9 |
| 性別 | 男性 | 181 | 127 | 54 |
| | 女性 | 1939 | 1111 | 828 |
| | | 100.0 | 57.3 | 42.7 |



(図表IV-1-20)

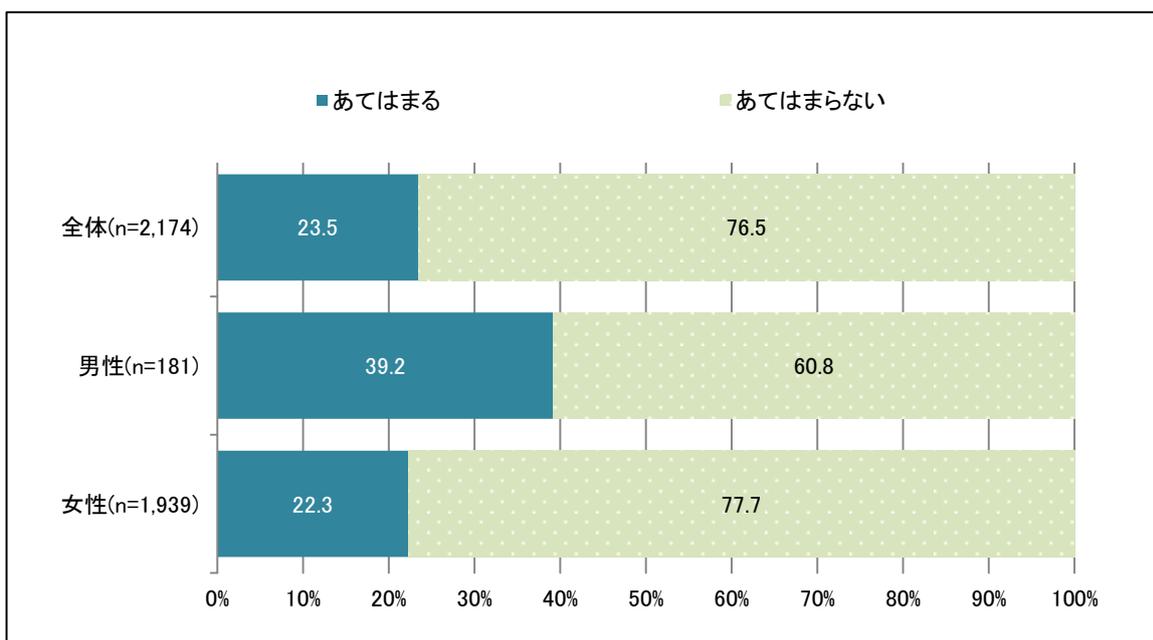
○「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」については、全体では「そう思う」(58.1%)が6割近くとなっている。

性別で見ると、男性では「そう思う」(70.2%)、女性では「そう思う」(57.3%)となっており、回答割合に大きな差が見られた。

「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.01$)が見られた。

(14) 子供と接する時に、性別を意識して言動を変えている (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|-------|-------|---------|
| 全 体 | | 2174 | 510 | 1664 |
| | | 100.0 | 23.5 | 76.5 |
| 性別 | 男性 | 181 | 71 | 110 |
| | | 100.0 | 39.2 | 60.8 |
| 性別 | 女性 | 1939 | 432 | 1507 |
| | | 100.0 | 22.3 | 77.7 |



(図表IV-1-21)

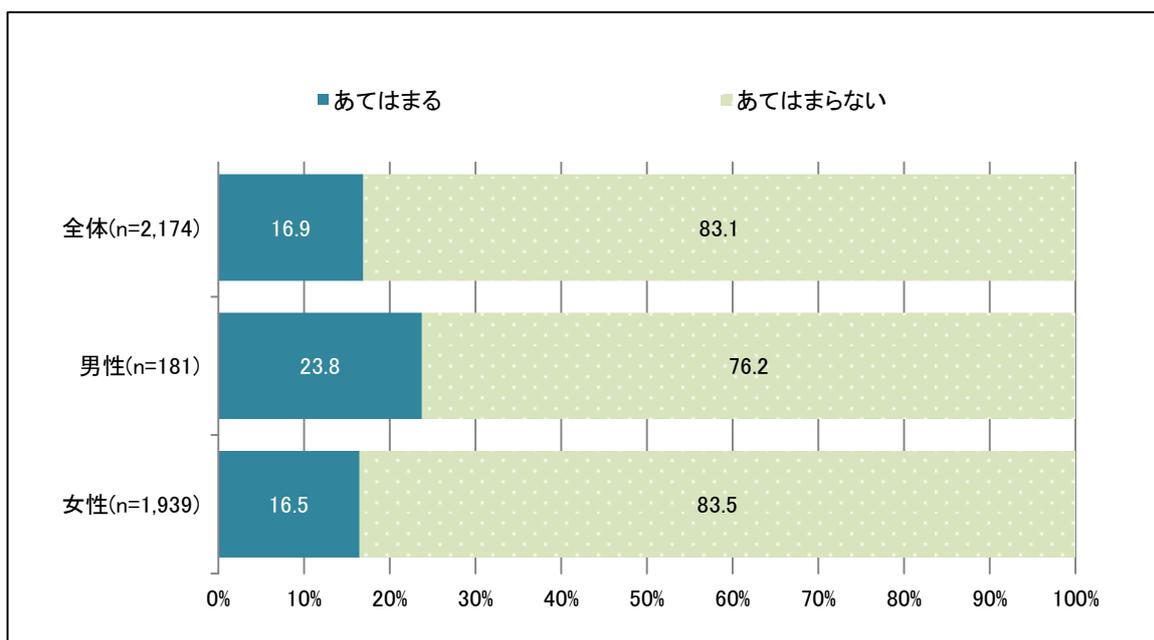
○「子供と接する時に、性別を意識して言動を変えている」については、全体では「あてはまる」(23.5%)で2割を超えている。

性別で見ると、男性では「あてはまる」(39.2%)、女性では「あてはまる」(22.3%)となっており、回答割合に大きな差が見られた。

「子供と接する時に、性別を意識して言動を変えている」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$)が見られた。

(15) 性別で子どもの習い事を選んでいる (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|---------------|-------------|--------------|
| 全 体 | | 2174 100.0 | 368 16.9 | 1806 83.1 |
| 性別 | 男性 | 181 100.0 | 43 23.8 | 138 76.2 |
| | 女性 | 1939 100.0 | 319 16.5 | 1620 83.5 |



(図表IV-1-22)

○「性別で子どもの習い事を選んでいる」については、全体では「あてはまる」(16.9%)で2割近くとなっている。

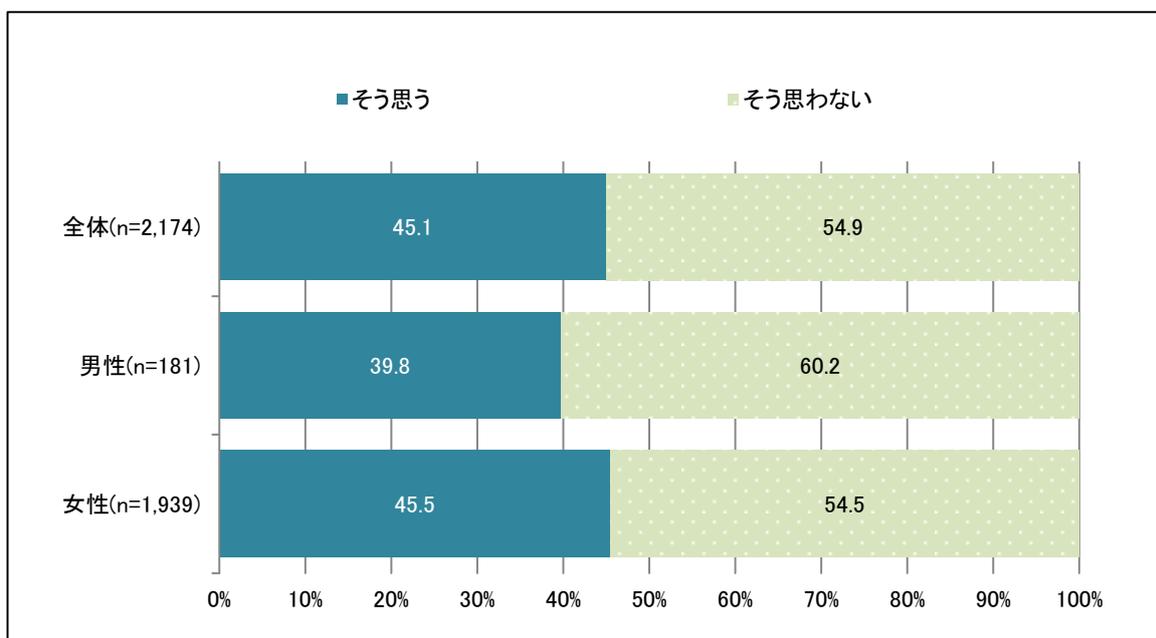
性別で見ると、男性では「あてはまる」(23.8%)、女性では「あてはまる」(16.5%)となっている。

「性別で子どもの習い事を選んでいる」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.05$) が見られた。

D 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の認知度など

(16) 子どもとかかわるなかで無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を意識している（SA）

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|-------|------|--------|
| 全 体 | | 2174 | 980 | 1194 |
| | | 100.0 | 45.1 | 54.9 |
| 性別 | 男性 | 181 | 72 | 109 |
| | 女性 | 1939 | 882 | 1057 |
| | | 100.0 | 45.5 | 54.5 |



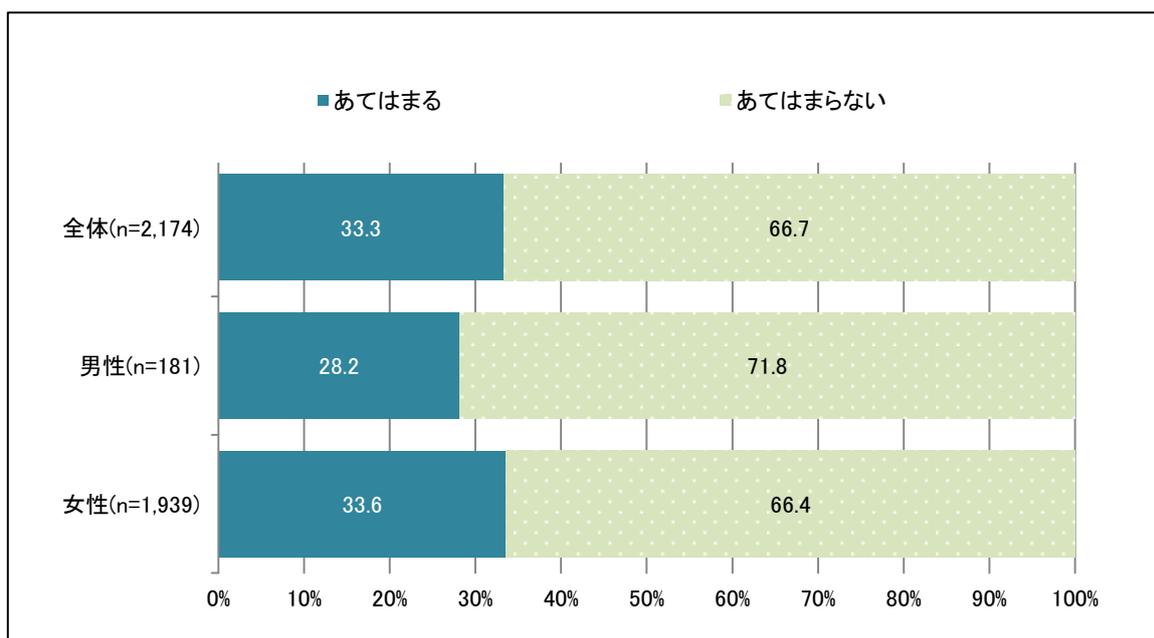
(図表IV-1-23)

○「子どもとかかわるなかで無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を意識している」については、全体では「そう思う」（45.1%）で4割台半ばとなっている。

性別で見ると、男性では「そう思う」（39.8%）、女性では「そう思う」（45.5%）となっている。

(17) 家族間で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について話をしたことがある(SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|---------------|-------------|--------------|
| 全 体 | | 2174 100.0 | 724 33.3 | 1450 66.7 |
| 性 別 | 男性 | 181 100.0 | 51 28.2 | 130 71.8 |
| | 女性 | 1939 100.0 | 652 33.6 | 1287 66.4 |



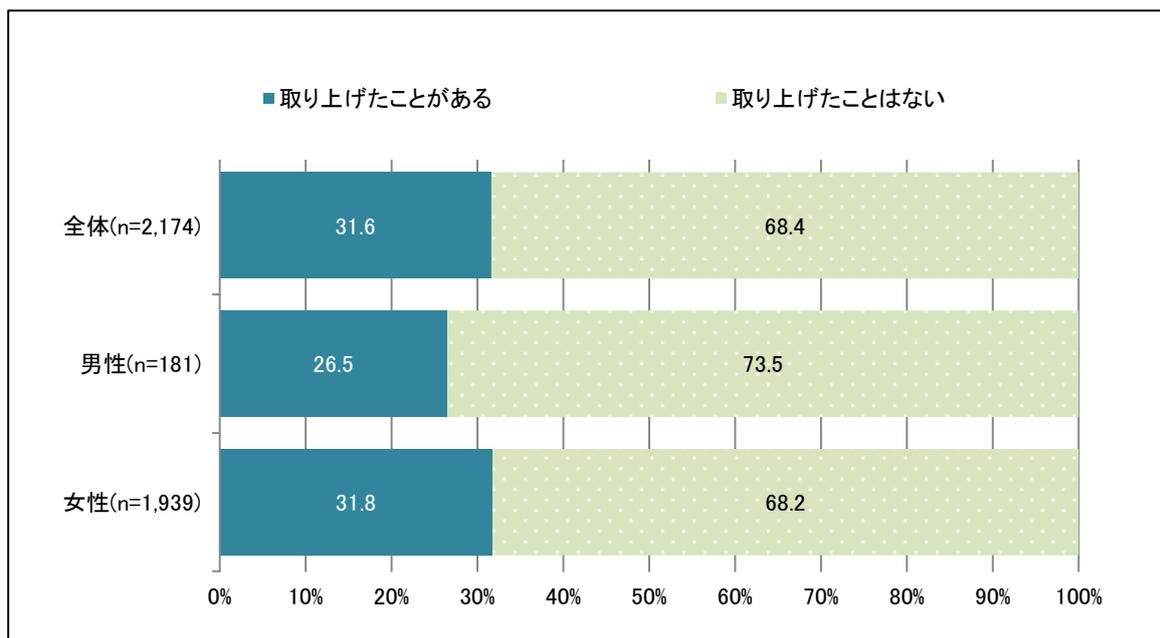
(図表IV-1-24)

○「家族間で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について話をしたことがある」については、全体では「あてはまる」(33.3%)で3割を超えている。

性別で見ると、男性では「あてはまる」(28.2%)、女性では「あてはまる」(33.6%)となっている。

(18) 子どもとの間で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を取り上げたことがある(SA)

| | | 計 | が取り上げたこと | は取り上げたこと |
|-----|----|-------|----------|----------|
| 全 体 | | 2174 | 688 | 1486 |
| | | 100.0 | 31.6 | 68.4 |
| 性別 | 男性 | 181 | 48 | 133 |
| | | 100.0 | 26.5 | 73.5 |
| | 女性 | 1939 | 616 | 1323 |
| | | 100.0 | 31.8 | 68.2 |



(図表IV-1-25)

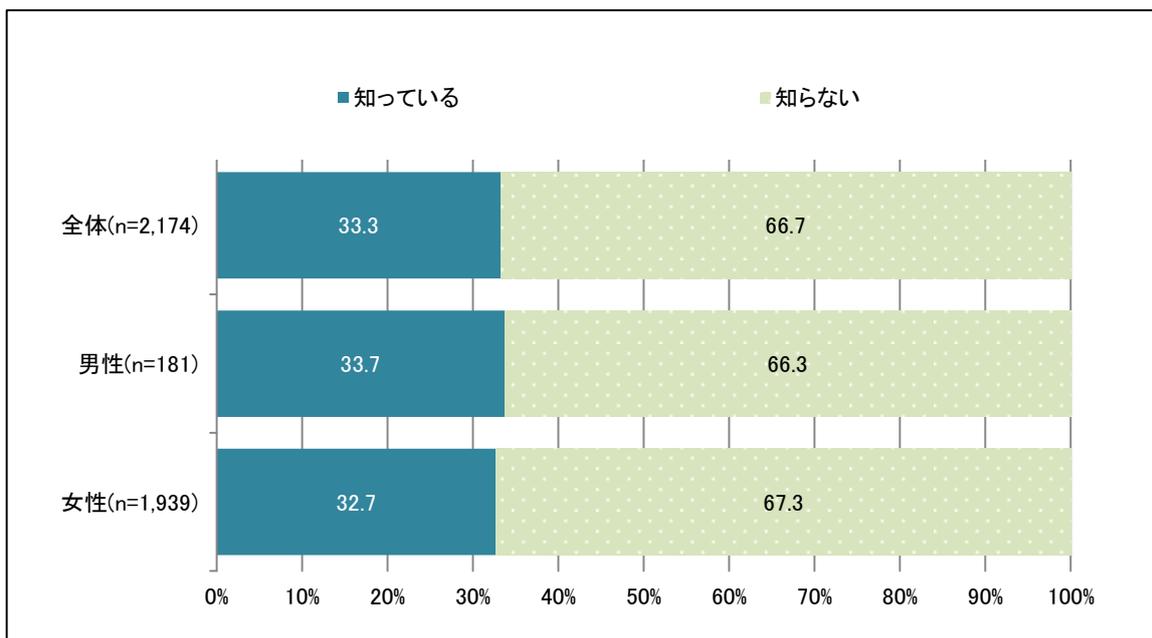
○「子どもとの間で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を取り上げたことがある」については、全体では「取り上げたことがある」(31.6%)で3割を超えている。

性別で見ると、男性では「取り上げたことがある」(26.5%)、女性では「取り上げたことがある」(31.8%)となっている。

「子どもとの間で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を取り上げたことがある」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.05$)が見られた。

(19) 無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) について、どの程度知っていますか (SA)

| | | 計 | 知っている | 知らない |
|-----|----|-------|-------|------|
| 全 体 | | 2174 | 723 | 1451 |
| | | 100.0 | 33.3 | 66.7 |
| 性別 | 男性 | 181 | 61 | 120 |
| | 女性 | 1939 | 635 | 1304 |
| | | 100.0 | 32.7 | 67.3 |



(図表IV-1-26)

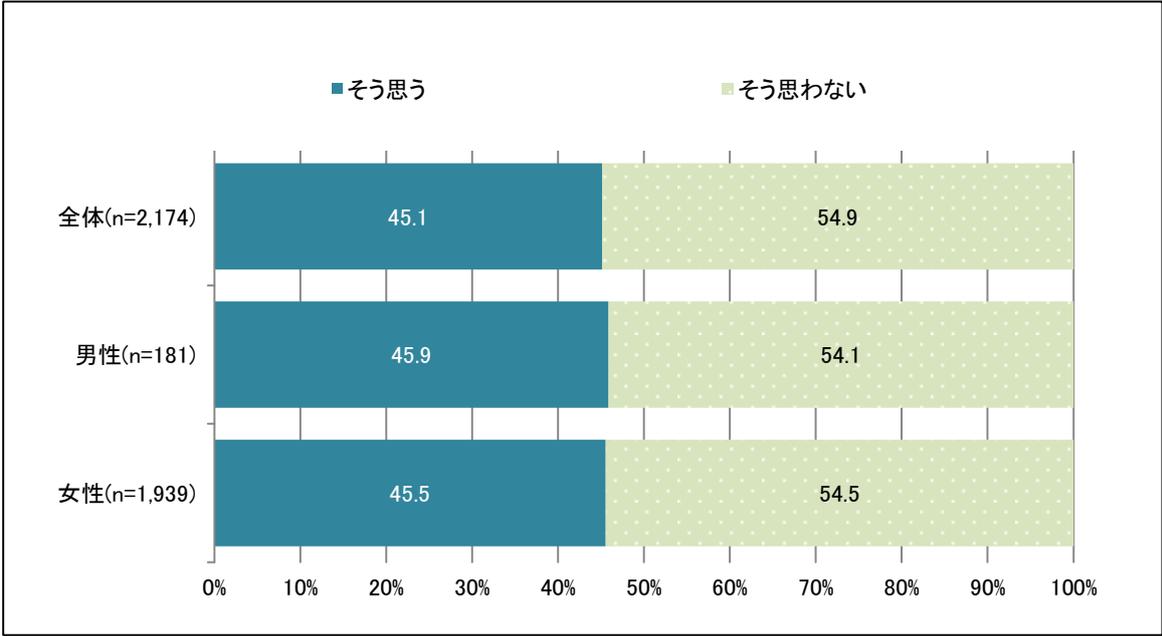
○「無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) について、どの程度知っていますか」については、全体では「知っている」(33.3%)で3割を超えている。

性別で見ると、男性では「知っている」(33.7%)、女性では「知っている」(32.7%)となっている。

「無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) について、どの程度知っていますか」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.05$) が見られた。

(20) (自己啓発として) 無意識の思い込みについて、保護者講演会などがあれば受講したいか (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|-------|------|--------|
| 全 体 | | 2174 | 981 | 1193 |
| | | 100.0 | 45.1 | 54.9 |
| 性別 | 男性 | 181 | 83 | 98 |
| | 女性 | 1939 | 883 | 1056 |
| | | 100.0 | 45.5 | 54.5 |



(図表IV-1-27)

○「(自己啓発として) 無意識の思い込みについて、保護者講演会などがあれば受講したいか」については、全体では「そう思う」(45.1%)で4割台半ばとなっている。

性別で見ると、男性では「そう思う」(45.9%)、女性では「そう思う」(45.5%)となっている。

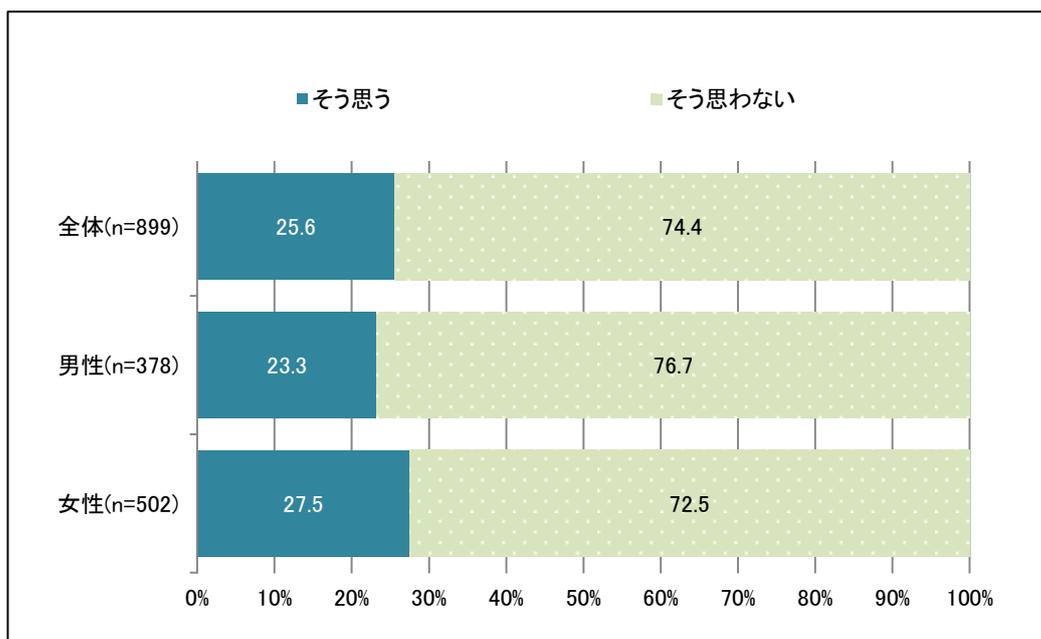
「(自己啓発として) 無意識の思い込みについて、保護者講演会などがあれば受講したいか」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 (p < 0.05) が見られた。

③ 教員

A 自分のキャリア・生活に関すること

(1) 男性の方が管理職に向いていると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 230 25.6 | 669 74.4 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 88 23.3 | 290 76.7 |
| | 女性 | 502 100.0 | 138 27.5 | 364 72.5 |



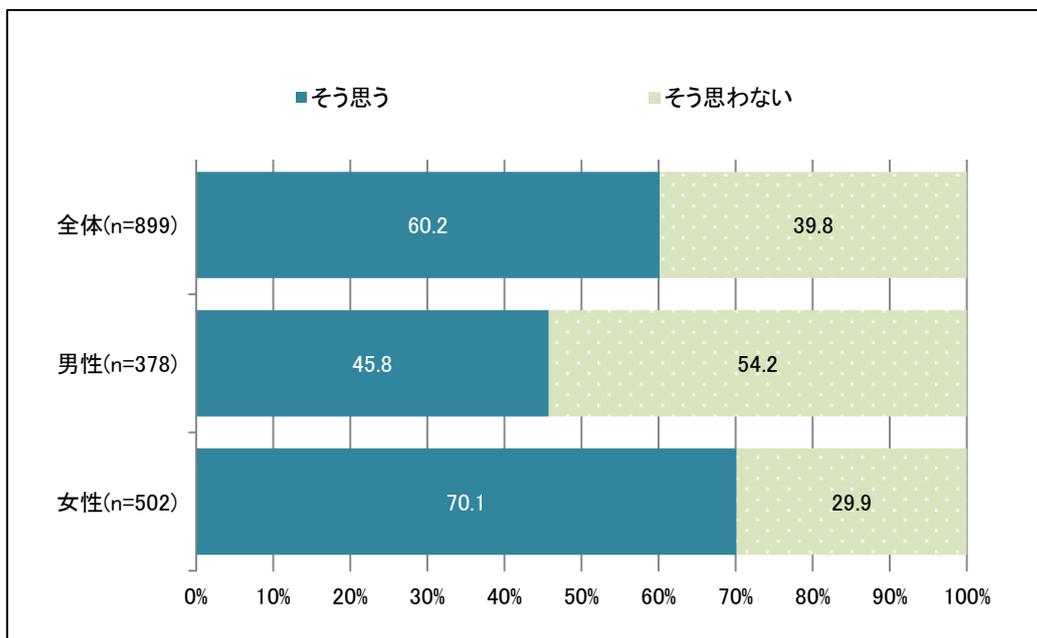
(図表IV-1-28)

○「男性の方が管理職に向いていると思う」については、全体では《そう思う》(25.6%)で2割台半ばとなっている。

性別で見ると、男性では《そう思う》(23.3%)、女性では《そう思う》(27.5%)となっている。

(2) 将来管理職になるのは無理だと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 541 60.2 | 358 39.8 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 173 45.8 | 205 54.2 |
| | 女性 | 502 100.0 | 352 70.1 | 150 29.9 |



(図表IV-1-29)

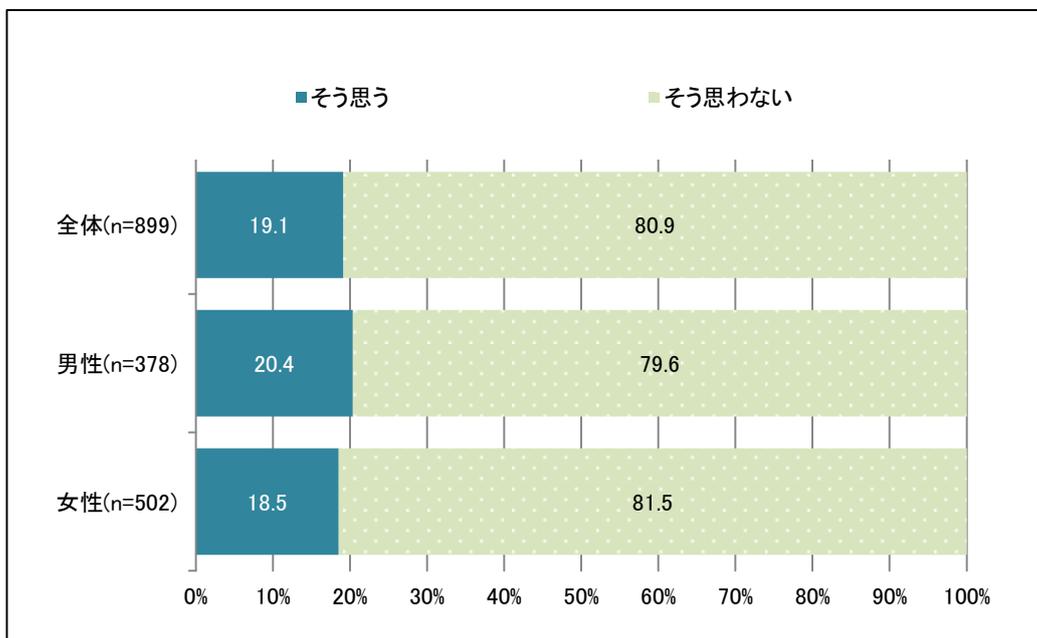
○「将来管理職になるのは無理だと思う」については、全体では「そう思う」(60.2%)が6割となっている。

性別で見ると、男性では「そう思う」(45.8%)、女性では「そう思う」(70.1%)となっており、回答割合に大きな差が見られた。

「将来管理職になるのは無理だと思う」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$)が見られた。

(3) プライベートより仕事を優先したほうがいいと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 172 19.1 | 727 80.9 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 77 20.4 | 301 79.6 |
| | 女性 | 502 100.0 | 93 18.5 | 409 81.5 |



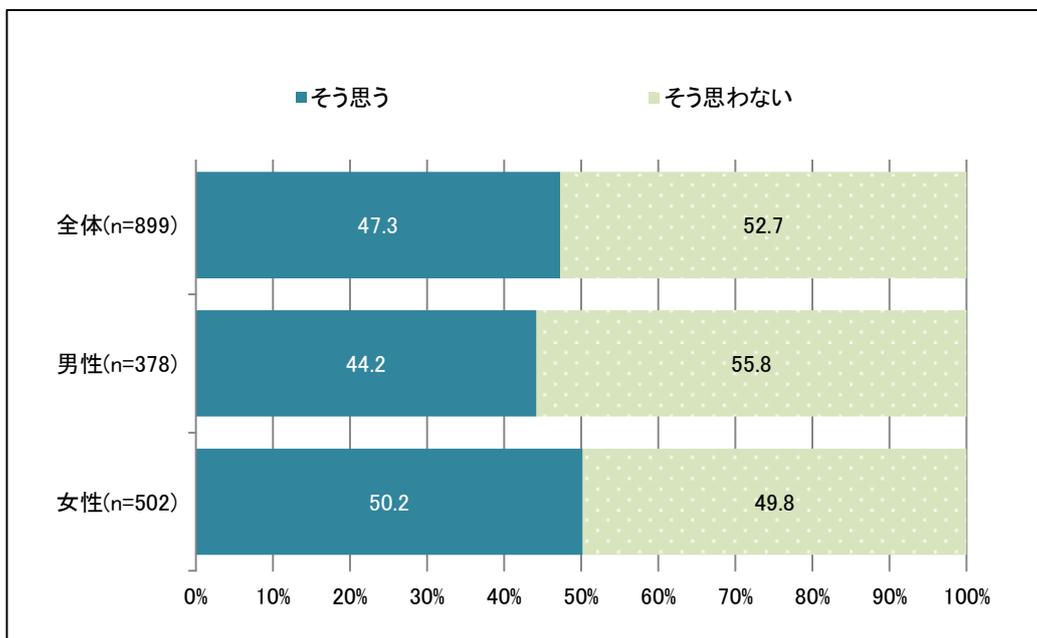
(図表IV-1-30)

○「プライベートより仕事を優先したほうがいいと思う」については、全体では「そう思う」(19.1%)でほぼ2割となっている。

性別で見ると、男性では「そう思う」(20.4%)、女性では「そう思う」(18.5%)となっている。

(4) 「男性だから」「女性だから」と思うことがある (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 425 47.3 | 474 52.7 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 167 44.2 | 211 55.8 |
| | 女性 | 502 100.0 | 252 50.2 | 250 49.8 |



(図表IV-1-31)

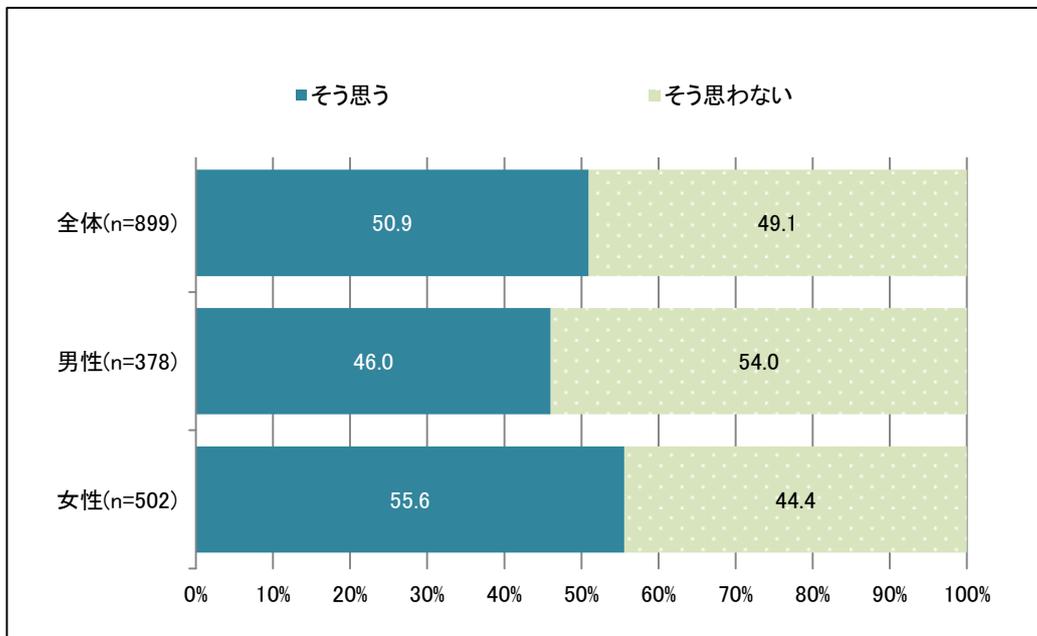
○『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』については、全体では「そう思う」(47.3%)で5割近くとなっている。

性別で見ると、男性では「そう思う」(44.2%)、女性では「そう思う」(50.2%)となっている。

B 校務など教員の職務に関すること

(5) 育児休業は女性が取ったほうが良いと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 458 50.9 | 441 49.1 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 174 46.0 | 204 54.0 |
| | 女性 | 502 100.0 | 279 55.6 | 223 44.4 |



(図表IV-1-32)

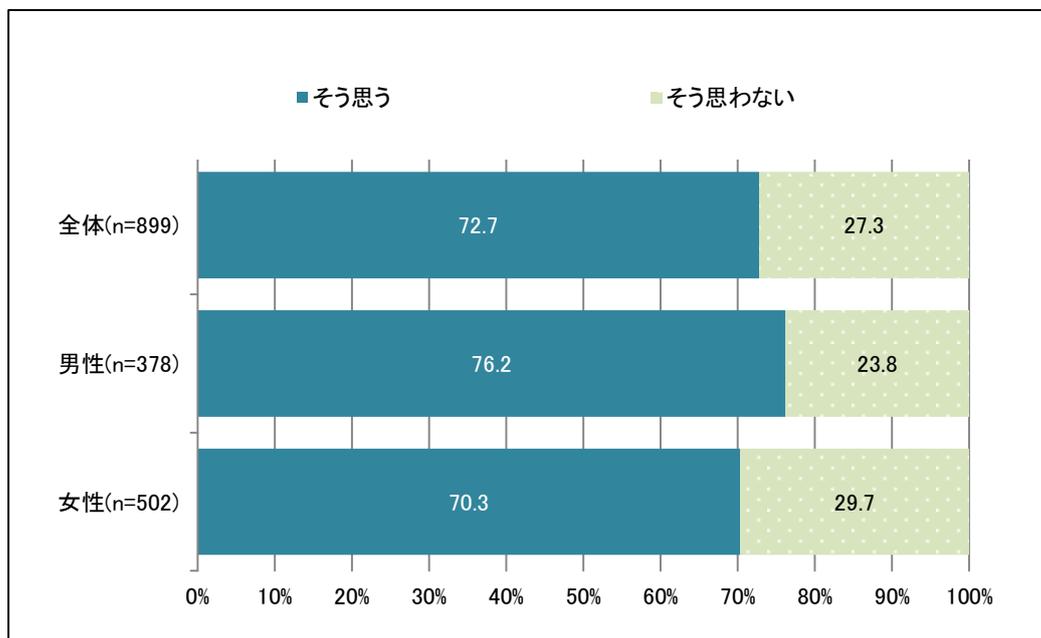
○「育児休業は女性が取ったほうが良いと思う」については、全体では「そう思う」(50.9%)でほぼ5割となっている。

性別で見ると、男性では「そう思う」(46.0%)、女性では「そう思う」(55.6%)となっている。

「育児休業は女性が取ったほうが良いと思う」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.01$) が見られた。

(6) 子育て中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 654 72.7 | 245 27.3 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 288 76.2 | 90 23.8 |
| | 女性 | 502 100.0 | 353 70.3 | 149 29.7 |



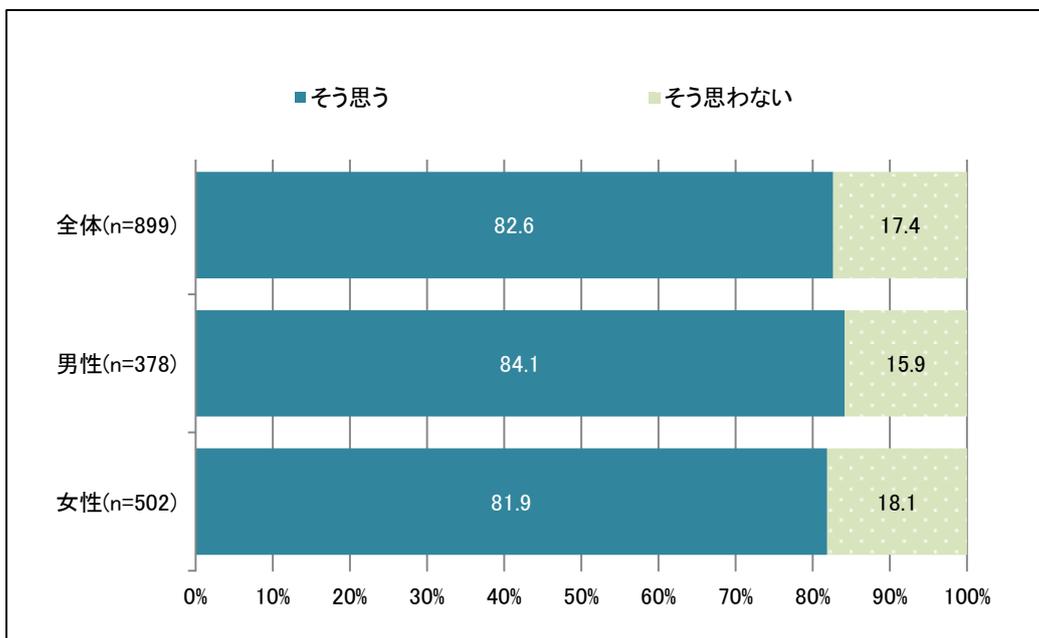
(図表IV-1-33)

○「子育て中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」については、全体では《そう思う》(72.7%)で7割を超えている。

性別で見ると、男性では《そう思う》(76.2%)、女性では《そう思う》(70.3%)となっている。

(7) 子育て中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (S A)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 743 82.6 | 156 17.4 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 318 84.1 | 60 15.9 |
| | 女性 | 502 100.0 | 411 81.9 | 91 18.1 |



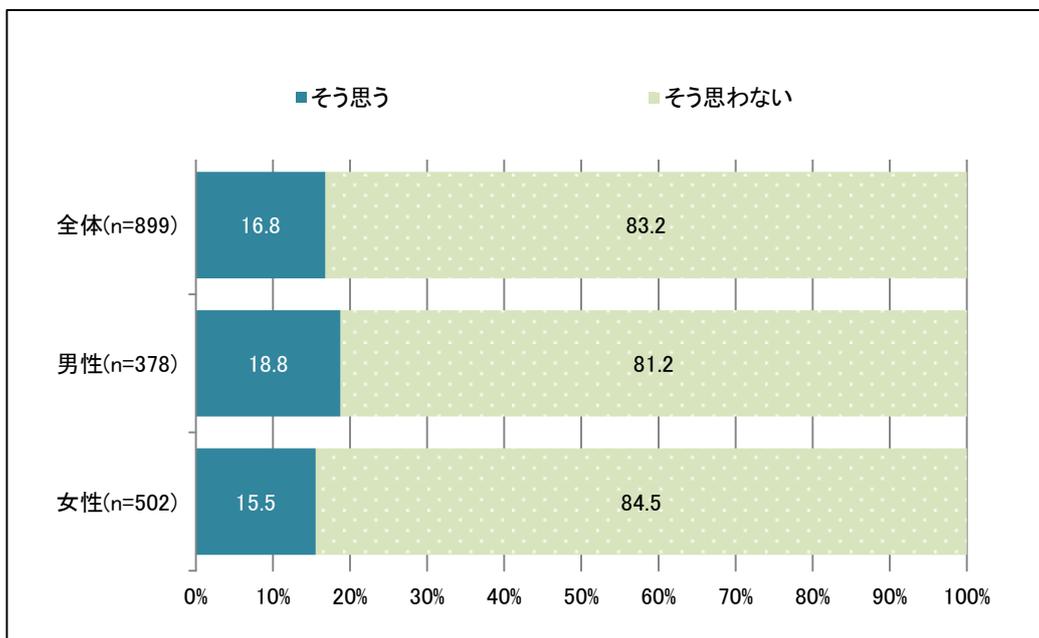
(図表IV-1-34)

○「子育て中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」については、全体では《そう思う》(82.6%)で8割を超えている。

性別で見ると、男性では《そう思う》(84.1%)、女性では《そう思う》(81.9%)となっている。

(8) 介護休業は女性が取ったほうが良いと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 151 16.8 | 748 83.2 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 71 18.8 | 307 81.2 |
| | 女性 | 502 100.0 | 78 15.5 | 424 84.5 |



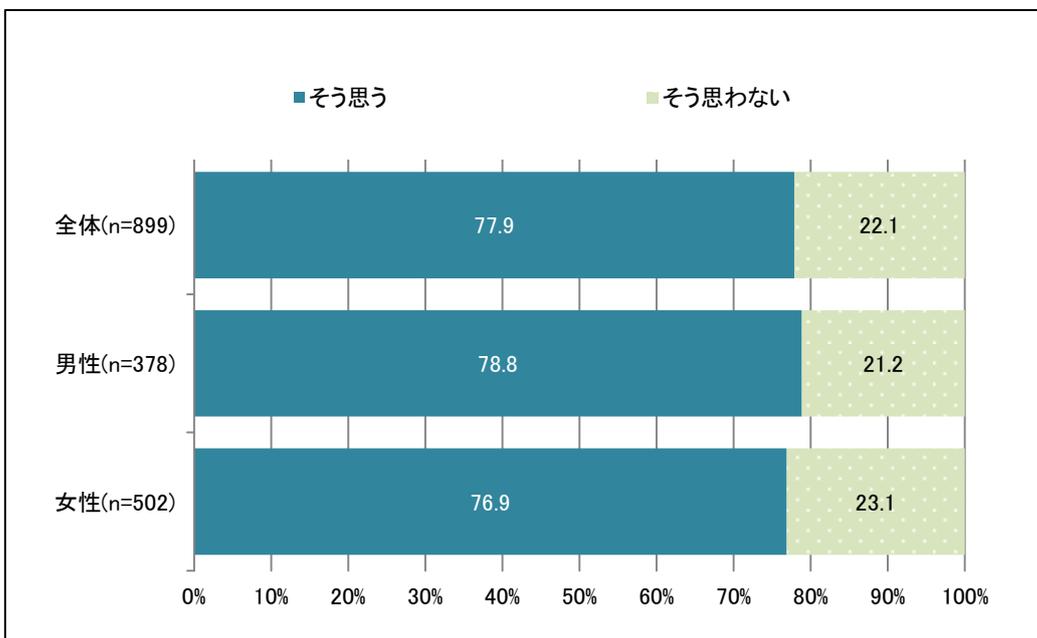
(図表IV-1-35)

○「介護休業は女性が取ったほうが良いと思う」については、全体では「そう思う」(16.8%)で2割近くとなっている。

性別で見ると、男性では「そう思う」(18.8%)、女性では「そう思う」(15.5%)となっている。

(9) 介護中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 700 77.9 | 199 22.1 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 298 78.8 | 80 21.2 |
| | 女性 | 502 100.0 | 386 76.9 | 116 23.1 |



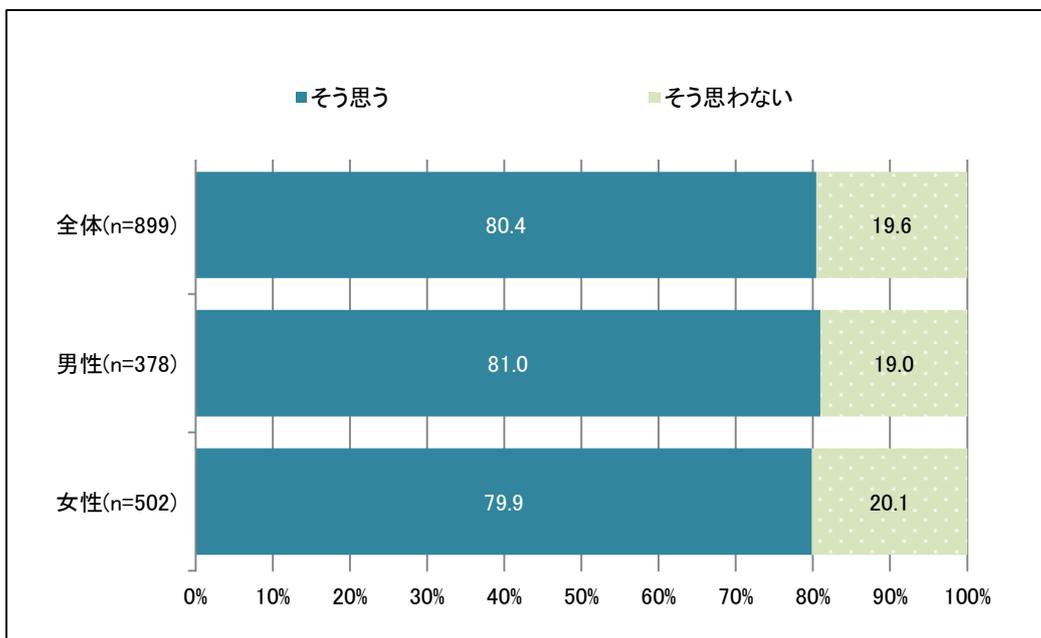
(図表IV-1-36)

○「介護中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」については、全体では《そう思う》(77.9%)で8割近くとなっている。

性別で見ると、男性では《そう思う》(78.8%)、女性では《そう思う》(76.9%)となっている。

(10) 介護中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|-------|------|--------|
| 全 体 | | 899 | 723 | 176 |
| | | 100.0 | 80.4 | 19.6 |
| 性別 | 男性 | 378 | 306 | 72 |
| | | 100.0 | 81.0 | 19.0 |
| 性別 | 女性 | 502 | 401 | 101 |
| | | 100.0 | 79.9 | 20.1 |



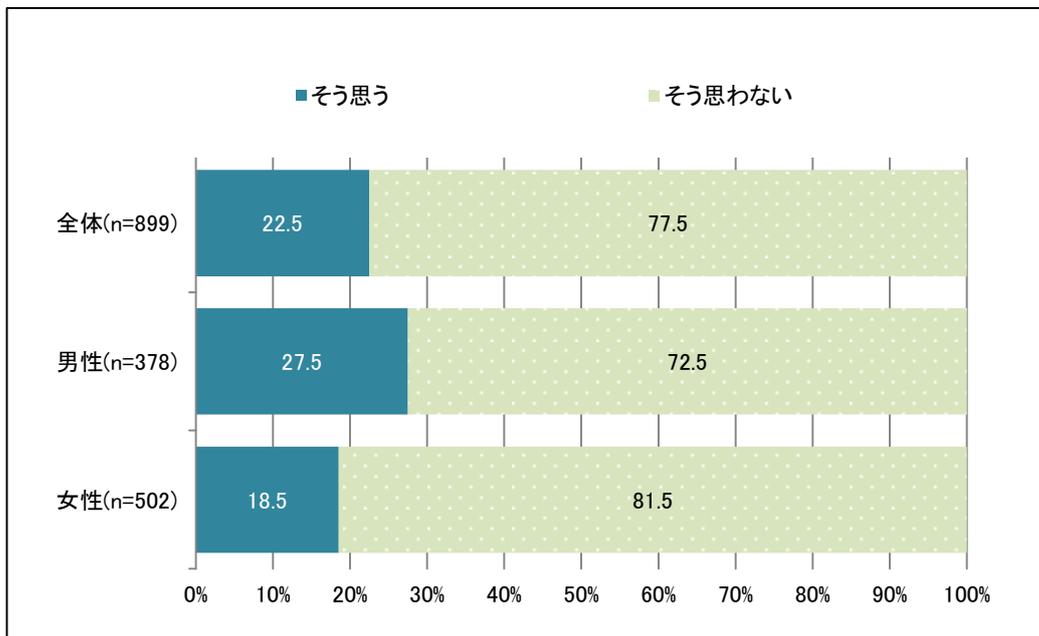
(図表IV-1-37)

○「介護中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」については、全体では「そう思う」(80.4%)で8割となっている。

性別で見ると、男性では「そう思う」(81.0%)、女性では「そう思う」(79.9%)となっている。

(1 1) 性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う (S A)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|-------|------|--------|
| 全 体 | | 899 | 202 | 697 |
| | | 100.0 | 22.5 | 77.5 |
| 性別 | 男性 | 378 | 104 | 274 |
| | | 100.0 | 27.5 | 72.5 |
| 性別 | 女性 | 502 | 93 | 409 |
| | | 100.0 | 18.5 | 81.5 |



(図表IV-1-38)

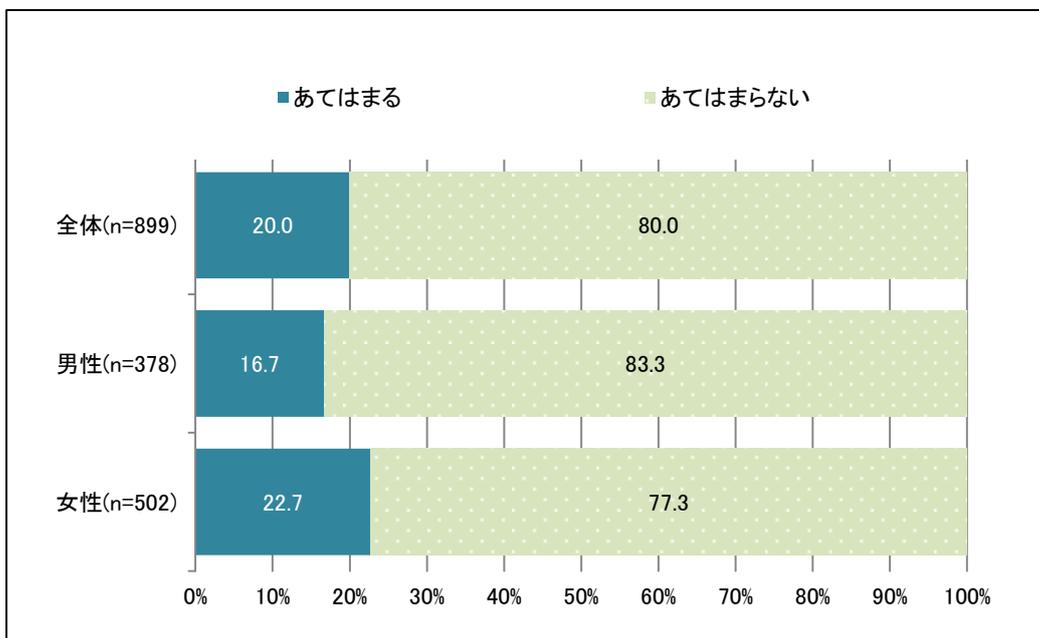
○「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」については、全体では《そう思う》(22.5%)で2割を超えている。

性別で見ると、男性では《そう思う》(27.5%)、女性では《そう思う》(18.5%)となっている。

「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.01$) が見られた。

(12) 事務作業は女性教員に割り当てられることが多い (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 180 20.0 | 719 80.0 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 63 16.7 | 315 83.3 |
| | 女性 | 502 100.0 | 114 22.7 | 388 77.3 |



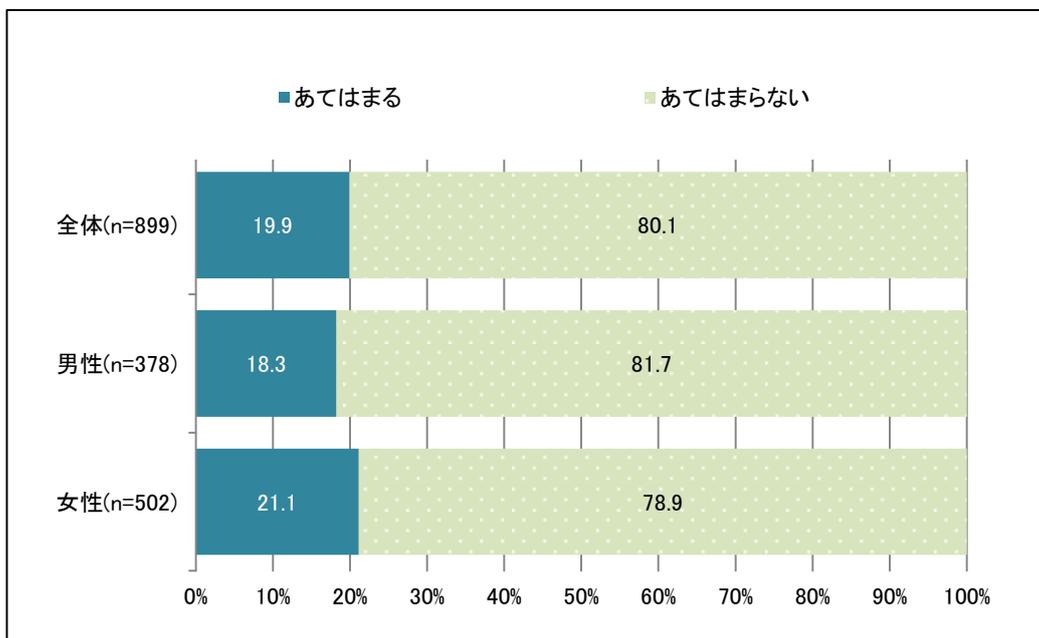
(図表IV-1-39)

○「事務作業は女性教員に割り当てられることが多い」については、全体では「あてはまる」(20.0%)で2割となっている。

性別で見ると、男性では「あてはまる」(16.7%)、女性では「あてはまる」(22.7%)となっている。

(13) 重要な仕事は男性教員に任されていることが多い (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 179 19.9 | 720 80.1 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 69 18.3 | 309 81.7 |
| | 女性 | 502 100.0 | 106 21.1 | 396 78.9 |



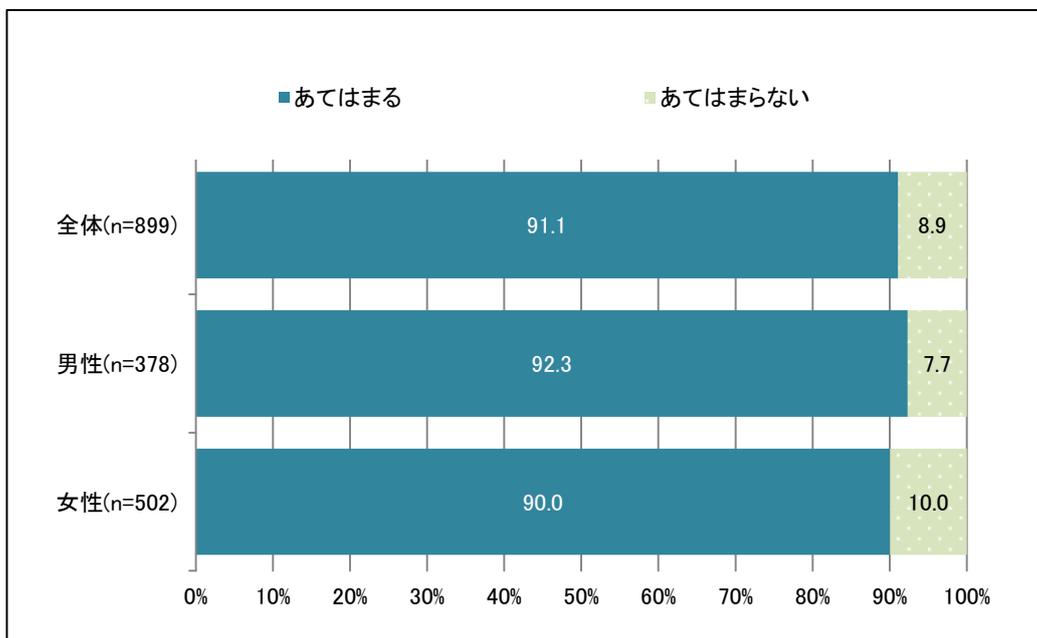
(図表IV-1-40)

○「重要な仕事は男性教員に任されていることが多い」については、全体では「あてはまる」(19.9%)で2割となっている。

性別で見ると、男性では「あてはまる」(18.3%)、女性では「あてはまる」(21.1%)となっている。

(14) 力仕事は男性教員が担当していることが多い (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|--------------|-------------|------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 819 91.1 | 80 8.9 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 349 92.3 | 29 7.7 |
| | 女性 | 502 100.0 | 452 90.0 | 50 10.0 |



(図表IV-1-41)

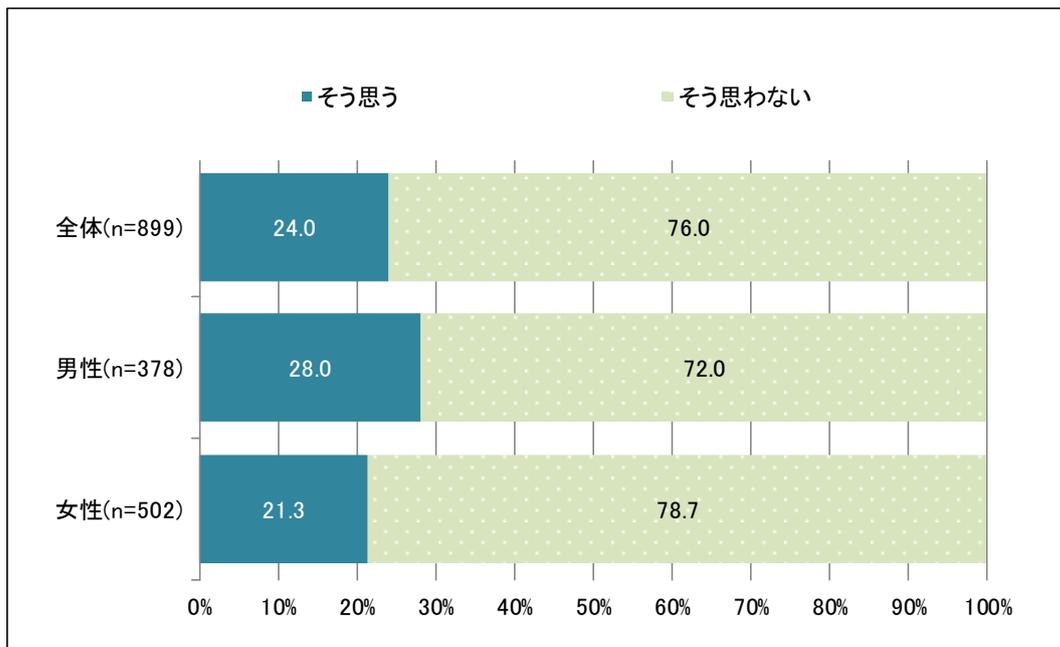
○「力仕事は男性教員が担当していることが多い」については、全体では「あてはまる」(91.1%)で9割を超えている。

性別で見ると、男性では「あてはまる」(92.3%)、女性では「あてはまる」(90.0%)となっている。

C 児童に関すること

(15) 性別で教科の得意、不得意があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 216 24.0 | 683 76.0 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 106 28.0 | 272 72.0 |
| | 女性 | 502 100.0 | 107 21.3 | 395 78.7 |



(図表IV-1-42)

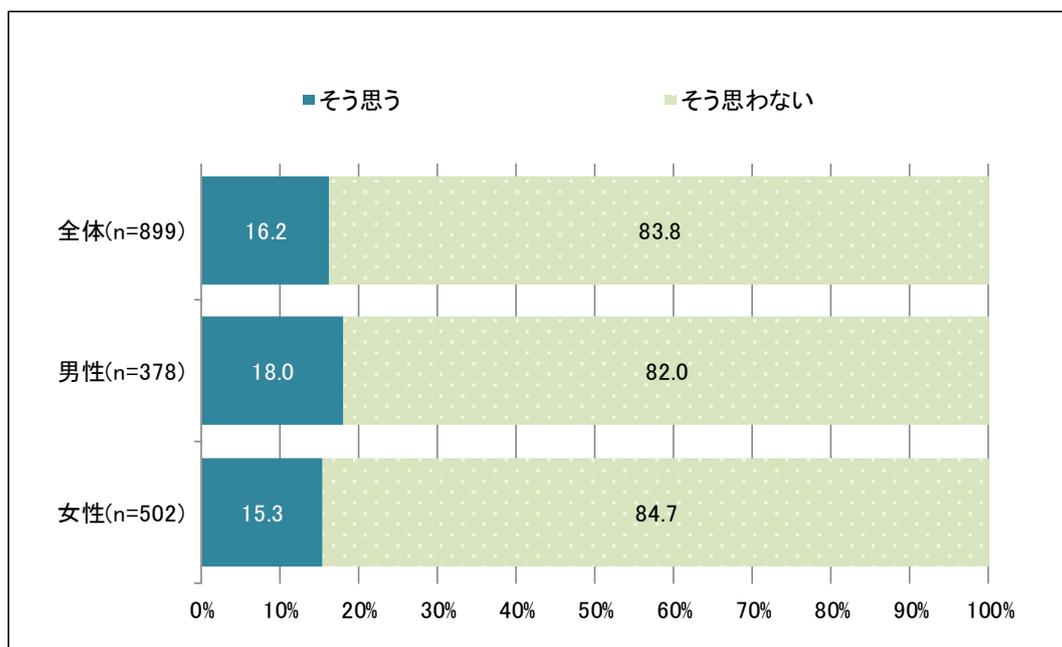
○「性別で教科の得意、不得意があると思う」については、全体では《そう思う》(24.0%)で2割台半ばとなっている。

性別で見ると、男性では《そう思う》(28.0%)、女性では《そう思う》(21.3%)となっている。

「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.05$) が見られた。

(16) 理系科目は男の子の方が得意だと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 146 16.2 | 753 83.8 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 68 18.0 | 310 82.0 |
| | 女性 | 502 100.0 | 77 15.3 | 425 84.7 |



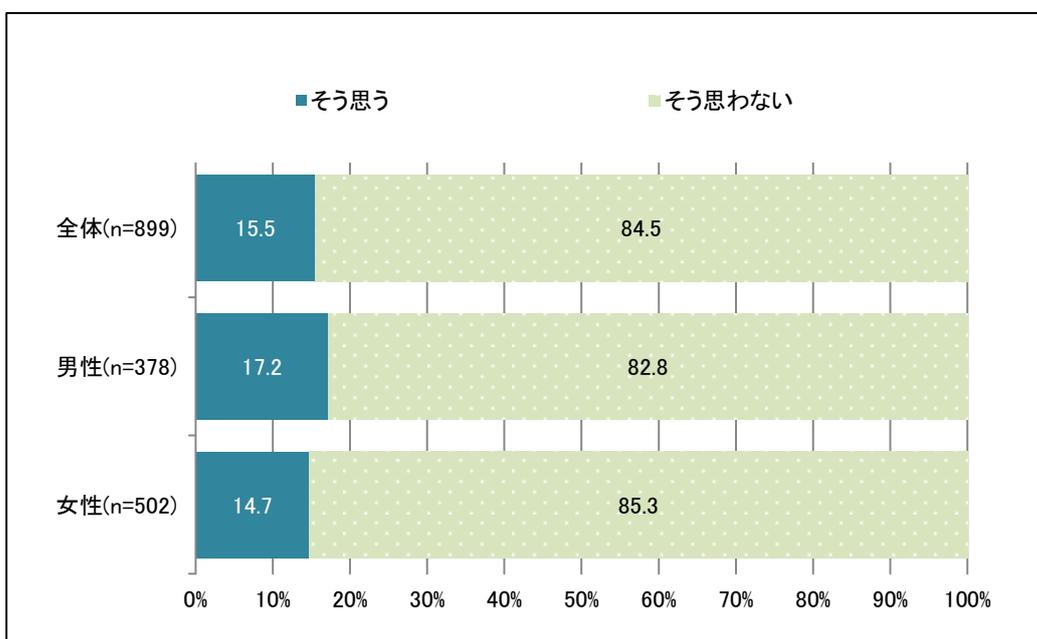
(図表IV-1-43)

○「理系科目は男の子の方が得意だと思う」については、全体では《そう思う》(16.2%)で1割台半ばとなっている。

性別で見ると、男性では《そう思う》(18.0%)、女性では《そう思う》(15.3%)となっている。

(17) 文系科目は女の子の方が得意だと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 139 15.5 | 760 84.5 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 65 17.2 | 313 82.8 |
| | 女性 | 502 100.0 | 74 14.7 | 428 85.3 |



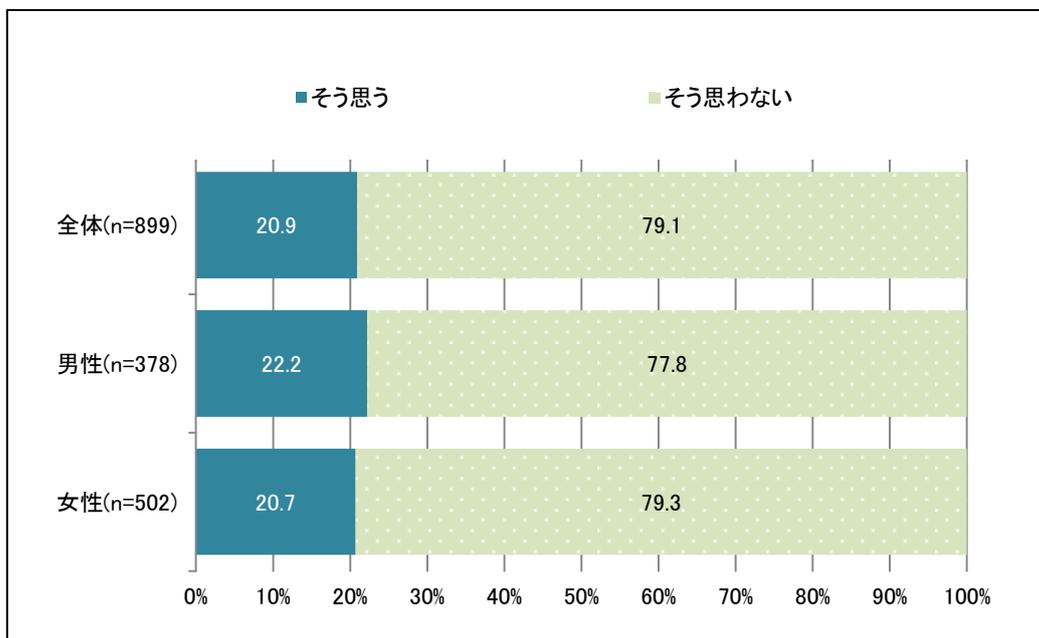
(図表IV-1-44)

○「文系科目は女の子の方が得意だと思う」については、全体では《そう思う》(15.5%)で1割台半ばとなっている。

性別で見ると、男性では《そう思う》(17.2%)、女性では《そう思う》(14.7%)となっている。

(18) 家庭科は女の子の方が向いていると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 188 20.9 | 711 79.1 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 84 22.2 | 294 77.8 |
| | 女性 | 502 100.0 | 104 20.7 | 398 79.3 |



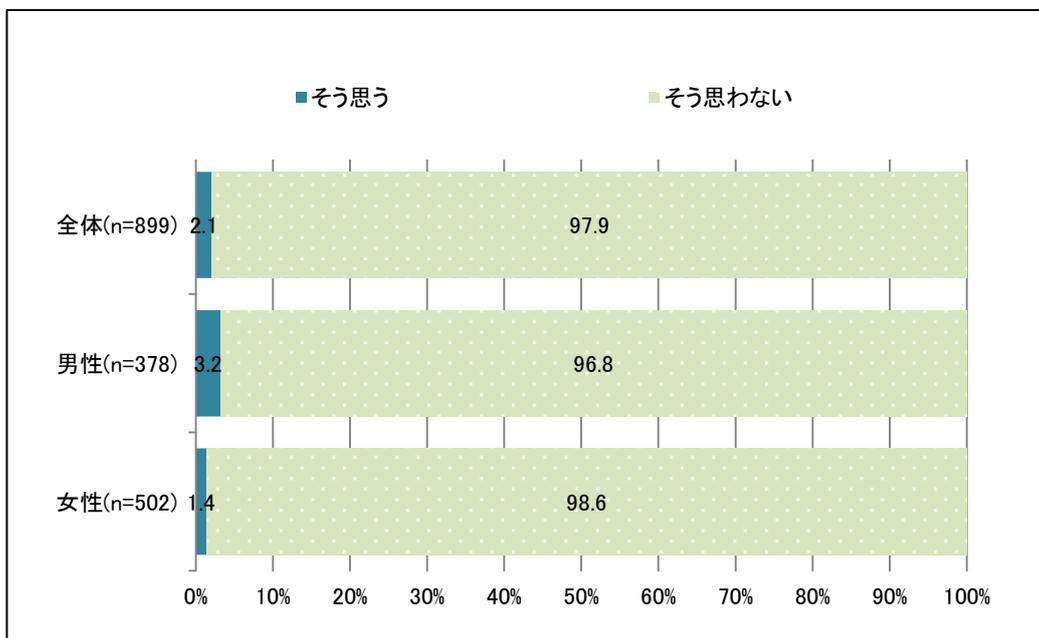
(図表IV-1-45)

○「家庭科は女の子の方が向いていると思う」については、全体では《そう思う》(20.9%)でほぼ2割となっている。

性別で見ると、男性では《そう思う》(22.2%)、女性では《そう思う》(20.7%)となっている。

(19) 学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|--------------|-----------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 19 2.1 | 880 97.9 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 12 3.2 | 366 96.8 |
| | 女性 | 502 100.0 | 7 1.4 | 495 98.6 |



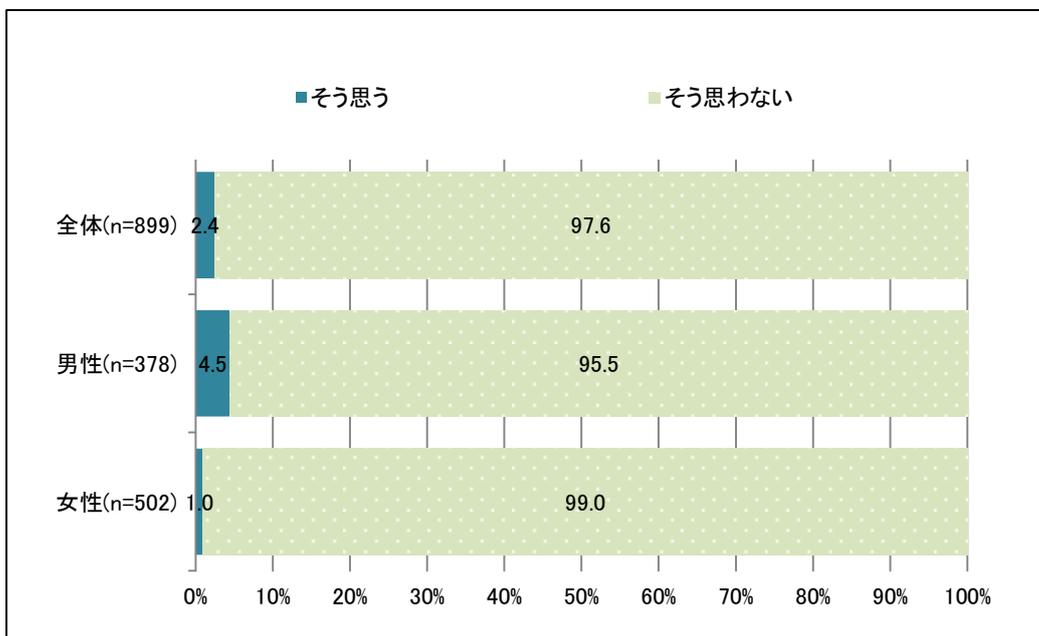
(図表IV-1-46)

○「学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」については、全体では《そう思う》(2.1%)でわずかとなっている。

性別で見ると、男性では《そう思う》(3.2%)、女性では《そう思う》(1.4%)となっている。

(20) 授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|-------|------|--------|
| 全 体 | | 899 | 22 | 877 |
| | | 100.0 | 2.4 | 97.6 |
| 性別 | 男性 | 378 | 17 | 361 |
| | | 100.0 | 4.5 | 95.5 |
| 性別 | 女性 | 502 | 5 | 497 |
| | | 100.0 | 1.0 | 99.0 |



(図表IV-1-47)

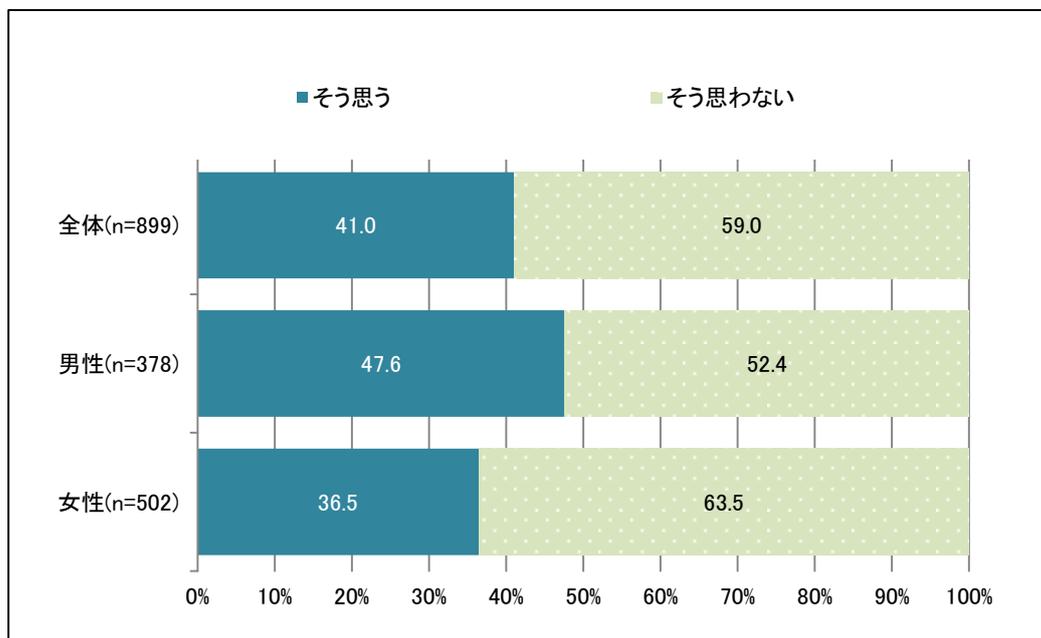
○「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う」については、全体では「そう思う」(2.4%)でわずかとなっている。

性別で見ると、男性では「そう思う」(4.5%)、女性では「そう思う」(1.0%)となっている。

「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.01$) が見られた。

(21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|-------|------|--------|
| 全 体 | | 899 | 369 | 530 |
| | | 100.0 | 41.0 | 59.0 |
| 性別 | 男性 | 378 | 180 | 198 |
| | 女性 | 502 | 183 | 319 |
| | | 100.0 | 36.5 | 63.5 |



(図表IV-1-48)

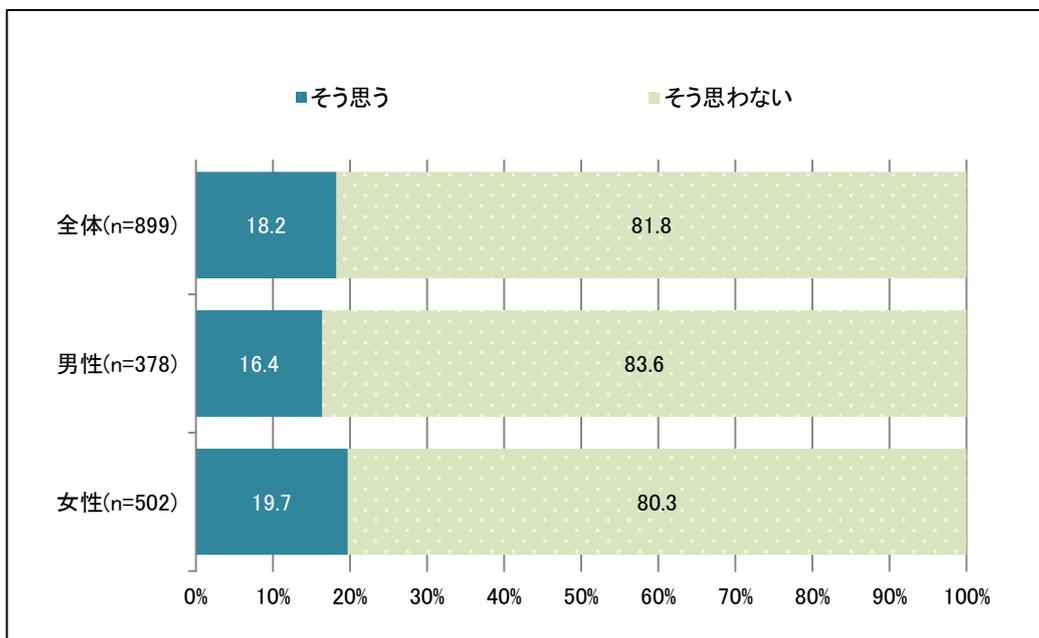
○「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」については、全体では《そう思う》(41.0%)で4割を超えている。

性別で見ると、男性では《そう思う》(47.6%)、女性では《そう思う》(36.5%)となっており、回答割合に大きな差が見られた。

「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.01$)が見られた。

(22) グループ活動では女の子がサポート役に回ることが多いと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 164 18.2 | 735 81.8 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 62 16.4 | 316 83.6 |
| | 女性 | 502 100.0 | 99 19.7 | 403 80.3 |



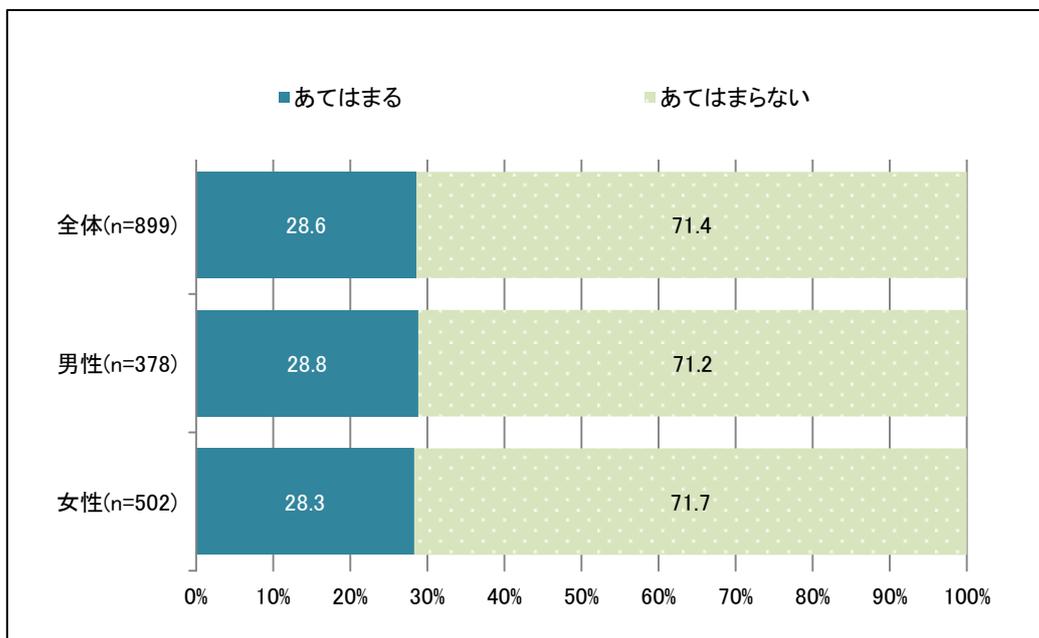
(図表IV-1-49)

○「グループ活動では女の子がサポート役に回ることが多いと思う」については、全体では「そう思う」(18.2%)で2割近くとなっている。

性別で見ると、男性では「そう思う」(16.4%)、女性では「そう思う」(19.7%)となっている。

(23) 性別で将来の目標を考える児童の言動を目にしたことがある (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 257 28.6 | 642 71.4 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 109 28.8 | 269 71.2 |
| | 女性 | 502 100.0 | 142 28.3 | 360 71.7 |



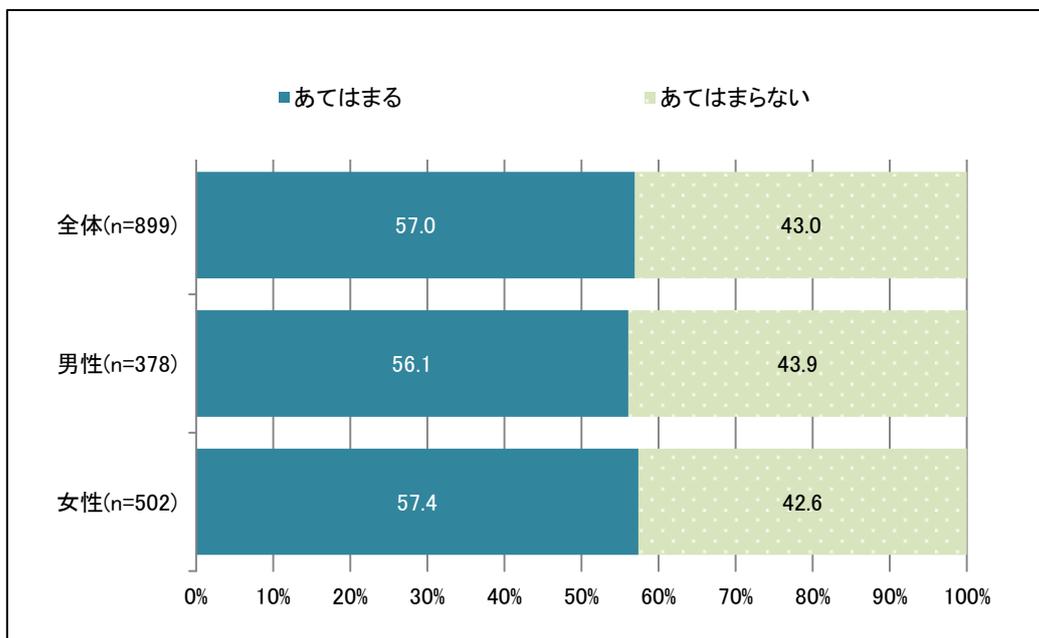
(図表IV-1-50)

○「性別で将来の目標を考える児童の言動を目にしたことがある」については、全体では「あてはまる」(28.6%)で3割近くとなっている。

性別で見ると、男性では「あてはまる」(28.8%)、女性では「あてはまる」(28.3%)となっている。

(24) 児童をみていて、「男らしさ」「女らしさ」を意識した言動を目にしたことがある (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 512 57.0 | 387 43.0 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 212 56.1 | 166 43.9 |
| | 女性 | 502 100.0 | 288 57.4 | 214 42.6 |



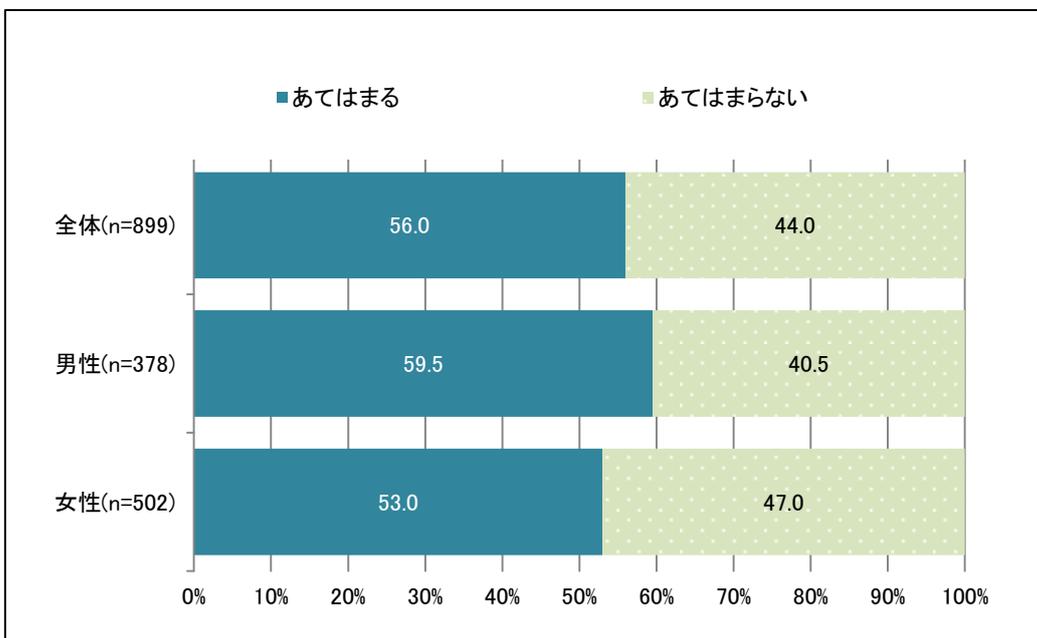
(図表IV-1-51)

○『児童をみていて、「男らしさ」「女らしさ」を意識した言動を目にしたことがある』については、全体では「あてはまる」(57.0%)で6割近くとなっている。

性別で見ると、男性では「あてはまる」(56.1%)、女性では「あてはまる」(57.4%)となっている。

(25) 児童の習い事を聞いていると、性別で違いがあると思う (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 503 56.0 | 396 44.0 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 225 59.5 | 153 40.5 |
| | 女性 | 502 100.0 | 266 53.0 | 236 47.0 |



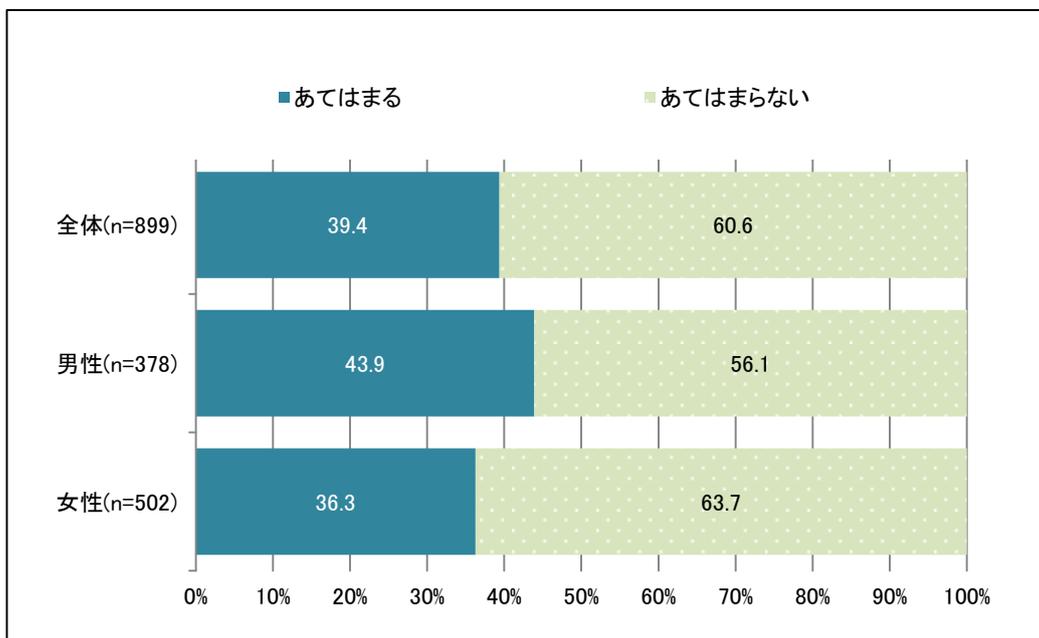
(図表IV-1-52)

○「児童の習い事を聞いていると、性別で違いがあると思う」については、全体では「あてはまる」(56.0%)で5割台半ばとなっている。

性別で見ると、男性では「あてはまる」(59.5%)、女性では「あてはまる」(53.0%)となっている。

(26) 楽器や絵画などの習い事をするのは女の子の方が多い (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 354 39.4 | 545 60.6 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 166 43.9 | 212 56.1 |
| | 女性 | 502 100.0 | 182 36.3 | 320 63.7 |



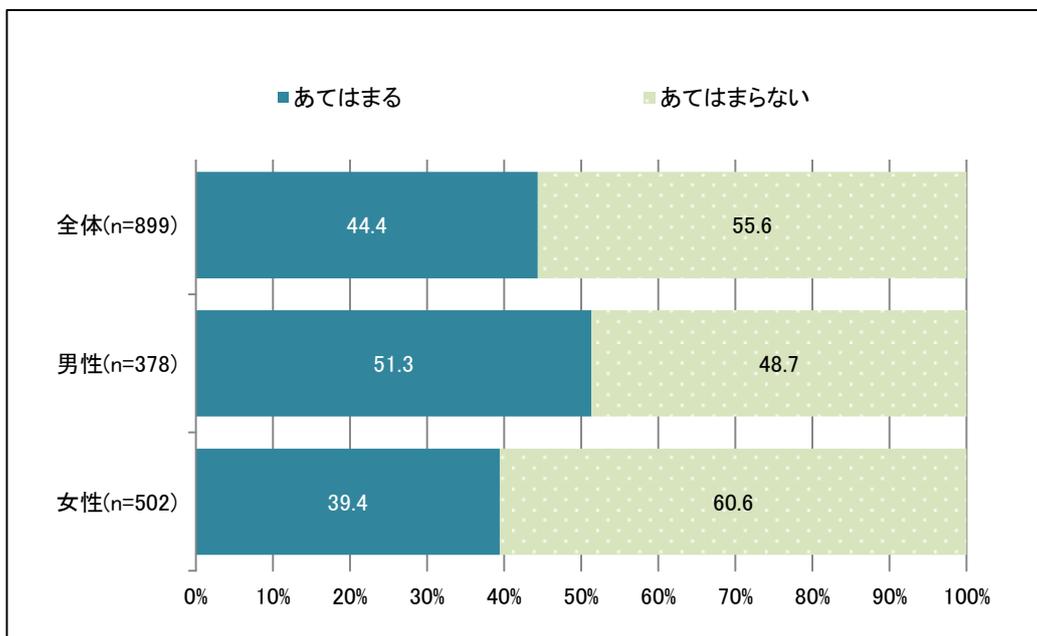
(図表IV-1-53)

○「楽器や絵画などの習い事をするのは女の子の方が多い」については、全体では「あてはまる」(39.4%)でほぼ4割となっている。

性別で見ると、男性では「あてはまる」(43.9%)、女性では「あてはまる」(36.3%)となっている。

(27) スポーツなどの習い事をするのは男の子の方が多い (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 399 44.4 | 500 55.6 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 194 51.3 | 184 48.7 |
| | 女性 | 502 100.0 | 198 39.4 | 304 60.6 |



(図表IV-1-54)

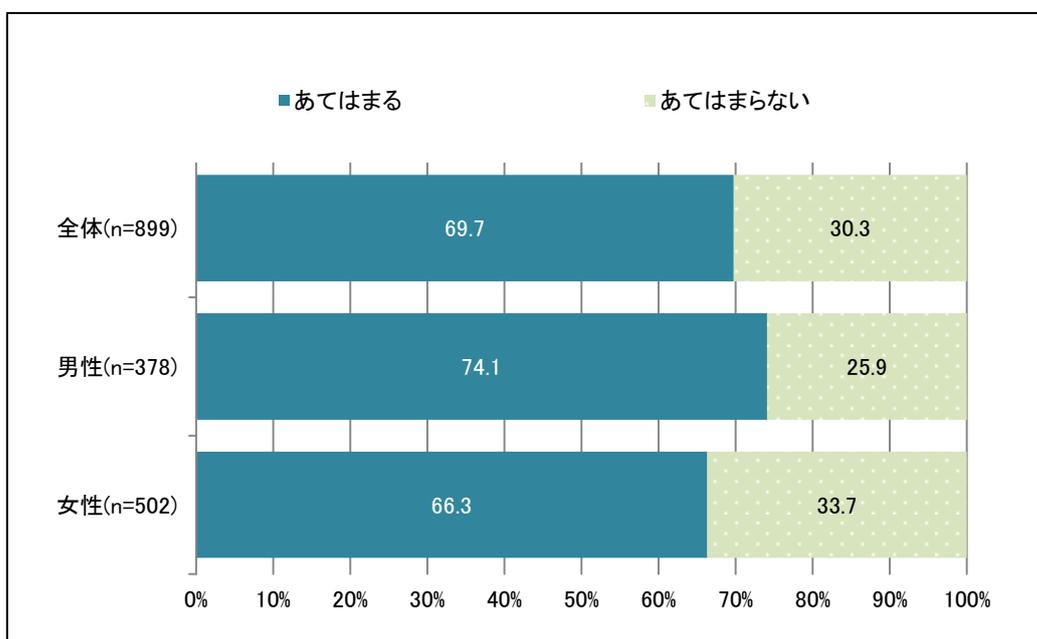
○「スポーツなどの習い事をするのは男の子の方が多い」については、全体では「あてはまる」(44.4%)で4割台半ばとなっている。

性別で見ると、男性では「あてはまる」(51.3%)、女性では「あてはまる」(39.4%)となっており、回答割合に大きな差が見られた。

「スポーツなどの習い事をするのは男の子の方が多い」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.01$) が見られた。

(28) 性別により遊び方が違う傾向にある (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 627 69.7 | 272 30.3 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 280 74.1 | 98 25.9 |
| | 女性 | 502 100.0 | 333 66.3 | 169 33.7 |



(図表IV-1-55)

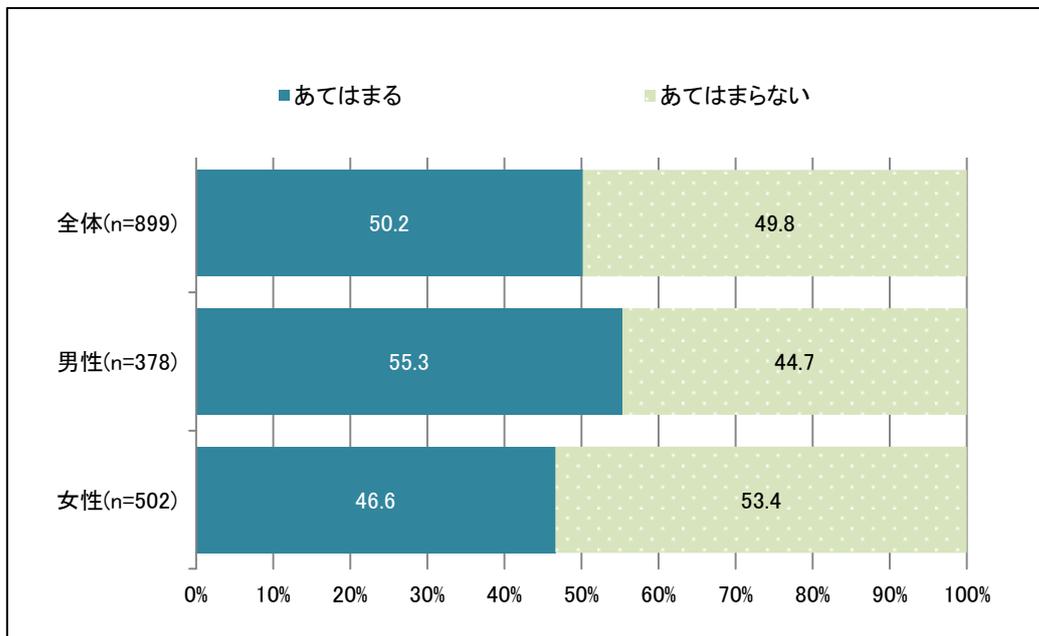
○「性別により遊び方が違う傾向にある」については、全体では「あてはまる」(69.7%)で7割となっている。

性別で見ると、男性では「あてはまる」(74.1%)、女性では「あてはまる」(66.3%)となっている。

「性別により遊び方が違う傾向にある」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.05$) が見られた。

(29) 児童をみていると、「男の子らしい色」「女の子らしい色」を意識している傾向にある (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 451 50.2 | 448 49.8 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 209 55.3 | 169 44.7 |
| | 女性 | 502 100.0 | 234 46.6 | 268 53.4 |



(図表IV-1-56)

○『児童をみていると、「男の子らしい色」「女の子らしい色」を意識している傾向にある』については、全体では「あてはまる」(50.2%)で5割となっている。

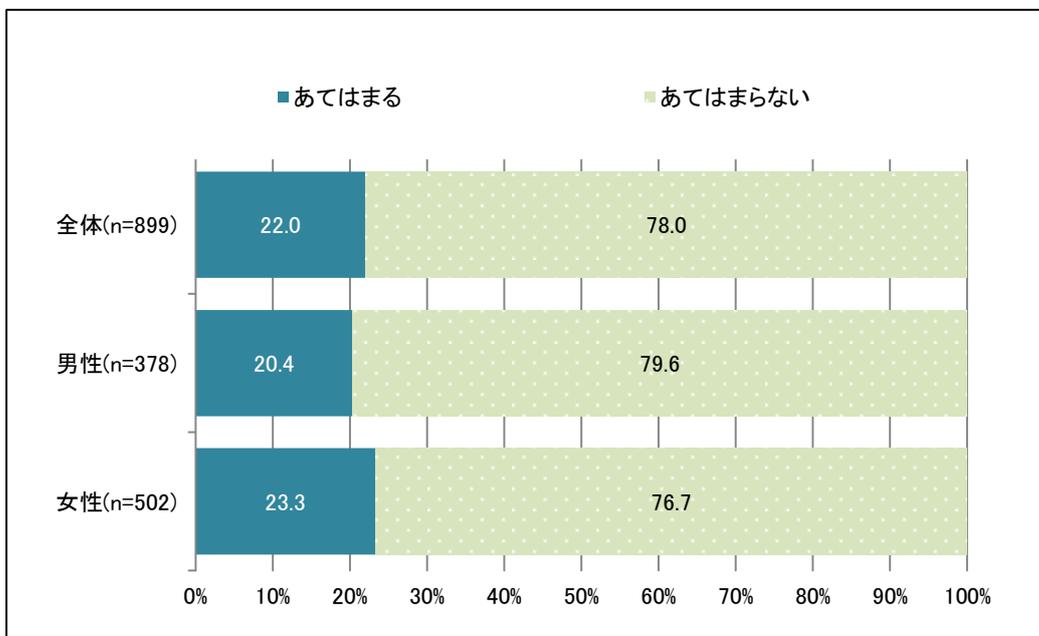
性別で見ると、男性では「あてはまる」(55.3%)、女性では「あてはまる」(46.6%)となっている。

『児童をみていると、「男の子らしい色」「女の子らしい色」を意識している傾向にある』について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 (p < 0.05) が見られた。

D 保護者に関すること

(30) 「性別」によって児童の進路を考えている発言が保護者よりあった (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 198 22.0 | 701 78.0 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 77 20.4 | 301 79.6 |
| | 女性 | 502 100.0 | 117 23.3 | 385 76.7 |



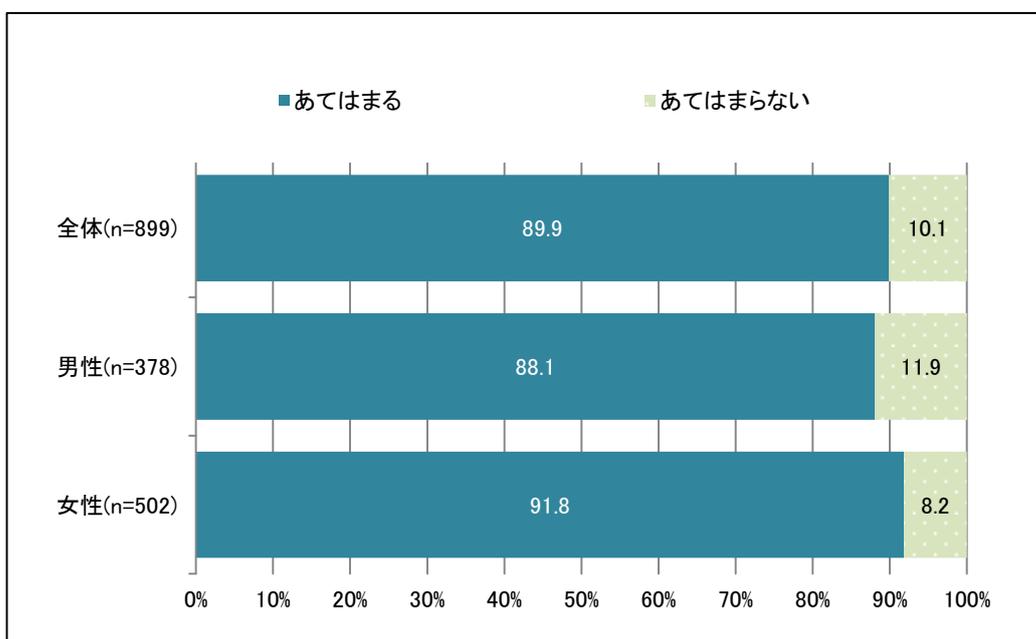
(図表IV-1-57)

○『「性別」によって児童の進路を考えている発言が保護者よりあった』については、全体では「あてはまる」(22.0%)で2割を超えている。

性別で見ると、男性では「あてはまる」(20.4%)、女性では「あてはまる」(23.3%)となっている。

(31) 学校行事は母親の参加が多い (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|--------------|-------------|------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 808 89.9 | 91 10.1 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 333 88.1 | 45 11.9 |
| | 女性 | 502 100.0 | 461 91.8 | 41 8.2 |



(図表IV-1-58)

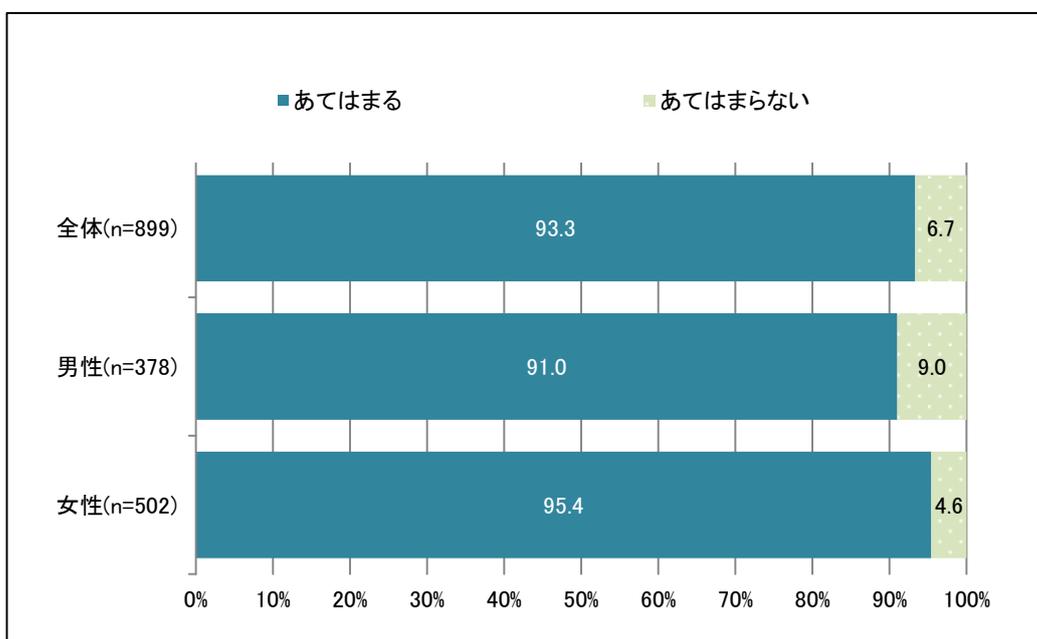
○「学校行事は母親の参加が多い」については、全体では「あてはまる」(89.9%)で9割となっている。

性別で見ると、男性では「あてはまる」(88.1%)、女性では「あてはまる」(91.8%)となっている。

「学校行事は母親の参加が多い」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.05$) が見られた。

(32) 学校関係の児童の身の回りの準備は母親がやっていることが多い (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|--------------|-------------|-----------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 839 93.3 | 60 6.7 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 344 91.0 | 34 9.0 |
| | 女性 | 502 100.0 | 479 95.4 | 23 4.6 |



(図表IV-1-59)

○「学校関係の児童の身の回りの準備は母親がやっていることが多い」については、全体では「あてはまる」(93.3%)で9割を超えている。

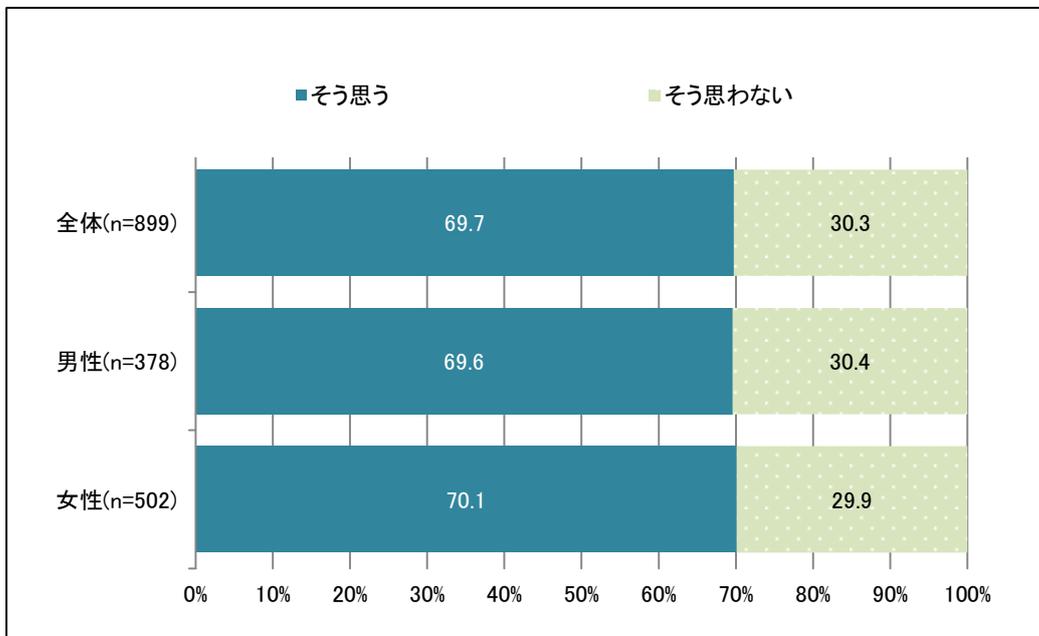
性別で見ると、男性では「あてはまる」(91.0%)、女性では「あてはまる」(95.4%)となっている。

「学校関係の児童の身の回りの準備は母親がやっていることが多い」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.01$) が見られた。

E 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の認知度など

(33) 学校での指導等において無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を意識している（SA）

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 627 69.7 | 272 30.3 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 263 69.6 | 115 30.4 |
| | 女性 | 502 100.0 | 352 70.1 | 150 29.9 |



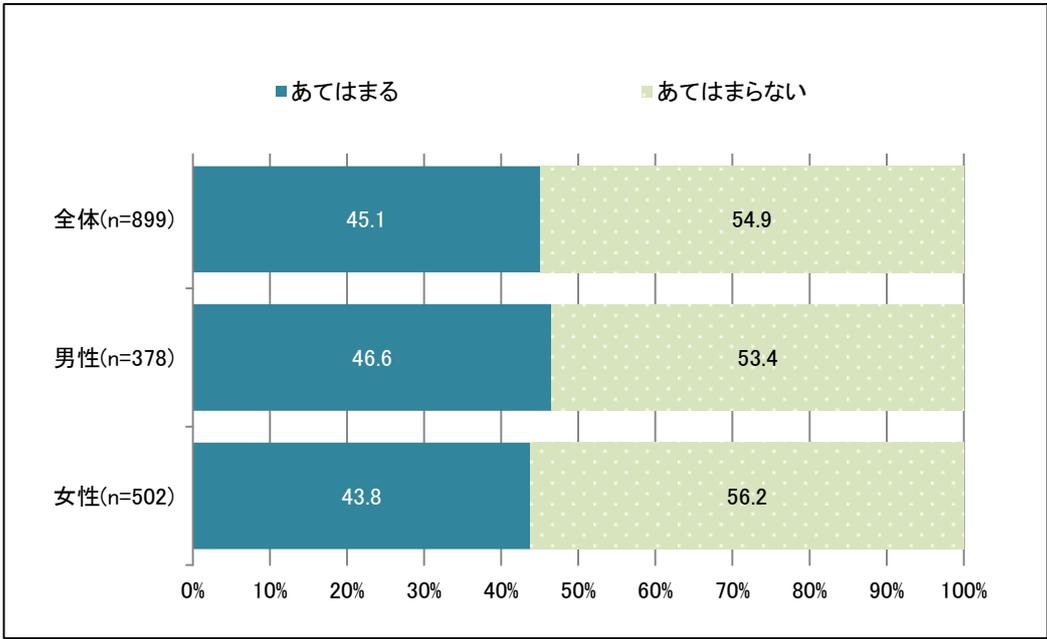
(図表IV-1-60)

○「学校での指導等において無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を意識している」については、全体では《そう思う》（69.7%）で7割となっている。

性別で見ると、男性では《そう思う》（69.6%）、女性では《そう思う》（70.1%）となっている。

(34) 教員間で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について話をしたことがある(SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 405 45.1 | 494 54.9 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 176 46.6 | 202 53.4 |
| | 女性 | 502 100.0 | 220 43.8 | 282 56.2 |



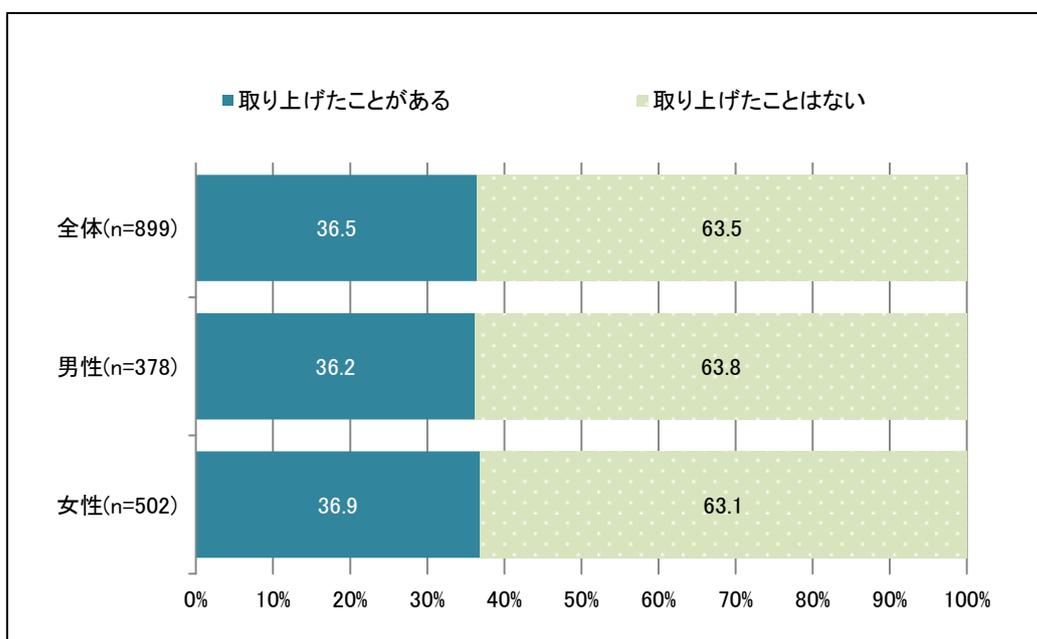
(図表IV-1-61)

○「教員間で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について話をしたことがある」については、全体では「あてはまる」(45.1%)で4割台半ばとなっている。

性別で見ると、男性では「あてはまる」(46.6%)、女性では「あてはまる」(43.8%)となっている。

(35) 子供への指導で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を取り上げたことがある(SA)

| | | 計 | あ 取 り 上 げ た こ と が | な 取 り 上 げ た こ と は |
|--------|----|--------------|---|---|
| 全 体 | | 899 100.0 | 328 36.5 | 571 63.5 |
| 性 別 | 男性 | 378 100.0 | 137 36.2 | 241 63.8 |
| | 女性 | 502 100.0 | 185 36.9 | 317 63.1 |



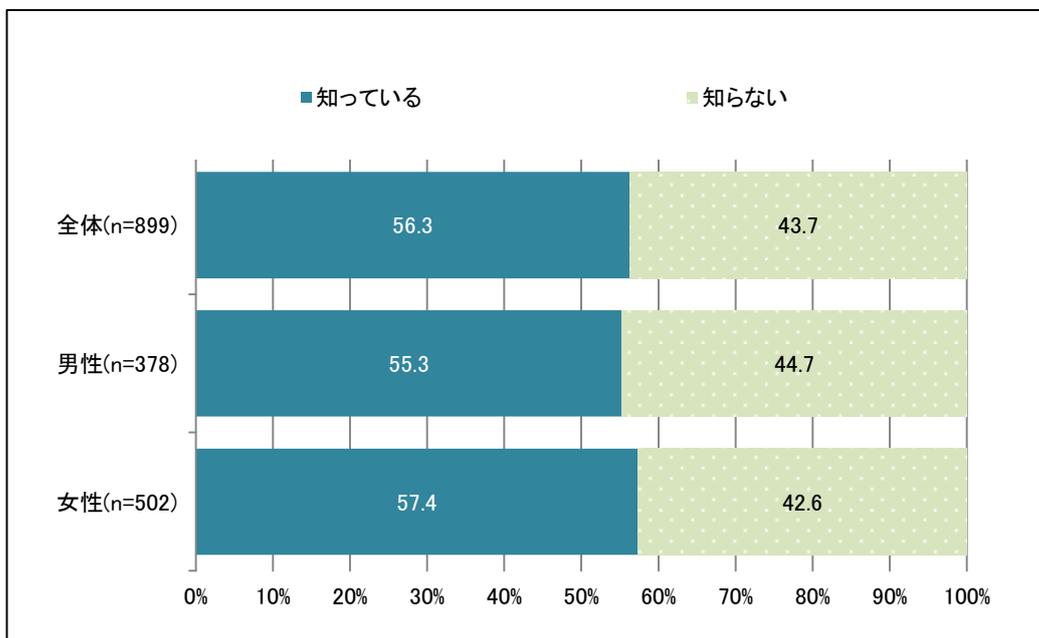
(図表IV-1-62)

○「子供への指導で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を取り上げたことがある」については、全体では「取り上げたことがある」(36.5%)で4割近くとなっている。

性別で見ると、男性では「取り上げたことがある」(36.2%)、女性では「取り上げたことがある」(36.9%)となっている。

(36) 無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) について知っていますか (SA)

| | | 計 | 知っている | 知らない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 506 56.3 | 393 43.7 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 209 55.3 | 169 44.7 |
| | 女性 | 502 100.0 | 288 57.4 | 214 42.6 |



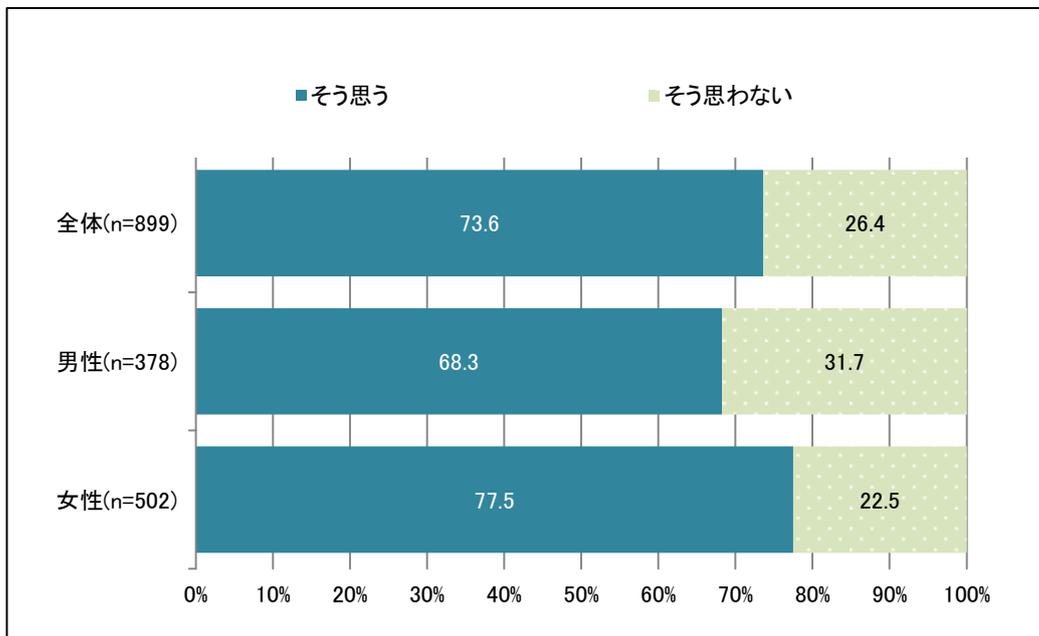
(図表IV-1-63)

○「無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) について知っていますか」については、全体では《知っている》(56.3%)で5割台半ばとなっている。

性別で見ると、男性では《知っている》(55.3%)、女性では《知っている》(57.4%)となっている。

(37) (自己啓発として) 無意識の思い込みについて、研修などがあれば受講したいか (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----|----|--------------|-------------|-------------|
| 全 体 | | 899 100.0 | 662 73.6 | 237 26.4 |
| 性別 | 男性 | 378 100.0 | 258 68.3 | 120 31.7 |
| | 女性 | 502 100.0 | 389 77.5 | 113 22.5 |



(図表IV-1-64)

○「(自己啓発として) 無意識の思い込みについて、研修などがあれば受講したいか」については、全体では《そう思う》(73.6%)が7割を超えている。

性別で見ると、男性では《そう思う》(68.3%)、女性では《そう思う》(77.5%)となっている。

「(自己啓発として)無意識の思い込みについて、研修などがあれば受講したいか」について、性別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差(p < 0.01)が見られた。

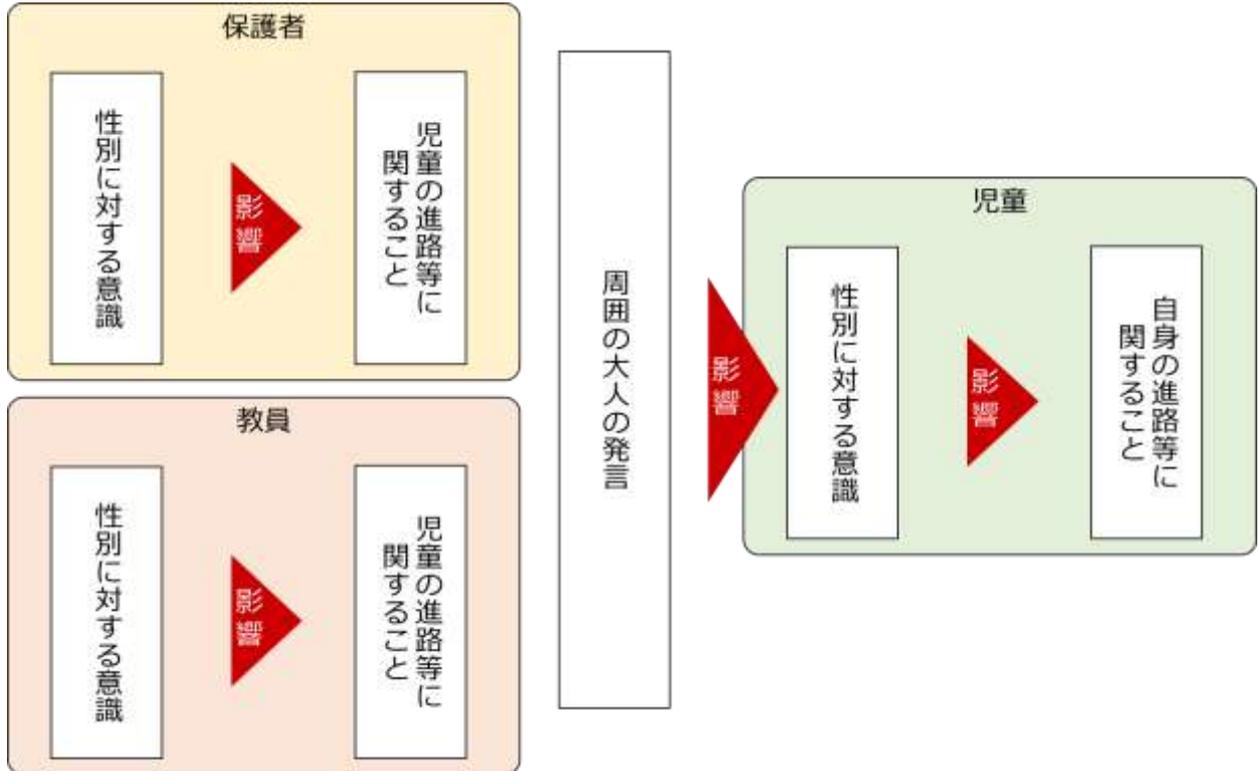
2 分析の仮説

① 分析にあたっての仮説

第IV章3以降、設定した仮説が立証できるかどうか分析を行っている。

分析にあたっては下記に示すとおり、自身の性別に対するアンコンシャス・バイアスを持つことが、児童の進路等に関することに対する考え方に影響を与えていること、また、周囲の大人の発言が、児童の性別に対する意識、考え方に影響を与えていることを仮説として設定している。

＜仮説の全体図（図表IV－2－1）＞



児童調査結果の分析に関する仮説・検討事項

| No. | 仮説・検討事項 |
|-----|--|
| (1) | 児童が「男の子/女の子だからと思う」ことは、児童自身の言動に影響を与えているか |
| (2) | 児童が「性別で教科の得意、不得意があると思う」ことは、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」ことに影響を与えているか |
| (3) | 児童の学年によって、性別に対する意識の差が表れているか |
| (4) | 「周囲の大人の発言」は、「男の子/女の子だからと思う」という児童の意識に影響を与えているか |
| (5) | 保護者の働き方により、仕事に対する児童の「性別により向き・不向きがあると思う」という意識の差が見られるか |

保護者調査結果の分析に関する仮説・検討事項

| No. | 仮説・検討事項 |
|------|---|
| (6) | 保護者の年代によって、子どもの仕事に対する意識の差が見られるか |
| (7) | 保護者自身が「男性/女性だからと思う」ことは、子どもの進路選択に関する保護者の意識に影響を与えているか |
| (8) | 保護者自身が「男性/女性だからと思う」ことは、子どもに関して「性別で向いている仕事と向いていない仕事がある」と思うことに影響を与えているか |
| (9) | 保護者が子どもの学習、進路などに関する事項（教科の得意/不得意、進路、習い事）で性別を意識することは、子どもに関して「性別で向いている仕事と向いていない仕事がある」と思うことに影響を与えているか |
| (10) | 「性別で子どもの習い事を選んでいる」ことは、「性別で子どもの進路を考えること」に影響を与えているか |
| (11) | 保護者自身が「男性/女性だからと思う」ことは、子どもに対する言動に影響を与えているか |
| (12) | 保護者自身が「男の子/女の子なんだからと子どもに言う」ことは、子どもに対する発言以外の意識や行動に表れるか |
| (13) | 保護者の年代によって、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の認知度の差はあるか |
| (14) | 設問回答の得点化したカテゴリと他の設問との間に関係性はあるか |
| (15) | 「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について、どの程度知っていますか」と他の設問間に関係性はあるか |
| (16) | 保護者の年代によって、「家事・育児」に対する意識の差が見られるか |
| (17) | 保護者自身が「男性/女性だからと思う」ことは、「家事/育児は女性の方が向いていると思う」ことに影響を与えているか |

教員調査結果の分析に関する仮説・検討事項

| No. | 仮説・検討事項 |
|------|---|
| (18) | 教員の年代・役職によって、「将来管理職になるのは無理だと思う」の設問に対する回答に違いがあるか |
| (19) | 教員の年代・役職によって、「プライベートより仕事を優先したほうが良いと思う」の設問に対する回答に違いがあるか |
| (20) | 教員の年代・役職によって、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答に違いがあるか |
| (21) | 教員の年代・役職によって、育児休業と介護休業の取得に対する意識の差があるか |
| (22) | 教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、「育児休業は女性が取ったほうが良いと思う」ことに影響を与えているか |
| (23) | 教員の役職によって、「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答に違いはあるか |
| (24) | 教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答に影響しているか |
| (25) | 「子育て中の男性/女性教員には負担の多い業務をまかせないほうが良いと思う」の回答について、男性教員と女性教員により違いが生じる要因に年代・役職による差があるか |
| (26) | 「介護中の男性/女性教員には負担の多い業務をまかせないほうが良いと思う」の回答について、男性教員と女性教員により違いが生じる要因に年代・役職による差があるか |
| (27) | 教員の年代・役職によって、「重要な仕事は男性教員に任されていることが多い」の回答に違いがあるか |
| (28) | 教員の年代・役職によって、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答に違いがあるか |
| (29) | 教員の年代・役職によって、児童の教科の得意・不得意について、「性別による違いがあると思う」ことに違いはあるか |

| No. | 仮説・検討事項 |
|------|--|
| (30) | 教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、児童の教科への得意・不得意に対する意識に影響しているか |
| (31) | 教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、学校での児童の役割に関する意識に影響しているか |
| (32) | 教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、仕事への向き・不向きに関する意識に影響しているか |
| (33) | 教員が「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」ことが、児童の教科の得意・不得意に関する意識に影響しているか |
| (34) | 教員が「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」ことが、学校での児童の役割に関する意識に影響しているか |
| (35) | 教員が「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」ことが、児童の仕事への向き・不向きに関する意識に影響しているか |
| (36) | 教員が「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」ことが、児童の教科への得意・不得意に関する意識に影響しているか |
| (37) | 教員が「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」ことが、学校での児童の役割に関する意識に影響しているか |
| (38) | 教員が「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」ことが、「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」ことに影響を与えているか |
| (39) | 教員の年代・役職によって、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の意識・行動・認知度等に関する違いがあるか |
| (40) | 設問回答の得点化したカテゴリと他の設問との間に関係性はあるか |
| (41) | 「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について、どの程度知っていますか」の回答と他の設問の回答に関係性はあるか |

3 児童調査結果の分析

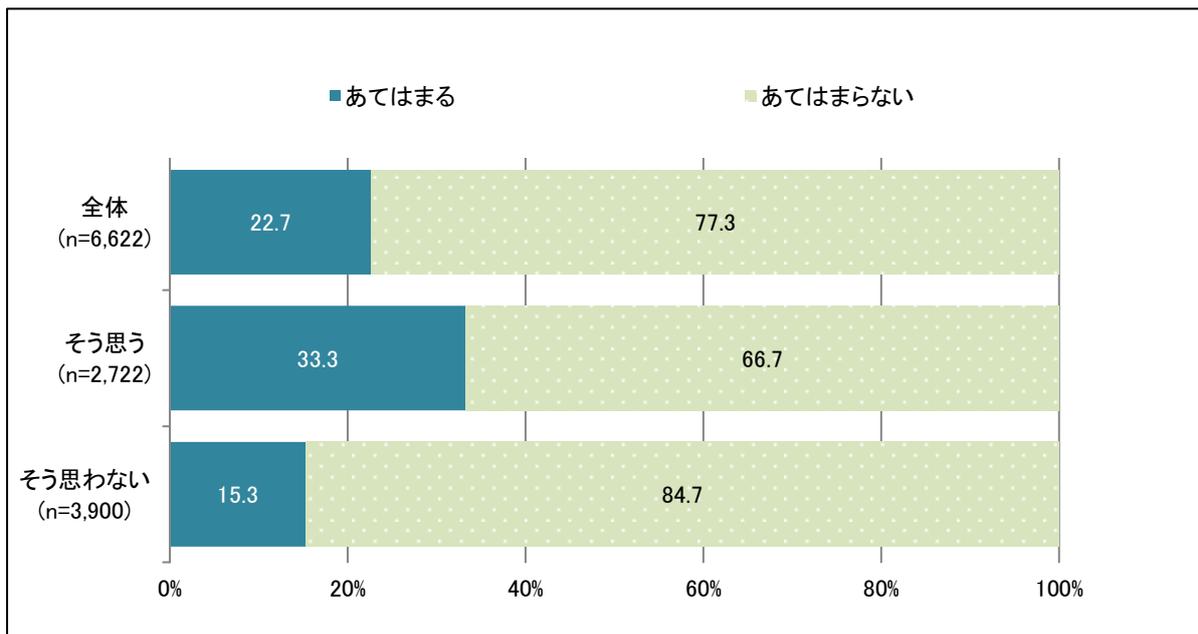
① 性別に関する意識と児童の言動に関する意識の関係

< 仮説・検討事項(1)>

児童が「男の子/女の子だからと思う」ことは、児童自身の言動に影響を与えているか

(7) 性別を理由に、思ったことが言えなかったことがある (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|---------------------------------|--------|---------------|--------------|--------------|
| 全体 | | 6622 100.0 | 1501 22.7 | 5121 77.3 |
| (1) 「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある | そう思う | 2722 100.0 | 906 33.3 | 1816 66.7 |
| | そう思わない | 3900 100.0 | 595 15.3 | 3305 84.7 |



(図表IV-3-1)

○「性別を理由に、思ったことが言えなかったことがある」について、全体では《あてはまる》(22.7%)で2割を超えている。

『「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある』の回答別でみると、《そう思う》では《あてはまる》(33.3%)が3割超え、《そう思わない》(15.3%)が1割台半ばとなっている。

「性別を理由に、思ったことが言えなかったことがある」について、『「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

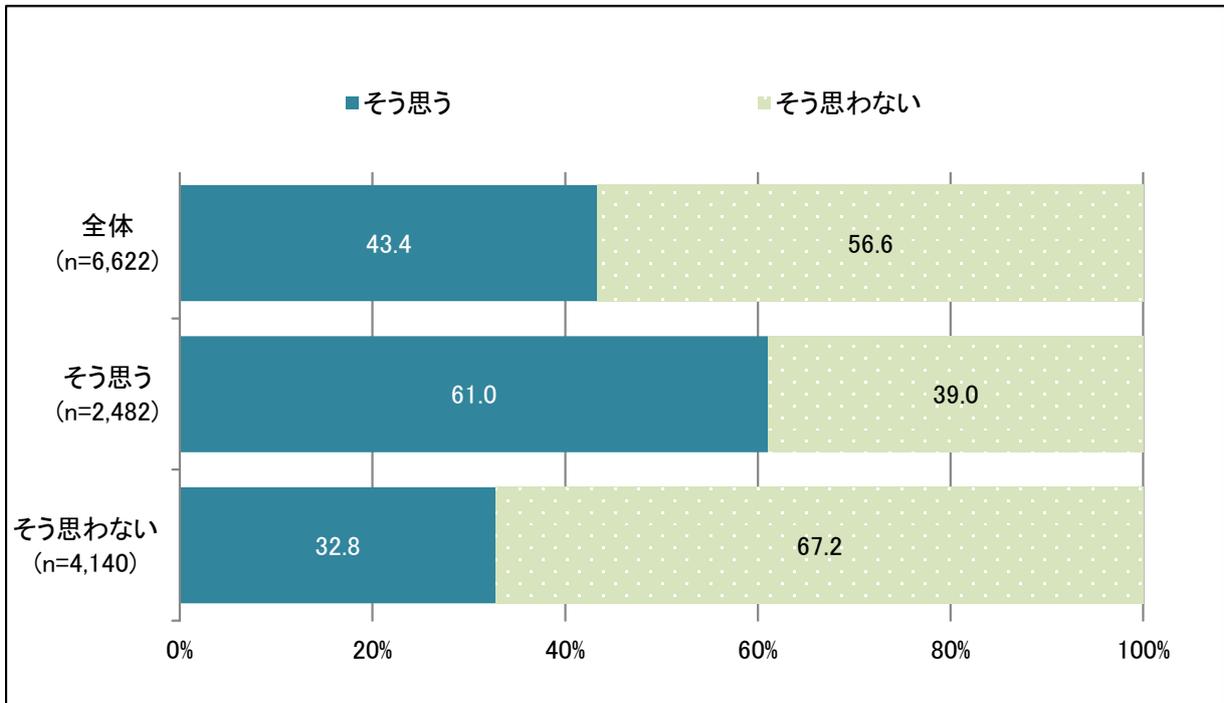
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.40であり、やや相関が見られた。

< 仮説・検討事項(2)>

児童が「性別で教科の得意、不得意があると思う」ことは、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」ことに影響を与えているか

(3) (将来の仕事について) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|---------------------------|--------|---------------|--------------|--------------|
| 全体 | | 6622 100.0 | 2873 43.4 | 3749 56.6 |
| (2) 性別で教科の得意、不得意があると思う | そう思う | 2482 100.0 | 1515 61.0 | 967 39.0 |
| | そう思わない | 4140 100.0 | 1358 32.8 | 2782 67.2 |



(図表IV-3-2)

○「(将来の仕事について)性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、全体では《そう思う》(43.4%)で4割を超えている。

「性別で教科の得意、不得意があると思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(61.0%)が6割超え、《そう思わない》(32.8%)が3割を超えている。

「(将来の仕事について)性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、「性別で教科の得意、不得意があると思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.44であり、かなり相関が見られた。

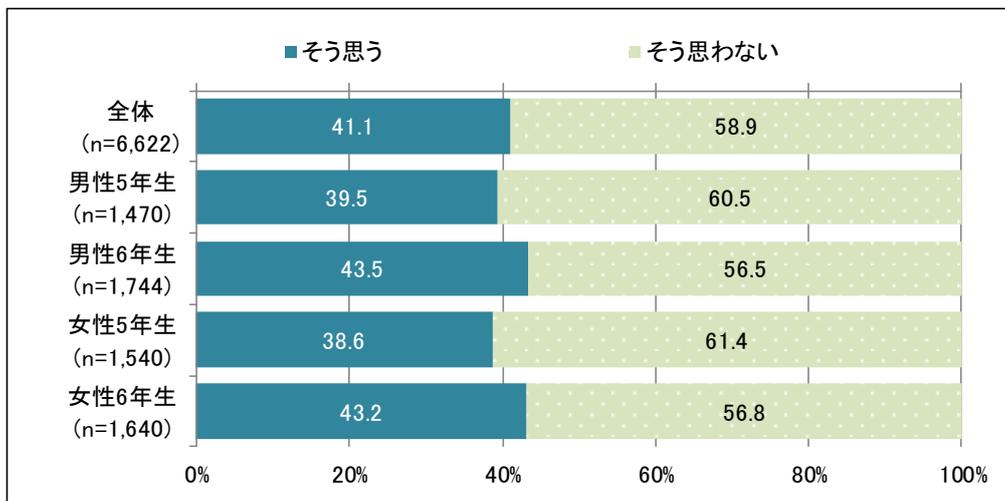
② 意識の学年差

< 仮説・検討事項(3) >

児童の学年によって、性別に対する意識の差が表れているか

(1) 「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-------|-------|---------------|--------------|--------------|
| 全体 | | 6622 100.0 | 2722 41.1 | 3900 58.9 |
| 性別・学年 | 男性5年生 | 1470 100.0 | 580 39.5 | 890 60.5 |
| | 男性6年生 | 1744 100.0 | 758 43.5 | 986 56.5 |
| | 女性5年生 | 1540 100.0 | 595 38.6 | 945 61.4 |
| | 女性6年生 | 1640 100.0 | 709 43.2 | 931 56.8 |



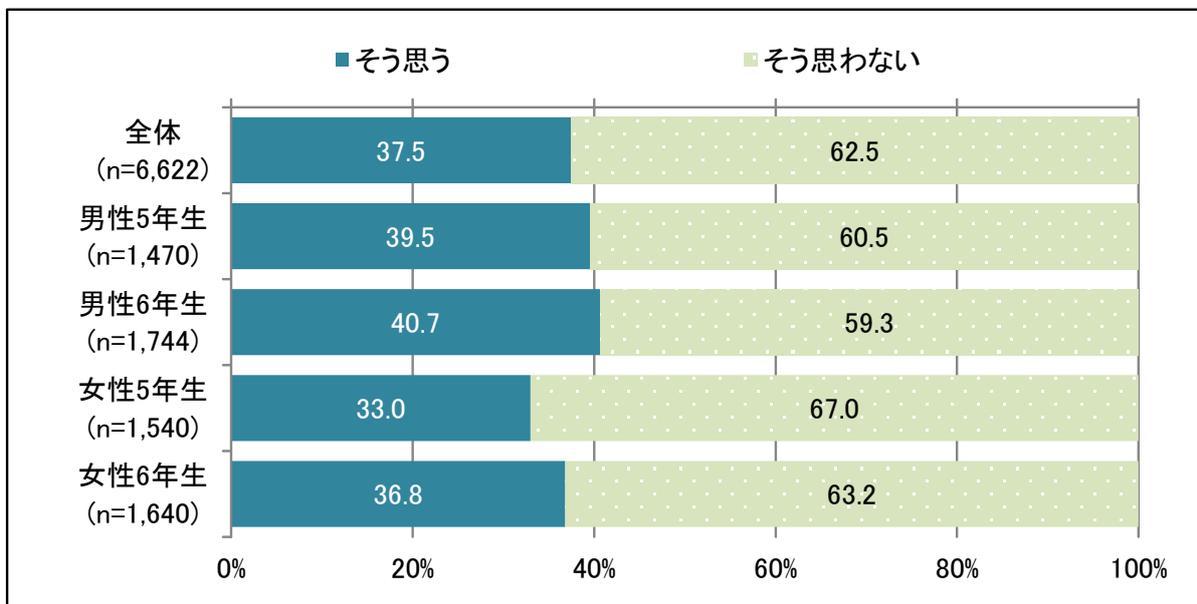
(図表IV-3-3)

○『「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある』について、全体では《そう思う》(41.1%)で4割を超えている。

学年別でみると、男性では《そう思う》について5年生(39.5%)が4割、6年生(43.5%)が4割を超えており、女性では5年生(38.6%)が4割近く、6年生(43.2%)が4割を超えている。

(2) 性別で教科の得意、不得意があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-------|-------|---------------|--------------|--------------|
| 全体 | | 6622 100.0 | 2482 37.5 | 4140 62.5 |
| 性別・学年 | 男性5年生 | 1470 100.0 | 581 39.5 | 889 60.5 |
| | 男性6年生 | 1744 100.0 | 709 40.7 | 1035 59.3 |
| | 女性5年生 | 1540 100.0 | 508 33.0 | 1032 67.0 |
| | 女性6年生 | 1640 100.0 | 604 36.8 | 1036 63.2 |



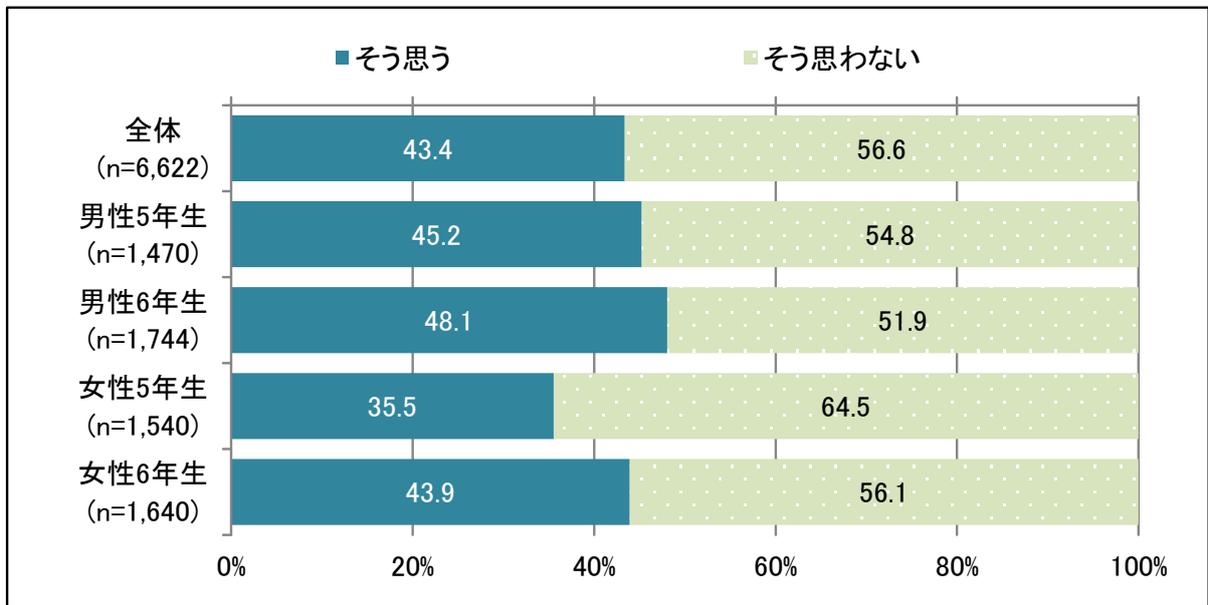
(図表IV-3-4)

○「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、全体では《そう思う》(37.5%)で4割近くとなっている。

学年別でみると、男性では《そう思う》について5年生(39.5%)が4割、6年生(40.7%)がほぼ4割となっており、女性では5年生(33.0%)が3割超え、6年生(36.8%)が4割近くとなっている。

(3) (将来の仕事について) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (S A)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-------|-------|---------------|--------------|--------------|
| 全体 | | 6622 100.0 | 2873 43.4 | 3749 56.6 |
| 性別・学年 | 男性5年生 | 1470 100.0 | 665 45.2 | 805 54.8 |
| | 男性6年生 | 1744 100.0 | 838 48.1 | 906 51.9 |
| | 女性5年生 | 1540 100.0 | 547 35.5 | 993 64.5 |
| | 女性6年生 | 1640 100.0 | 720 43.9 | 920 56.1 |



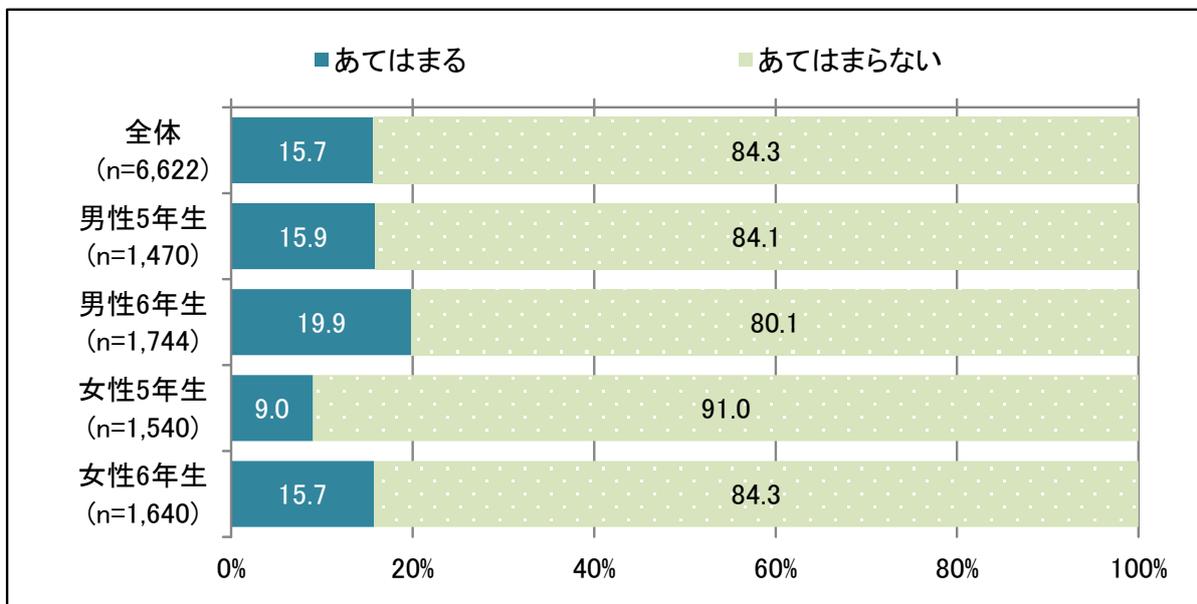
(図表IV-3-5)

○「(将来の仕事について)性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、全体では「そう思う」(43.4%)で4割を超えている。

学年別でみると、男性では「そう思う」について5年生(45.2%)が4割台半ば、6年生(48.1%)が5割近くとなっており、女性では5年生(35.5%)が3割台半ば、6年生(43.9%)が4割を超えている。

(4) 「男の子なんだから」「女の子なんだから」と先生に言われたことがある (S A)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-------|-------|---------------|--------------|--------------|
| 全体 | | 6622 100.0 | 1040 15.7 | 5582 84.3 |
| 性別・学年 | 男性5年生 | 1470 100.0 | 233 15.9 | 1237 84.1 |
| | 男性6年生 | 1744 100.0 | 347 19.9 | 1397 80.1 |
| | 女性5年生 | 1540 100.0 | 139 9.0 | 1401 91.0 |
| | 女性6年生 | 1640 100.0 | 258 15.7 | 1382 84.3 |



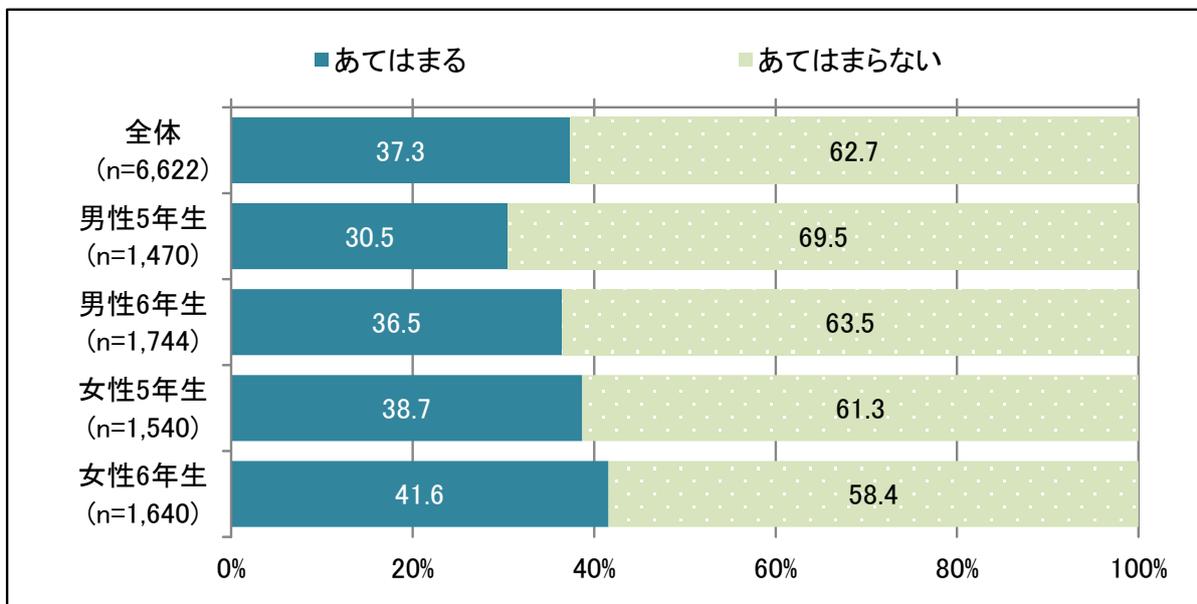
(図表IV-3-6)

○『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と先生に言われたことがある』について、全体では「あてはまる」(15.7%)で1割台半ばとなっている。

学年別でみると、男性では「あてはまる」について5年生(15.9%)が1割台半ば、6年生(19.9%)が2割となっており、女性では5年生(9.0%)がほぼ1割、6年生(15.7%)が1割台半ばとなっている。

(5) 「男の子なんだから」「女の子なんだから」と親（保護者）に言われたことがある（SA）

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-------|-------|---------------|--------------|--------------|
| 全体 | | 6622 100.0 | 2473 37.3 | 4149 62.7 |
| 性別・学年 | 男性5年生 | 1470 100.0 | 449 30.5 | 1021 69.5 |
| | 男性6年生 | 1744 100.0 | 636 36.5 | 1108 63.5 |
| | 女性5年生 | 1540 100.0 | 596 38.7 | 944 61.3 |
| | 女性6年生 | 1640 100.0 | 682 41.6 | 958 58.4 |



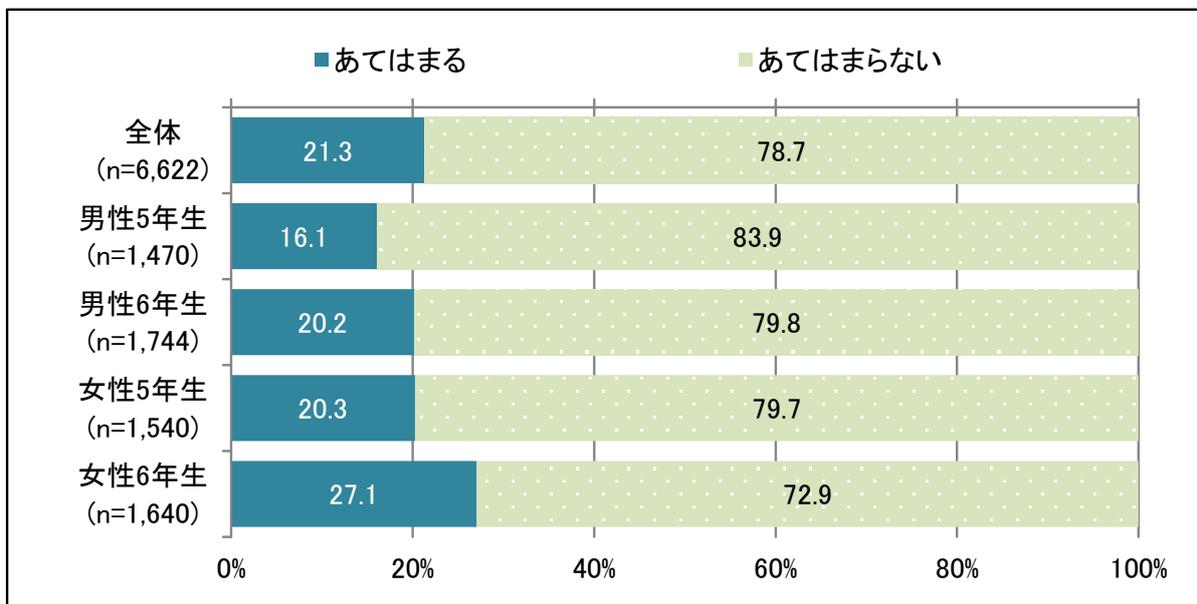
(図表IV-3-7)

○『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と親（保護者）に言われたことがある』について、全体では「あてはまる」（37.3%）は4割近くとなっている。

学年別でみると、男性では「あてはまる」について5年生（30.5%）がほぼ3割、6年生（36.5%）が4割近くとなっており、女性では5年生（38.7%）が4割近く、6年生（41.6%）が4割を超えている。

(6) 「男の子なんだから」「女の子なんだから」と祖父母や親戚など周りの大人に言われたことがある (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-------|-------|---------------|--------------|--------------|
| 全体 | | 6622 100.0 | 1413 21.3 | 5209 78.7 |
| 性別・学年 | 男性5年生 | 1470 100.0 | 236 16.1 | 1234 83.9 |
| | 男性6年生 | 1744 100.0 | 352 20.2 | 1392 79.8 |
| | 女性5年生 | 1540 100.0 | 312 20.3 | 1228 79.7 |
| | 女性6年生 | 1640 100.0 | 444 27.1 | 1196 72.9 |



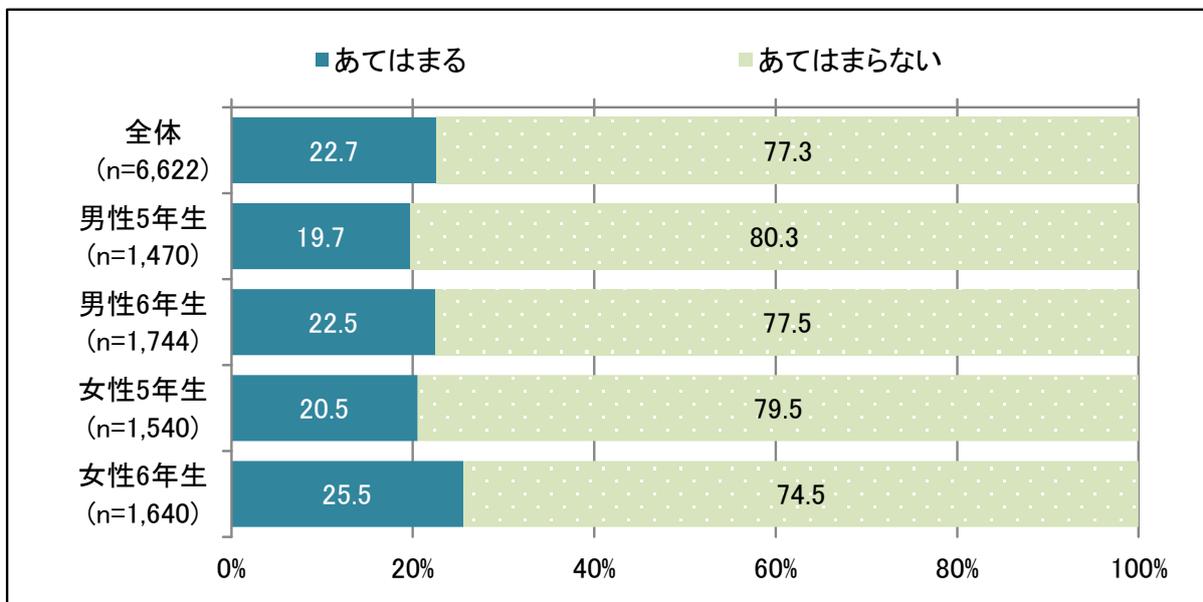
(図表IV-3-8)

○『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と祖父母や親戚など周りの大人に言われたことがある』について、全体では「あてはまる」(21.3%)で2割を超えている。

学年別でみると、男性では「あてはまる」について5年生(16.1%)が1割台半ば、6年生(20.2%)が2割となっており、女性では5年生(20.3%)が2割、6年生(27.1%)が3割近くとなっている。

(7) 性別を理由に、思ったことが言えなかったことがある (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-------|-------|---------------|--------------|--------------|
| 全体 | | 6622 100.0 | 1501 22.7 | 5121 77.3 |
| 性別・学年 | 男性5年生 | 1470 100.0 | 290 19.7 | 1180 80.3 |
| | 男性6年生 | 1744 100.0 | 393 22.5 | 1351 77.5 |
| | 女性5年生 | 1540 100.0 | 316 20.5 | 1224 79.5 |
| | 女性6年生 | 1640 100.0 | 419 25.5 | 1221 74.5 |



(図表IV-3-9)

○「性別を理由に、思ったことが言えなかったことがある」について、全体では「あてはまる」(22.7%)は2割を超えている。

学年別でみると、男性では「あてはまる」について5年生(19.7%)が2割、6年生(22.5%)が2割超えとなっており、女性では5年生(20.5%)がほぼ2割、6年生(25.5%)が2割台半ばとなっている。

③ 性別に関する意識の形成要因

< 仮説・検討事項(4)>

「周囲の大人の発言」は、「男の子/女の子だからと思う」という児童の意識に影響を与えているか

(1) 「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|---------|---------------|--------------|--------------|
| 全体 | | 6622 100.0 | 2722 41.1 | 3900 58.9 |
| (4) 「男の子なんだから」「女の子なんだから」と先生に言われたことがある | あてはまる | 1040 100.0 | 593 57.0 | 447 43.0 |
| | あてはまらない | 5582 100.0 | 2129 38.1 | 3453 61.9 |



(図表IV-3-10)

○ 『「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある』について、全体では《「そう思う」》(41.1%)で4割を超えている。

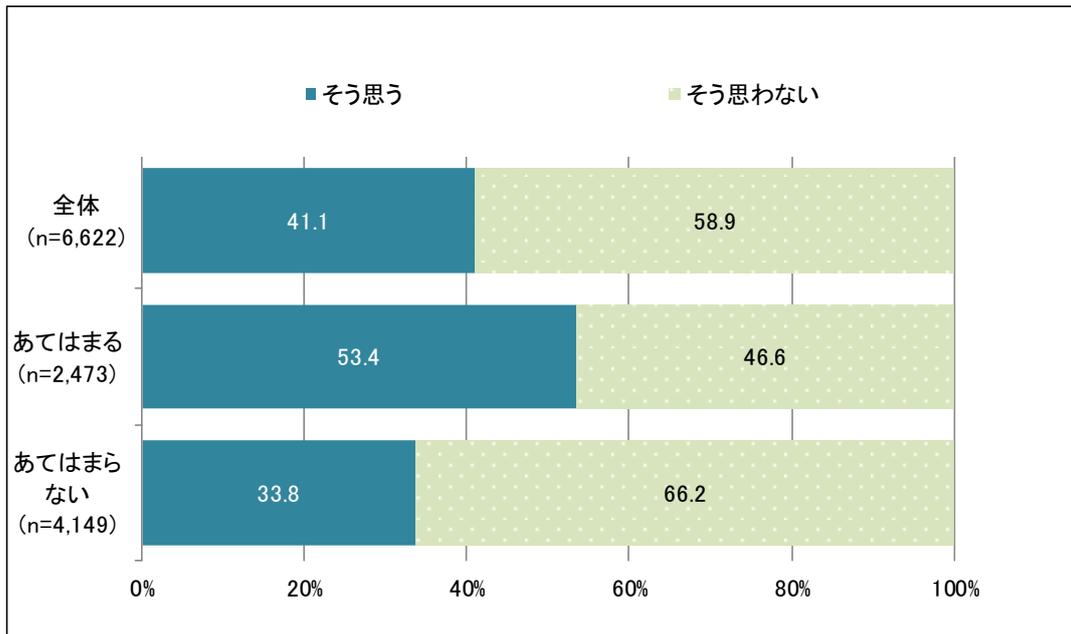
『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と先生に言われたことがある』の回答別でみると、《「あてはまる」》では《「そう思う」》(57.0%)が6割近く、《「あてはまらない」》では《「そう思う」》(38.1%)が4割近くとなっており、回答割合に大きな差が見られた。

『「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある』について、『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と先生に言われたことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$) が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.38であり、やや相関が見られた。

(1) 「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|---------|-------|------|--------|
| 全体 | | 6622 | 2722 | 3900 |
| | | 100.0 | 41.1 | 58.9 |
| (5) 「男の子なんだから」「女の子なんだから」と親(保護者)に言われたことがある | あてはまる | 2473 | 1321 | 1152 |
| | あてはまらない | 4149 | 1401 | 2748 |
| | | 100.0 | 33.8 | 66.2 |



(図表IV-3-11)

○『「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある』について、全体では《「そう思う」》(41.1%)で4割を超えている。

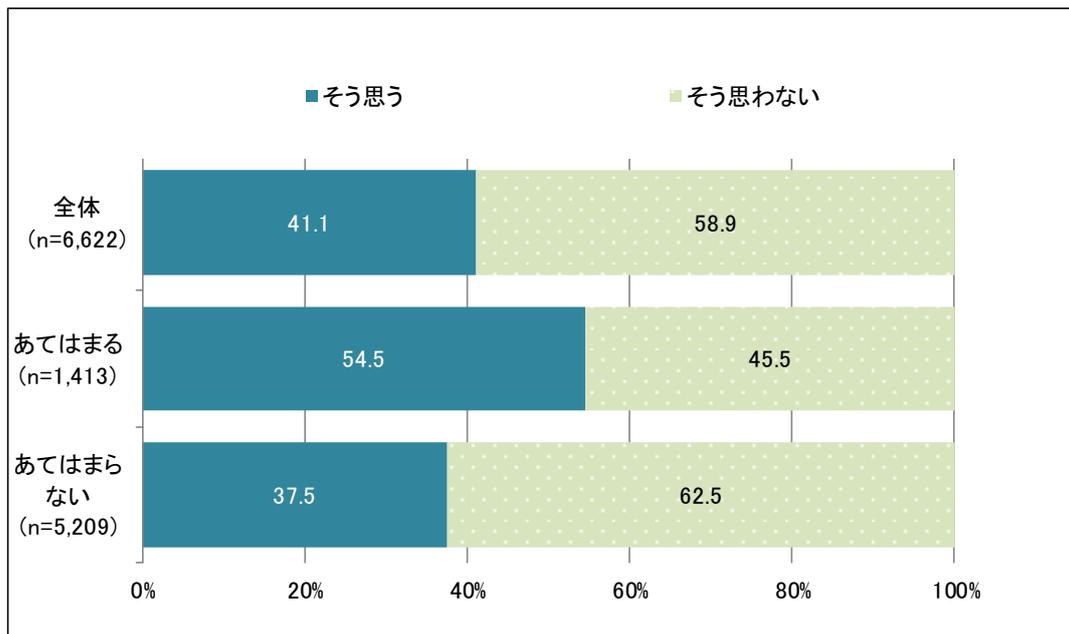
『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と親(保護者)に言われたことがある』の回答別でみると、《「あてはまる」》では《「そう思う」》(53.4%)が5割超え、《「あてはまらない」》では《「そう思う」》(33.8%)で3割を超えており、回答割合に大きな差が見られた。

『「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある』について、『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と親(保護者)に言われたことがある』の回答別の有意差に関するカイニ乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.33であり、やや相関が見られた。

(1) 「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|---|---------|-------|------|--------|
| 全体 | | 6622 | 2722 | 3900 |
| | | 100.0 | 41.1 | 58.9 |
| (6) 「男の子なんだから」「女の子なんだから」と祖父母や親戚など周りの大人に言われたことがある | あてはまる | 1413 | 770 | 643 |
| | あてはまらない | 5209 | 1952 | 3257 |
| | | 100.0 | 37.5 | 62.5 |



(図表IV-3-12)

○『「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある』について、全体では《「そう思う」》(41.1%)で4割を超えている。

『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と祖父母や親戚など周りの大人に言われたことがある』の回答別でみると、《「あてはまる」》では《「そう思う」》(54.5%)が5割台半ば、《「あてはまらない」》では《「そう思う」》(37.5%)が4割近くとなっており、回答割合に大きな差が見られた。

『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と祖父母や親戚など周りの大人に言われたことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$)が見られた。

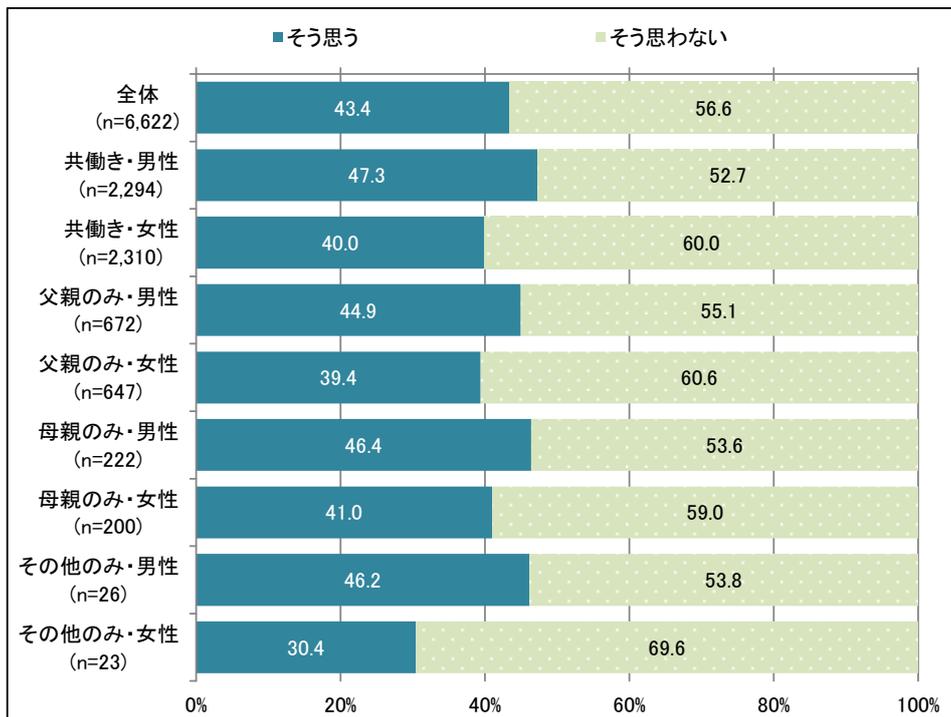
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.35であり、やや相関が見られた。

< 仮説・検討事項(5)>

保護者の働き方により、仕事に対する児童の「性別により向き・不向きがあると思う」という意識の差が見られるか

(3) (将来の仕事について) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|------|----|-------|------|--------|
| 全 体 | | 6622 | 2873 | 3749 |
| | | 100.0 | 43.4 | 56.6 |
| 共働き | 男性 | 2294 | 1086 | 1208 |
| | | 100.0 | 47.3 | 52.7 |
| 共働き | 女性 | 2310 | 923 | 1387 |
| | | 100.0 | 40.0 | 60.0 |
| 父親のみ | 男性 | 672 | 302 | 370 |
| | | 100.0 | 44.9 | 55.1 |
| 父親のみ | 女性 | 647 | 255 | 392 |
| | | 100.0 | 39.4 | 60.6 |
| 母親のみ | 男性 | 222 | 103 | 119 |
| | | 100.0 | 46.4 | 53.6 |
| 母親のみ | 女性 | 200 | 82 | 118 |
| | | 100.0 | 41.0 | 59.0 |
| その他 | 男性 | 26 | 12 | 14 |
| | | 100.0 | 46.2 | 53.8 |
| その他 | 女性 | 23 | 7 | 16 |
| | | 100.0 | 30.4 | 69.6 |



(図表IV-3-13)

○「(将来の仕事について)性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、全体では《そう思う》(43.4%)で4割を超えている。

保護者の働き方別でみると、共働き・父親のみ・母親のみ・その他で、《そう思う》の回答割合で顕著な差は見られなかった。

4 保護者調査結果の分析

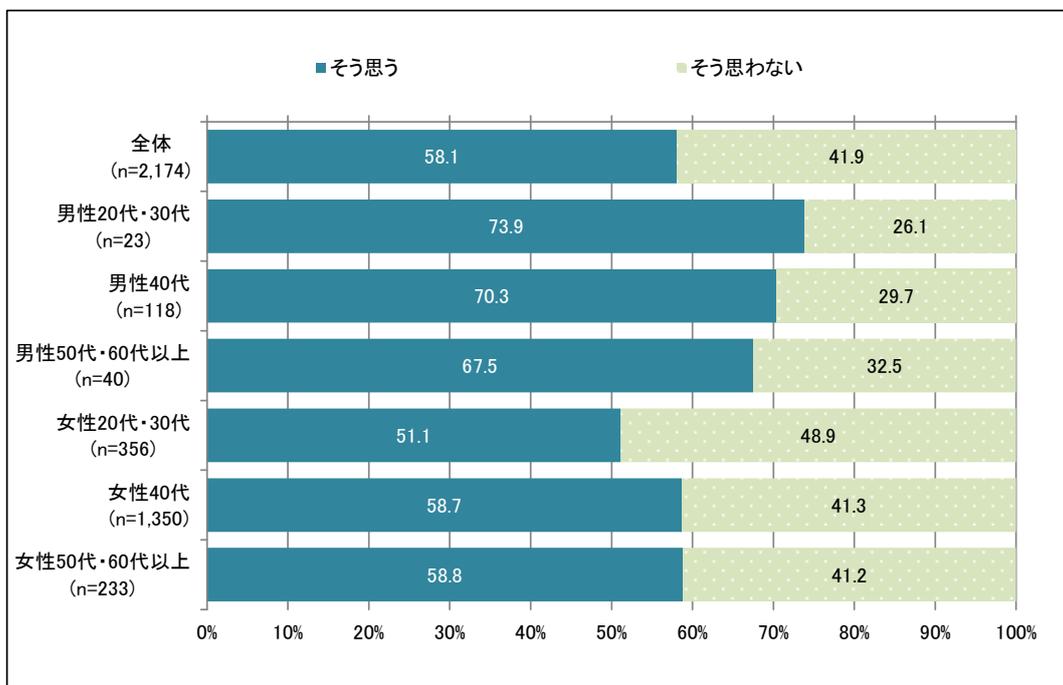
① 性別に関する意識と児童の進路選択等に関する意識の関係

＜仮説・検討事項(6)＞

保護者の年代によって、子どもの仕事に対する意識の差が見られるか

(13) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--------------|--------------|-------|------|--------|
| 全 体 | | 2174 | 1264 | 910 |
| | | 100.0 | 58.1 | 41.9 |
| 性別・年代 | 男性 20代・30代 | 23 | 17 | 6 |
| | | 100.0 | 73.9 | 26.1 |
| | 男性 40代 | 118 | 83 | 35 |
| | | 100.0 | 70.3 | 29.7 |
| | 男性 50代・60代以上 | 40 | 27 | 13 |
| | | 100.0 | 67.5 | 32.5 |
| 女性 20代・30代 | 356 | 182 | 174 | |
| | 100.0 | 51.1 | 48.9 | |
| 女性 40代 | 1350 | 792 | 558 | |
| | 100.0 | 58.7 | 41.3 | |
| 女性 50代・60代以上 | 233 | 137 | 96 | |
| | 100.0 | 58.8 | 41.2 | |



(図表IV-4-1)

○「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、全体では《そう思う》(58.1%)で6割近くとなっている。

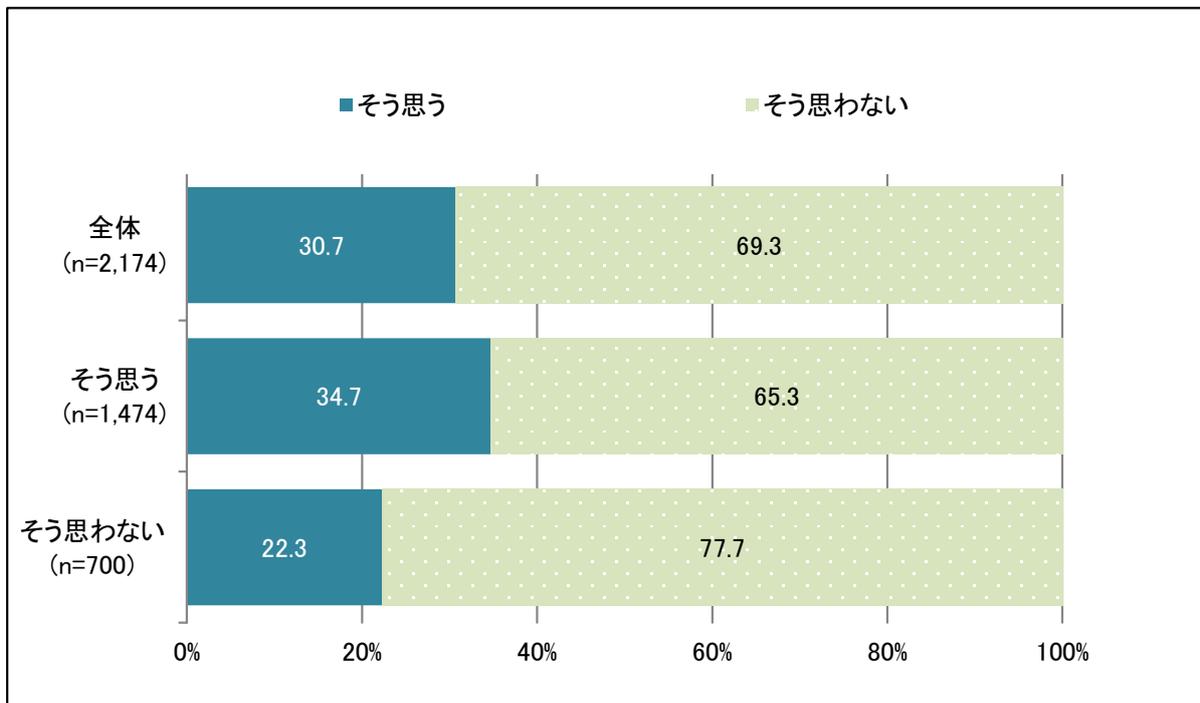
性別・年代別でみると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(73.9%)が7割超え、「40代」(70.3%)が7割、「50代・60代以上」(67.5%)が7割近くとなっており、女性では「20代・30代」(51.1%)が5割超え、「40代」(58.7%)、「50代・60代以上」(58.8%)が6割近くとなっている。

< 仮説・検討事項(7)>

保護者自身が「男性/女性だからと思う」ことは、子どもの進路選択に関する保護者の意識に影響を与えているか

(1 1) 性別で教科の得意、不得意があると思う (S A)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|---------------------------------|--------|-------|------|--------|
| 全体 | | 2174 | 668 | 1506 |
| | | 100.0 | 30.7 | 69.3 |
| (3) 「男性だから」「女性だから」と思うことがある | そう思う | 1474 | 512 | 962 |
| | そう思わない | 700 | 156 | 544 |
| | | 100.0 | 22.3 | 77.7 |



(図表IV - 4 - 2)

○ 「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、全体では《そう思う》 (30.7%) でほぼ3割となっている。

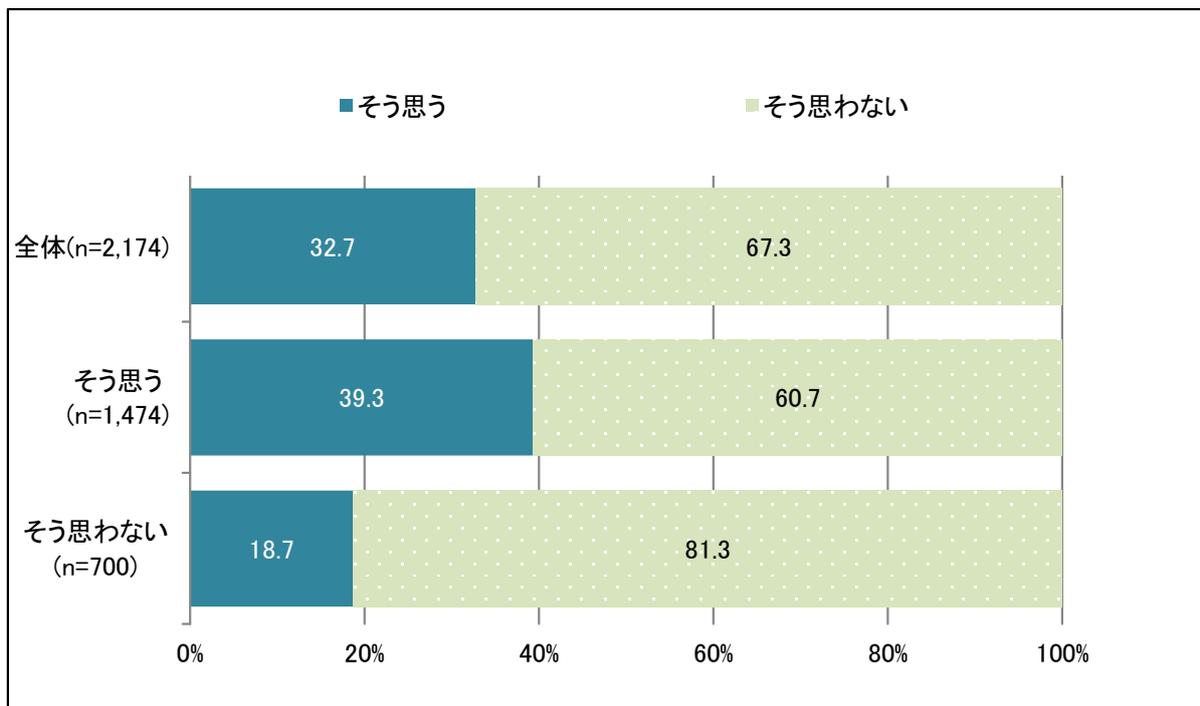
『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別で見ると、《そう思う》では《そう思う》 (34.7%) が3割台半ば、《そう思わない》 (22.3%) が2割を超えており、回答割合に大きな差が見られた。

「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$) が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.27であり、やや相関が見られた。

(12) 性別で子どもの進路を考えることがある (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----------------------------------|--------|---------------|-------------|--------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 711 32.7 | 1463 67.3 |
| (3) 「男性だから」「女性だから」と思 うことがある | そう思う | 1474 100.0 | 580 39.3 | 894 60.7 |
| | そう思わない | 700 100.0 | 131 18.7 | 569 81.3 |



(図表IV-4-3)

○「性別で子どもの進路を考えることがある」について、全体では《そう思う》(32.7%)で3割を超えている。

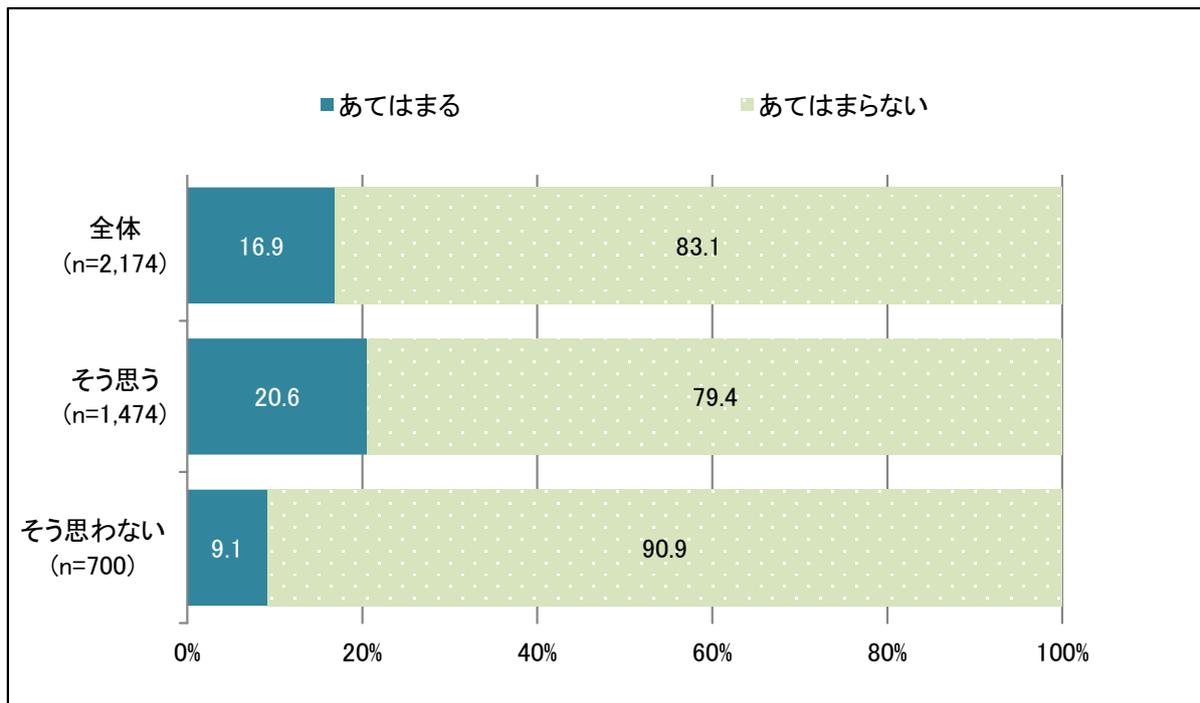
『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(39.3%)がほぼ4割、《そう思わない》(18.7%)が2割近くとなっており、回答割合に大きな差が見られた。

「性別で子どもの進路を考えることがある」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.38であり、やや相関が見られた。

(15) 性別で子どもの習い事を選んでいる (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----------------------------------|--------|---------------|-------------|--------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 368 16.9 | 1806 83.1 |
| (3) 「男性だから」「女性だから」と思 うことがある | そう思う | 1474 100.0 | 304 20.6 | 1170 79.4 |
| | そう思わない | 700 100.0 | 64 9.1 | 636 90.9 |



(図表IV-4-4)

○「性別で子どもの習い事を選んでいる」について、全体では《あてはまる》(16.9%)で2割近くとなっている。

『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別で見ると、《そう思う》では《あてはまる》(20.6%)がほぼ2割、《そう思わない》(9.1%)が1割未満となっており、回答割合に大きな差が見られた。

「性別で子どもの習い事を選んでいる」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

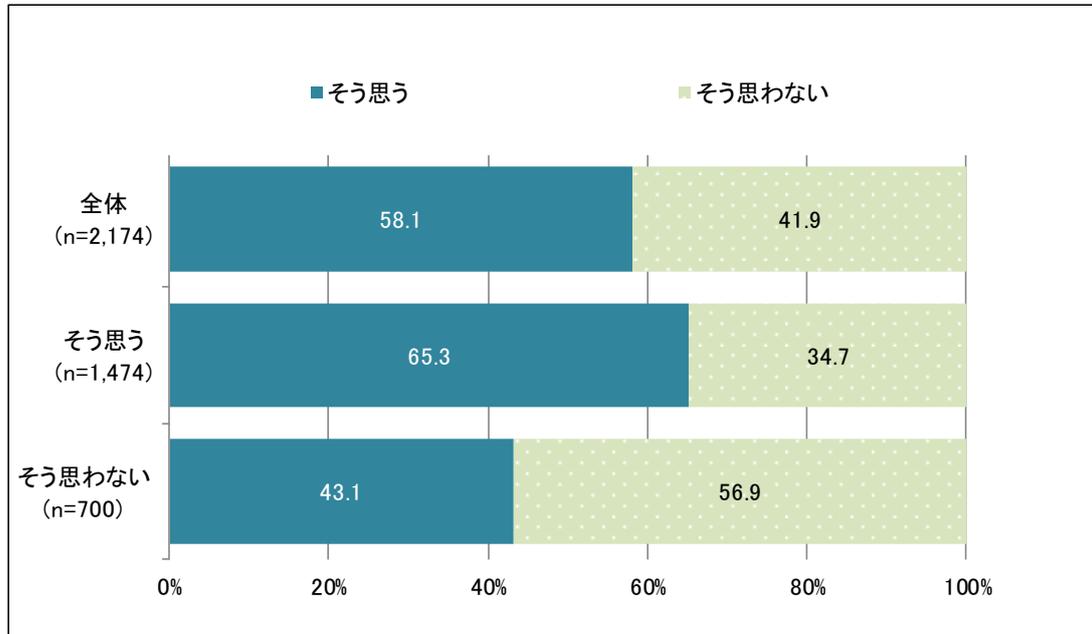
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.33であり、やや相関が見られた。

< 仮説・検討事項(8)>

保護者自身が「男性/女性だからと思う」ことは、子どもに関して「性別で向いている仕事と向いていない仕事がある」と思うことに影響を与えているか

(13) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-------------------------------|--------|---------------|--------------|-------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 1264 58.1 | 910 41.9 |
| (3) 「男性だから」「女性だから」と思うことがある | そう思う | 1474 100.0 | 962 65.3 | 512 34.7 |
| | そう思わない | 700 100.0 | 302 43.1 | 398 56.9 |



(図表IV-4-5)

○「性別で向いている仕事と向いていない仕事がある」について、全体では《そう思う》(58.1%)で6割近くとなっている。

『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(65.3%)が6割台半ば、《そう思わない》(43.1%)が4割を超えており、回答割合に大きな差が見られた。

「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$)が見られた。

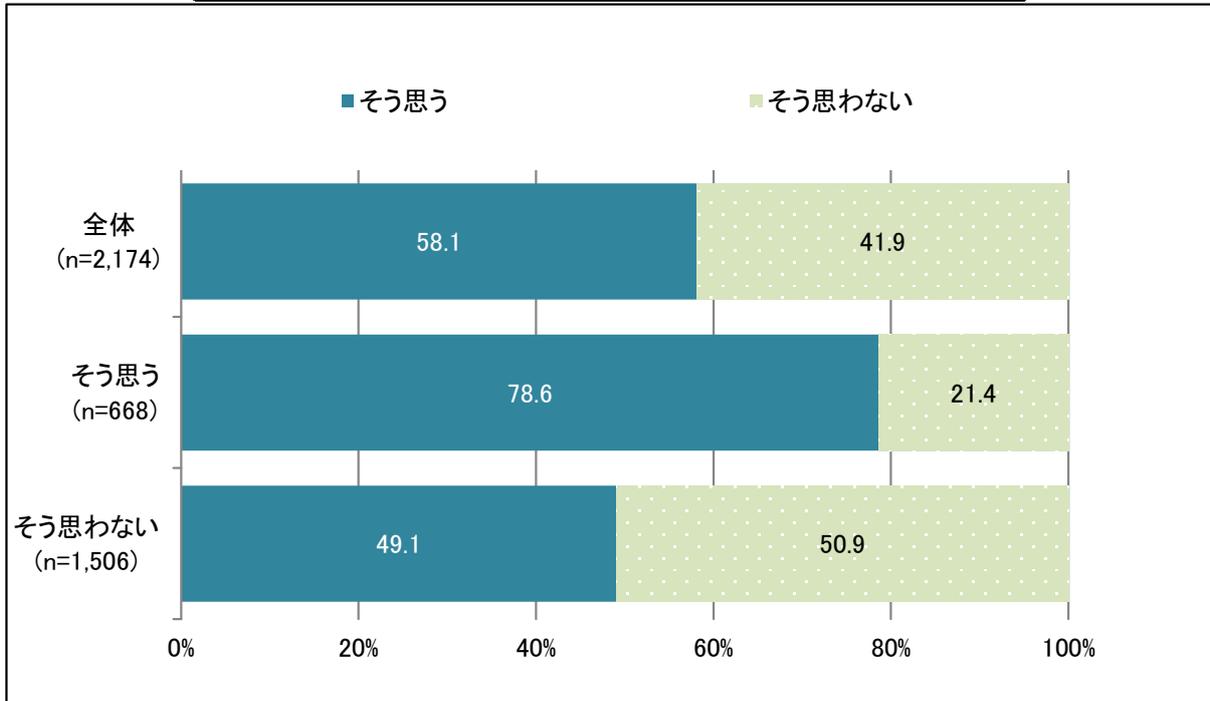
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.39であり、やや相関が見られた。

< 仮説・検討事項(9) >

保護者が子どもの学習、進路などに関する事項（教科の得意/不得意、進路、習い事）で性別を意識することは、子どもに関して「性別で向いている仕事と向いていない仕事がある」と思うことに影響を与えているか

(13) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|----------------------------|--------|-------|------|--------|
| 全体 | | 2174 | 1264 | 910 |
| | | 100.0 | 58.1 | 41.9 |
| (11) 性別で教科の得意、不得意があると思う | そう思う | 668 | 525 | 143 |
| | そう思わない | 1506 | 739 | 767 |
| | | 100.0 | 49.1 | 50.9 |



(図表IV-4-6)

○「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、全体では《そう思う》(58.1%)で6割近くとなっている。

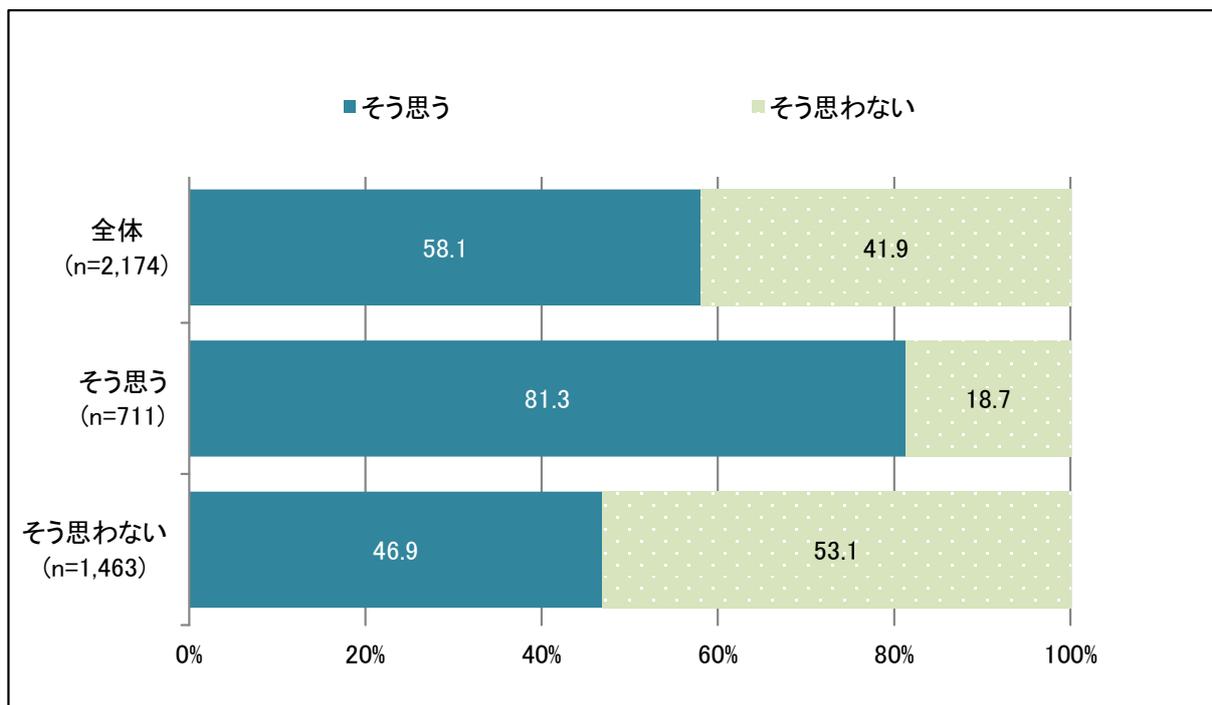
「性別で教科の得意、不得意があると思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(78.6%)が8割近く、《そう思わない》(49.1%)がほぼ5割となっており、回答割合に大きな差が見られた。

「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、「性別で教科の得意、不得意があると思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.41であり、かなり相関が見られた。

(13) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--------------------------------|--------|---------------|--------------|-------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 1264 58.1 | 910 41.9 |
| (12) 性別で子どもの進路を 考えることがある | そう思う | 711 100.0 | 578 81.3 | 133 18.7 |
| | そう思わない | 1463 100.0 | 686 46.9 | 777 53.1 |



(図表IV-4-7)

○「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、全体では《そう思う》(58.1%)で6割近くとなっている。

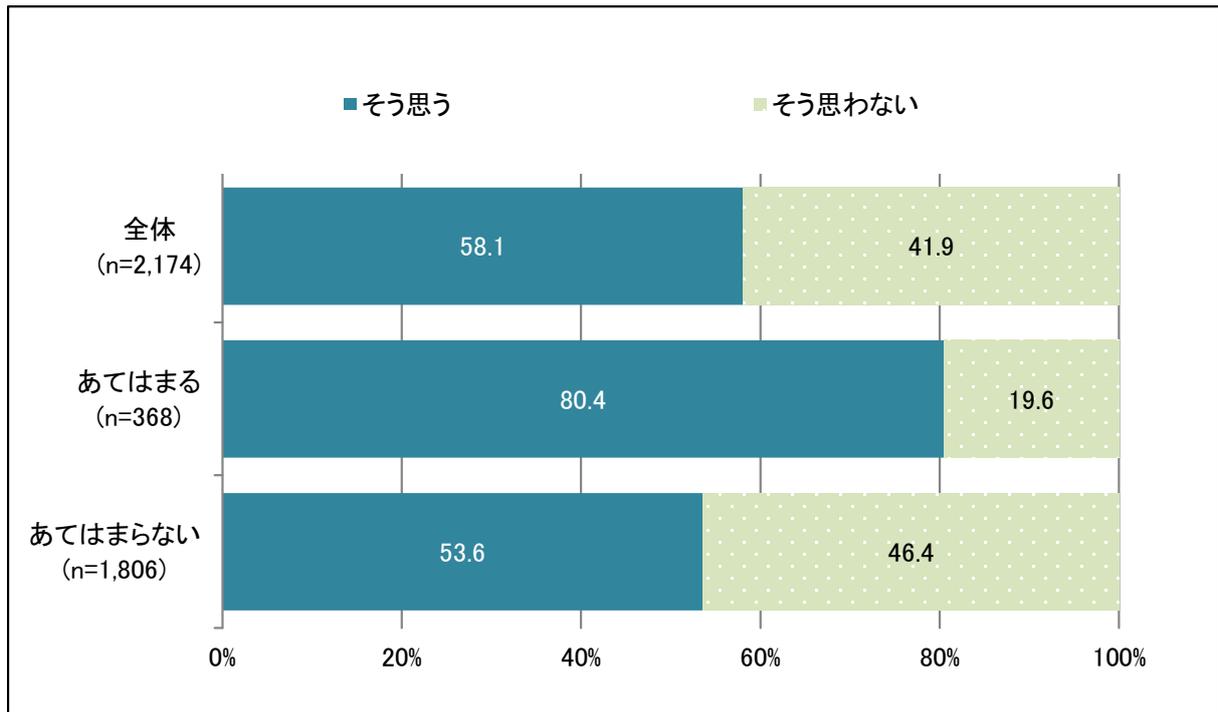
「性別で子どもの進路を考えることがある」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(81.3%)が8割超え、《そう思わない》(46.9%)が5割近くとなっており、回答割合に大きな差が見られた。

「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、「性別で子どもの進路を考えることがある」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.47であり、かなり相関が見られた。

(13) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--------------------------|---------|---------------|--------------|-------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 1264 58.1 | 910 41.9 |
| (15) 性別で子どもの習い事を選んでいる | あてはまる | 368 100.0 | 296 80.4 | 72 19.6 |
| | あてはまらない | 1806 100.0 | 968 53.6 | 838 46.4 |



(図表IV-4-8)

○「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、全体では《そう思う》(58.1%)で6割近くとなっている。

「性別で子どもの習い事を選んでいる」の回答別でみると、《あてはまる》では《そう思う》(80.4%)が8割、《あてはまらない》(53.6%)が5割を超えており、回答割合に大きな差が見られた。

「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、「性別で子どもの習い事を選んでいる」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

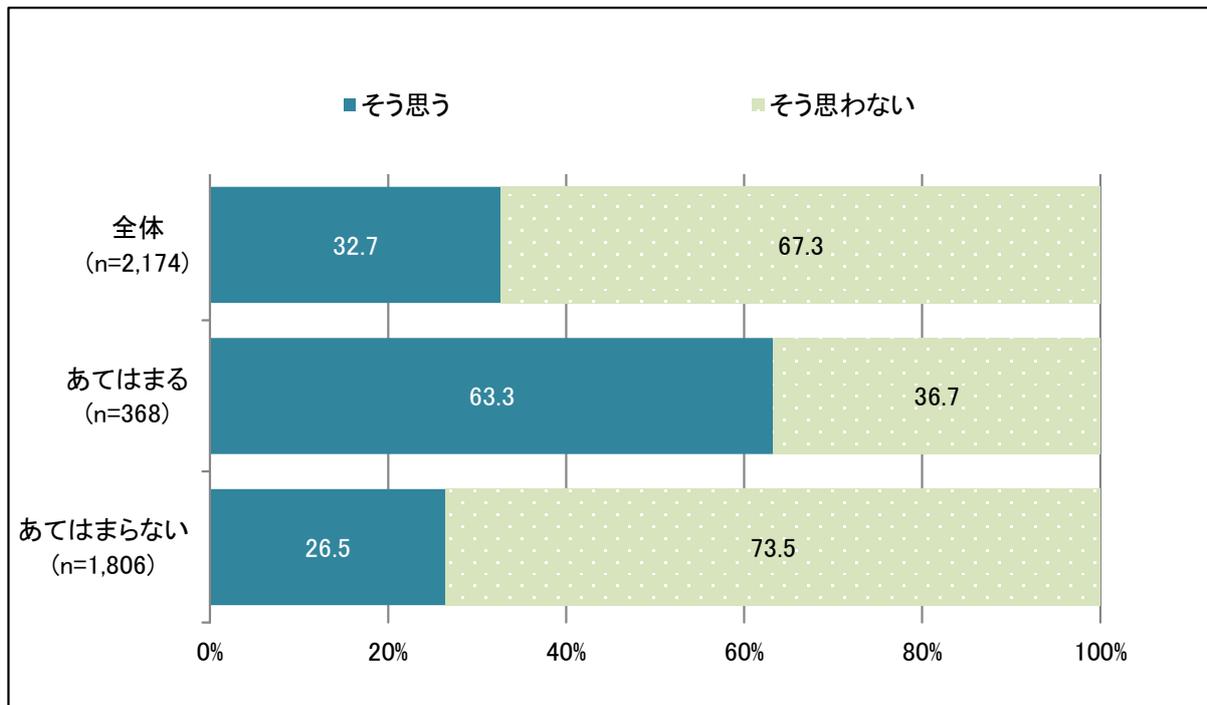
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.37であり、やや相関が見られた。

< 仮説・検討事項(10)>

「性別で子どもの習い事を選んでいる」ことは、「性別で子どもの進路を考えること」に影響を与えているか

(12) 性別で子どもの進路を考えることがある (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--------------------------|---------|---------------|-------------|--------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 711 32.7 | 1463 67.3 |
| (15) 性別で子どもの習い事を選んでいる | あてはまる | 368 100.0 | 233 63.3 | 135 36.7 |
| | あてはまらない | 1806 100.0 | 478 26.5 | 1328 73.5 |



(図表IV-4-9)

○「性別で子どもの進路を考えることがある」について、全体では《そう思う》(32.7%)で3割を超えている。

「性別で子どもの習い事を選んでいる」の回答別で見ると、《あてはまる》では《そう思う》(63.3%)が6割超え、《あてはまらない》(26.5%)が3割近くとなっており、回答割合に大きな差が見られた。

「性別で子どもの進路を考えることがある」について、「性別で子どもの習い事を選んでいる」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差(p<0.001)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.51であり、かなり相関が見られた。

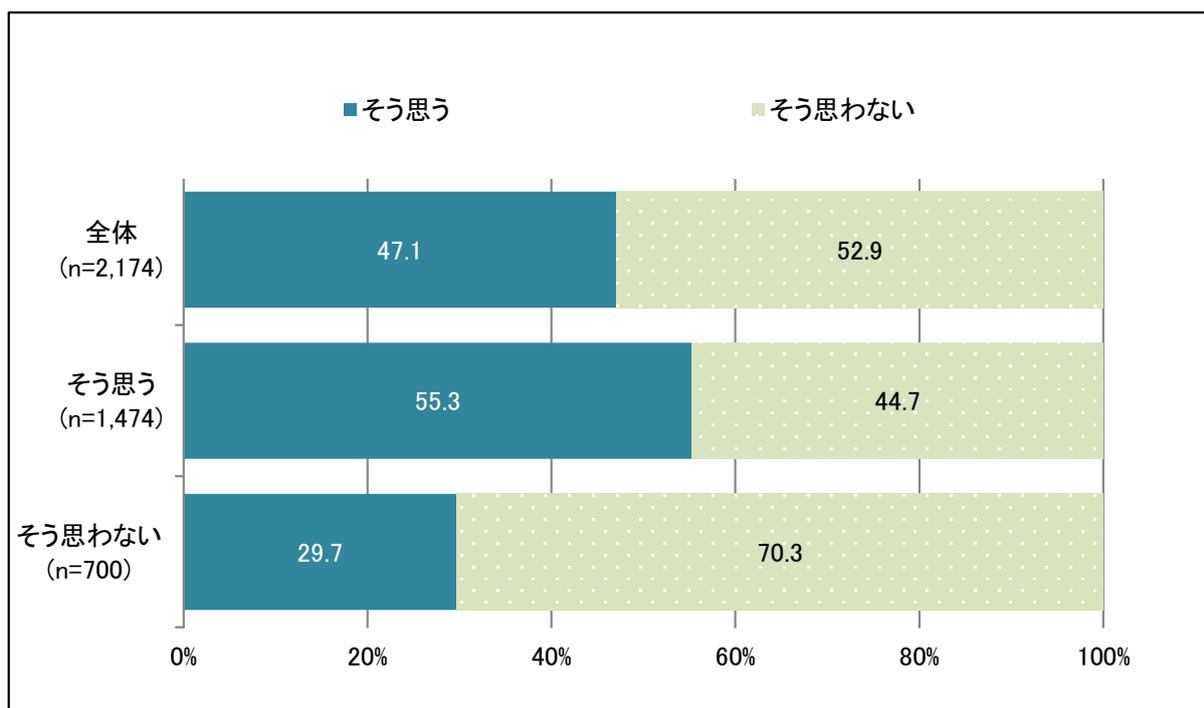
② 性別に関する意識と児童に関する言動等への影響

< 仮説・検討事項(11)>

保護者自身が「男性/女性だからと思う」ことは、子どもに対する言動に影響を与えているか

(4) 服の色など「男の子らしい」又は「女の子らしい」色があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-------------------------------|--------|---------------|--------------|--------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 1023 47.1 | 1151 52.9 |
| (3) 「男性だから」「女性だから」と思うことがある | そう思う | 1474 100.0 | 815 55.3 | 659 44.7 |
| | そう思わない | 700 100.0 | 208 29.7 | 492 70.3 |



(図表IV-4-10)

○『服の色など「男の子らしい」又は「女の子らしい」色があると思う』について、全体では《そう思う》(47.1%)で5割近くとなっている。

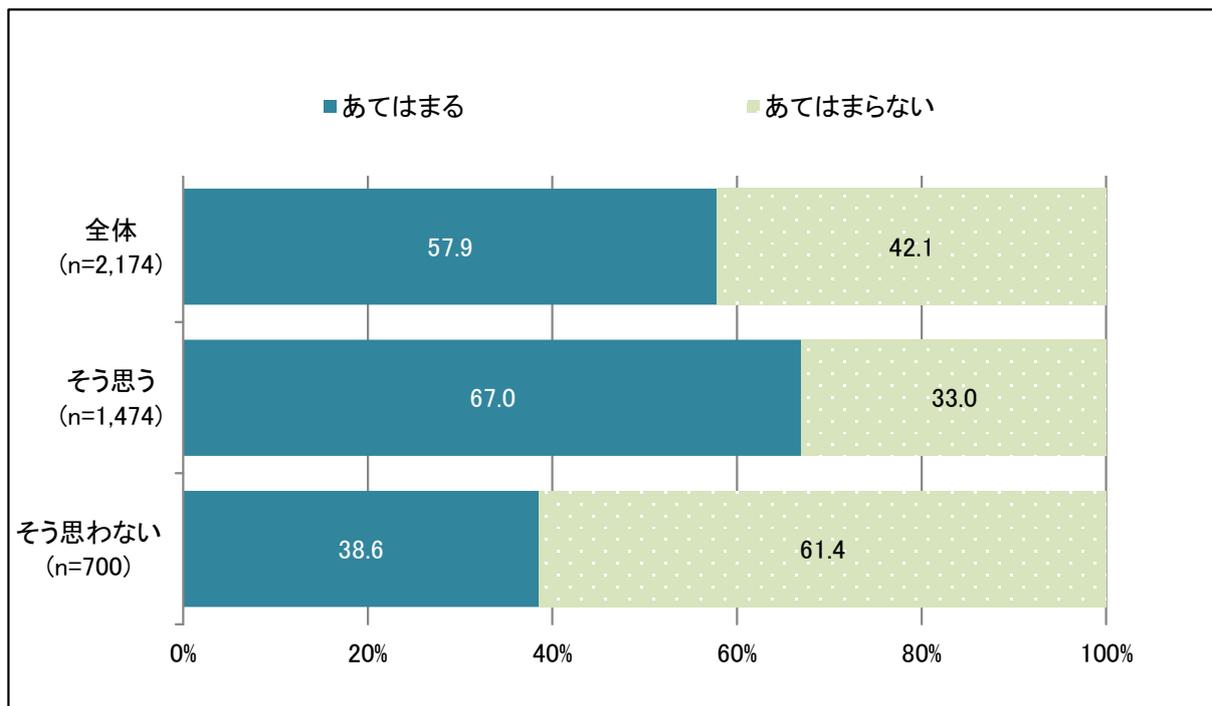
『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(55.3%)が5割台半ば、《そう思わない》(29.7%)が3割となっており、回答割合に大きな差が見られた。

『服の色など「男の子らしい」又は「女の子らしい」色があると思う』について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.41であり、かなり相関が見られた。

(5) 子どもの日用品やおもちゃを性別を意識して選んでいる (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----------------------------------|--------|---------------|--------------|-------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 1258 57.9 | 916 42.1 |
| (3) 「男性だから」「女性だから」と思 うことがある | そう思う | 1474 100.0 | 988 67.0 | 486 33.0 |
| | そう思わない | 700 100.0 | 270 38.6 | 430 61.4 |



(図表IV-4-11)

○「子どもの日用品やおもちゃを性別を意識して選んでいる」について、全体では《あてはまる》(57.9%)で6割近くとなっている。

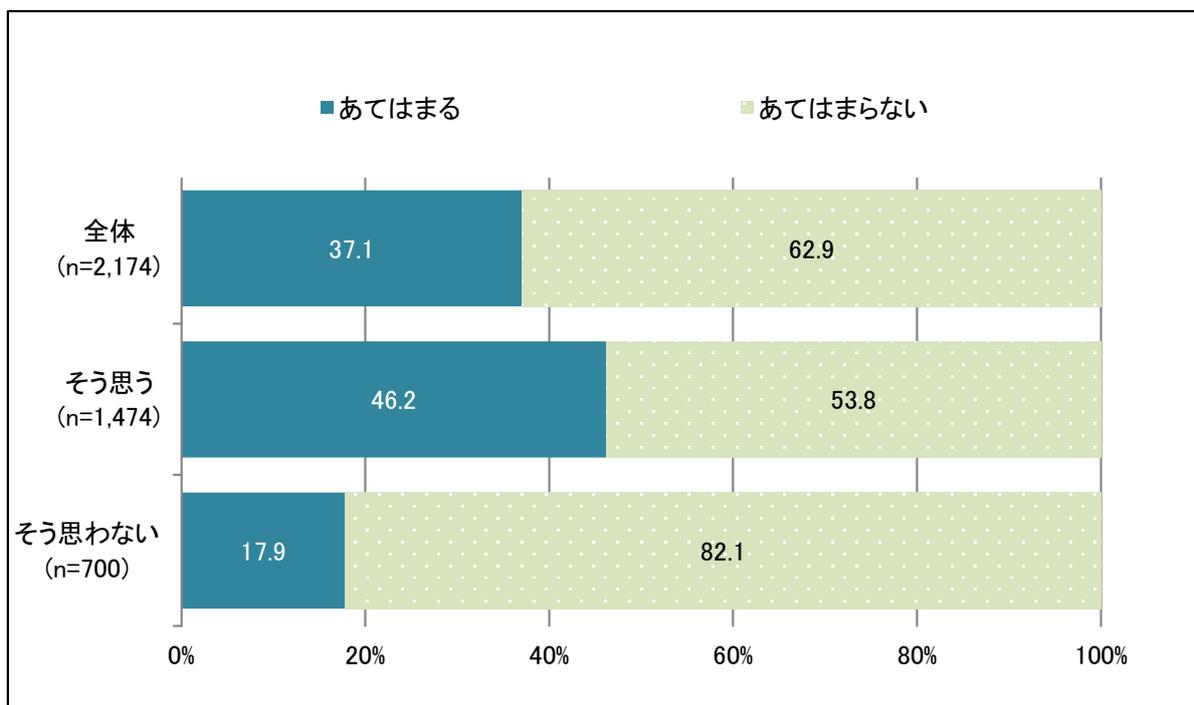
『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別でみると、《そう思う》では《あてはまる》(67.0%)が7割近く、《そう思わない》(38.6%)が4割近くとなっており、回答割合に大きな差が見られた。

「子どもの日用品やおもちゃを性別を意識して選んでいる」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.41であり、かなり相関が見られた。

(6) 「男の子なんだから」「女の子なんだから」と子どもに言うことがある (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----------------------------------|--------|---------------|-------------|--------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 806 37.1 | 1368 62.9 |
| (3) 「男性だから」「女性だから」と思 うことがある | そう思う | 1474 100.0 | 681 46.2 | 793 53.8 |
| | そう思わない | 700 100.0 | 125 17.9 | 575 82.1 |



(図表IV-4-12)

○『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と子どもに言うことがある』について、全体では「あてはまる」(37.1%)で4割近くとなっている。

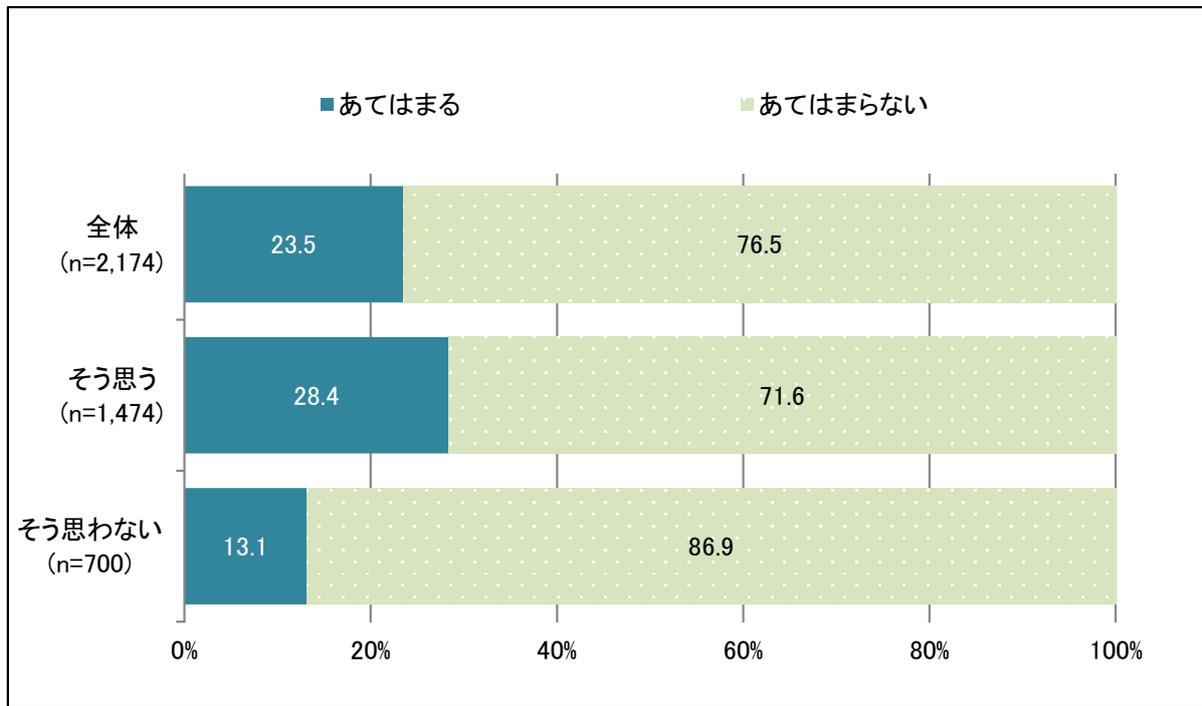
『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別でみると、「そう思う」では「あてはまる」(46.2%)が4割台半ば、「そう思わない」(17.9%)が2割近くとなり、回答割合に大きな差が見られた。

『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と子どもに言うことがある』について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.41であり、かなり相関が見られた。

(14) 子供と接する時に、性別を意識して言動を変えている (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-----------------------------------|--------|---------------|-------------|--------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 510 23.5 | 1664 76.5 |
| (3) 「男性だから」「女性だから」と思 うことがある | そう思う | 1474 100.0 | 418 28.4 | 1056 71.6 |
| | そう思わない | 700 100.0 | 92 13.1 | 608 86.9 |



(図表IV-4-13)

○「子供と接する時に、性別を意識して言動を変えている」について、全体では《あてはまる》(23.5%)で2割を超えている。

『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別でみると、《そう思う》では《あてはまる》(28.4%)が3割近く、《そう思わない》では《あてはまる》(13.1%)で1割超えとなっており、回答割合に大きな差が見られた。

「子供と接する時に、性別を意識して言動を変えている」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$)が見られた。

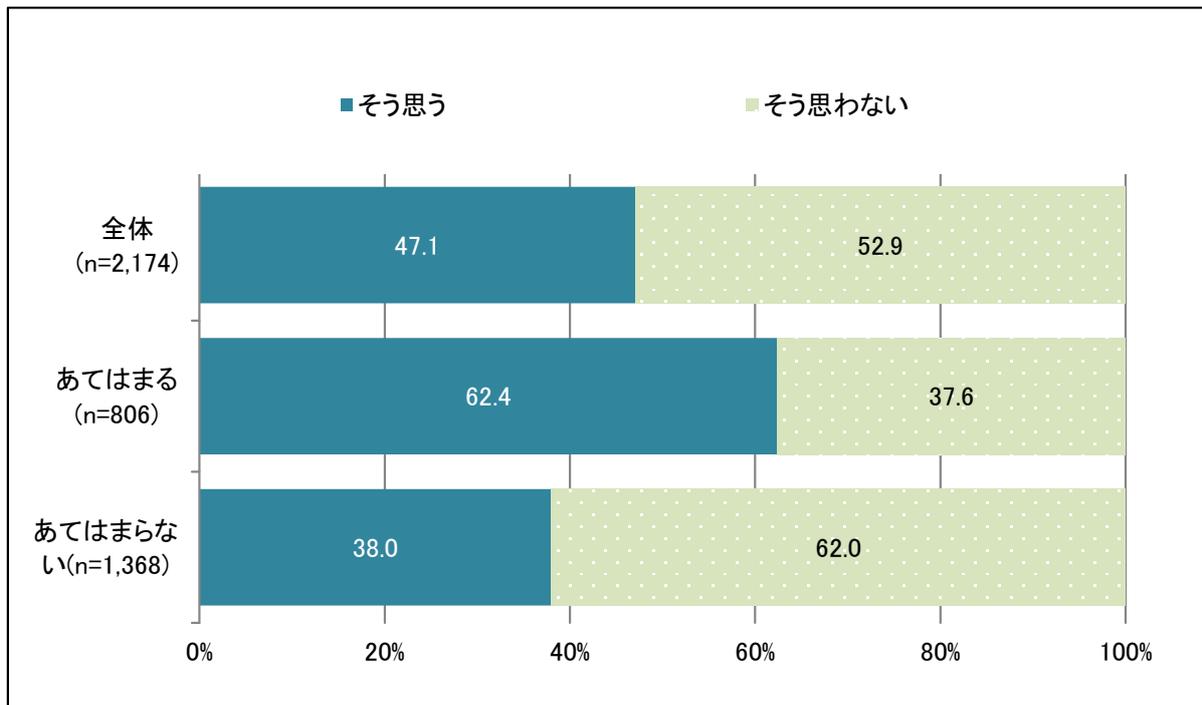
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.33であり、やや相関が見られた。

< 仮説・検討事項(12)>

保護者自身が「男の子/女の子なんだからと子どもに言う」ことは、子どもに対する発言以外の意識や行動に表れるか

(4) 服の色など「男の子らしい」又は「女の子らしい」色があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|---|---------|---------------|--------------|--------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 1023 47.1 | 1151 52.9 |
| (6) 「男の子なんだから」「女の子なんだから」と子どもに言うことがある | あてはまる | 806 100.0 | 503 62.4 | 303 37.6 |
| | あてはまらない | 1368 100.0 | 520 38.0 | 848 62.0 |



(図表IV-4-14)

○『服の色など「男の子らしい」又は「女の子らしい」色があると思う』について、全体では「そう思う」(47.1%)で5割近くとなっている。

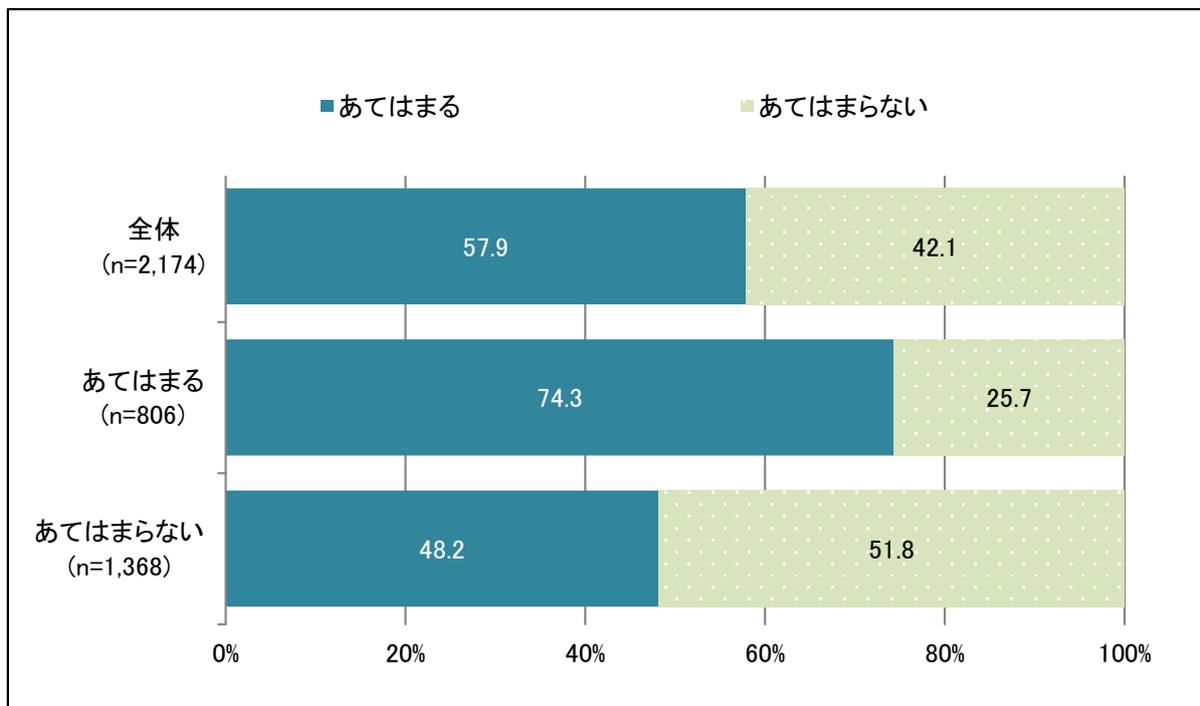
『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と子どもに言うことがある』の回答別でみると、「あてはまる」では「そう思う」(62.4%)が6割超え、「あてはまらない」(38.0%)が4割近くとなっており、回答割合に大きな差が見られた。

『服の色など「男の子らしい」又は「女の子らしい」色があると思う』について、『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と子どもに言うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.35であり、やや相関が見られた。

(5) 子どもの日用品やおもちゃを性別を意識して選んでいる (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|---|---------|---------------|--------------|-------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 1258 57.9 | 916 42.1 |
| (6) 「男の子なんだから」「女の子なんだから」と子どもに言うことがある | あてはまる | 806 100.0 | 599 74.3 | 207 25.7 |
| | あてはまらない | 1368 100.0 | 659 48.2 | 709 51.8 |



(図表IV-4-15)

○「子どもの日用品やおもちゃを性別を意識して選んでいる」について、全体では《あてはまる》(57.9%)で6割近くとなっている。

『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と子どもに言うことがある』の回答別でみると、《あてはまる》では《あてはまる》(74.3%)が7割台半ば、《あてはまらない》(48.2%)で5割近くとなっており、回答割合に大きな差が見られた。

「子どもの日用品やおもちゃを性別を意識して選んでいる」について、『「男の子なんだから」「女の子なんだから」と子どもに言うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.39であり、やや相関が見られた。

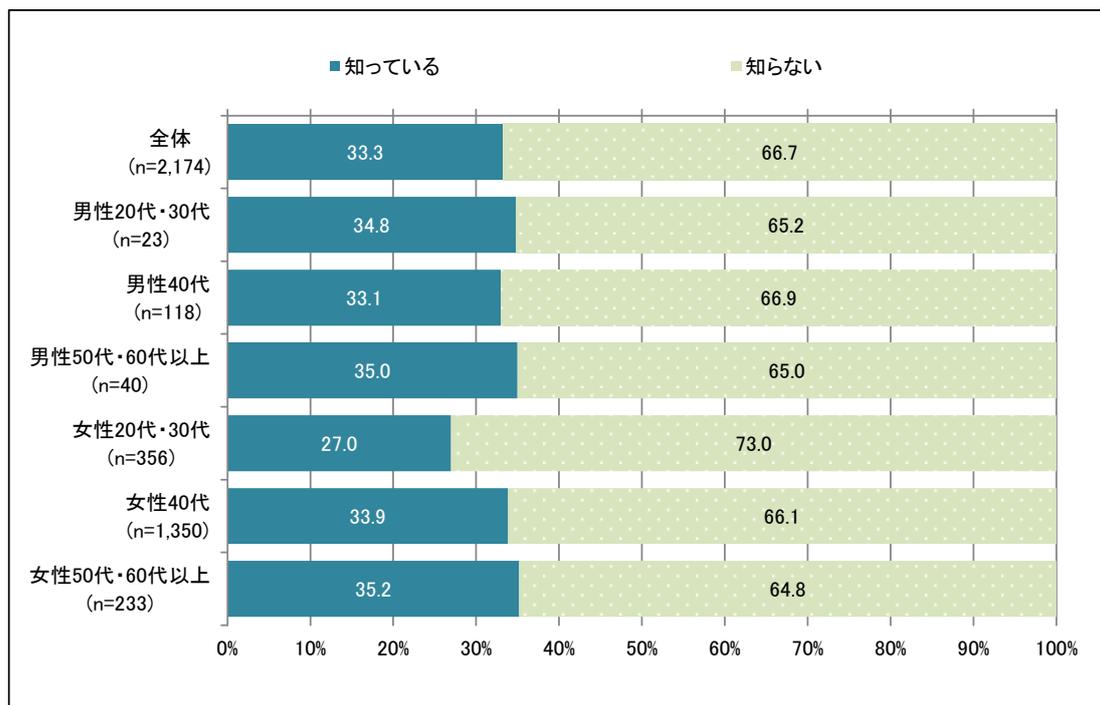
③ 無意識の思い込みの認知等と性別に関する意識の関係

＜仮説・検討事項(13)＞

保護者の年代によって、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の認知度の差はあるか

(19) 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について、どの程度知っていますか（SA）

| | | 計 | 知っている | 知らない |
|--------------|--------------|-------|-------|------|
| 全 体 | | 2174 | 723 | 1451 |
| | | 100.0 | 33.3 | 66.7 |
| 性別・年代 | 男性 20代・30代 | 23 | 8 | 15 |
| | | 100.0 | 34.8 | 65.2 |
| | 男性 40代 | 118 | 39 | 79 |
| | | 100.0 | 33.1 | 66.9 |
| | 男性 50代・60代以上 | 40 | 14 | 26 |
| | | 100.0 | 35.0 | 65.0 |
| | 女性 20代・30代 | 356 | 96 | 260 |
| | 100.0 | 27.0 | 73.0 | |
| 女性 40代 | 1350 | 457 | 893 | |
| | 100.0 | 33.9 | 66.1 | |
| 女性 50代・60代以上 | 233 | 82 | 151 | |
| | 100.0 | 35.2 | 64.8 | |



(図表IV-4-16)

○「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について、どの程度知っていますか」について、全体では「知っている」（33.3%）で3割を超えている。

性別・年代別でみると、男性では「知っている」について、「20代・30代」（34.8%）、「40代」（33.1%）、「50代・60代以上」（35.0%）と概ね3割台半ばとなっている。女性では「20代・30代」（27.0%）は3割近く、「40代」（33.9%）は3割超え、「50代・60代以上」（35.2%）は3割台半ばとなっている。

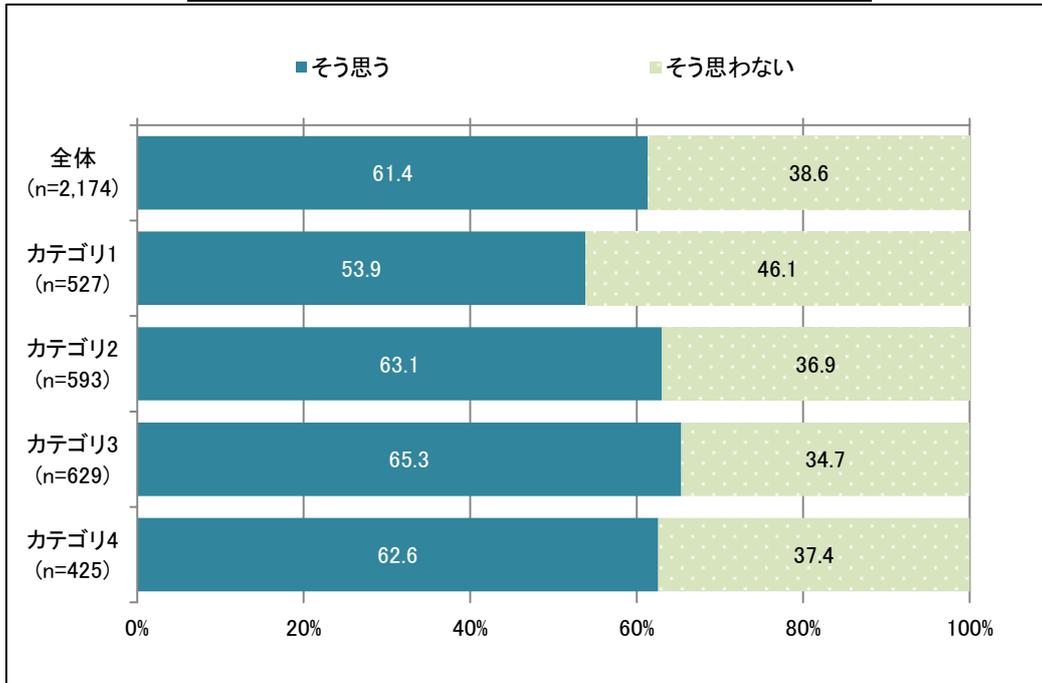
< 仮説・検討事項(14)>

設問回答の得点化したカテゴリと他の設問との間に関係性はあるか

(1) 育児は女性の方が向いていると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|---------------|--------------|-------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 1335 61.4 | 839 38.6 |
| (16)～(19) 子どもとかかわるなかで無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を意識している(得点化合計) | カテゴリ1 | 527 100.0 | 284 53.9 | 243 46.1 |
| | カテゴリ2 | 593 100.0 | 374 63.1 | 219 36.9 |
| | カテゴリ3 | 629 100.0 | 411 65.3 | 218 34.7 |
| | カテゴリ4 | 425 100.0 | 266 62.6 | 159 37.4 |

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



(図表IV-4-17)

○「育児は女性の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(61.4%)で6割を超えている。

得点化のカテゴリ別で見ると、カテゴリ1では《そう思う》(53.9%)が5割超え、カテゴリ2(63.1%)が6割超え、カテゴリ3(65.3%)が6割台半ば、カテゴリ4(62.6%)が6割を超えている。カテゴリ1では、カテゴリ2～4と比べ、《そう思う》の回答割合が低くなったが、カテゴリ2～4では顕著な差が見られなかった。

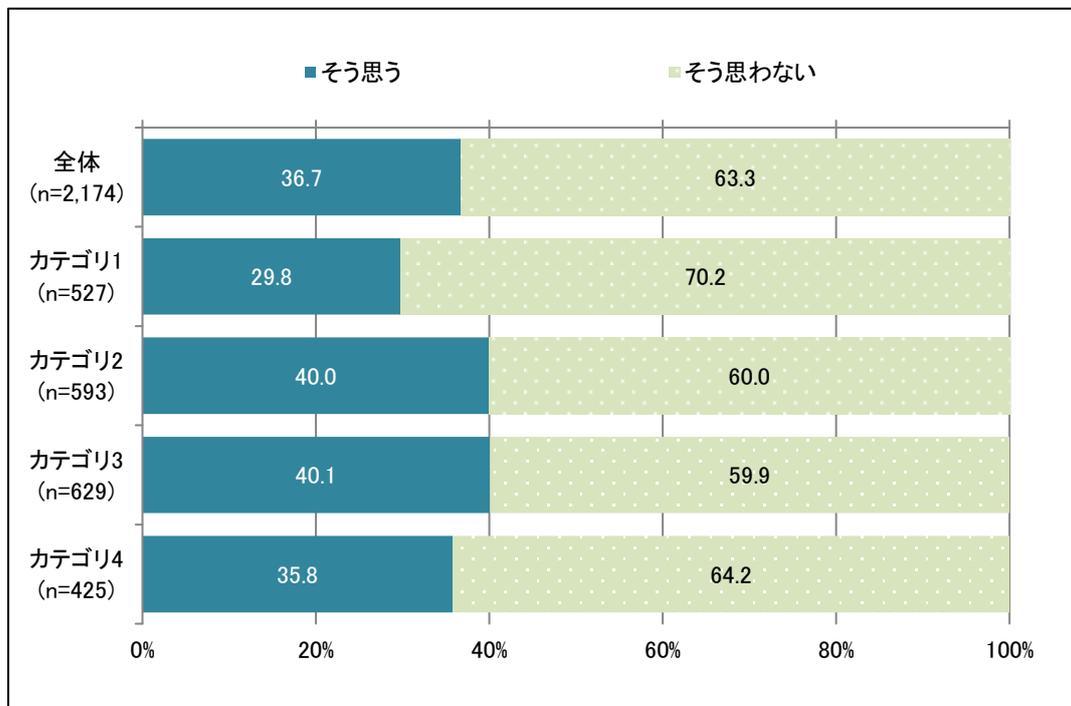
「育児は女性の方が向いていると思う」について、得点化カテゴリ別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差(p<0.001)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.00であり、ほとんど相関が見られなかった。

(2) 家事は女性の方が向いていると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|---------------|-------------|--------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 798 36.7 | 1376 63.3 |
| (16) ~ (19) 子どもとかかわるなかで無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を意識している(得点化合計) | カテゴリ1 | 527 100.0 | 157 29.8 | 370 70.2 |
| | カテゴリ2 | 593 100.0 | 237 40.0 | 356 60.0 |
| | カテゴリ3 | 629 100.0 | 252 40.1 | 377 59.9 |
| | カテゴリ4 | 425 100.0 | 152 35.8 | 273 64.2 |

カテゴリについては、「第I章 5 報告書の見方」参照



(図表IV-4-18)

○「家事は女性の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(36.7%)で4割近くとなっている。

得点化のカテゴリ別でみると、カテゴリ1では《そう思う》(29.8%)が3割、カテゴリ2(40.0%)とカテゴリ3(40.1%)がともに4割、カテゴリ4(35.8%)が3割台半ばとなっている。

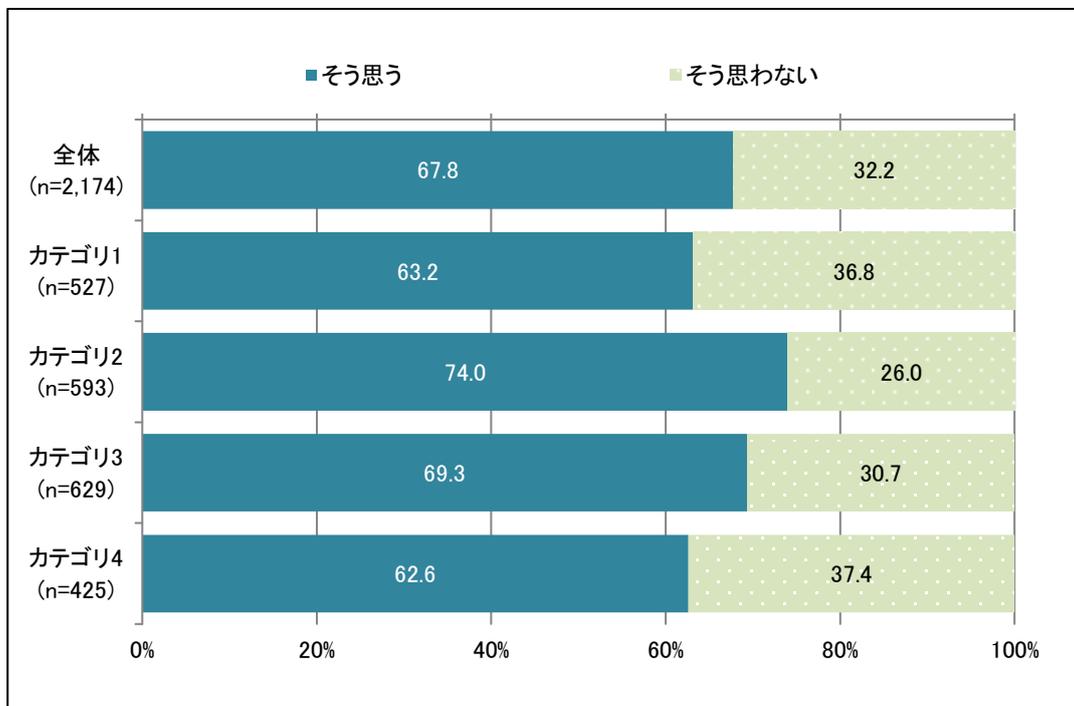
「家事は女性の方が向いていると思う」について、得点化カテゴリ別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.00であり、ほとんど相関が見られなかった。

(3) 「男性だから」「女性だから」と思うことがある (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|---------------|--------------|-------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 1474 67.8 | 700 32.2 |
| (16)～(19) 子どもとかかわるなかで無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を意識している(得点化合計) | カテゴリ1 | 527 100.0 | 333 63.2 | 194 36.8 |
| | カテゴリ2 | 593 100.0 | 439 74.0 | 154 26.0 |
| | カテゴリ3 | 629 100.0 | 436 69.3 | 193 30.7 |
| | カテゴリ4 | 425 100.0 | 266 62.6 | 159 37.4 |

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



(図表IV-4-19)

○『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』について、全体では「そう思う」(67.8%)で7割近くとなっている。

得点化のカテゴリ別でみると、カテゴリ1では「そう思う」(63.2%)が6割超え、カテゴリ2(74.0%)が7割台半ば、カテゴリ3(69.3%)がほぼ7割、カテゴリ4(62.6%)が6割を超えている。

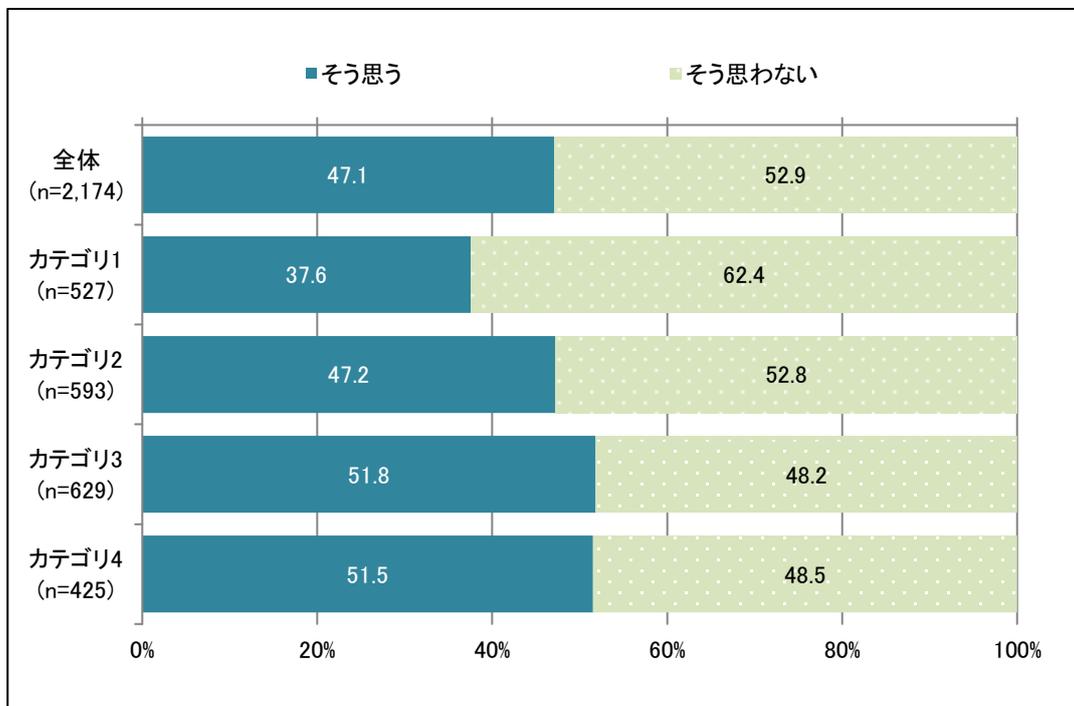
『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』について、得点化カテゴリ別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差(p<0.001)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.06であり、ほとんど相関が見られなかった。

(4) 服の色など「男の子らしい」又は「女の子らしい」色があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|---------------|--------------|--------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 1023 47.1 | 1151 52.9 |
| (16) ~ (19) 子どもとかかわるなかで無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を意識している(得点化合計) | カテゴリ1 | 527 100.0 | 198 37.6 | 329 62.4 |
| | カテゴリ2 | 593 100.0 | 280 47.2 | 313 52.8 |
| | カテゴリ3 | 629 100.0 | 326 51.8 | 303 48.2 |
| | カテゴリ4 | 425 100.0 | 219 51.5 | 206 48.5 |

カテゴリについては、「第I章 5 報告書の見方」参照



(図表IV-4-20)

○『服の色など「男の子らしい」又は「女の子らしい」色があると思う』について、全体では「そう思う」(47.1%)で5割近くとなっている。

得点化のカテゴリ別でみると、カテゴリ1では「そう思う」(37.6%)が4割近く、カテゴリ2(47.2%)が5割近く、カテゴリ3(51.8%)とカテゴリ4(51.5%)がともに5割を超えている。カテゴリ1では、カテゴリ2~4と比べ、「そう思う」の回答割合が低くなったが、カテゴリ2~4では顕著な差が見られなかった。

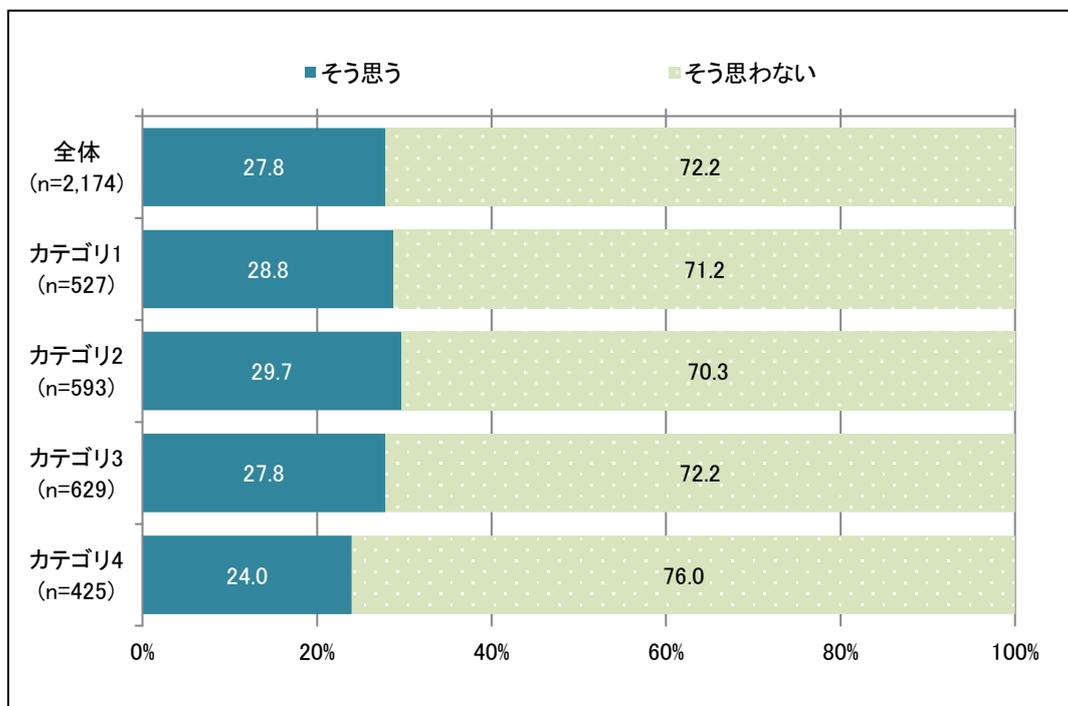
『服の色など「男の子らしい」又は「女の子らしい」色があると思う』について、得点化カテゴリ別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、-0.07であり、ほとんど相関が見られなかった。

(7) 子どもの担任の先生の性別が気になってしまう (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|---------------|-------------|--------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 605 27.8 | 1569 72.2 |
| (16)～(19) 子どもとかかわるなかで無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を意識している(得点化合計) | カテゴリ1 | 527 100.0 | 152 28.8 | 375 71.2 |
| | カテゴリ2 | 593 100.0 | 176 29.7 | 417 70.3 |
| | カテゴリ3 | 629 100.0 | 175 27.8 | 454 72.2 |
| | カテゴリ4 | 425 100.0 | 102 24.0 | 323 76.0 |

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



(図表IV-4-2 1)

○「子どもの担任の先生の性別が気になってしまう」について、全体では《そう思う》(27.8%)で3割近くとなっている。

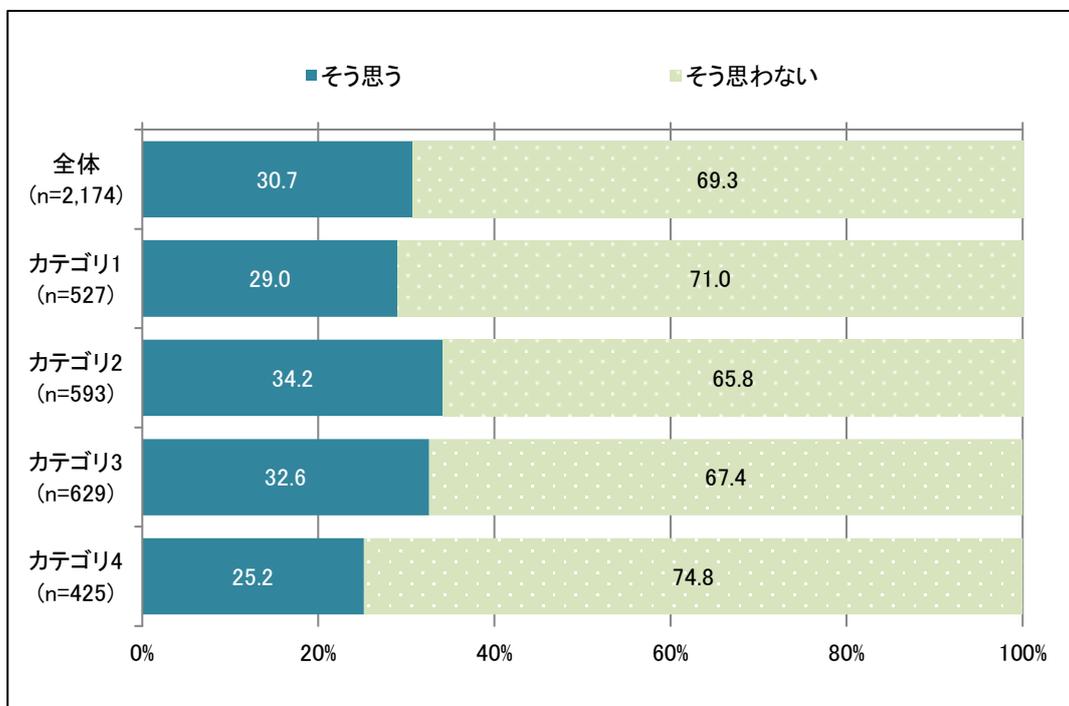
得点化のカテゴリ別で見ると、カテゴリ1では《そう思う》(28.8%)が3割近く、カテゴリ2(29.7%)が3割、カテゴリ3(27.8%)が3割近く、カテゴリ4(24.0%)が2割台半ばとなっている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.12であり、ほとんど相関が見られなかった。

(11) 性別で教科の得意、不得意があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|---------------|-------------|--------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 668 30.7 | 1506 69.3 |
| (16)～(19) 子どもとかかわるなかで無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を意識している(得点化合計) | カテゴリ1 | 527 100.0 | 153 29.0 | 374 71.0 |
| | カテゴリ2 | 593 100.0 | 203 34.2 | 390 65.8 |
| | カテゴリ3 | 629 100.0 | 205 32.6 | 424 67.4 |
| | カテゴリ4 | 425 100.0 | 107 25.2 | 318 74.8 |

カテゴリについては、「第I章 5 報告書の見方」参照



(図表IV-4-22)

○「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、全体では《そう思う》(30.7%)でほぼ3割となっている。

得点化のカテゴリ別でみると、カテゴリ1では《そう思う》(29.0%)がほぼ3割、カテゴリ2(34.2%)が3割台半ば、カテゴリ3(32.6%)が3割超え、カテゴリ4(25.2%)が2割台半ばとなっている。

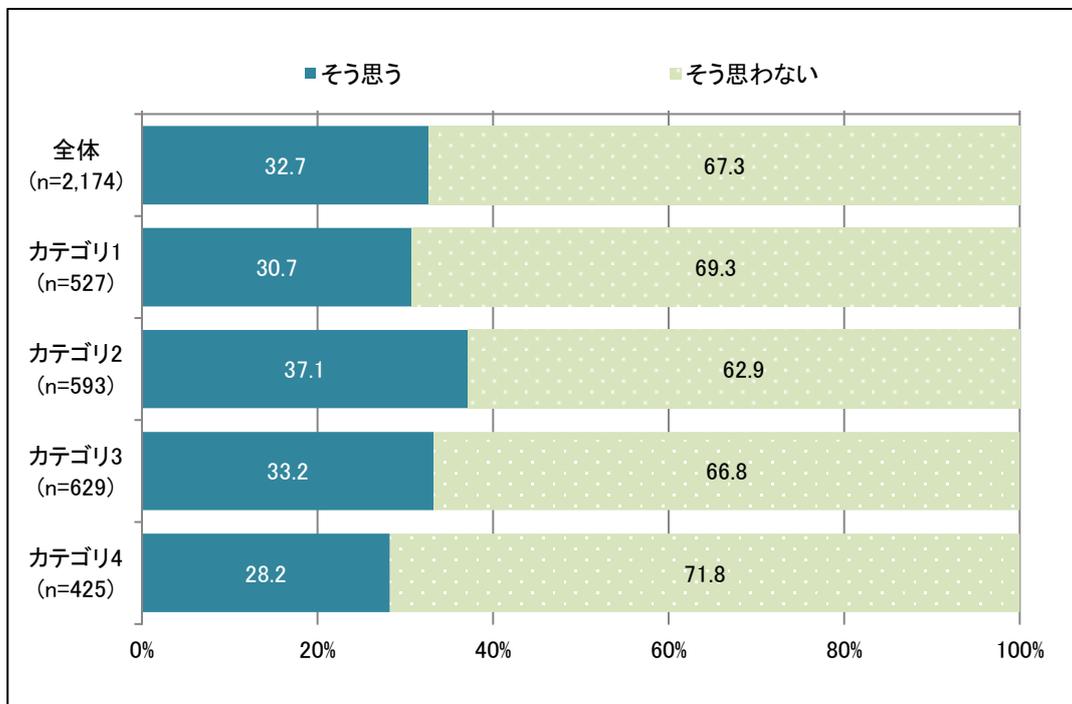
「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、得点化カテゴリ別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差(p<0.05)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.08であり、ほとんど相関が見られなかった。

(12) 性別で子どもの進路を考えることがある (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|---------------|-------------|--------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 711 32.7 | 1463 67.3 |
| (16)～(19) 子どもとかかわるなかで無意識 の思い込み(アンコンシャス・バ イアス)を意識している(得点化 合計) | カテゴリ1 | 527 100.0 | 162 30.7 | 365 69.3 |
| | カテゴリ2 | 593 100.0 | 220 37.1 | 373 62.9 |
| | カテゴリ3 | 629 100.0 | 209 33.2 | 420 66.8 |
| | カテゴリ4 | 425 100.0 | 120 28.2 | 305 71.8 |

カテゴリについては、「第I章 5 報告書の見方」参照



(図表IV-4-23)

○「性別で子どもの進路を考えることがある」について、全体では《そう思う》(32.7%)で3割を超えている。

得点化のカテゴリ別でみると、カテゴリ1では《そう思う》(30.7%)がほぼ3割、カテゴリ2(37.1%)が4割近く、カテゴリ3(33.2%)が3割超え、カテゴリ4(28.2%)が3割近くとなっている。

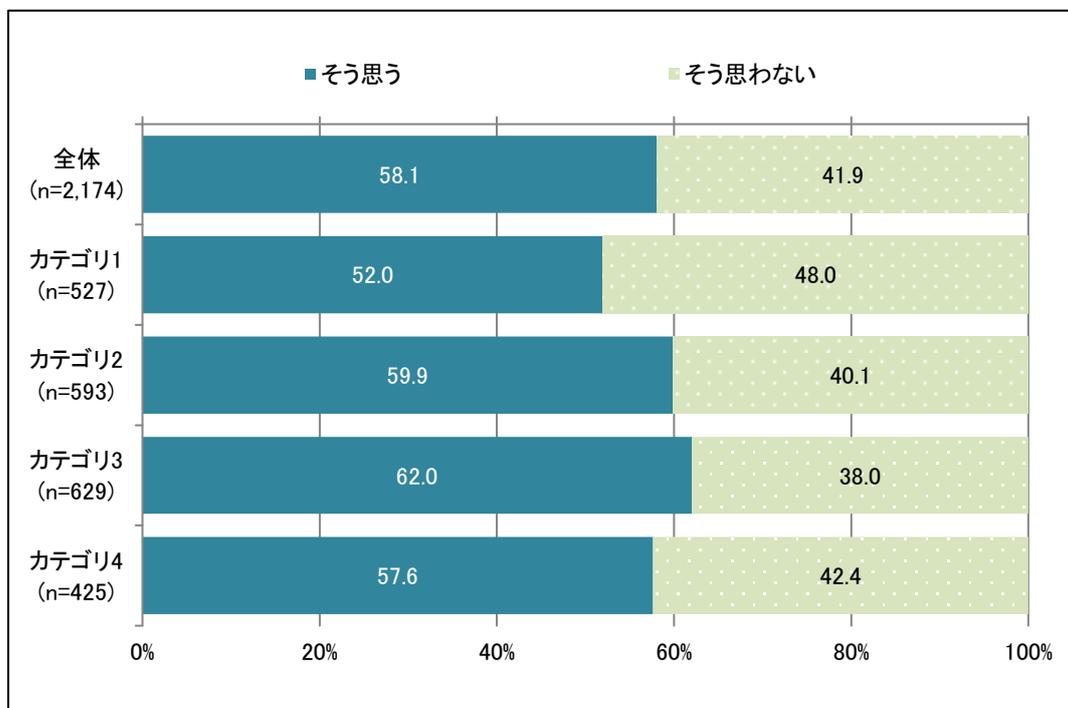
「性別で子どもの進路を考えることがある」について、得点化カテゴリ別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.05$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.08であり、ほとんど相関が見られなかった。

(13) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|-------|------|--------|
| 全体 | | 2174 | 1264 | 910 |
| | | 100.0 | 58.1 | 41.9 |
| (16)～(19) 子どもとかかわるなかで無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を意識している(得点化合計) | カテゴリ1 | 527 | 274 | 253 |
| | | 100.0 | 52.0 | 48.0 |
| | カテゴリ2 | 593 | 355 | 238 |
| | | 100.0 | 59.9 | 40.1 |
| カテゴリ3 | 629 | 390 | 239 | |
| | 100.0 | 62.0 | 38.0 | |
| カテゴリ4 | 425 | 245 | 180 | |
| | 100.0 | 57.6 | 42.4 | |

カテゴリについては、「第I章 5 報告書の見方」参照



(図表IV-4-24)

○「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、全体では《そう思う》(58.1%)で6割近くとなっている。

得点化のカテゴリ別でみると、カテゴリ1では《そう思う》(52.0%)が5割超え、カテゴリ2(59.9%)が6割、カテゴリ3(62.0%)が6割超え、カテゴリ4(57.6%)が6割近くとなっている。

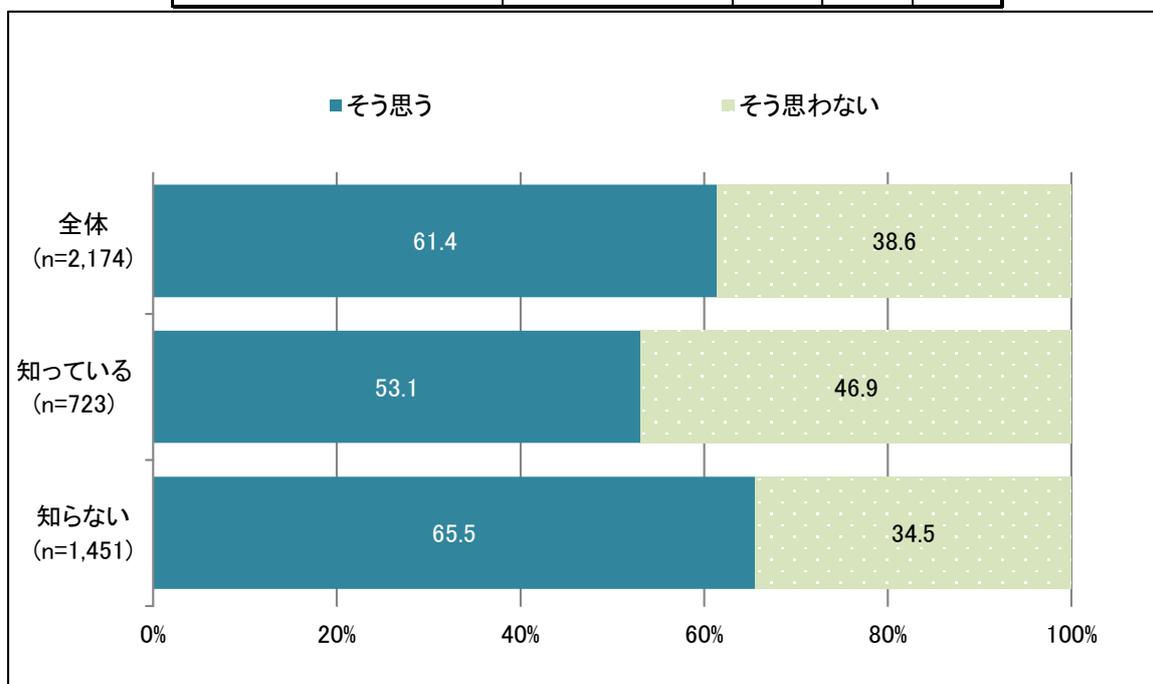
「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、得点化カテゴリ別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差(p<0.01)が見られた。設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.00であり、ほとんど相関が見られなかった。

<仮説・検討事項(15)>

「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について、どの程度知っていますか」と他の設問間に関係性はあるか

(1) 育児は女性の方が向いていると思う（SA）

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|-------|------|--------|
| 全体 | | 2174 | 1335 | 839 |
| | | 100.0 | 61.4 | 38.6 |
| (19) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について、どの程度知っていますか | 知っている | 723 | 384 | 339 |
| | 知らない | 1451 | 951 | 500 |
| | | 100.0 | 65.5 | 34.5 |



(図表IV-4-25)

○「育児は女性の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》（61.4%）で6割を超えている。

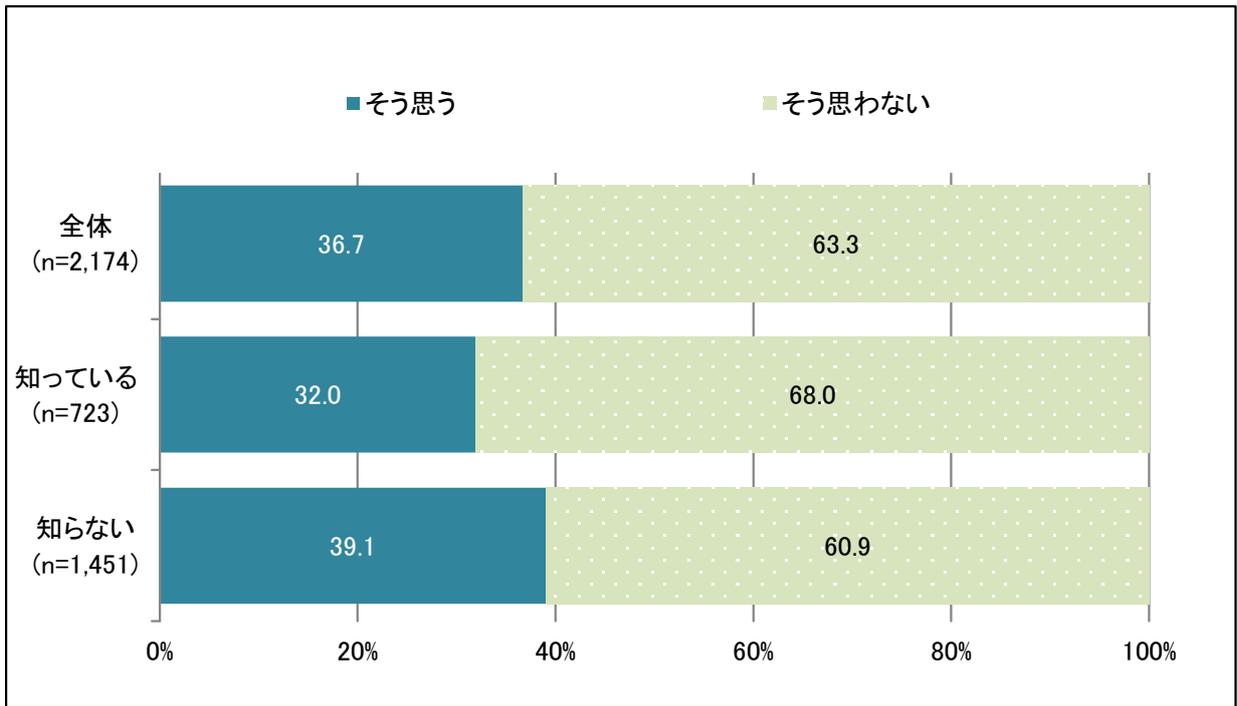
「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について、どの程度知っていますか」の回答別でみると、《知っている》では《そう思う》（53.1%）が5割超え、《知らない》（65.5%）が6割台半ばとなっており、回答割合に大きな差が見られた。

「育児は女性の方が向いていると思う」について、「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について、どの程度知っていますか」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差（ $p < 0.001$ ）が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.05であり、ほとんど相関が見られなかった。

(2) 家事は女性の方が向いていると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|---------------|-------------|--------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 798 36.7 | 1376 63.3 |
| (19) 無意識の思い込み(アンコン シャス・バイアス)について、 どの程度知っていますか | 知っている | 723 100.0 | 231 32.0 | 492 68.0 |
| | 知らない | 1451 100.0 | 567 39.1 | 884 60.9 |



(図表IV-4-26)

○「家事は女性の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(36.7%)で4割近くとなっている。

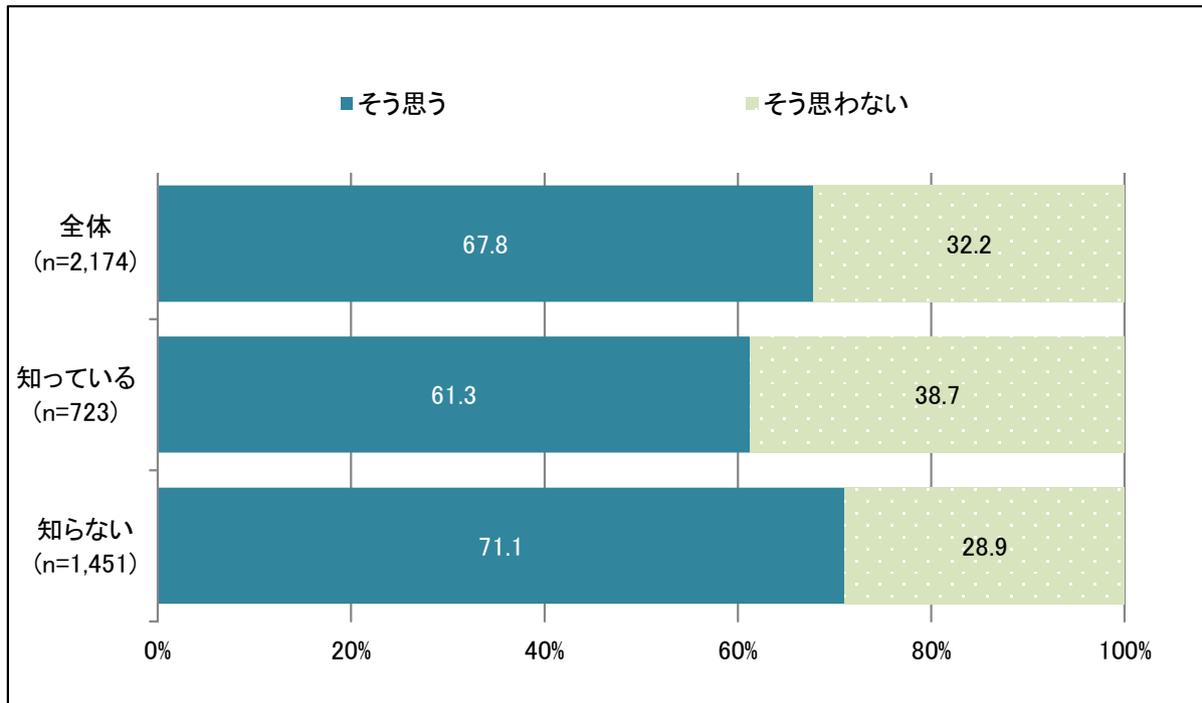
「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について、どの程度知っていますか」の回答別でみると、《知っている》では《そう思う》(32.0%)が3割超え、《知らない》(39.1%)がほぼ4割となっている。

「家事は女性の方が向いていると思う」について、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について、どの程度知っていますか」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.01$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.05であり、ほとんど相関が見られなかった。

(3) 「男性だから」「女性だから」と思うことがある (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|---------------|--------------|-------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 1474 67.8 | 700 32.2 |
| (19) 無意識の思い込み(アンコン シヤス・バイアス)について、 どの程度知っていますか | 知っている | 723 100.0 | 443 61.3 | 280 38.7 |
| | 知らない | 1451 100.0 | 1031 71.1 | 420 28.9 |



(図表IV-4-27)

○『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』について、全体では《そう思う》(67.8%)で7割近くとなっている。

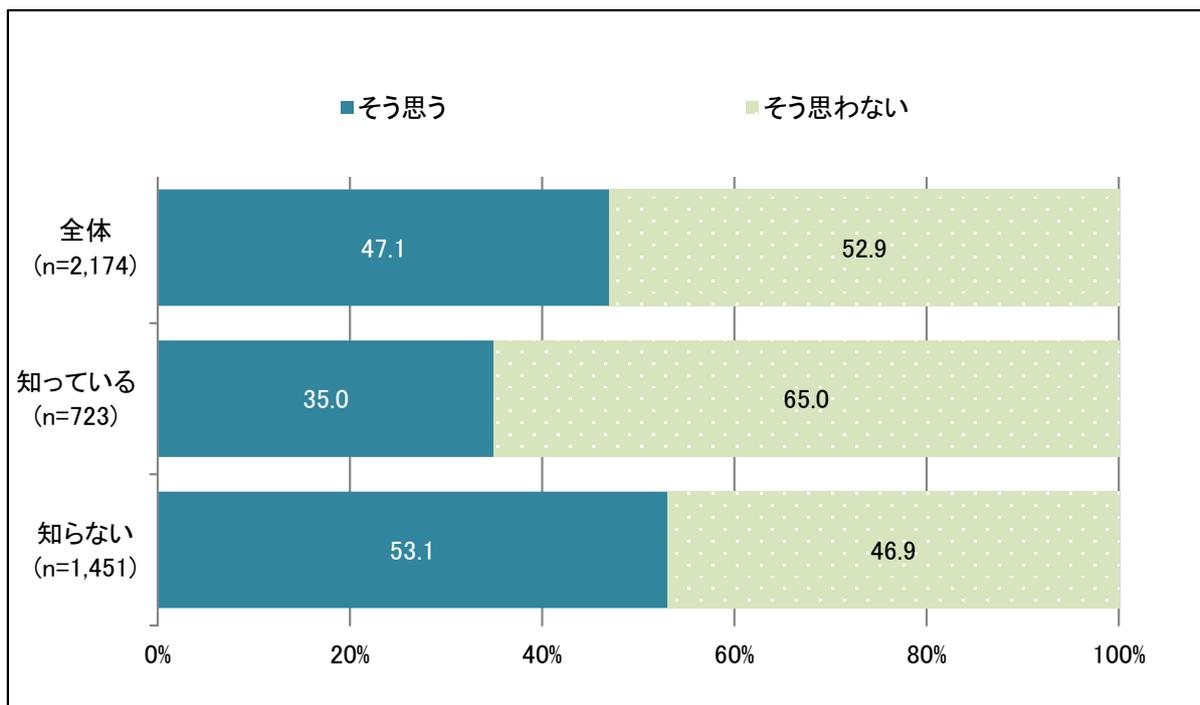
「無意識の思い込み(アンコンシヤス・バイアス)について、どの程度知っていますか」の回答別でみると、《知っている》では《そう思う》(61.3%)が6割超え、《知らない》(71.1%)で7割を超えている。

『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』について、「無意識の思い込み(アンコンシヤス・バイアス)について、どの程度知っていますか」の回答別の有意差に関するカイニ乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.05であり、ほとんど相関が見られなかった。

(4) 服の色など「男の子らしい」又は「女の子らしい」色があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|---------------|--------------|--------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 1023 47.1 | 1151 52.9 |
| (19) 無意識の思い込み(アンコン シャス・バイアス)について、 どの程度知っていますか | 知っている | 723 100.0 | 253 35.0 | 470 65.0 |
| | 知らない | 1451 100.0 | 770 53.1 | 681 46.9 |



(図表IV-4-28)

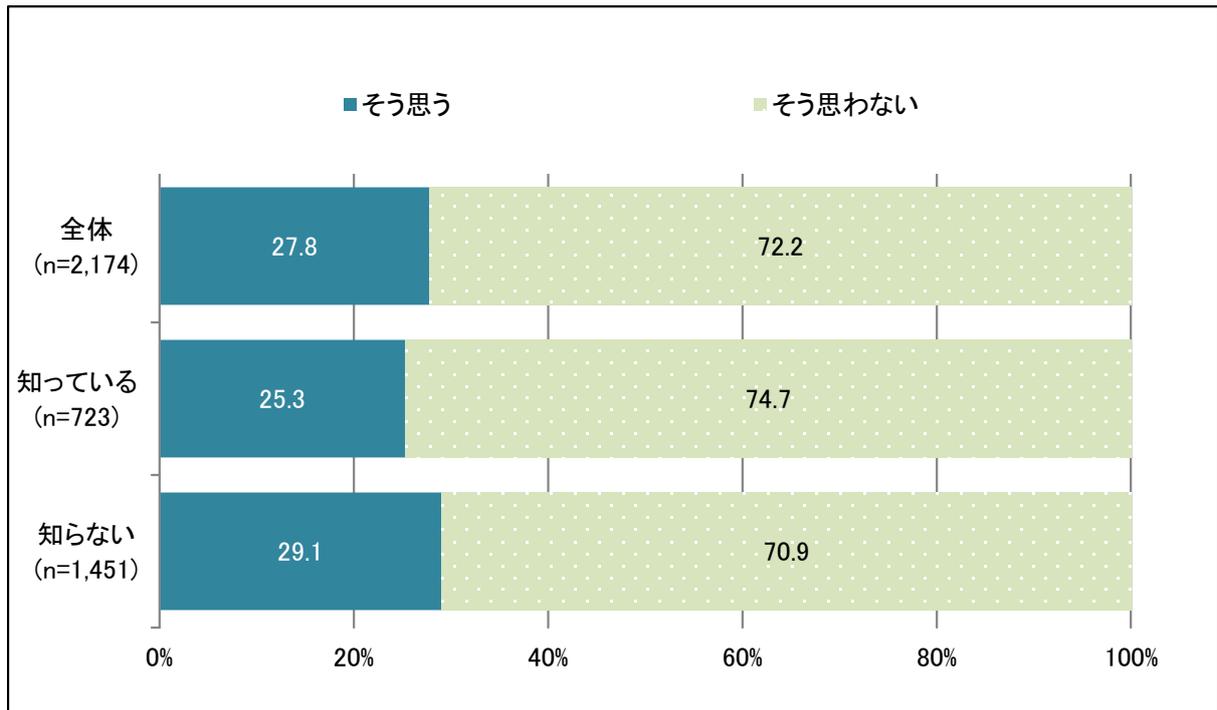
○『服の色など「男の子らしい」又は「女の子らしい」色があると思う』について、全体では「そう思う」(47.1%)で5割近くとなっている。

「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について、どの程度知っていますか」の回答別でみると、「知っている」では「そう思う」(35.0%)が3割台半ば、「知らない」(53.1%)が5割を超えており、回答割合に大きな差が見られた。

『服の色など「男の子らしい」又は「女の子らしい」色があると思う』について、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について、どの程度知っていますか」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、-0.04であり、ほとんど相関が見られなかった。

(7) 子どもの担任の先生の性別が気になってしまう (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|---------------|-------------|--------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 605 27.8 | 1569 72.2 |
| (19) 無意識の思い込み(アンコン シヤス・バイアス)について、 どの程度知っていますか | 知っている | 723 100.0 | 183 25.3 | 540 74.7 |
| | 知らない | 1451 100.0 | 422 29.1 | 1029 70.9 |



(図表IV-4-29)

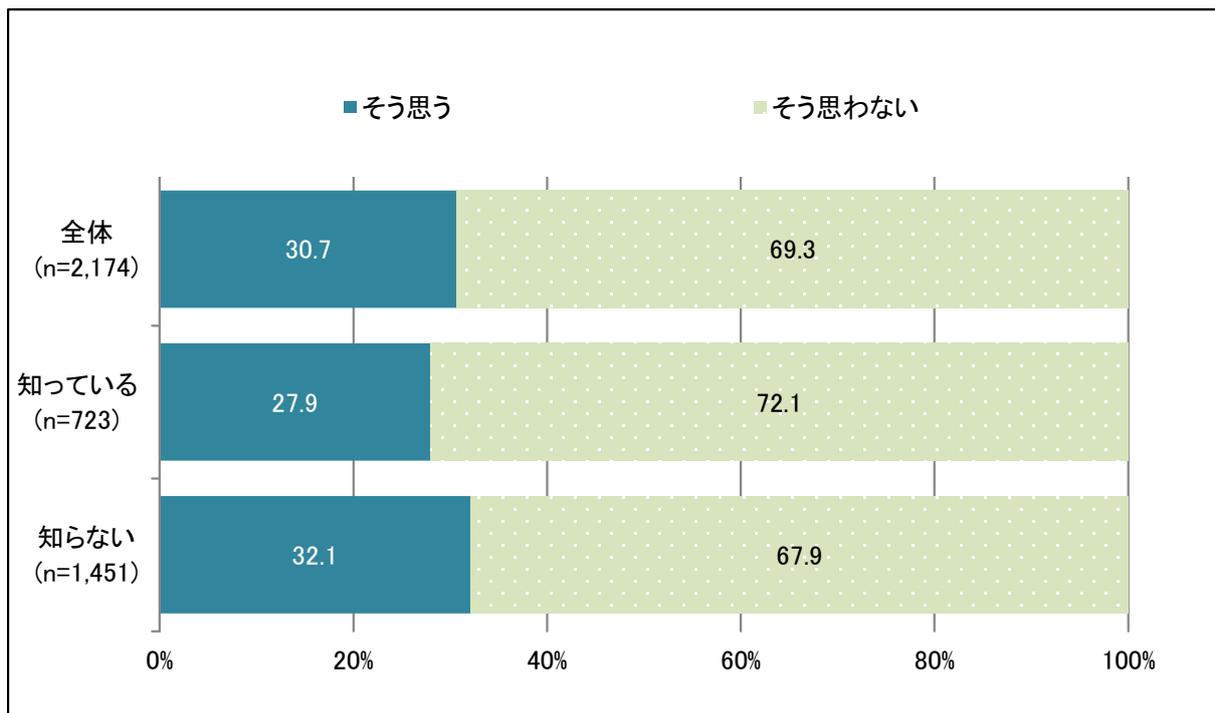
○「子どもの担任の先生の性別が気になってしまう」について、全体では《そう思う》(27.8%)で3割近くとなっている。

「無意識の思い込み(アンコンシヤス・バイアス)について、どの程度知っていますか」の回答別でみると、《知っている》では《そう思う》(25.3%)が2割台半ば、《知らない》(29.1%)がほぼ3割となっている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.12であり、ほとんど相関が見られなかった。

(11) 性別で教科の得意、不得意があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|---------------|-------------|--------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 668 30.7 | 1506 69.3 |
| (19) 無意識の思い込み(アンコン シャス・バイアス)について、 どの程度知っていますか | 知っている | 723 100.0 | 202 27.9 | 521 72.1 |
| | 知らない | 1451 100.0 | 466 32.1 | 985 67.9 |



(図表IV-4-30)

○「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、全体では《そう思う》(30.7%)でほぼ3割となっている。

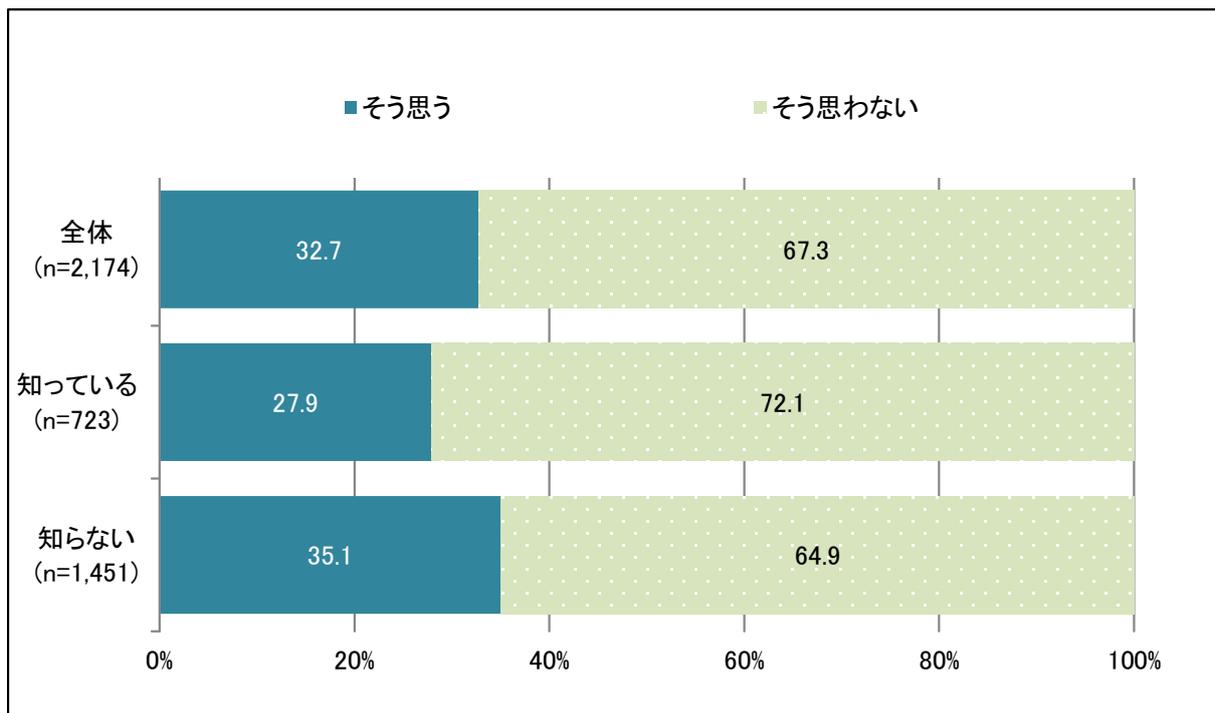
「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について、どの程度知っていますか」の回答別でみると、《知っている》では《そう思う》(27.9%)が3割近く、《知らない》(32.1%)が3割を超えている。

「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について、どの程度知っていますか」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.05$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.08であり、ほとんど相関が見られなかった。

(12) 性別で子どもの進路を考えることがある (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|---------------|-------------|--------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 711 32.7 | 1463 67.3 |
| (19) 無意識の思い込み(アンコン シャス・バイアス)について、 どの程度知っていますか | 知っている | 723 100.0 | 202 27.9 | 521 72.1 |
| | 知らない | 1451 100.0 | 509 35.1 | 942 64.9 |



(図表IV-4-31)

○「性別で子どもの進路を考えることがある」について、全体では《そう思う》(32.7%)で3割を超えている。

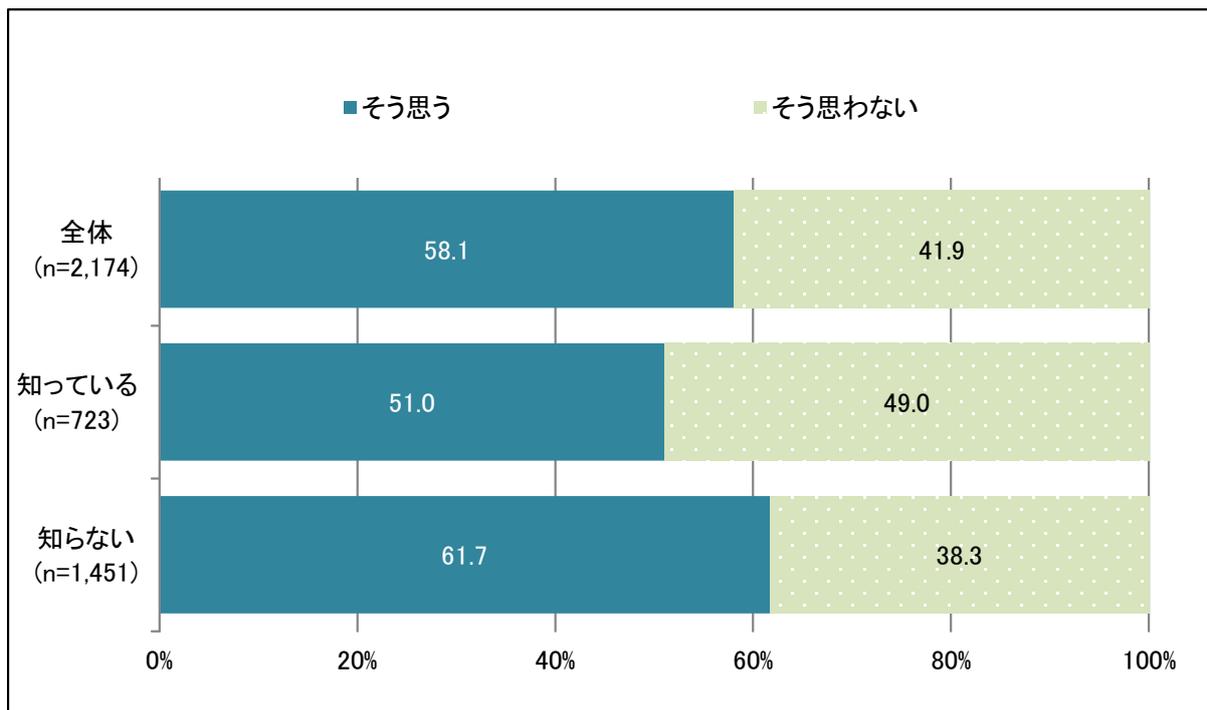
「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について、どの程度知っていますか」の回答別でみると、《知っている》では《そう思う》(27.9%)が3割近く、《知らない》(35.1%)が3割台半ばとなっている。

「性別で子どもの進路を考えることがある」について、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について、どの程度知っていますか」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.07であり、ほとんど相関が見られなかった。

(13) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|---------------|--------------|-------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 1264 58.1 | 910 41.9 |
| (19) 無意識の思い込み(アンコン シャス・バイアス)について、 どの程度知っていますか | 知っている | 723 100.0 | 369 51.0 | 354 49.0 |
| | 知らない | 1451 100.0 | 895 61.7 | 556 38.3 |



(図表IV-4-32)

○「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、全体では《そう思う》(58.1%)で6割近くとなっている。

「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について、どの程度知っていますか」の回答別でみると、《知っている》では《そう思う》(51.0%)が5割超え、《知らない》(61.7%)が6割を超えており、回答割合に大きな差が見られた。

「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について、どの程度知っていますか」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.01であり、ほとんど相関が見られなかった。

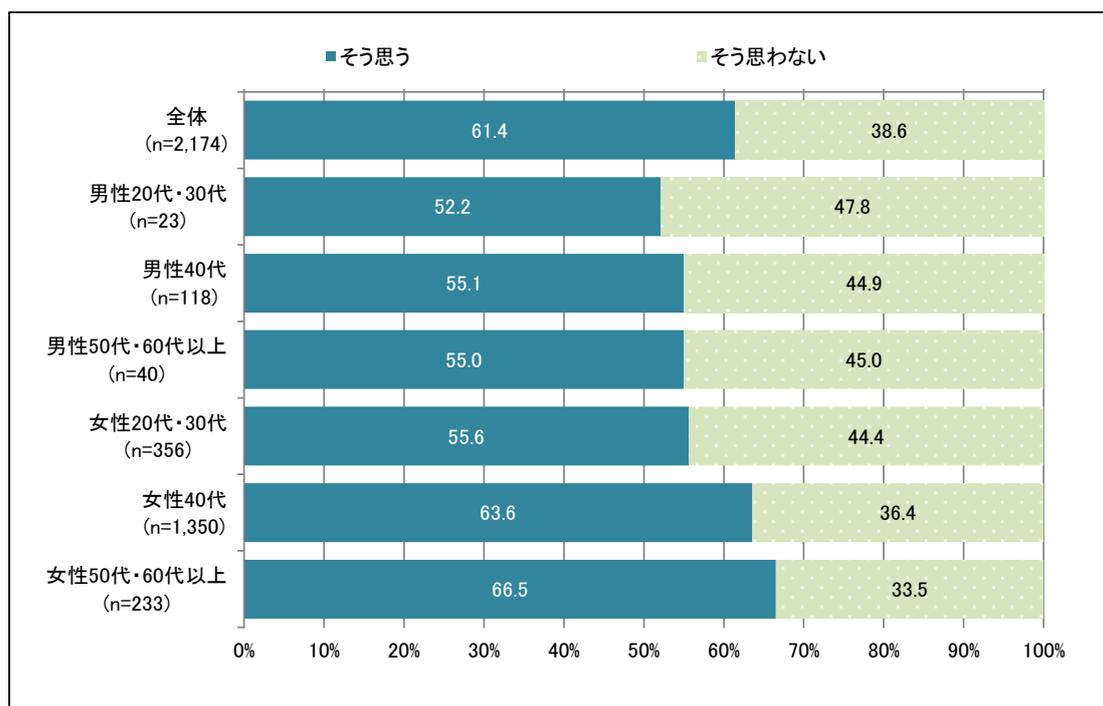
④ その他保護者の意識に関する分析

< 仮説・検討事項(16)>

保護者の年代によって、「家事・育児」に対する意識の差が見られるか

(1) 育児は女性の方が向いていると思う (S A)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--------------|--------------|-------|------|--------|
| 全 体 | | 2174 | 1335 | 839 |
| | | 100.0 | 61.4 | 38.6 |
| 性別・年代 | 男性 20代・30代 | 23 | 12 | 11 |
| | | 100.0 | 52.2 | 47.8 |
| | 男性 40代 | 118 | 65 | 53 |
| | | 100.0 | 55.1 | 44.9 |
| | 男性 50代・60代以上 | 40 | 22 | 18 |
| | | 100.0 | 55.0 | 45.0 |
| 女性 20代・30代 | 356 | 198 | 158 | |
| | 100.0 | 55.6 | 44.4 | |
| 女性 40代 | 1350 | 858 | 492 | |
| | 100.0 | 63.6 | 36.4 | |
| 女性 50代・60代以上 | 233 | 155 | 78 | |
| | 100.0 | 66.5 | 33.5 | |



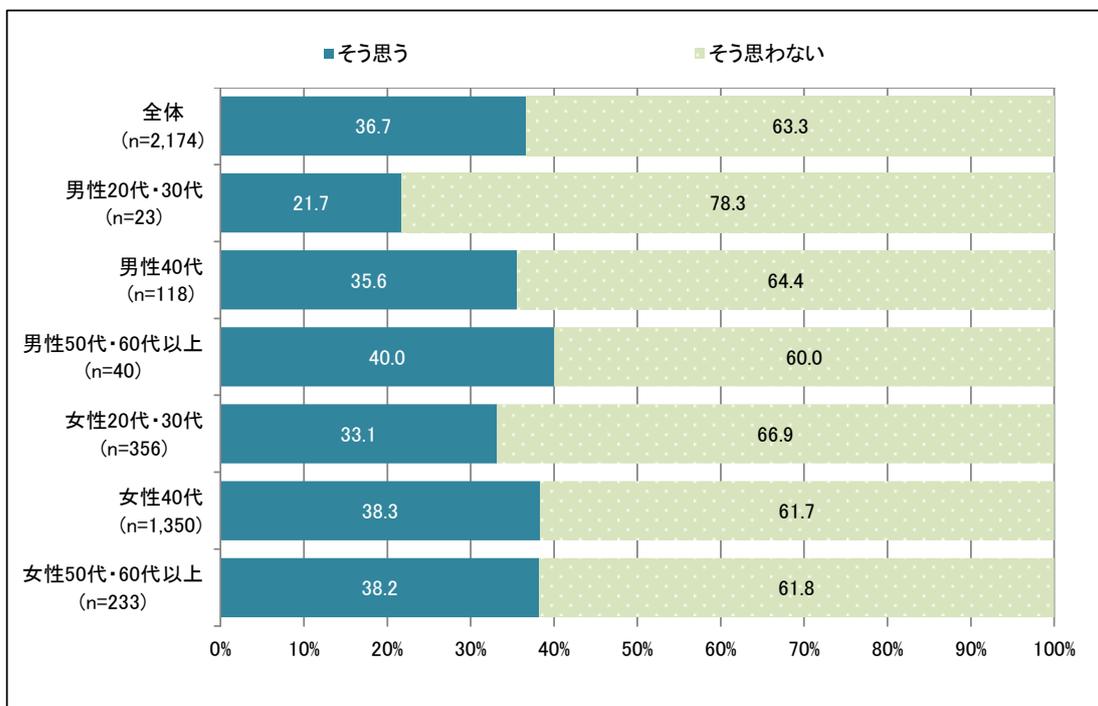
(図表IV-4-33)

○「育児は女性の方が向いていると思う」について、全体では「そう思う」(61.4%)で6割を超えている。

性別・年代別でみると、男性では「そう思う」について、「20代・30代」(52.2%)が5割超え、「40代」(55.1%)と「50代・60代以上」(55.0%)がともに5割台半ばとなっており、女性では「20代・30代」(55.6%)が5割台半ば、「40代」(63.6%)が6割超え、「50代・60代以上」(66.5%)が7割近くとなっている。男性では、顕著な差は見られなかったが、女性では年代があがるにつれ、「そう思う」の割合が高くなる傾向があった。

(2) 家事は女性の方が向いていると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--------------|--------------|-------|------|--------|
| | | 2174 | 798 | 1376 |
| | | 100.0 | 36.7 | 63.3 |
| 性別・年代 | 男性 20代・30代 | 23 | 5 | 18 |
| | | 100.0 | 21.7 | 78.3 |
| | 男性 40代 | 118 | 42 | 76 |
| | | 100.0 | 35.6 | 64.4 |
| | 男性 50代・60代以上 | 40 | 16 | 24 |
| | | 100.0 | 40.0 | 60.0 |
| 女性 20代・30代 | 356 | 118 | 238 | |
| | 100.0 | 33.1 | 66.9 | |
| 女性 40代 | 1350 | 517 | 833 | |
| | 100.0 | 38.3 | 61.7 | |
| 女性 50代・60代以上 | 233 | 89 | 144 | |
| | 100.0 | 38.2 | 61.8 | |



(図表IV-4-3 4)

○「家事は女性の方が向いていると思う」について、全体では「そう思う」(36.7%)で4割近くとなっている。

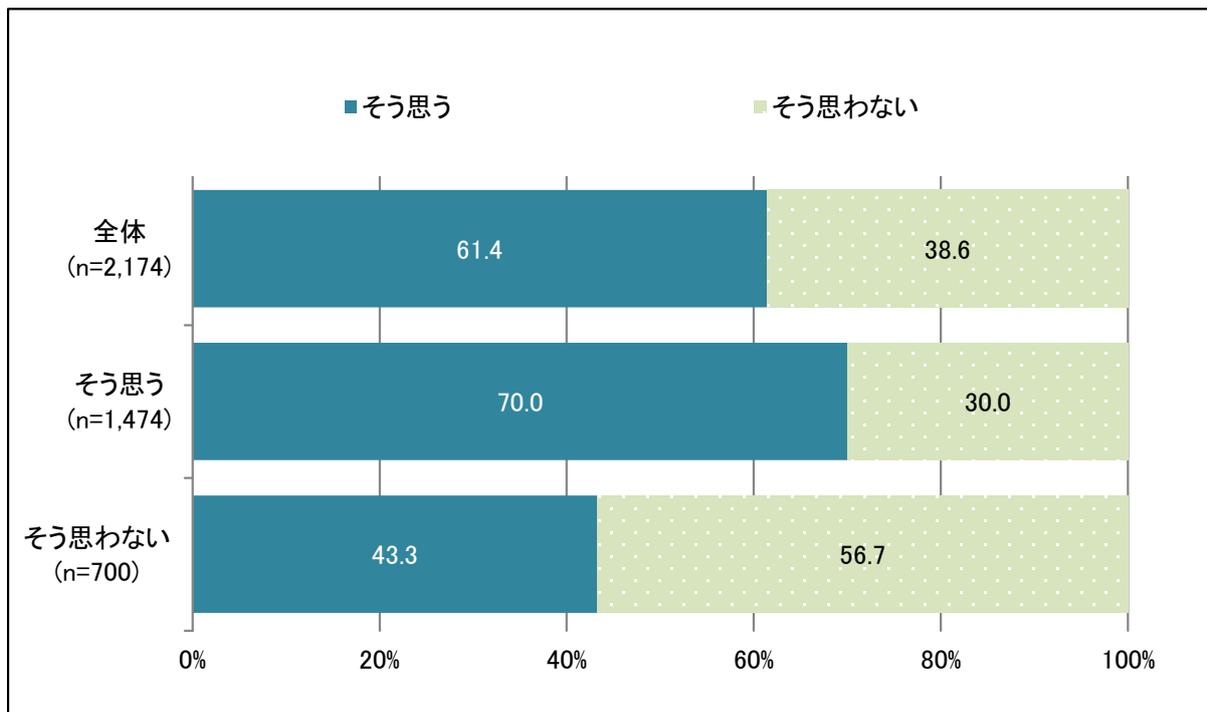
性別・年代別で見ると、男性では「そう思う」について、「20代・30代」(21.7%)が2割超え、「40代」(35.6%)が3割台半ば、「50代・60代以上」(40.0%)が4割となっており、女性では「20代・30代」(33.1%)が3割超え、「40代」(38.3%)と「50代・60代以上」(38.2%)がともに4割近くとなっている。

< 仮説・検討事項(17)>

保護者自身が「男性/女性だからと思う」ことは、「家事/育児は女性の方が向いていると思う」ことに影響を与えているか

(1) 育児は女性の方が向いていると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-------------------------------|--------|---------------|--------------|-------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 1335 61.4 | 839 38.6 |
| (3) 「男性だから」「女性だから」と思うことがある | そう思う | 1474 100.0 | 1032 70.0 | 442 30.0 |
| | そう思わない | 700 100.0 | 303 43.3 | 397 56.7 |



(図表IV-4-35)

○「育児は女性の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(61.4%)で6割を超えている。

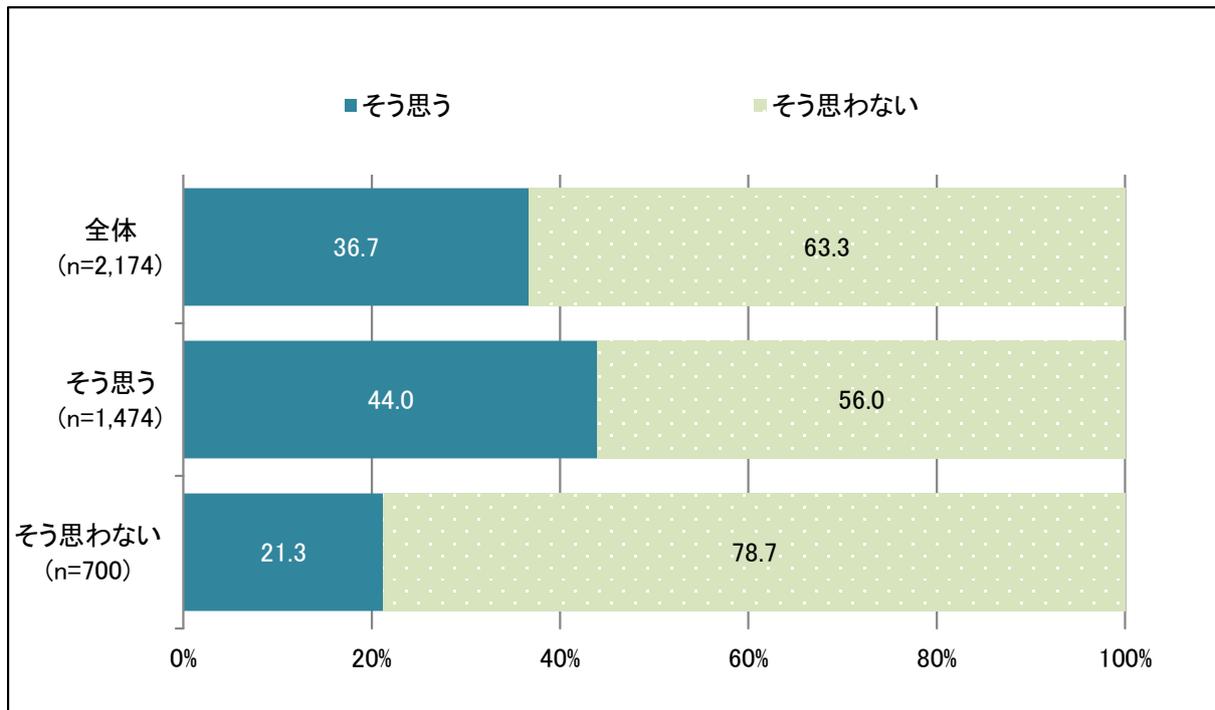
『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(70.0%)が7割、《そう思わない》(43.3%)が4割を超えており、回答割合に大きな差が見られた。

「育児は女性の方が向いていると思う」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差(p<0.001)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.39であり、やや相関が見られた。

(2) 家事は女性の方が向いていると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----------------------------------|--------|---------------|-------------|--------------|
| 全体 | | 2174 100.0 | 798 36.7 | 1376 63.3 |
| (3) 「男性だから」「女性だから」と思 うことがある | そう思う | 1474 100.0 | 649 44.0 | 825 56.0 |
| | そう思わない | 700 100.0 | 149 21.3 | 551 78.7 |



(図表IV-4-36)

○「家事は女性の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(36.7%)で4割近くとなっている。

『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(44.0%)が4割台半ば、《そう思わない》(21.3%)が2割を超えており、回答割合に大きな差が見られた。

「家事は女性の方が向いていると思う」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.36であり、やや相関が見られた。

5 教員調査結果の分析

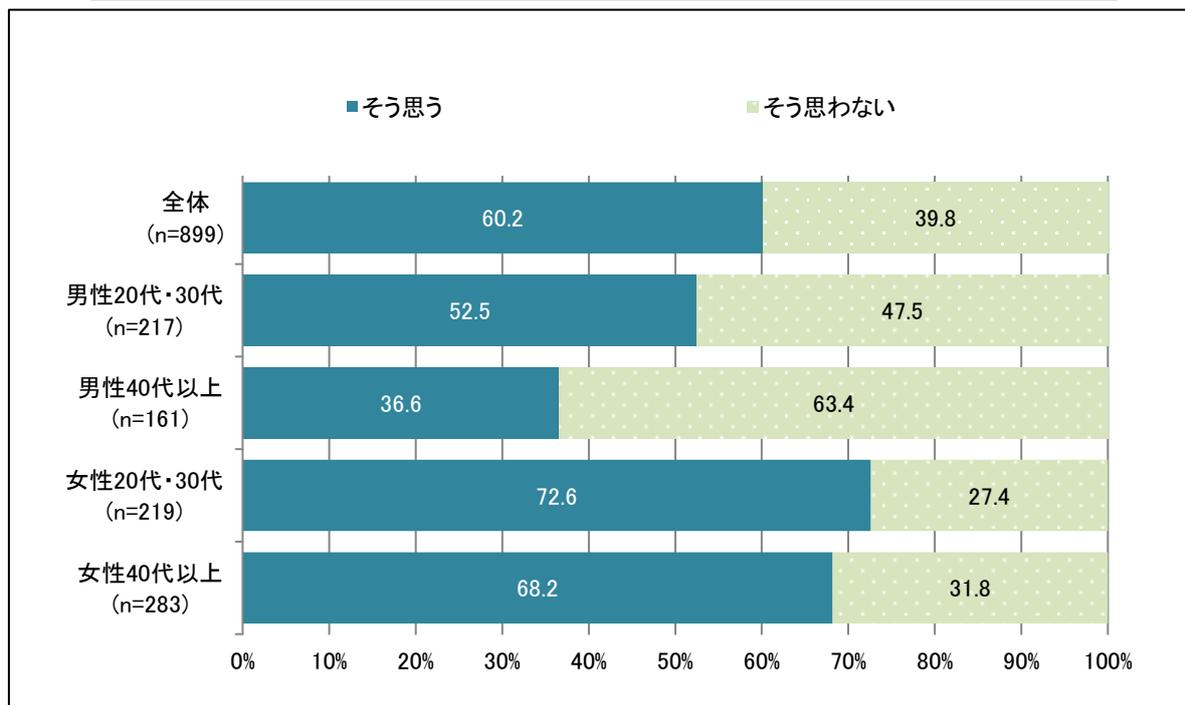
① 自身に関する意識の年代・役職差

<仮説・検討事項(18)>

教員の年代・役職によって、「将来管理職になるのは無理だと思う」の設問に対する回答に違いがあるか

(2) 将来管理職になるのは無理だと思う (S A)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|------------|------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 541 | 358 |
| | | 100.0 | 60.2 | 39.8 |
| 性別・年代 | 男性 20代・30代 | 217 | 114 | 103 |
| | | 100.0 | 52.5 | 47.5 |
| | 男性 40代以上 | 161 | 59 | 102 |
| | | 100.0 | 36.6 | 63.4 |
| 女性 20代・30代 | 219 | 159 | 60 | |
| | 100.0 | 72.6 | 27.4 | |
| 女性 40代以上 | 283 | 193 | 90 | |
| | 100.0 | 68.2 | 31.8 | |



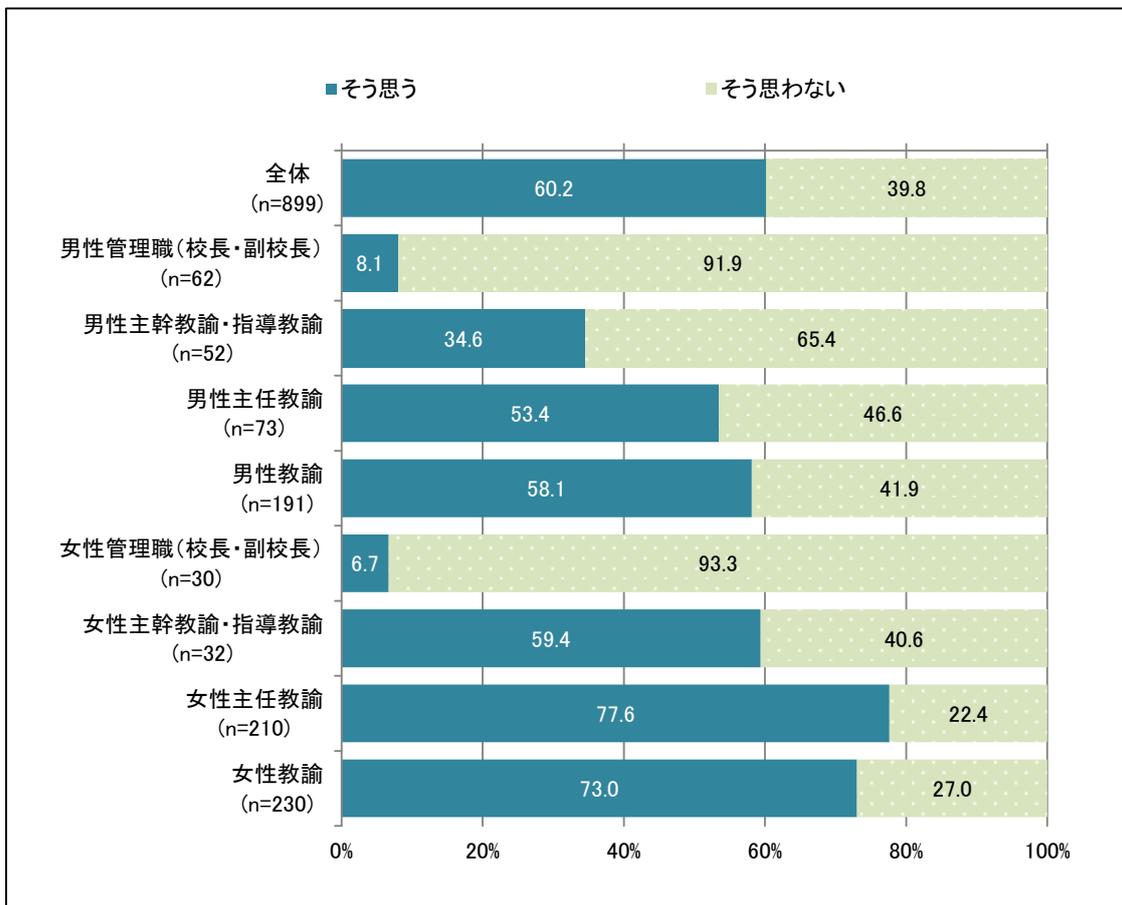
(図表IV-5-1)

○「将来管理職になるのは無理だと思う」について、全体では《そう思う》(60.2%)で6割となっている。

性別・年代別でみると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(52.5%)が5割超え、「40代以上」(36.6%)は4割近くとなっており、女性では「20代・30代」(72.6%)が7割超え、「40代以上」(68.2%)は7割近くとなっている。《そう思う》の回答割合では男性で大きな差が見られた。

(2) 将来管理職になるのは無理だと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|----------------|----------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 541 | 358 |
| | | 100.0 | 60.2 | 39.8 |
| 性別・役職 | 男性 管理職(校長・副校長) | 62 | 5 | 57 |
| | | 100.0 | 8.1 | 91.9 |
| | 男性 主幹教諭・指導教諭 | 52 | 18 | 34 |
| | | 100.0 | 34.6 | 65.4 |
| | 男性 主任教諭 | 73 | 39 | 34 |
| | | 100.0 | 53.4 | 46.6 |
| | 男性 教諭 | 191 | 111 | 80 |
| | | 100.0 | 58.1 | 41.9 |
| 女性 管理職(校長・副校長) | 30 | 2 | 28 | |
| | 100.0 | 6.7 | 93.3 | |
| 女性 主幹教諭・指導教諭 | 32 | 19 | 13 | |
| | 100.0 | 59.4 | 40.6 | |
| 女性 主任教諭 | 210 | 163 | 47 | |
| | 100.0 | 77.6 | 22.4 | |
| 女性 教諭 | 230 | 168 | 62 | |
| | 100.0 | 73.0 | 27.0 | |



(図表IV-5-2)

○「将来管理職になるのは無理だと思う」について、全体では《そう思う》(60.2%)で6割となっている。

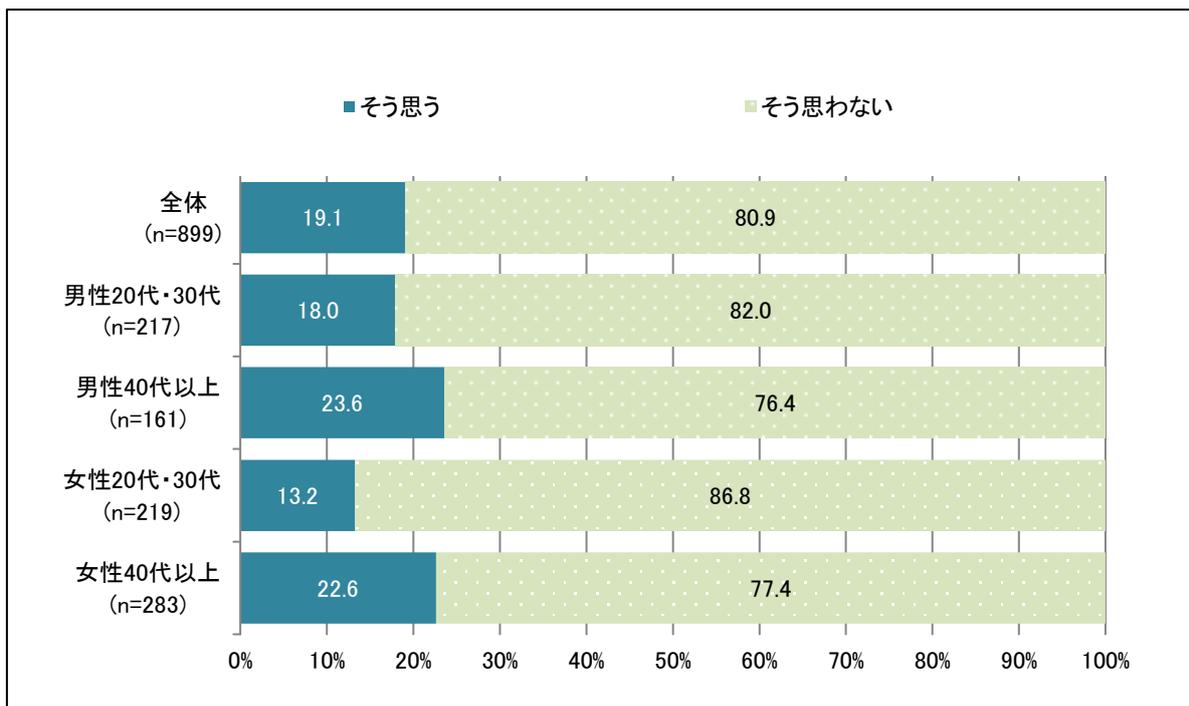
性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(8.1%)が1割未満、「主幹教諭・指導教諭」(34.6%)が3割台半ば、「主任教諭」(53.4%)が5割超え、「教諭」(58.1%)が6割近くとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(6.7%)が1割未満、「主幹教諭・指導教諭」(59.4%)がほぼ6割、「主任教諭」(77.6%)が8割近く、「教諭」(73.0%)が7割を超えている。

< 仮説・検討事項(19)>

教員の年代・役職によって、「プライベートより仕事を優先したほうがいいと思う」の設問に対する回答に違いがあるか

(3) プライベートより仕事を優先したほうがいいと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-------|------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 172 | 727 |
| | | 100.0 | 19.1 | 80.9 |
| 性別・年代 | 男性 20代・30代 | 217 | 39 | 178 |
| | | 100.0 | 18.0 | 82.0 |
| | 男性 40代以上 | 161 | 38 | 123 |
| | | 100.0 | 23.6 | 76.4 |
| | 女性 20代・30代 | 219 | 29 | 190 |
| | | 100.0 | 13.2 | 86.8 |
| | 女性 40代以上 | 283 | 64 | 219 |
| | | 100.0 | 22.6 | 77.4 |



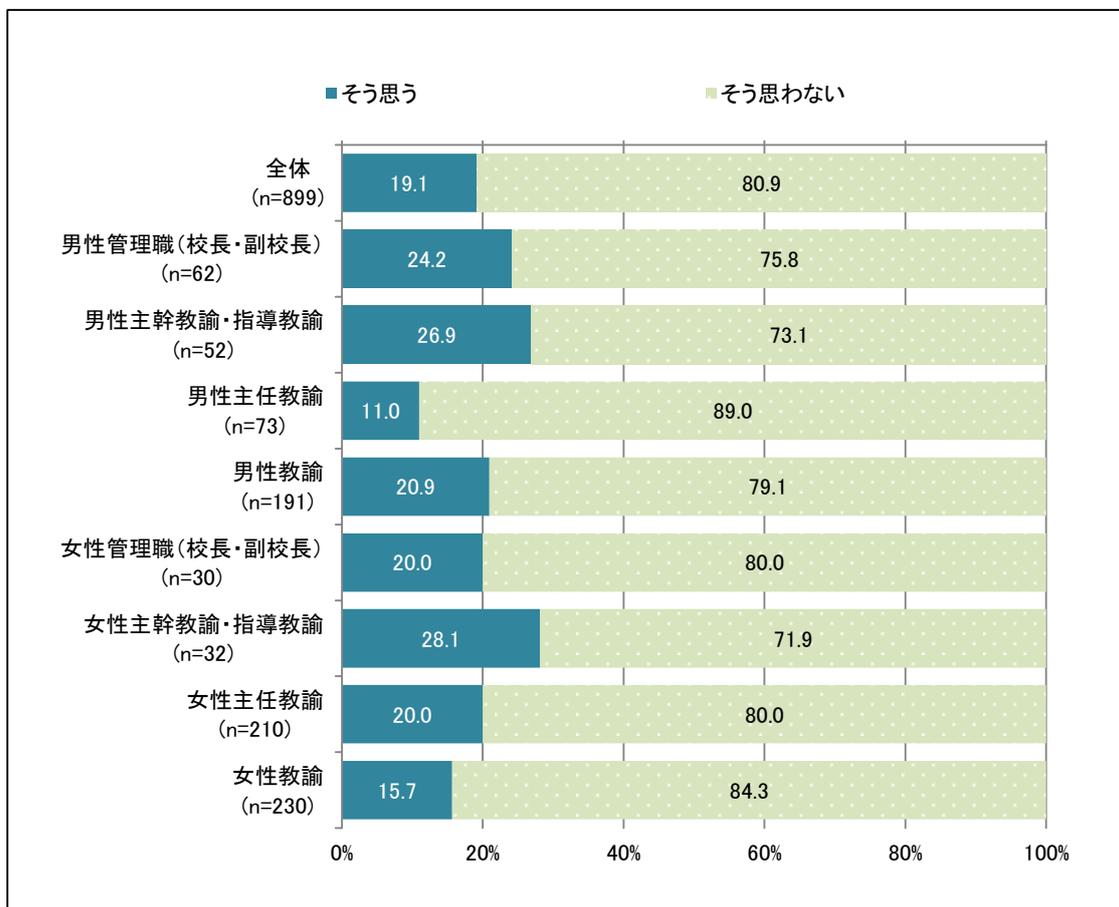
(図表IV-5-3)

○「プライベートより仕事を優先したほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(19.1%)でほぼ2割となっている。

性別・年代別でみると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(18.0%)が2割近く、「40代以上」(23.6%)は2割超えとなっており、女性では「20代・30代」(13.2%)が1割超え、「40代以上」(22.6%)が2割超えとなっている。

(3) プライベートより仕事を優先したほうがいいと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|----------------|----------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 172 | 727 |
| | | 100.0 | 19.1 | 80.9 |
| 性別・役職 | 男性 管理職(校長・副校長) | 62 | 15 | 47 |
| | | 100.0 | 24.2 | 75.8 |
| | 男性 主幹教諭・指導教諭 | 52 | 14 | 38 |
| | | 100.0 | 26.9 | 73.1 |
| | 男性 主任教諭 | 73 | 8 | 65 |
| | | 100.0 | 11.0 | 89.0 |
| | 男性 教諭 | 191 | 40 | 151 |
| | | 100.0 | 20.9 | 79.1 |
| 女性 管理職(校長・副校長) | 30 | 6 | 24 | |
| | 100.0 | 20.0 | 80.0 | |
| 女性 主幹教諭・指導教諭 | 32 | 9 | 23 | |
| | 100.0 | 28.1 | 71.9 | |
| 女性 主任教諭 | 210 | 42 | 168 | |
| | 100.0 | 20.0 | 80.0 | |
| 女性 教諭 | 230 | 36 | 194 | |
| | 100.0 | 15.7 | 84.3 | |



(図表IV-5-4)

○「プライベートより仕事を優先したほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(19.1%)でほぼ2割となっている。

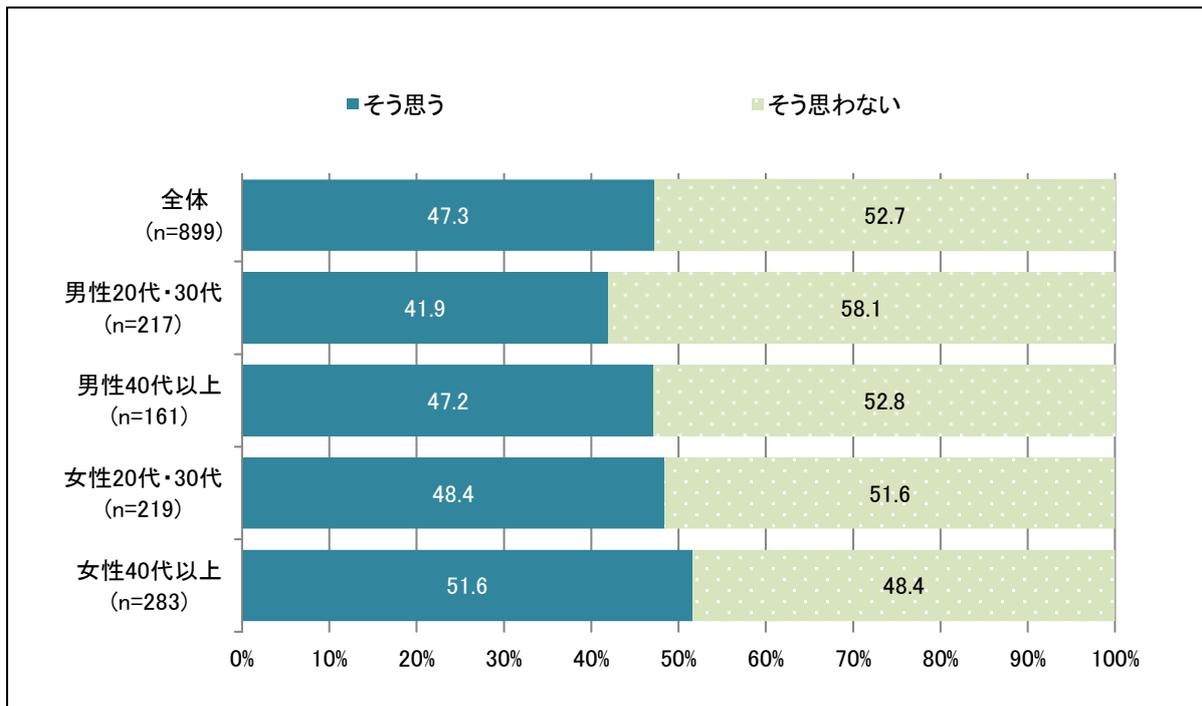
性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(24.2%)が2割台半ば、「主幹教諭・指導教諭」(26.9%)が3割近く、「主任教諭」(11.0%)が1割超え、「教諭」(20.9%)がほぼ2割となっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(20.0%)が2割、「主幹教諭・指導教諭」(28.1%)が3割近く、「主任教諭」(20.0%)が2割、「教諭」(15.7%)が1割台半ばとなっている。

< 仮説・検討事項(20)>

教員の年代・役職によって、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答に違いがあるか

(4) 「男性だから」「女性だから」と思うことがある (S A)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|------------|------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 425 | 474 |
| | | 100.0 | 47.3 | 52.7 |
| 性別・年代 | 男性 20代・30代 | 217 | 91 | 126 |
| | | 100.0 | 41.9 | 58.1 |
| | 男性 40代以上 | 161 | 76 | 85 |
| | | 100.0 | 47.2 | 52.8 |
| 女性 20代・30代 | 219 | 106 | 113 | |
| | 100.0 | 48.4 | 51.6 | |
| 女性 40代以上 | 283 | 146 | 137 | |
| | 100.0 | 51.6 | 48.4 | |



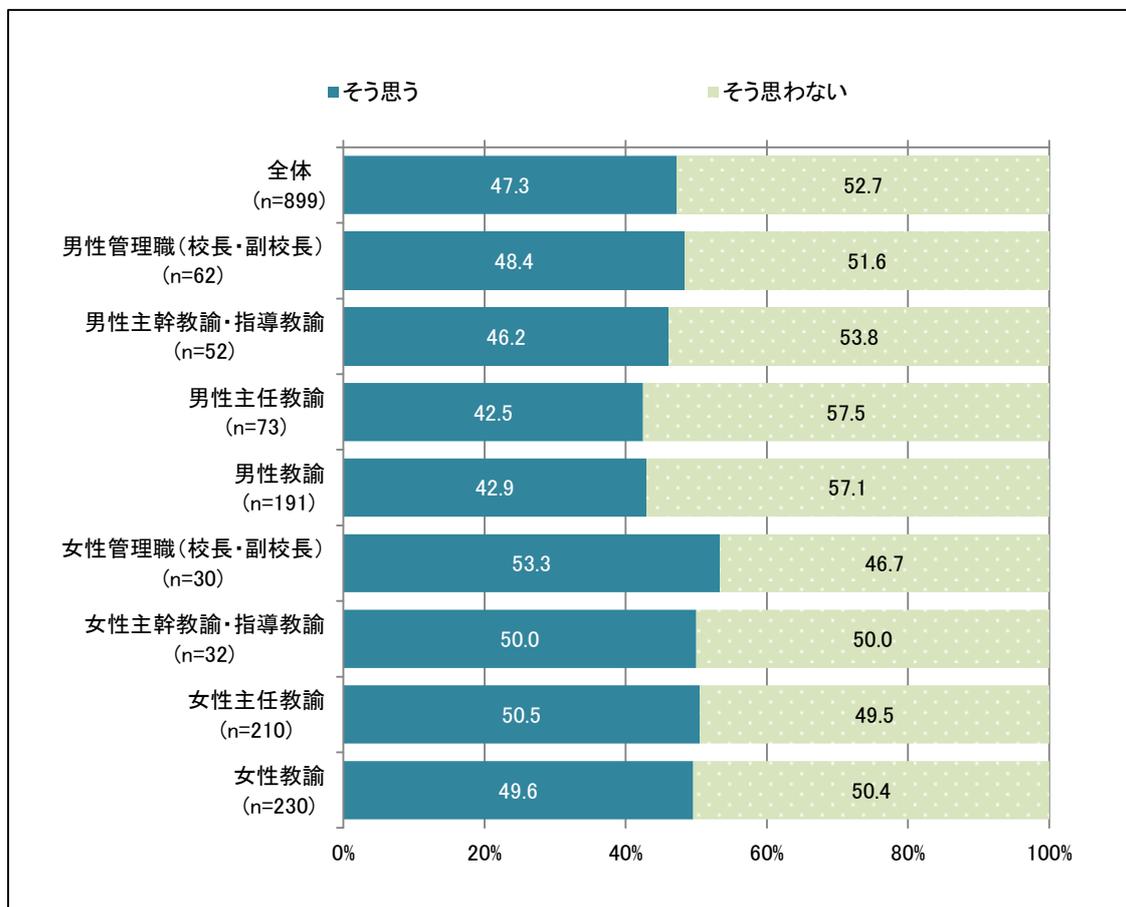
(図表IV-5-5)

○『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』について、全体では《そう思う》(47.3%)で5割近くとなっている。

性別・年代別でみると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(41.9%)が4割超え、「40代以上」(47.2%)が5割近くとなっており、女性では「20代・30代」(48.4%)が5割近く、「40代以上」(51.6%)が5割を超えている。

(4) 「男性だから」「女性だから」と思うことがある (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|----------------|----------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 425 | 474 |
| | | 100.0 | 47.3 | 52.7 |
| 性別・役職 | 男性 管理職(校長・副校長) | 62 | 30 | 32 |
| | | 100.0 | 48.4 | 51.6 |
| | 男性 主幹教諭・指導教諭 | 52 | 24 | 28 |
| | | 100.0 | 46.2 | 53.8 |
| | 男性 主任教諭 | 73 | 31 | 42 |
| | | 100.0 | 42.5 | 57.5 |
| | 男性 教諭 | 191 | 82 | 109 |
| | | 100.0 | 42.9 | 57.1 |
| 女性 管理職(校長・副校長) | 30 | 16 | 14 | |
| | 100.0 | 53.3 | 46.7 | |
| 女性 主幹教諭・指導教諭 | 32 | 16 | 16 | |
| | 100.0 | 50.0 | 50.0 | |
| 女性 主任教諭 | 210 | 106 | 104 | |
| | 100.0 | 50.5 | 49.5 | |
| 女性 教諭 | 230 | 114 | 116 | |
| | 100.0 | 49.6 | 50.4 | |



(図表IV-5-6)

○『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』について、全体では《そう思う》(47.3%)で5割近くとなっている。

性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(48.4%)が5割近く、「主幹教諭・指導教諭」(46.2%)が4割台半ば、「主任教諭」(42.5%)と「教諭」(42.9%)がともに4割超えとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(53.3%)が5割超え、「主幹教諭・指導教諭」(50.0%)が5割、「主任教諭」(50.5%)がほぼ5割、「教諭」(49.6%)が5割となっている。

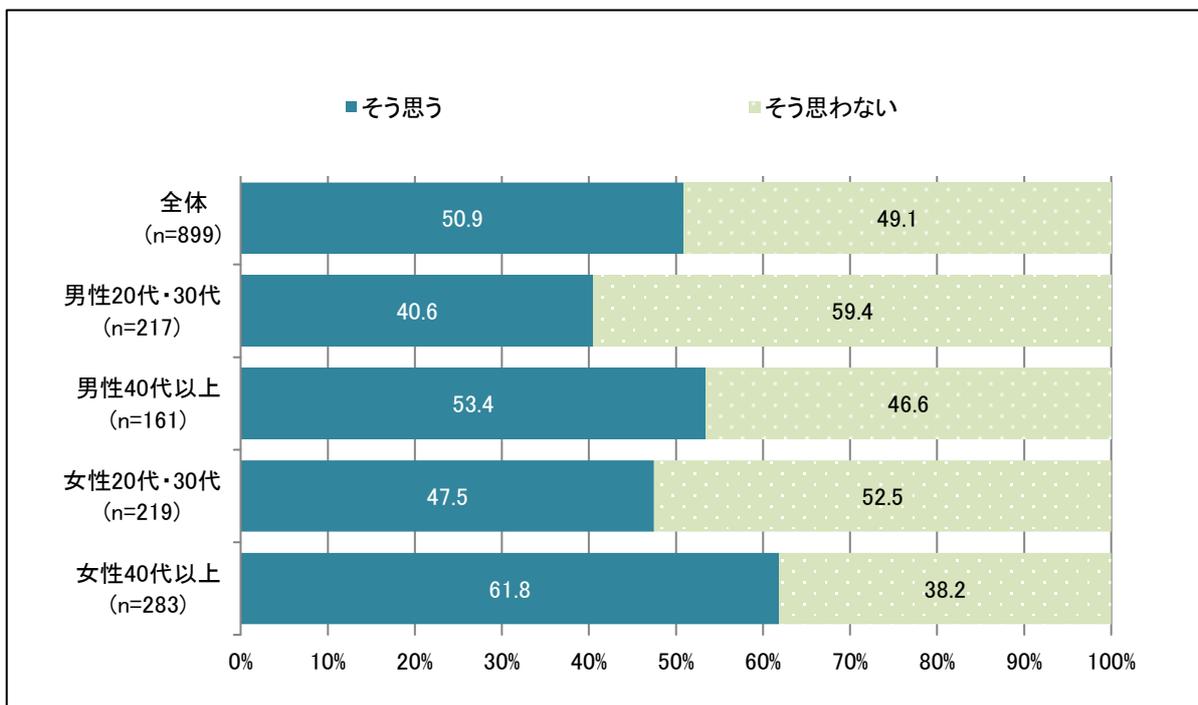
② 仕事に関する意識の年代・役職差及び性別に関する意識と言動等への影響

< 仮説・検討事項(21)>

教員の年代・役職によって、育児休業と介護休業の取得に対する意識の差があるか

(5) 育児休業は女性が取ったほうが良いと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-------|------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 458 | 441 |
| | | 100.0 | 50.9 | 49.1 |
| 性別・年代 | 男性 20代・30代 | 217 | 88 | 129 |
| | | 100.0 | 40.6 | 59.4 |
| | 男性 40代以上 | 161 | 86 | 75 |
| | | 100.0 | 53.4 | 46.6 |
| | 女性 20代・30代 | 219 | 104 | 115 |
| | | 100.0 | 47.5 | 52.5 |
| | 女性 40代以上 | 283 | 175 | 108 |
| | | 100.0 | 61.8 | 38.2 |



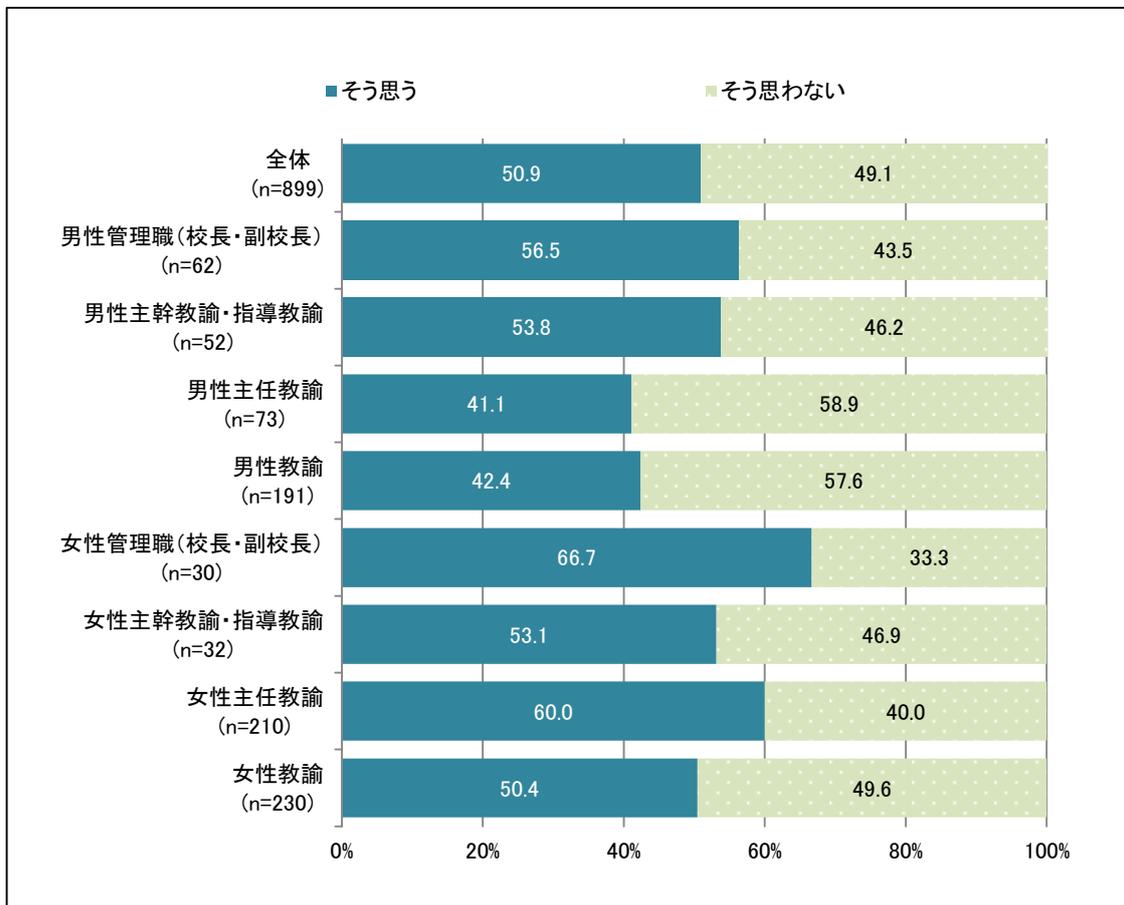
(図表IV-5-7)

○「育児休業は女性が取ったほうが良いと思う」について、全体では《そう思う》(50.9%)でほぼ5割となっている。

性別・年代別でみると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(40.6%)がほぼ4割、「40代以上」(53.4%)が5割を超えており、女性では「20代・30代」(47.5%)が5割近く、「40代以上」(61.8%)が6割を超えている。男女ともに、年齢があがるにつれ、《そう思う》の回答割合が高くなる傾向が見られた。

(5) 育児休業は女性が取ったほうが良いと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|----------------|----------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 458 | 441 |
| | | 100.0 | 50.9 | 49.1 |
| 性別・役職 | 男性 管理職(校長・副校長) | 62 | 35 | 27 |
| | | 100.0 | 56.5 | 43.5 |
| | 男性 主幹教諭・指導教諭 | 52 | 28 | 24 |
| | | 100.0 | 53.8 | 46.2 |
| | 男性 主任教諭 | 73 | 30 | 43 |
| | | 100.0 | 41.1 | 58.9 |
| | 男性 教諭 | 191 | 81 | 110 |
| | | 100.0 | 42.4 | 57.6 |
| 女性 管理職(校長・副校長) | 30 | 20 | 10 | |
| | 100.0 | 66.7 | 33.3 | |
| 女性 主幹教諭・指導教諭 | 32 | 17 | 15 | |
| | 100.0 | 53.1 | 46.9 | |
| 女性 主任教諭 | 210 | 126 | 84 | |
| | 100.0 | 60.0 | 40.0 | |
| 女性 教諭 | 230 | 116 | 114 | |
| | 100.0 | 50.4 | 49.6 | |



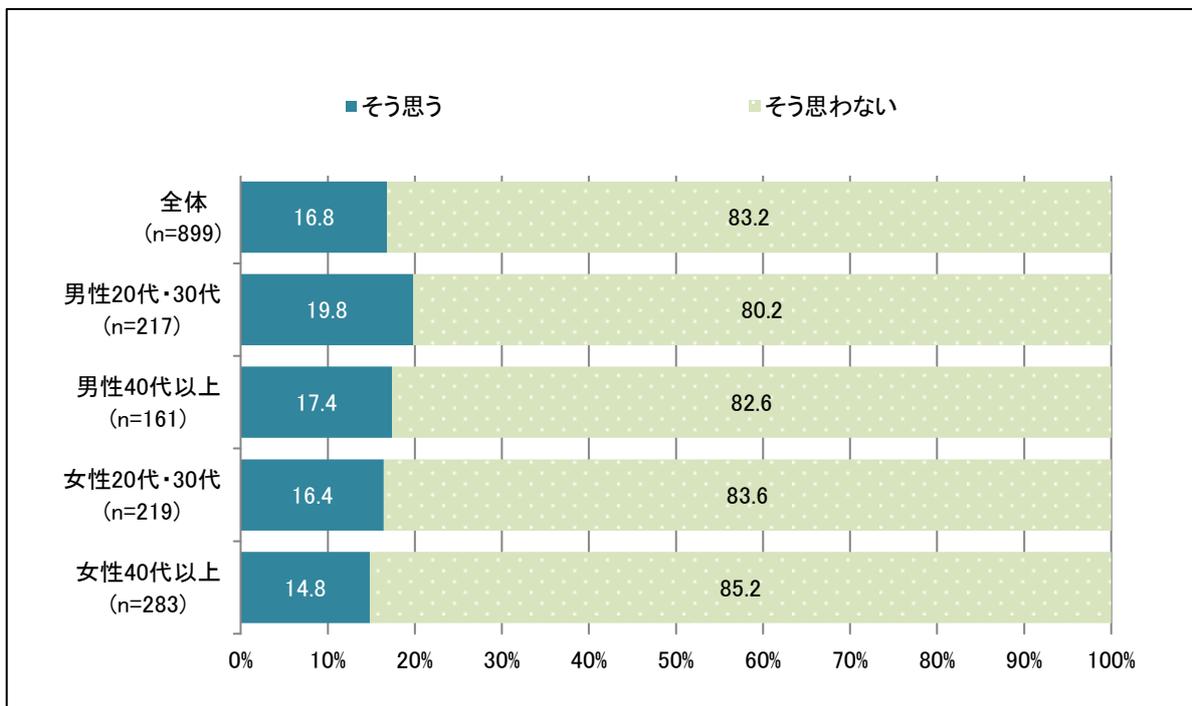
(図表IV-5-8)

○「育児休業は女性が取ったほうが良いと思う」について、全体では《そう思う》(50.9%)でほぼ5割となっている。

性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(56.5%)が6割近く、「主幹教諭・指導教諭」(53.8%)が5割超え、「主任教諭」(41.1%)と「教諭」(42.4%)がともに4割超えとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(66.7%)が7割近く、「主幹教諭・指導教諭」(53.1%)が5割超え、「主任教諭」(60.0%)が6割、「教諭」(50.4%)が5割となっている。

(8) 介護休業は女性が取ったほうが良いと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-------|------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 151 | 748 |
| | | 100.0 | 16.8 | 83.2 |
| 性別・年代 | 男性 20代・30代 | 217 | 43 | 174 |
| | | 100.0 | 19.8 | 80.2 |
| | 男性 40代以上 | 161 | 28 | 133 |
| | | 100.0 | 17.4 | 82.6 |
| | 女性 20代・30代 | 219 | 36 | 183 |
| | | 100.0 | 16.4 | 83.6 |
| | 女性 40代以上 | 283 | 42 | 241 |
| | | 100.0 | 14.8 | 85.2 |



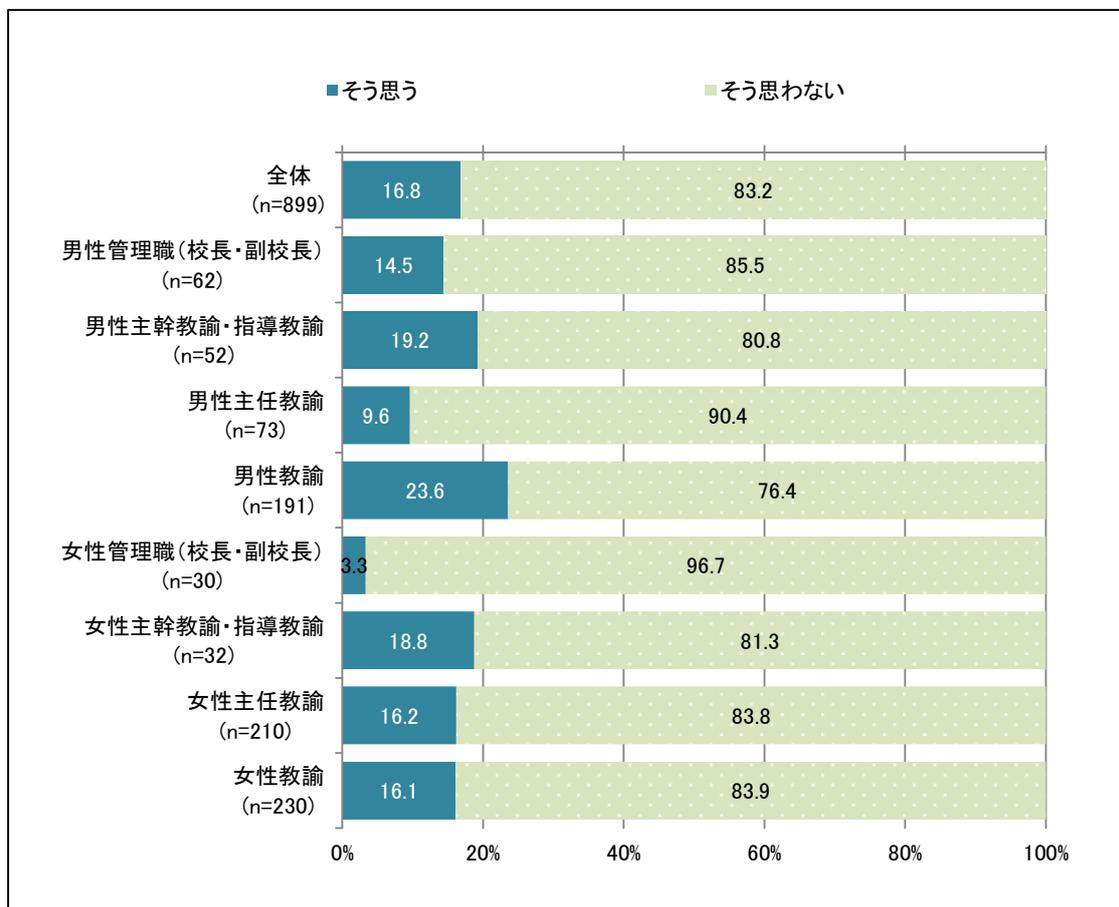
(図表IV-5-9)

○「介護休業は女性が取ったほうが良いと思う」について、全体では《そう思う》(16.8%)で2割近くとなっている。

性別・年代別で見ると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(19.8%)が2割、「40代以上」(17.4%)が2割近くとなっており、女性では「20代・30代」(16.4%)と「40代以上」(14.8%)がともに1割台半ばとなっている。

(8) 介護休業は女性が取ったほうが良いと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|----------------|----------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 151 | 748 |
| | | 100.0 | 16.8 | 83.2 |
| 性別・役職 | 男性 管理職(校長・副校長) | 62 | 9 | 53 |
| | | 100.0 | 14.5 | 85.5 |
| | 男性 主幹教諭・指導教諭 | 52 | 10 | 42 |
| | | 100.0 | 19.2 | 80.8 |
| | 男性 主任教諭 | 73 | 7 | 66 |
| | | 100.0 | 9.6 | 90.4 |
| | 男性 教諭 | 191 | 45 | 146 |
| | | 100.0 | 23.6 | 76.4 |
| 女性 管理職(校長・副校長) | 30 | 1 | 29 | |
| | 100.0 | 3.3 | 96.7 | |
| 女性 主幹教諭・指導教諭 | 32 | 6 | 26 | |
| | 100.0 | 18.8 | 81.3 | |
| 女性 主任教諭 | 210 | 34 | 176 | |
| | 100.0 | 16.2 | 83.8 | |
| 女性 教諭 | 230 | 37 | 193 | |
| | 100.0 | 16.1 | 83.9 | |



(図表IV-5-10)

○「介護休業は女性が取ったほうが良いと思う」について、全体では《そう思う》(16.8%)で2割近くとなっている。

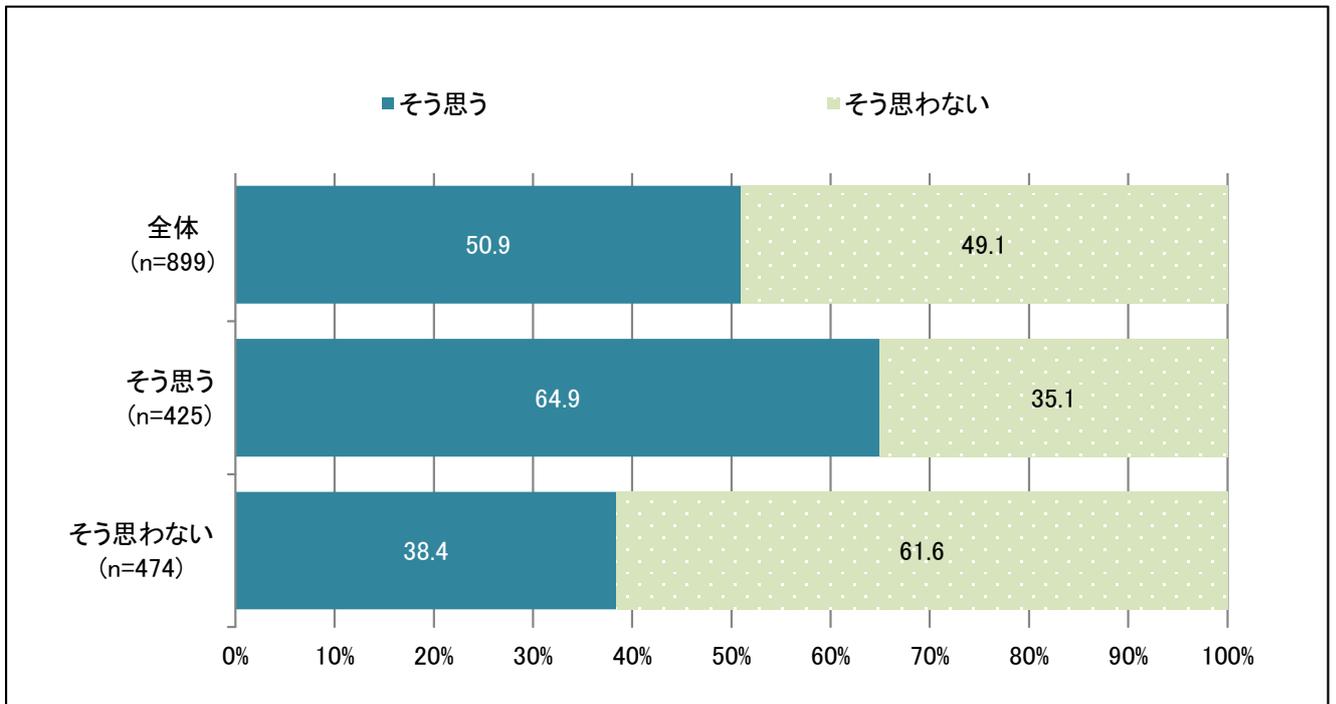
性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(14.5%)が1割台半ば、「主幹教諭・指導教諭」(19.2%)がほぼ2割、「主任教諭」(9.6%)が1割未満、「教諭」(23.6%)が2割超えとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(3.3%)がわずか、「主幹教諭・指導教諭」(18.8%)が2割近く、「主任教諭」(16.2%)と「教諭」(16.1%)がともに1割台半ばとなっている。

< 仮説・検討事項(22)>

教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、「育児休業は女性が取ったほうが良いと思う」ことに影響を与えているか

(5) 育児休業は女性が取ったほうが良いと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----------------------------------|--------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 458 50.9 | 441 49.1 |
| (4) 「男性だから」「女性だから」と思う ことがある | そう思う | 425 100.0 | 276 64.9 | 149 35.1 |
| | そう思わない | 474 100.0 | 182 38.4 | 292 61.6 |



(図表IV-5-11)

○「育児休業は女性が取ったほうが良いと思う」について、全体では《そう思う》(50.9%)でほぼ5割となっている。

『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(64.9%)が6割台半ば、《そう思わない》(38.4%)が4割近くとなっている。「育児休業は女性が取ったほうが良いと思う」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

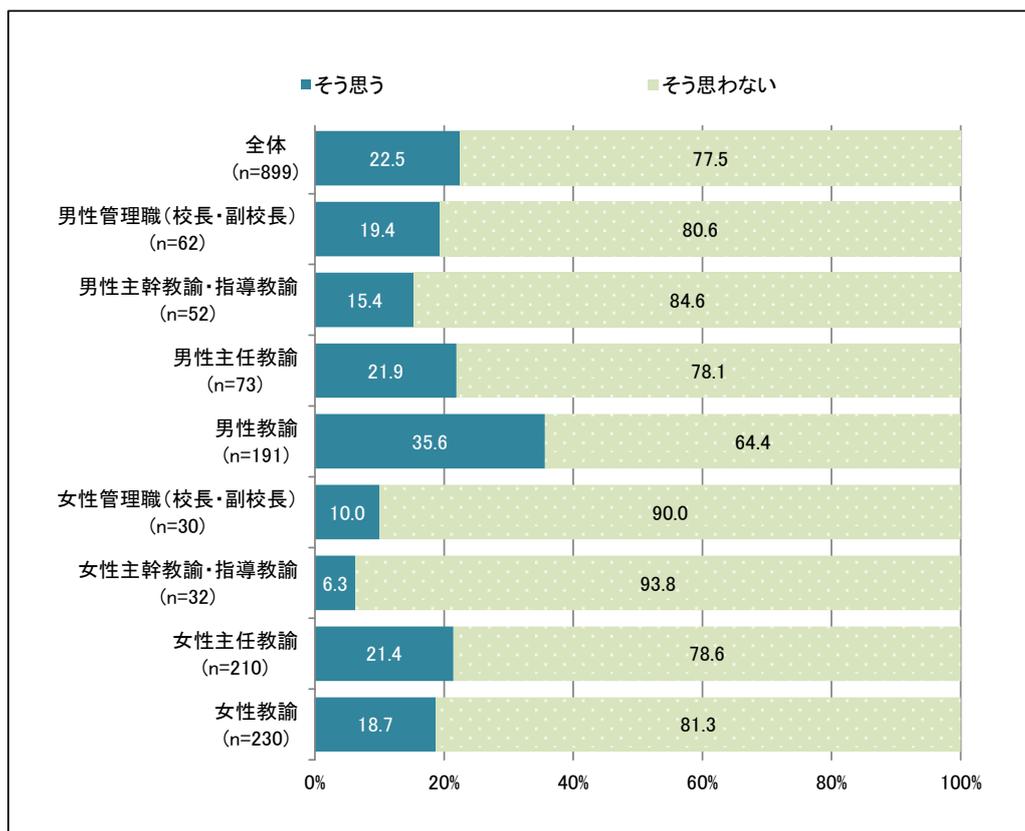
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.35であり、やや相関が見られた。

< 仮説・検討事項(23)>

教員の役職によって、「性別により仕事の役割を分けたほうがいいと思う」の回答に違いはあるか

(1 1) 性別により仕事の役割を分けたほうがいいと思う (S A)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--------------|----------------|-------|------|--------|
| 全 体 | | 899 | 202 | 697 |
| | | 100.0 | 22.5 | 77.5 |
| 性別・役職 | 男性 管理職(校長・副校長) | 62 | 12 | 50 |
| | | 100.0 | 19.4 | 80.6 |
| | 男性 主幹教諭・指導教諭 | 52 | 8 | 44 |
| | | 100.0 | 15.4 | 84.6 |
| | 男性 主任教諭 | 73 | 16 | 57 |
| | | 100.0 | 21.9 | 78.1 |
| | 男性 教諭 | 191 | 68 | 123 |
| | | 100.0 | 35.6 | 64.4 |
| | 女性 管理職(校長・副校長) | 30 | 3 | 27 |
| | 100.0 | 10.0 | 90.0 | |
| 女性 主幹教諭・指導教諭 | 32 | 2 | 30 | |
| | 100.0 | 6.3 | 93.8 | |
| 女性 主任教諭 | 210 | 45 | 165 | |
| | 100.0 | 21.4 | 78.6 | |
| 女性 教諭 | 230 | 43 | 187 | |
| | 100.0 | 18.7 | 81.3 | |



(図表IV-5-12)

○「性別により仕事の役割を分けたほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(22.5%)で2割超えとなっている。

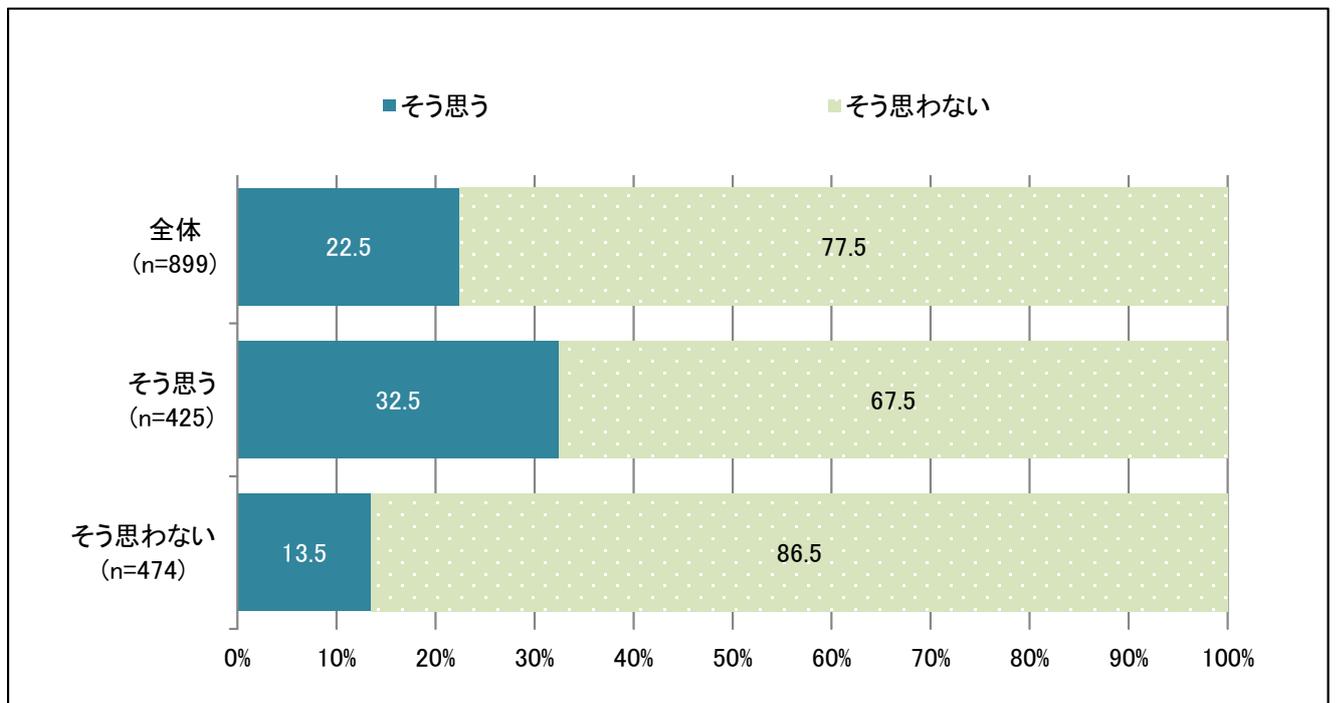
性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(19.4%)がほぼ2割、「主幹教諭・指導教諭」(15.4%)が1割台半ば、「主任教諭」(21.9%)が2割超え、「教諭」(35.6%)が3割台半ばとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(10.0%)が1割、「主幹教諭・指導教諭」(6.3%)が1割未満、「主任教諭」(21.4%)が2割超え、「教諭」(18.7%)が2割近くとなっている。

< 仮説・検討事項(24)>

教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答に影響しているか

(11) 性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----------------------------------|--------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 202 22.5 | 697 77.5 |
| (4) 「男性だから」「女性だから」と思う ことがある | そう思う | 425 100.0 | 138 32.5 | 287 67.5 |
| | そう思わない | 474 100.0 | 64 13.5 | 410 86.5 |



(図表IV-5-13)

○「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について、全体では《そう思う》(22.5%)で2割を超えている。

『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(32.5%)が3割超え、《そう思わない》(13.5%)が1割を超えている。

「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$)が見られた。

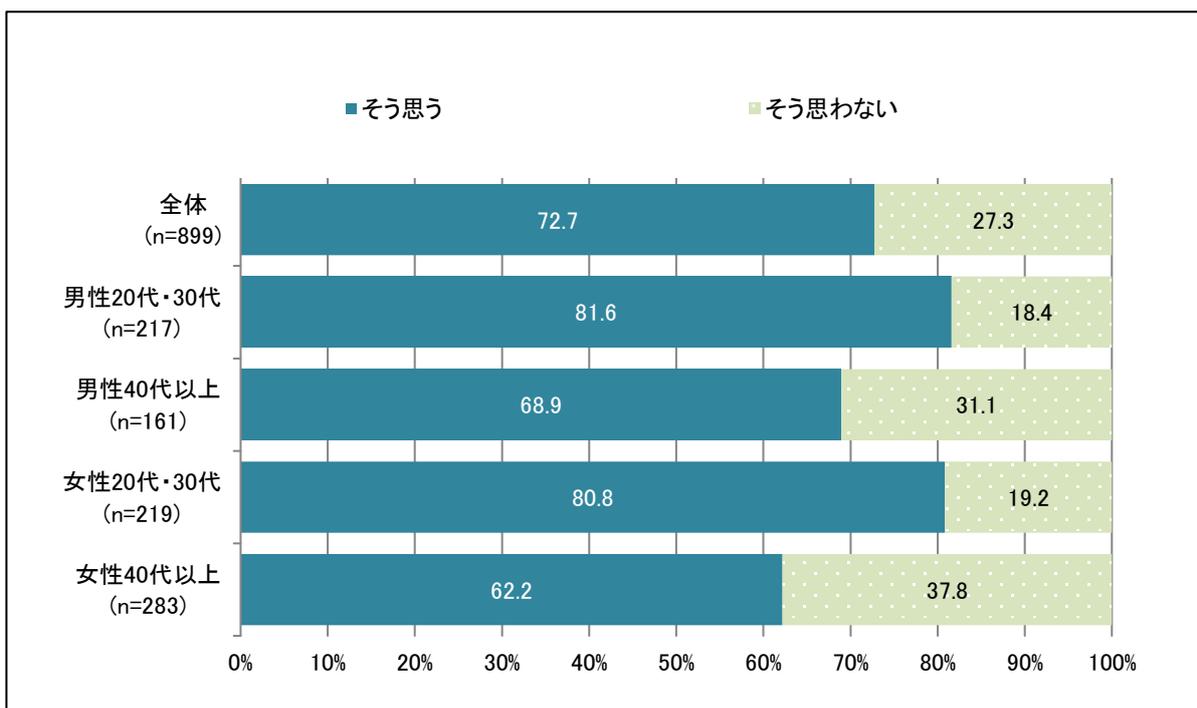
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.37であり、やや相関が見られた。

< 仮説・検討事項(25)>

「子育て中の男性/女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」の回答について、男性教員と女性教員により違いが生じる要因に年代・役職による差があるか

(6) 子育て中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-------|------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 654 | 245 |
| | | 100.0 | 72.7 | 27.3 |
| 性別・年代 | 男性 20代・30代 | 217 | 177 | 40 |
| | | 100.0 | 81.6 | 18.4 |
| | 男性 40代以上 | 161 | 111 | 50 |
| | | 100.0 | 68.9 | 31.1 |
| | 女性 20代・30代 | 219 | 177 | 42 |
| | | 100.0 | 80.8 | 19.2 |
| | 女性 40代以上 | 283 | 176 | 107 |
| | | 100.0 | 62.2 | 37.8 |



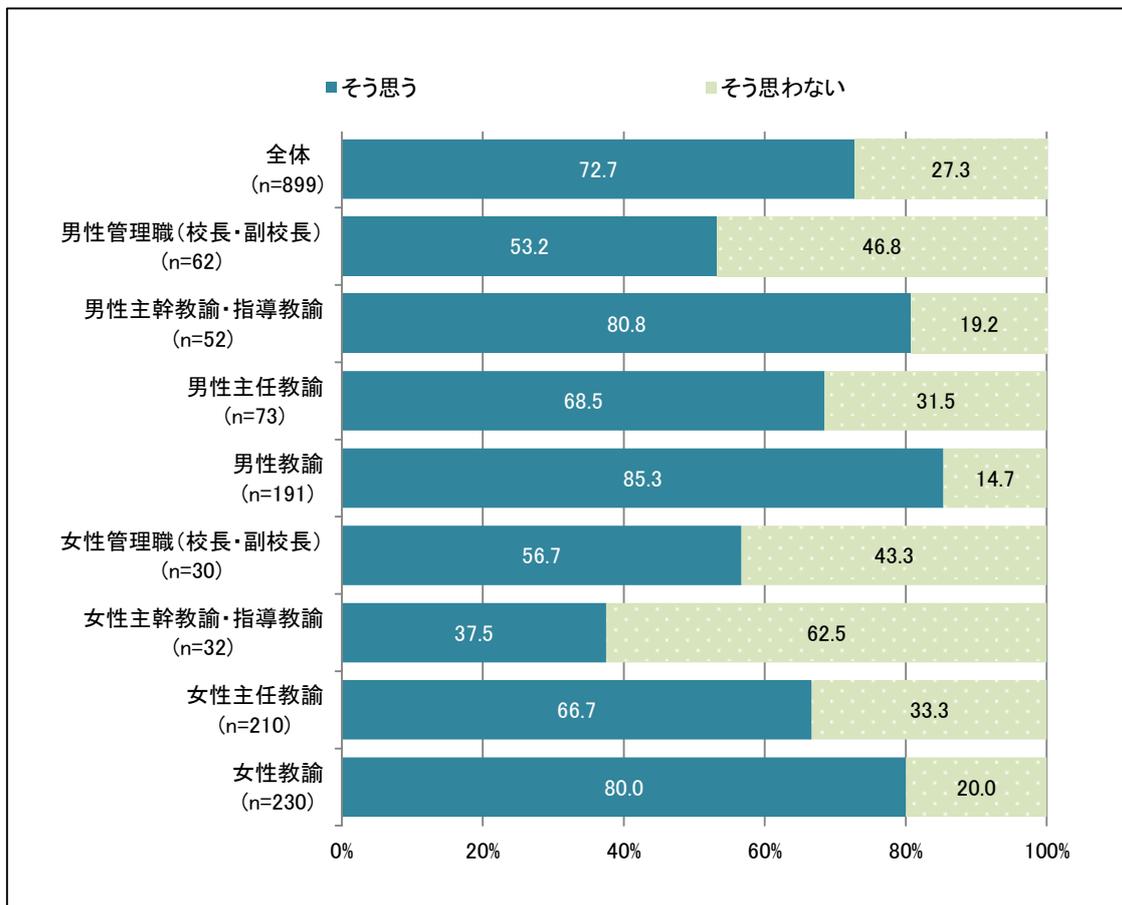
(図表IV-5-14)

○「子育て中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(72.7%)で7割を超えている。

性別・年代別でみると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(81.6%)が8割超え、「40代以上」(68.9%)が7割近くとなっており、女性では「20代・30代」(80.8%)がほぼ8割、「40代以上」(62.2%)が6割を超えている。男女ともに、年代があがるにつれ、《そう思う》の回答割合が低くなる傾向が見られた。

(6) 子育て中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (S A)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|----------------|----------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 654 | 245 |
| | | 100.0 | 72.7 | 27.3 |
| 性別・役職 | 男性 管理職(校長・副校長) | 62 | 33 | 29 |
| | | 100.0 | 53.2 | 46.8 |
| | 男性 主幹教諭・指導教諭 | 52 | 42 | 10 |
| | | 100.0 | 80.8 | 19.2 |
| | 男性 主任教諭 | 73 | 50 | 23 |
| | | 100.0 | 68.5 | 31.5 |
| | 男性 教諭 | 191 | 163 | 28 |
| | | 100.0 | 85.3 | 14.7 |
| 女性 管理職(校長・副校長) | 30 | 17 | 13 | |
| | 100.0 | 56.7 | 43.3 | |
| 女性 主幹教諭・指導教諭 | 32 | 12 | 20 | |
| | 100.0 | 37.5 | 62.5 | |
| 女性 主任教諭 | 210 | 140 | 70 | |
| | 100.0 | 66.7 | 33.3 | |
| 女性 教諭 | 230 | 184 | 46 | |
| | 100.0 | 80.0 | 20.0 | |



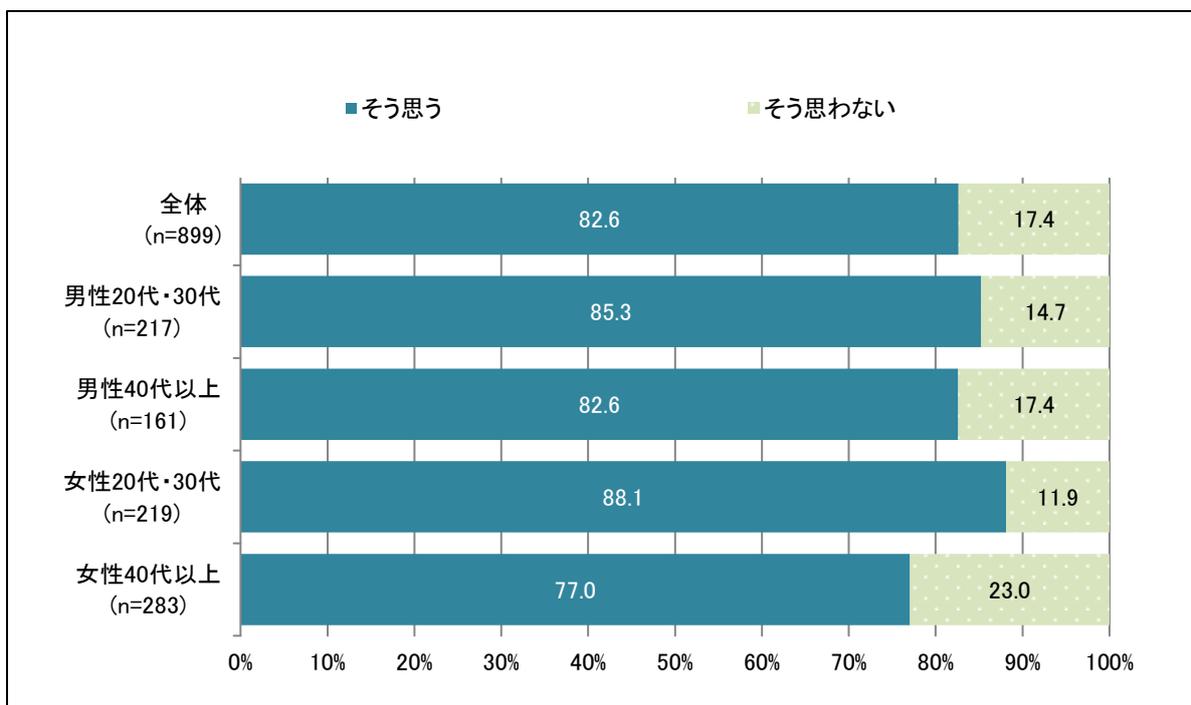
(図表IV-5-15)

○「子育て中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」について、全体では「そう思う」(72.7%)で7割を超えている。

性別・役職別でみると、「そう思う」について、男性では「管理職(校長・副校長)」(53.2%)が5割超え、「主幹教諭・指導教諭」(80.8%)がほぼ8割、「主任教諭」(68.5%)が7割近く、「教諭」(85.3%)が8割台半ばとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(56.7%)が6割近く、「主幹教諭・指導教諭」(37.5%)が4割近く、「主任教諭」(66.7%)が7割近く、「教諭」(80.0%)が8割となっている。

(7) 子育て中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (S A)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-------|------------|-------|------|--------|
| 全 体 | | 899 | 743 | 156 |
| | | 100.0 | 82.6 | 17.4 |
| 性別・年代 | 男性 20代・30代 | 217 | 185 | 32 |
| | | 100.0 | 85.3 | 14.7 |
| | 男性 40代以上 | 161 | 133 | 28 |
| | | 100.0 | 82.6 | 17.4 |
| | 女性 20代・30代 | 219 | 193 | 26 |
| | | 100.0 | 88.1 | 11.9 |
| | 女性 40代以上 | 283 | 218 | 65 |
| | | 100.0 | 77.0 | 23.0 |



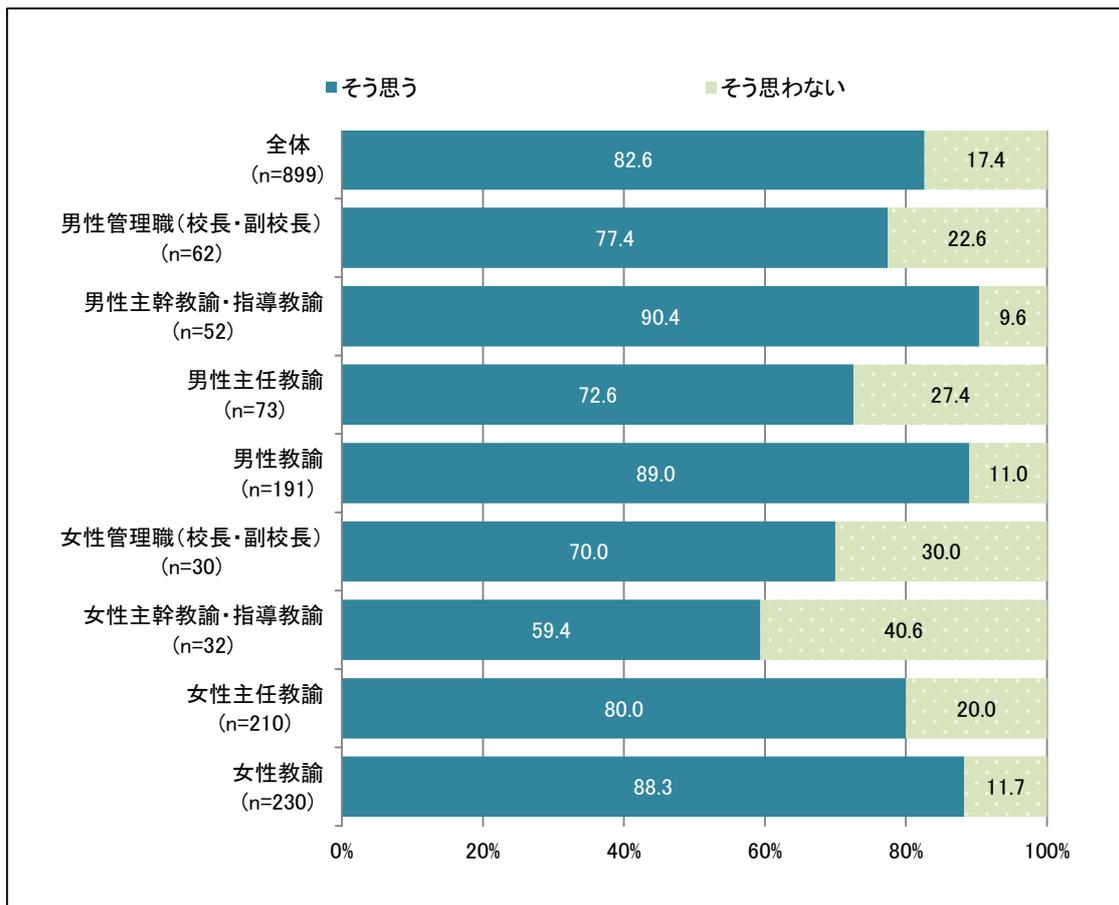
(図表IV-5-16)

○「子育て中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(82.6%)で8割を超えている。

性別・年代別で見ると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(85.3%)が8割台半ば、「40代以上」(82.6%)が8割超えとなっており、女性では「20代・30代」(88.1%)が9割近く、「40代以上」(77.0%)が8割近くとなっている。女性では、年代により《そう思う》の回答割合に大きな差が見られた。

(7) 子育て中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (S A)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|----------------|----------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 743 | 156 |
| | | 100.0 | 82.6 | 17.4 |
| 性別・役職 | 男性 管理職(校長・副校長) | 62 | 48 | 14 |
| | | 100.0 | 77.4 | 22.6 |
| | 男性 主幹教諭・指導教諭 | 52 | 47 | 5 |
| | | 100.0 | 90.4 | 9.6 |
| | 男性 主任教諭 | 73 | 53 | 20 |
| | | 100.0 | 72.6 | 27.4 |
| | 男性 教諭 | 191 | 170 | 21 |
| | | 100.0 | 89.0 | 11.0 |
| 女性 管理職(校長・副校長) | 30 | 21 | 9 | |
| | 100.0 | 70.0 | 30.0 | |
| 女性 主幹教諭・指導教諭 | 32 | 19 | 13 | |
| | 100.0 | 59.4 | 40.6 | |
| 女性 主任教諭 | 210 | 168 | 42 | |
| | 100.0 | 80.0 | 20.0 | |
| 女性 教諭 | 230 | 203 | 27 | |
| | 100.0 | 88.3 | 11.7 | |



(図表IV-5-17)

○「子育て中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」について、全体では「そう思う」(82.6%)で8割を超えている。

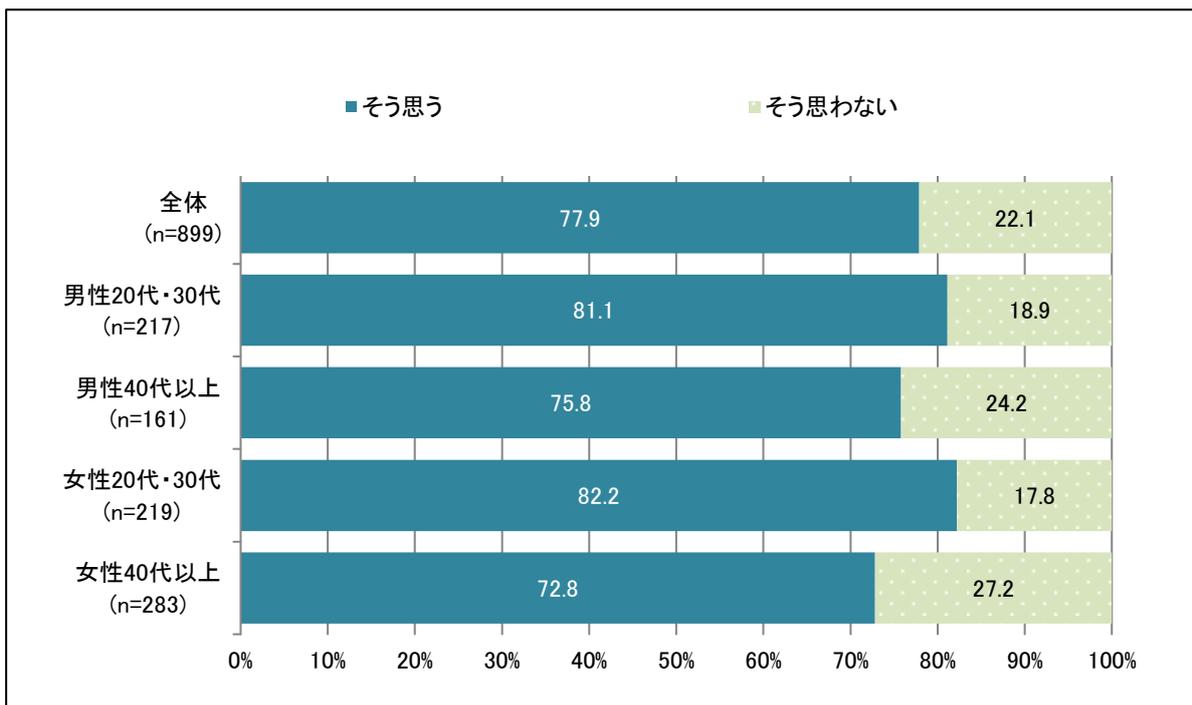
性別・役職別でみると、「そう思う」について、男性では「管理職(校長・副校長)」(77.4%)が8割近く、「主幹教諭・指導教諭」(90.4%)が9割、「主任教諭」(72.6%)が7割超え、「教諭」(89.0%)がほぼ9割となっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(70.0%)が7割、「主幹教諭・指導教諭」(59.4%)がほぼ6割、「主任教諭」(80.0%)が8割、「教諭」(88.3%)が9割近くとなっている。

< 仮説・検討事項(26)>

「介護中の男性/女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」の回答について、男性教員と女性教員により違いが生じる要因に年代・役職による差があるか

(9) 介護中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-------|------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 700 | 199 |
| | | 100.0 | 77.9 | 22.1 |
| 性別・年代 | 男性 20代・30代 | 217 | 176 | 41 |
| | | 100.0 | 81.1 | 18.9 |
| | 男性 40代以上 | 161 | 122 | 39 |
| | | 100.0 | 75.8 | 24.2 |
| | 女性 20代・30代 | 219 | 180 | 39 |
| | | 100.0 | 82.2 | 17.8 |
| | 女性 40代以上 | 283 | 206 | 77 |
| | | 100.0 | 72.8 | 27.2 |



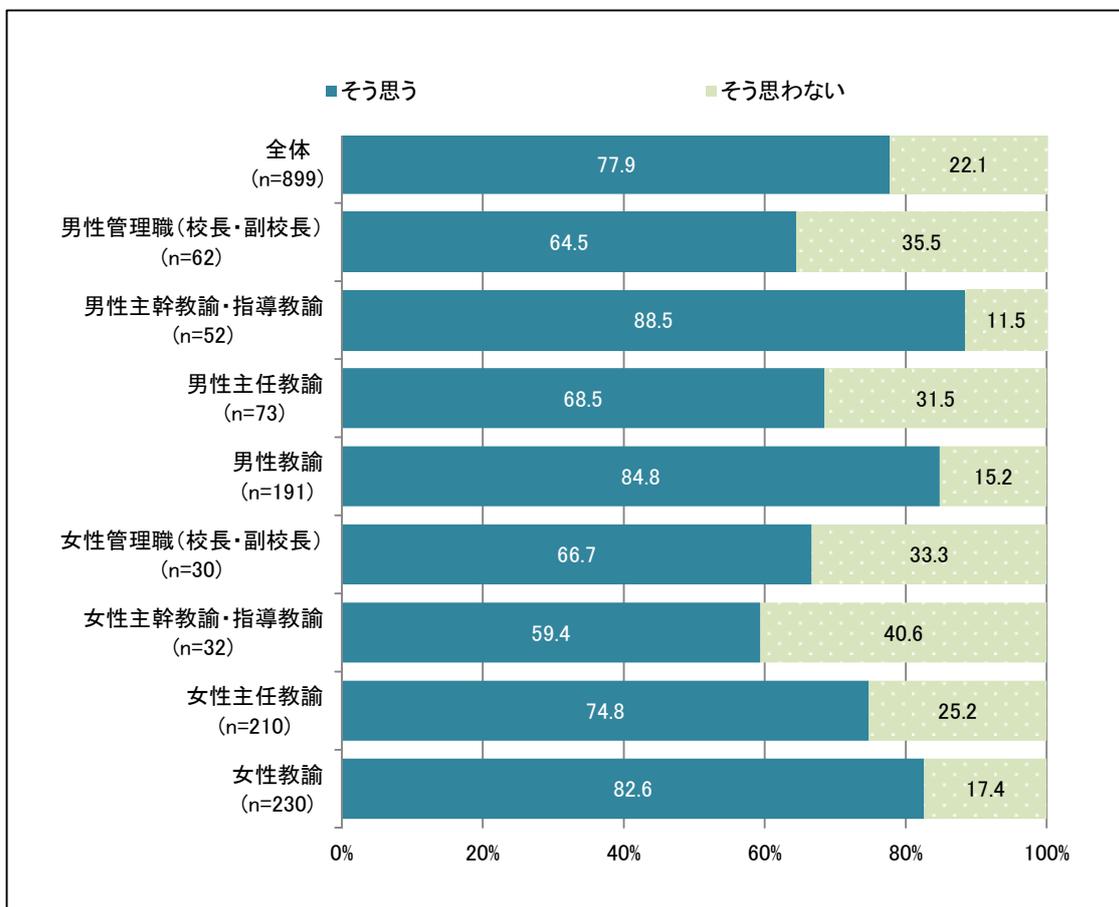
(図表IV-5-18)

○「介護中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(77.9%)で8割近くとなっている。

性別・年代別でみると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(81.1%)が8割超え、「40代以上」(75.8%)が7割台半ばとなっており、女性では「20代・30代」(82.2%)が8割超え、「40代以上」(72.8%)が7割を超えている。

(9) 介護中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (S A)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|----------------|----------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 700 | 199 |
| | | 100.0 | 77.9 | 22.1 |
| 性別・役職 | 男性 管理職(校長・副校長) | 62 | 40 | 22 |
| | | 100.0 | 64.5 | 35.5 |
| | 男性 主幹教諭・指導教諭 | 52 | 46 | 6 |
| | | 100.0 | 88.5 | 11.5 |
| | 男性 主任教諭 | 73 | 50 | 23 |
| | | 100.0 | 68.5 | 31.5 |
| | 男性 教諭 | 191 | 162 | 29 |
| | | 100.0 | 84.8 | 15.2 |
| 女性 管理職(校長・副校長) | 30 | 20 | 10 | |
| | 100.0 | 66.7 | 33.3 | |
| 女性 主幹教諭・指導教諭 | 32 | 19 | 13 | |
| | 100.0 | 59.4 | 40.6 | |
| 女性 主任教諭 | 210 | 157 | 53 | |
| | 100.0 | 74.8 | 25.2 | |
| 女性 教諭 | 230 | 190 | 40 | |
| | 100.0 | 82.6 | 17.4 | |



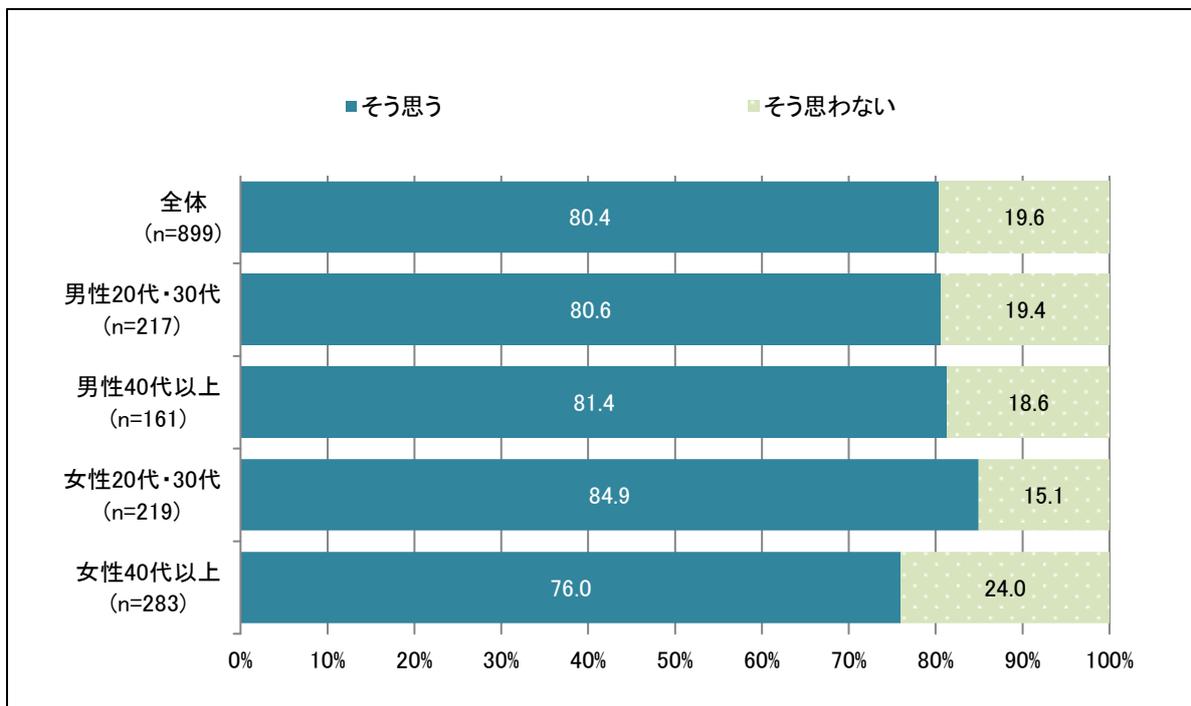
(図表IV-5-19)

○「介護中の男性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(77.9%)で8割近くとなっている。

性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(64.5%)が6割台半ば、「主幹教諭・指導教諭」(88.5%)が9割近く、「主任教諭」(68.5%)が7割近く、「教諭」(84.8%)が8割台半ばとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(66.7%)が7割近く、「主幹教諭・指導教諭」(59.4%)がほぼ6割、「主任教諭」(74.8%)が7割台半ば、「教諭」(82.6%)が8割を超えている。

(10) 介護中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-------|------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 723 | 176 |
| | | 100.0 | 80.4 | 19.6 |
| 性別・年代 | 男性 20代・30代 | 217 | 175 | 42 |
| | | 100.0 | 80.6 | 19.4 |
| | 男性 40代以上 | 161 | 131 | 30 |
| | | 100.0 | 81.4 | 18.6 |
| | 女性 20代・30代 | 219 | 186 | 33 |
| | | 100.0 | 84.9 | 15.1 |
| | 女性 40代以上 | 283 | 215 | 68 |
| | | 100.0 | 76.0 | 24.0 |



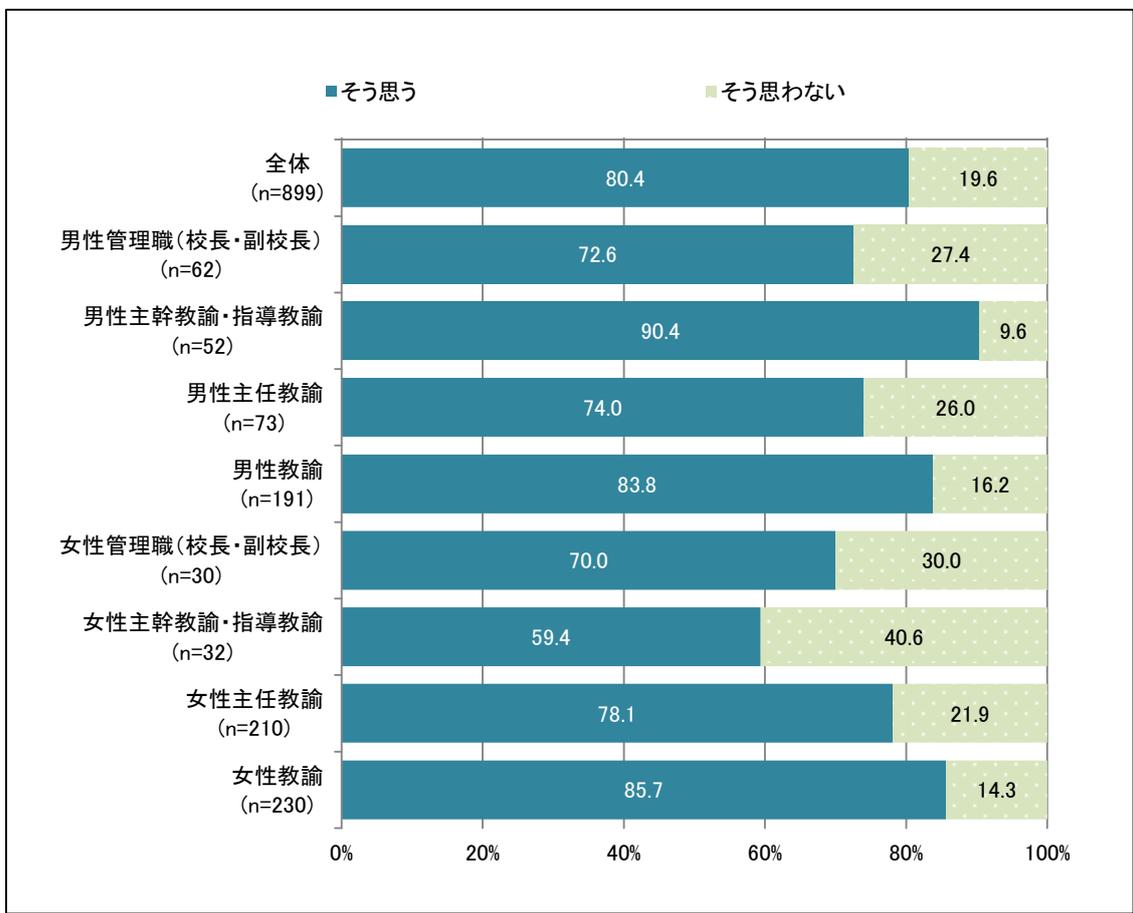
(図表IV-5-20)

○「介護中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(80.4%)で8割となっている。

性別・年代別で見ると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(80.6%)がほぼ8割、「40代以上」(81.4%)が8割超えとなっており、女性では「20代・30代」(84.9%)が8割台半ば、「40代以上」(76.0%)が7割台半ばとなっている。

(10) 介護中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|----------------|----------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 723 | 176 |
| | | 100.0 | 80.4 | 19.6 |
| 性別・役職 | 男性 管理職(校長・副校長) | 62 | 45 | 17 |
| | | 100.0 | 72.6 | 27.4 |
| | 男性 主幹教諭・指導教諭 | 52 | 47 | 5 |
| | | 100.0 | 90.4 | 9.6 |
| | 男性 主任教諭 | 73 | 54 | 19 |
| | | 100.0 | 74.0 | 26.0 |
| | 男性 教諭 | 191 | 160 | 31 |
| | | 100.0 | 83.8 | 16.2 |
| 女性 管理職(校長・副校長) | 30 | 21 | 9 | |
| | 100.0 | 70.0 | 30.0 | |
| 女性 主幹教諭・指導教諭 | 32 | 19 | 13 | |
| | 100.0 | 59.4 | 40.6 | |
| 女性 主任教諭 | 210 | 164 | 46 | |
| | 100.0 | 78.1 | 21.9 | |
| 女性 教諭 | 230 | 197 | 33 | |
| | 100.0 | 85.7 | 14.3 | |



(図表IV-5-21)

○「介護中の女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」について、全体では「そう思う」(80.4%)で8割となっている。

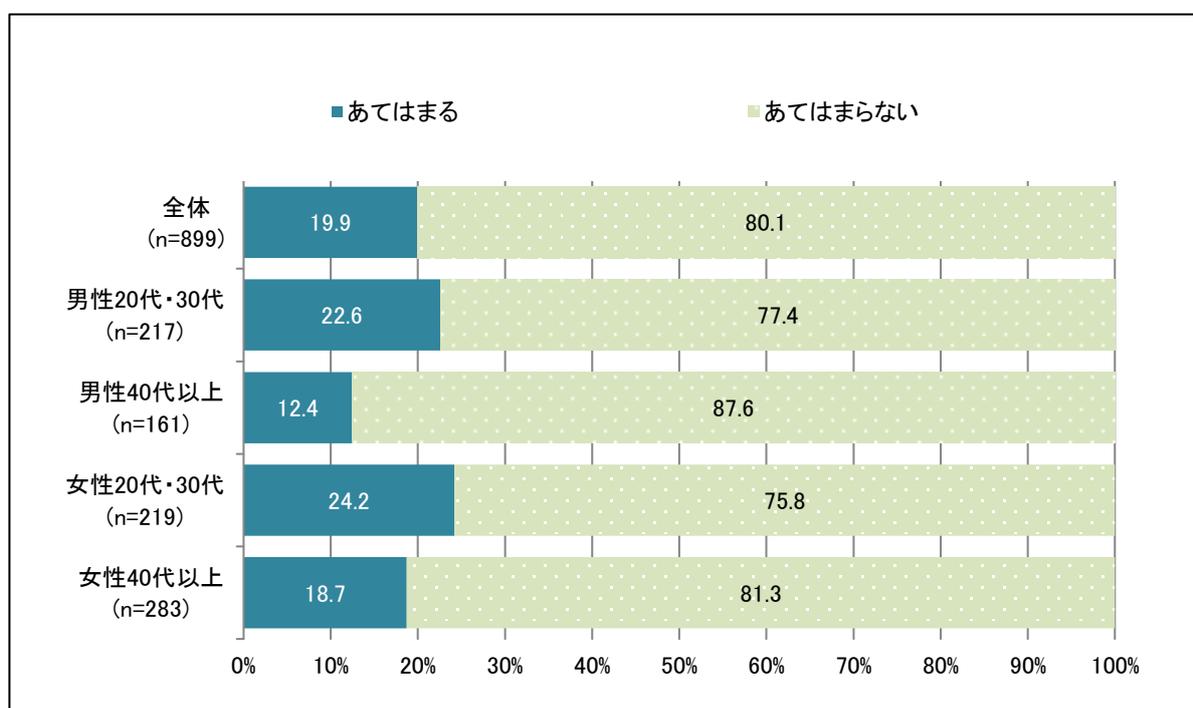
性別・役職別でみると、「そう思う」について、男性では「管理職(校長・副校長)」(72.6%)が7割超え、「主幹教諭・指導教諭」(90.4%)が9割、「主任教諭」(74.0%)が7割台半ば、「教諭」(83.8%)が8割超えとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(70.0%)が7割、「主幹教諭・指導教諭」(59.4%)がほぼ6割、「主任教諭」(78.1%)が8割近く、「教諭」(85.7%)が8割台半ばとなっている。

< 仮説・検討事項(27)>

教員の年代・役職によって、「重要な仕事は男性教員に任されていることが多い」の回答に違いがあるか

(13) 重要な仕事は男性教員に任されていることが多い (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|-------|------------|-------|-------|---------|
| 全体 | | 899 | 179 | 720 |
| | | 100.0 | 19.9 | 80.1 |
| 性別・年代 | 男性 20代・30代 | 217 | 49 | 168 |
| | | 100.0 | 22.6 | 77.4 |
| | 男性 40代以上 | 161 | 20 | 141 |
| | | 100.0 | 12.4 | 87.6 |
| | 女性 20代・30代 | 219 | 53 | 166 |
| | | 100.0 | 24.2 | 75.8 |
| | 女性 40代以上 | 283 | 53 | 230 |
| | | 100.0 | 18.7 | 81.3 |



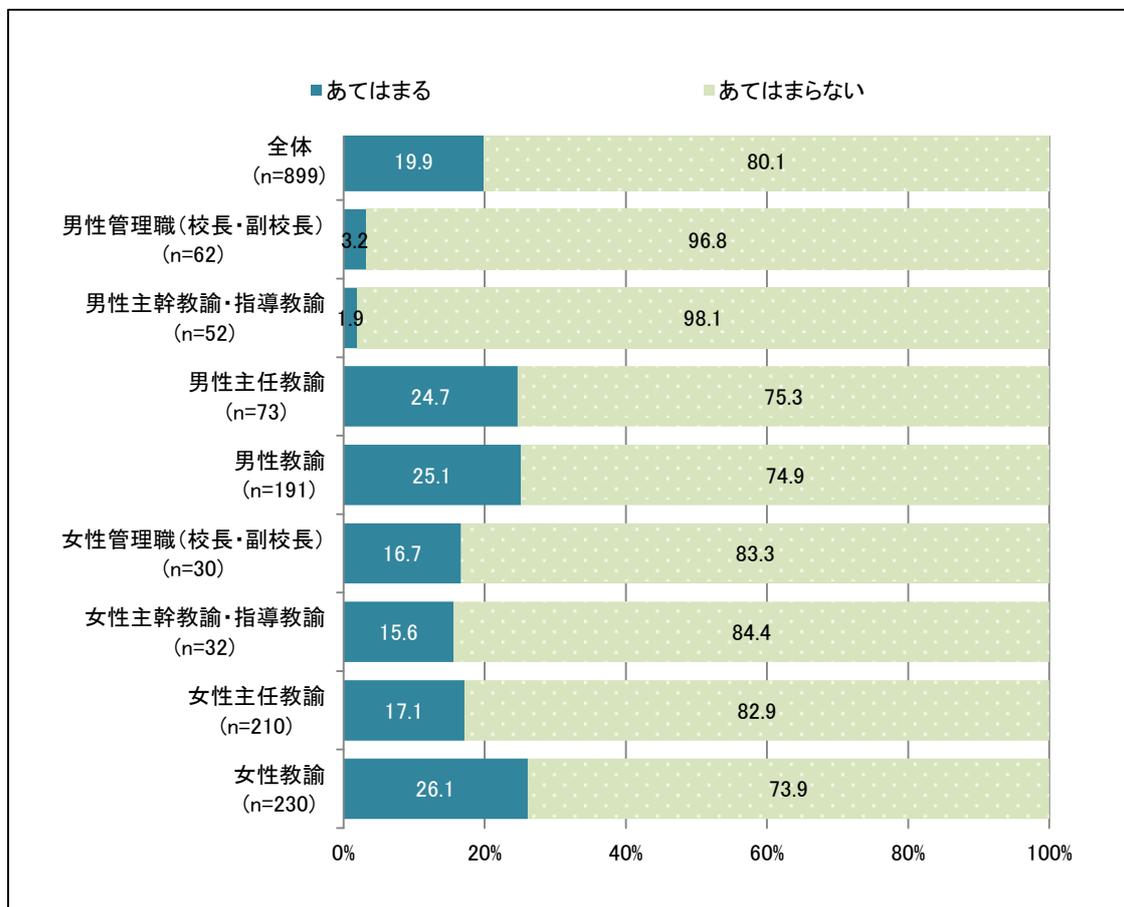
(図表IV-5-2)

○「重要な仕事は男性教員に任されていることが多い」について、全体では《あてはまる》(19.9%)で2割となっている。

性別・年代別でみると、《あてはまる》について、男性では「20代・30代」(22.6%)が2割超え、「40代以上」(12.4%)が1割超えとなっており、女性では「20代・30代」(24.2%)が2割台半ば、「40代以上」(18.7%)が2割近くとなっている。男性では、年代により《あてはまる》の回答割合に大きな差が見られた。

(13) 重要な仕事は男性教員に任されていることが多い (SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|---------|----------------|-------|-------|---------|
| 全体 | | 899 | 179 | 720 |
| | | 100.0 | 19.9 | 80.1 |
| 性別・役職 | 男性 管理職(校長・副校長) | 62 | 2 | 60 |
| | | 100.0 | 3.2 | 96.8 |
| | 男性 主幹教諭・指導教諭 | 52 | 1 | 51 |
| | | 100.0 | 1.9 | 98.1 |
| | 男性 主任教諭 | 73 | 18 | 55 |
| | | 100.0 | 24.7 | 75.3 |
| | 男性 教諭 | 191 | 48 | 143 |
| | | 100.0 | 25.1 | 74.9 |
| 女性 | 女性 管理職(校長・副校長) | 30 | 5 | 25 |
| | | 100.0 | 16.7 | 83.3 |
| | 女性 主幹教諭・指導教諭 | 32 | 5 | 27 |
| | | 100.0 | 15.6 | 84.4 |
| 女性 主任教諭 | 210 | 36 | 174 | |
| | 100.0 | 17.1 | 82.9 | |
| 女性 教諭 | 230 | 60 | 170 | |
| | 100.0 | 26.1 | 73.9 | |



(図表IV-5-23)

○「重要な仕事は男性教員に任されていることが多い」について、全体では《あてはまる》(19.9%)で2割となっている。

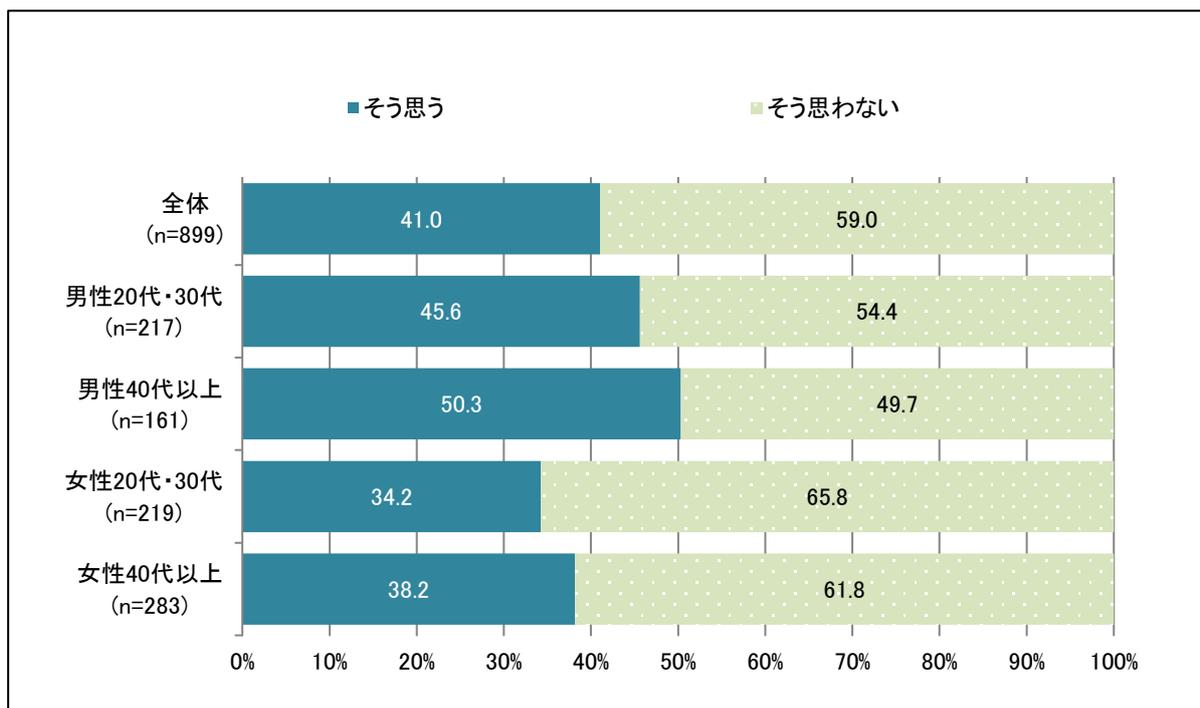
性別・役職別でみると、《あてはまる》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(3.2%)と「主幹教諭・指導教諭」(1.9%)がともにわずか、「主任教諭」(24.7%)と「教諭」(25.1%)がともに2割台半ばとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(16.7%)が2割近く、「主幹教諭・指導教諭」(15.6%)が1割台半ば、「主任教諭」(17.1%)が2割近く、「教諭」(26.1%)が2割台半ばとなっている。

< 仮説・検討事項(28)>

教員の年代・役職によって、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答に違いがあるか

(21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-------|------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 369 | 530 |
| | | 100.0 | 41.0 | 59.0 |
| 性別・年代 | 男性 20代・30代 | 217 | 99 | 118 |
| | | 100.0 | 45.6 | 54.4 |
| | 男性 40代以上 | 161 | 81 | 80 |
| | | 100.0 | 50.3 | 49.7 |
| | 女性 20代・30代 | 219 | 75 | 144 |
| | | 100.0 | 34.2 | 65.8 |
| | 女性 40代以上 | 283 | 108 | 175 |
| | | 100.0 | 38.2 | 61.8 |



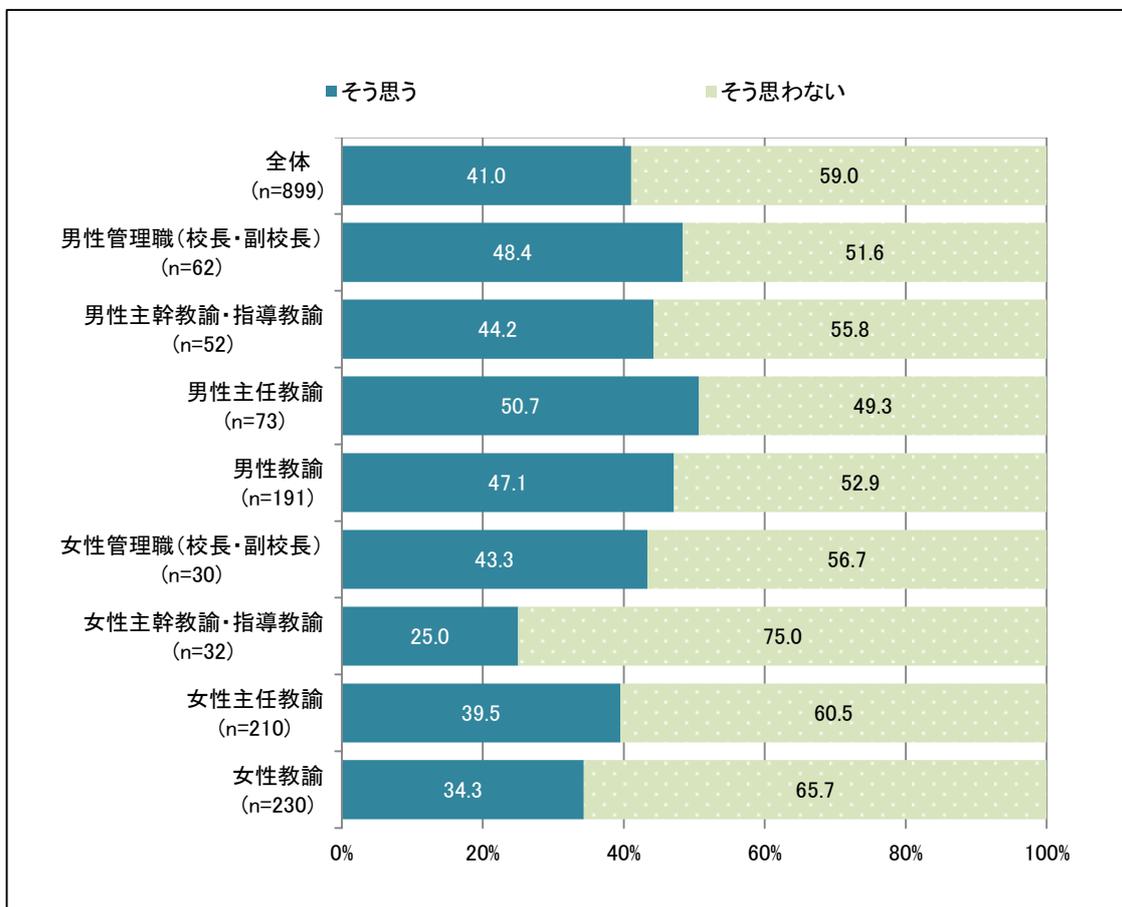
(図表IV-5-24)

○「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、全体では《そう思う》(41.0%)で4割を超えている。

性別・年代別でみると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(45.6%)が4割台半ば、「40代以上」(50.3%)が5割となっており、女性では「20代・30代」(34.2%)が3割台半ば、「40代以上」(38.2%)が4割近くとなっている。

(21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|----------------|----------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 369 | 530 |
| | | 100.0 | 41.0 | 59.0 |
| 性別・役職 | 男性 管理職(校長・副校長) | 62 | 30 | 32 |
| | | 100.0 | 48.4 | 51.6 |
| | 男性 主幹教諭・指導教諭 | 52 | 23 | 29 |
| | | 100.0 | 44.2 | 55.8 |
| | 男性 主任教諭 | 73 | 37 | 36 |
| | | 100.0 | 50.7 | 49.3 |
| | 男性 教諭 | 191 | 90 | 101 |
| | | 100.0 | 47.1 | 52.9 |
| 女性 管理職(校長・副校長) | 30 | 13 | 17 | |
| | 100.0 | 43.3 | 56.7 | |
| 女性 主幹教諭・指導教諭 | 32 | 8 | 24 | |
| | 100.0 | 25.0 | 75.0 | |
| 女性 主任教諭 | 210 | 83 | 127 | |
| | 100.0 | 39.5 | 60.5 | |
| 女性 教諭 | 230 | 79 | 151 | |
| | 100.0 | 34.3 | 65.7 | |



(図表IV-5-25)

○「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、全体では《そう思う》(41.0%)で4割を超えている。

性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(48.4%)が5割近く、「主幹教諭・指導教諭」(44.2%)が4割台半ば、「主任教諭」(50.7%)がほぼ5割、「教諭」(47.1%)が5割近くとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(43.3%)が4割超え、「主幹教諭・指導教諭」(25.0%)が2割台半ば、「主任教諭」(39.5%)が4割、「教諭」(34.3%)が3割台半ばとなっている。

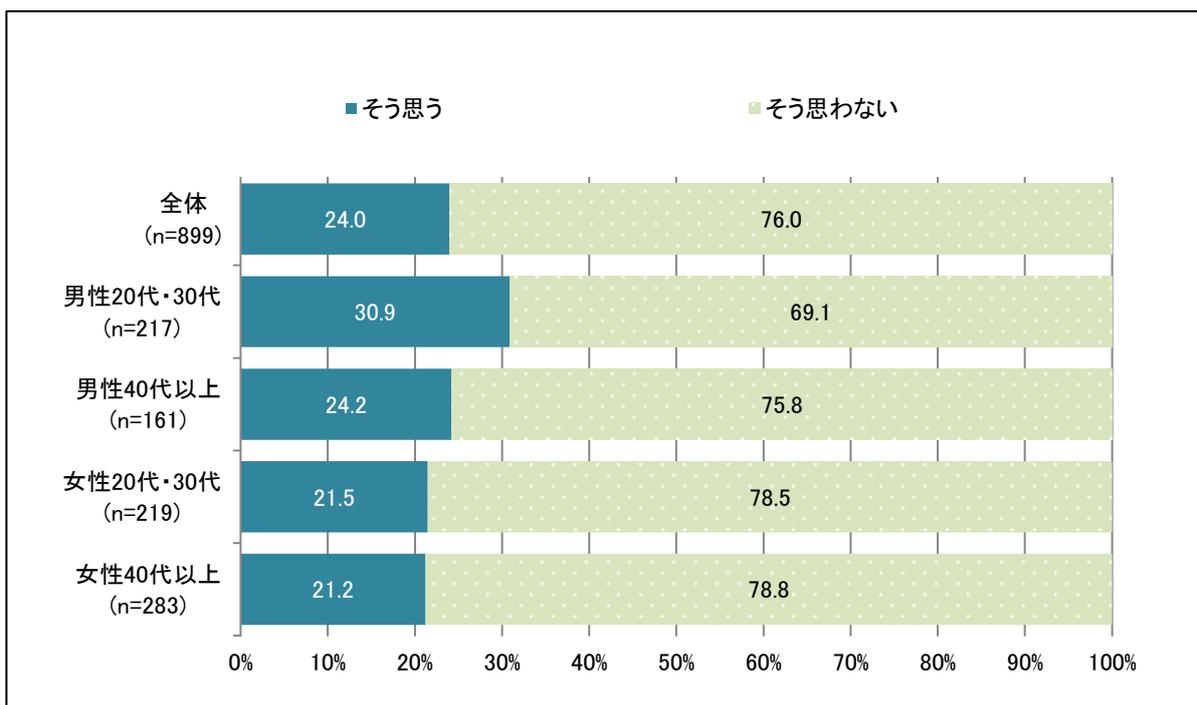
③ 児童の教科の得意・不得意に関する意識の年代・役職差

< 仮説・検討事項(29) >

教員の年代・役職によって、児童の教科の得意・不得意について、「性別による違いがあると思う」ことに違いはあるか

(15) 性別で教科の得意、不得意があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-------|------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 216 | 683 |
| | | 100.0 | 24.0 | 76.0 |
| 性別・年代 | 男性 20代・30代 | 217 | 67 | 150 |
| | | 100.0 | 30.9 | 69.1 |
| | 男性 40代以上 | 161 | 39 | 122 |
| | | 100.0 | 24.2 | 75.8 |
| | 女性 20代・30代 | 219 | 47 | 172 |
| | | 100.0 | 21.5 | 78.5 |
| | 女性 40代以上 | 283 | 60 | 223 |
| | | 100.0 | 21.2 | 78.8 |



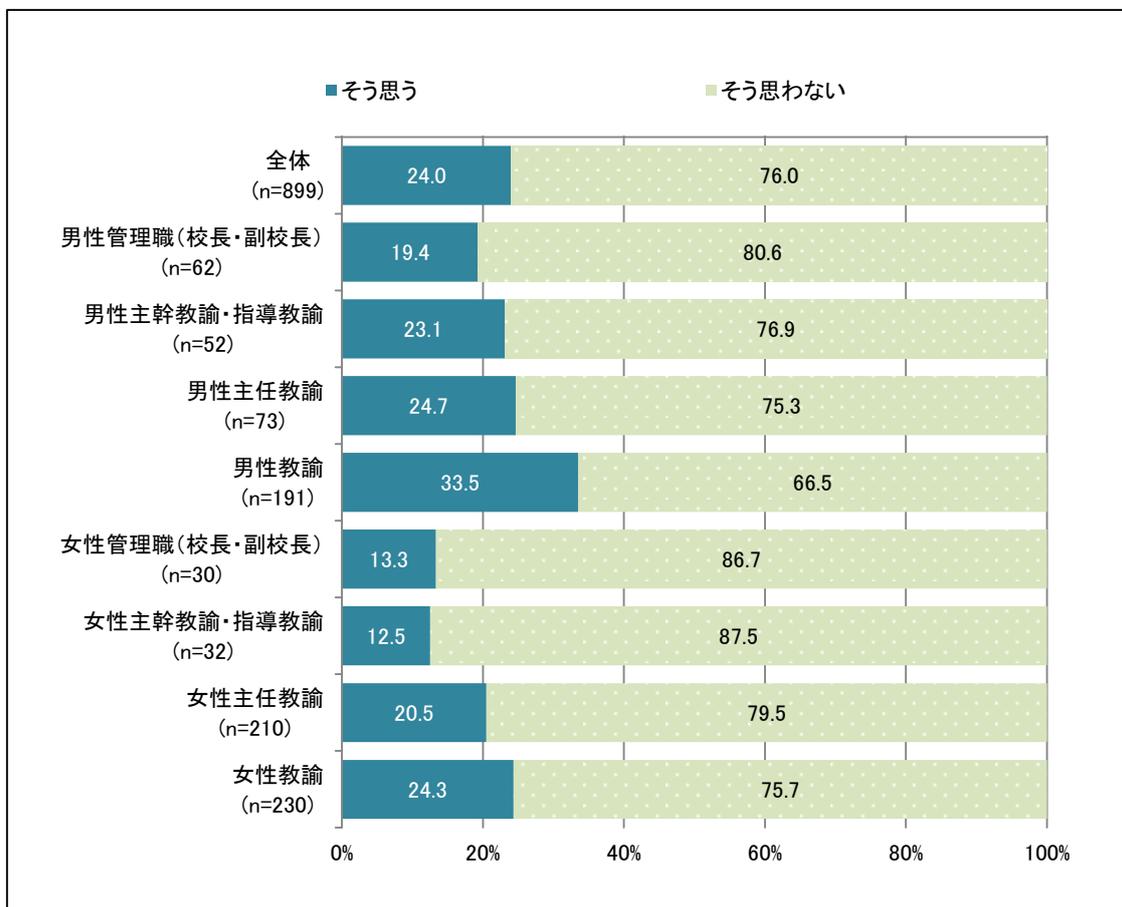
(図表IV-5-26)

○「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、全体では《そう思う》(24.0%)で2割台半ばとなっている。

性別・年代別でみると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(30.9%)がほぼ3割、「40代以上」(24.2%)が2割台半ばとなっており、女性では「20代・30代」(21.5%)と「40代以上」(21.2%)がともに2割を超えている。

(15) 性別で教科の得意、不得意があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|----------------|----------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 216 | 683 |
| | | 100.0 | 24.0 | 76.0 |
| 性別・役職 | 男性 管理職(校長・副校長) | 62 | 12 | 50 |
| | | 100.0 | 19.4 | 80.6 |
| | 男性 主幹教諭・指導教諭 | 52 | 12 | 40 |
| | | 100.0 | 23.1 | 76.9 |
| | 男性 主任教諭 | 73 | 18 | 55 |
| | | 100.0 | 24.7 | 75.3 |
| | 男性 教諭 | 191 | 64 | 127 |
| | | 100.0 | 33.5 | 66.5 |
| 女性 管理職(校長・副校長) | 30 | 4 | 26 | |
| | 100.0 | 13.3 | 86.7 | |
| 女性 主幹教諭・指導教諭 | 32 | 4 | 28 | |
| | 100.0 | 12.5 | 87.5 | |
| 女性 主任教諭 | 210 | 43 | 167 | |
| | 100.0 | 20.5 | 79.5 | |
| 女性 教諭 | 230 | 56 | 174 | |
| | 100.0 | 24.3 | 75.7 | |



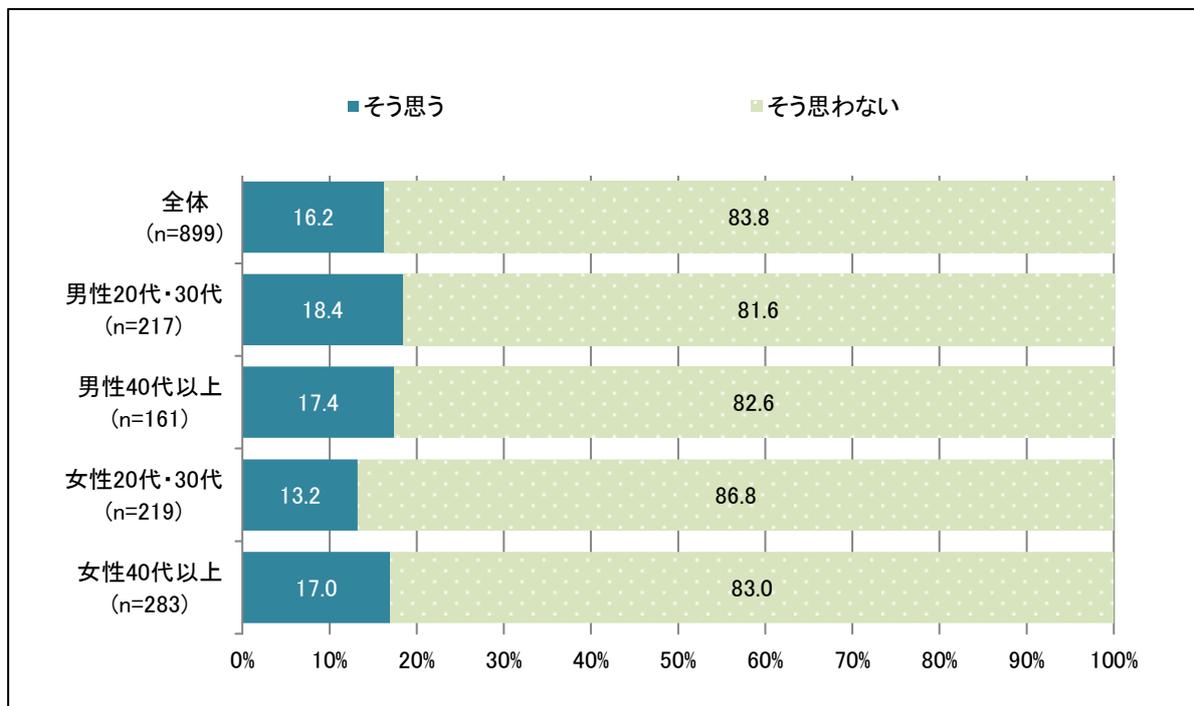
(図表IV-5-27)

○「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、全体では《そう思う》(24.0%)で2割台半ばとなっている。

性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(19.4%)がほぼ2割、「主幹教諭・指導教諭」(23.1%)が2割超え、「主任教諭」(24.7%)が2割台半ば、「教諭」(33.5%)が3割超えとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(13.3%)と「主幹教諭・指導教諭」(12.5%)がともに1割超え、「主任教諭」(20.5%)がほぼ2割、「教諭」(24.3%)が2割台半ばとなっている。男女ともに、役職があがるにつれ、《そう思う》の回答割合が低くなる傾向が見られた。

(16) 理系科目は男の子の方が得意だと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-------|------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 146 | 753 |
| | | 100.0 | 16.2 | 83.8 |
| 性別・年代 | 男性 20代・30代 | 217 | 40 | 177 |
| | | 100.0 | 18.4 | 81.6 |
| | 男性 40代以上 | 161 | 28 | 133 |
| | | 100.0 | 17.4 | 82.6 |
| | 女性 20代・30代 | 219 | 29 | 190 |
| | | 100.0 | 13.2 | 86.8 |
| | 女性 40代以上 | 283 | 48 | 235 |
| | | 100.0 | 17.0 | 83.0 |



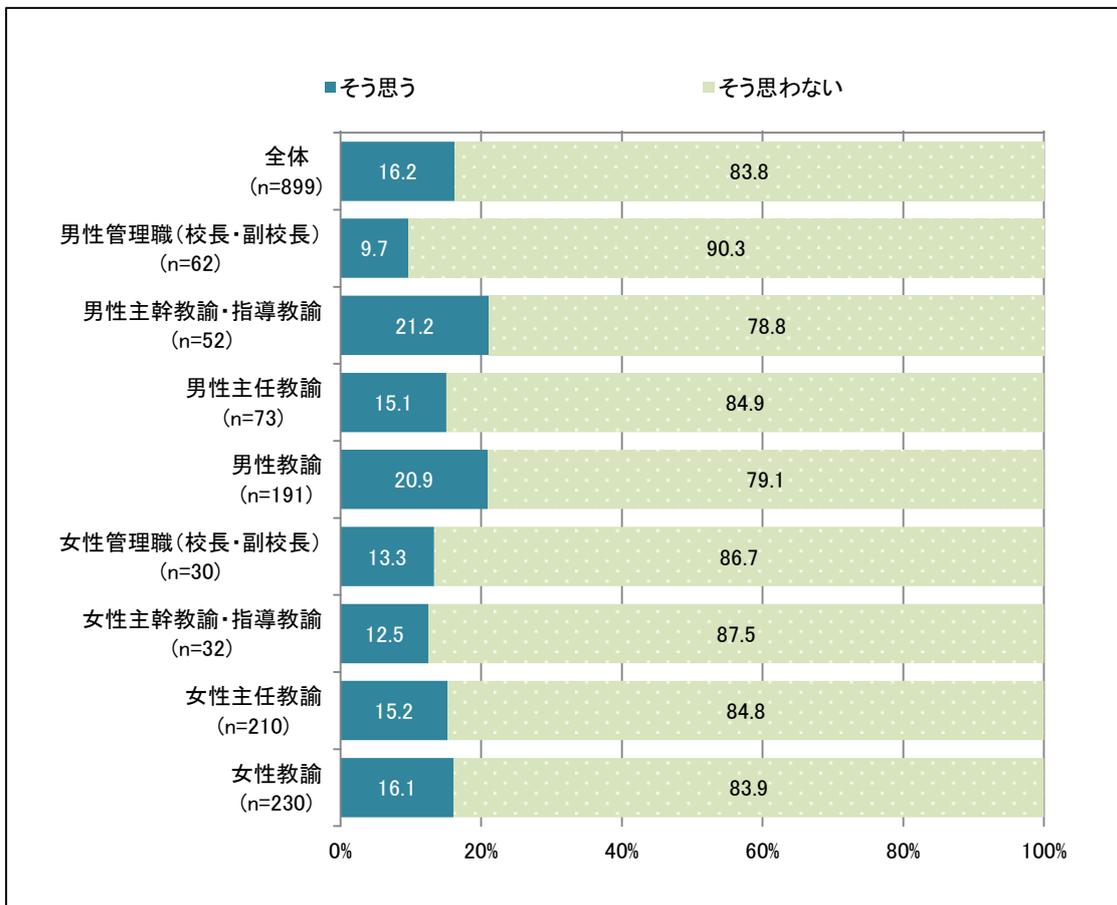
(図表IV-5-28)

○「理系科目は男の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(16.2%)で1割台半ばとなっている。

性別・年代別で見ると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(18.4%)と「40代以上」(17.4%)がともに2割近くとなっており、女性では「20代・30代」(13.2%)が1割超え、「40代以上」(17.0%)が2割近くとなっている。

(16) 理系科目は男の子の方が得意だと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|---------|----------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 146 | 753 |
| | | 100.0 | 16.2 | 83.8 |
| 性別・役職 | 男性 管理職(校長・副校長) | 62 | 6 | 56 |
| | | 100.0 | 9.7 | 90.3 |
| | 男性 主幹教諭・指導教諭 | 52 | 11 | 41 |
| | | 100.0 | 21.2 | 78.8 |
| | 男性 主任教諭 | 73 | 11 | 62 |
| | | 100.0 | 15.1 | 84.9 |
| | 男性 教諭 | 191 | 40 | 151 |
| | | 100.0 | 20.9 | 79.1 |
| 女性 | 女性 管理職(校長・副校長) | 30 | 4 | 26 |
| | | 100.0 | 13.3 | 86.7 |
| | 女性 主幹教諭・指導教諭 | 32 | 4 | 28 |
| | | 100.0 | 12.5 | 87.5 |
| 女性 主任教諭 | 210 | 32 | 178 | |
| | 100.0 | 15.2 | 84.8 | |
| 女性 教諭 | 230 | 37 | 193 | |
| | 100.0 | 16.1 | 83.9 | |



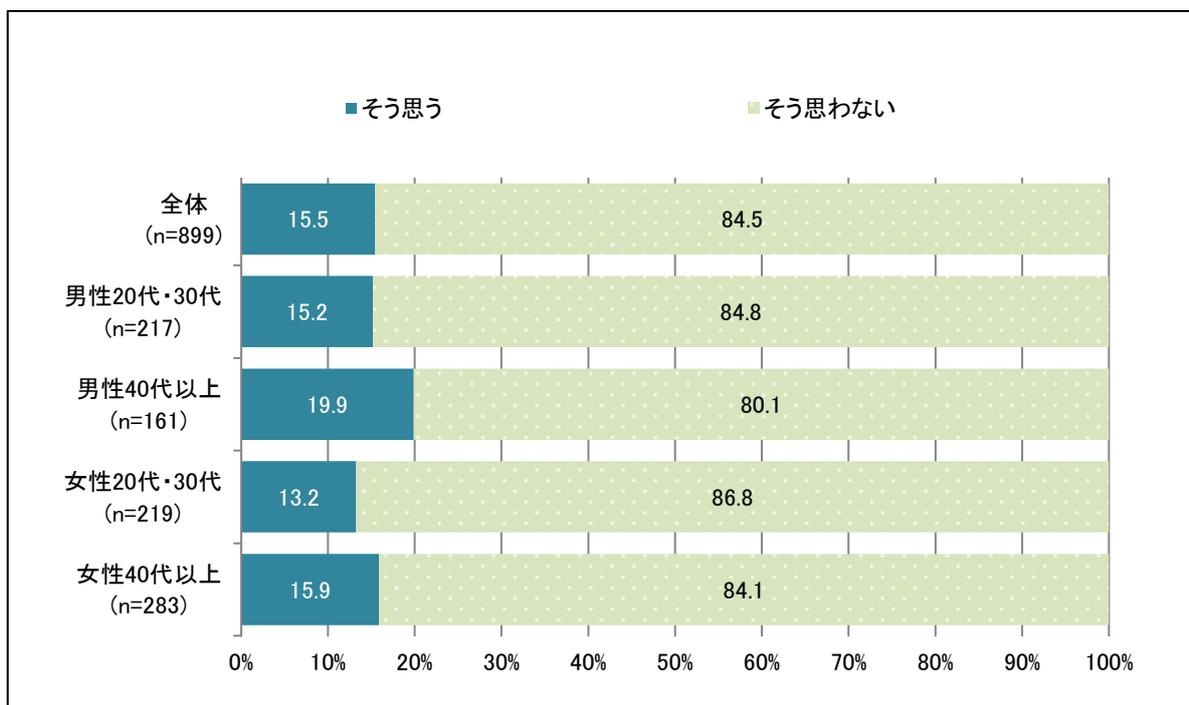
(図表IV-5-29)

○「理系科目は男の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(16.2%)で1割台半ばとなっている。

性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(9.7%)が1割未満、「主幹教諭・指導教諭」(21.2%)が2割超え、「主任教諭」(15.1%)が1割台半ば、「教諭」(20.9%)がほぼ2割となっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(13.3%)と「主幹教諭・指導教諭」(12.5%)がともに1割超え、「主任教諭」(15.2%)と「教諭」(16.1%)がともに1割台半ばとなっている。

(17) 文系科目は女の子の方が得意だと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-------|------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 139 | 760 |
| | | 100.0 | 15.5 | 84.5 |
| 性別・年代 | 男性 20代・30代 | 217 | 33 | 184 |
| | | 100.0 | 15.2 | 84.8 |
| | 男性 40代以上 | 161 | 32 | 129 |
| | | 100.0 | 19.9 | 80.1 |
| | 女性 20代・30代 | 219 | 29 | 190 |
| | | 100.0 | 13.2 | 86.8 |
| | 女性 40代以上 | 283 | 45 | 238 |
| | | 100.0 | 15.9 | 84.1 |



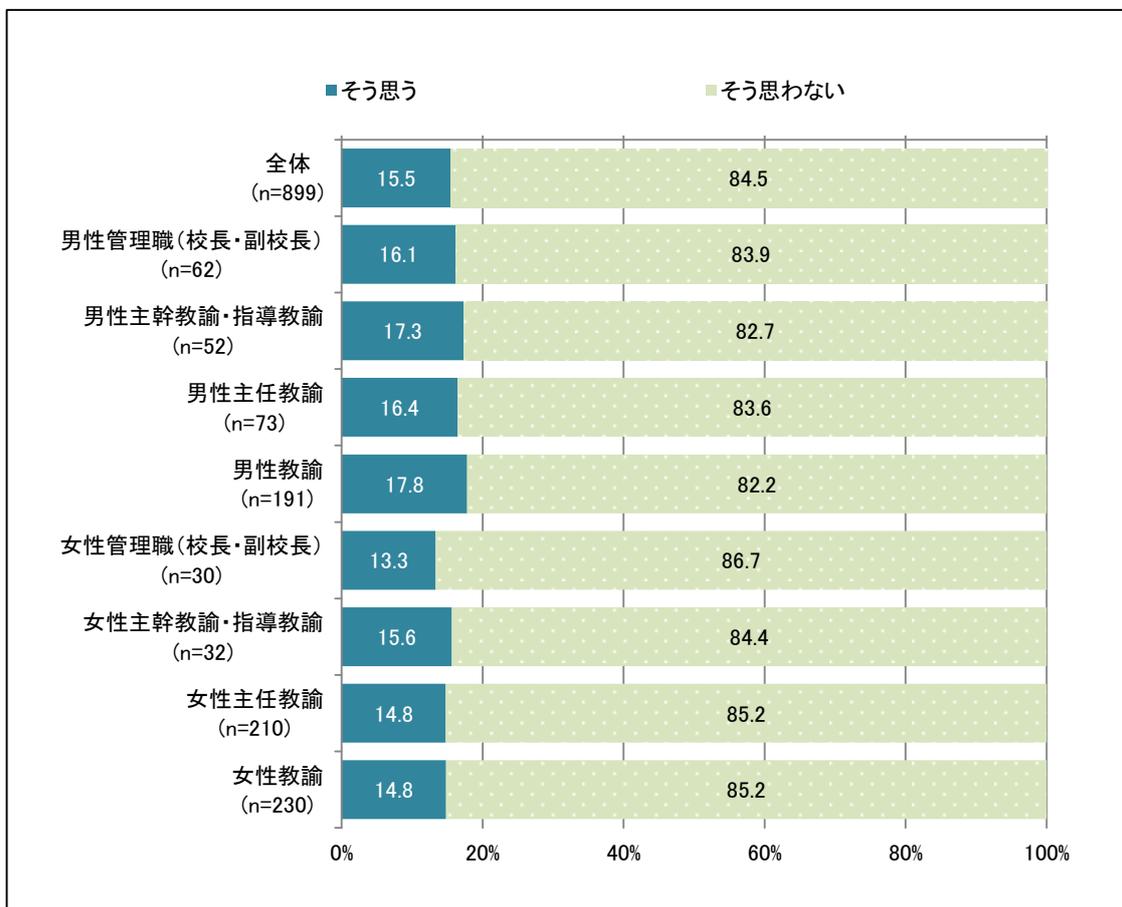
(図表IV-5-30)

○「文系科目は女の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(15.5%)で1割台半ばとなっている。

性別・年代別で見ると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(15.2%)が1割台半ば、「40代以上」(19.9%)が2割となっており、女性では「20代・30代」(13.2%)が1割超え、「40代以上」(15.9%)が1割台半ばとなっている。

(17) 文系科目は女の子の方が得意だと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|----------------|----------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 139 | 760 |
| | | 100.0 | 15.5 | 84.5 |
| 性別・役職 | 男性 管理職(校長・副校長) | 62 | 10 | 52 |
| | | 100.0 | 16.1 | 83.9 |
| | 男性 主幹教諭・指導教諭 | 52 | 9 | 43 |
| | | 100.0 | 17.3 | 82.7 |
| | 男性 主任教諭 | 73 | 12 | 61 |
| | | 100.0 | 16.4 | 83.6 |
| | 男性 教諭 | 191 | 34 | 157 |
| | | 100.0 | 17.8 | 82.2 |
| 女性 管理職(校長・副校長) | 30 | 4 | 26 | |
| | 100.0 | 13.3 | 86.7 | |
| 女性 主幹教諭・指導教諭 | 32 | 5 | 27 | |
| | 100.0 | 15.6 | 84.4 | |
| 女性 主任教諭 | 210 | 31 | 179 | |
| | 100.0 | 14.8 | 85.2 | |
| 女性 教諭 | 230 | 34 | 196 | |
| | 100.0 | 14.8 | 85.2 | |



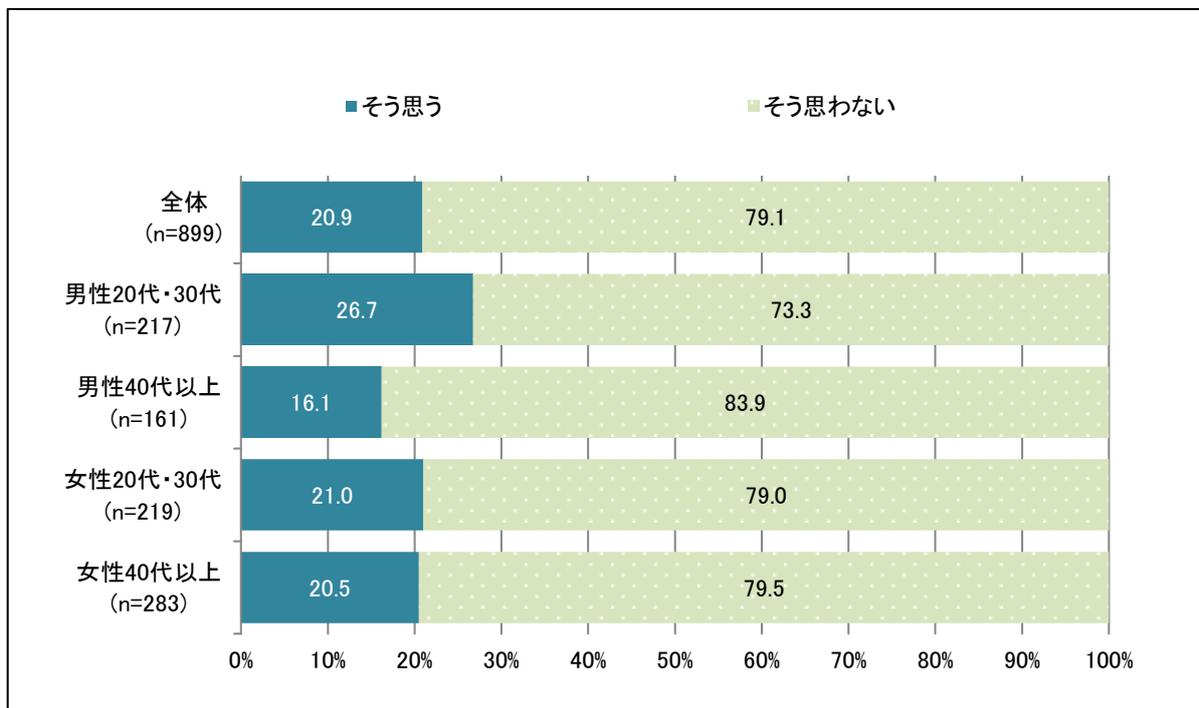
(図表IV-5-31)

○「文系科目は女の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(15.5%)で1割台半ばとなっている。

性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(16.1%)が1割台半ば、「主幹教諭・指導教諭」(17.3%)が2割近く、「主任教諭」(16.4%)が1割台半ば、「教諭」(17.8%)が2割近くとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(13.3%)が1割超え、「主幹教諭・指導教諭」(15.6%)と「主任教諭」(14.8%)と「教諭」(14.8%)がともに1割台半ばとなっている。

(18) 家庭科は女の子の方が向いていると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-------|------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 188 | 711 |
| | | 100.0 | 20.9 | 79.1 |
| 性別・年代 | 男性 20代・30代 | 217 | 58 | 159 |
| | | 100.0 | 26.7 | 73.3 |
| | 男性 40代以上 | 161 | 26 | 135 |
| | | 100.0 | 16.1 | 83.9 |
| | 女性 20代・30代 | 219 | 46 | 173 |
| | | 100.0 | 21.0 | 79.0 |
| | 女性 40代以上 | 283 | 58 | 225 |
| | | 100.0 | 20.5 | 79.5 |



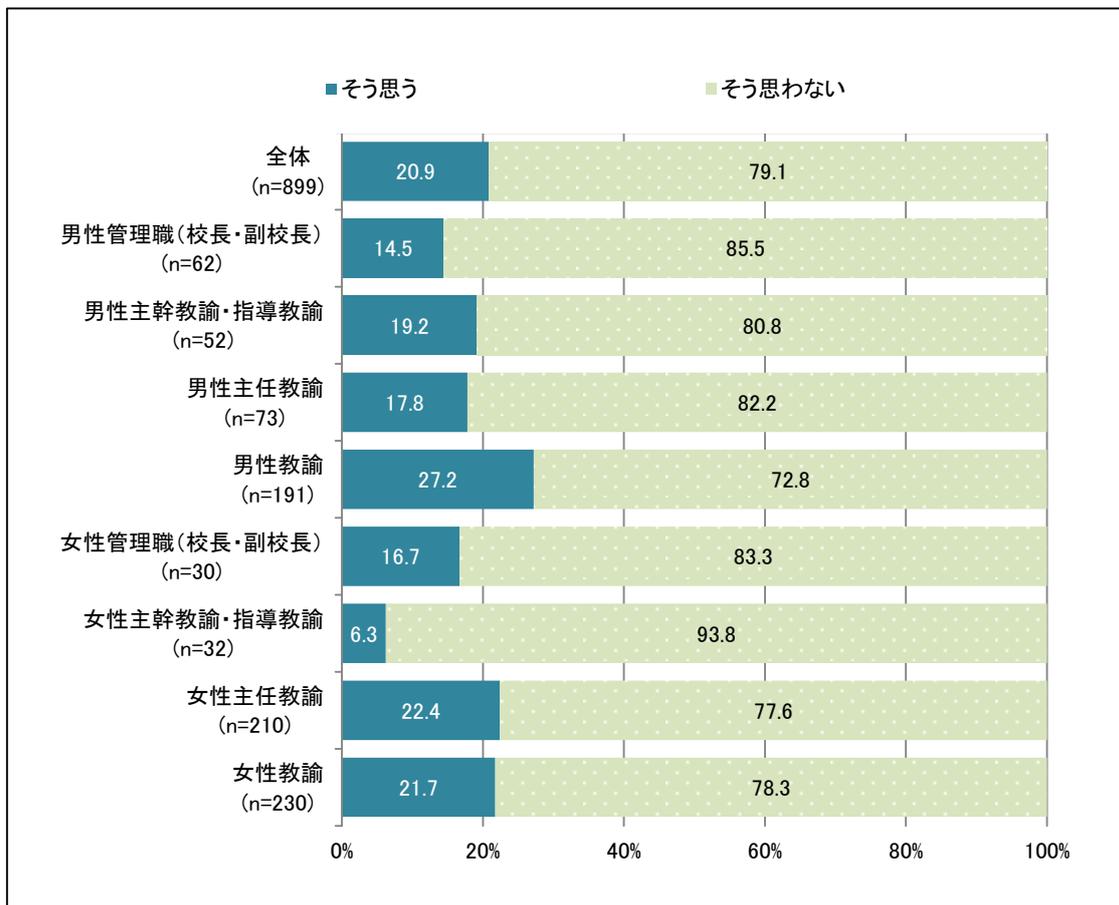
(図表IV-5-32)

○「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(20.9%)でほぼ2割となっている。

性別・年代別で見ると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」(26.7%)が3割近く、「40代以上」(16.1%)が1割台半ばとなっており、女性では「20代・30代」(21.0%)が2割超え、「40代以上」(20.5%)がほぼ2割となっている。男性では、年代があがるにつれ、《そう思う》の回答割合が低くなる傾向が見られた。

(18) 家庭科は女の子の方が向いていると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|----------------|----------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 188 | 711 |
| | | 100.0 | 20.9 | 79.1 |
| 性別・役職 | 男性 管理職(校長・副校長) | 62 | 9 | 53 |
| | | 100.0 | 14.5 | 85.5 |
| | 男性 主幹教諭・指導教諭 | 52 | 10 | 42 |
| | | 100.0 | 19.2 | 80.8 |
| | 男性 主任教諭 | 73 | 13 | 60 |
| | | 100.0 | 17.8 | 82.2 |
| | 男性 教諭 | 191 | 52 | 139 |
| | | 100.0 | 27.2 | 72.8 |
| 女性 管理職(校長・副校長) | 30 | 5 | 25 | |
| | 100.0 | 16.7 | 83.3 | |
| 女性 主幹教諭・指導教諭 | 32 | 2 | 30 | |
| | 100.0 | 6.3 | 93.8 | |
| 女性 主任教諭 | 210 | 47 | 163 | |
| | 100.0 | 22.4 | 77.6 | |
| 女性 教諭 | 230 | 50 | 180 | |
| | 100.0 | 21.7 | 78.3 | |



(図表IV-5-33)

○「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(20.9%)でほぼ2割となっている。

性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(14.5%)が1割台半ば、「主幹教諭・指導教諭」(19.2%)がほぼ2割、「主任教諭」(17.8%)が2割近く、「教諭」(27.2%)が3割近くとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(16.7%)が2割近く、「主幹教諭・指導教諭」(6.3%)が1割未満、「主任教諭」(22.4%)と「教諭」(21.7%)がともに2割を超えている。

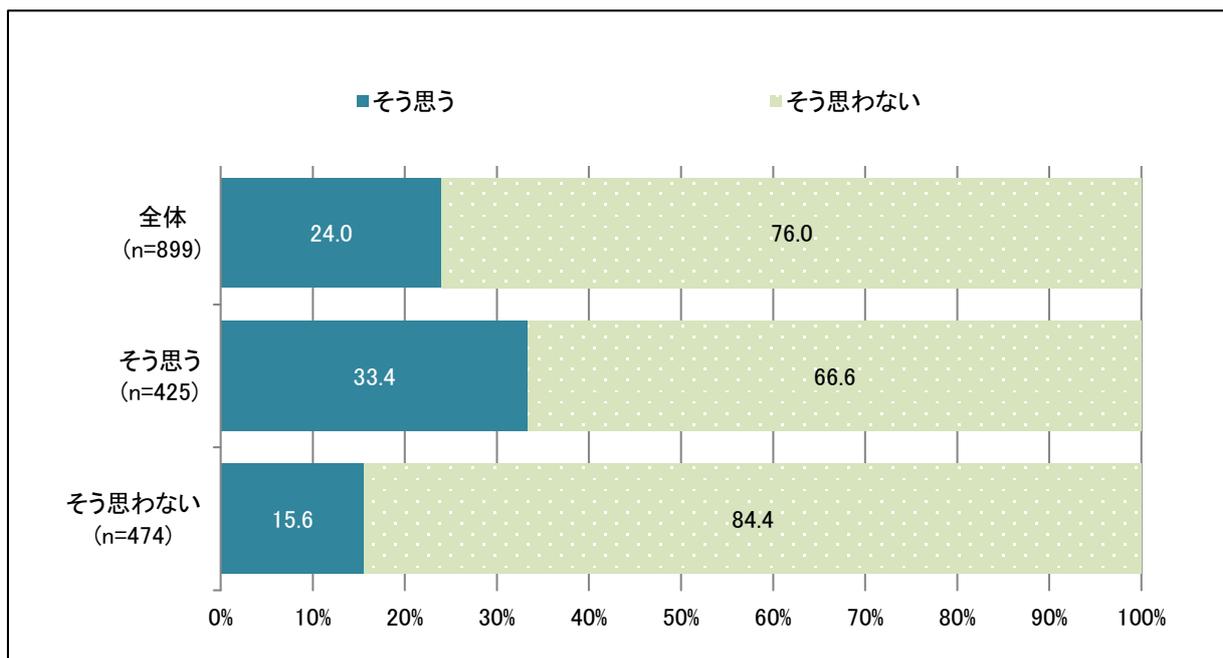
④ 性別に関する意識等と児童に関する言動等への影響

< 仮説・検討事項(30)>

教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、児童の教科への得意・不得意に対する意識に影響しているか

(15) 性別で教科の得意、不得意があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----------------------------------|--------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 216 24.0 | 683 76.0 |
| (4) 「男性だから」「女性だから」と思う ことがある | そう思う | 425 100.0 | 142 33.4 | 283 66.6 |
| | そう思わない | 474 100.0 | 74 15.6 | 400 84.4 |



(図表IV-5-34)

○「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、全体では《そう思う》(24.0%)で2割台半ばとなっている。

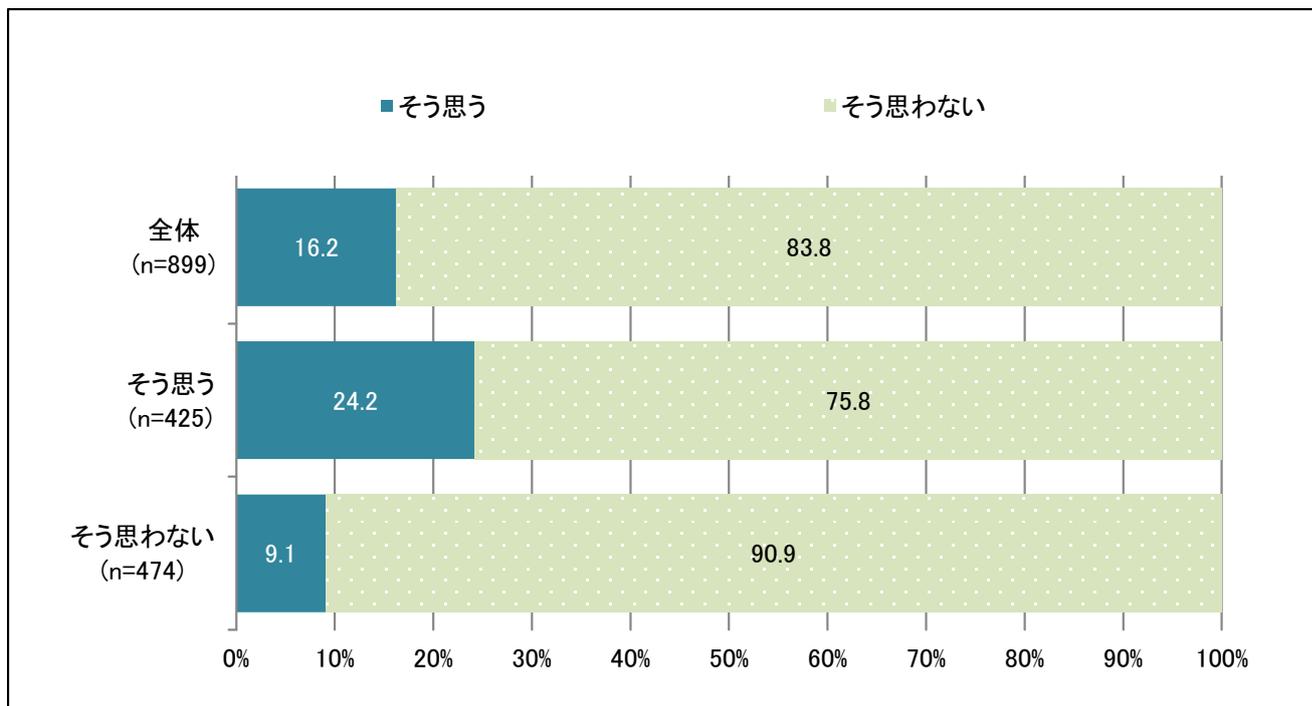
『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別で見ると、《そう思う》では《そう思う》(33.4%)が3割超え、《そう思わない》(15.6%)が1割台半ばとなっている。

「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.36であり、やや相関が見られた。

(16) 理系科目は男の子の方が得意だと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----------------------------------|--------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 146 16.2 | 753 83.8 |
| (4) 「男性だから」「女性だから」と思う ことがある | そう思う | 425 100.0 | 103 24.2 | 322 75.8 |
| | そう思わない | 474 100.0 | 43 9.1 | 431 90.9 |



(図表IV-5-35)

○「理系科目は男の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(16.2%)で1割台半ばとなっている。

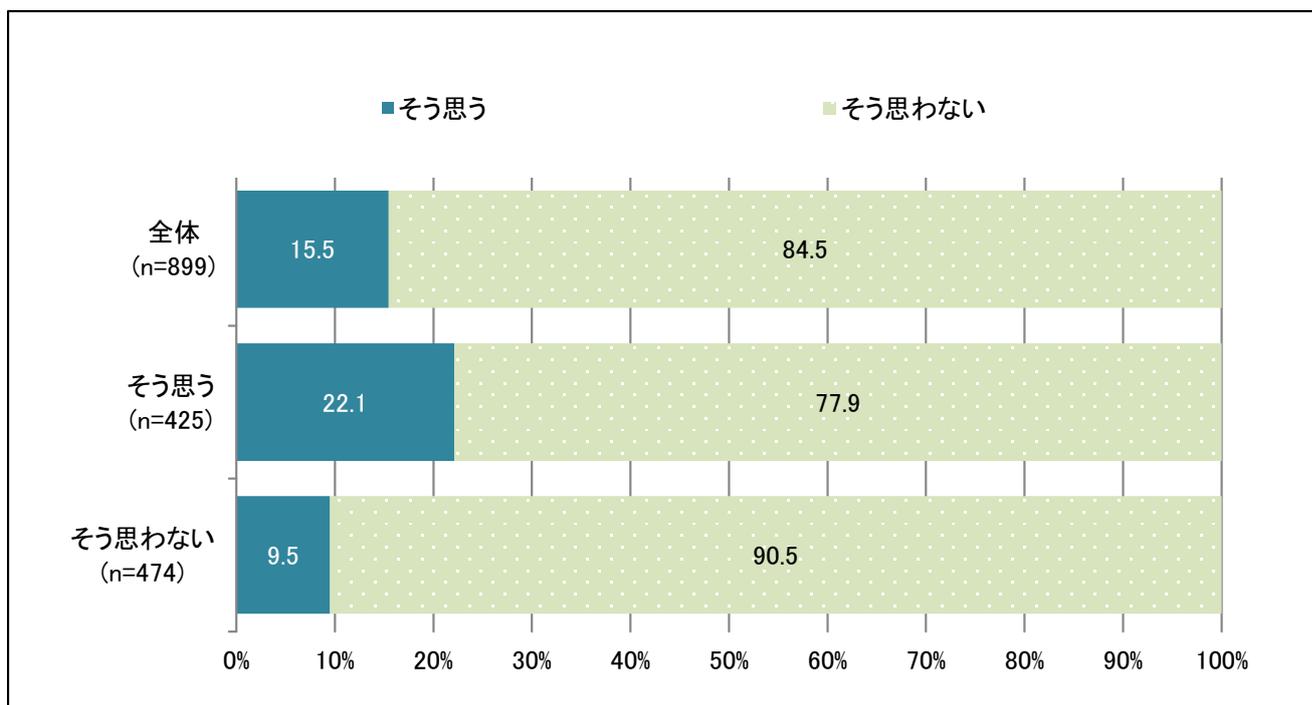
『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(24.2%)が2割台半ば、《そう思わない》(9.1%)が1割未満となっており、回答割合に大きな差が見られた。

「理系科目は男の子の方が得意だと思う」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.35であり、やや相関が見られた。

(17) 文系科目は女の子の方が得意だと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----------------------------------|--------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 139 15.5 | 760 84.5 |
| (4) 「男性だから」「女性だから」と思う ことがある | そう思う | 425 100.0 | 94 22.1 | 331 77.9 |
| | そう思わない | 474 100.0 | 45 9.5 | 429 90.5 |



(図表IV-5-36)

○「文系科目は女の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(15.5%)で1割台半ばとなっている。

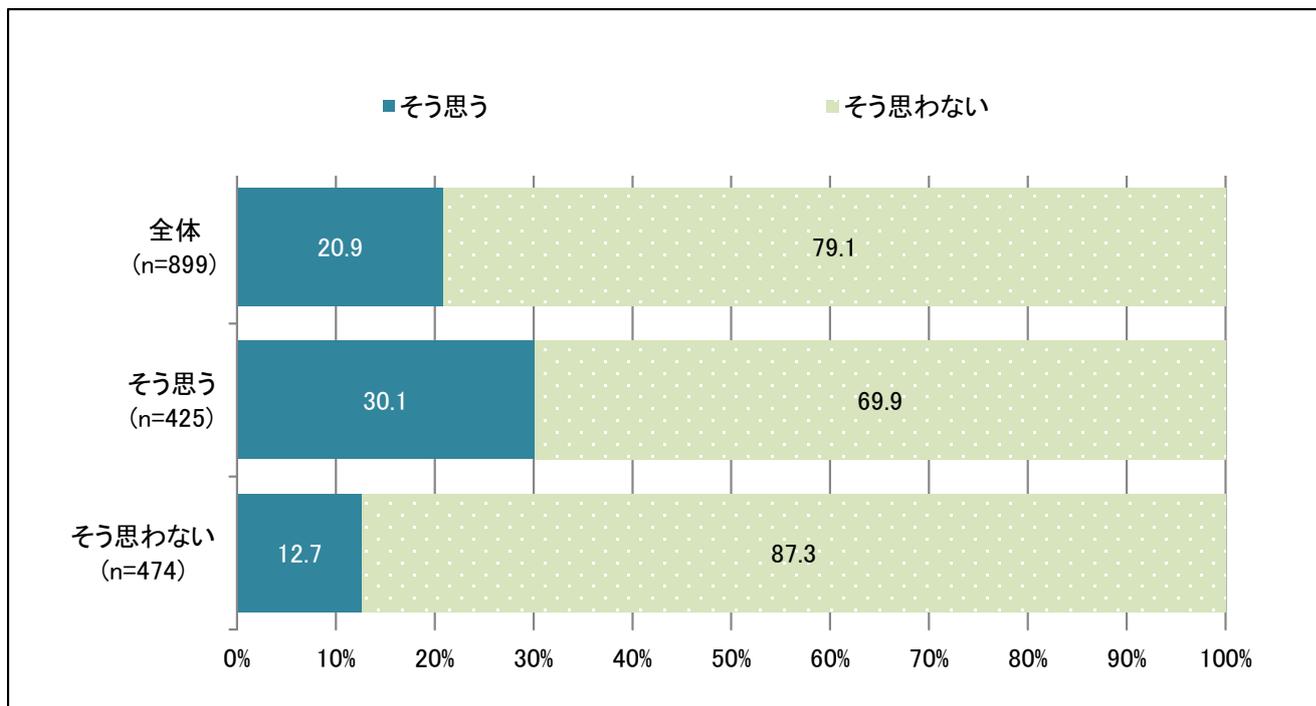
『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(22.1%)が2割超え、《そう思わない》(9.5%)が1割未満となっており、回答割合に大きな差が見られた。

「文系科目は女の子の方が得意だと思う」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差(p<0.001)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.34であり、やや相関が見られた。

(18) 家庭科は女の子の方が向いていると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----------------------------------|--------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 188 20.9 | 711 79.1 |
| (4) 「男性だから」「女性だから」と思う ことがある | そう思う | 425 100.0 | 128 30.1 | 297 69.9 |
| | そう思わない | 474 100.0 | 60 12.7 | 414 87.3 |



(図表IV-5-37)

○「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(20.9%)でほぼ2割となっている。

『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別で見ると、《そう思う》では《そう思う》(30.1%)が3割、《そう思わない》(12.7%)が1割を超えており、回答割合に大きな差が見られた。

「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差(p<0.001)が見られた。

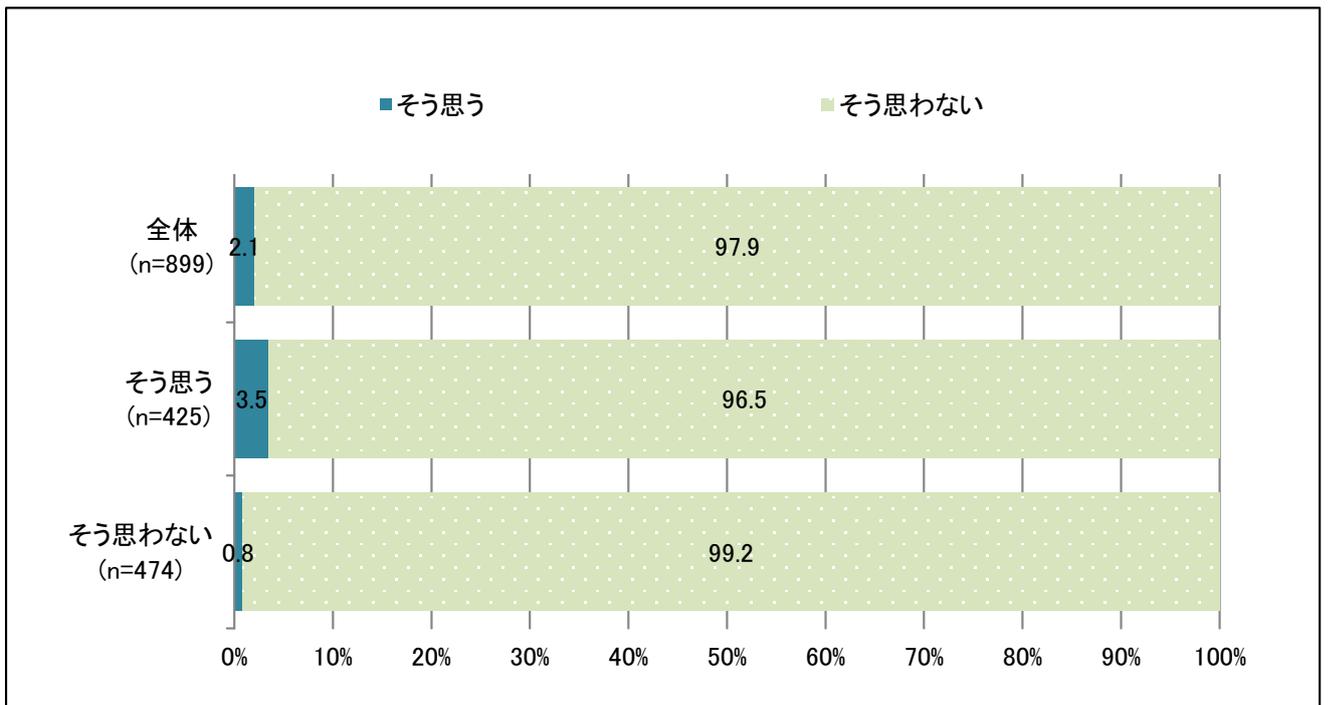
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.35であり、やや相関が見られた。

< 仮説・検討事項(31)>

教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、学校での児童の役割に関する意識に影響しているか

(19) 学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----------------------------------|--------|--------------|-----------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 19 2.1 | 880 97.9 |
| (4) 「男性だから」「女性だから」と思う ことがある | そう思う | 425 100.0 | 15 3.5 | 410 96.5 |
| | そう思わない | 474 100.0 | 4 0.8 | 470 99.2 |



(図表IV-5-38)

○「学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(2.1%)でわずかとなっている。

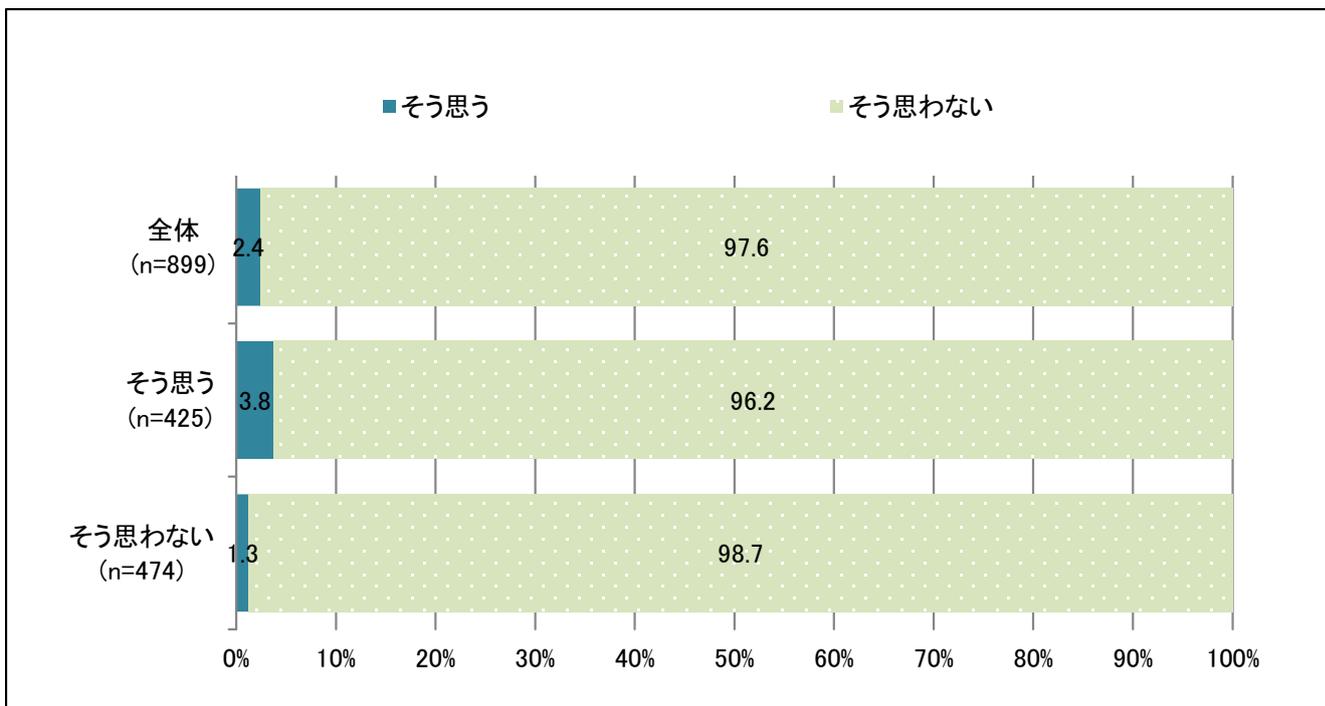
『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(3.5%)がわずか、《そう思わない》(0.8%)がわずかとなっている。

「学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.01$) が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.40 であり、かなり相関が見られた。

(20) 授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----------------------------------|--------|--------------|-----------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 22 2.4 | 877 97.6 |
| (4) 「男性だから」「女性だから」と思う ことがある | そう思う | 425 100.0 | 16 3.8 | 409 96.2 |
| | そう思わない | 474 100.0 | 6 1.3 | 468 98.7 |



(図表IV-5-39)

○「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う」について、全体では「そう思う」(2.4%)でわずかとなっている。

『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別で見ると、「そう思う」では「そう思う」(3.8%)がわずか、「そう思わない」(1.3%)がわずかとなっている。

「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差(p<0.05)が見られた。

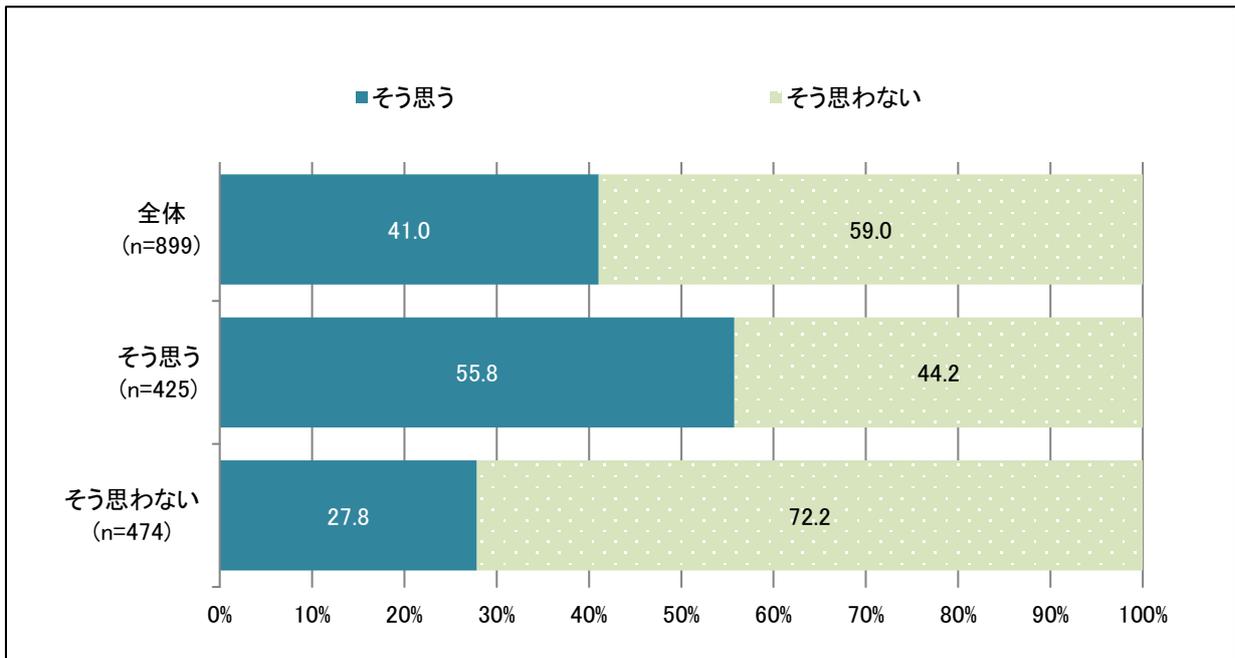
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.43であり、かなり相関が見られた。

< 仮説・検討事項(32)>

教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、仕事への向き・不向きに関する意識に影響しているか

(21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----------------------------------|--------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 369 41.0 | 530 59.0 |
| (4) 「男性だから」「女性だから」と思う ことがある | そう思う | 425 100.0 | 237 55.8 | 188 44.2 |
| | そう思わない | 474 100.0 | 132 27.8 | 342 72.2 |



(図表IV-5-40)

○「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、全体では《そう思う》(41.0%)で4割を超えている。

『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(55.8%)が5割台半ば、《そう思わない》(27.8%)が3割近くとなっており、回答割合に大きな差が見られた。

「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差(p<0.001)が見られた。

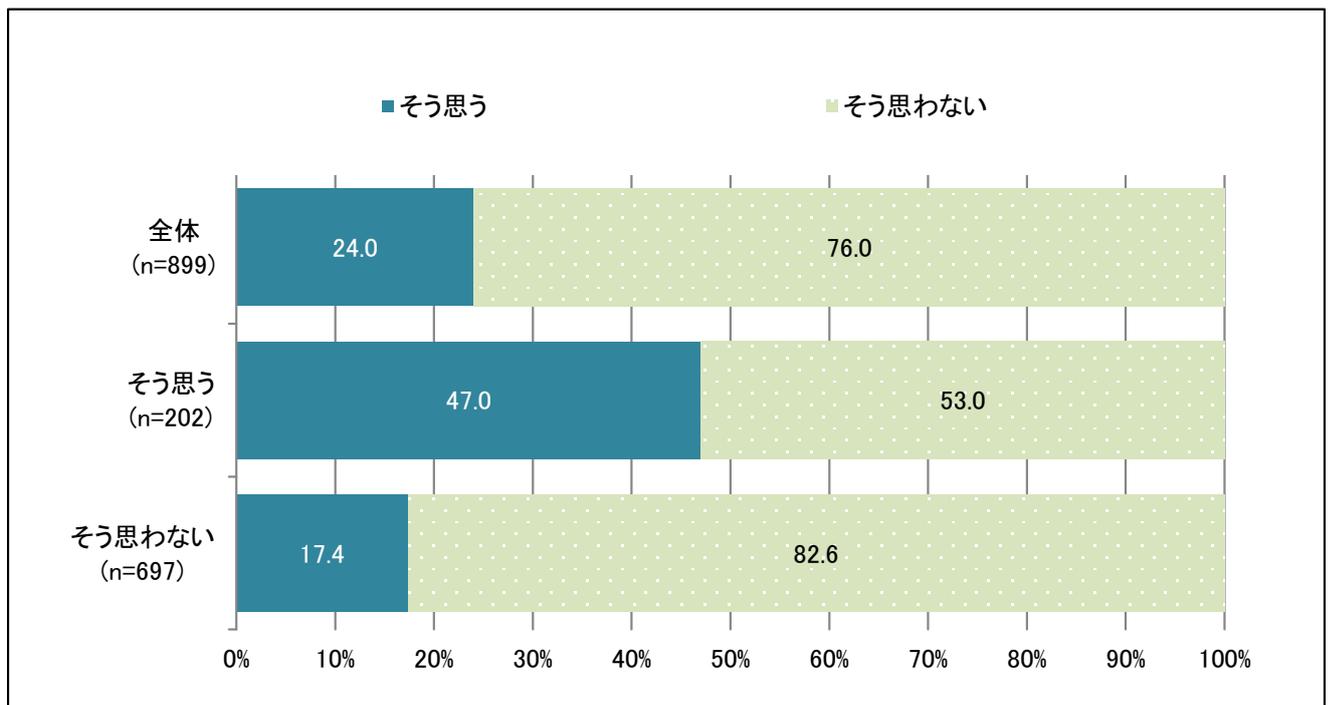
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.36であり、やや相関が見られた。

< 仮説・検討事項(33)>

教員が「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」ことが、児童の教科の得意・不得意に関する意識に影響しているか

(15) 性別で教科の得意、不得意があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--------------------------------|--------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 216 24.0 | 683 76.0 |
| (11) 性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う | そう思う | 202 100.0 | 95 47.0 | 107 53.0 |
| | そう思わない | 697 100.0 | 121 17.4 | 576 82.6 |



(図表IV-5-41)

○「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、全体では《そう思う》(24.0%)で2割台半ばとなっている。

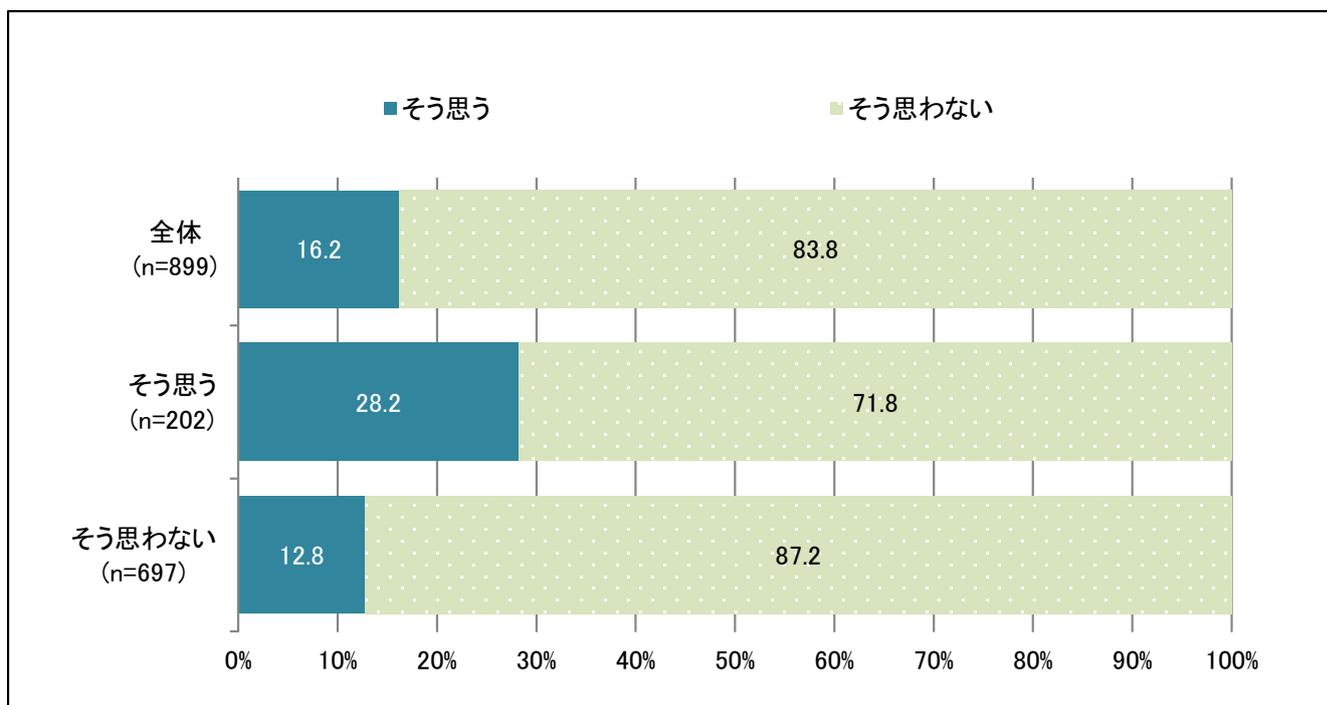
「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(47.0%)が5割近く、《そう思わない》(17.4%)が2割近くとなっており、回答割合に大きな差が見られた。

「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.45であり、かなり相関が見られた。

(16) 理系科目は男の子の方が得意だと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|------------------------------------|--------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 146 16.2 | 753 83.8 |
| (11) 性別により仕事の役割を分けたほうが いいと思う | そう思う | 202 100.0 | 57 28.2 | 145 71.8 |
| | そう思わない | 697 100.0 | 89 12.8 | 608 87.2 |



(図表IV-5-42)

○「理系科目は男の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(16.2%)で1割台半ばとなっている。

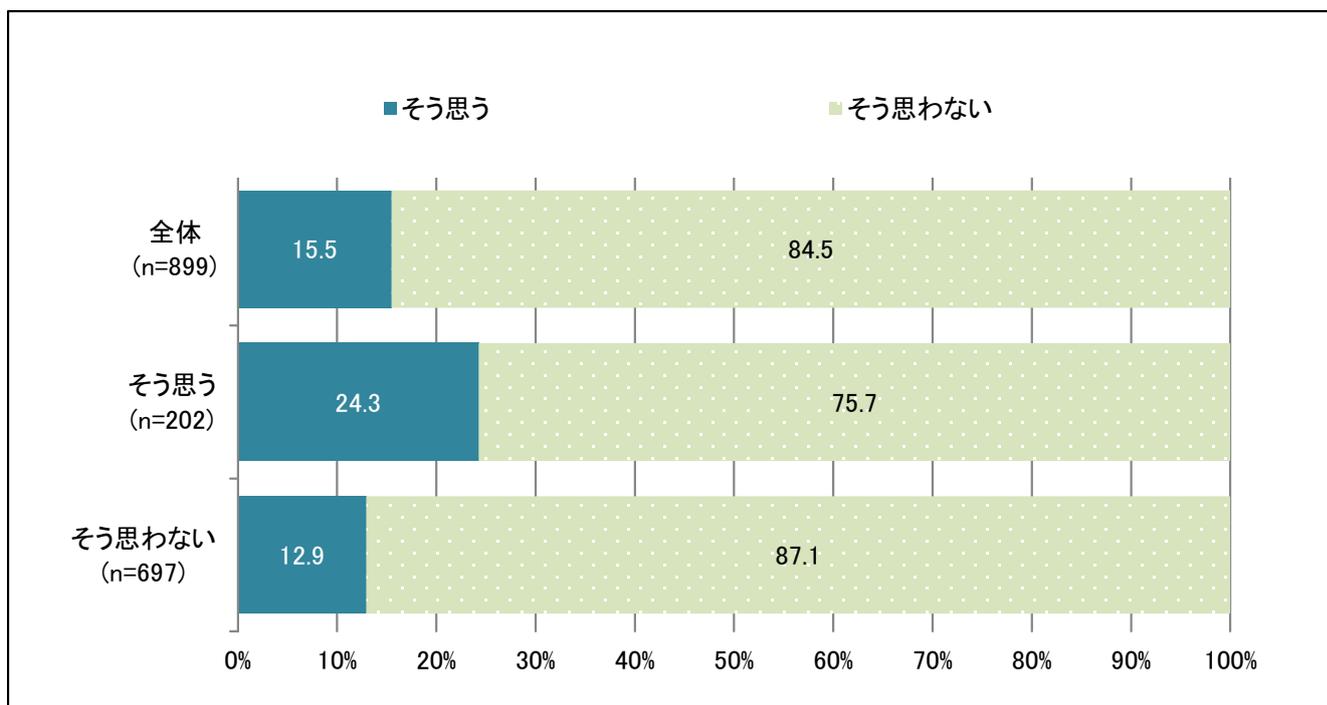
「性別により仕事の役割を分けたほうがいいと思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(28.2%)が3割近く、《そう思わない》(12.8%)が1割を超えており、回答割合に大きな差が見られた。

「理系科目は男の子の方が得意だと思う」について、「性別により仕事の役割を分けたほうがいいと思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差(p<0.001)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.40であり、かなり相関が見られた。

(17) 文系科目は女の子の方が得意だと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|------------------------------------|--------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 139 15.5 | 760 84.5 |
| (11) 性別により仕事の役割を分けたほうが いいと思う | そう思う | 202 100.0 | 49 24.3 | 153 75.7 |
| | そう思わない | 697 100.0 | 90 12.9 | 607 87.1 |



(図表IV-5-43)

○「文系科目は女の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(15.5%)で1割台半ばとなっている。

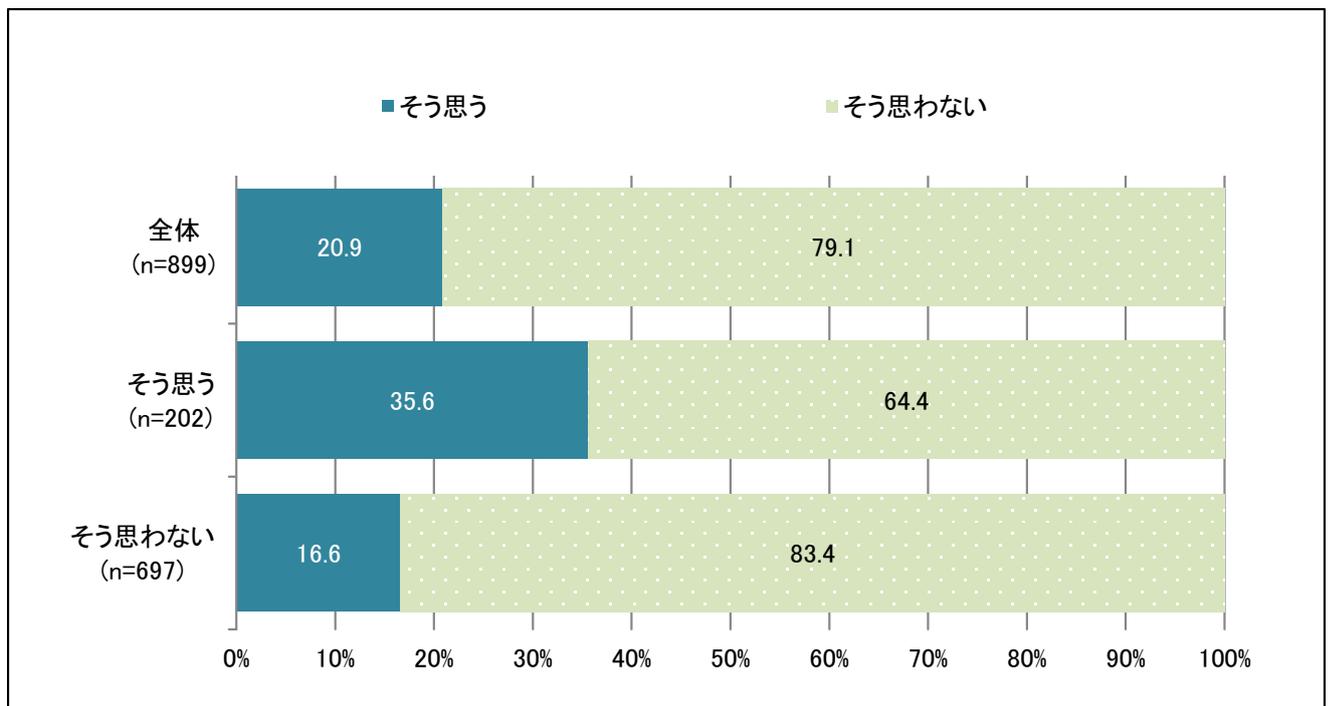
「性別により仕事の役割を分けたほうがいいと思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(24.3%)が2割台半ば、《そう思わない》(12.9%)が1割を超えており、回答割合に大きな差が見られた。

「文系科目は女の子の方が得意だと思う」について、「性別により仕事の役割を分けたほうがいいと思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.39であり、やや相関が見られた。

(18) 家庭科は女の子の方が向いていると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--------------------------------|--------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 188 20.9 | 711 79.1 |
| (11) 性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う | そう思う | 202 100.0 | 72 35.6 | 130 64.4 |
| | そう思わない | 697 100.0 | 116 16.6 | 581 83.4 |



(図表IV-5-44)

○「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(20.9%)でほぼ2割となっている。

「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(35.6%)が3割台半ば、《そう思わない》(16.6%)が2割近くとなっており、回答割合に大きな差が見られた。

「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

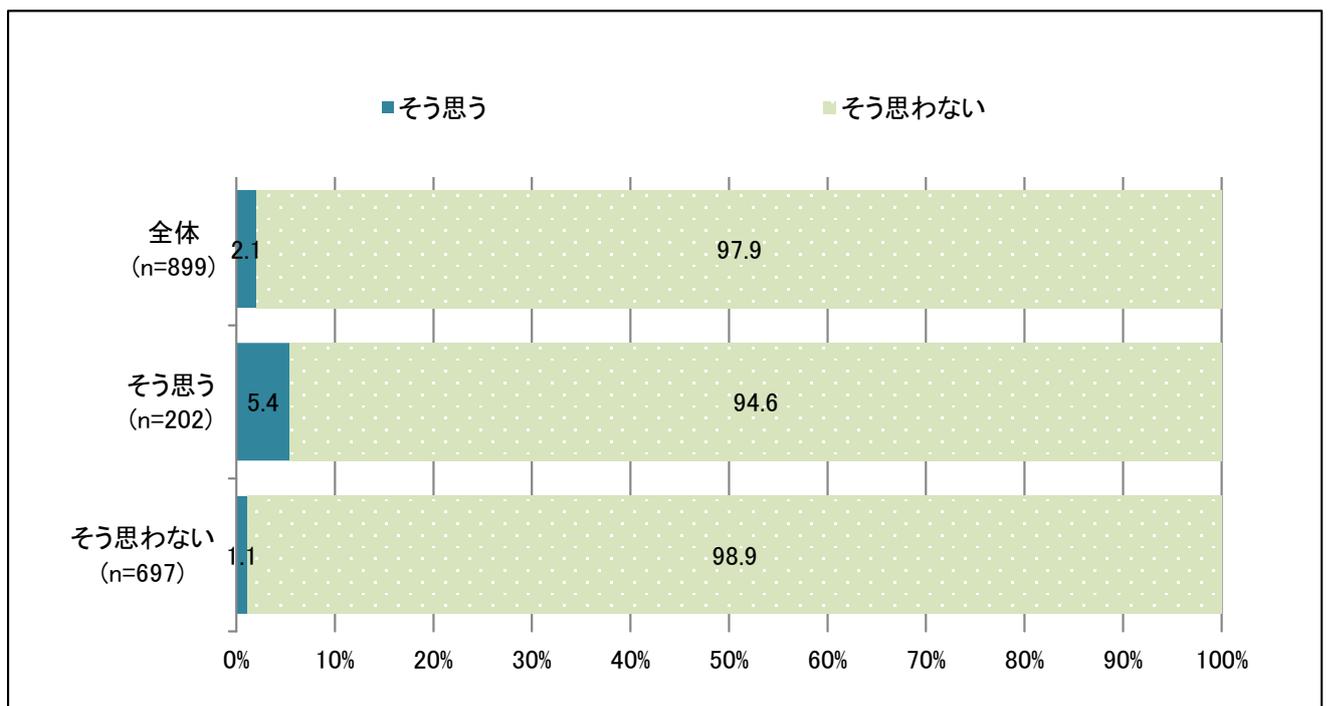
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.40であり、かなり相関が見られた。

< 仮説・検討事項(34)>

教員が「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」ことが、学校での児童の役割に関することで意識に影響しているか

(19) 学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--------------------------------|--------|--------------|-----------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 19 2.1 | 880 97.9 |
| (11) 性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う | そう思う | 202 100.0 | 11 5.4 | 191 94.6 |
| | そう思わない | 697 100.0 | 8 1.1 | 689 98.9 |



(図表IV-5-45)

○「学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(2.1%)でわずかとなっている。

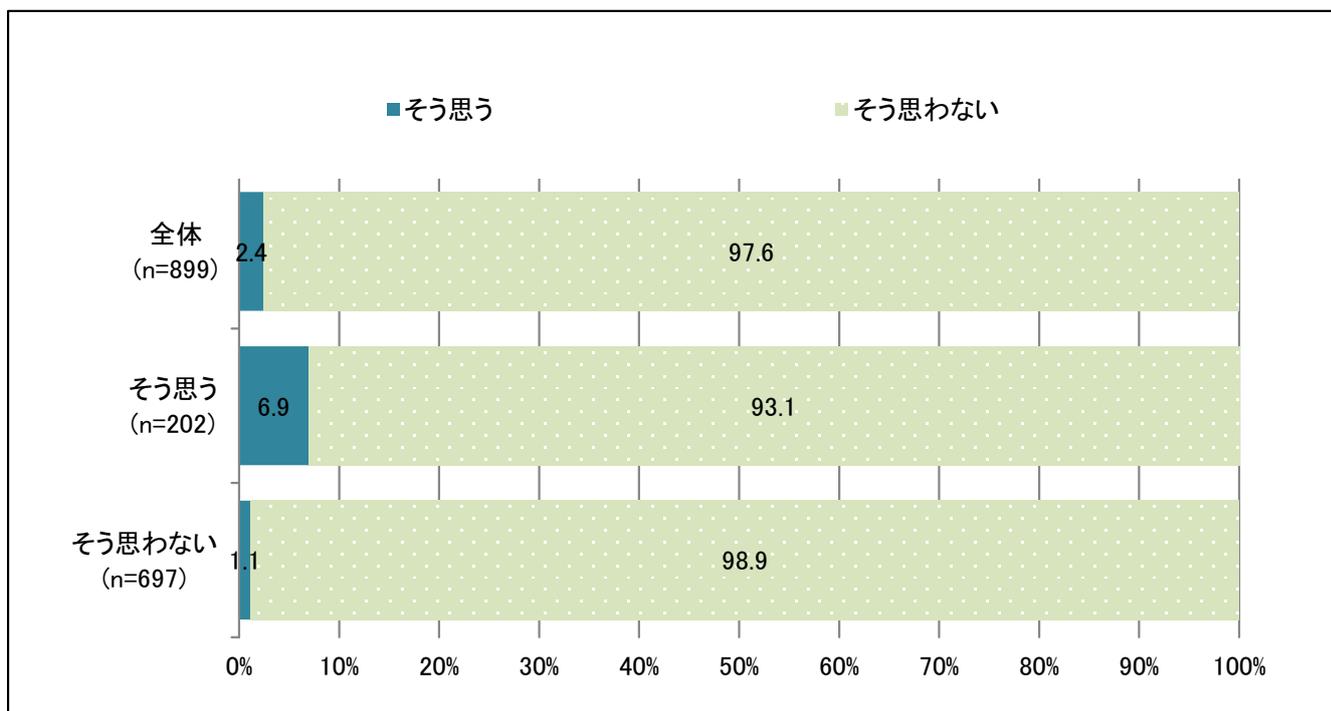
「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(5.4%)が1割未満、《そう思わない》(1.1%)がわずかとなっている。

「学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」について、「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.52であり、かなり相関が見られた。

(20) 授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうが良いと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--------------------------------|--------|--------------|-----------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 22 2.4 | 877 97.6 |
| (11) 性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う | そう思う | 202 100.0 | 14 6.9 | 188 93.1 |
| | そう思わない | 697 100.0 | 8 1.1 | 689 98.9 |



(図表IV-5-46)

○「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうが良いと思う」について、全体では「そう思う」(2.4%)でわずかとなっている。

「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答別でみると、「そう思う」では「そう思う」(6.9%)が1割未満、「そう思わない」(1.1%)がわずかとなっている。

「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうが良いと思う」について、「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$) が見られた。

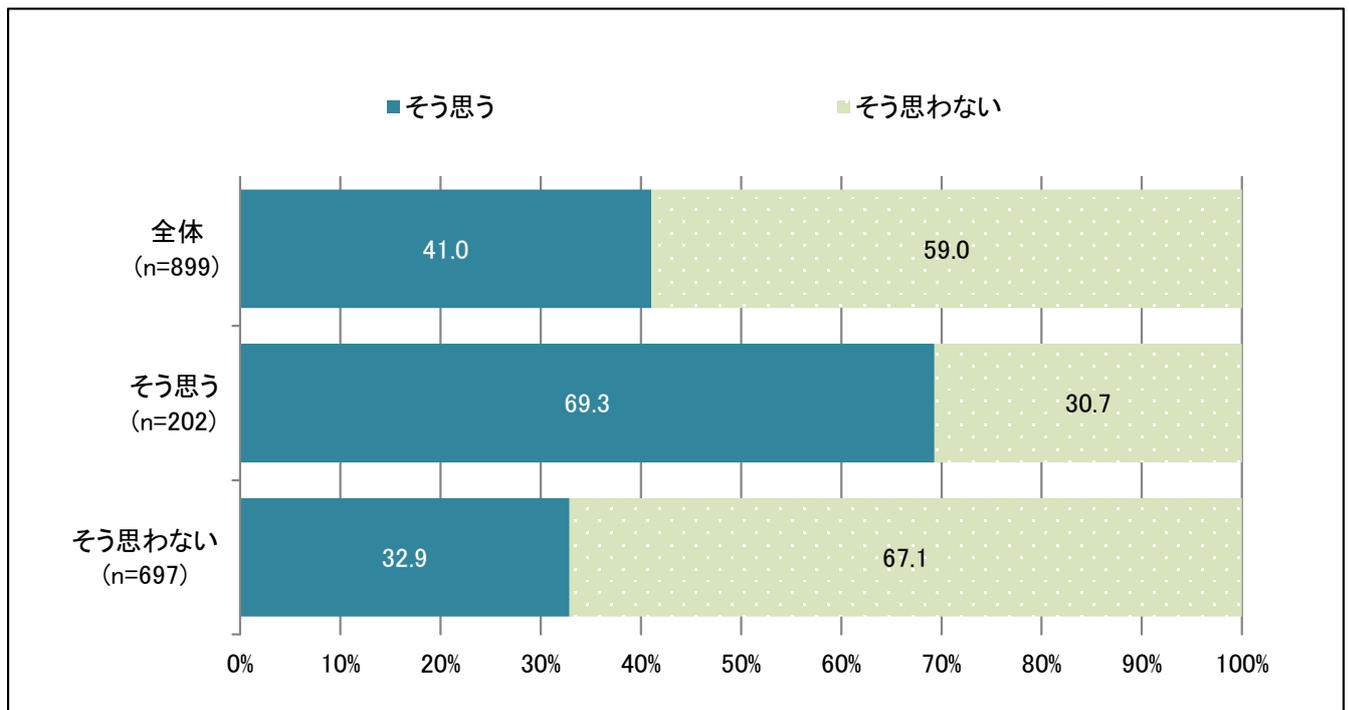
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.52であり、かなり相関が見られた。

< 仮説・検討事項(35)>

教員が「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」ことが、児童の仕事への向き・不向きに関する意識に影響しているか

(21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--------------------------------|--------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 369 41.0 | 530 59.0 |
| (11) 性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う | そう思う | 202 100.0 | 140 69.3 | 62 30.7 |
| | そう思わない | 697 100.0 | 229 32.9 | 468 67.1 |



(図表IV-5-47)

○「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、全体では《そう思う》(41.0%)で4割を超えている。

「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(69.3%)がほぼ7割、《そう思わない》(32.9%)が3割を超えており、回答割合に大きな差が見られた。

「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$)が見られた。

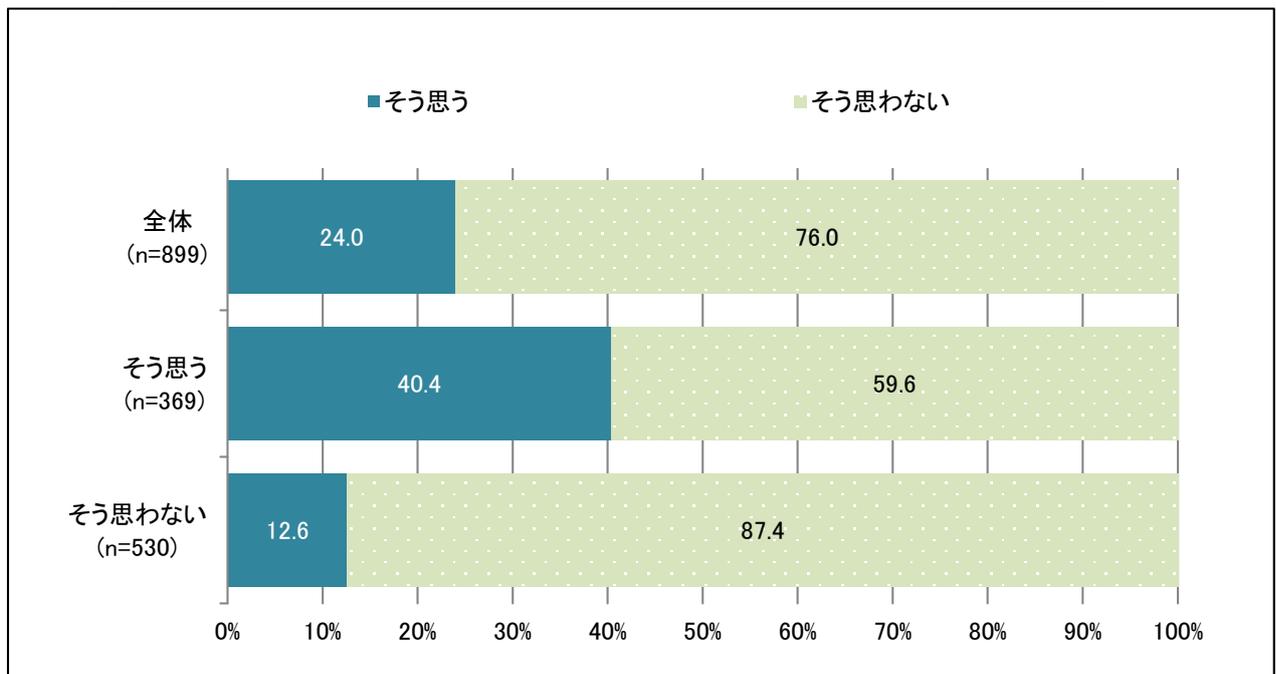
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.44であり、かなり相関が見られた。

< 仮説・検討事項(36)>

教員が「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」ことが、児童の教科への得意・不得意に関する意識に影響しているか

(15) 性別で教科の得意、不得意があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----------------------------------|--------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 216 24.0 | 683 76.0 |
| (21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う | そう思う | 369 100.0 | 149 40.4 | 220 59.6 |
| | そう思わない | 530 100.0 | 67 12.6 | 463 87.4 |



(図表IV-5-48)

○「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、全体では《そう思う》(24.0%)で2割台半ばとなっている。

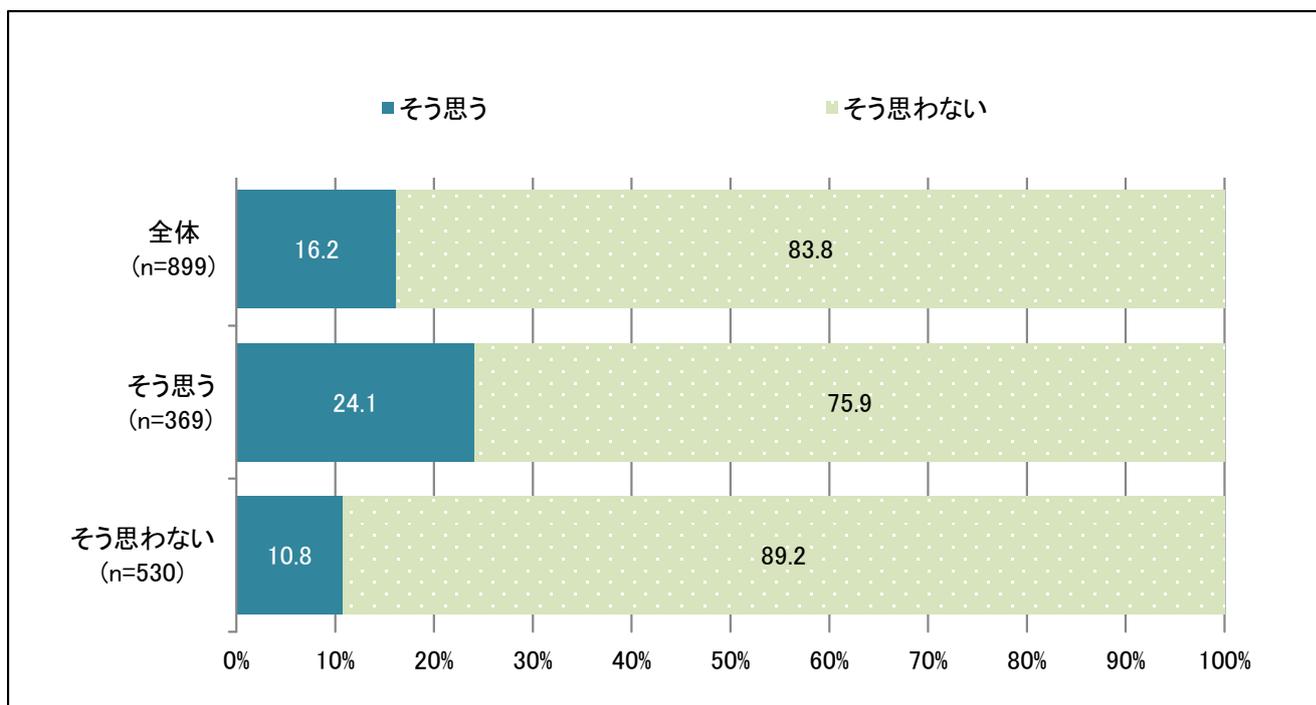
「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(40.4%)が4割、《そう思わない》(12.6%)が1割を超えており、回答割合に大きな差が見られた。

「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.46であり、かなり相関が見られた。

(16) 理系科目は男の子の方が得意だと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----------------------------------|--------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 146 16.2 | 753 83.8 |
| (21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う | そう思う | 369 100.0 | 89 24.1 | 280 75.9 |
| | そう思わない | 530 100.0 | 57 10.8 | 473 89.2 |



(図表IV-5-49)

○「理系科目は男の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(16.2%)で1割台半ばとなっている。

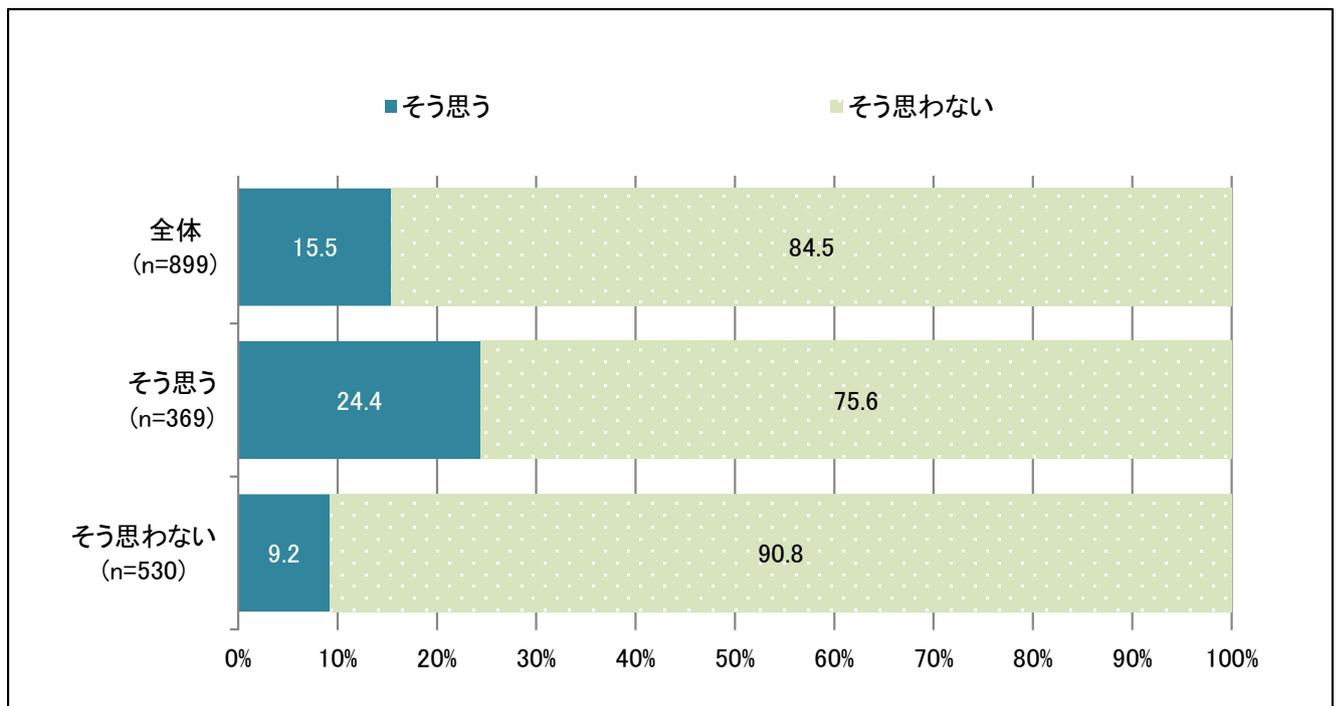
「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(24.1%)が2割台半ば、《そう思わない》(10.8%)がほぼ1割となっており、回答割合に大きな差が見られた。

「理系科目は男の子の方が得意だと思う」について、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.38であり、やや相関が見られた。

(17) 文系科目は女の子の方が得意だと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----------------------------------|--------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 139 15.5 | 760 84.5 |
| (21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う | そう思う | 369 100.0 | 90 24.4 | 279 75.6 |
| | そう思わない | 530 100.0 | 49 9.2 | 481 90.8 |



(図表IV-5-50)

○「文系科目は女の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(15.5%)で1割台半ばとなっている。

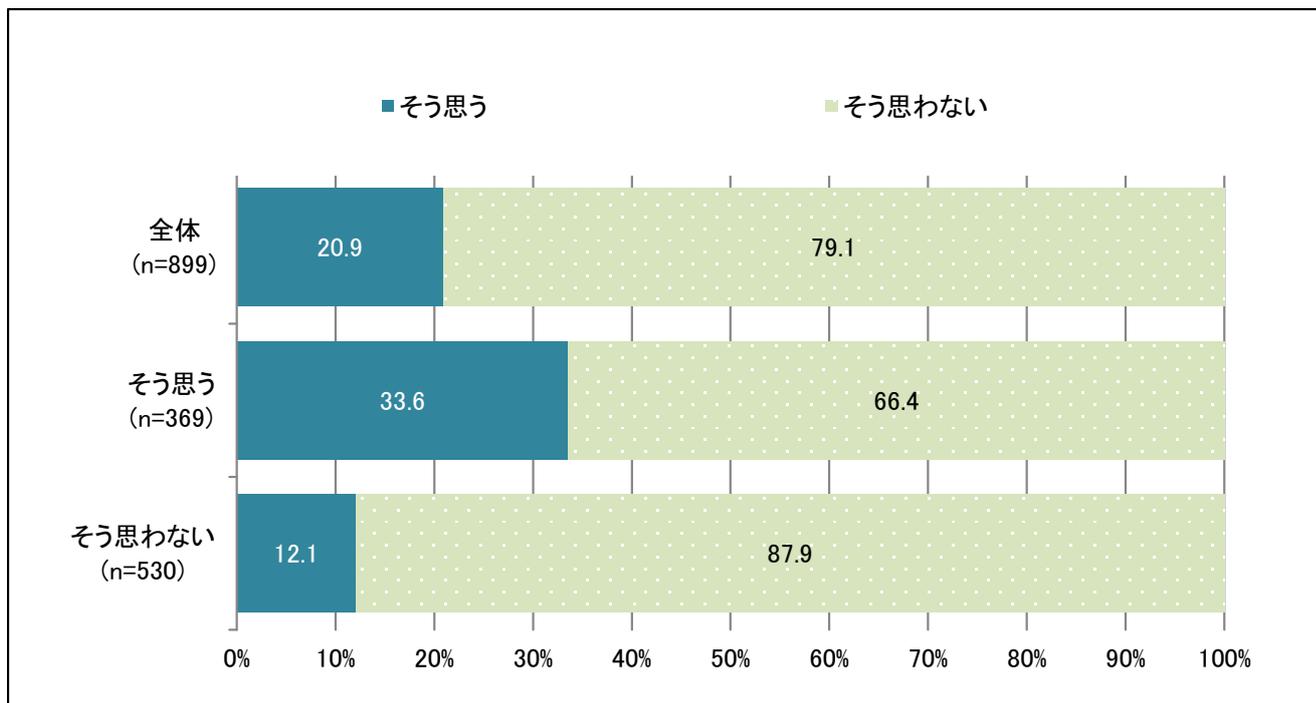
「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(24.4%)が2割台半ば、《そう思わない》(9.2%)が1割未満となっており、回答割合に大きな差が見られた。

「文系科目は女の子の方が得意だと思う」について、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.38であり、やや相関が見られた。

(18) 家庭科は女の子の方が向いていると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----------------------------------|--------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 188 20.9 | 711 79.1 |
| (21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う | そう思う | 369 100.0 | 124 33.6 | 245 66.4 |
| | そう思わない | 530 100.0 | 64 12.1 | 466 87.9 |



(図表IV-5-51)

○「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(20.9%)でほぼ2割となっている。

「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(33.6%)が3割超え、《そう思わない》(12.1%)が1割を超えており、回答割合に大きな差が見られた。

「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

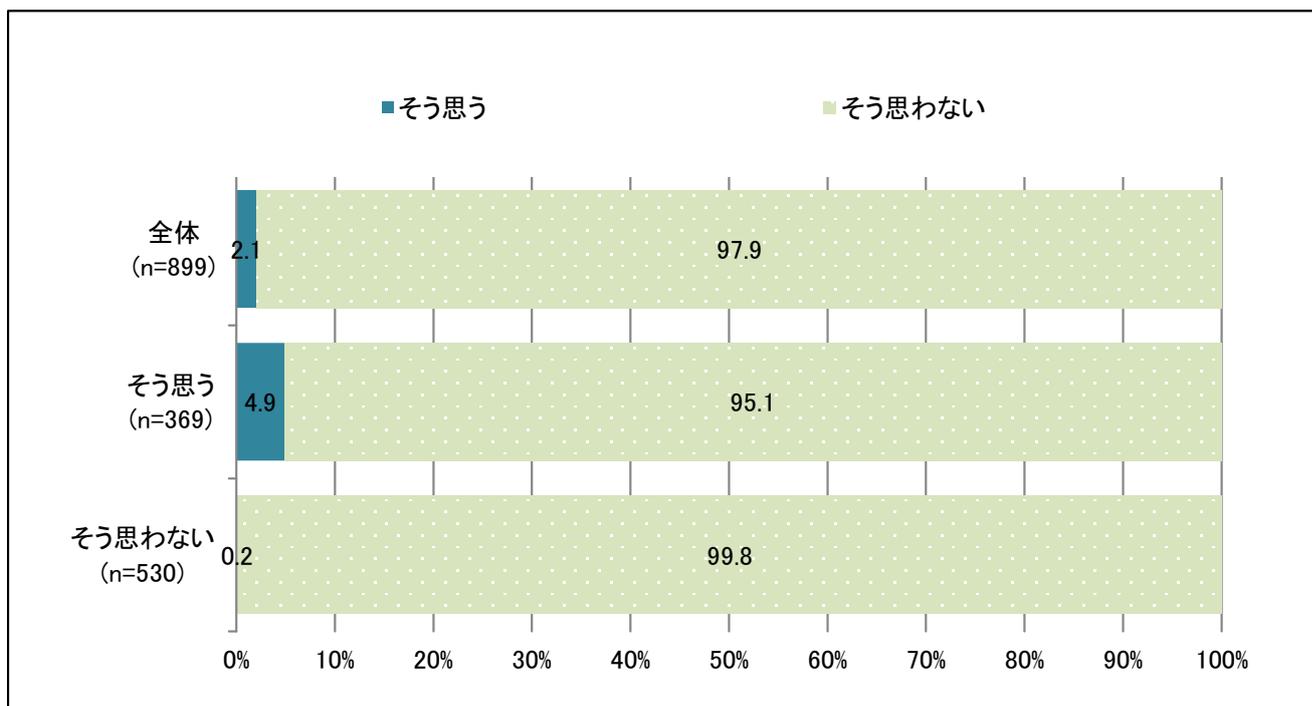
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.41であり、かなり相関が見られた。

< 仮説・検討事項(37)>

教員が「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」ことが、学校での児童の役割に関する意識に影響しているか

(19) 学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----------------------------------|--------|--------------|-----------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 19 2.1 | 880 97.9 |
| (21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う | そう思う | 369 100.0 | 18 4.9 | 351 95.1 |
| | そう思わない | 530 100.0 | 1 0.2 | 529 99.8 |



(図表IV-5-52)

○「学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(2.1%)でわずかとなっている。

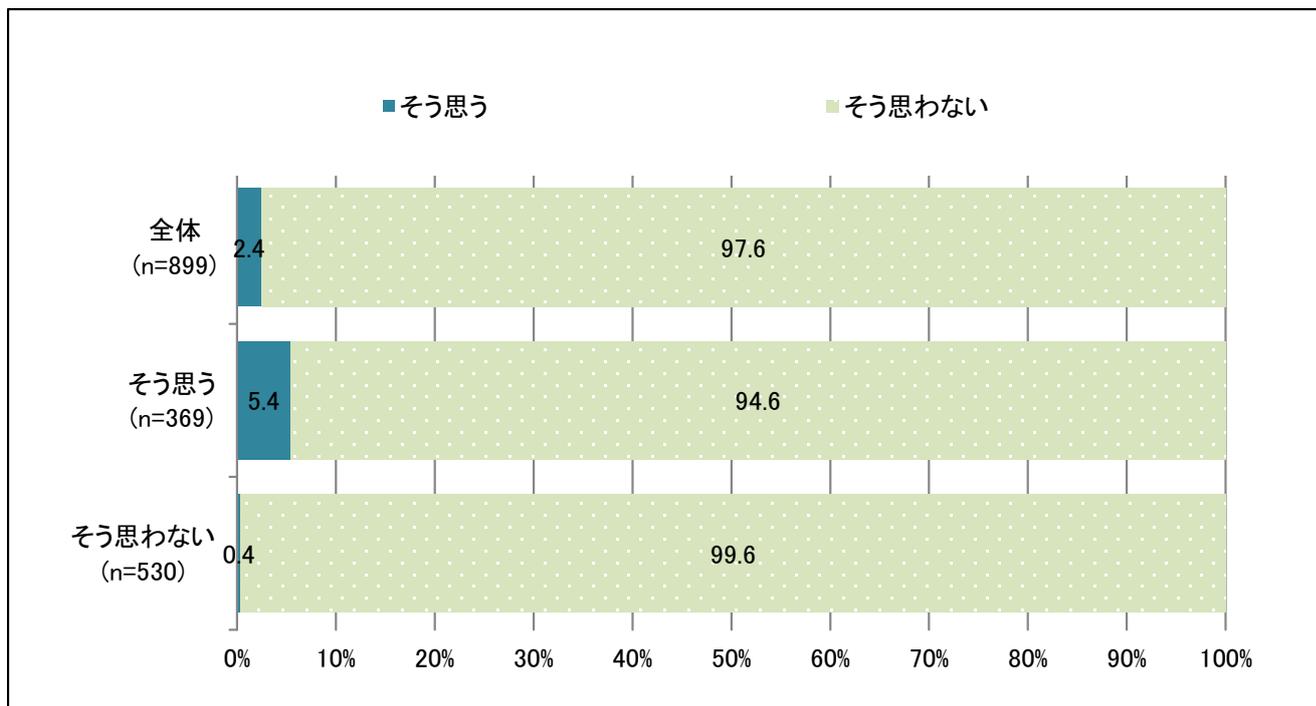
「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(4.9%)がわずか、《そう思わない》(0.2%)がわずかとなっている。

「家学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」について、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$) が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.45であり、かなり相関が見られた。

(20) 授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうが良いと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----------------------------------|--------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 22 | 877 |
| | | 100.0 | 2.4 | 97.6 |
| (21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う | そう思う | 369 | 20 | 349 |
| | そう思わない | 530 | 2 | 528 |
| | | 100.0 | 0.4 | 99.6 |



(図表IV-5-53)

○「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうが良いと思う」について、全体では「そう思う」(2.4%)でわずかとなっている。

「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別でみると、「そう思う」では「そう思う」(5.4%)が1割未満、「そう思わない」(0.4%)がわずかとなっている。

「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうが良いと思う」について、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$) が見られた。

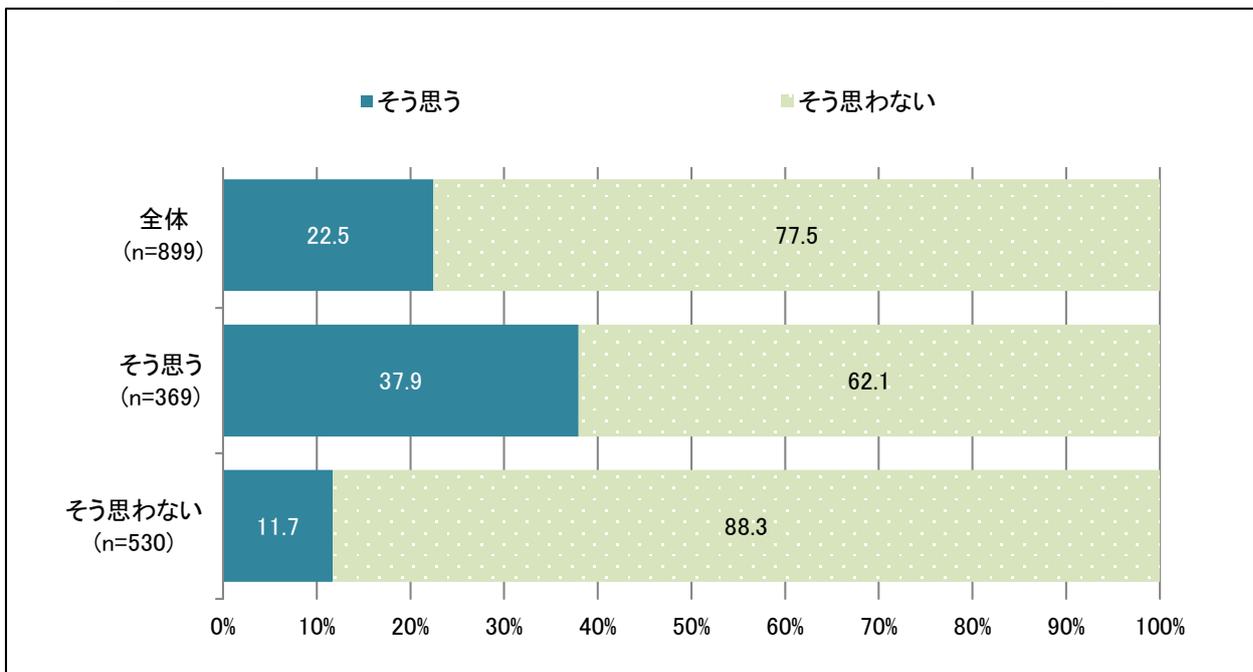
設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.52であり、かなり相関が見られた。

< 仮説・検討事項(38)>

教員が「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」ことが、「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」ことに影響を与えているか

(11) 性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|-----------------------------------|--------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 202 22.5 | 697 77.5 |
| (21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う | そう思う | 369 100.0 | 140 37.9 | 229 62.1 |
| | そう思わない | 530 100.0 | 62 11.7 | 468 88.3 |



(図表IV-5-54)

○「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について、全体では《そう思う》(22.5%)で2割を超えている。

「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別でみると、《そう思う》では《そう思う》(37.9%)が4割近く、《そう思わない》(11.7%)が1割を超えており、回答割合に大きな差が見られた。

「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差 ($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.44であり、かなり相関が見られた。

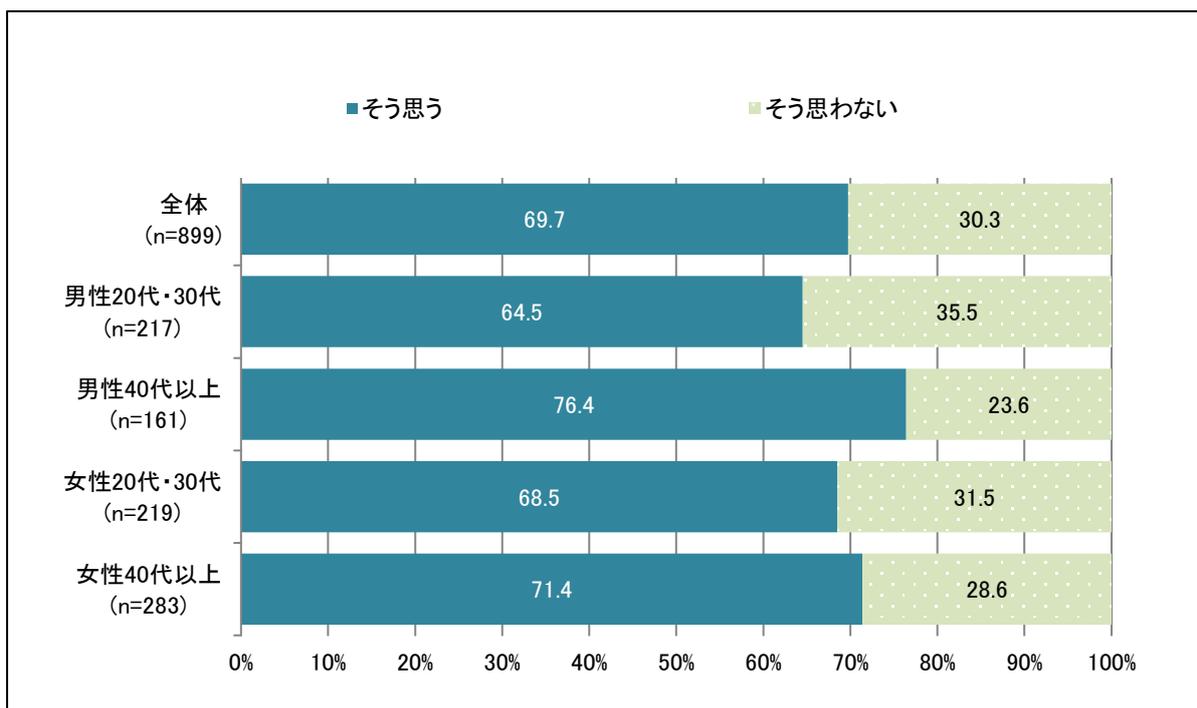
⑤ 無意識の思い込みの認知等と性別に関する意識の関係

< 仮説・検討事項(39) >

教員の年代・役職によって、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の意識・行動・認知度等に関する違いがあるか

(33) 学校での指導等において無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を意識している（SA）

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|------------|------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 627 | 272 |
| | | 100.0 | 69.7 | 30.3 |
| 性別・年代 | 男性 20代・30代 | 217 | 140 | 77 |
| | | 100.0 | 64.5 | 35.5 |
| | 男性 40代以上 | 161 | 123 | 38 |
| | | 100.0 | 76.4 | 23.6 |
| 女性 20代・30代 | | 219 | 150 | 69 |
| | | 100.0 | 68.5 | 31.5 |
| 女性 40代以上 | | 283 | 202 | 81 |
| | | 100.0 | 71.4 | 28.6 |



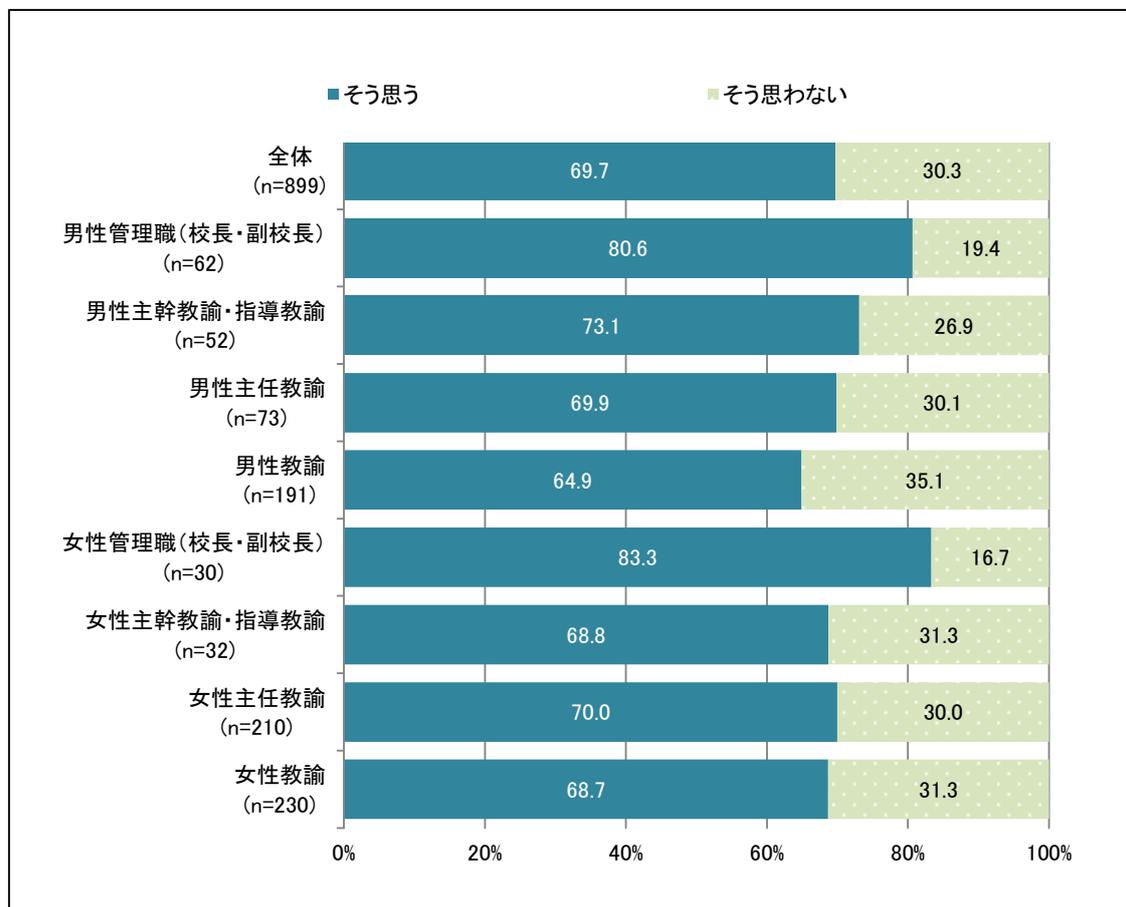
(図表IV-5-55)

○「学校での指導等において無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を意識している」について、全体では《そう思う》（69.7%）で7割となっている。

性別・年代別でみると、《そう思う》について、男性では「20代・30代」（64.5%）が6割台半ば、「40代以上」（76.4%）が7割台半ばとなっており、女性では「20代・30代」（68.5%）が7割近く、「40代以上」（71.4%）が7割を超えている。

(33) 学校での指導等において無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を意識している(SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|----------------|----------------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 627 | 272 |
| | | 100.0 | 69.7 | 30.3 |
| 性別・役職 | 男性 管理職(校長・副校長) | 62 | 50 | 12 |
| | | 100.0 | 80.6 | 19.4 |
| | 男性 主幹教諭・指導教諭 | 52 | 38 | 14 |
| | | 100.0 | 73.1 | 26.9 |
| | 男性 主任教諭 | 73 | 51 | 22 |
| | | 100.0 | 69.9 | 30.1 |
| | 男性 教諭 | 191 | 124 | 67 |
| | | 100.0 | 64.9 | 35.1 |
| 女性 管理職(校長・副校長) | 30 | 25 | 5 | |
| | 100.0 | 83.3 | 16.7 | |
| 女性 主幹教諭・指導教諭 | 32 | 22 | 10 | |
| | 100.0 | 68.8 | 31.3 | |
| 女性 主任教諭 | 210 | 147 | 63 | |
| | 100.0 | 70.0 | 30.0 | |
| 女性 教諭 | 230 | 158 | 72 | |
| | 100.0 | 68.7 | 31.3 | |



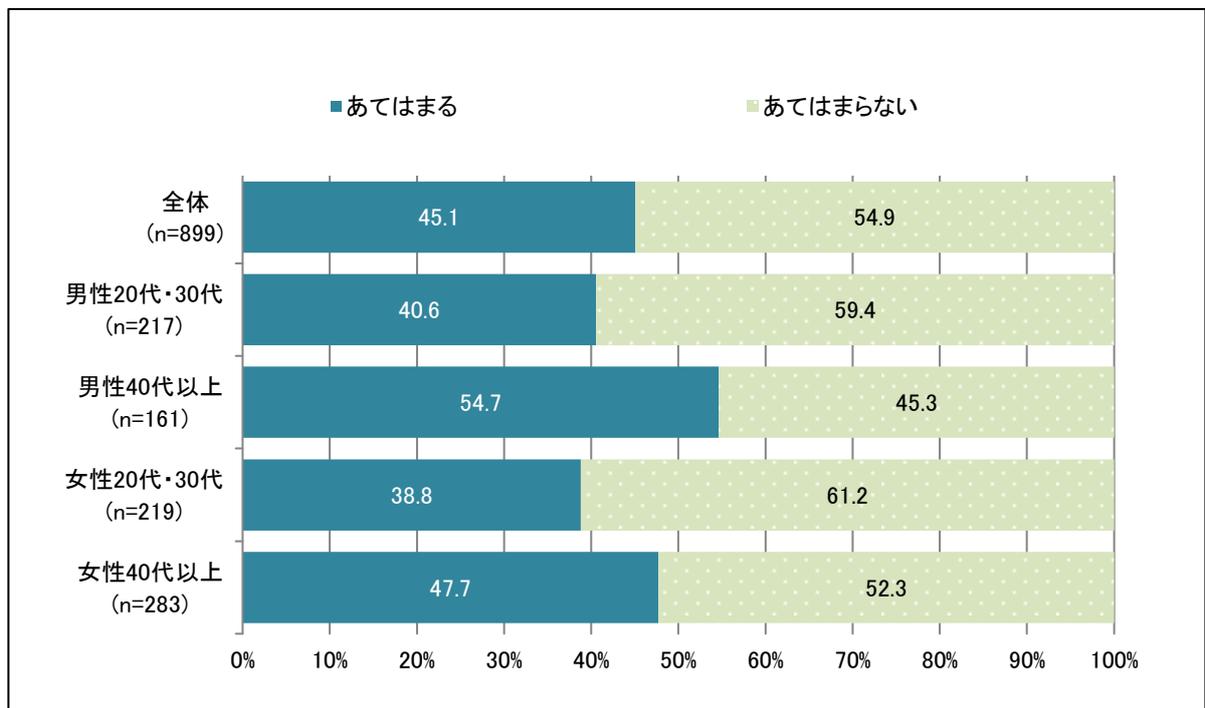
(図表IV-5-56)

○「学校での指導等において無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を意識している」について、全体では《そう思う》(69.7%)で7割となっている。

性別・役職別でみると、《そう思う》について、男性では「管理職(校長・副校長)」(80.6%)がほぼ8割、「主幹教諭・指導教諭」(73.1%)が7割超え、「主任教諭」(69.9%)が7割、「教諭」(64.9%)が6割台半ばとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(83.3%)が8割超え、「主幹教諭・指導教諭」(68.8%)が7割近く、「主任教諭」(70.0%)が7割、「教諭」(68.7%)が7割近くとなっている。男女ともに、管理職では、《そう思う》の回答割合が高くなる傾向が見られた。

(34) 教員間で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について話をしたことがある(SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|------------|------------|-------|-------|---------|
| 全体 | | 899 | 405 | 494 |
| | | 100.0 | 45.1 | 54.9 |
| 性別・年代 | 男性 20代・30代 | 217 | 88 | 129 |
| | | 100.0 | 40.6 | 59.4 |
| | 男性 40代以上 | 161 | 88 | 73 |
| | | 100.0 | 54.7 | 45.3 |
| 女性 20代・30代 | | 219 | 85 | 134 |
| | | 100.0 | 38.8 | 61.2 |
| 女性 40代以上 | | 283 | 135 | 148 |
| | | 100.0 | 47.7 | 52.3 |



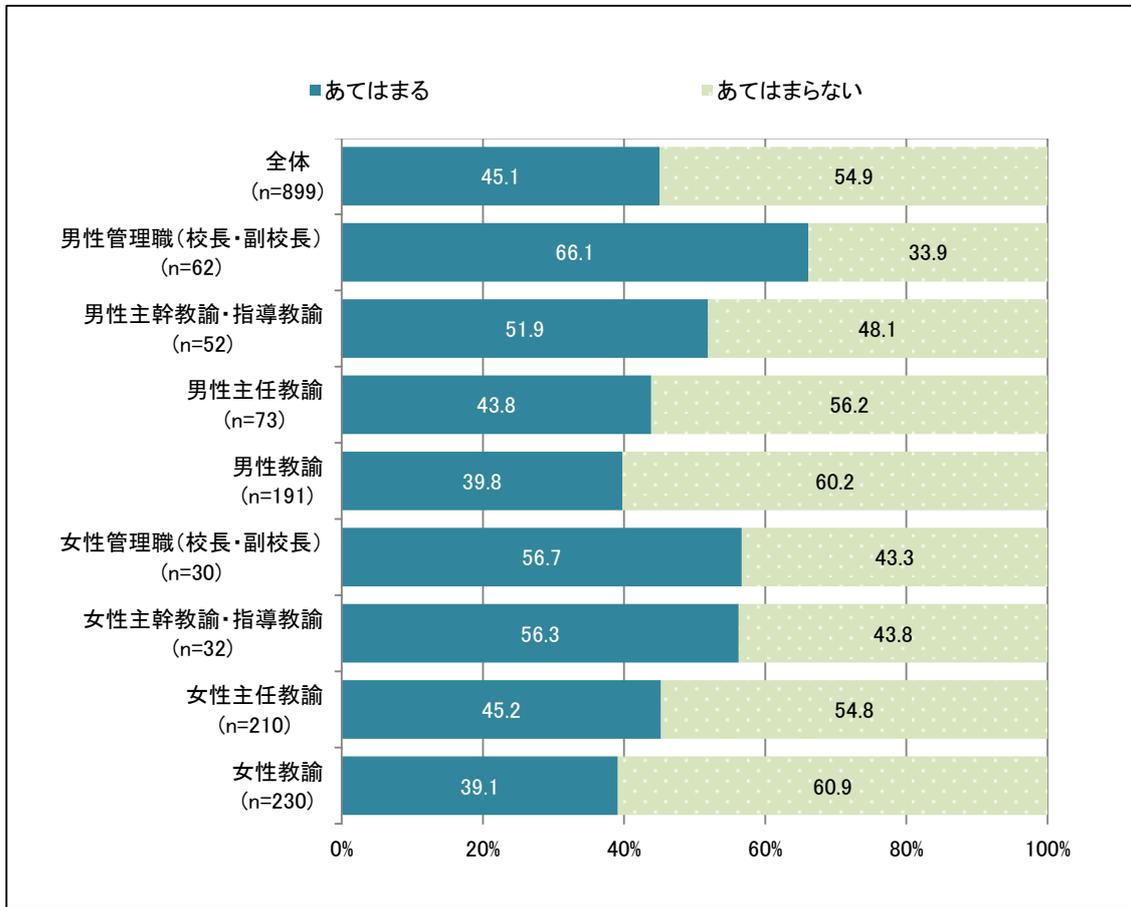
(図表IV-5-57)

○「教員間で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について話をしたことがある」について、全体では《あてはまる》(45.1%)で4割台半ばとなっている。

性別・年代別で見ると、《あてはまる》について、男性では「20代・30代」(40.6%)がほぼ4割、「40代以上」(54.7%)が5割台半ばとなっており、女性では「20代・30代」(38.8%)が4割近く、「40代以上」(47.7%)が5割近くとなっている。男女ともに、年代があがるにつれ、《あてはまる》の回答割合が高くなる傾向が見られた。

(34) 教員間で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について話をしたことがある(SA)

| | | 計 | あてはまる | あてはまらない |
|----------------|----------------|-------|-------|---------|
| 全体 | | 899 | 405 | 494 |
| | | 100.0 | 45.1 | 54.9 |
| 性別・役職 | 男性 管理職(校長・副校長) | 62 | 41 | 21 |
| | | 100.0 | 66.1 | 33.9 |
| | 男性 主幹教諭・指導教諭 | 52 | 27 | 25 |
| | | 100.0 | 51.9 | 48.1 |
| | 男性 主任教諭 | 73 | 32 | 41 |
| | | 100.0 | 43.8 | 56.2 |
| | 男性 教諭 | 191 | 76 | 115 |
| | | 100.0 | 39.8 | 60.2 |
| 女性 管理職(校長・副校長) | 30 | 17 | 13 | |
| | 100.0 | 56.7 | 43.3 | |
| 女性 主幹教諭・指導教諭 | 32 | 18 | 14 | |
| | 100.0 | 56.3 | 43.8 | |
| 女性 主任教諭 | 210 | 95 | 115 | |
| | 100.0 | 45.2 | 54.8 | |
| 女性 教諭 | 230 | 90 | 140 | |
| | 100.0 | 39.1 | 60.9 | |



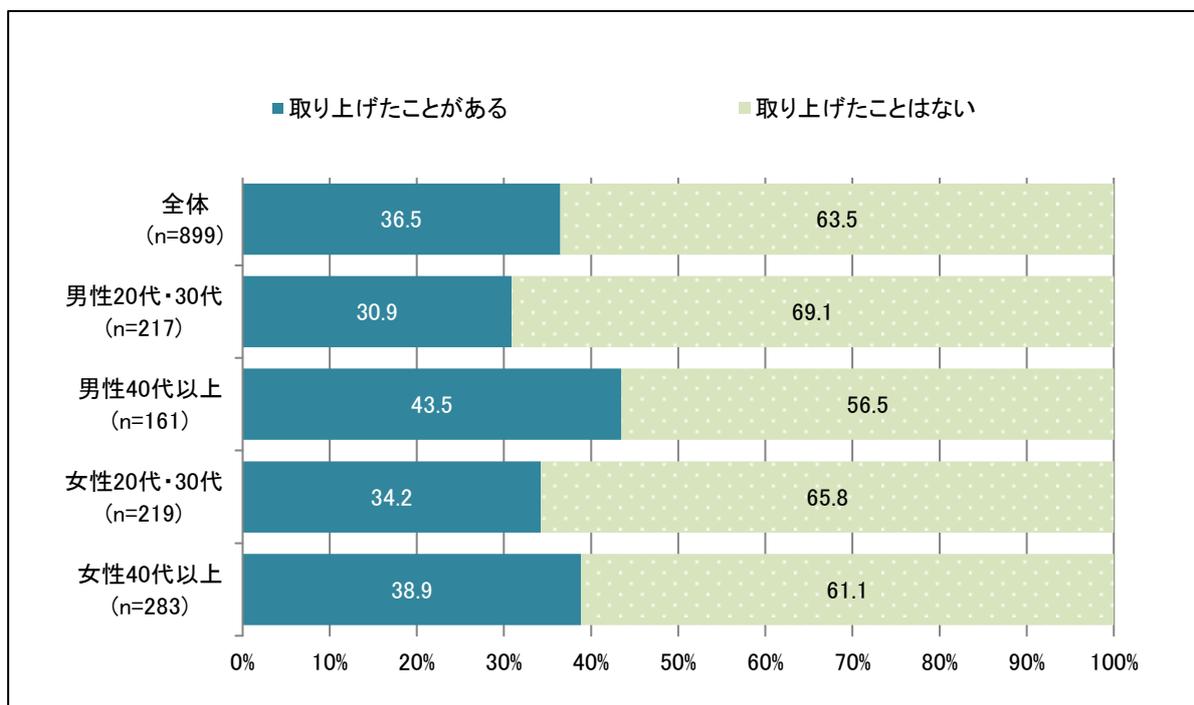
(図表IV-5-58)

○「教員間で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について話をしたことがある」について、全体では「あてはまる」(45.1%)で4割台半ばとなっている。

性別・役職別でみると、「あてはまる」について、男性では「管理職(校長・副校長)」(66.1%)が6割台半ば、「主幹教諭・指導教諭」(51.9%)が5割超え、「主任教諭」(43.8%)が4割超え、「教諭」(39.8%)が4割となっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(56.7%)が6割近く、「主幹教諭・指導教諭」(56.3%)が5割台半ば、「主任教諭」(45.2%)が4割台半ば、「教諭」(39.1%)がほぼ4割となっている。男女ともに、役職があがるにつれ、「あてはまる」の回答割合が高くなる傾向が見られた。

(35) 子供への指導で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を取り上げたことがある(SA)

| | | 計 | 取り上げたことがある | 取り上げたことはない |
|-------|------------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 328 36.5 | 571 63.5 |
| 性別・年代 | 男性 20代・30代 | 217 100.0 | 67 30.9 | 150 69.1 |
| | 男性 40代以上 | 161 100.0 | 70 43.5 | 91 56.5 |
| | 女性 20代・30代 | 219 100.0 | 75 34.2 | 144 65.8 |
| | 女性 40代以上 | 283 100.0 | 110 38.9 | 173 61.1 |



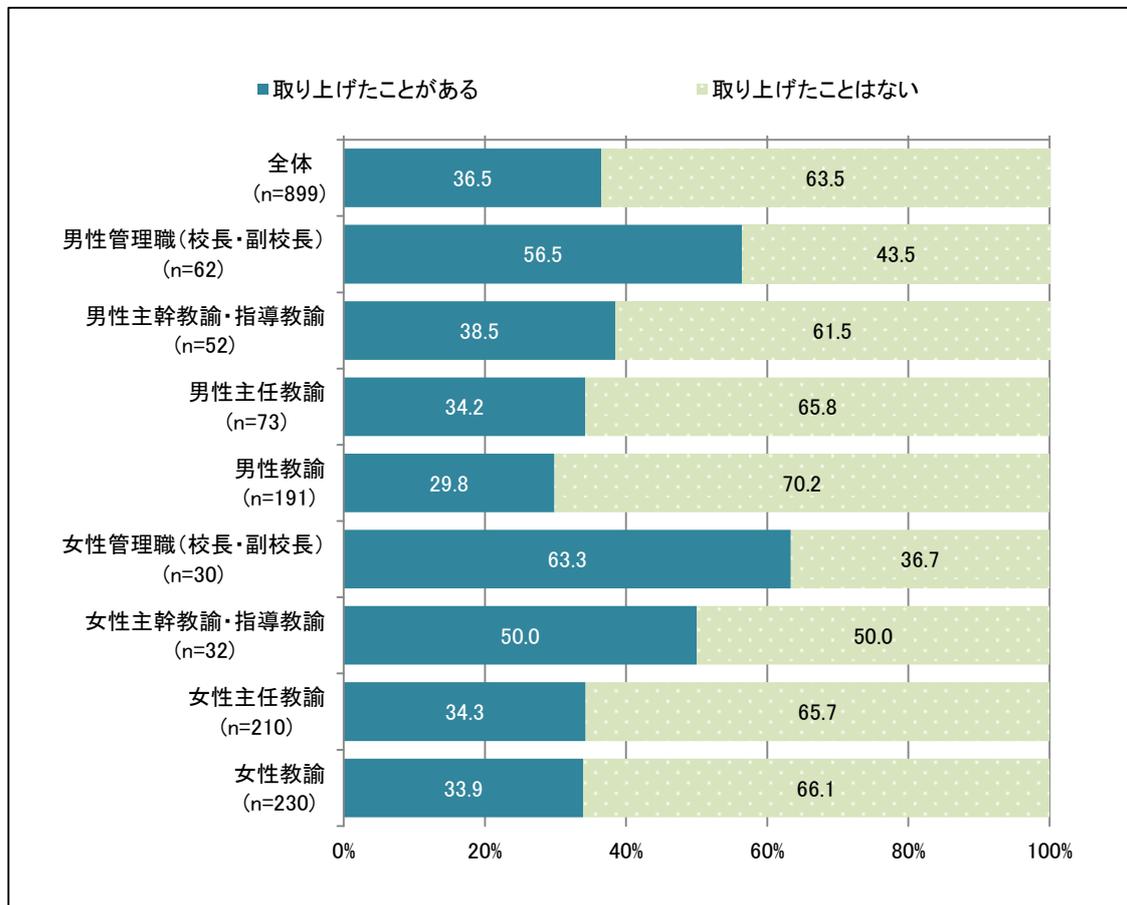
(図表IV-5-59)

○「子供への指導で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を取り上げたことがある」について、全体では「取り上げたことがある」(36.5%)で4割近くとなっている。

性別・年代別でみると、「取り上げたことがある」について、男性では「20代・30代」(30.9%)がほぼ3割、「40代以上」(43.5%)が4割超えとなっており、女性では「20代・30代」(34.2%)が3割台半ば、「40代以上」(38.9%)が4割近くとなっている。男性では年代により、「取り上げたことがある」の回答割合に大きな差が見られた。

(35) 子供への指導で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を取り上げたことがある(SA)

| | | 計 | 取り上げたことがある | 取り上げたことはない |
|----------------|----------------|-------|------------|------------|
| 全体 | | 899 | 328 | 571 |
| | | 100.0 | 36.5 | 63.5 |
| 性別・役職 | 男性 管理職(校長・副校長) | 62 | 35 | 27 |
| | | 100.0 | 56.5 | 43.5 |
| | 男性 主幹教諭・指導教諭 | 52 | 20 | 32 |
| | | 100.0 | 38.5 | 61.5 |
| | 男性 主任教諭 | 73 | 25 | 48 |
| | | 100.0 | 34.2 | 65.8 |
| | 男性 教諭 | 191 | 57 | 134 |
| | | 100.0 | 29.8 | 70.2 |
| 女性 管理職(校長・副校長) | 30 | 19 | 11 | |
| | 100.0 | 63.3 | 36.7 | |
| 女性 主幹教諭・指導教諭 | 32 | 16 | 16 | |
| | 100.0 | 50.0 | 50.0 | |
| 女性 主任教諭 | 210 | 72 | 138 | |
| | 100.0 | 34.3 | 65.7 | |
| 女性 教諭 | 230 | 78 | 152 | |
| | 100.0 | 33.9 | 66.1 | |



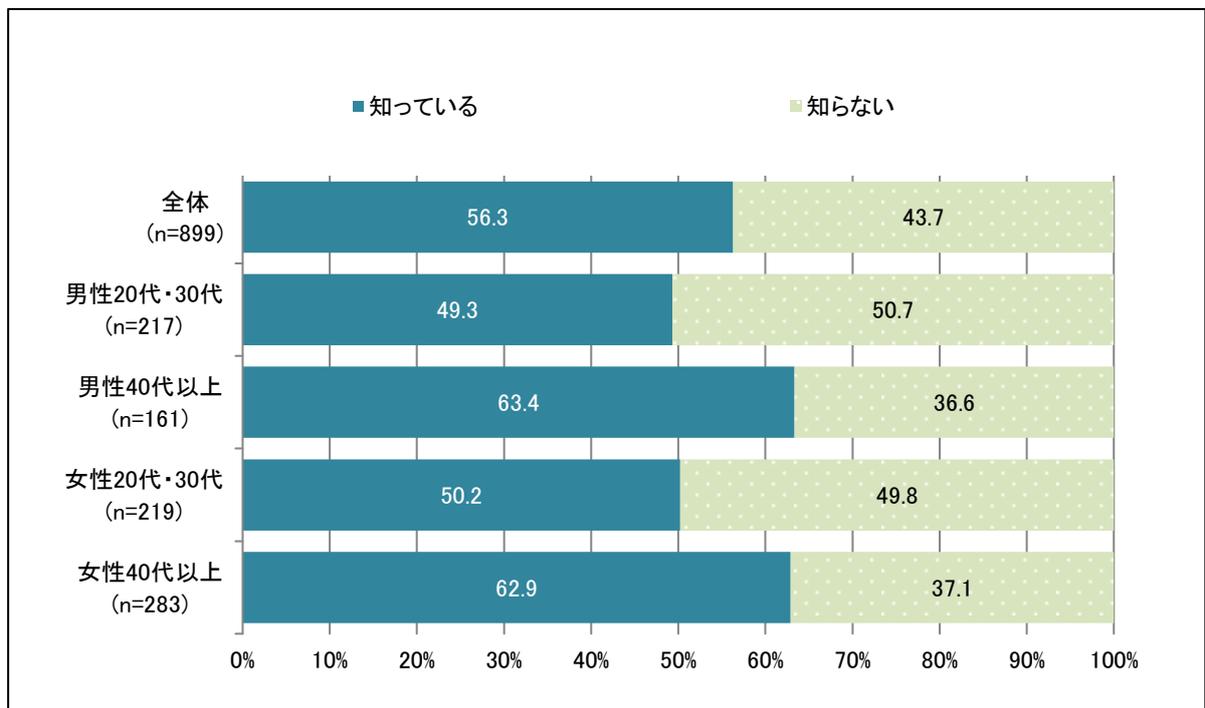
(図表IV-5-60)

○「子供への指導で無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)を取り上げたことがある」について、全体では「取り上げたことがある」(36.5%)で4割近くとなっている。

性別・役職別でみると、「取り上げたことがある」について、男性では「管理職(校長・副校長)」(56.5%)が6割近く、「主幹教諭・指導教諭」(38.5%)が4割近く、「主任教諭」(34.2%)が3割台半ば、「教諭」(29.8%)が3割となっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(63.3%)が6割超え、「主幹教諭・指導教諭」(50.0%)が5割、「主任教諭」(34.3%)が3割台半ば、「教諭」(33.9%)が3割を超えている。男女ともに、役職があがるにつれ、「取り上げたことがある」の回答割合が高くなる傾向が見られた。

(36) 無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) について知っていますか (SA)

| | | 計 | 知っている | 知らない |
|------------|------------|-------|-------|------|
| 全体 | | 899 | 506 | 393 |
| | | 100.0 | 56.3 | 43.7 |
| 性別・年代 | 男性 20代・30代 | 217 | 107 | 110 |
| | | 100.0 | 49.3 | 50.7 |
| | 男性 40代以上 | 161 | 102 | 59 |
| | | 100.0 | 63.4 | 36.6 |
| 女性 20代・30代 | | 219 | 110 | 109 |
| | | 100.0 | 50.2 | 49.8 |
| 女性 40代以上 | | 283 | 178 | 105 |
| | | 100.0 | 62.9 | 37.1 |



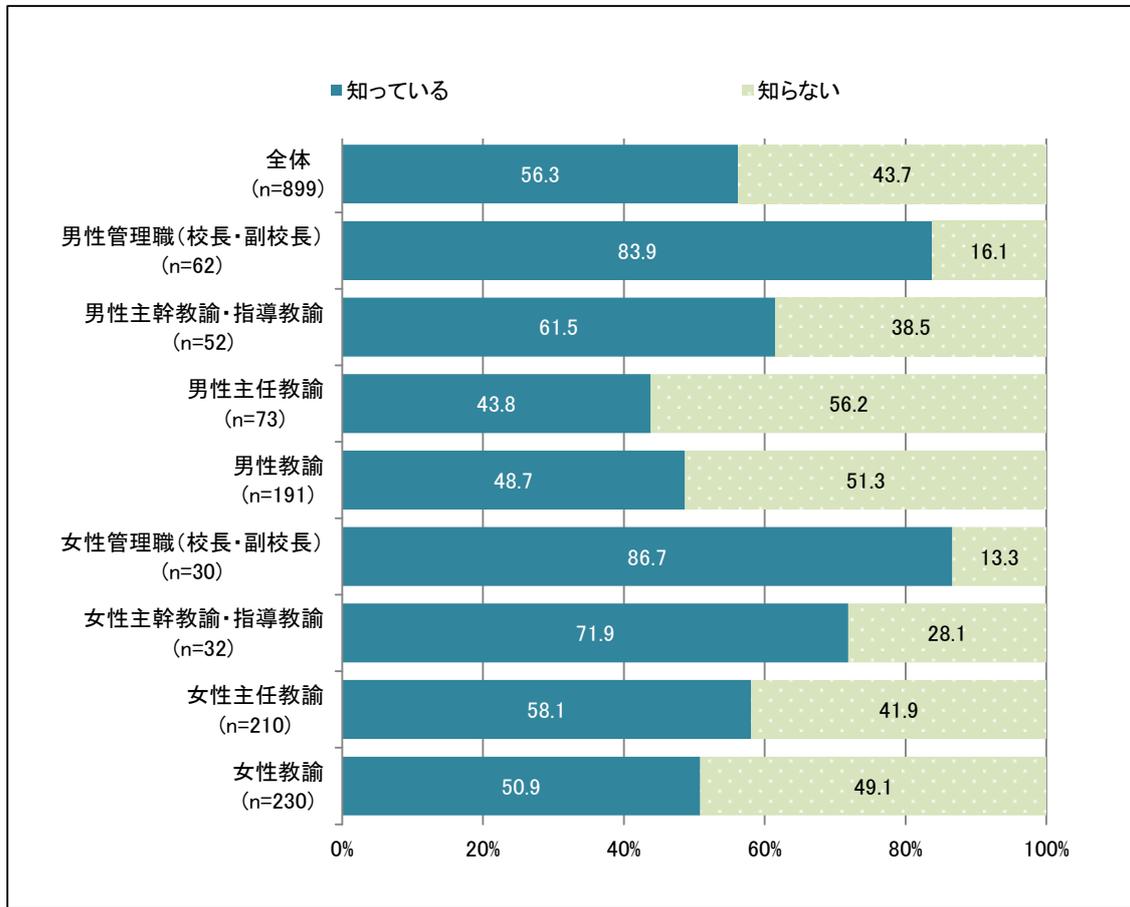
(図表IV-5-61)

○「無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) について知っていますか」について、全体では《知っている》(56.3%)で5割台半ばとなっている。

性別・年代別で見ると、《知っている》について、男性では「20代・30代」(49.3%)がほぼ5割、「40代以上」(63.4%)が6割を超えており、女性では「20代・30代」(50.2%)が5割、「40代以上」(62.9%)が6割を超えている。男女ともに、年代があがるにつれ、《知っている》の回答割合が高くなる傾向が見られた。

(36) 無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) について知っていますか (SA)

| | | 計 | 知っている | 知らない |
|----------------|----------------|-------|-------|------|
| 全体 | | 899 | 506 | 393 |
| | | 100.0 | 56.3 | 43.7 |
| 性別・役職 | 男性 管理職(校長・副校長) | 62 | 52 | 10 |
| | | 100.0 | 83.9 | 16.1 |
| | 男性 主幹教諭・指導教諭 | 52 | 32 | 20 |
| | | 100.0 | 61.5 | 38.5 |
| | 男性 主任教諭 | 73 | 32 | 41 |
| | | 100.0 | 43.8 | 56.2 |
| | 男性 教諭 | 191 | 93 | 98 |
| | | 100.0 | 48.7 | 51.3 |
| 女性 管理職(校長・副校長) | 30 | 26 | 4 | |
| | 100.0 | 86.7 | 13.3 | |
| 女性 主幹教諭・指導教諭 | 32 | 23 | 9 | |
| | 100.0 | 71.9 | 28.1 | |
| 女性 主任教諭 | 210 | 122 | 88 | |
| | 100.0 | 58.1 | 41.9 | |
| 女性 教諭 | 230 | 117 | 113 | |
| | 100.0 | 50.9 | 49.1 | |



(図表IV-5-6-2)

○「無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス) について知っていますか」について、全体では「知っている」(56.3%)で5割台半ばとなっている。

性別・役職別でみると、「知っている」について、男性では「管理職(校長・副校長)」(83.9%)が8割超え、「主幹教諭・指導教諭」(61.5%)が6割超え、「主任教諭」(43.8%)が4割超え、「教諭」(48.7%)が5割近くとなっており、女性では「管理職(校長・副校長)」(86.7%)が9割近く、「主幹教諭・指導教諭」(71.9%)が7割超え、「主任教諭」(58.1%)が6割近く、「教諭」(50.9%)がほぼ5割となっている。男女ともに、役職があがるにつれ、「知っている」の回答割合が高くなる傾向が見られた。

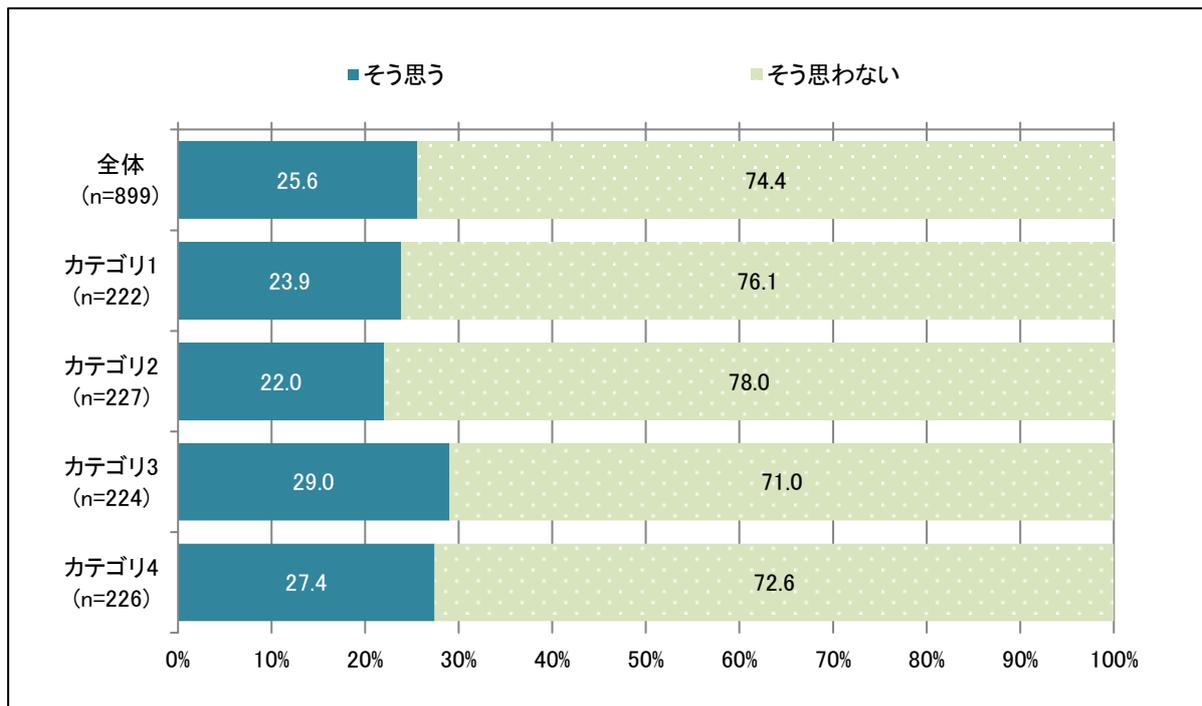
< 仮説・検討事項(40)>

得点化したカテゴリと他の設問との間に関係性はあるか

(1) 男性の方が管理職に向いていると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 230 25.6 | 669 74.4 |
| (33)～(36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化) | カテゴリ1 | 222 100.0 | 53 23.9 | 169 76.1 |
| | カテゴリ2 | 227 100.0 | 50 22.0 | 177 78.0 |
| | カテゴリ3 | 224 100.0 | 65 29.0 | 159 71.0 |
| | カテゴリ4 | 226 100.0 | 62 27.4 | 164 72.6 |

カテゴリについては、「第I章 5 報告書の見方」参照



(図表IV-5-63)

○「男性の方が管理職に向いていると思う」について、全体では《そう思う》(25.6%)で2割台半ばとなっている。

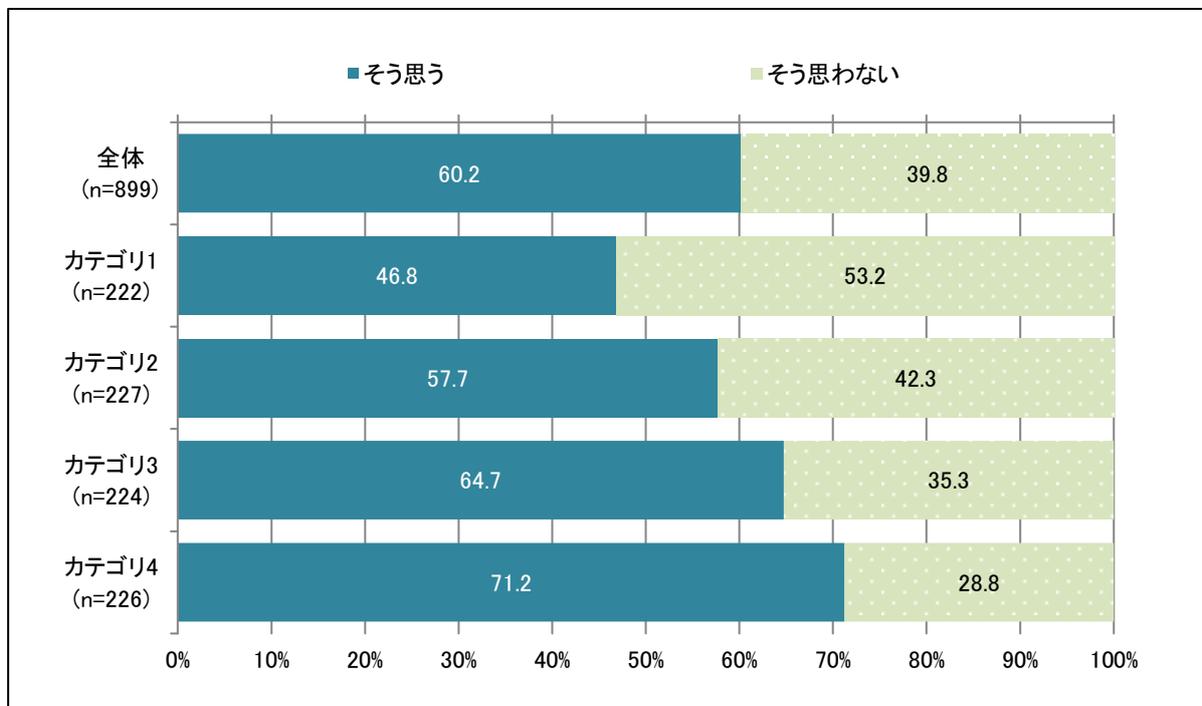
得点化のカテゴリ別でみると、《そう思う》について、カテゴリ1(23.9%)とカテゴリ2(22.0%)がともに2割超え、カテゴリ3(29.0%)がほぼ3割、カテゴリ4(27.4%)が3割近くとなっている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.02であり、ほとんど相関が見られなかった。

(2) 将来管理職になるのは無理だと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 541 60.2 | 358 39.8 |
| (33)～(36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化) | カテゴリ1 | 222 100.0 | 104 46.8 | 118 53.2 |
| | カテゴリ2 | 227 100.0 | 131 57.7 | 96 42.3 |
| | カテゴリ3 | 224 100.0 | 145 64.7 | 79 35.3 |
| | カテゴリ4 | 226 100.0 | 161 71.2 | 65 28.8 |

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



(図表IV-5-64)

○「将来管理職になるのは無理だと思う」について、全体では《そう思う》(60.2%)で6割となっている。

得点化のカテゴリ別でみると、《そう思う》について、カテゴリ1(46.8%)が5割近く、カテゴリ2(57.7%)が6割近く、カテゴリ3(64.7%)が6割台半ば、カテゴリ4(71.2%)が7割を超えている。

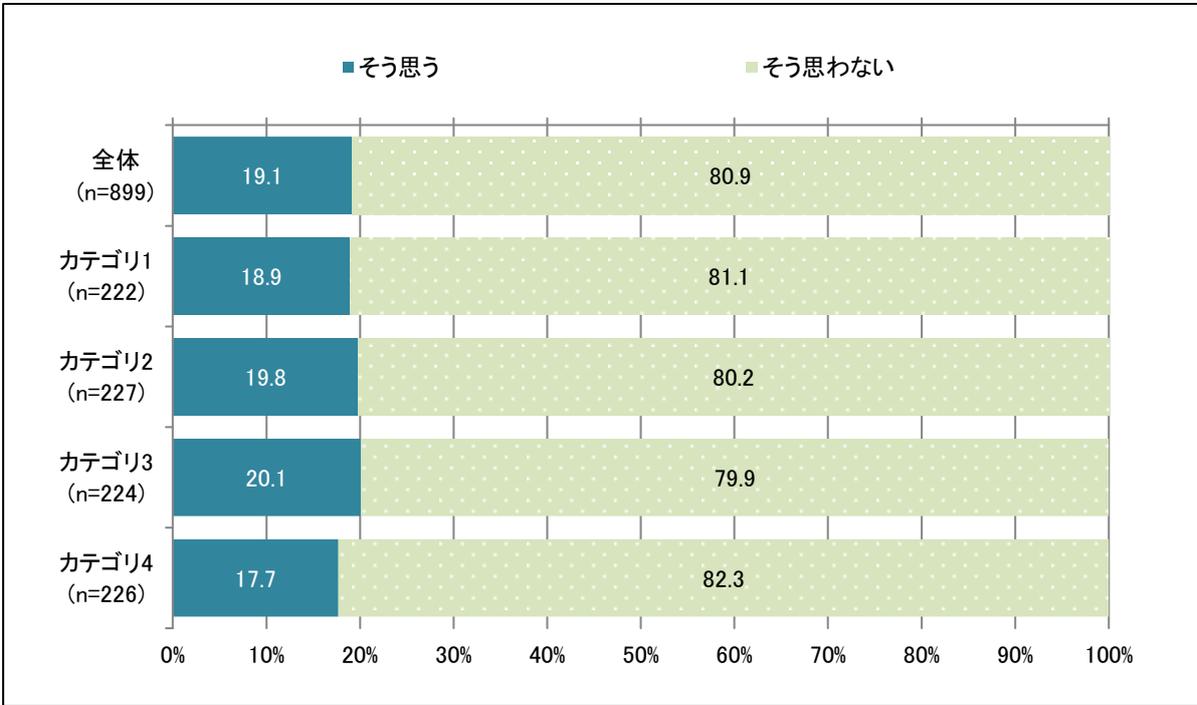
「将来管理職になるのは無理だと思う」について、得点化カテゴリ別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、-0.14であり、ほとんど相関が見られなかった。

(3) プライベートより仕事を優先したほうがいいと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 172 19.1 | 727 80.9 |
| (33) ~ (36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化) | カテゴリ1 | 222 100.0 | 42 18.9 | 180 81.1 |
| | カテゴリ2 | 227 100.0 | 45 19.8 | 182 80.2 |
| | カテゴリ3 | 224 100.0 | 45 20.1 | 179 79.9 |
| | カテゴリ4 | 226 100.0 | 40 17.7 | 186 82.3 |

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



(図表IV-5-65)

○「プライベートより仕事を優先したほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(19.1%)でほぼ2割となっている。

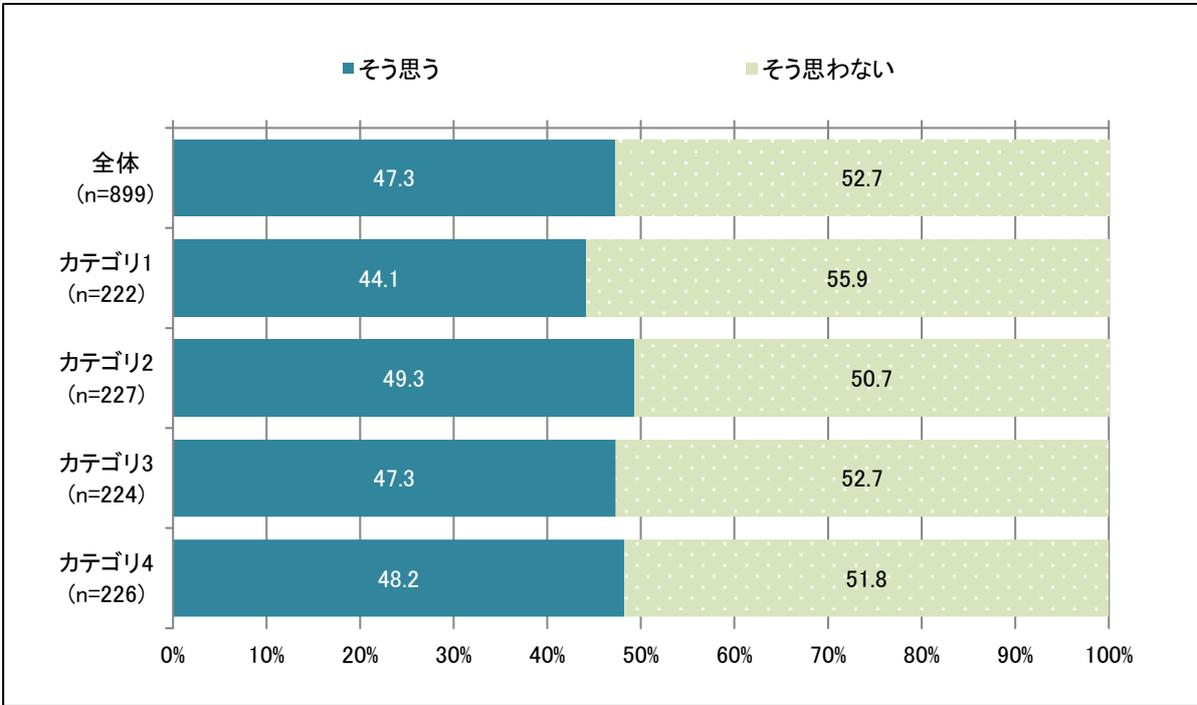
得点化のカテゴリ別でみると、《そう思う》について、カテゴリ1(18.9%)が2割近く、カテゴリ2(19.8%)とカテゴリ3(20.1%)がともに2割、カテゴリ4(17.7%)が2割近くとなっている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.13であり、ほとんど相関が見られなかった。

(4) 「男性だから」「女性だから」と思うことがある (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 425 47.3 | 474 52.7 |
| (33)～(36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化) | カテゴリ1 | 222 100.0 | 98 44.1 | 124 55.9 |
| | カテゴリ2 | 227 100.0 | 112 49.3 | 115 50.7 |
| | カテゴリ3 | 224 100.0 | 106 47.3 | 118 52.7 |
| | カテゴリ4 | 226 100.0 | 109 48.2 | 117 51.8 |

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



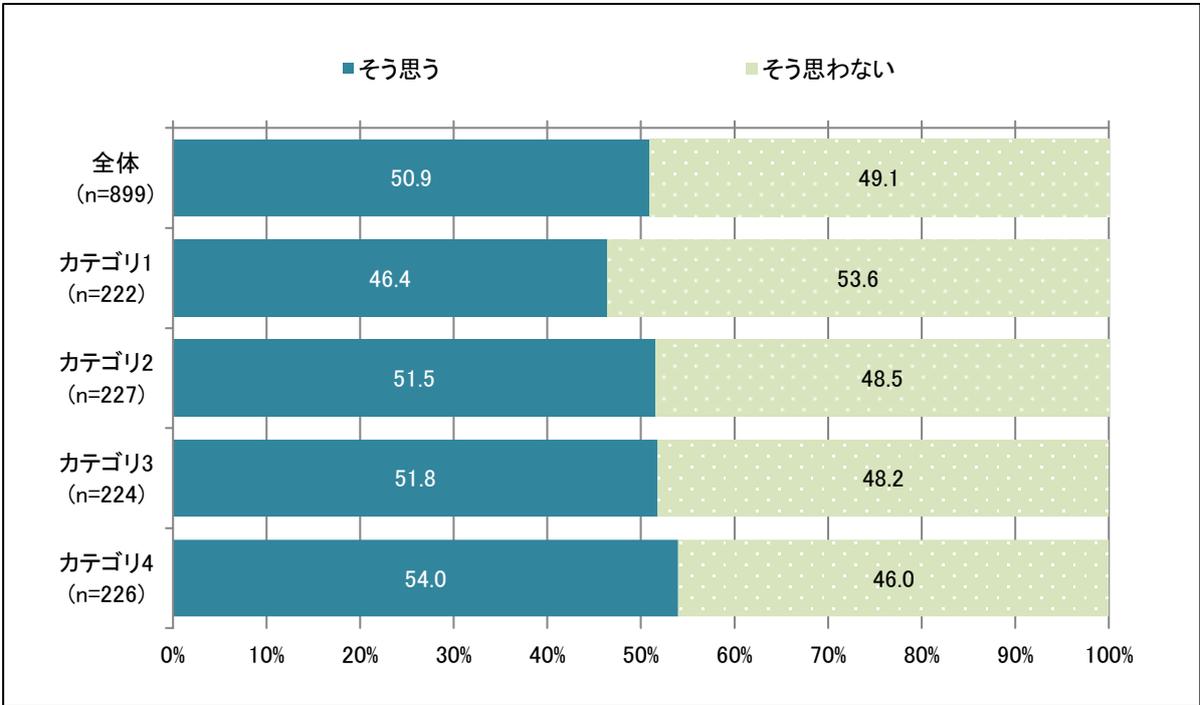
(図表IV-5-66)

○『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』について、全体では《そう思う》(47.3%)で5割近くとなっている。
 得点化のカテゴリ別でみると、《そう思う》について、カテゴリ1(44.1%)が4割台半ば、カテゴリ2(49.3%)がほぼ5割、カテゴリ3(47.3%)とカテゴリ4(48.2%)がともに5割近くとなっている。
 設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.02であり、ほとんど相関が見られなかった。

(5) 育児休業は女性が取ったほうが良いと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 458 50.9 | 441 49.1 |
| (33)～(36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化) | カテゴリ1 | 222 100.0 | 103 46.4 | 119 53.6 |
| | カテゴリ2 | 227 100.0 | 117 51.5 | 110 48.5 |
| | カテゴリ3 | 224 100.0 | 116 51.8 | 108 48.2 |
| | カテゴリ4 | 226 100.0 | 122 54.0 | 104 46.0 |

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



(図表IV-5-67)

○「育児休業は女性が取ったほうが良いと思う」について、全体では《そう思う》(50.9%)でほぼ5割となっている。

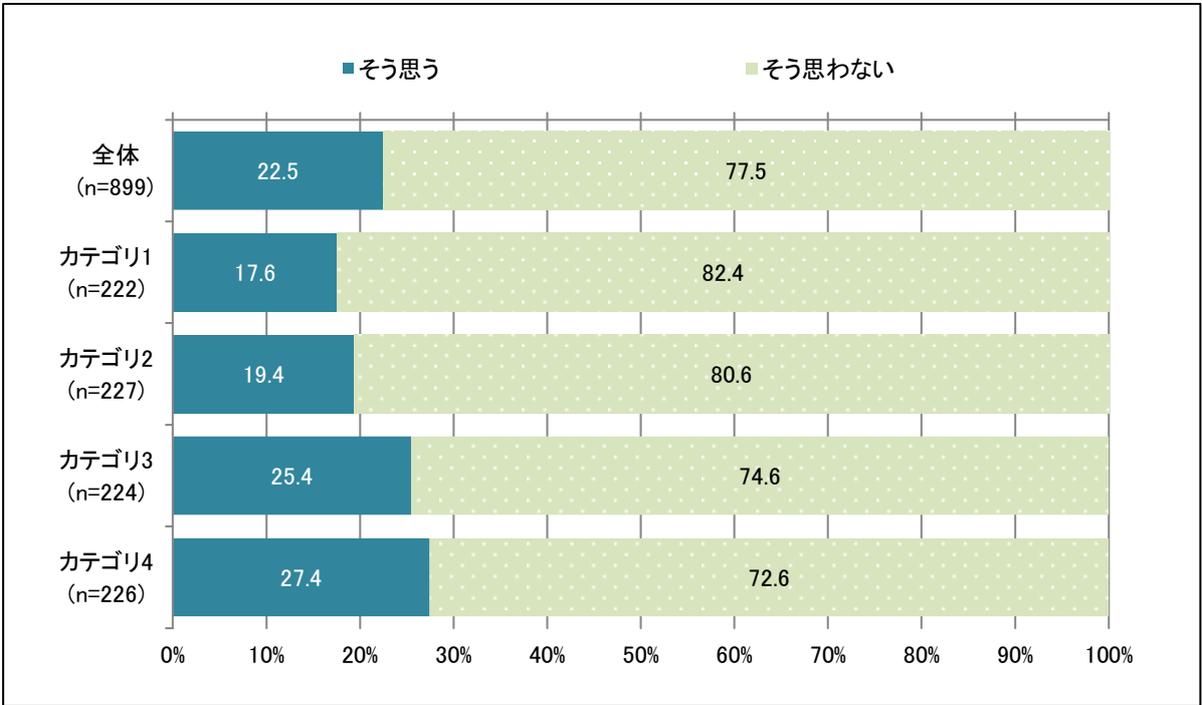
得点化のカテゴリ別で見ると、《そう思う》について、カテゴリ1(46.4%)が4割台半ば、カテゴリ2(51.5%)とカテゴリ3(51.8%)がともに5割超え、カテゴリ4(54.0%)が5割台半ばとなっている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.00であり、ほとんど相関が見られなかった。

(1 1) 性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う (S A)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 202 22.5 | 697 77.5 |
| (3 3) ~ (3 6) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化) | カテゴリ1 | 222 100.0 | 39 17.6 | 183 82.4 |
| | カテゴリ2 | 227 100.0 | 44 19.4 | 183 80.6 |
| | カテゴリ3 | 224 100.0 | 57 25.4 | 167 74.6 |
| | カテゴリ4 | 226 100.0 | 62 27.4 | 164 72.6 |

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



(図表IV-5-68)

○「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について、全体では《そう思う》(22.5%)で2割を超えている。

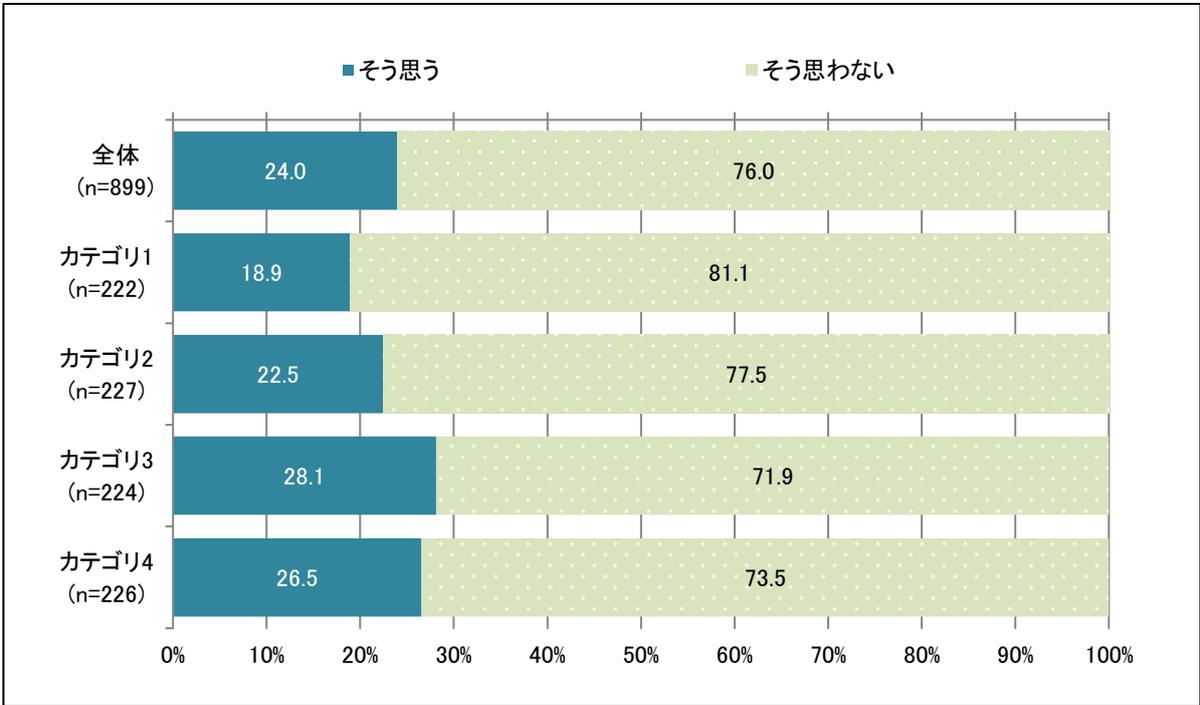
得点化のカテゴリ別でみると、《そう思う》について、カテゴリ1(17.6%)が2割近く、カテゴリ2(19.4%)がほぼ2割、カテゴリ3(25.4%)が2割台半ば、カテゴリ4(27.4%)が3割近くとなっている。

「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について、得点化カテゴリ別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差(p<0.05)が見られた。設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、-0.03であり、ほとんど相関が見られなかった。

(15) 性別で教科の得意、不得意があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 216 24.0 | 683 76.0 |
| (33)～(36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化) | カテゴリ1 | 222 100.0 | 42 18.9 | 180 81.1 |
| | カテゴリ2 | 227 100.0 | 51 22.5 | 176 77.5 |
| | カテゴリ3 | 224 100.0 | 63 28.1 | 161 71.9 |
| | カテゴリ4 | 226 100.0 | 60 26.5 | 166 73.5 |

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



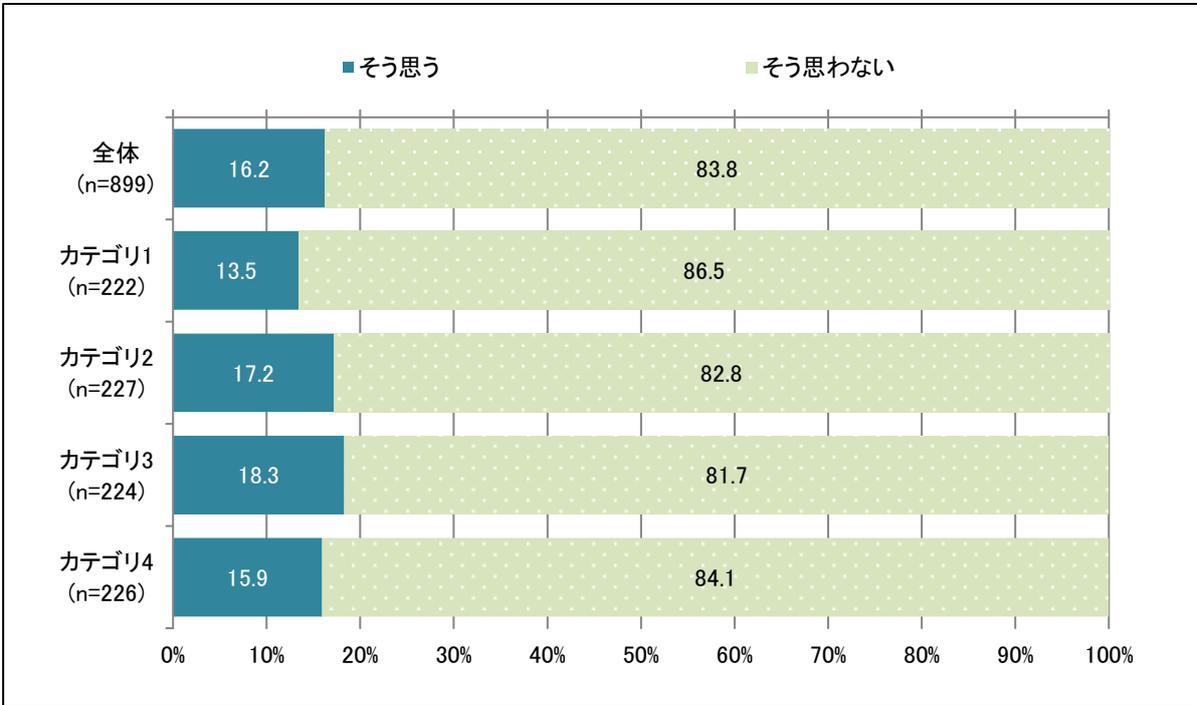
(図表IV-5-69)

○「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、全体では《そう思う》(24.0%)で2割台半ばとなっている。
 得点化のカテゴリ別でみると、《そう思う》について、カテゴリ1(18.9%)が2割近く、カテゴリ2(22.5%)が2割超え、カテゴリ3(28.1%)とカテゴリ4(26.5%)がともに3割近くとなっている。
 設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.02であり、ほとんど相関が見られなかった。

(16) 理系科目は男の子の方が得意だと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 146 16.2 | 753 83.8 |
| (33)～(36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化) | カテゴリ1 | 222 100.0 | 30 13.5 | 192 86.5 |
| | カテゴリ2 | 227 100.0 | 39 17.2 | 188 82.8 |
| | カテゴリ3 | 224 100.0 | 41 18.3 | 183 81.7 |
| | カテゴリ4 | 226 100.0 | 36 15.9 | 190 84.1 |

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



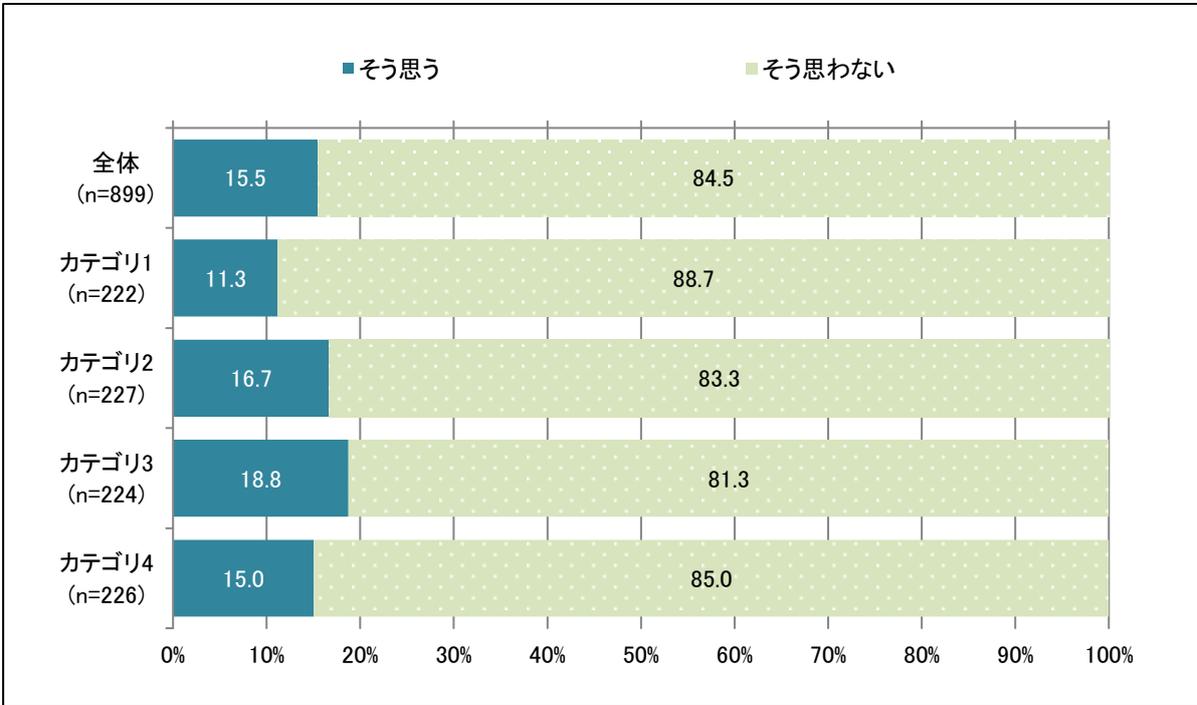
(図表IV-5-70)

○「理系科目は男の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(16.2%)で1割台半ばとなっている。
 得点化のカテゴリ別でみると、《そう思う》について、カテゴリ1(13.5%)が1割超え、カテゴリ2(17.2%)とカテゴリ3(18.3%)がともに2割近く、カテゴリ4(15.9%)が1割台半ばとなっている。
 設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.05であり、ほとんど相関が見られなかった。

(17) 文系科目は女の子の方が得意だと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 139 15.5 | 760 84.5 |
| (33)～(36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化) | カテゴリ1 | 222 100.0 | 25 11.3 | 197 88.7 |
| | カテゴリ2 | 227 100.0 | 38 16.7 | 189 83.3 |
| | カテゴリ3 | 224 100.0 | 42 18.8 | 182 81.3 |
| | カテゴリ4 | 226 100.0 | 34 15.0 | 192 85.0 |

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



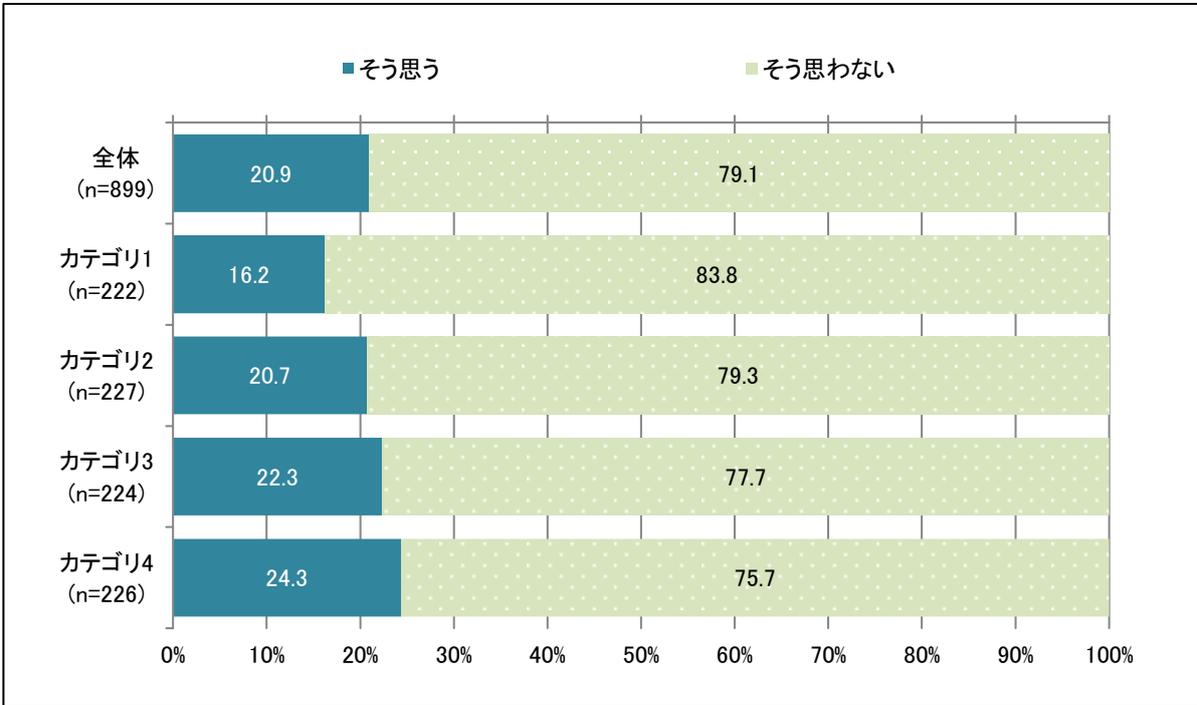
(図表IV-5-71)

○「文系科目は女の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(15.5%)で1割台半ばとなっている。
 得点化のカテゴリ別でみると、《そう思う》について、カテゴリ1(11.3%)が1割超え、カテゴリ2(16.7%)とカテゴリ3(18.8%)がともに2割近く、カテゴリ4(15.0%)が1割台半ばとなっている。
 設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.05であり、ほとんど相関が見られなかった。

(18) 家庭科は女の子の方が向いていると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 188 20.9 | 711 79.1 |
| (33) ~ (36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化) | カテゴリ1 | 222 100.0 | 36 16.2 | 186 83.8 |
| | カテゴリ2 | 227 100.0 | 47 20.7 | 180 79.3 |
| | カテゴリ3 | 224 100.0 | 50 22.3 | 174 77.7 |
| | カテゴリ4 | 226 100.0 | 55 24.3 | 171 75.7 |

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



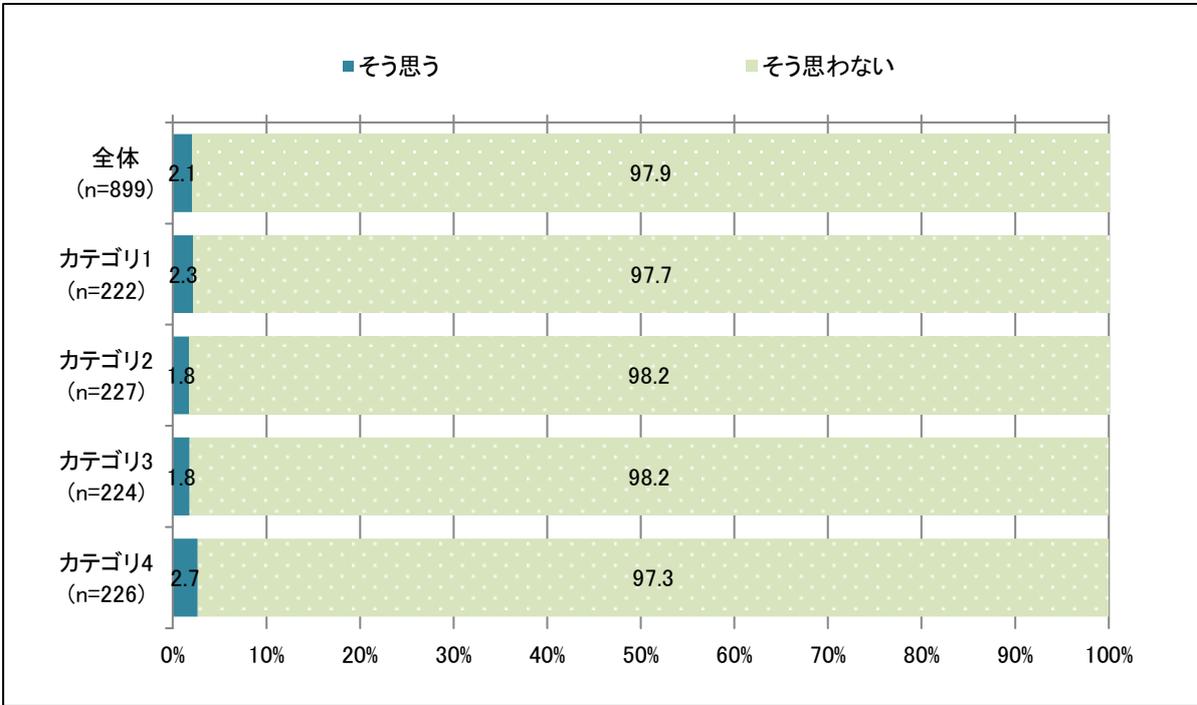
(図表IV-5-72)

○「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(20.9%)でほぼ2割となっている。
 得点化のカテゴリ別でみると、《そう思う》について、カテゴリ1(16.2%)が1割台半ば、カテゴリ2(20.7%)がほぼ2割、カテゴリ3(22.3%)が2割超え、カテゴリ4(24.3%)が2割台半ばとなっている。
 設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.02であり、ほとんど相関が見られなかった。

(19) 学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う (S A)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|--------------|-----------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 19 2.1 | 880 97.9 |
| (33) ~ (36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化) | カテゴリ1 | 222 100.0 | 5 2.3 | 217 97.7 |
| | カテゴリ2 | 227 100.0 | 4 1.8 | 223 98.2 |
| | カテゴリ3 | 224 100.0 | 4 1.8 | 220 98.2 |
| | カテゴリ4 | 226 100.0 | 6 2.7 | 220 97.3 |

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



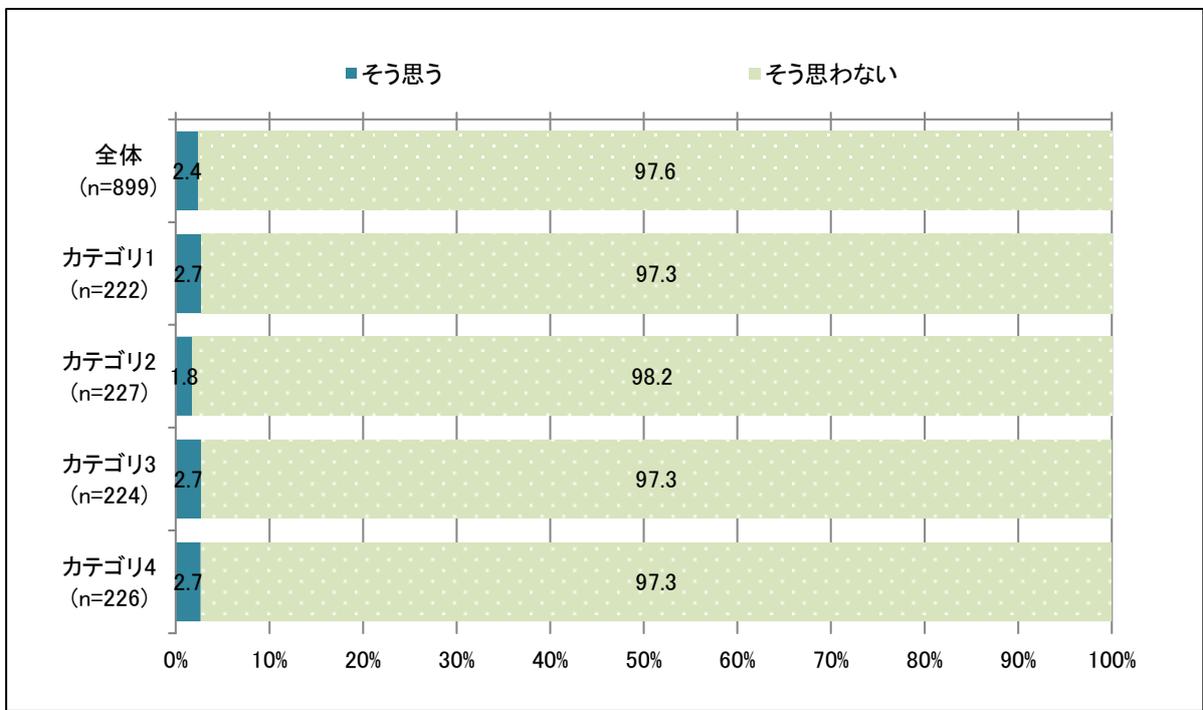
(図表IV-5-73)

○「学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(2.1%)でわずかとなっている。
 得点化のカテゴリ別でみると、《そう思う》について、カテゴリ1(2.3%)とカテゴリ2(1.8%)とカテゴリ3(1.8%)とカテゴリ4(2.7%)がともにわずかとなっている。
 設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.23であり、やや相関が見られた。

(20) 授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|--------------|-----------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 22 2.4 | 877 97.6 |
| (33)～(36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化) | カテゴリ1 | 222 100.0 | 6 2.7 | 216 97.3 |
| | カテゴリ2 | 227 100.0 | 4 1.8 | 223 98.2 |
| | カテゴリ3 | 224 100.0 | 6 2.7 | 218 97.3 |
| | カテゴリ4 | 226 100.0 | 6 2.7 | 220 97.3 |

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



(図表IV-5-74)

○「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(2.4%)でわずかとなっている。

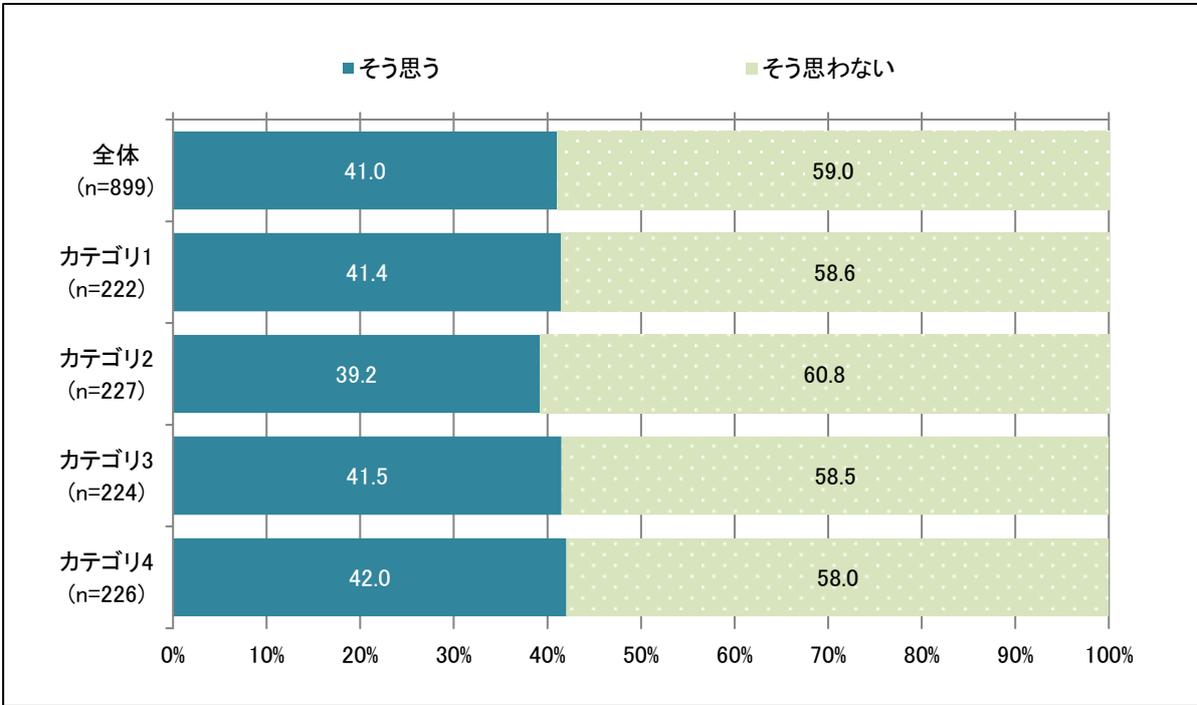
得点化のカテゴリ別でみると、《そう思う》について、カテゴリ1(2.7%)とカテゴリ2(1.8%)とカテゴリ3(2.7%)とカテゴリ4(2.7%)がともにわずかとなっている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.26であり、やや相関が見られた。

(21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|-------|------|--------|
| 全体 | | 899 | 369 | 530 |
| | | 100.0 | 41.0 | 59.0 |
| (33)～(36) 学校での指導等において無意識の 思い込み(アンコンシャス・バイア ス)を意識している(得点化) | カテゴリ1 | 222 | 92 | 130 |
| | カテゴリ2 | 227 | 89 | 138 |
| | カテゴリ3 | 224 | 93 | 131 |
| | カテゴリ4 | 226 | 95 | 131 |
| | | 100.0 | 41.4 | 58.6 |
| | | 100.0 | 39.2 | 60.8 |
| | | 100.0 | 41.5 | 58.5 |
| | | 100.0 | 42.0 | 58.0 |

カテゴリについては、「第1章 5 報告書の見方」参照



(図表IV-5-75)

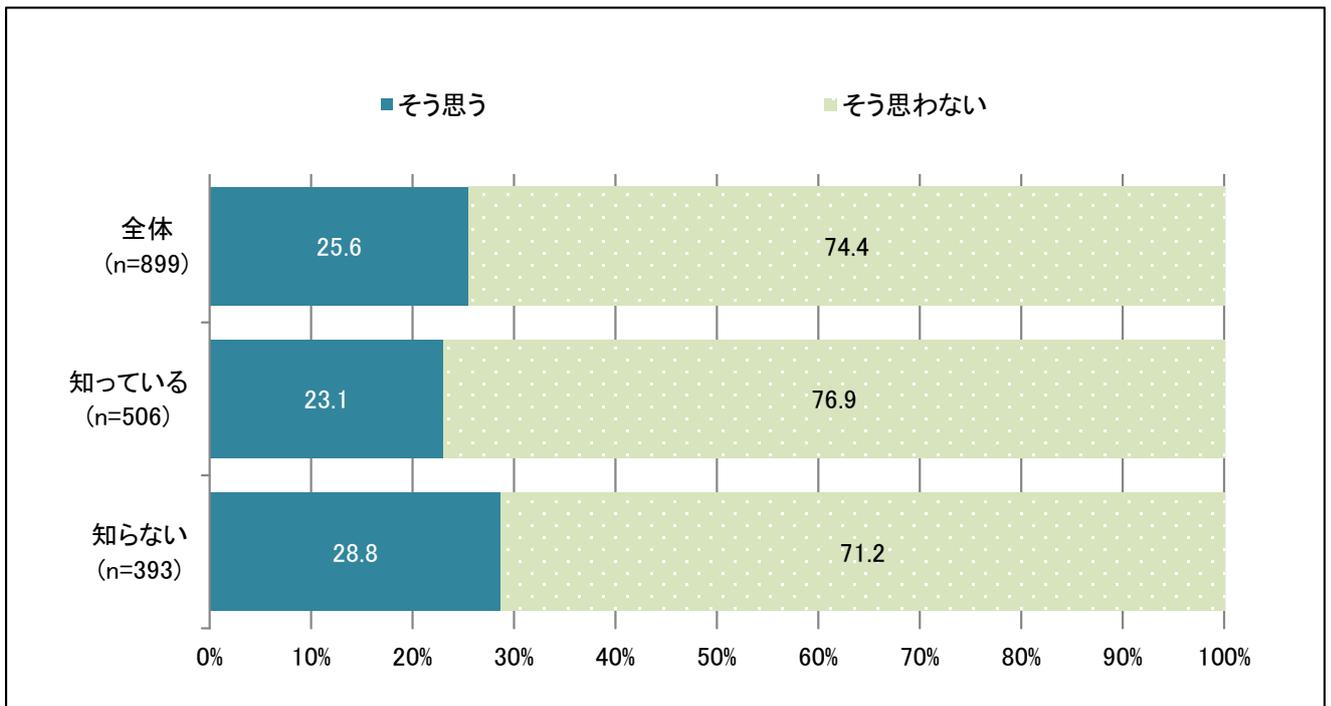
○「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、全体では《そう思う》(41.0%)で4割を超えている。
 得点化のカテゴリ別でみると、《そう思う》について、カテゴリ1(41.4%)が4割超え、カテゴリ2(39.2%)がほぼ4割、カテゴリ3(41.5%)とカテゴリ4(42.0%)がともに4割を超えている。
 設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.04であり、ほとんど相関が見られなかった。

< 仮説・検討事項(41)>

「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について、どの程度知っていますか」の回答と他の設問の回答に係り性はあるか

(1) 男性の方が管理職に向いていると思う（SA）

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|---|-------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 230 25.6 | 669 74.4 |
| (36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか | 知っている | 506 100.0 | 117 23.1 | 389 76.9 |
| | 知らない | 393 100.0 | 113 28.8 | 280 71.2 |



(図表IV-5-76)

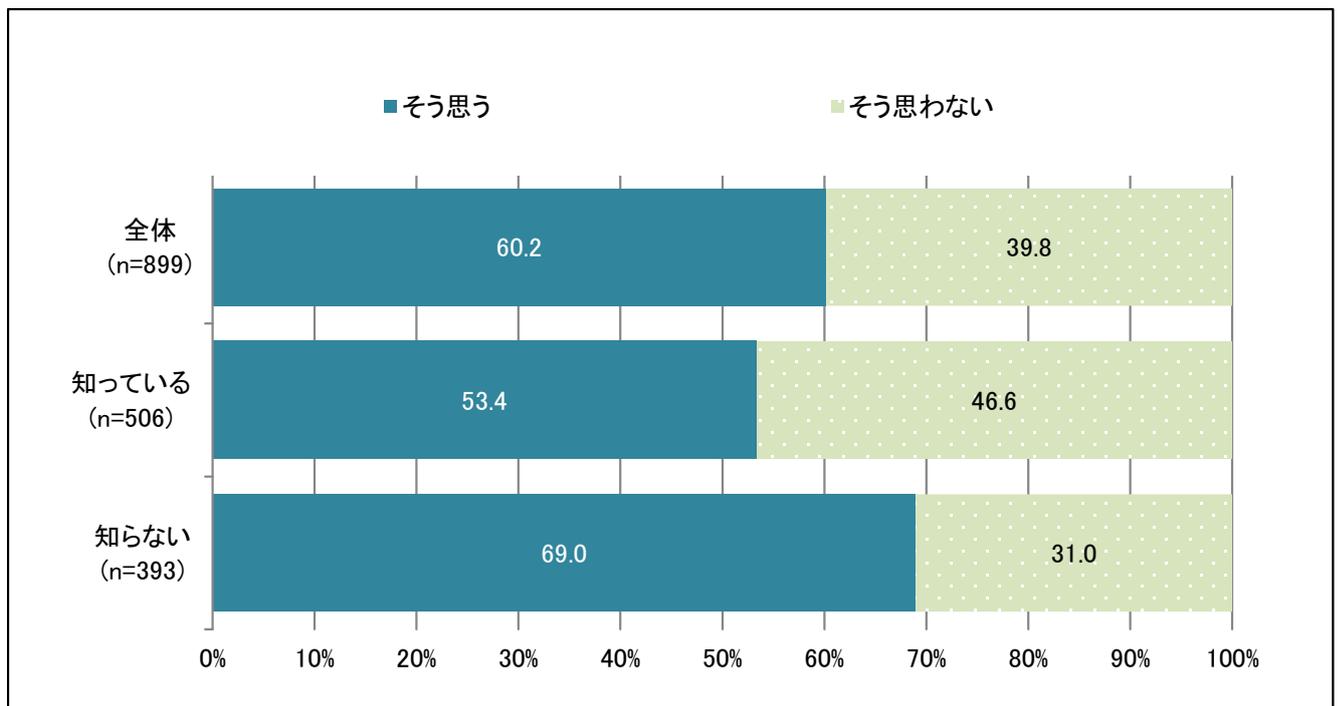
○「男性の方が管理職に向いていると思う」について、全体では《そう思う》（25.6%）で2割台半ばとなっている。

「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》（23.1%）が2割超え、《知らない》（28.8%）が3割近くとなっている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.08であり、ほとんど相関が見られなかった。

(2) 将来管理職になるのは無理だと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|---|-------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 541 60.2 | 358 39.8 |
| (36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか | 知っている | 506 100.0 | 270 53.4 | 236 46.6 |
| | 知らない | 393 100.0 | 271 69.0 | 122 31.0 |



(図表IV-5-77)

○「将来管理職になるのは無理だと思う」について、全体では《そう思う》(60.2%)で6割となっている。

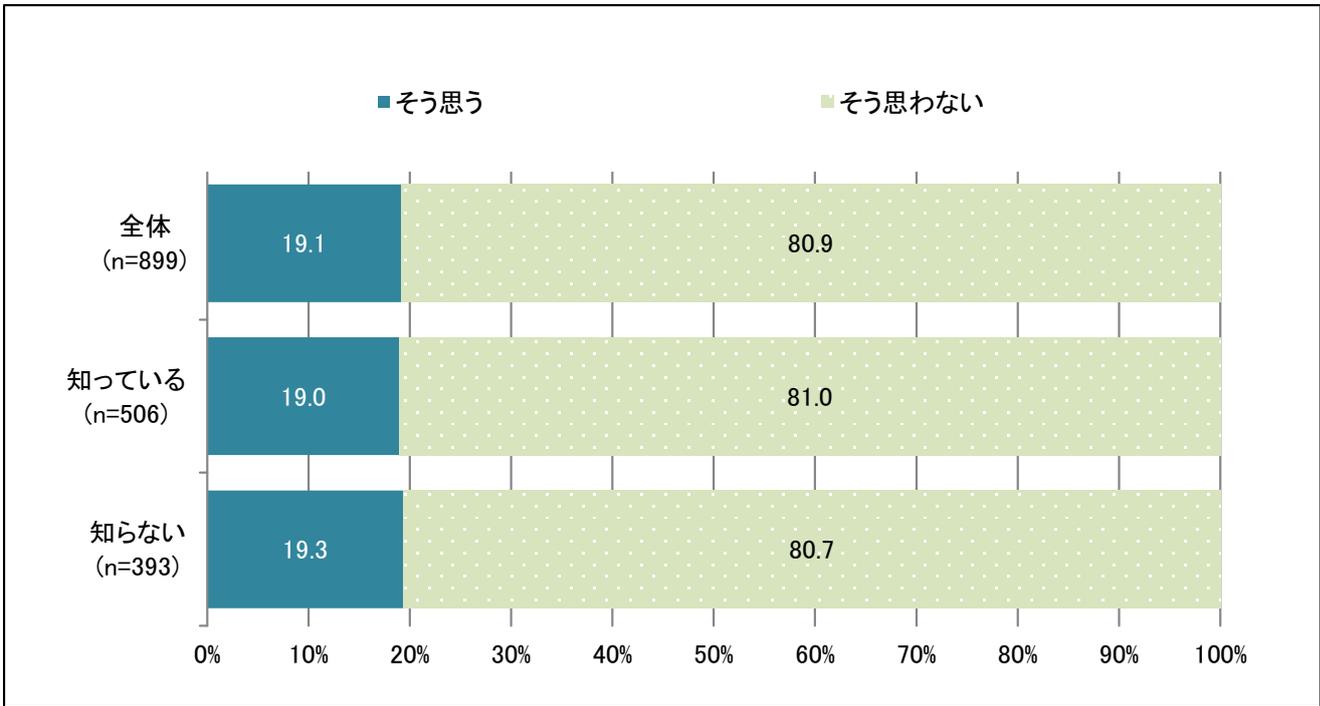
「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(53.4%)が5割超え、《知らない》(69.0%)がほぼ7割となっており、回答割合に大きな差が見られた。

「将来管理職になるのは無理だと思う」について、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、-0.04であり、ほとんど相関が見られなかった。

(3) プライベートより仕事を優先したほうがいいと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|---|-------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 172 19.1 | 727 80.9 |
| (36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか | 知っている | 506 100.0 | 96 19.0 | 410 81.0 |
| | 知らない | 393 100.0 | 76 19.3 | 317 80.7 |



(図表IV-5-78)

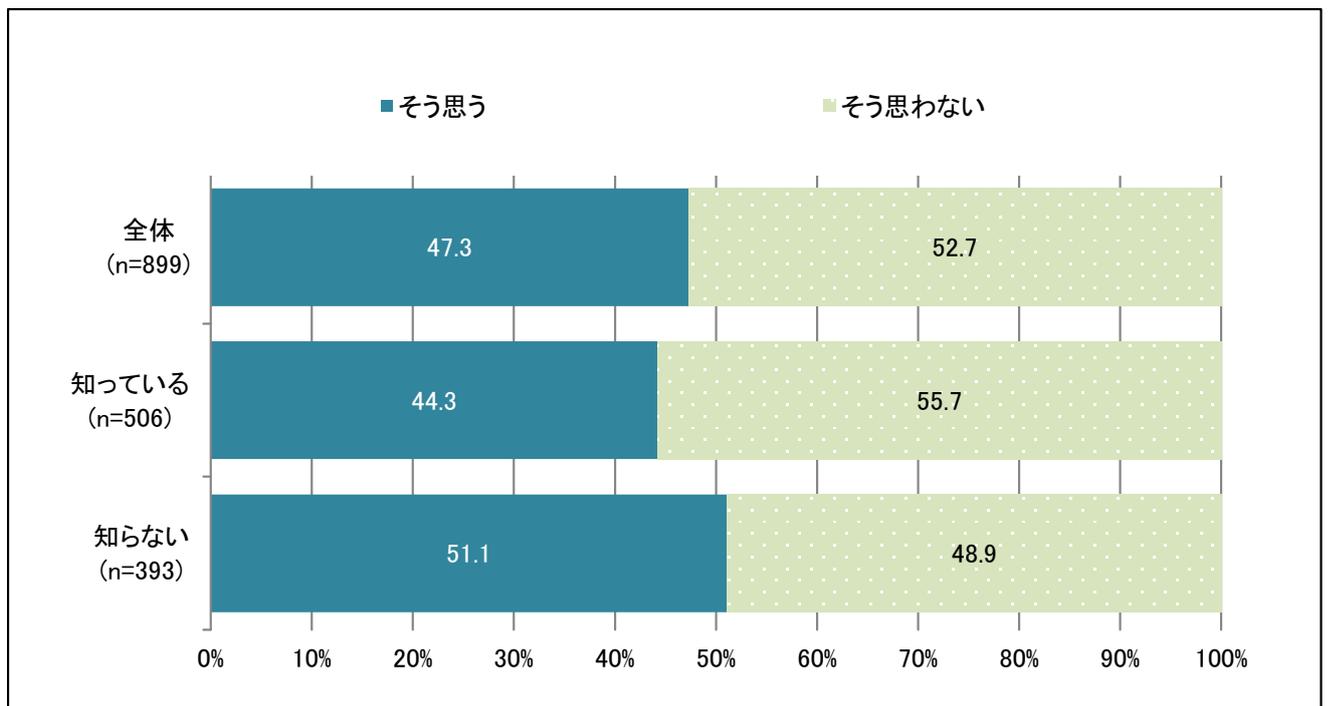
○「プライベートより仕事を優先したほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(19.1%)でほぼ2割となっている。

「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(19.0%)がほぼ2割、《知らない》(19.3%)がほぼ2割となっている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.18であり、ほとんど相関が見られなかった。

(4) 「男性だから」「女性だから」と思うことがある (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|---|-------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 425 47.3 | 474 52.7 |
| (36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか | 知っている | 506 100.0 | 224 44.3 | 282 55.7 |
| | 知らない | 393 100.0 | 201 51.1 | 192 48.9 |



(図表IV-5-79)

○『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』について、全体では《そう思う》(47.3%)で5割近くとなっている。

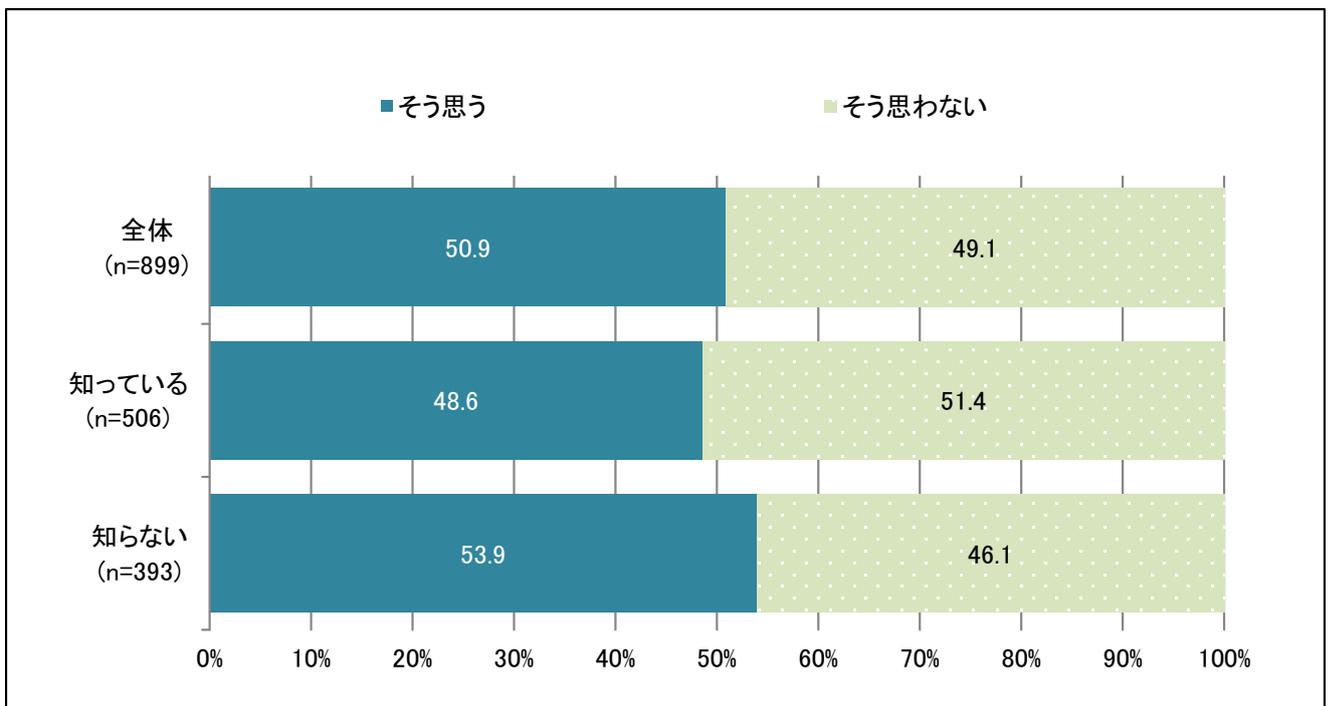
「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(44.3%)が4割台半ば、《知らない》(51.1%)が5割を超えている。

『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』について、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.05$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.05であり、ほとんど相関が見られなかった。

(5) 育児休業は女性が取ったほうが良いと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|---|-------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 458 50.9 | 441 49.1 |
| (36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか | 知っている | 506 100.0 | 246 48.6 | 260 51.4 |
| | 知らない | 393 100.0 | 212 53.9 | 181 46.1 |



(図表IV-5-80)

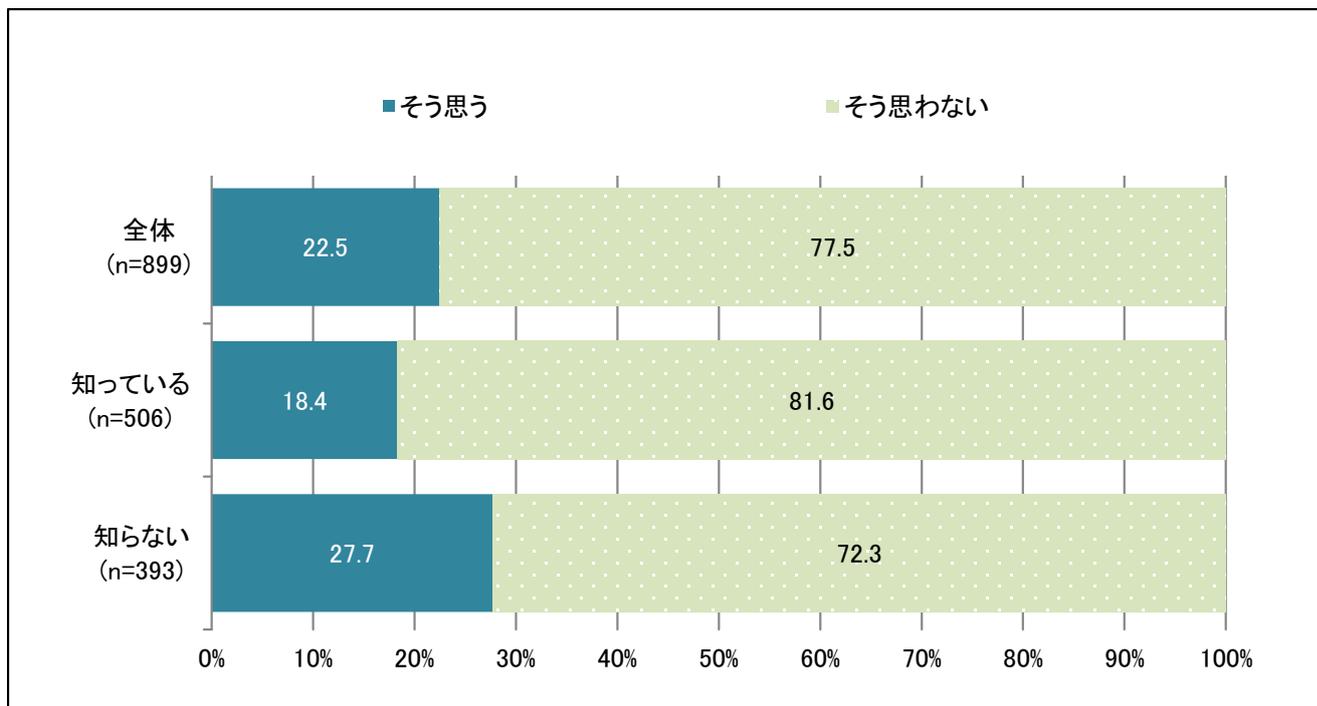
○「育児休業は女性が取ったほうが良いと思う」について、全体では《そう思う》(50.9%)でほぼ5割となっている。

「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(48.6%)が5割近く、《知らない》(53.9%)が5割を超えている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.07であり、ほとんど相関が見られなかった。

(1 1) 性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う (S A)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|--|-------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 202 22.5 | 697 77.5 |
| (3 6) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか | 知っている | 506 100.0 | 93 18.4 | 413 81.6 |
| | 知らない | 393 100.0 | 109 27.7 | 284 72.3 |



(図表IV-5-81)

○「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について、全体では《そう思う》(22.5%)で2割を超えている。

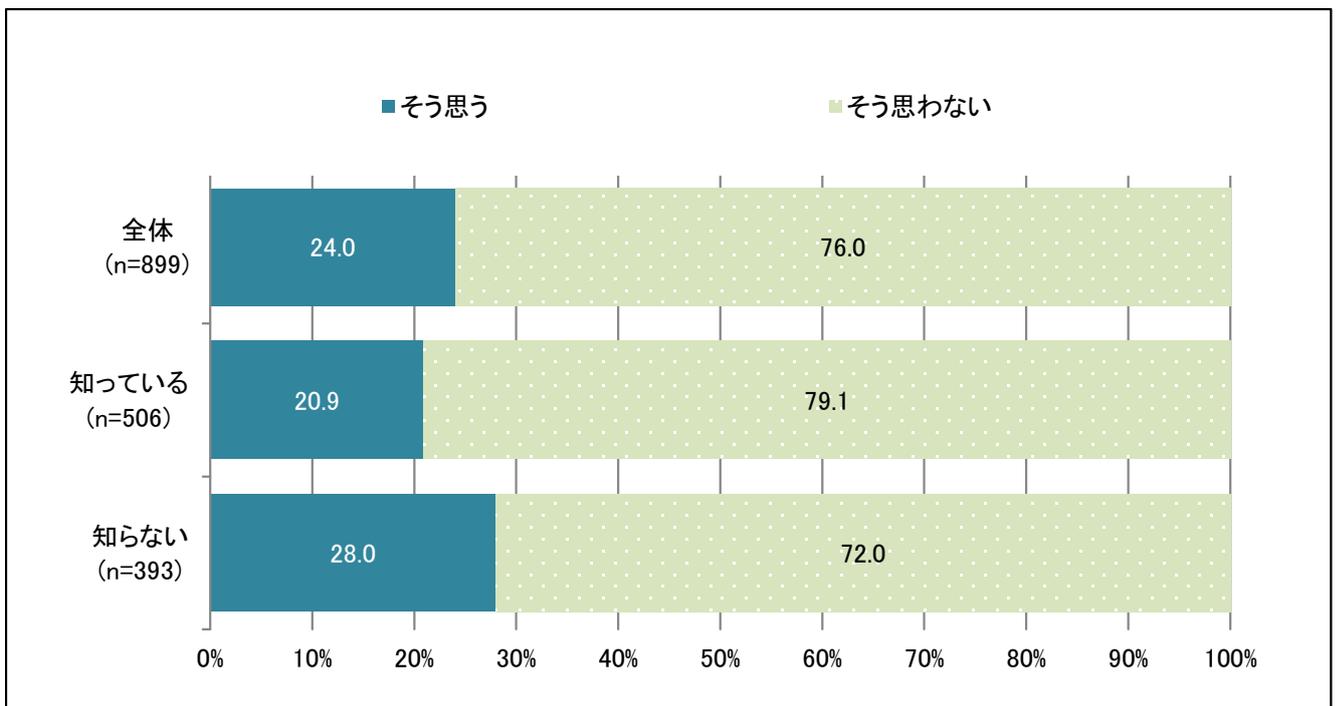
「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(18.4%)が2割近く、《知らない》(27.7%)が3割近くとなっている。

「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.001$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.02であり、ほとんど相関が見られなかった。

(15) 性別で教科の得意、不得意があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|---|-------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 216 24.0 | 683 76.0 |
| (36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか | 知っている | 506 100.0 | 106 20.9 | 400 79.1 |
| | 知らない | 393 100.0 | 110 28.0 | 283 72.0 |



(図表IV-5-82)

○「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、全体では《そう思う》(24.0%)で2割台半ばとなっている。

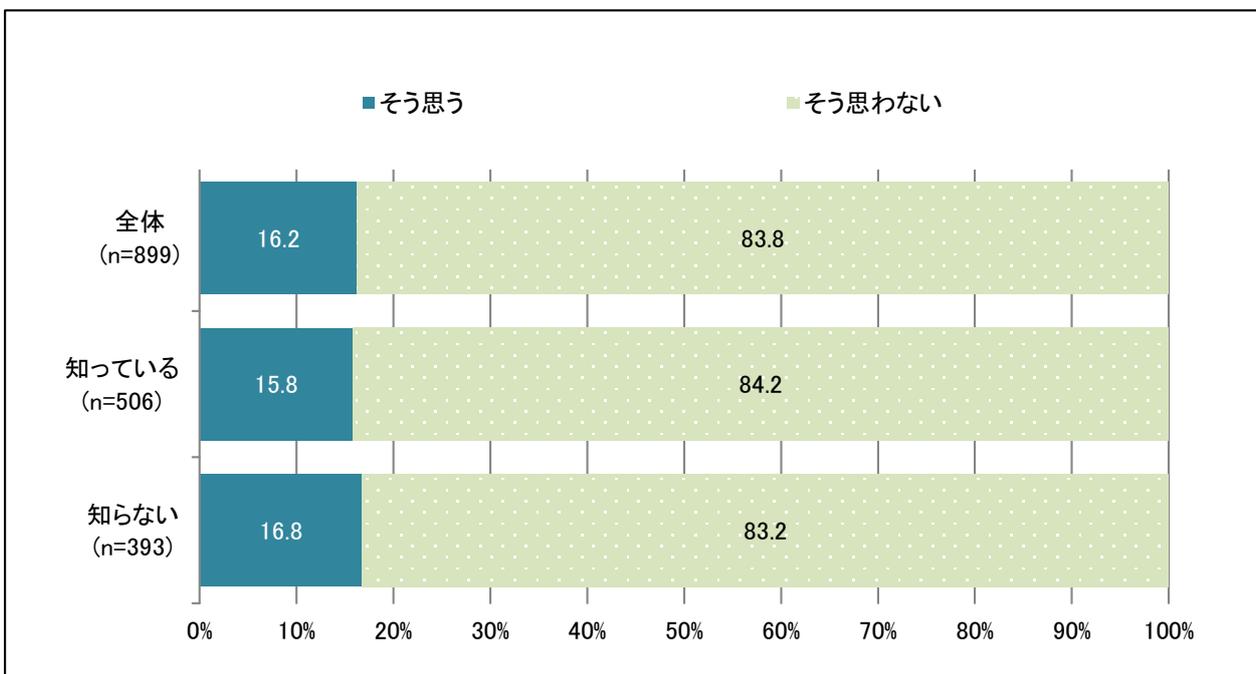
「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(20.9%)がほぼ2割、《知らない》(28.0%)が3割近くとなっている。

「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.05$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.06であり、ほとんど相関が見られなかった。

(16) 理系科目は男の子の方が得意だと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|---|-------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 146 16.2 | 753 83.8 |
| (36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか | 知っている | 506 100.0 | 80 15.8 | 426 84.2 |
| | 知らない | 393 100.0 | 66 16.8 | 327 83.2 |



(図表IV-5-83)

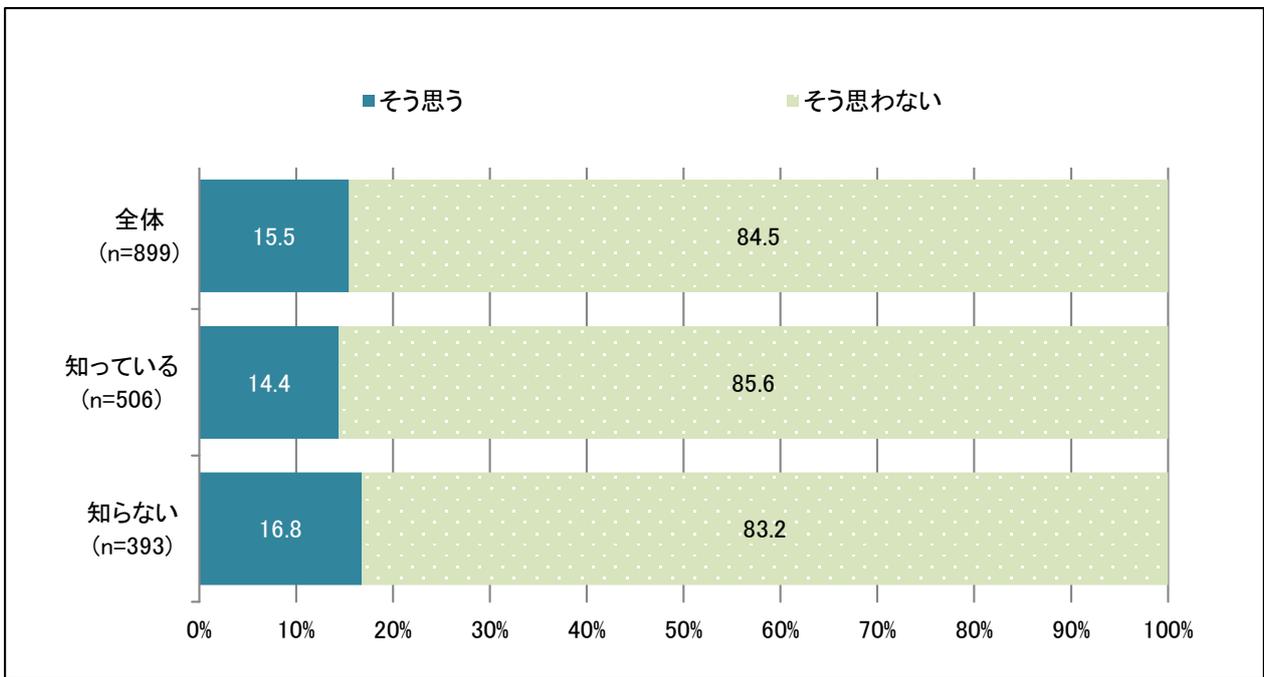
○「理系科目は男の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(16.2%)で1割台半ばとなっている。

「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(15.8%)が1割台半ば、《知らない》(16.8%)が2割近くとなっている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.13であり、ほとんど相関が見られなかった。

(17) 文系科目は女の子の方が得意だと思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|---|-------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 139 15.5 | 760 84.5 |
| (36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか | 知っている | 506 100.0 | 73 14.4 | 433 85.6 |
| | 知らない | 393 100.0 | 66 16.8 | 327 83.2 |



(図表IV-5-84)

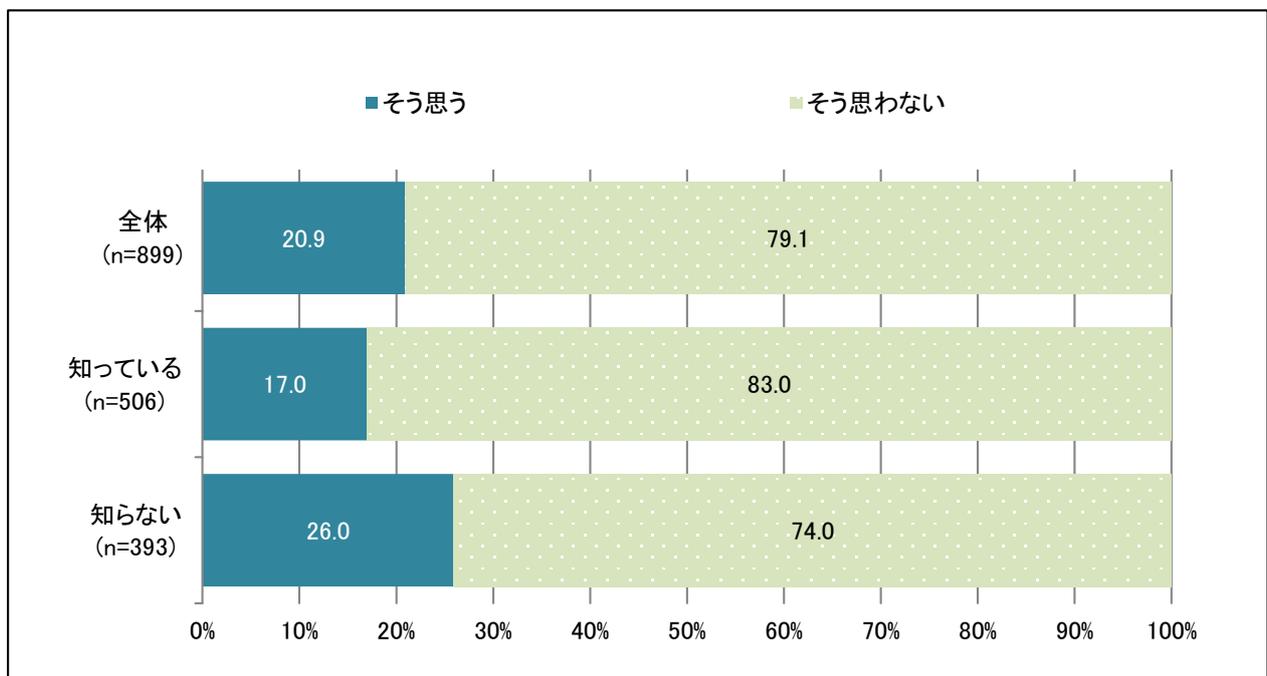
○「文系科目は女の子の方が得意だと思う」について、全体では《そう思う》(15.5%)で1割台半ばとなっている。

「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(14.4%)が1割台半ば、《知らない》(16.8%)が2割近くとなっている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.11であり、ほとんど相関が見られなかった。

(18) 家庭科は女の子の方が向いていると思う

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|---|-------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 188 20.9 | 711 79.1 |
| (36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか | 知っている | 506 100.0 | 86 17.0 | 420 83.0 |
| | 知らない | 393 100.0 | 102 26.0 | 291 74.0 |



(図表IV-5-85)

○「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(20.9%)でほぼ2割となっている。

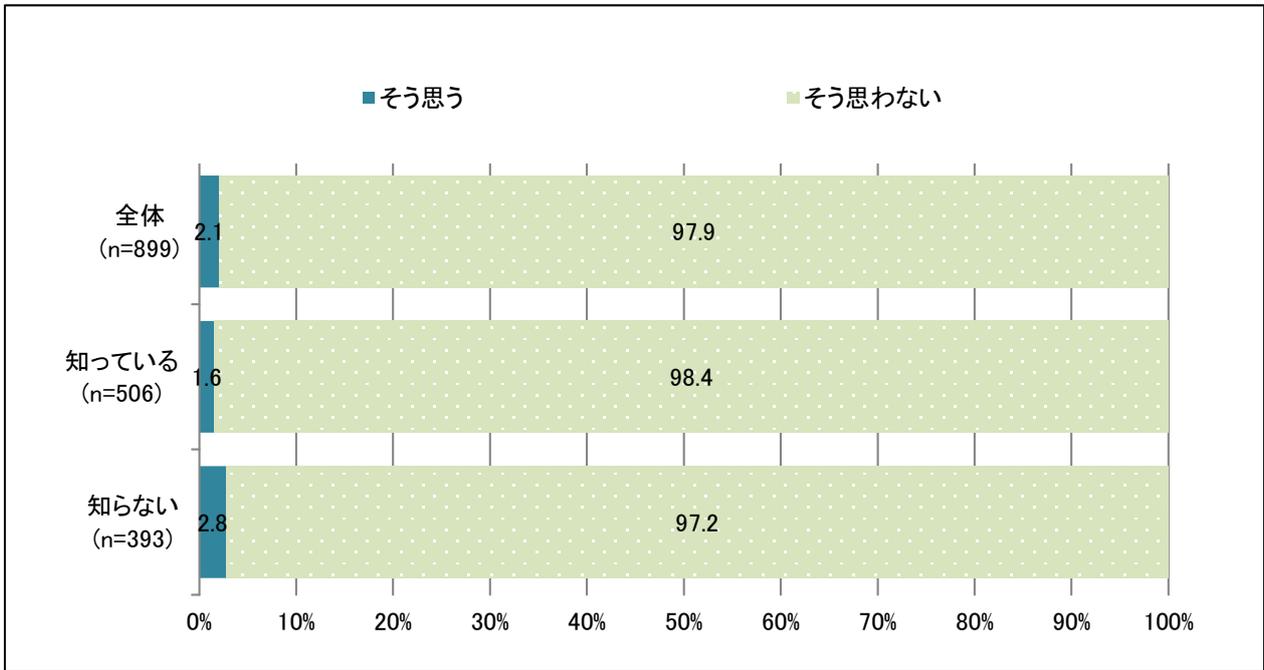
「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(17.0%)が2割近く、《知らない》(26.0%)が2割台半ばとなっている。

「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別の有意差に関するカイ二乗検定を実施した結果、有意な差($p < 0.01$)が見られた。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.06であり、ほとんど相関が見られなかった。

(19) 学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|---|-------|--------------|-----------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 19 2.1 | 880 97.9 |
| (36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか | 知っている | 506 100.0 | 8 1.6 | 498 98.4 |
| | 知らない | 393 100.0 | 11 2.8 | 382 97.2 |



(図表IV-5-86)

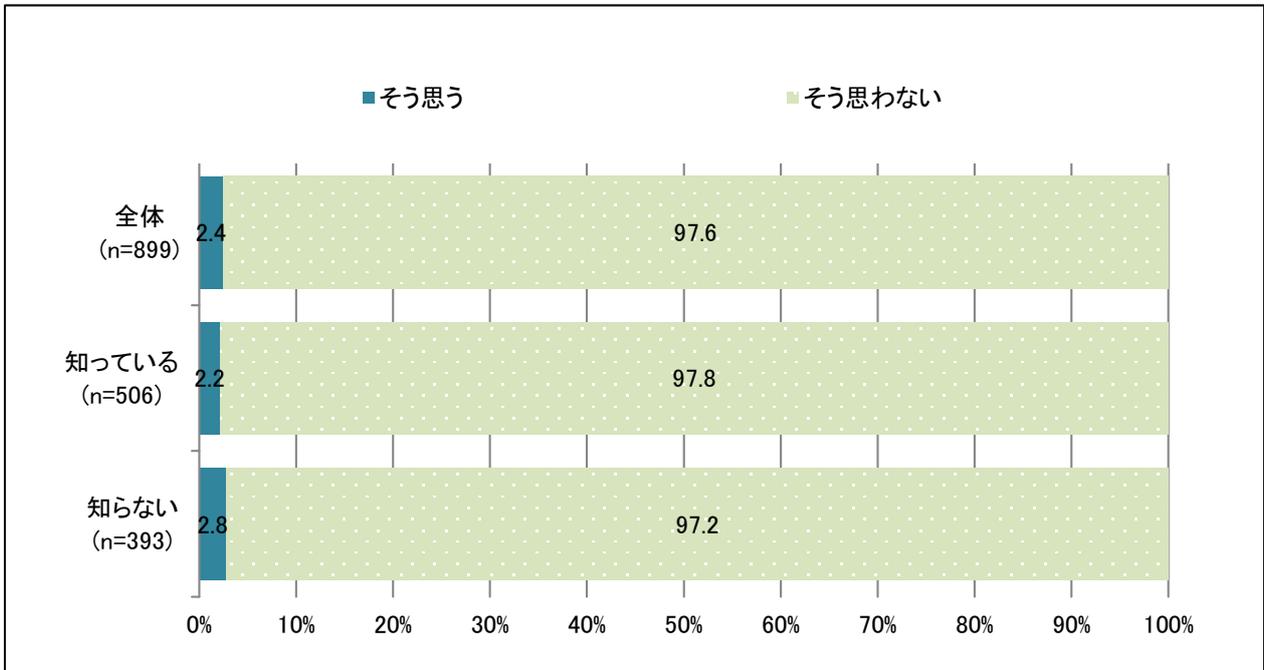
○「学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」について、全体では《そう思う》(2.1%)でわずかとなっている。

「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(1.6%)がわずか、《知らない》(2.8%)がわずかとなっている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.30であり、やや相関が見られた。

(20) 授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|---|-------|--------------|-----------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 22 2.4 | 877 97.6 |
| (36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか | 知っている | 506 100.0 | 11 2.2 | 495 97.8 |
| | 知らない | 393 100.0 | 11 2.8 | 382 97.2 |



(図表IV-5-87)

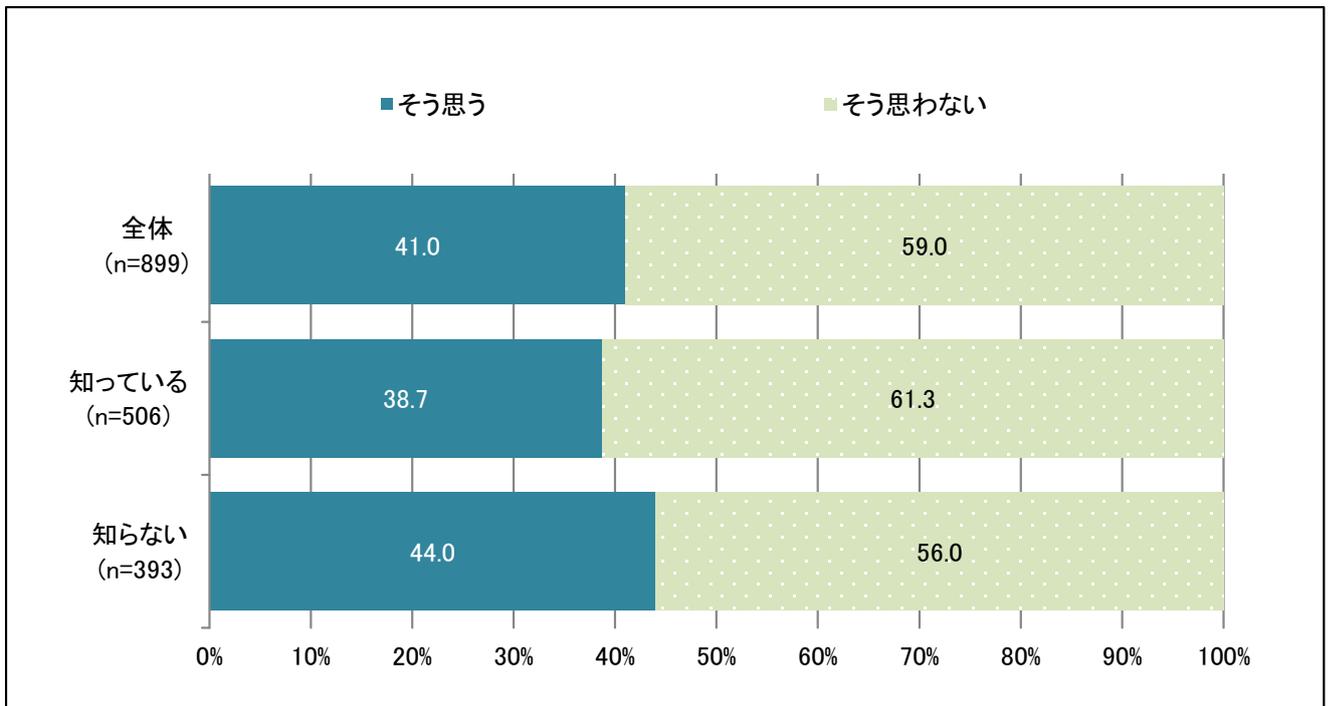
○「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う」について、全体では《そう思う》(2.4%)でわずかとなっている。

「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(2.2%)がわずか、《知らない》(2.8%)がわずかとなっている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.30であり、やや相関が見られた。

(21) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う (SA)

| | | 計 | そう思う | そう思わない |
|---|-------|--------------|-------------|-------------|
| 全体 | | 899 100.0 | 369 41.0 | 530 59.0 |
| (36) 無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか | 知っている | 506 100.0 | 196 38.7 | 310 61.3 |
| | 知らない | 393 100.0 | 173 44.0 | 220 56.0 |



(図表IV-5-88)

○「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、全体では《そう思う》(41.0%)で4割を超えている。

「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)について知っていますか」の回答別で見ると、《知っている》では《そう思う》(38.7%)が4割近く、《知らない》(44.0%)が4割台半ばとなっている。

設問間の相関について、スピアマン順位相関係数は、0.06であり、ほとんど相関が見られなかった。

6 共通質問に関する回答差

児童、保護者、教員で共通する質問に関する回答について分析を行った。

「男の子（男性）だから」「女の子（女性）だから」と思うことがある

● 児童（図表IV-6-1）

| | 計 | そう思う | どちらかというところ | どちらかというところ | そう思わない |
|-------|---------------|--------------------|--------------------|--------------|--------------|
| 全体 | 6622 100.0 | 962 14.5 | 1760 26.6 | 1557 23.5 | 2343 35.4 |
| 男性 | 3214 100.0 | 491 15.3 | 847 26.4 | 674 21.0 | 1202 37.4 |
| 女性 | 3180 100.0 | 432 13.6 | 872 27.4 | 830 26.1 | 1046 32.9 |
| 回答しない | 228 100.0 | 39 17.1 | 41 18.0 | 53 23.2 | 95 41.7 |

男女ともに約41%

● 教員（図表IV-6-3）

| | 計 | そう思う | どちらかというところ | どちらかというところ | そう思わない |
|-------|--------------|-------------------|--------------------|-------------|-------------|
| 全体 | 899 100.0 | 103 11.5 | 322 35.8 | 283 31.5 | 191 21.2 |
| 男性 | 378 100.0 | 38 10.1 | 129 34.1 | 114 30.2 | 97 25.7 |
| 女性 | 502 100.0 | 61 12.2 | 191 38.0 | 163 32.5 | 87 17.3 |
| その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 1 50.0 |
| 回答しない | 17 100.0 | 4 23.5 | 2 11.8 | 5 29.4 | 6 35.3 |

男性：約44%、女性：約50%

● 保護者（図表IV-6-2）

| | 計 | そう思う | どちらかというところ | どちらかというところ | そう思わない |
|-------|---------------|--------------------|---------------------|-------------|-------------|
| | 2174 100.0 | 340 15.6 | 1134 52.2 | 432 19.9 | 268 12.3 |
| 男性 | 181 100.0 | 30 16.6 | 76 42.0 | 42 23.2 | 33 18.2 |
| 女性 | 1939 100.0 | 301 15.5 | 1034 53.3 | 380 19.6 | 224 11.6 |
| その他 | 5 100.0 | 3 60.0 | 1 20.0 | 1 20.0 | 0 0.0 |
| 回答しない | 49 100.0 | 6 12.2 | 23 46.9 | 9 18.4 | 11 22.4 |

男性：約59%、女性：約69%

○児童、保護者、教員で共通する質問『「男の子だから」「女の子だから」と思うことがある』について、「そう思う」「どちらかというところ」を合わせた《そう思う》の割合は、児童において、男女ともに4割超え、保護者においては、男性は6割近く、女性は7割近く、教員においては、男性は4割台半ば、女性は5割となっている。

○児童と比べ、保護者、教員の方が《そう思う》という回答割合が高くなる結果となった。

性別で教科の得意、不得意があると思う

● 児童 (図表IV-6-4)

| | 計 | そう思う | どちらかというところ | どちらかというところ | そう思わない |
|-------|---------------|--------------------|--------------------|--------------|--------------|
| | 6622 100.0 | 1215 18.3 | 1267 19.1 | 1184 17.9 | 2956 44.6 |
| 男性 | 3214 100.0 | 680 21.2 | 610 19.0 | 517 16.1 | 1407 43.8 |
| 女性 | 3180 100.0 | 491 15.4 | 621 19.5 | 632 19.9 | 1436 45.2 |
| 回答しない | 228 100.0 | 44 19.3 | 36 15.8 | 35 15.4 | 113 49.6 |

男性:約40%、女性:約35%

● 教員 (図表IV-6-6)

| | 計 | そう思う | どちらかというところ | どちらかというところ | そう思わない |
|-------|--------------|------------------|-------------------|-------------|-------------|
| 全体 | 899 100.0 | 58 6.5 | 158 17.6 | 243 27.0 | 440 48.9 |
| 男性 | 378 100.0 | 29 7.7 | 77 20.4 | 92 24.3 | 180 47.6 |
| 女性 | 502 100.0 | 28 5.6 | 79 15.7 | 149 29.7 | 246 49.0 |
| その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 0 0.0 | 2 100.0 |
| 回答しない | 17 100.0 | 1 5.9 | 2 11.8 | 2 11.8 | 12 70.6 |

男性:約28%、女性:約21%

● 保護者 (図表IV-6-5)

| | 計 | そう思う | どちらかというところ | どちらかというところ | そう思わない |
|-------|---------------|-------------------|--------------------|-------------|-------------|
| | 2174 100.0 | 161 7.4 | 507 23.3 | 553 25.4 | 953 43.8 |
| 男性 | 181 100.0 | 14 7.7 | 40 22.1 | 47 26.0 | 80 44.2 |
| 女性 | 1939 100.0 | 139 7.2 | 459 23.7 | 495 25.5 | 846 43.6 |
| その他 | 5 100.0 | 1 20.0 | 0 0.0 | 2 40.0 | 2 40.0 |
| 回答しない | 49 100.0 | 7 14.3 | 8 16.3 | 9 18.4 | 25 51.0 |

男女ともに約30%前後

○児童、保護者、教員で共通する質問「性別で教科の得意、不得意があると思う」について、「そう思う」「どちらかというところ」と「そう思う」を合わせた《そう思う》の割合は、児童において、男性は4割、女性は3割台半ば、保護者においては、男女ともに3割程度、教員においては、男性は3割近く、女性は2割を超えている。

○保護者、教員と比べ、児童の方が《そう思う》という回答割合が高くなる結果となった。

性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う

● 児童 (図表IV-6-7)

| | 計 | そう思う | どちらかという | どちらかという | そう思わない |
|-------|---------------|--------------------|--------------------|--------------|--------------|
| | 6622 100.0 | 1286 19.4 | 1587 24.0 | 1288 19.5 | 2461 37.2 |
| 男性 | 3214 100.0 | 739 23.0 | 764 23.8 | 581 18.1 | 1130 35.2 |
| 女性 | 3180 100.0 | 500 15.7 | 767 24.1 | 673 21.2 | 1240 39.0 |
| 回答しない | 228 100.0 | 47 20.6 | 56 24.6 | 34 14.9 | 91 39.9 |

男性:約47%、女性:約40%

● 保護者 (図表IV-6-8)

| | 計 | そう思う | どちらかという | どちらかという | そう思わない |
|-------|---------------|--------------------|--------------------|-------------|-------------|
| | 2174 100.0 | 366 16.8 | 898 41.3 | 443 20.4 | 467 21.5 |
| 男性 | 181 100.0 | 56 30.9 | 71 39.2 | 21 11.6 | 33 18.2 |
| 女性 | 1939 100.0 | 298 15.4 | 813 41.9 | 414 21.4 | 414 21.4 |
| その他 | 5 100.0 | 2 40.0 | 1 20.0 | 1 20.0 | 1 20.0 |
| 回答しない | 49 100.0 | 10 20.4 | 13 26.5 | 7 14.3 | 19 38.8 |

男性:約70%、女性:約57%

● 教員 (図表IV-6-9)

| | 計 | そう思う | どちらかという | どちらかという | そう思わない |
|-------|--------------|-------------------|--------------------|-------------|-------------|
| 全体 | 899 100.0 | 91 10.1 | 278 30.9 | 216 24.0 | 314 34.9 |
| 男性 | 378 100.0 | 52 13.8 | 128 33.9 | 82 21.7 | 116 30.7 |
| 女性 | 502 100.0 | 35 7.0 | 148 29.5 | 128 25.5 | 191 38.0 |
| その他 | 2 100.0 | 0 0.0 | 1 50.0 | 0 0.0 | 1 50.0 |
| 回答しない | 17 100.0 | 4 23.5 | 1 5.9 | 6 35.3 | 6 35.3 |

男性:約48%、女性:約37%

○児童、保護者、教員で共通する質問「(将来の仕事について)性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、「そう思う」「どちらかという」と「そう思う」を合わせた《そう思う》の割合は、児童において、男性は5割近く、女性は4割、保護者においては、男性は7割、女性は6割近く、教員においては、男性は5割近く、女性は4割近くとなっている。

○児童、教員と比べ、保護者で《そう思う》という回答割合が高くなる結果となった。また、保護者、教員ともに、男性と女性では男性の方が《そう思う》の回答割合が高くなった。

7 まとめ

第IV章3以降で分析を行った内容について、“性別に対する意識”が自身の言動に影響を与えているか等について分析した結果は下記のとおり。

児童調査結果の仮説・検討事項に関する分析結果

| No. | 仮説・検討事項 | 分析結果 |
|-----|--|---|
| (1) | 児童が「男の子/女の子だからと思う」ことは、児童自身の言動に影響を与えているか | 「男の子/女の子なんだからと思うことがある」について《そう思う》と回答した児童ほど、「性別を理由に、思ったことが言えなかったことがある」について《そう思う》と回答する傾向がみられた。また、統計的にも有意な差がみられた。 (参照：図表IV-3-1) |
| (2) | 児童が「性別で教科の得意、不得意があると思う」ことは、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」ことに影響を与えているか | 「性別で教科の得意、不得意があると思う」について《そう思う》と回答した児童のうち、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について《そう思う》の回答が6割を超え、統計的にも有意な差が見られた。 「性別で教科の得意、不得意があると思う」に《そう思う》と回答した児童ほど、仕事に対して性別により向き、不向きがあると回答する傾向がみられた。 (参照：図表IV-3-2) |
| (3) | 児童の学年によって、性別に対する意識の差が表れているか | 全設問で学年により回答割合に大きな差はなかった。ただし、5年生と比べ6年生の方が各設問に《そう思う》と回答する割合が高くなった。 (参照：図表IV-3-3～9) |
| (4) | 「周囲の大人の発言」は、「男の子/女の子だからと思う」という児童の意識に影響を与えているか | 「男の子/女の子なんだからと先生/親(保護者)/祖父母や親戚など周囲の大人に言われたことがある」について《あてはまる》と回答した児童のうち、「男の子/女の子なんだからと思うことがある」について、いずれの設問でも《そう思う》の回答が5割を超え、統計的にも有意な差が見られた。 「男の子/女の子なんだからと先生/親(保護者)/祖父母や親戚など周囲の大人に言われたことがある」に《そう思う》と回答した児童ほど、「男の子/女の子なんだから」と思う傾向がみられた。 (参照：図表IV-3-10～12) |
| (5) | 保護者の働き方により、仕事に対する児童の「性別により向き・不向きがあると思う」という意識の差が見られるか | 保護者の働き方(共働き、父親のみ、母親のみ、その他)の違いで、児童の仕事に対する意識に大きな差は見られなかった。 (参照：図表IV-3-13) |

保護者調査結果の仮説・検討事項に関する分析結果

| No. | 仮説・検討事項 | 分析結果 |
|------|---|---|
| (6) | 保護者の年代によって、子どもの仕事に対する意識の差が見られるか | <p>「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」に《そう思う》と回答した保護者について、男性、女性ともに、回答割合に大きな差は見られなかった。</p> <p>(参照：図表IV-4-1)</p> |
| (7) | 保護者自身が「男性/女性だからと思う」ことは、子どもの進路選択に関する保護者の意識に影響を与えているか | <p>「男性/女性だからと思うことがある」に《そう思う》と回答した保護者ほど、子どもの進路選択に関わる設問に対して、性別を意識する傾向が見られた。</p> <p>(参照：図表IV-4-2～4)</p> |
| (8) | 保護者自身が「男性/女性だからと思う」ことは、子どもに関して「性別で向いている仕事と向いていない仕事がある」と思うことに影響を与えているか | <p>「男性/女性だからと思うことがある」について《そう思う》と回答した保護者のうち、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について《そう思う》の回答が6割台半ばとなり、統計的にも有意な差が見られた。</p> <p>「男性/女性だからと思うことがある」に《そう思う》と回答した保護者ほど、子どもの仕事に「性別で向いている仕事と向いていない仕事がある」と思う傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表IV-4-5)</p> |
| (9) | 保護者が子どもの学習、進路などに関する事項（教科の得意/不得意、進路、習い事）で性別を意識することは、子どもに関して「性別で向いている仕事と向いていない仕事がある」と思うことに影響を与えているか | <p>児童の学習、進路などに関する事項（教科の得意/不得意、進路、習い事）について《そう思う/あてはまる》と回答した保護者のうち、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、いずれの設問でも《そう思う》が約8割となり、統計的にも有意な差がみられた。</p> <p>児童の学習、進路などに関して「向き・不向き/得意・不得意があると思う」に《そう思う/あてはまる》と回答した保護者ほど、「性別で向いている仕事と向いていない仕事がある」と思う傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表IV-4-6～8)</p> |
| (10) | 「性別で子どもの習い事を選んでいる」ことは、「性別で子どもの進路を考えること」に影響を与えているか | <p>「性別で子どもの習い事を選んでいる」について《あてはまる》と回答した保護者のうち、「性別で子どもの進路を考えることがある」について《そう思う》の回答が6割を超え、統計的にも有意な差がみられた。</p> <p>「性別で子どもの習い事を選んでいる」に《そう思う》と回答した保護者ほど、「性別で子どもの進路を考える」傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表IV-4-9)</p> |

| No. | 仮説・検討事項 | 分析結果 |
|------|--|--|
| (11) | 保護者自身が「男性/女性だからと思う」ことは、子どもに対する言動に影響を与えているか | <p>「男性/女性だからと思うことがある」について《そう思う》と回答した保護者ほど、「子どもに対する言動に関する設問」で《そう思う》と回答する傾向がみられた。また、統計的にも有意な差がみられた。</p> <p>(参照：図表Ⅳ-4-10～13)</p> |
| (12) | 保護者自身が「男の子/女の子なんだからと子どもに言う」ことは、子どもに対する発言以外の意識や行動に表れるか | <p>「男の子/女の子なんだからと子どもに言うことがある」に《あてはまる》と回答した保護者のうち、「服の色など男の子/女の子らしい色があると思う」「子どもの日用品やおもちゃを性別を意識して選んでいる」のいずれの設問でも《そう思う/あてはまる》が6割を超えており、統計的にも有意な差がみられた。</p> <p>「男の子/女の子なんだからと子どもに言うことがある」に《あてはまる》と回答した保護者ほど、発言以外の部分（服の色選び、日用品やおもちゃ選び）において、性別を意識して選ぶ傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表Ⅳ-4-14～15)</p> |
| (13) | 保護者の年代によって、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の認知度の差はあるか | <p>無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の認知度について、年代による差はほぼみられなかった。</p> <p>(参照：図表Ⅳ-4-16)</p> |
| (14) | 設問回答の得点化したカテゴリと他の設問との間に関係性はあるか | <p>得点化のカテゴリ別でみると、全体的な傾向として、顕著な差はみられなかった。</p> <p>(参照：図表Ⅳ-4-17～24)</p> |
| (15) | 「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について、どの程度知っていますか」と他の設問間に関係性はあるか | <p>「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について、どの程度知っていますか」に《知っている》と回答した保護者ほど、各設問に《そう思う》と回答する割合は低くなった。</p> <p>(参照：図表Ⅳ-4-25～32)</p> |
| (16) | 保護者の年代によって、「家事・育児」に対する意識の差が見られるか | <p>年代による大きな差は見られなかったが、全体で、「家事は女性の方が向いていると思う」について《そう思う》の回答が4割近くであったのに対して、「育児は女性の方が向いていると思う」については《そう思う》の回答が6割を超え、「家事」よりも「育児」について、女性の方が向いていると回答する割合が高くなった。</p> <p>(参照：図表Ⅳ-4-33～34)</p> |
| (17) | 保護者自身が「男性/女性だからと思う」ことは、「家事/育児は女性の方が向いていると思う」ことに影響を与えているか | <p>「男性/女性だからと思う」について《そう思う》と回答した保護者ほど、家事/育児は女性の方が向いていると思う傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表Ⅳ-4-35～36)</p> |

教員調査結果の仮説・検討事項に関する分析結果

| No. | 仮説・検討事項 | 分析結果 |
|------|--|--|
| (18) | 教員の年代・役職によって、「将来管理職になるのは無理だと思う」の設問に対する回答に違いがあるか | <p>「将来管理職になるのは無理だと思う」に《そう思う》と回答した教員について、男性では、年代により回答割合に大きな差があった。女性では大きな差はないが、年代が上がると《そう思う》と回答した割合が低くなった。</p> <p>また、役職別については、男女ともに、「主幹教諭・指導教諭」以上の役職と「主任教諭」以下の役職で《そう思う》と回答した割合に大きな差があった。</p> <p>(参照：図表Ⅳ-5-1～2)</p> |
| (19) | 教員の年代・役職によって、「プライベートより仕事を優先したほうが良いと思う」の設問に対する回答に違いがあるか | <p>「プライベートより仕事を優先したほうが良いと思う」に《そう思う》と回答した教員について、男女ともに年代が上がると《そう思う》と回答した割合が高くなった。</p> <p>また、役職別については、男女ともに顕著な傾向はみられなかった。</p> <p>(参照：図表Ⅳ-5-3～4)</p> |
| (20) | 教員の年代・役職によって、『「男性だから」「女性だから」と思うことがある』の回答に違いがあるか | <p>「男性/女性だからと思うことがある」に《そう思う》と回答した教員について、男女ともに年代が上がると《そう思う》と回答した割合が高くなった。</p> <p>また、役職別については、男女ともに管理職で他の役職より《そう思う》と回答した割合が高くなった。</p> <p>(参照：図表Ⅳ-5-5～6)</p> |

| No. | 仮説・検討事項 | 分析結果 |
|------|--|---|
| (21) | <p>教員の年代・役職によって、育児休業と介護休業の取得に対する意識の差があるか</p> | <p>「育児/介護休業は女性が取ったほうが良いと思う」に「そう思う」と回答した教員について、男女ともに育児休業について、回答割合に大きな差があった。また、役職別については、女性の「主幹教諭・指導教諭」では低い値となったものの、男女ともに役職が上がるにつれ、女性が取ったほうが良いと思う傾向がみられた。</p> <p>一方、介護に関して男女ともに年代による顕著な傾向はみられなかった。また、役職別についても、男女ともに顕著な傾向は見られなかった。</p> <p>育児休業と介護休業の取得に対する意識の差については、介護休業より育児休業に関して「女性が取ったほうが良い」と思う割合が高くなった。</p> <p>(参照：図表IV-5-7～10)</p> |
| (22) | <p>教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、「育児休業は女性が取ったほうが良いと思う」ことに影響を与えているか</p> | <p>「男性/女性だからと思うことがある」について「そう思う」と回答した教員のうち、「育児休業は女性が取ったほうが良いと思う」について「そう思う」の回答が6割台半ばとなり、統計的にも有意な差がみられた。</p> <p>「男性/女性だからと思う」に「そう思う」と回答した教員ほど、育児休業は「女性が取ったほうが良い」と思う傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表IV-5-11)</p> |
| (23) | <p>教員の役職によって、「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答に違いはあるか</p> | <p>「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について「そう思う」と回答した教員について、役職別にみると、男女ともに回答に顕著な傾向は見られなかった。</p> <p>(参照：図表IV-5-12)</p> |
| (24) | <p>教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の回答に影響しているか</p> | <p>「男性/女性だからと思う」について「そう思う」と回答した教員ほど、性別により「仕事の役割を分けたほうが良い」と思う傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表IV-5-13)</p> |

| No. | 仮説・検討事項 | 分析結果 |
|------|--|---|
| (25) | <p>「子育て中の男性/女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」の回答について、男性教員と女性教員により違いが生じる要因に年代・役職による差があるか</p> | <p>「子育て中の男性/女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」に《そう思う》と回答した教員に関して、男女ともに年代が上がるにつれ、《そう思う》と回答した割合が低くなる傾向がみられた。</p> <p>また、役職別については、《そう思う》と回答した割合について、顕著な傾向は見られなかった。</p> <p>ただし、年代にかかわらず「子育て中の男性教員には負担の多い仕事をまかせないほうがいいと思う」について《そう思う》の回答が7割を超え、また「子育て中の女性教員には負担の多い仕事をまかせないほうがいいと思う」については《そう思う》の回答が8割を超え、男性教員と女性教員とで回答割合に大きな差があった。</p> <p>(参照：図表IV-5-14～17)</p> |
| (26) | <p>「介護中の男性/女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」の回答について、男性教員と女性教員により違いが生じる要因に年代・役職による差があるか</p> | <p>「介護中の男性/女性教員には負担の多い業務をまかせないほうがいいと思う」に《そう思う》と回答した教員に関して女性では、年代が上がるにつれ、低くなる傾向が見られた。また、役職別にみると、男女ともに顕著な傾向はみられなかった。</p> <p>(参照：図表IV-5-18～21)</p> |
| (27) | <p>教員の年代・役職によって、「重要な仕事は男性教員に任されていることが多い」の回答に違いがあるか</p> | <p>「重要な仕事は男性教員に任されていることが多い」に《あてはまる》と回答した教員について、男女ともに、年代が上がると、《あてはまる》と回答した割合が低くなる傾向がみられた。</p> <p>また、役職別については、男性では、主幹/指導教諭以上の役職と主任教諭以下の役職で回答割合に大きな差が見られた。一方、女性では回答割合に大きな差は見られなかった。</p> <p>(参照：図表IV-5-22～23)</p> |

| No. | 仮説・検討事項 | 分析結果 |
|------|--|--|
| (28) | 教員の年代・役職によって、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の回答に違いがあるか | <p>「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」に《そう思う》と回答した教員について、男女ともに、年代が上がると、《そう思う》と回答した割合が高くなる傾向がみられた。</p> <p>また、役職別については、男女ともに、顕著な傾向はみられなかった。</p> <p>(参照：図表Ⅳ－5－24～25)</p> |
| (29) | 教員の年代・役職によって、児童の教科の得意・不得意について、「性別による違いがあると思う」ことに違いはあるか | <p>教員の年代の違いによって、「児童の教科の得意・不得意に性別による違いがある」に《そう思う》と回答する割合に顕著な傾向はみられなかった。</p> <p>また、役職別については、役職が上がると、「性別で教科の得意・不得意がある」に《そう思う》と回答した割合が低くなる傾向が見られたが、「理系/文系/家庭科の得意・不得意」については、顕著な傾向はみられなかった。</p> <p>(参照：図表Ⅳ－5－26～33)</p> |
| (30) | 教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、児童の教科への得意・不得意に対する意識に影響しているか | <p>「性別で教科の得意、不得意があると思う」、「理系科目は男の子の方が得意だと思う」、「文系科目は女の子の方が得意だと思う」、「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、「男性/女性だからと思うことがある」の設問を回答別にみると、いずれも、「男性/女性だからと思うことがある」に《そう思う》と回答した教員ほど、「児童の教科への得意・不得意に対する事項」に《そう思う》と回答する傾向がみられ、いずれの設問でも統計的にも有意な差がみられた。</p> <p>「男性/女性だからと思う」に《そう思う》と回答した教員ほど、児童の「教科の得意、不得意がある」と思う傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表Ⅳ－5－34～37)</p> |
| (31) | 教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、学校での児童の役割に関する意識に影響しているか | <p>「学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」、「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う」の設問について、「男性/女性だからと思うことがある」の設問との関係では、統計的に有意な差は見られた。ただし、両設問とも、「学校での児童の役割」に関する事項で《そう思う》と回答した教員の割合は5%未満であった。</p> <p>(参照：図表Ⅳ－5－38～39)</p> |

| No. | 仮説・検討事項 | 分析結果 |
|------|---|---|
| (32) | <p>教員自身が「男性/女性だからと思う」ことが、仕事への向き・不向きに関する意識に影響しているか</p> | <p>「男性/女性だからと思うことがある」について《そう思う》と回答した教員のうち、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、《そう思う》の回答が5割台半ばとなり、また統計的にも有意な差がみられた。</p> <p>「男性/女性だからと思うことがある」について《そう思う》と回答した教員ほど、児童の仕事について「性別で向き・不向きがある」と思う傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表IV-5-40)</p> |
| (33) | <p>教員が「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」ことが、児童の教科の得意・不得意に関する意識に影響しているか</p> | <p>教員が「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について《そう思う》と回答した教員ほど、児童の「教科に対する得意・不得意」に関する設問について《そう思う》と回答する傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表IV-5-41～44)</p> |
| (34) | <p>教員が「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」ことが、学校での児童の役割に関することで意識に影響しているか</p> | <p>「学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」、「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうが良いと思う」の設問について、「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」の設問との関係では、統計的にも有意な差が見られた。ただし、両設問とも、「学校での児童の役割」に関する事項で《そう思う》と回答した教員の割合は10%未満であった。</p> <p>(参照：図表IV-5-45～46)</p> |
| (35) | <p>教員が「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」ことが、児童の仕事への向き・不向きに関する意識に影響しているか</p> | <p>「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について《そう思う》と回答した教員のうち、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について、《そう思う》の回答がほぼ7割になり、また統計的にも有意な差がみられた。</p> <p>「性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う」について《そう思う》と回答した教員ほど、児童の仕事について「性別で向き・不向きがある」と思う傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表IV-5-47)</p> |

| No. | 仮説・検討事項 | 分析結果 |
|------|---|---|
| (36) | 教員が「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」ことが、児童の教科への得意・不得意に関する意識に影響しているか | <p>「性別で教科の得意、不得意があると思う」、「理系科目は男の子の方が得意だと思う」、「文系科目は女の子の方が得意だと思う」、「家庭科は女の子の方が向いていると思う」について、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の設問を回答別にみると、いずれも、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」に《そう思う》と回答した教員ほど、「児童の教科への得意・不得意に対する事項」に《そう思う》と回答する傾向がみられ、いずれの設問でも統計的にも有意な差がみられた。</p> <p>「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」に《そう思う》と回答した教員ほど、児童の「教科の得意、不得意」に関する設問に《そう思う》と回答する傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表IV-5-48～51)</p> |
| (37) | 教員が「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」ことが、学校での児童の役割に関する意識に影響しているか | <p>「学級代表の児童は男の子の方が向いていると思う」、「授業、班活動では、性別で児童の役割を決めたほうがいいと思う」の設問について、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」の設問との関係では、統計的に有意な差が見られた。ただし、両設問とも、「学校での児童の役割」に関する事項で《そう思う》と回答した教員の割合は10%未満であった。</p> <p>(参照：図表IV-5-52～53)</p> |
| (38) | 教員が「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」ことが、「性別により仕事の役割を分けたほうがいいのか」ことに影響を与えているか | <p>「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」について《そう思う》と回答した教員ほど、「性別で仕事の役割を分けたほうがいいのか」という傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表IV-5-54)</p> |
| (39) | 教員の年代・役職によって、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の意識・行動・認知度等に関する違いがあるか | <p>全体的な傾向として年代・役職が上がるにつれ無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の意識・行動・認知度等について《そう思う/あてはまる/取り上げたことがある》と回答する教員の割合が高くなる傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表IV-5-55～62)</p> |
| (40) | 設問回答の得点化したカテゴリと他の設問との間に関係性はあるか | <p>全体的な傾向として、得点化したカテゴリと各設問に顕著な傾向はみられなかった。</p> <p>(参照：図表IV-5-63～75)</p> |
| (41) | 「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について、どの程度知っていますか」の回答と他の設問の回答に関係性はあるか | <p>「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について、どの程度知っていますか」について《知っている》と回答した教員ほど、各設問について《そう思う》と回答する割合が低くなる傾向がみられた。</p> <p>(参照：図表IV-5-76～88)</p> |